モルモン書

教師用手引き

モルモン書教師用手引き

制作：教会教育システム
発行：末日聖徒イエス・キリスト教会
Salt Lake City,Utah

©2000 Intellectual Reserve,Inc.版権所有
印刷：日本
英語版承認:8/98
翻訳承認:8/98
原題：Book of Mormon Teacher Resource Manual

目次

『モルモン書教師用手引き』の序文 1

モルモン書を教えるためのスケジュール調整 5

救いの計画の全体像 7

聖文研究のための補助資料 11

モルモン書の概要 14

モルモン書のタイトルページ 17

モルモン書の序文 19

証人たちの証 22

ニーファイ第一書 24
1ニーファイ1－5章 24
1ニーファイ6－9章 30
1ニーファイ10－15章 33
1ニーファイ16－22章 38

ニーファイ第二書 47
2ニーファイ1－5章 47
2ニーファイ6－10章 54
2ニーファイ11－24章 61
2ニーファイ25－30章 68
2ニーファイ31－33章 75

ヤコブ書 80
ヤコブ1－4章 80
ヤコブ5－7章 85

エノス書 89
エノス1章 89

ジェロム書 92
ジェロム1章 92

オムナイ書 93
オムナイ1章 93

モルモンの言葉 96
モルモンの言葉1章 96

モーサヤ書 97
モーサヤ1－4章 97
モーサヤ5－6章 103
モーサヤ7－8 章 105
モーサヤ9－10 章 107
モーサヤ11－17 章 108
モーサヤ18－22章 117
モーサヤ23－24章 121
モーサヤ25－29章 122

アルマ書 129
アルマ1－4章 129
アルマ5－7章 132
アルマ8－16章 137
アルマ17－19章 151
アルマ20－29章 155
アルマ30－35章 161
アルマ36－42章 168
アルマ43－58章 178
アルマ59－63章 185

ヒラマン書 188
ヒラマン1－6章 188
ヒラマン7－12章 193
ヒラマン13－16章 198

第三ニーファイ 203
3ニーファイ1－7章 203
3ニーファイ8－10章 208
3ニーファイ11－14章 209
3ニーファイ15－18章 217
3ニーファイ19－26章 222
3ニーファイ27－30章 228

第四ニーファイ 232
4ニーファイ1章 232

モルモン書 235
モルモン1－6章 235
モルモン7－9章 238

エテル書 243
エテル1－6章 243
エテル7－11章 250
エテル12－15章 253

モロナイ書 257
モロナイ1－6章 257
モロナイ7－9章 260
モロナイ10章 265

付録 269
モルモン書のおもな原典 269
聖文の教え方 270
マスター聖句の習得 275
マスター聖句一覧表 276
偉大な幸福の計画 277
推定：モルモン書の地理（各地域の相対的な位置関係） 281
ニーファイの示現（1ニーファイ10－14章） 282
2ニーファイ26－27章の預言 283
キリストに関するベニヤミン王の教え 284
モーサヤ書の7回の旅 285
アルマとニーホル 286
罪を捨てる 287
ほんとうの改宗をした人々 287
御言葉はキリストの内にあることを証するアミュレク 288
ヒラマンと3ニーファイ：キリストの再臨との共通点 289
最後の裁きと中間の裁き 291
モルモン書のマラキ（3ニーファイ24－25章） 292
視覚資料 293

『モルモン書教師用手引き』の序文

「教会教育システムにおける宗教教育の目標は，……個人，家族，神権指導者が教会の使命を達成できるように援助することにある。」（『福音を教える――教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』〔1994年〕，3）この目的を達成するために，まず初めに強調すべき事柄は，イエス・キリストの福音を，標準聖典と預言者たちの言葉のままに，生徒たちに教えることである。この手引きは，教授経験，また言語や国籍の違いにかかわらず，教師がその目的を達成できるよう援助するために作成されたものである。

2番目に強調すべき事柄は，言葉と，模範と，御霊（みたま）の力によって教えるということである。言葉と模範によって教える人々は，福音を最も効果的に教えることができる。言葉によって教えるためには，まず「研究によって，また信仰によって」（教義と聖約88：118），イエス・キリストの福音の原則を理解すべく努力する必要がある。そして模範によって教えるためには，自分自身の生活の中で福音を実践していかなければならない。また，教師は導きを求めて御霊に頼らなければならない。十二使徒定員会会員ボイド・K・パッカー長老は次のように教えている。「力は教師がなし得る限りを尽くして備えるときに与えられます。それは，個々のレッスンだけでなく，実際の生活において御霊と調和した生活をしていく中で与えられるものです。霊感を求めて御霊に頼るようになるなら，教師は，自分は霊感によって教えることができるという確信をもって……生徒たちの前に立つことができます。」（*Teach Ye Diligently*〔1975年〕，306）パッカー長老が語（あかし）ったこの力は，教師が自ら教える原則や教義について，個人的な証を述べるときによく現れるものである。

この手引きの使用法

教師がレッスンの準備を行う際に，第一の資料とすべきものは聖典である。聖文の研究，レッスンの準備の助けとして，手もとに置くべき資料には以下のものがある。

- 本書――『モルモン書教師用手引き』（カタログ番号，34588 300）
- 家庭学習セミナリー生徒用資料――『モルモン書生徒用学習ガイド』（カタログ番号，34187 300）
- モルモン書ビデオシリーズ用補助資料――『「モルモン書」メディアガイド』（カタログ番号，34810 300）
- インスティテュート宗教コース121，122の生徒用資料――『モルモン書』（カタログ番号，32506 300）

これらの資料は，生徒たちに教えるための準備として自分自身が行う聖文の学習に置き換えられるものではなく，聖霊の霊的導きに代わり得るものでもない。あくまでもレッスン準備のための補助的な資料である。特に，『モルモン書教師用手引き』は，ひとまとまりの聖句ブロックに関して序説的な情報を提供し，また学び取るべき重要な福音の原則を概説し，生徒たちがそれらの原則を理解し生活の中で応用できるようにするにはどのように教えたらよいか，様々な提案をしている。

「教会教育システム当局は週日の設定として，教えるための時間をもっと割ける所では，聖典の各書をその配列順に従って教えるという決定をした。聖典をその配列順に教えるのは，イエス・キリストの福音を教えるための最良の方法の一つである。順次聖典教授法では，標準聖典に配列されている順序に従って各書を教えていく。」（『福音を教える』20；順次聖典教授法に関するより詳細な情報についてはこのページを参照せよ。）この手引きでは聖句を標準聖典の掲載順に学んでいくが，各聖句ブロックのすべての聖句について，教えるためのアイデアを提示しているわけではない。教えるためのアイデアはほかにも，インスティテュート生徒用資料とセミナリー生徒用学習ガイドにも載せられている。

『福音を教える――教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』（カタログ番号，34829 300）は，教会教育システムのクラスを教える際に役立つ詳細な情報を提供している。教師はその内容にも精通しておく必要がある。以下に挙げる幾つかの一般的提案も，教師がレッスンの準備に取り組むうえで助けになるであろう。

福音を研究し教えるために自分自身を備える

- 福音を実践する。
- 研究し，備え，教えるときに，御霊（みたま）の導きを求めて祈る。
- 生徒たちの必要を満たすために，主を信じる信仰，また御霊の力に対する信仰，聖文の力に対する信仰を実践する。

何を教えるかを決める

- 自分が行うレッスンの中で聖典のどの部分を採り上げたいと思うかを決める。この手引きは幾つもの聖句ブロックに分けられている。それぞれの聖句ブロックは，どこで話の筋や主題が変わるかを示している。5－6ページに書かれている学習進度ガイドは，毎日あるいは毎週どのくらいの資料を学んでいくかを決めるのに役立てることができる。
- 採り上げる聖句ブロックを入念に研究する。教義，原則，出来事，難しい語句などに注意しながら，その聖句ブロックを数回読む。本書，またインスティテュート生徒用資料，生徒用学習ガイドも，聖句ブロックを理解し，クラスの生徒たちにとって何が大切かを見極めるのに役立つであろう。聖句ブロックの中に何か霊感を与えるものを見いだすなら，より効果的に教えることができるようになる。また，生徒たちにも同じような発見をするように導くことができる。
- 生徒たちが学ぶべき最も重要な教義，原則，出来事を選択する。御霊（みたま）の促しと生徒たちが必要としているものを導きとして，何を教えたらよいかを決めるようにする。

何をどのように教えるかを決める

- 教えたいと思う出来事，原則，教義の各々について，少なくとも一つの教授法を選ぶ。自分自身で考えた方法，あるいはカリキュラム用の資料の中に提案されている方法を活用する。
- 生徒たちの自発的な準備や積極的な参加，実生活への応用などを促す方法を選ぶ。

1. 自発的な準備とは，生徒たちが霊的にも，また知的な面でも，注意を向け，心を集中させ，学習体験の中に進んで参加する備えをするということである。「準備とは，心と思いの状態を言う。」（『福音を教える』13）それはレッスンをスタートさせるために用いる仕掛けというようなものではない。生徒たちの興味や関心の中核となっているものに絶えず心を向けるということなのである。
2. 積極的な参加とは，生徒たちが学習プロセスの中に熱心にかかわり合っていくという意味である。生徒たちの積極的な参加には，身体面，また感情面，知的な面，霊的な面などの要素が考えられる。生徒たちは積極的に参加すればするほど，レッスン内容をさらによく理解し，記憶し，応用することができるようになる。
3. 実生活への応用とは，生徒たちがレッスンで学ぶ教えを受け入れて，日々の暮らしの中で実践し，それらの原則に従った生活をするよう努力することを意味する。

この手引きの構成

各聖句ブロックに対応する資料が，4つのセクションに載せられている。

「はじめに」に紹介されている資料

「はじめに」には，歴史的背景，聖典の中における位置付けという観点から各聖句ブロックを理解できるように，基礎的な資料や情報を載せている。聖典の各書に対しても同様の基礎的な資料や情報が提示されている。生徒用学習ガイドとインスティテュート生徒用資料に載せられている背景的な知識とあいまって，これらの基礎的な資料や情報は，教師の聖典に対する学習と理解を深めるうえでも役立てることができる。

これらの資料と情報は，次のような点においても役立てることができる。

- 生徒たちの意欲と積極的な姿勢を引き出す質問を設定する。
- 基礎的な情報，生徒たちが聖典の中から読み取るべき事柄，予習に役立つ事柄を理解する。
- クラスで提示したり黒板に書いたりする引用文，また生徒たちが各自の聖典に記入する注釈を決める。

学び取るべき重要な福音の原則

聖句ブロックの中から多くの重要な教義や原則を見いだすことができる。このセクションには，教師が生徒たちに教えたいと思うような事柄が採り上げられている。以下に挙げるのは，教師がレッスンの中で用いることのできる幾つかの方法である。

- 正しい教義を教えるようにするための，一つの指針として用いる。
- 生徒たちに何を教える必要があるかを判断するための助けとして活用する。
- 聖句ブロックを研究する中で学び取るべき原則を生徒たちに伝えるために，それらを黒板に書き上げる。
- 生徒たちに，その教義を裏付け，明らかにする聖句をほかにも探すように促す。

補助資料

このセクションには，教師が参考になる情報を確認できるように，インスティテュート生徒用資料の対応箇所のページ数が書かれている。また，本書「付録」の中の資料についても参照表記がなされている。

教え方の提案

このセクションには，聖句ブロックの中から選んだ出来事，原則，教義などをどう教えたらよいかという点について，考慮に値するアイデアが提案されている。教師はそれらの提案を必ず採用するように義務付けられているわけではない。それらの提案は教師にとって，御霊（みたま）の導きを得て生徒たちの様々な必要について深く考えるうえで役立つ情報となるであろう。教師は，生徒用学習ガイドの中に，クラスで実際に教えるときに活用できる有益な提案を見いだすこともできる（「教師のための『モルモン書生徒用学習ガイド』の紹介」3―4参照）。

「教え方の提案」のセクションには以下の項目がある。

- **強調点**。この提案の各セクションの冒頭には，聖句ブロックと，提案の中で強調されている原則が表記されている。これは，その聖句ブロックの中の「学び取るべき重要な福音の原則」のセクションに書かれている原則と一致している場合が多くある。
- **マスター聖句**。教えるための提案の中にマスター聖句が含まれている場合は，左のアイコンで分かるようになっている。ハワード・W・ハンター大管長（当時は十二使徒定員会会長）は次のように話している。「わたしたちは，聖句の場所を見つけて示せるほどには聖典をよく理解していないために，自分は必要な助けを見いだすことができないと恥じ入ったり，恐れや気後れを抱いたりしたまま，クラスを出て行く生徒が一人もいないようにと望んでいます。」（The Teachings of Howard W. Hunter〔宗教教育者への講話，1989年2月10日〕，2）

  「マスター聖句」は，聖句の見つけ方，またその意味の理解の仕方，実生活への応用の仕方などを，生徒たちに教えるための方法である。セミナリーで特に強調して学ぶ100の聖句（コースごとに25の聖句）が選ばれている。これらの聖句がある場合には「教え方の提案」のセクションに，「マスター聖句」としてアイコンとともに表記されている。教師は，生徒たちがこれらの聖句をマスターできるように助ける必要がある。そのために，これらの聖句についてレッスンの中で教えたり，自分自身で学ぶように促したりしていく。クラスの中でマスター聖句に関する活動を促すための方法については，『福音を教える――教会教育システム教師ならびに指導者用手引き』32―33ページの提案を参照する。
- **ウィークリー・アイコン**。教えるための提案の中には，このアイコンで表示されているものもある。このアイコンのある箇所には，家庭学習プログラムの教師，あるいは，より広い聖句のブロックを教える活動を援助したいと思う人向けの提案がなされている。
- **予想所要時間の表記**。太文字で表記された見出し部分の最後の箇所の括弧内には，提案に添った教え方をする場合に，およそどのくらいの時間がかかるかが示されている。これは毎

日のレッスンの計画を助けるためのものであり，提案された教え方にどれほどの時間をかけるべきであるか，ということを示すものではない。

その他の教師用資料

- 『**「モルモン書」ビデオ』（カタログ番号，53785 300）**。このビデオパッケージには，生徒たちにモルモン書を教えるのに役立つプレゼンテーションが含まれている。『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーションを用いて教えるための提案は，『「モルモン書」メディアガイド』（カタログ番号：34740 300）の中に載せられている。ビデオプレゼンテーションが用意されている聖句ブロックは，このアイコンと，教えるための提案のセクションの初めの箇所の表記で分かるようになっている。
- **付録**。教えるための提案のセクションには，レッスンを教えるのに役立つ「付録」の中の図表，対観表などの資料が参照されている場合がある。これらの資料については，教師の便宜のために，その表題とページ数が表記されている。
- **『福音の視覚資料セット』（カタログ番号，34730 300）**と補遺（カタログ番号，34740 300）は，聖典や教会の歴史に関する物語，福音の原則を説明した160枚の視覚資料を集めたものである。
- **生徒自身によるモルモン書の学習**。モルモン書の全文を読むよう，生徒たちに促す。スペンサー・W・キンボール大管長はかつて次のように話している。「自分と神とのつながりがいいかげんなものとなり，神が自分の声に耳を傾けてくださらず，語りかけてくださることもないと感じるときには，わたしは神から遠く遠く離れた生き方をしているのです。聖文を熱心に読む生活をするなら，その隔たりは狭くなり，霊性が戻ってきます。」（*The Teachings of Spencer W. Kimball*，エドワード・L・キンボール編〔1982年〕，135）

  『モルモン書生徒用学習ガイド』の「モルモン書読書進度確認表」にある割り当てに従って読み進めていくよう，生徒たちを促す。（学校の年度に合わせて，この表を調整する必要がある場合もある。）この表はクラスの活動に合わせた読書進度の調整に役立てることができる。

  割り当てより先の部分も読みたいという生徒は，そうしても差し支えない。しかし，その週に学ぶ予定の聖句ブロックも必ず読んでおくように促す。教師は読書進度表を用いることによって，モルモン書全文を教えられるように，1年間ペースを保っていくことを求められる。
- **特別な必要を持つ生徒**。「特別な必要」とは，平均的な子供とは異なる状況にある生徒を示すために用いられる一般的な表現である。その中には，読書能力や学習能力などの面での障害，不規則行動，知的障害などの状況にある人々も含まれる。また特殊教育を受けている人，車いす使用者，寝たきりの生活を余儀なくされている人，視覚障害者，聴覚障害者なども，その中に入る。

  預言者ジョセフ・スミスはこう述べている。「神がこの世へ遣わされた人はすべて成長への可能性を秘めた存在である。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕，354）教師はすべての生徒の学習上の必要を満たすために，力の及ぶ限りの努力をする必要がある。すべての生徒のあらゆる必要を，常時満たしていくのは恐らく不可能である。しかし教師は，生徒たちが各レッスンを通して何かを学び取れるようにするために，クラスの生徒たちの特別な必要を見極めたうえで，カリキュラム用資料による教え方に調整を加えることができる。特別な必要を持つ生徒たちを助ける機会を，ほかの生徒たちに与えることもできる。そのような無私の奉仕の機会は，行う側と受ける側の双方にとって祝福となる。

  通常のカリキュラム用資料に加えて，特別な必要を持つ生徒たちに教えるのを助けるために，ほかにも幾つかの資料が用意されている。教会教育システムの出版物のカタログには，点字印刷物，オーディオカセット，ビデオカセットなどの資料が掲載されている（教会教育システム発行のクラス用ビデオカセットはすべて，解読装置付きのテレビだけに字幕が現れるクローズド・キャプション方式である）。このカタログには，読書能力が2－4のレベルの生徒たちのために，視覚に訴える効果の強い，簡約化されたカリキュラム資料も掲載されている（“Specialized Curriculum Materials”〔英文〕参照）。教会配送センター発行のカタログにも多くの役立つ資料が載せられている（特に，項目別索引「オーディオカセット」「ビデオカセット」「手話入りビデオカセット」の項を参照）。教会機関誌『リアホナ』は，生徒たちの特別な必要に関連する記事，写真や絵，アイデアなどのすばらしい源である。

教師のための『モルモン書生徒用学習ガイド』の紹介

『モルモン書生徒用学習ガイド』は，生徒たちがモルモン書を読み，その教えについて深く考え，実践していく助けとなる。『モルモン書生徒用学習ガイド』は，家庭学習プログラム用の必要資料だが，多くのデイリーコースの教師にとっても，準備や実際のレッスンに役立つものとなるであろう。

家庭学習セミナリープログラムにおける使用

セミナリーは学校年度を通して週に5日行われるプログラム（あるいはそれに相当するプログラム）である。家庭学習セミナリーのクラスが開かれるのは週に1度だけであるために，家庭学習コースの生徒たちは，ほかの4日は生徒用学習ガイドを用いて学ぶように求められている。生徒たちは皆，毎日聖文を読むように勧められているが，家庭学習コースの生徒たちは，学習ガイドに述べられている活動や割り当てを行うために，各週4日間，1日30－40分を用いるように期待されていることを理解しておく必要がある。

生徒たちは各自の学習ガイドに書き込みをするようには求められてはいない。何かを記録する必要のある割り当てについては，以下の選択肢の中から一つを選んで活用する。

- 一人一人の生徒に，その割り当てをルーズリーフ式のノートに記入させ，書き終えたページを毎週提出させる。教師がそれを返却すれば，生徒はそのページを自分のファイルに戻すことができる。
- 各生徒に2冊のノートを用意させ，それを交互に用いさせる。生徒は最初の週に1冊のノートに記入し，クラスが開かれるときにそれを教師に提出する。その次の週には，生徒はもう1冊のノートに記入し，クラスでそれを教師に提出する。そして

前の週に提出していたノートを返却してもらう。

教師は毎週，生徒たちのノートを集めた後に，目を通して，生徒たちへのコメントを記入する。これは教師にとって，一人一人の生徒について知り，学習内容に対する彼らの理解度を判断するための非常に優れた方法である。教師は週例のクラスのレッスンの中で，ノートに書き込んだことの一部を進んで発表させることにより，生徒たちを動機付ける一助にできる。

生徒が提出するノートの評価

生徒用学習ガイドに書かれている様々な活動をチェックするための解答を記した資料はない。答えの中のあるものは聖典の中に示されている。したがって，教師がそれぞれの活動の内容をよく理解するならば，答えは明らかになる。答えの中には，生徒自身のアイデア，経験，判断，証（あかし）などによって決まるものもある。このような場合には，正しい答えは一つだけとは限らない。生徒に対する評価は，彼らがそれぞれの能力に応じてどれほどの努力をしたかを基準に判断する。教師は自分の感想や評価を書く場合に，生徒たちが誤解している事柄や明らかに間違えている答えについては，正しい答えを示すとともに，彼らの努力を称賛する。

特別な必要を持つ生徒たちには特に配慮し，それに応じて生徒用学習ガイドの内容に調整を加えた教え方をする必要がある。例えば，文章を書くという点について障害のある生徒については，テープレコーダーを用いて，答えを録音させるようにしても差し支えない。また友人や家族に代筆してもらうようにしてもよい。教師は，特別な必要を考慮して，一部の生徒に割り当てる学習活動については，その数を調整しなければならない場合もある。ほかの生徒たちは，それ以上の活動ができるかもしれない。彼らには最小限の条件を越えた活動をするように促すこともできる。

デイリーセミナリープログラムにおける『モルモン書生徒用学習ガイド』の活用

『モルモン書生徒用学習ガイド』は，デイリーセミナリープログラムに参加する生徒たちの必修資料ではない。しかし教師は，参照用として各生徒にこれを渡しておくとよい。そうすれば生徒たちに「聖句を理解する」のセクションを参照させることができる。このセクションには難しい語句への理解を助ける記述や，引用文，説明などが載せられている。

レッスンの準備をするときには，どのような教え方をするかを決めるために，各聖句ブロックの冒頭部分と「聖句を研究する」のセクションを読むようにする。例えば，聖句ブロックの冒頭部分には，生徒たちの積極的な姿勢を引き出すのに役立つ話し合いのための質問が載せられている。教師は，レッスンの中で生徒たちに「聖句を研究する」のセクションの活動の一つをさせたり，グループあるいはクラス全体で，生徒たちに各自が書いたことを発表させたりしたいと思うことがあるかもしれない。学習ガイドに書かれているとおりの活動ができない場合でも，クラスの状況に合わせて調整できる良いアイデアが思い浮かぶかもしれない。

モルモン書を教えるためのスケジュール調整

ほかの標準聖典の場合と同じように，モルモン書のすべての聖句を1学習年度内に採り上げていくことは時間的に不可能である。どのようなスケジュールで教えていくかが大事な問題になる。ニーファイ第一書や第三ニーファイを教えるのにあまり多くの時間をかけすぎたり，その進度が遅すぎたりすると，エテル書やモロナイ書のメッセージの学習にかける時間がなくなってしまうことにもなりかねない。しかし，進度が速すぎると，生徒たちがモルモン書の重要な部分を理解する機会を逃してしまうこともあり得る。毎日あるいは毎週どのくらいの資料を学んでいくか，また，生徒たちへの読書割り当てとして，幾つの章を読むように求めるかを決めるための一助として，学習進度ガイドを活用する。

全世界的に見ると，セミナリープログラムには実に多くのタイプがある。したがって，この手引きをそれらすべてのタイプに合った内容にするのは不可能なことである。教師は36週で完了するこのコースのスケジュールを，自分たちのプログラムと生徒たちの必要に合わせて調整する必要があるかもしれない。セミナリーのクラスは週に5回開かれるが，準備されているレッスンの資料は4日分のみである。これは学校の行事や集会，また特別なセミナリー活動や発表，マスター聖句に関連した活動，テストやクイズなどの活動のために，プログラムが中断されることを考慮した結果である。教師は一つの聖句ブロックをより効果的に教えるために，2日あるいはそれ以上の日数を使っても差し支えない。このような柔軟性を持たせたのは，生徒たちそれぞれの必要を満たすために御霊（みたま）の導きを求めるよう，教師を促すためである。

教会の青少年にイエス・キリストの福音を教えることは，神から託された神聖な使命であり，喜びをもたらす責任である。今年モルモン書に記録されたイエス・キリストと使徒たちの務めを研究していく中で，教師と生徒たちのうえに主の祝福が注がれるように。

学習年度３６週対応の学習進度ガイド

週	教えるべき聖句ブロックの範囲（提案）
1	第1－2日：「救いの計画の全体像」と「モルモン書の概要」 第2－4日：「モルモン書のタイトルページ」と「モルモン書の序文」
2	第1日：1ニーファイ1章 第2日：1ニーファイ2－3章 第3日：1ニーファイ4章 第4日：1ニーファイ5章
3	第1日：1ニーファイ6－7章 第2日：1ニーファイ8－9章 第3－4日：1ニーファイ10－15章
4	第1日：1ニーファイ16章 第2日：1ニーファイ17－18章 第3日：1ニーファイ19章 第4日：1ニーファイ20－22章
5	第1－2日：2ニーファイ1－2章 第3－4日：2ニーファイ3－5章
6	第1日：2ニーファイ6章 第2日：2ニーファイ7－8章 第3－4日：2ニーファイ9－10章
7	第1日: 2ニーファイ11章 第2－4日：2ニーファイ12－24章
8	第1日：2ニーファイ25章 第2日：2ニーファイ26－27章 第3日：2ニーファイ28章 第4日：2ニーファイ29－30章
9	第1日：2ニーファイ31章 第2日：2ニーファイ32章 第3日：2ニーファイ33章 第4日：ヤコブ1章
10	第1日：ヤコブ2章 第2日：ヤコブ3－4章 第3日：ヤコブ5章 第4日：ヤコブ6－7章

週	教えるべき聖句ブロックの範囲（提案）
10	第1日：エノス 第2日：ジェロム，オムナイ，モルモンの言葉 第3－4日：モーサヤ1－3章
12	第1日：モーサヤ4章 第2日：モーサヤ5－6章 第3日：モーサヤ7－8章 第4日：モーサヤ9－10章
13	第1日：モーサヤ11－12章 第2－3日：モーサヤ13－15章 第4日：モーサヤ16－17章
14	第1日：モーサヤ18章 第2日：モーサヤ19－22章 第3日：モーサヤ23－24章 第4日：モーサヤ25－26章
15	第1日：モーサヤ27章 第2日：モーサヤ28－29章 第3日：アルマ1－2章 第4日：アルマ3－4章
16	第1－2日：アルマ5章 第3日：アルマ6－7章 第4日：アルマ8章
17	第1日：アルマ9－10章 第2日：アルマ11章 第3－4日：アルマ12－13章
18	第1－2日：アルマ14－16章 第3－4日：アルマ17－19章
19	第1日：アルマ17－19章（続き） 第2日：アルマ20章 第3日：アルマ21－22章 第4日：アルマ23－26章
20	第1日：アルマ27－29章 第2日：アルマ30章 第3－4日：アルマ31－32章

週	教えるべき聖句ブロックの範囲（提案）
21	第1－2日：アルマ33－34章 第3日：アルマ35－36章 第4日：アルマ37－38章
22	第1日：アルマ39章 第2日：アルマ40章 第3日：アルマ41章 第4日：アルマ42章
23	第1日：アルマ43－45章 第2日：アルマ46－49章 第3日：アルマ50－53章 第4日：アルマ54－58章
24	第1日：アルマ59－63章 第2日：ヒラマン1－2章 第3日：ヒラマン3－4章 第4日：ヒラマン5－6章
25	第1－2日：ヒラマン7－9章 第3日：ヒラマン10－11章 第4日：ヒラマン12章
26	第1日：ヒラマン13章 第2日：ヒラマン14章 第3日：ヒラマン15－16章 第4日：3ニーファイ1－2章
27	第1日：3ニーファイ3－4章 第2日：3ニーファイ5－7章 第3日：3ニーファイ8－10章 第4日：3ニーファイ11章
28	第1日：3ニーファイ12章 第2日：3ニーファイ13章 第3日：3ニーファイ14章 第4日：3ニーファイ15章
29	第1日：3ニーファイ16章 第2日：3ニーファイ17章 第3日：3ニーファイ18章 第4日：3ニーファイ19－20章
30	第1日：3ニーファイ21章 第2日：3ニーファイ22－23章 第3日：3ニーファイ24－25章 第4日：3ニーファイ26章
31	第1－2日：3ニーファイ27－30章 第3日：4ニーファイ 第4日：モルモン1－2章
32	第1日：モルモン3－5章 第2日：モルモン6－7章 第3日：モルモン8章 第4日：モルモン9章
33	第1－2日：エテル1－2章 第3日：エテル3章 第4日：エテル4－6章
34	第1日：エテル7－8章 第2日：エテル9－11章 第3日：エテル12章 第4日：エテル13－15章
35	第1－2日：モロナイ1－6章 第3－4日：モロナイ7章
36	第1日：モロナイ7章 第2日：モロナイ7章 第3－4日：モロナイ10章

救いの計画の全体像

はじめに

1993年にボイド・K ・パッカー長老は教会教育システムの教師たちに向けて，各年度の初めには，コースで学ぶ内容の概要に加えて，救いの計画の全体像を教えるべきであると話している。教えるための以下の提案の中では，パッカー長老の話から何度も引用がなされている。パッカー長老のその話の一部は，ほかの資料とともに，付録の中にも含まれている。生徒たちに救いの計画について教える準備をするときに，ぜひそれを参照するようにしていただきたい（本書「偉大な幸福の計画」277－280参照）。

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備の前に，祈りの気持ちをもって本書「偉大な幸福の計画」の項を研究し，以下の原則について深く考える。

- 天の御父は栄光に満ちた完全な御方であられる。また御父は日の栄えの状態にあり，喜びに満ちみちた御方であられる（モーサヤ4：9；3ニーファイ28：10参照）。
- わたしたちはこの地上に来る前には，天の御父とともに住んでいた。わたしたちは天の御父の霊の子供である。そして御父はわたしたちに，御自身と同じようになることによって，御自分が持っておられるのと同じ喜びを得るように望んでおられる（エレミヤ1：5；ヘブル12：9参照）。
- 神と同じようになるためには，わたしたちは復活し，栄光に輝く体を持ち，神の属性を身に付けるべく成長していかなければならない（アルマ11：43－44；3ニーファイ27：27；教義と聖約130：22参照）。
- 地上における死すべき生涯は，わたしたちに神の属性を得させるために定められたものである。この世の生涯は，肉体を得，神の勧告に従うかそれともサタンの誘惑に乗るか，そのどちらかを選択する自由を通して，神の属性を身に付けるための教えを学ぶ機会を，わたしたちに与えている（創世2：16－17；2ニーファイ2：25－27；アルマ34：32－34参照）。
- 地球の創造とアダムの堕落により，霊と肉体の死，また苦しみ，痛み，悲しみの存在する世界を含む死すべき状態という必要条件が現実のものとなった（創世2：17；3：6－7；2ニーファイ2：15－25参照）。
- キリストの贖罪（しょくざい）は復活をもたらし，それによってすべての人がその体に不死をまとうことができるようになる（ヨブ19：25－27；エゼキエル37：12－14；アルマ11：42－45；42：23参照）。
- 贖罪には，悔い改めを条件に，わたしたちを罪から清め，永遠の命を得させる力がある。そして，神に似た者になれるよう，わたしたちを導く力がある（イザヤ1：18；2ニーファイ10：24－25；モーサヤ3：19；モロナイ10：32－33参照）。
- イエス・キリストは，どの神権時代においても，地上の神の子供たちに福音を伝えるために預言者を遣わしてこられた。キリストのもとへ来て，神の幸福の計画にあずかるよう，すべての人々を招くために，この末日にイエス・キリストの教会が設立された（アモス3：7；アルマ12：32－34；教義と聖約1：1－14参照）。

補助資料

- 本書「偉大な幸福の計画」，277－280ページ。

教え方の提案

注意：救いの計画の全体像について教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。救いの計画の全体像を教えるための4つの提案は，4つの聖典を学ぶ各コースに共通の内容である。教師は毎年別の提案を選ぶように薦められている。

救いの計画の全体像：提案1（90－120分）

生徒たちが救いの計画（幸福の計画）を視覚化して理解できるように，クラスルームの片側の壁からもう一方の壁に糸を張り，その糸にペーパークリップを一つ下げる。ペーパークリップは糸の上を自由にスライドできるようにする。白い紙と透明なビニールで，それぞれ同じ人の形に切り抜いたものを作る。この二つはペーパークリップに付けて用いる。

生徒たちに，糸はわたしたちの人生の流れを表し，糸の両端はそれぞれ，わたしたちの過去と将来を表していることを説明する。また，透明のビニールの人形は人間の霊体を，白い紙の人形は肉体を象徴している。ペーパークリップを糸の上で移動させる。前世という過去から来世という将来への時の流れの中で人が成長していくことを説明するときに，人形を付ける。死についての話し合いをするときには，紙の人形からペーパークリップとビニールの人形を外す。幸福の計画について教えるときには，次のセクションに提案されているような質問をする。また，必要に応じて，付録の中の情報も活用する。通常，生徒たちには，提案されている参照聖句を調べさせることによって，できるかぎり多くの答えを見つけさせるようにするのが望ましい。

前 世

- わたしたちの命は，どこで始まり，どこで終わるのでしょうか（教義と聖約93：29；アブラハム3：18；「霊の創造」278参照）。わたしたちの命の流れはクラスルームの壁の向こう側まで広がり，また両側の方向に永遠に続いている，ということを説明する。わたしたちの命には始めも終わりもない。
- 皆さんは天の御父についてどのようなことを知っていますか。また，地上に生まれる前に天の御父とともにいたときの生活については，どのようなことを知っていますか（「前世」277参照）。
- 神の霊の子供であるということは，どのような意味を持つことでしょうか（「前世」277；「霊の創造」278参照）。この段階を説明するために，ペーパークリップにビニールの人形を付ける。
- 前世において，わたしたちは天の御父とともに住み，不死の状態にありました。それにもかかわらず，そこにとどまらなかったのはなぜでしょうか（「選択の自由」「天上での会議と戦い」278参照）。

- 天の御父の計画と，ルシフェルがその代わりに出した案にはどのような違いがあるでしょうか（モーセ4：1－4；「天上での会議と戦い」278参照）。
- 主は，ルシフェルと彼に従う者たちに，御自身に背き，天での戦いを始めることさえ彼らの意のままになさいました。主がそれほどまでに選択の自由を尊ばれたのには，どのような理由があると思いますか（「選択の自由」278参照）。

現 世

- サタンは最終的には外の暗闇（くらやみ）に追い出されてしまいます。にもかかわらず，ルシフェルと彼に従う者たちが地上に来て，わたしたちを誘惑するのを，神がそのままにしておられるのはなぜでしょうか（教義と聖約29：39参照）。
- この地上に来て肉体を受けることは，どうしてわたしたちにとって必要だったのでしょうか（教義と聖約93：33－34；モーセ1：39；「天上での会議と戦い」「物質的なものの創造」278参照）。
- アダムとエバが背いたために，どのような結果がもたらされたでしょうか。どうしてアダムとエバの堕落が必要だったのでしょうか（2ニーファイ2：19－25；「堕落と死すべき状態」278参照）。
- すでに前世において贖（あがな）い主が選ばれたのはなぜでしょうか。もし贖い主がいないとしたら，どのようなことになるでしょうか（2ニーファイ9：7－10；「天上での会議と戦い」278；「贖罪」281参照）。
- どうしてエホバ（イエス・キリスト）が地上に来て，自ら死すべき体をお受けになる必要があったのでしょうか（「贖罪」279参照）。
- わたしたちはこの世の中で非常に多くの誘惑に直面します。それでは，わたしたちはどうしたら自分自身の弱い性質を変え，悪に抵抗することができるでしょうか（1ニーファイ2：16；モーサヤ3：19；4：1－3；5：1－2；エテル12：27参照）。

来 世

- 肉体の死と霊の死の違いは何でしょうか。わたしたちはその二つの死からどのようにして救われているでしょうか。霊の死に打ち勝つために，わたしたち自身は何をする必要があるでしょうか（2ニーファイ9：6－23；アルマ40：11－14；教義と聖約29：40－44；「教会の使命と，福音の原則と儀式」「贖罪」「霊界」279参照）。
- わたしたちは死んだ後，どこへ行くのでしょうか。霊界でも続く大切な事柄には，どのようなことがあるでしょうか（アルマ40：11－14；教義と聖約138：11－37；「霊界」279参照）。
- 偉大な裁き主とはだれのことでしょうか。わたしたちはいつ裁きを受けるのでしょうか。裁きは一度だけではないのでしょうか（「裁き」280参照）。
- わたしたちは何をもとに裁かれるのでしょうか。裁きはどのような標準で行われるのでしょうか（モーサヤ2：36－41；アルマ41：3－7；教義と聖約82：3；「裁き」280参照）。
- この世にいる間に福音について聞くことがなかった人々には，どのような機会が与えられるでしょうか（教義と聖約138：1－37；「裁き」280参照）。
- わたしたちは復活するときに，どのような状態になるのでしょうか（アルマ11：42－45；「裁き」「復活」280参照）。
- わたしたちは最終的にはどのようになるのでしょうか。「偉大な幸福の計画」に従うなら，わたしたちはどのようになることができるでしょうか（教義と聖約76：50－70参照）。
- わたしたちはこの死すべき状態を経験しなければ，神のようになることはできません。天の御父がそのように定められたのはなぜでしょうか（アルマ34：32－34参照）。

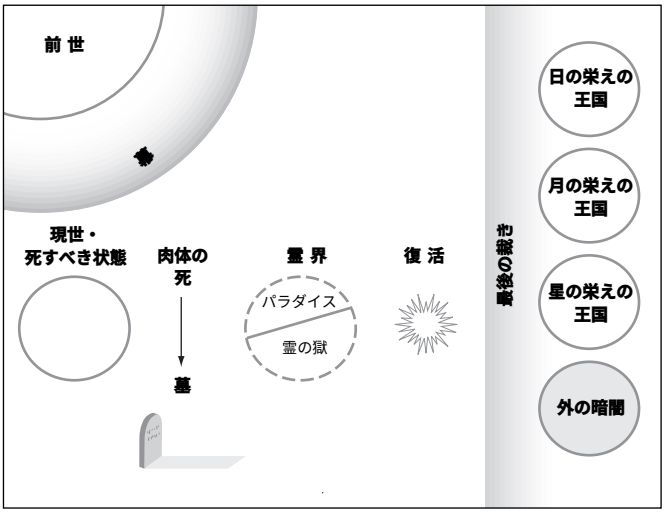
レッスンの中で学んでいる事柄が天の御父の計画にどのように対応しているかを，生徒たちが理解できるようにするために，糸は張ったままにしておき，必要に応じて説明や話し合いの中で用いるとよい。

主が「するべきこと」と「してはならないこと」を定めておられる理由を理解するうえで，救いの計画に対する知識がどのように役立つかを，生徒たちに質問する。若人が様々な圧力と戦いながら守っていると思われる戒め（正直さ，道徳的な清さ，安息日の遵守（じゅんしゅ）など）を一つ選ぶ。そして，「幸福の計画」を理解すると，その戒めを守ることの意味が了解できるようになるのはなぜかを，生徒たちに質問する。

「幸福の計画」のすばらしさと，わたしたち人間がこの地上にいる理由，わたしたちがみもとへ戻れるように主がこれまでにしてくださったことを心に留めることの大切さを証（あかし）する。

救いの計画の全体像：提案2（90－100分）

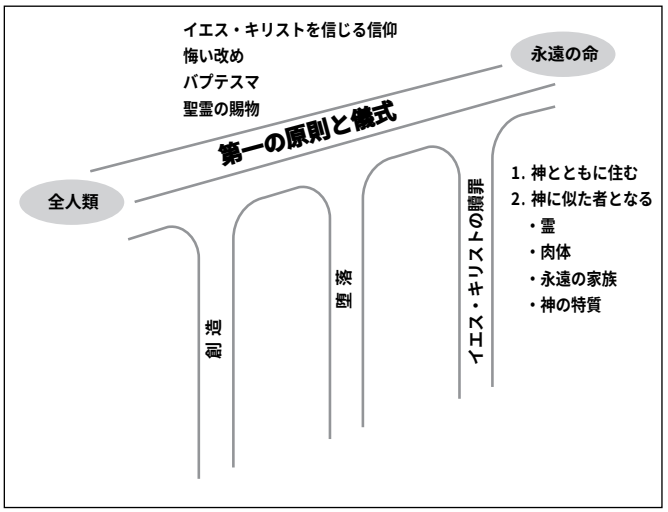
救いの計画について教えるときに，下記のような図を用いるとよい。これは救いの計画を視覚的に教えるうえでは良い方法であるが，時間的な経過を追いながら教えるという点では，提案1の方法には及ばない。



黒板にこの図を描きながら提案1に挙げられているような質問をし（配付資料として渡してもよい），救いの計画のそれぞれの要素について話し合う。救いの計画の中で，わたしたちが前世，現世，来世と進んでいくことを示すために，矢印を描き加えていく。できるかぎり，生徒たちには提案されている参照聖句の内容を調べることによって質問への答えを見いださせるようにする。この図をクラスルームに掲示し，1年を通してレッスンの中で使えるようにしておくとよい。

救いの計画の全体像：提案3（60－70分）

死すべき状態の重要性を強調した，救いの計画の全体像を見るための簡潔で効果的な方法として，次のような橋のイラストを用いる教え方がある。下記のイラストを黒板か大きな紙に描く。最初は文字の説明は書かないでおく。一緒に聖句を学び，救いの計画の各要素がイラストのどの部分に当てはまるかを生徒たちが理解していくのに応じて書き込んでいく。



生徒たちに橋のイラストを見せ，質問をする。「橋には，道路だけでは実現できない，どのような役割がありますか。」（橋によって谷間を越えることができる。）生徒たちと一緒にアブラハム3：22を読み，人はこの地上に来る前にどこにいたかを理解できるように助ける。次にモーセ1：39を読み，生徒たちが，天の御父がどのようなことを成し遂げようとしておられるのか，また天の御父はわたしたちをどこへ導こうとしておられるのかを理解できるように助ける。（不死不滅とは，復活して永遠に生きることを意味し，永遠の命とは，神とともに住み，神に似た者になることを意味する。「前世」277；「霊の創造」「選択の自由」278参照）橋の下手の箇所に「全人類」と書き，右上の箇所には「永遠の命」と書く。

以下の質問をする。

- わたしたちが前世を離れて，この地上に来るように促されたのはなぜでしょうか。
- 神の霊の子供として神とともに住んでいたときのわたしたちと，天の御父の間には，どのような「谷間」（どのような隔たり）があったでしょうか。

生徒たちが，わたしたちはかつては神の霊の子供として天の御父とともに住んでいたが，神に似ていない点が多くあった，ということを理解できるように助ける（3ニーファイ12：48；教義と聖約76：70；88：41；130：22；「前世」277参照）。

橋を支える柱（橋脚）は，わたしたちが神に似た者となれるように助けるために天の御父の御心（みこころ）によって定められたものを表し，柱の上にかけ渡されている橋梁は，わたしたちに求められている事柄を表している，ということを生徒たちに説明する。生徒たちにアブラハム3：24－27を読ませ，天の御父がわたしたちのためにどのようなことをしてくださったかを考えさせる。次に，どうしてそれが必要だったのかについて話し合う（「選択の自由」「天上での会議と戦い」「物質的なものの創造」278参照）。最初の柱に「創造」と書く。

生徒たちに以下の質問をする。

- 2番目の柱は何を表していると思いますか。
- 地球の物質的創造の後で，アダムとエバはわたしたちがさらに天の御父に似た者となるための道を備えるために，どのような役割を果たしたでしょうか（2ニーファイ2：22－25；「堕落と死すべき状態」278参照）。

2番目の柱に「堕落」と書き，堕落によってこの世界に反対のもの，罪悪，死が入り込んできたことを簡単に説明する。

生徒たちに次のように質問する。「すべての事物が堕落したままの状態にとどまっていたとしたら，わたしたちは物質的な面，また霊的な面において，どのようになっていたでしょうか。」2ニーファイ9：6－10を読み，わたしたちが堕落の結果として生じた状態を克服できるようにするために，神がしてくださったことについて話し合う（「贖罪」279参照）。生徒たちに，3番目の柱が何を表しているかを尋ねる。その後，3番目の柱に「キリストの贖罪」と書き加え，次の質問をする。

- イエス・キリストはどうして，わたしたちを各自の罪から贖（あがな）うと約束することがおできになったのでしょうか。
- わたしたちはどのような条件に従うことによって，自分自身の罪に対する赦（ゆる）しを受け，日々の生活の中で贖いの計画がもたらす祝福にあずかれるのでしょうか（アルマ42：9－15参照）。

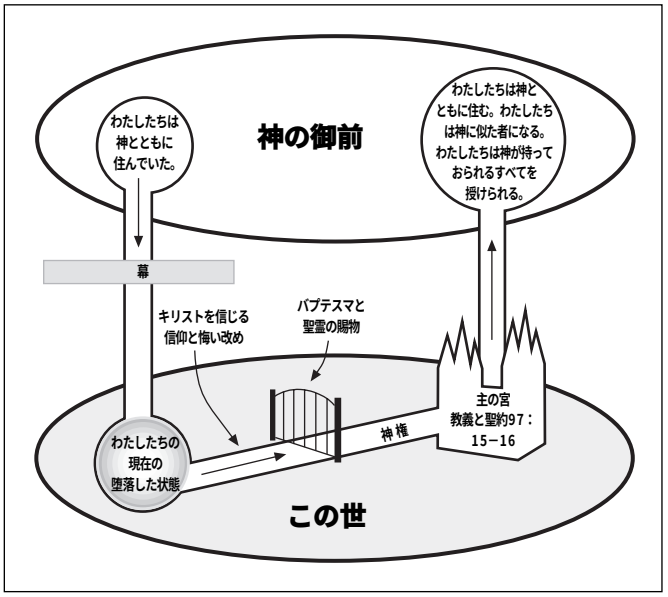
生徒たちにヒラマン14：15－17を読ませ，贖罪（しょくざい）がもたらす祝福で，どういう生き方をしたかにかかわりなく，すべての人に与えられる恵みに，どのようなものがあるかを考えさせる。（復活すること，裁きを受けるために神のもとへ戻されること。）ほかに，熱心に求め，神の福音に添った生き方をする人だけに授けられる祝福もある。生徒たちに信仰箇条1：3－4を読ませる。そして，わたしたちが罪の赦しを受けて完全な者とされるためになすべきこととして，神からまず第一に求められている事柄を挙げさせる（「教会の使命と，福音の原則と儀式」279も参照せよ）。

図の中に説明を書き加える活動をここで終え，救いの計画に対する知識が，何事かをなすように義務付けられたり，逆に禁じられたりする理由を理解するのにどれほど役立つかを，生徒たちに質問する。若人が様々な圧力と戦いながら守っていると思われる戒めを幾つか選ぶ。そして，神がわたしたちにそれらの戒めを与えてくださった理由について，救いの計画が何を教えているかを話し合う。

「裁き」（280ページ）の中のボイド・K・パッカー長老の言葉を生徒たちに読み聞かせ，天の御父が御自分の子供たちのために備えられた「偉大な幸福の計画」について自分自身の証を述べる。

救いの計画の全体像：提案4（40－45分）

次の図を各生徒に渡す配付資料，あるいはオーバーヘッドトランスペアレンシーとして準備する。わたしたちはかつて神の御前（みまえ）に住んでいたということ（「前世」277参照）また，わたしたちがどうしてこの死すべき状態の世界に来るようになったかを見直す（「堕落と死すべき状態」278参照）。



生徒たちに以下の質問をする。

- 細くて狭い道はどこへ通じているのでしょうか。
- 天の御父は，わたしたちが忠実にその道に踏みとどまれるようにするために，何を授けてくださっているでしょうか。

堕落した状態にとどまることの重大さと，そこから抜け出すための唯一の方法とを理解させるために，生徒たちに十二使徒定員会会員オーソン・Ｆ・ホイットニー長老の次の言葉を読ませる。

「アダムの堕落，それはたとえて言えば，全人類が穴の中に落ち込んでしまったというようなことです。人間は自力で何をしたとしても，そこから抜け出す力はありません。そこを登って外に出る方法もありません。どうして登ったらよいかさえ分からないのです。しかし，全知全能の一人の友人がその穴の所へやって来て……彼らを不幸な状態から救い出そうと申し出ました。彼は自分自身の命をもとに一つのはしごを作り，それを穴の中へ降ろし，『さあ，登って来なさい』と言いました。登るのを拒んだ人々は，そのまま穴の中にとどまりました。彼ら自身以外のだれに責めを負わせることができるでしょうか。」（Conference Report，1927年10月，149）

生徒たちがキリストの贖罪と福音の原則と儀式が死すべき状態を克服するための方法を示していることを理解できるように，個人的にあるいはグループで，以下の質問事項について考えさせる。

- わたしたちを堕落した状態から導き出してくれる道は何でしょうか。その道に入るのに，ぜひとも必要とされる第一ステップはどのようなことでしょうか（2ニーファイ31：17―19；「教会の使命と，福音の原則と儀式」279 参照）。
- 聖霊の賜物はどのような方法で，わたしたちが堕落した状態を克服し，その道を進み続けることができるように助けてくれるでしょうか。幾つか挙げてください（ヨハネ14：26；15：26；16：13；3ニーファイ27：20；教義と聖約45：56―57参照）。
- わたしたちのためにこの道を定め，示してくださったのはどなたでしょうか。その道を歩み続けるには，何をしなければならないでしょうか（2ニーファイ31：19―21；「贖罪」279参照）。
- 天の御父はわたしたちが堕落した状態から抜け出せるようにするために，バプテスマの聖約のほかに，どのような儀式や聖約を定めてくださったでしょうか（教義と聖約84：33―40；131：1―4参照）。
- 神聖な聖約を交わし，守ることに忠実な人は，天の御父の御前に戻り，神とともに住むとき，どなたに似た者となるでしょうか（1ヨハネ3：1―4；モロナイ7：48参照）。
- 救いの計画に対する知識は，わたしたちが祈るように求められている理由，また，バプテスマを受け，正直であり，道徳的に清い生活をするように命じられている理由を理解するうえで，どのように役立つでしょうか。
- 救いの計画に対する知識は，わたしたちが薬物の乱用をしないように求められている理由，また，什分の一を納め，伝道に出，神殿に参入するように命じられている理由を理解するうえで，どのように役立つでしょうか。

上記の質問事項を基にした活動を終えたら，それを通して学んだことを話してもらう。教師も，自分自身にとって救いの計画がどのような意味を持つものかを証する。救いの計画について度々深く考えるように促す。また，救いの計画に対する知識が，日々の生活の中で福音に忠実な生き方をするうえで，どのように役立つかを考えるよう，生徒たちに促す。最後にヒュー・Ｂ・ブラウン副管長の次の言葉を読む。

「この教会の指導者たちは設立当初から主イエス・キリストを信じる信仰を教えてきました。そして，わたしたちはイエス・キリストを救い主，贖い主として認知しています。これを子供たちに教えるのは，わたしたちの義務です。……また，彼らは神の子供です。したがって，自分自身の内にある気高い霊に忠実であれと教える必要があります。」（Conference Report，1966年9―10月，104）

聖文研究のための補助資料

末日聖典の中の学習補助資料

1995年に教会が発行した末日聖典合本（モルモン書，教義と聖約，高価な真珠）には，聖文の研究に役立つ資料が含まれている。それらの資料を活用するなら，聖文の研究をより有意義で報いあるものにすることができる。その新しい版の聖典の発行に注がれた働きに言及して，ボイド・K ・パッカー長老は次のように証（あかし）している。「この事業は将来……わたしたちの世代に遂げられた，霊感による目覚ましい出来事として認識されるようになるでしょう。これによって，わたしたちは福音を理解し，主を知る末日聖徒を代々にわたって起こしていくのです。」（Bruce R. McConkie, Apostle〔ブルース・R・マッコンキー長老の葬儀における話，1985年4月23日〕，4）

学び取るべき重要な福音の原則

- 末日聖典の合本には，すべての聖典に対する理解を深めさせる優れた学習補助資料が含まれている。

教え方の提案

聖文研究のための補助資料についてのレッスンを準備するときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

聖文研究のための補助資料。末日聖典の合本に載せられている学習補助資料は，聖典を最大限に活用するための助けとなる。（40－45分）

教会発行の末日聖典合本の中には，聖文の研究に役立つ数多くの資料が掲載されている。以下の提案は，生徒たちにそれらの資料の効果的な活用法を教えるのに役立つであろう。

各章の前書きと概要。生徒たちにアルマ32章の前書きのページを開かせる。その前書きを読んで，前書きの部分では各章の重要点が強調され，教義上の説明が載せられていることも多い，という点を説明する。

生徒たちに指定した章の前書きを読ませ，その後で，以下の質問をする。

- 1ニーファイ14章――ニーファイに語りかけた天使の言葉によると，どれほど多くの教会があるでしょうか。
- 教義と聖約88章――この章に題を付けるとしたら，どのようなタイトルが考えられるでしょうか。
- モーセ6章――アダムが書き記そうとしたのは，どのような記録でしょうか。
- アブラハム3章――アブラハムは日，月，星についての知識をどのようにして得たでしょうか。

教義と聖約の各章には2種類の前書きがあることを説明する。最初の前書きにはその章の背景の説明が，また2番目の前書きには内容の要約が記されている。

脚注。生徒たちに，末日聖典の脚注の幾つかのタイプの例として，2ニーファイ12章を参照させる。生徒たちに，脚注にはどのような利点があるかを話す。脚注は各節に対応していること，また，一つの節に複数の脚注がある場合には番号順に配列されていることを指摘する。

『聖句ガイド』（GS）を表す脚注の例を幾つか示す。

ヘブライ語の意味を説明する脚注の例を幾つか示す。

古語や難解な語句に対して，意味が同じ現代語や説明を加えている脚注の例を幾つか示す。

以下の質問を用いて，生徒たちに脚注の活用法を実際に体験する機会を与える。

- 1ニーファイ21：21を読む。「あなた」という言葉はだれを指しているのでしょうか。
- 2ニーファイ17：14を読む。「インマヌエル」という名前にはどのような意味があるでしょうか。
- アルマ32：42を読む。アルマのほかに，命の木の実を食べることについて語った人がだれかいるでしょうか。（リーハイ；42節の脚注を参照）

『聖句ガイド』。『聖句ガイド』は，末日聖典合本の巻末に掲載されている一群の学習補助資料である。このガイドには，五十音順項目リスト，聖書のジョセフ・スミス訳の抜粋，地図と地名索引，史跡写真が含まれている。これらの各資料については以下に説明がなされている。（より詳細な情報については『聖句ガイド』冒頭の「序文」を参照せよ。）

五十音順項目リスト。『聖句ガイド』6ページから始まる五十音順の項目リストは，聖典から採り上げた何百もの項目の定義を併記した，一種の辞典である。生徒たちと一緒に，幾つかの項目についてその内容を確認してみる。そのときに以下のセクションも含めるようにする。

- 歴史年表（「年表」193－197）
- キリストの教会の特徴（「まことの教会のしるし」244－245）
- 四福音書の対観表（「福音書」220－227）
- 使徒パウロの手紙の分析（「パウロの手紙」201－203）

五十音順項目リストは，聖書を含む全標準聖典の用語索引としても使うことができる。五十音順項目リストでキーワードを見つけることにより，目指す聖句を簡単に探し出せる，ということを生徒たちに話す。また，五十音順項目リストは主題別索引という構成を取っているために，これを活用することにより，何百という福音に関するテーマを，自分自身の希望に応じて深く研究できる。以下の活動は，生徒たちが五十音順項目リストに親しむうえで有益である。

教会の集会で話をするように求められた場合に話してみたいと思うテーマを，各生徒に選ばせる。生徒たちに，五十音順項目リストを用いて，話の準備にどのような聖句を使うかを決めさせる。

生徒たちに，五十音順項目リストの中にイエス・キリストに関してどのような項目が載っているかを調べさせる。

五十音順項目リストの活用法に関するさらに詳細な情報については，『聖句ガイド』の序文と5ページの「使い方」を参照せよ。

聖書のジョセフ・スミス訳（抜粋）。五十音順項目リストの「ジョセフ・スミス訳（JS）」の項（133ページ）から学べる事柄を，生徒たちと分かち合う。ジョセフ・スミスが聖書に加えた変

更の多くが，『聖句ガイド』の294－329ページに掲載されている。生徒たちに，ジョセフ・スミス訳ヨハネ4：26とジョセフ・スミス訳1コリント15：40を参照させ，預言者がどのような変更を加えているかを確認させる。

末日聖典の脚注には，聖書のジョセフ・スミス訳の抜粋に対する参照の指示も含まれている。教義と聖約93：1を読み，生徒たちに脚注4を参照させる。次に生徒たちに，聖書のジョセフ・スミス訳の抜粋を見て，ジョセフ・スミス訳1ヨハネ4：12の内容を確認させる。次の質問をする。「わたしたちはこの聖句のジョセフ・スミス訳を通して，聖書からだけでは分からない，どのようなことを知ることができるでしょうか。」（神を信じる者だけが神にまみえることができる。）

聖書のジョセフ・スミス訳（抜粋）の活用法に関するより詳細な情報については，『聖句ガイド』294ページの説明文を参照せよ。

地図と地名索引。地図のセクションは『聖句ガイド』の330ページから始まる。生徒たちに，331ページの冒頭に書かれている地名索引の活用法の簡単な説明を参照させる。地名索引には，地図上に記されている地名が五十音順に配列されている。生徒たちに，幾つかの都市や島の位置を地図上で見つけさせる。地図10を基に，ニューヨーク州オンタリオ郡マンチェスターのスミス家の農場からオハイオ州カートランドまで，どのくらい離れていたかを割り出させる。

地図と地名索引の活用法に関するより詳細な情報については，『聖句ガイド』330－331ページの説明文を参照せよ。

史跡写真。『聖句ガイド』の中の350ページから始まるこのセクションには，古代と現代における教会の史跡の写真が掲載されている。また，このセクションの最初の部分には，史跡に関する説明と聖句が掲載されている。

生徒たちに，掲載写真の中から彼らがあまりよく知らないと思われる所の写真を何枚か見させ，それぞれがどこの史跡かを当てさせる。また，生徒たちにヘロデの神殿の写真を見させる（掲載順4）。ヘロデの神殿に関する説明文（351ページ）を読ませてから，そこでの3つの重要な出来事を挙げさせる。

史跡写真の活用法に関するより詳細な情報については，『聖句ガイド』350ページの説明文を参照せよ。

聖文研究のための補助資料。学習補助資料を活用することによって，わたしたちは聖文への理解を増し加えることができる。（5－10分）

当時七十人会員だったリチャード・G ・スコット長老の次の話を分かち合う。スコット長老はこの話の中で，1979年と1981年発行の英語版聖典のために準備され，現在の最新版の補助資料の基になった学習補助資料に言及し，次のように語っている。

「わたしはその新しい末日聖典の合本が中央幹部に初めて提示されたときのことを覚えています。その提示をしたのはマッコンキー長老でした。彼は1冊の本を取り上げ，文字が印刷されていない巻末のページに書かれた手書きの文字を読みました。『ブルース・R・マッコンキーへ』と書いた後には『アメリア』（後に彼の妻となった）とサインがあり，彼が伝道本部へ着任した日付が書き込まれていました。彼はこう言いました。『わたしはこれらの聖典を持って世界中に行きました。よく使ってきました。3度製本し直しました。多くの聖句について，それがどのページにあるかも言えます。』それからこう付け加えました。『それでも，わたしはもうこの本を使うことはないでしょう。この聖典には，新しい聖典の中に含まれている，聖句の研究と理解を助けてくれる教授資料も効果的な道具もありません。』それを聞いてわたしは心に深い感銘を受けました。その翌日，わたしはマッコンキー長老のオフィスを訪ねる機会がありました。彼は大きな机を前に座っていました。手には定規と赤鉛筆を持ち，新しい版の聖典に印を付けていました。聖文を深く理解している人がこの新しい版が価値あるものであると認めているのです。わたしもそれに倣おうと心に決めてきました。」（“ Spiritual Communication, ” *Principles of the Gospel in Practice*, スペリー・シンポジウム1985〔1985年〕，18－19で引用）

聖文研究のための補助資料。聖文研究のための補助資料に関連して学んだことを実際に活用できるように，生徒たちを助ける。（30－35分）

生徒たちに聖文研究のための補助資料について教えた後で，レッスンの復習として以下の活動を行う。クラスを幾つかのグループに分けるとよい。

1. バプテスマに関して以下の質問をする。
   a.「バプテスマ」という言葉にはどのような意味があるでしょうか。
   b. バプテスマがキリストの時代以前にも行われていたということを示すどのような証拠があるでしょうか。
   c. イエスはなぜバプテスマをお受けになったのでしょうか。
   d. バプテスマが不可欠とされるのはなぜでしょうか。
2. 以下の各主題について述べた聖句を，それぞれ3つずつ挙げさせる。
   a. 終わりの時
   b. 御霊（みたま）の賜物（たまもの）
   c. 預言
   d. 啓示
3. 1ニーファイ8章に書かれている，リーハイの命の木の示現に関する記録を読む。また，脚注の参照聖句を用いて，以下の象徴が何を表しているかを調べさせる。
   a. 水の流れている川
   b. 鉄の棒
   c. 暗黒の霧
   d. 大きく広々とした建物
4. モルモン書ヤコブ1：8を読む。脚注の参照聖句を用いて，「十字架を負う」という表現が何を意味しているかを話す。
5. 以下の人物がどのような人かを調べ，聖典のどこにその名が出てくるかを確かめる。
   a. エドワード・パートリッジ
   b. イゼベル

6. ニューヨーク州からグレートソルトレークへ移住したときに，聖徒たちはどの州，準州，地域を通ったでしょうか。

モルモン書の概要

はじめに

教会教育システムの教師に向けたある講話の中で，当時十二使徒定員会の会員だったボイド・K・パッカー長老は次のように話している。

「まさしくこの初めの時に，***簡潔***でありながらも，非常に入念に構成されたコースの全体像を提示することには，大きな価値があります。……

このスタート時のごくわずかな時間は，コース全体に費やす時間と比較すれば非常に短い時間の投資ですが，それによって生徒たちはこのコースの中で自分がどこに位置するのか把握することができるようになります。生徒たちはコースについて何がしかの理解を得ることができるのです。そして生徒たちは，すべての要素が一つに調和することを理解すると，より多く記憶に残り，知識の光は明るい輝きをさらに増し加えます。事前に概要をつかむと全体の枠組みができ，それに投資した時間，努力に勝る価値をもたらします。」（*The Great Plan of Happiness*〔教義と聖約／教会歴史に関するシンポジウムにおける宗教教育者への講話，ブリガム・ヤング大学，1993年8月10日〕，2－3；または，*Charge to Religious Educators*，第3版〔1994年〕，113－114）

モルモン書の紹介と全体像のレッスンを組み立て，教える時間を取る。それによって生徒たちはモルモン書の大切さを理解し，今年，読み，学んでいくことになる資料への期待を高めることになるであろう。モルモン書を紹介し，全体像を見渡すことによって，教師も生徒も，イエス・キリストの神聖な使命に対する理解を深めていくことができる。

モルモン書とは何か

モルモン書は，主に導かれて彼らの約束の地であるアメリカ大陸へ渡った3つのグループの人々に関する記録である。最初のグループはヤレドの民である。彼らはバベルの塔の時代に，言語が乱されるのを免れるために旧世界を離れた。彼らの物語はエテル書に記されている。第2のグループはゼデキヤ王が統治する時代に父リーハイとともにエルサレムを離れてやって来た。モルモン書のほとんどはリーハイの家族の子孫が築いた二つの敵対する国民，ニーファイ人とレーマン人の記録である。第3のグループはミュレクの民とも呼ばれた人々で，ゼデキヤの息子であるミュレクとともに，リーハイから数年遅れて約束の地に到着した人々である。彼らは後にニーファイ人の中に数えられることになる。モルモン書はこれらの民が味わった苦難を描き，彼らの物質的福利と霊的な救いにとってイエス・キリストとキリストの福音が果たした役割について証（あかし）している。

モルモン書は現代にとって大切なメッセージを携える，過去からの神聖な声である。エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように語った。「モルモン書は確かに真理を教えていますが，それだけではありません。モルモン書は確かにキリストの証をしていますが，それだけでもありません。それ以上のものがあるのです。モルモン書には力があって，真剣に読み始めるやいなやその力は読む者の人生に流れ込み，誘惑に打ち勝つ力となります。またそれは欺きを避ける力となり，細くて狭い道にとどまる力となります。聖典は『命の言葉』（教義と聖約84：85）と呼ばれていますが，モルモン書ほどその言葉にふさわしいものはありません。神の言葉に飢え渇く者はモルモン書を通して豊かに得られるようになるのです。」（「モルモン書――わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号，6－7）

わたしたちはどうしてモルモン書を研究する必要があるのか

ボイド・K・パッカー長老はこのように教えている。

「モルモン書で旧約聖書と新約聖書の教えをもう一度確認することができます。新約，旧約の両聖書から失われた救いの教義が，ここではより詳細に明らかにされています。

モルモン書の中には，正義と憐（あわ）れみ，堕落と贖（あがな）い，肉体の死と霊の死が説明されています。そして，人間の弱さと完全な善良さについて学びます。

静かな細い声という個人の啓示についても学びます。

主がほかの囲いにいる羊に御姿（みすがた）を現された記事を読みます。そして，神が『これ〔この神聖な書物〕が真実であることを，聖霊の力によってあなたがたに明らかにしてくださる』（モロナイ10：4）という約束が皆さんに与えられています。」（「神の蔵書」『聖徒の道』1990年7月号，43）

古代においても現代においても預言者たちは，人々が神を知るようになるのを助けるうえで，聖文に大きな価値があることを強調してきた。イエスは次のようにお教えになった。「永遠の命とは，唯一の，まことの神でいますあなたと，また，あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。」（ヨハネ17：3）使徒パウロは神聖な書物が持つ価値についてテモテに教えている。

- 「救（すくい）に至る知恵を，……与えうる書物である」（2テモテ3：15）。
- 「すべて神の霊感を受けて書かれたもの」である（16節）。
- 「人を教え，戒め，正しくし，義に導くのに有益」である（16節）。
- 義人が「完全にととのえられた者」となり，「あらゆる良いわざに対して十分な準備」ができるように助ける（17節）。

預言者モルモンは次のように書いている。

「まことに，望む者はだれでも，神の言葉を手に入れることができるということも，わたしたちに分かるのである。この神の言葉は生きていて力があり，悪魔の悪知恵とわなと策略をことごとく断つ。また，悪人をのみ込むために備えられている，あの不幸の永遠の淵を横切る狭くて細い道にあって，キリストの人を導き，

また彼らを，まことに彼らの不滅の霊を天の王国におられる神の右に至らせ〔る〕……。」（ヒラマン3：29－30）

聖文は，わたしたちが悪魔の偽りと誘惑を「断つ」（打ち負かす）力となり，日の栄えの王国に「至らせ」る（導く）道を歩む助けとなるのである。

すべてモルモン書の中で教えられている以下の教義は，この書物を細心の注意を払って研究することに意義があるだけでなく，きわめて重大であることを示している。

- モルモン書はイエス・キリストを証（あかし）するために神によって保

存された。

- 天使たちは，子らを贖われる神を助ける使命を帯びている。
- 神は，散らされたイスラエルを集めるという約束を成就される。神は力をもってそれを行われる。
- すべての人は，救われるために霊的に神から生まれなければならない。
- 主は，悔い改める人々に憐れみの手を伸ばされる。
- 完成に到達する唯一の道はキリストのもとに来ることである。
- 主は，忠実な子らに約束の地を与えられる。
- 生まれながらの人は神の敵である。
- 悪魔は最終的に自分の子らを助けようとしない。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が与えた以下のチャレンジについて考える。

「わたしはすべての男女と，……モルモン書を読むことができる年齢に達しているすべての少年少女に，今年もう一度モルモン書を読むことを強くお勧めします。この書物はイエスがキリストであられることをユダヤ人と異邦人に確信させるために書かれました。イエスがキリストであり生ける神の生ける御子であられるという，揺らぐことのない確信によって個人の生活にとりでを築くこと，わたしたちにとってこれ以上に大切なことはありません。これがこの驚くべき，すばらしい書物が世に出された目的です。モルモン書をもう一度読み，鉛筆，できれば赤鉛筆を手にして，イエス・キリストについて述べられている箇所すべてに小さな印を付けることを提案します。こうすることによって，この書物がまことに主イエス・キリストについてのもう一つの証であることを確信できるでしょう。」（*Teachings of Gordon B. Hinckley*〔1997年〕44）

モルモン書はどのような構成になっているのか

モルモン書は幾つかの書がまとめられたものである。その多くはモルモンの手によって短くまとめられた。モルモンは，ニーファイ人の神聖な記録を短くまとめた預言者であり，民の指導者であった。モルモン書の書名は彼の名を取って付けられたものである。モルモン書には合計15の書がある。「モルモン書のおもな原典」（付録，269ページ）を参照すると，モルモン書がどのような構成になっているのかを理解するうえで役立つ。（モルモン書の序文に記されている「『モルモン書』についての概説」も参照する。）

学び取るべき重要な福音の原則

- モルモン書はわたしたちに誘惑に打ち勝つ力を与え，日常生活の導きとなり，イエス・キリストのもとへ来るよう助けるために，今日（こんにち）まで取っておかれた。

教え方の提案

モルモン書を紹介するために，『「モルモン書」ビデオ』からプレゼンテーション1「この時代のために」を活用するとよい（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

モルモン書の概要。モルモン書はわたしたちに誘惑に打ち勝つ力を与え，日常生活の導きとなり，イエス・キリストのもとへ来るよう助けるために，今日（こんにち）まで取っておかれた。（30－35分）

モルモン書を箱に入れて，包装しておく。教室の前の机にその箱を置き，価値のある贈り物であることを生徒に話す。以下の質問をする。

- これまで受け取った中でいちばん価値のある贈り物はどのようなものでしたか。
- それはなぜ価値がありましたか。
- あなたが自分にとって価値のある贈り物を贈ったところ，相手の人が大切そうに受け取ってくれた場合，あなたはどのように感じるでしょうか。ぞんざいな態度で受け取ったら，あなたはどのように感じるでしょうか。

一人の生徒に箱を開け，ほかの生徒たちに分からないようにして，中を見るように言う。その贈り物は価値のあるものかどうかをその生徒に尋ねる。モルモン書を箱から取り出して，全員に見せてから，以下の質問をする。

- この贈り物を下さったのはどなたでしょうか。
- この贈り物はなぜ価値があるのでしょうか。
- この贈り物を喜んで受け取ろうとしない人はなぜそうするのでしょうか。

主から与えられたこの贈り物を開いて，一緒にその価値を見いだすよう生徒たちに勧める。

269ページの表を見せる。（オーバーヘッドプロジェクターを使って提示するか，生徒に資料として配付する，あるいは生徒用学習ガイドの「モルモン書の導入」に挿入されている表を使用する。）生徒に自分のモルモン書の目次を開き，表を参考にして書名を金属版ごとに区分けするように言う。

モルモン書から好きな物語や教えを生徒に挙げさせ，なぜそれが好きなのかを説明させる。

生徒に，今年は大きなチャレンジや問題を実際に経験した人々について勉強することを告げる。以下の質問を考えるように言う。

- あなたはこれまでに，とてもできそうにないようなことを成し遂げるように求められたことがあるでしょうか。（今年，生徒は，ヤレドの兄弟が海を越えて人々を約束の地まで運ぶ船にどのようにして明かりを手に入れたかについて学ぶ。）
- あなたは自分の兄弟や姉妹から不公平な扱いを受けたことがあるでしょうか。（生徒は，ニーファイがこの問題でどのように苦しんだか，そして主がどのようにしてニーファイを助けられたかを学ぶ。）
- あなたはこれまでいじめに遭ったことがあるでしょうか。（生徒は，アルマと民がアミュロン人から不当な扱いを受け，殺すと脅されたときにもどのように主を信頼したかを見つけることになる。）
- 今日（こんにち）の人々は純潔の律法を破る誘惑を受けているでしょうか。（生徒は，アルマの息子コリアントンが罪を犯したために重大な結果を招いたことを学ぶ。）

モルモン書に登場する聖徒たちはわたしたちと同じような問題に出遭っていたことを生徒に話す。モルモン書は過去からの声として語っているが，その教え，歴史，物語は今日もなお大きな価値を持っていることを生徒に確認する。モルモン書はわたしたち

の時代のために，わたしたちの利益となるように書かれた。生徒に以下の聖句を読んで，質問に答えるように言う。

- ヒラマン5：12。モルモン書はサタンと戦うこと，誘惑に打ち勝つ力を得ることについてどのように教えているでしょうか。
- 2ニーファイ32：3。わたしたちが日常生活の中で導きを受けることについてモルモン書はどのようなことを教えているでしょうか。
- モロナイ10：32－33。イエス・キリストのみもとに来ることについてモルモン書はどのようなことを教えているでしょうか。
- これらの教えはどのような点で，モルモン書が今日のために準備され，保存されてきたということを立証しているでしょうか。

箱の中にどんな贈り物が入っているか知ろうとしたときと同様に，モルモン書を見つけて理解するには，開いて，注意深く調べ，そして大切にしなければならないことを生徒に告げる。一人の生徒に，十二使徒定員会会長を務めていた当時にジョセフ・フィールディング・スミス会長が語った以下の言葉を読ませる。

「モルモン書が発行され，世に示されているにもかかわらず，バプテスマの水において主と聖約を交わした多くの人々がモルモン書を顧みず，その教えに注意を向けていません。人々の無関心と無信仰のゆえに，主が忠実な者のために用意しておられる偉大な祝福を差し控えなければならないと預言されたとき，初めから終わりまでを御存じの主はどれほどつらい思いをされたことでしょうか。」（*Answers to Gospel Questions*，ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編，全5巻〔1957－66年〕，第4巻，141）

次の質問をする。「人々のモルモン書に対する態度とその教えを理解する能力の間にはどのような関係があるでしょうか。」誠心誠意で努力し，祈りの気持ちでモルモン書の研究に当たるよう生徒に奨励する。

モルモン書のタイトルページ

はじめに

預言者ジョセフ・スミスはこのように述べている。「モルモン書のタイトルページは，翻訳された記録が含まれていた版の集成すなわち書物のまさに最後の一枚からの逐語訳であり，それは版の左のページに記されていた。版の言語の流れは、一般のヘブライ語の書き方と同じである。そして，前述のタイトルページは，決して現代の文章構成法で書かれたものではない。わたしの書き方ではないし，この時代にこれまで生きていた，あるいは今生きているいかなる人の書き方でもない。」（*History of the Church*, 第1巻，71）

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- モルモン書はイエス・キリストについてのもう一つの証（あかし）である。主が子らのために大いなる業を行われることを示し，主の聖約を説明し，あらゆる人にイエスがキリストであられることを確信させるために書かれた（モルモン書のタイトルページ参照。2ニーファイ26：12も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』1－2。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

モルモン書のタイトルページ。モルモン書はイエス・キリストについてのもう一つの証（あかし）である。（20－25分）

モルモン書のタイトルページが記された目的を生徒に理解させるために，はしがきや序文が挿入されている書物を3冊か4冊クラスに持参する。それぞれの書物の目的を生徒に質問する。次に，はしがきから書物の目的を説明している部分を読む。十二使徒定員会会員時代にスペンサー・W・キンボール長老が執筆した『赦（ゆる）しの奇跡』などがよい例である。キンボール長老ははしがきで次のように説明している。

> 「本書を出版する目的は，単に読書の楽しみを提供することではない。わたしは人々が自らの犯した罪や不道徳な行為を悔い改め，また人生を清く完全なものにしようとする気持ちを抱いてほしいと望んでいる。したがって本書を通じて多くの読者に役立つ，聖句，経験，勧告を提供したいと思う。」（〔1969年〕，ix）

モルモン書のタイトルページを開いて，モルモン書の目的を見つけるように言う。生徒が見つけた事柄を黒板に書き出す。エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を読む。

> 「モルモン書のおもな目的は，そのタイトルページに書かれているように，『ユダヤ人と異邦人に，イエスがキリストであり，永遠の神であり，すべての国民に御自身を現されることを確信させるもの』です。
>
> 誠心誠意で真理を求める人は，霊感あふれるモルモン書の言葉について祈りの気持ちをもって深く考えるなら，イエスはキリストであられるとの証を得ることができます。
>
> モルモン書の聖句のうち半分以上は主について述べたものです。キリストに対する様々な呼び名の中には，新約聖書よりモルモン書に頻繁に出てくるものもあります。
>
> モルモン書の中で，主は実に100以上の呼び名で記され，それらの呼び名には，イエスの神性を示す特別な意味があります。」（「キリストのみもとに来て」『聖徒の道』1988年1月号，90）

モルモン書がそのおもな目的を果たしていることを示す例を聖句の中から挙げるよう生徒に言う。モルモン書がイエス・キリストに焦点を絞っていることを示すために，次の一覧表を話し合いの中で活用する。

モルモン書におけるイエス・キリストの呼び名

書　名	キリストの呼び名や称号	書中の節数	その呼び名が何節ごとに出てくるか
1ニーファイ	474	618	1.3
2ニーファイ	591	779	1.32
ヤコブ	156	203	1.3
エノス	22	27	1.23
ジェロム	8	15	1.88
オムナイ	20	30	1.5
モルモンの言葉	15	18	1.2
モーサヤ	492	785	1.6
アルマ	1,013	1,975	1.95
ヒラマン	225	497	2.21
3ニーファイ	293	788	2.69
4ニーファイ	42	49	1.17
モルモン	188	227	1.21
エテル	220	433	1.97
モロナイ	166	163	0.98
合　計	3,925	6,607	1.68

（スーザン・イーストン・ブラック，*Finding Christ through the Book of Mormon*〔1987年〕16より翻案）

モルモン書の著者たちはイエス・キリストを意味する様々な名や称号を用いて，約1.7節に1回イエス・キリストについて言及していることを生徒に理解させる。これに対して，新訳聖書の著者たち

のキリストへの言及は平均2.1節に1回である（スーザン・イーストン・ブラック，*Finding Christ through the Book of Mormon*〔1987年〕15参照）。

イエス・キリストを証している節の具体的な例として，生徒に2ニーファイ25：23－26を読むように言う。次のように質問する。「この聖句によれば，モルモン書の預言者たちはどのようなメッセージを伝えようとしているでしょうか。」

モルモン書がイエス・キリストを証していることについてあなた自身の証を分かち合う。

モルモン書の序文

はじめに

モルモン書の序文は原典となる版に含まれていたものではない。序文が最初に挿入されたのはモルモン書の1981年版である。序文は現代の読者に，背景となる情報ならびにモルモン書の解説を提供している。

学び取るべき重要な福音の原則

- 預言者ジョセフ・スミスは次のように語った。「わたしは兄弟たちに言った。『モルモン書』はこの世で最も正確な書物であり，わたしたちの宗教のかなめ石である。そして，人はその教えを守ることにより，ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」（モルモン書，vi）
- モルモン書はジョセフ・スミスが神の預言者であること，イエス・キリストの福音が地上に回復されたことの証拠である（序文参照）。

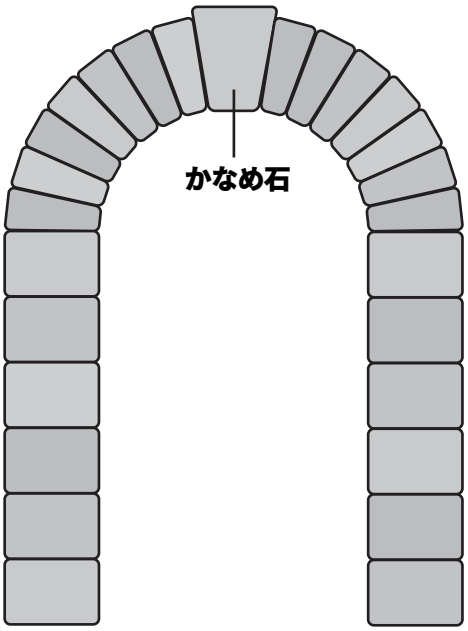
補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』2－3。

教え方の提案

序文。モルモン書は「わたしたちの宗教のかなめ石」である。（25－30分）

黒板にアーチの絵（以下の図を参照）を描くか，木またはほかの材料でアーチの模型を作る。



回復された福音に関連して，このアーチのかなめ石がどのようにモルモン書を表しているかを生徒に質問する。モルモン書から「かなめ石」に関する文章を見つけるように言う（序文の6段落目を参照）。かなめ石に関する文章を読んでから，この言葉は1841年11月28日に預言者ジョセフ・スミスが語ったものであることを説明する（*History of the Church*，第4巻，461参照）。

次のように質問する。「かなめ石はどのような役割を果たしているでしょうか。」かなめ石はアーチの最上部の中心となる石であることを説明する。アーチを建設するときに，まず，両側をそれぞれ支えながら築き上げる。アーチの最上部の空間を綿密に測って，その空間に正確に組み込めるように石を切る。かなめ石が入るとアーチは支えがなくても倒れない。次のように質問する。「かなめ石を外したら，アーチはどうなるでしょうか。」（模型を使用していれば，かなめ石を取って実演して見せる。）

生徒がアーチにおけるかなめ石の重要性を理解したところで，モルモン書はどのようにわたしたちの宗教のかなめ石となっているかを再び質問する。生徒の答えを黒板に書き出す。（詳しい情報については，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』2－3にある，「序文に関する注解」を参照する。）

以下のエズラ・タフト・ベンソン大管長の話を読んで締めくくりとする。

> 「モルモン書はわたしたちの宗教のかなめ石……〔です〕。それは預言者ジョセフ・スミスの言葉にあります。ジョセフ・スミスは『「モルモン書」はこの世で最も正確な書物であり，わたしたちの宗教のかなめ石である』と証（あかし）しています。かなめ石とはアーチの中央に置かれる石のことです。ほかの石を支える働きをしているので，取るとアーチは崩れ落ちます。
>
> モルモン書は3つの点でわたしたちの宗教のかなめ石です。それはイエス・キリストの証におけるかなめ石であり，わたしたちの教義のかなめ石であり，証のかなめ石です。
>
> イエスはすべてのことのかしら石となる御方ですが，モルモン書はそのイエス・キリストに対するわたしたちの証のかなめ石となるものです。モルモン書は力強く，しかも明快にイエスが実在の御方であることを証しています。数多くの写本家や翻訳家，内容に手を加えたよこしまな宗教家たちの手を通ってきた聖書と異なり，モルモン書（英文）は執筆者から読者に渡るまでの間にわずか一つの翻訳の段階を経たにすぎません。したがって，そこにある主の証は明快で，原文そのままで，力があります。そればかりではありません。現代ではキリスト教の多くは救い主の神性を否定しています。主の奇跡的な生誕や，完璧（かんぺき）な生涯，栄光ある復活の真実性について疑いを抱いているのです。モルモン書はそれらが真実であることについて分かりやすく，誤解のない言葉で教えています。それはまた，贖（あがな）いの教義についてこれまでになく完全な説明を与えています。確かに，神から与えられたこの霊感あふれる書物は，イエスが救い主であられるという世の人々への証のかなめ石となるものなのです。
>
> モルモン書は，また復活の教義のかなめ石でもあります。前にも触れましたが，モルモン書に『イエス・キリストの

完全な福音』（教義と聖約20：9）が載せられていると言われたのは主御自身でした。それはすべての教え，これまでに啓示されたすべての教義が載っているということではありません。むしろ，モルモン書には救いに必要な教義が完全な形で収められているということなのです。そして，それは分かりやすく簡単に教えられており，子どもでさえも救いと昇栄の道について学ぶことができるようになっています。救いの教義に関するわたしたちの理解を広めることのできる内容が多く盛られているので，これがなかったならば，ほかの聖典で教えられていることも，それほど『分かりやすくて貴い』こととして理解はされなかったことでしょう。」（「モルモン書――わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号，5－6）

ベンソン大管長の話の2段落目を自分のモルモン書の序文の空白部分に書き写すよう生徒に勧める。モルモン書を読むときに，モルモン書がわたしたちの宗教のかなめ石となる3つの点に注目するよう奨励する。

序文。モルモン書は「この世で最も正確な書物であり」，わたしたちは「その教えを守ることにより，……神に近づくことができる。」（20－25分）

最近出版された科学，数学，小説，歴史に関する本を見せる。その中にモルモン書を含めておく。以下の質問をする。

- これらの書物の中で最も正確な書物はどれでしょう。
- ある書物はどのような意味でほかの書物より正確であると言えるでしょうか。
- モルモン書はどのような意味で最も正確な書物であると言えるでしょうか。

モルモン書の序文の6段落目から「かなめ石」に関する預言者ジョセフ・スミスの言葉を読む。

教会はモルモン書の初版が発行されて以来，版を新しくする度に用字用語の誤りや誤植を訂正してきたことを指摘する。次のように質問する。「これらの間違いがありながら，モルモン書はどうして最も正確な書物と言えるでしょうか。」生徒の答えを黒板に書き出す。以下のような答えが考えられる。

- モルモン書には「イエス・キリストの完全な福音」が収められている（教義と聖約20：9）。
- 「人はその教えを守ることにより，ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」（序文）
- モルモン書はイエスがキリストであられることを証（あかし）している（タイトルページ参照）。

十二使徒定員会会長時代にジョセフ・フィールディング・スミス会長が語った以下の言葉はこの質問に答えるうえで助けになると思われる。

「〔モルモン書の〕初版には幾つかの製版上の誤りや，恐らくは1，2の語が抜けるという誤りがありましたが，これらは避けられないものでした。細心の注意を払い，恵まれた状況で書籍を出版している人々であっても，残念ながら，誤植や機械上の間違いに気づいたり，時にはそういった間違いが最終の校正を終えた後に発生することがあります。

……変更箇所のリストを綿密に検討してみると，……原文と完全に一致しなくなってしまった変更や追加部分が一か所もないことが分かります。原稿に書かれた概念を変更したり，付け加えたりした箇所は一つもなく，句読点や，訂正を必要とする細かい部分を変更しただけです。そのような変更は，……文章を明確にするため，また脱落していた部分を示すために行うものだということは明白です。わたしは初版の誤りや脱落はほとんどが植字工と印刷工の間違いによるものであったと考えています。*最初の校正の段階で預言者ジョセフ・スミス自身がこれらの誤りを数多く見つけて，訂正しました。*」（*Answers to Gospel Questions*，第2巻，199－200）

展示している書物を指して，次のように質問する。「科学や数学，歴史の本を持っていれば，偉大な科学者や数学者，歴史家になることができるでしょうか。」生徒の答えについて話し合う。モルモン書に関して，以下の質問から幾つかを選んで質問する。

- この書物はわたしがまことのクリスチャンになるためにどのように役立つでしょうか。
- この書物を持っているだけ，あるいは読むだけでは不十分なのはなぜでしょうか。
- 教えとは何でしょうか。（指示，教え，戒め，原則）
- モルモン書の教えにはどのようなものがあるでしょうか（1ニーファイ17：3；アルマ30：60；ヒラマン3：20参照）。
- 預言者ジョセフ・スミスによれば，神に近づくためにわたしたちはこれらの教えをどうしなければならないでしょうか。（それらを守らなければならない。）
- 守るとはどういうことでしょうか。（教えを実践する，教えに従う。）
- モルモン書の教えに従って生活することはなぜそれほど大切なのでしょうか。
- 数学書を研究することによって数学者になることができ，科学書を研究することによって科学者になることができるとすれば，モルモン書の教えを研究し，応用することによってわたしたちは何になることができるでしょうか。

大管長会の一員であったマリオン・G・ロムニー長老の以下の話を紹介する。

「家庭にあって両親が，夫婦で，また子どもを交えて家族で，ともに祈りをもって定期的にモルモン書を読むようにするならば，家庭はこの偉大な書物からわき出る特別な力で包まれ，家族一人一人がその力強い影響を受けることでしょう。家庭はこれまで以上に敬虔（けいけん）な雰囲気に包まれ，一人一人が互いに尊敬し合い，関心を持つようになります。そして，いがみ合うようなことがまったくなくなります。また両親は愛と知恵の中で子どもたちを諭すようになり，子どもたちは以前にも増して両親の勧めに快く従うようになります。義は増し加えられ，信仰と希望，キリストの純粋な愛が家庭や日常生活に満ちて，平和と喜びと幸福がもたらされることでしょう。」（「モルモン書」『聖徒の道』1980年9月号，102）

モルモン書に対するあなたの証を述べる。

証人たちの証

はじめに

モルモン書の中で預言されているように，主は聖なる証人の律法を満たすため，この神権時代にモルモン書の証人となる人々を選ばれた。「三人の証人の証」と「八人の証人の証」はモルモン書の初版から常に収められてきた。

学び取るべき重要な福音の原則

- 主はモルモン書の証人となる人々を選ぶことによって，証人の律法を満たされた（「三人の証人の証」「八人の証人の証」「預言者ジョセフ・スミスの証」参照。教義と聖約6：28も参照）。
- モルモン書は金版に記された古代の記録を霊感によって翻訳したものである（「三人の証人の証」「八人の証人の証」「預言者ジョセフ・スミスの証」参照。教義と聖約1：29；20：8も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』3。

教え方の提案

モルモン書の証人たちの証。主はモルモン書の証人となる人々を選ぶことによって，証人の律法を満たされた。（15－20分）

七十人の一員であった当時のブルース・R・マッコンキー長老が記した以下の言葉を読む。あなたが読んでいる間に，できれば生徒たちの知らないだれかに，教室に入って来て，あなたが教室のどこかにあらかじめ置いておいた大切なものを手に取ってそのまま教室を出て行ってもらうように手配しておく。

「主は福音を啓示し，神権と鍵を人に授けて新しい神権時代を確立されたときに，必ず自ら定められた証人の律法に従って事を進められました。それは『すべての事がらは，ふたりか三人の証人の証言によって確定する』という律法です（2コリント13：1；申命17：6；19：15；マタイ18：15－16；ヨハネ8：12－29）。

啓示された真理に基づいて新しい神権時代を確立する場合であっても，そのメッセージや警告を世の人々に伝えるという重荷を果たしていく場合であっても，一人だけでそれを行うようなことは決してありません。アダムから現代に至るどの神権時代を見ても，常に二人かそれ以上の証人が証を重ねてきました。これによって，それを聞く人々が証を否定した場合，裁きの日に言い逃れをする余地を与えないようにしているのです。」（*Mormon Doctrine*，第2版〔1966年〕，436）

証人の律法がなぜそれほど大切かについて生徒の意見を求める。この原則を説明するために，以下の質問をする。

- 教室に入って来た人はどのような人でしたか（その人の身長，体重，性別，髪の色と長さ，その他について生徒から意見を求める）。
- その人はどのような服装をしていたでしょうか。
- その人は何時何分に教室に入って来たでしょうか。
- その人は何をしたでしょうか。
- その人は何を持って行ったでしょうか。

出来事を再現してみる。それから以下の質問をする。

- 複数の証人がいることにはどのような価値があるでしょうか。
- 出来事を再現する際に，証人がたくさんいるとどのように助けになるでしょうか。
- 証人の律法は真理を確立するためになぜ役立つのでしょうか。

生徒に「三人の証人の証」と「八人の証人の証」，教義と聖約第17章の前書きと1節を素早く読むように言う。生徒に2組の証人たちが経験した事柄を挙げさせ，それを黒板に書き出す（以下の表を参照）。

三人の証人	八人の証人
1. 一人の天使が，版，ウリムとトンミム，胸当て，リアホナ，ラバンの剣を見せた。	**1. ジョセフ・スミスが版を見せた。**
2. 記録が神の力によって翻訳されたことを宣言する神の声を聞いた。	**2. 手で版に触れた。**

2組の証人たちの経験がどのように自分自身の証を強めるのに役立ったかについて生徒に質問する。教義と聖約8：2を読んで，個人の証は思いと心を通してどのように強められるかについて話し合う。

前もって一人の生徒に，モルモン書の序文から「預言者ジョセフ・スミスの証」を声を出して読む準備をしてくるように頼んでおく。（生徒は滑らかにまた気持ちを込めて読むことができるように練習する必要がある。）その生徒に「預言者ジョセフ・スミスの証」を読ませる。ほかの生徒たちには，ジョセフ・スミスがモロナイの訪れによって何を学んだかを注意して聞くように言い，それらを黒板に書き出す。（天使はどのような姿をしているか，記録はどのようなものだったか，記録を翻訳した方法，どのように準備したか，記録の保管についての厳しい指示，などが含まれる。）

預言者ジョセフ・スミスの証とほかの11人の証を比較させる。モルモン書の証人はほかにいるかどうかについて質問する（例えば，預言者たち，教師たち，両親，家族など）。預言者ジョセフ・スミスが神聖な使命を帯びていたことについて，ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように語った。

「わたしは以上のことを知っている。主がこれらのことを啓示されたので，バプテスマを受けたときからこれらの知識を得ている。わたしは全能者の力がこの民を導いていることとわたしたちが主の戒めを守り，光と真理の中を歩む聖約の下にいることを知っている。教会員は皆以上のことが真実であること，モルモン書が真実であること，この末日の業の行く末が真実であること，そしてそれが啓示されたとおり必ず成就することを心から証し，宣言することができるとわたしは固く信じている。」（『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編，全3巻，第1巻，192）

御霊（みたま）の促しを感じたらモルモン書の証を分かち合うよう生徒に勧める。

ニーファイ第一書

リーハイの息子ニーファイが記したニーファイ第一書はモルモン書の最初の書である。ニーファイ第一書は小版から翻訳された。小版には1ニーファイからオムナイ書までが含まれている。ニーファイがこの記録を作るように命じられたのはエルサレムを去ってから30年後のことだった（2ニーファイ5：28－33参照）。ニーファイは，おもに「もろもろの王の統治と，わたしの民の戦争や争い」を記した別の記録をつけていた。しかしながら，小版はおもに「務め」（1ニーファイ9：4）と「神に喜ばれる事柄」（2ニーファイ5：32）に焦点が絞られていた。ニーファイは記録する目的を「人々がアブラハムの神，イサクの神，ヤコブの神のもとに来て救われるように，説き勧めることである」（1ニーファイ6：4）と書いている。

ニーファイはニーファイ第一書の冒頭から8章までを割いて，父リーハイの記録を短くまとめたものを刻んだ（1ニーファイ1：17参照）。ニーファイは9章でさらに，記録者としての自らの責任と，責任に対する姿勢について述べている。「わたしの統治と民に対するわたしの務め」（1ニーファイ10：1）について記録を始めたのは10章からである。

はじめに

「わたしたちの宗教のかなめ石」であるモルモン書は，主の召しに従った両親の物語を感謝を込めて息子がつづった家族の記録として幕を開けている。しかしながら，全員が従順であったわけではなかった。ユダヤ人は預言者たちのメッセージを受け入れず，レーマンとレムエルは父親と主につぶやき，反抗した。あくまでも忠実であったニーファイは次のような啓発と希望のメッセージを記録している。「主の深い憐れみは，信仰があるために主から選ばれたすべての者のうえに及び，この人たちを強くして自らを解放する力さえ与えることを，わたしニーファイはあなたがたに示そう。」（1ニーファイ1：20）

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- 記録をつけることは神の律法である。霊感によって記された記録はわたしたちにとって聖文や歴史となり，わたしたちの記憶を増し加える役割を果たす（1ニーファイ1：1－3参照。1ニーファイ6；9；教義と聖約21：1も参照）。
- 啓示を受けるには心から，またへりくだって祈ることが不可欠である（1ニーファイ1：4－18参照）。
- もしわたしたちが主を信じる信仰を持ち，主の戒めを守るならば，主はわたしたちに霊感を与え，苦難を克服するように助け，悪から解放してくださる（1ニーファイ1：14，20；2：1－2；3：7；4章参照）。
- わたしたちは心から祈ると同時に，霊的なことについて知りたいと望むことによって，心が和らげられ，証が強められ，従順になることができる（1ニーファイ2：12－17参照。1ニーファイ11：1；15：7－11も参照）。
- わたしたちが忠実であり，従順であるならば，主は御自分の目的を成し遂げるための方法を備えてくださる（1ニーファイ3：7；4章参照）。
- 聖文には大きな価値がある。聖文は神の戒めを教える。また，聖文は神が子らに対して行ってこられたことの記録であり，御霊を招く（1ニーファイ4：10－17；5章参照）。
- 忍耐と愛をもって対応するならば，わたしたちは人々の信仰をはぐくむ手助けができる（1ニーファイ5：1－9参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』4－7。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

1ニーファイ1：1－3，16－17。記録をつけることは神の律法である。霊感によって記された記録はわたしたちにとって聖文や歴史となり，わたしたちの記憶を増し加える役割を果たす。（20－25分）

様々な記録の方法があることを紹介するために，日誌，学校の年鑑，日記を数冊クラスに持参する。その中から抜粋して数か所を読む（内密事項や生徒を当惑させるような内容，個人的な内容のものを避ける）。

日誌や日記，歴史を記録するには様々な方法があることを生徒に話す。生徒になじみのある記録を黒板に書き出す（日誌，年鑑，新聞，歴史書など）。次に個人の記録の書き方について様々な方法を黒板に列挙する（日記をつける，伝記を書く，個人的な観察を記録する，生活の出来事の日時や場所を書き留める，など）。日記や日誌の書き方は個人で決める事柄であることを指摘する。生徒自身が日誌に記録する情報が，将来どのように役立つと思うかについて生徒の意見を求める。

ニーファイの記録は聖文であって，単なる個人の日誌ではないが，わたしたちが日誌に何を書くかを決めるに当たってニーファイが採用した原則を応用できることを説明する。1ニーファイ1：1－3を読む。「ニーファイはなぜこの記録を作ったのでしょうか。」生徒に，1ニーファイ6：1を読んで，ニーファイはだれの記録を読むことができたかを見つけるように言う。「この聖句によれば，

リーハイの記録にはどのようなことが載っていたでしょうか。」

生徒に1ニーファイ9章の前書きを読むように言う。ニーファイが作った二つの記録の違いについて話し合う。『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』の172－173ページにある表をオーバーヘッドトランスペアレンシーまたは配付資料として複製する。これらの表と，モルモン書の目次の前のページにある「『モルモン書』についての概説」を活用しながら話し合いを進める。以下のような質問が役立つと思われる。

- ニーファイの大版と小版の大きな違いは何でしょうか。
- モルモン書の現在の版にはなぜ，モルモンが短くまとめたニーファイの大版が含まれていないのでしょうか。
- 1ニーファイはニーファイの大版と小版のいずれに記されていたでしょうか。
- ニーファイの小版とモルモンの版にはどのような違いがあるでしょうか。

生徒に1ニーファイ1：16－17を読んで，ニーファイは自分の記録に何を載せようと計画していたかを見つけるように言う。ニーファイが実際に記録した事柄を生徒に紹介するために，以下の表を黒板に書く。

1ニーファイ1－8章	父の記録をニーファイが短くまとめたもの
1ニーファイ9章	2組の記録に関するニーファイの説明
1ニーファイ10章－2ニーファイ33章	自分の生涯と教えに関するニーファイの記録

自分と家族の歴史を記録することについてどのような計画を持っているかを生徒たちに尋ねる。スペンサー・W・キンボール大管長が語った以下の話を読む。

「わたしたちが自分の祖父母の日記を見つけて，その苦労や喜びから彼らをしのび，先祖の経験や信仰や勇気から多くの教訓を得ることができるというのは実に大きな祝福です。

そこで，教会の若人にお勧めします。今日から，自分の生活に起きる重要な出来事を，万一両親が先祖のそうした出来事について記録していなければそれも含めて，すべて記録してください。個人の日記には，チャレンジにどのように立ち向かったかを記録するとよいでしょう。生活環境が変わるから，子孫にとってこのような経験は無意味だなどと考えないでください。働いた経験，人々とのつきあい，これをして良かった，あれをして悪かったというのもよいでしょう。……

あらゆる人にはそれぞれの持ち味があるはずです。困難を克服し，闘いながら成功を勝ち取った人の伝記を読んで，何も学び取ることのできない人がいるでしょうか。こうした記録は人類の進歩の道標です。

偉人の伝記を読むと，彼らが一夜にして有名になったり，生まれついての専門家や優秀な職人であったりしたわけではないことが分かります。彼らが偉大な人となるまでの経過をつづった話は，わたしたちすべてにとって有益なものとなることでしょう。……

あなたの日記はあなたの伝記です。したがって，丁寧に記録してください。あなたという人間は一人しかいません。このためほかのどのような人の人生の記録より，もっと気高くすばらしいあなたなりの経験や出来事が書けるはずです。あちらこちらにきらめきを持つ言葉や信仰の話があることでしょう。あなたは正直に，他人の目から見た自分ではないほんとうの自分を記録すべきです。

まだ記憶が新鮮で，詳しいことを覚えているうちに日記に書き留めるのです。……

苦難を乗り越えたこと，挫折（ざせつ）から立ち直ったこと，八方ふさがりの中でも進歩を続けたこと，目的を成し遂げた喜び，これらを記した一生の記録を残すこと以上に，子どもや孫のためにしてやれることがあるでしょうか。……

教会の若人に申し上げます。日記帳を用意して生涯の記録を書き留めてください。天使たちは永遠にわたってあなたの記録から引用することもあり得るのです。今日から始めて，生活のあれこれや心に深く考えていること，達成したことや失敗，人々との交わりや成功，印象に残ったこと，そしてあなたの証（あかし）を記してください。救い主は大切な出来事を記録しなかった人々をとがめられたことを忘れてはなりません。」（「永遠にわたる記録」『聖徒の道』1977年6月号，300－301）

1ニーファイ1：4－18。啓示を受けるには心から，またへりくだって祈ることが不可欠である。（20－25分）

生徒に1ニーファイ1：4－18を読んで，その内容を短い文章にまとめて紙に書くように言う。生徒が書いた事柄について話し合う。

十二使徒定員会会員に召される以前のジェフリー・R・ホランド長老が語った以下の話を紹介する。父親が娘のドナにモルモン書を理解できるように助けている。父親は娘に第1章を黙読するよう勧めた。

「ドナ：……おしまい。読んだわ。

父親：よし。何を言っていると思う？

ドナ：パパ，***読んだ***って言ったのよ。意味が分かったなんて言ってやしないわ。

父親：そうか，じゃあもう一度読もう。今度は少しゆっくり，それから声を出して読もう。そして読みながら話そう。

しばらくの間，聖句を読み，話し合ってから，二人は章のあらすじをまとめることにした。

父親：それじゃあ，ここに1章のあらすじを書いてみようか。こんな具合じゃないかな。

預言者が祈る

示現を見る

天使を見る（イエスも含む）

書物を受け取る

ほとんどの人から拒まれる

ドナが説明してくれた1章は大体こんなふうだ。おなじみのパターンが見えるかな。

ドナ：おなじみですって。そうかなぁ。

父親：よく考えてごらん。

ドナ：そうね，ジョセフ・スミスのときみたいね。そうだ！　ジョセフ・スミスのときに似てる。すごい。どうして？　パパ。」

生徒に以下の質問をする。

- この物語の中で行った要約とあなたの書いた要約には共通する事項がどれほどあるでしょうか。
- あなたはドナの質問に何と答えるでしょうか（生徒たちの答えについて話し合う）。
- ドナと父親が書き出したパターンから，ほかの預言者の経験を思い出すことができるでしょうか。それはだれですか。（エゼキエル，黙示者ヨハネ，その他。）

ホランド兄弟の話から父親の答えを読む。

「一つの答えになると思うけど，預言者はだれでもたいてい似たような経験をするよ。どんな場合でも，わたしたちが*知っている*のは，預言者はみんな主から啓示を受けるってことだね。ジョセフ・スミスはね，あるときこう言った。啓示はどんなときにもイエス・キリスト教会の土台となる岩で，啓示がなければ決して救いはないって〔*Teachings of the Prophet Joseph Smith*（Deseret Book Co.，1970年），274〕。ドナ，この本は啓示について説明している一つの長い啓示だと思うよ。そして，イエス様が本全体の主人公だ。この最初の20節は，それから先にどんなことが書かれているかよく説明していると思うんだ。最初の章に実にぴったり，おあつらえ向きなんだよ。

それから，こんな書き出しでモルモン書が始まっているもう一つの理由として，もしもリーハイとモルモン書を受け入れたら，ジョセフ・スミスを神の預言者として受け入れざるを得ないっていうこともあると思うよ。それから逆に，ジョセフ・スミスを預言者として受け入れたら，彼が翻訳したこの本の教えを受け入れて忠実に守らなければならなくなる。

ある意味でだね，ドナ，この記録はニーファイやアルマやモルモンやモロナイの証（あかし）だけでなくて，ジョセフ・スミスやブリガム・ヤング，ハロルド・B・リー，スペンサー・W・キンボールの証でもあるんだ。モルモン書の翻訳を終えて出版されるまで教会が組織されなかった訳は，それだと思うんだよ。」（「聖典を生きたものに」『聖徒の道』1976年9月号，448－449）

モルモン書の記録が祈りで始められているように，モルモン書に対する証も祈りによって始められなければならないことについて証を述べる。今年1年を通じて，生徒がモルモン書を読み，研究するときに，モルモン書が真実であることの証を求めて熱心に祈るよう強く勧める。

1ニーファイ2：1－20。もしわたしたちが主を信じる信仰を持ち，主の戒めを守るならば，主はわたしたちに霊感を与え，苦難を克服するように助け，悪から解放してくださる。（20－25分）

クラスが始まる前に，以下の目盛りを黒板に書いておく。

1　2　3　4　5　6　7　8　9　10

不従順 ―――――――――― 従順

次のように質問する。もしあなたの両親が，家や財産を残したまま，生きていくために必要なだけの食糧と器材を持って，家族全員で荒れ野へ行くと言ったら，あなたはどのように思うでしょうか（あなたが親の役を務め，4人の生徒が子供役を務めて，この質問をロールプレーで演じてもよい）。黒板に書いた採点表を見て，どれほど従順になれるかを生徒たちに考えさせる。次のように質問する。「天父が荒れ野へ行くように両親に語られたことを知ったとしたら，あなたの気持ちはどのような影響を受けるでしょうか。」生徒たちに従順の度合いを判断させる。「従順の度合いが変わったでしょうか。なぜ変わったのでしょうか。あるいはなぜ変わらなかったのでしょうか。」生徒と一緒に1ニーファイ2：1－5を読んで，そのような移動がどれほど難しいことであったかについて話し合う。

生徒に1ニーファイ2：6－10を読んで，リーハイが息子たちに望んだ特質を見つけるように言う。（「絶え間なくあらゆる義の源に流れ込むように」と「主の戒めを守ることにおいて堅く確固として，揺るぎなくあるように」）これらの聖句の意味について話し合う。生徒がそれぞれの生活でどのように応用したらよいかを理解できるように助ける（例えば，仲間からどれほど圧力を加えられても，知恵の言葉を守る）。

生徒に1ニーファイ2：11－14を読んで，レーマンとレムエルの従順の目盛りはどこを指すかを考えさせる。「12節によれば，彼らはなぜつぶやいたのでしょうか。彼らはどうすればその状況に正しく対応できたでしょうか。」

1ニーファイ2：16－20を読んで，ニーファイとサムの従順の目盛りはどこを指すかを考えさせる。「この目盛りはレーマンとレムエルの指した目盛りと比較するとどれほど違うでしょうか。」

リーハイの4人の息子たちは皆同じ旅をしたが，態度が違っていたことを指摘する。クラス全員でニーファイ，サム，レーマン，レムエルの示した従順がどのように違うかを比較する。以下の表に挙げられている聖句を活用する。表から聖句だけを抜き書きし，少しヒントを加えて作った配付資料を生徒に完成させ，その後で話し合ってもよい。

ニーファイ	サ　ム	レーマンとレムエル
「善い両親」であることを認めていた（1ニーファイ1：1）。	家族とともに荒れ野を旅した（1ニーファイ2：5参照）。	父に対してつぶやいた（1ニーファイ2：11－12参照）。
主とかかわりのあることに心を集中させた（2：16参照）。	ニーファイの言葉を信じた（2：17参照）。	この世の宝を重視した（2：11参照）。
反抗的な兄たちのために祈った（2：18参照）。	ニーファイと一緒にエルサレムへ行った（3：9参照）。	サムとニーファイをののしり，迫害した（3：28；7：16，19参照）。
版を手に入れるようにとの主の命令に信仰をもってこたえた（3：7参照）。	レーマンとレムエルからの体罰に耐えた（3：28－29参照）。	「難しい」と言って，主の命令に対してつぶやいた（3：5）。
恐れなかった（3：15，21；7：8－15参照）。	イシマエルの家族を連れて来るために兄弟とともにエルサレムへ戻った（7：2－5参照）。迫害を堪え忍んだ（7：6参照）。	すぐにあきらめた（3：14；7：6－7参照）。
忠実であるように，また主だけに頼るように兄たちに勧めた（3：15－21；4：1；7：8－21参照）。		人の力に頼り，人の力を恐れた（3：31参照）。
御霊（みたま）の導きにすぐさまこたえた（4：5－18参照）。		反抗したため，霊的に大きな祝福を自ら拒んだ（2：9－12参照）。
悪事を心から赦（ゆる）した（7：21参照）。		謙遜（けんそん）と反抗を繰り返した（2：9－10，14章；7：19－20参照）。

十二使徒定員会会員であったブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読む。

「従順は天の第一の律法です。すべての進歩，すべての完成，すべての救い，すべての神性，すべての正しく，公平で，真実なこと，すべての良いことは，永遠である御方の律法に従う人にもたらされます。永遠にわたって，神の戒めを守ること以上に大切なことはありません。」（*The Promised Messiah: The First Coming of Christ*〔1978年〕，126）

以下の質問をする。

- ニーファイ，サム，レーマン，レムエルの生活にはこの言葉の真実であることがどのように表されているでしょうか。
- あなたの生活にはこの言葉がどのように反映しているでしょうか。

1ニーファイ3：7（マスター聖句）。わたしたちが忠実であり，従順であるならば，主は御自分の目的を成し遂げるための方法を備えてくださる。（20－25分）

以下の質問をする。

- 教会の召しは常に個人の都合に合っているでしょうか。
- あなたが果たすのが難しいと感じたり，非常に多くの時間を取られると感じたりする召しにはどのようなものがあるでしょうか。
- そのような召しを受けた人々に対してあなたはどのような言葉をかけることができるでしょうか。
- どれほど難しいように見えても，どれほど多くの時間を取られるように感じても，あらゆる召しを受け入れるためにはどのように準備したらよいでしょうか。

「み旨のまま行かん」（『賛美歌』172番）を歌うか，歌詞を読む。生徒たちに各節のテーマを見つけるように言う。見つけたら，それらを黒板に書き出して，クラス全体で話し合う。

1番：「み旨のまま行かん」
2番：「よきおとずれを響かせん，みこころのままに」
3番：「心の誠尽くさん，みこころのままに」

折り返し部分にテーマが集約されていることを指摘する。

1ニーファイ3－4章を全員で読み，これらの章とこの賛美歌との関係を見つける。読みながらコメントを入れたり，あなたが得た洞察を分かち合う。質問やコメントがある場合はいつでも自由に発言するよう生徒に奨励する（関連情報として『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』5－7参照）。

注意：マスター聖句である1ニーファイ3：7を特に強調する。読んでいる途中でこの箇所に来たときでも，あるいは3－4章を全部読み終わった後でも強調できる。黒板に書き出したリストに生徒の注意を向けて，これらのテーマのうち幾つがニーファイに該当するかを尋ねる。黒板に，「従順，信仰，信頼」と書いて，以下の質問をする。

- ニーファイが従順，信仰，信頼の特質を持っていたことはどのようなことから分かるでしょうか。
- これらの特質のうちレーマンとレムエルに欠けていたものはどれでしょうか。
- これらの特質のうち宣教師として奉仕するにはどれが必要でしょうか。
- 現在のあなたにとって実行するのが最も難しい特質はどれでしょうか。
- ニーファイのレベルまでこれらの特質を伸ばすにはどうすればよいでしょうか。

十二使徒定員会時代に語ったゴードン・B・ヒンクレー長老の以下の話を読む。

「わたしは14歳か15歳のころ，ヒーバー・J・グラント大管長が少年時代にモルモン書を読んで経験したことを自ら話すのを，このタバナクルの時計の真後ろのバルコニーに座って聞いていたことを覚えています。グラント大管長はニーファイが彼の人生に及ぼした偉大な影響について話しました。それから，グラント大管長は次のようなニーファイの偉大な言葉を，決して忘れられない確信に満ちた声で引用しました。『わたしは行って，主が命じられたことを行います。主が命じられることには，それを成し遂げられるように主によって道が備えられており，それでなくては，主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。』（1ニーファイ3：7）

このとき，若いわたしの心の中に，主が命じられることを行うよう努力する決心が生まれたのです。」（「もしあなたが快く従うなら」『聖徒の道』1972年11月号，491）

生徒たちに，宣教師に手紙を書いて，伝道を通して1ニーファイ3：7をどのように体験しているか質問するように言う。

1ニーファイ4：1－18。ニーファイは「前もって自分のなすべきことを知らないまま，御霊に導かれて行った。」（20－25分）

預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を読む。

「神は『あなたは殺してはならない』〔出エジプト20：13〕と言われました。別のときに『みな滅ぼ〔さ〕なければならない』〔申命20：17〕と言われました。王国の子らの置かれている状況に応じた啓示が与えられるというこの原則によって，天は治められています。神が要求されることは何であっても，たとえその出来事から長い年月がたつまでその理由がわたしたちには分からなくても，正しいのです。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕256）

1ニーファイ4：1－18を読んで，預言者ジョセフ・スミスの言葉が，ニーファイがラバンを殺した出来事にどのように当てはまるかを見つけるよう生徒に言う。ニーファイはラバンを殺すべきであることをどのようにして知ったかを質問する。（ニーファイは御霊に命じられた。10，12－14，18節参照）次のように質問する。「ニーファイはほかにどのような知識に基づいて行動していたでしょうか。」生徒の答えを黒板に書き出す。以下のような答えが考えられる。

- ニーファイはすでに主から啓示を受けていたため，それが神の御心であることにまったく疑いを抱いていなかった（1ニーファイ2：15－16，18－24参照）。
- 主はニーファイと兄たちに，預言者である父リーハイを通じて，版を手に入れるように命じておられた（1ニーファイ3：1－4参照）。
- ニーファイは自分が受けた召しの範囲内で行動していた（1ニーファイ4：17参照）。
- ニーファイは自分の持っていた聖文の知識から，家族が常に戒めに忠実である必要があることを知っていた（1ニーファイ4：15－16参照）。
- ニーファイは御霊の導きに従っていたおかげでラバンを見つけることができた（1ニーファイ4：5－8参照）。

黒板に「生ける預言者」「神の召し」「聖文」「聖霊」と書く。これらはわたしたちが天父の御心を知るために天父から与えられている方法であることを説明する。生徒にモルモン書ヤコブ7：10－12を読んで，ヤコブがキリストを否定するシーレムに真理を納得させるために用いた知識の源を見つけるように言う。（ヤコブは上記のすべてを用いた。ヤコブ1：18－19参照）もしわたしたちが神の戒めに従っており，また自分の召しの範囲内で行動しているならば，これらの真理の源は欺きを避けるための助けとなる。次のように質問する。「ニーファイが神の従順な僕であったことはどのようなことから分かるでしょうか。」（一つの答えとして，1ニーファイ3：7に記されている父に対するニーファイの態度を挙げることができる。）

十二使徒定員会会員であった当時にエズラ・タフト・ベンソン長老が語った以下の言葉を読む。

「皆さんが欺かれないために，3つの簡単なテストを提案してみたいと思います。……

1. そのことについて標準聖典は何と言っているでしょうか。『ただ律法とあかしとに求めよ。まことに彼らはこの言葉によって語らなければ，それは彼らのうちに光がないからである』とイザヤは語りました（欽定訳イザヤ8：20より和訳）。……

わたしたちは熱心に聖文を研究しなければなりません。わたしたちにとって特に大切なのはモルモン書と教義と聖約です。……

2. 第2の指針です。そのことについて教会の末日の預言者たち，特に生ける預言者は何と言っているでしょうか。……

現在地上で教会に対して語る人はただ一人しかいません（教義と聖約132：7；21：4参照）。それは大管長です。大管長は，今日のわたしたちに神の言葉を授けているのですから，彼の言葉は亡くなった預言者たちの言葉よりも，いっそう直接的な重みを持っています。聖霊の導きのもとに語るとき，彼の言葉は聖文となるのです（教義と聖約68：4参照）。……

3. 第3の，そして最後のテストは聖霊すなわち御霊のテストです。この御霊によってわたしたちは『すべてのことの真理を知る』のです（モロナイ10：5）。このテストは，神との間の交流経路が聖く，徳高く，罪によって汚されていない場合にのみ完全な効力を発揮します。」（*Conference Report*，1963年10月，16－17）

次のように質問する。「わたしたちは生活の中で神の御心を知るにはどうすればよいでしょうか。」

1ニーファイ4：5－18。聖文は人の子らにとって大きな価値がある。（10－15分）

生徒たちに，乗っていた船が難破して南太平洋の島に漂着した

と想像するように言う。嵐の激しさはまだ衰えておらず，以下のものから一つだけしか持って行けないとする。次のように質問する。「あなたはどれを持って行きますか。なぜですか。」

- 衣類
- 武器
- 工具
- 小説
- テーブルといす
- 毛布
- 聖典

1ニーファイ4：5－18を読んで，聖文が一つの民にとってどれほど大切なものかを見つけるように言う。一人の生徒にオムナイ1：17を読んで，ニーファイの民と，モーサヤが発見した記録を持っていなかった民とを比較させる。次のように質問する。「ラバンという一人の人の死によって，一つの民族がどのように救われたでしょうか。」

自分の家族の生活にとって聖文がどれほど大切か，生徒に実例を話してもらう。

1ニーファイ5：1－9。忍耐と愛をもって対応するならば，わたしたちは人々の信仰をはぐくむ手助けができる。（15－20分）

以下の状況を紹介する（または，何人かの生徒にロールプレーで演じさせる）。ある家族が伝道に出ている二人の息子を支えるために経済的に苦しい生活をしています。家族は全員が心から主と福音を愛していますが，息子たちあるいは兄弟たちがいなくて寂しく思っていました。ある日の晩，家族は重苦しい雰囲気の中で，お金がないことについて話し合っていました。すると片方の親が，主は自分たちから多くのものを求めすぎると不平を漏らし始めました。その親は二人の息子がいないことをつぶやき，二人の伝道費用を払えないと言いました。

もう片方の親は，主が実際に自分たちを祝福してこられたことを話して伴侶を慰めました。息子たちはふさわしい僕として，主に仕えています。伝道にはお金がたくさん必要ですが，家計を切り詰め，家族の犠牲によってやり繰りができています。二人とも，返し切れないほど多くのことを主が彼らと家族のためにしてくださっていると感じました。

この場面は1ニーファイ5章の出来事に似ていることを生徒に話す。類似点と相違点に注意しながら，5章を読んでいくように言う。

生徒たちに1ニーファイ5：1－3を読んで，サライアが不平を言い始めた理由を見つけるように言う。「サライアはどのようなことについて不平を言ったでしょうか。」答えを黒板に書き出す。以下のような答えが考えられる。

- リーハイは幻を見る人だった。
- リーハイは受け継ぎを捨てて，家族を連れ出した。
- リーハイの決断のせいで息子たちを失った。
- リーハイの選択のせいで自分たちも荒れ野で死ぬに違いない。

次のように質問する。「サライアの不平の中で，どれが正当化されるでしょうか。」情報をすべて手に入れる前に不平を漏らしたことがあるかどうかを生徒に尋ねる。急いで結論を下したら間違っていた，という経験を分かち合うように言う。

生徒に1ニーファイ5：4－6を読んで，リーハイは妻の不平に対してどのようにこたえたかを見つけるように言う。次のように質問する。「あなたはいわれのない批判を受けたとしたら，どのような態度を示すでしょうか。」リーハイは怒りではなく，愛と思いやりをもって対応したことを説明する。「リーハイが妻に対して理解のある対応をしたことから，わたしたちはどのようなことを学べるでしょうか。」

生徒に1ニーファイ5：7－8を読ませ，以下のように質問する。

- サライアの主に対する信仰と信頼，そして，自分の夫が預言者として召されていることに対する信仰と信頼は，どのようにして再確認され，強められたでしょうか。
- 主はなぜわたしたちが問題や困難に直面するままにしておかれると思いますか。
- 問題や困難に直面するわたしたちを助けるために，家族はどのような役割を果たすでしょうか。
- この出来事からほかにどのような教訓を学べるでしょうか。

中央扶助協会会長を務めたバーバラ・B・スミス姉妹の以下の話を読む。

> 「リーハイの妻サライアは，家と財産を捨てて荒れ野に旅立たなければならないという切ない経験をしました。彼女が味わった試練についてわたしたちは知らされていませんが，エルサレムで安楽な生活をしていただけに，徒歩での旅行やテント住まい，野外での料理などは，つらい経験だったのではないでしょうか。版を手に入れるために行った愛する息子たちのことを，帰る途中で死んでしまったのではないだろうかと案じる彼女の苦悶が書かれていますが（1ニーファイ5：2参照），そのような困難に直面していたにもかかわらず彼女は家族を愛し，また家族のために働きました。彼女は無事に帰って来た息子たちを見て，夫に荒れ野に逃げるよう命じられたのが確かに主であることを悟りました。また息子たちが無事であったことから，主がともにおられるという確信を得ました（1ニーファイ5：8参照）。だからといって環境が変わったわけではありません。相も変わらずテント生活が続きました。しかし主が導いてくださっていることを理解した彼女には，喜びと慰めがありました。光の中にあって，彼女はさらに多くの問題に対処していくことができたのです。」（「教会福祉の原則の応用――家庭における様々な問題を解決するための鍵」『聖徒の道』1983年1月号，153）

1ニーファイ5章。聖文は神の戒めを教える。また，聖文は神が子らに対して行ってこられたことの記録であり，御霊を招く。（20－25分）

たとえ命を犠牲にしてまでも手に入れたり，持ち続けたりしたいと思うようなものがあるかどうかを生徒に尋ねる。生徒の答えについて話し合う。

一人の生徒に1ニーファイ3－4章を要約して，真鍮の版を手に入れるために求められた犠牲について話すように言う。なぜそのような犠牲を払う価値があったのか質問する。生徒に1ニーファイ4：13－15；5：11－18を読んで，真鍮の版の中のどのようなことがリーハイと家族にとって非常に大切だったか見つけるように

言う。

以下の言葉合わせゲームを黒板に書く。左の欄の番号の付いた文章と右の欄のアルファベットの付いた文章から関連のあるもの同士を結びつけるように言う。答えについて全員で話し合う。

真鍮の版に収められた価値ある内容	
1. 旧約聖書の最初の5書（1ニーファイ5：11参照）	A. エレミヤ書
2. 聖なる預言者たちからの大切な贈り物（1ニーファイ5：13参照）	B. 戒めを守るため
3. リーハイと同時代にエルサレムに住んだ一人の預言者の書き記したもの（1ニーファイ5：13参照）	C. モーセの五書
4. リーハイの先祖の記録（1ニーファイ5：14－16参照）	D. すべての国民，部族，国語の民，民族に教えるため
5. 真鍮の版の将来（1ニーファイ5：18参照）	E. 家族の歴史
6. 真鍮の版は必要である（1ニーファイ4：13－15参照）	F. 預言

（正解：1－C，2－F，3－A，4－E，5－D，6－B）

生徒に1ニーファイ5：21を読んで，版がリーハイと家族にとってなぜ「大きな価値」があったかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- 版はどのように彼らが「子孫に主の戒めを残す」助けになったでしょうか。
- あなたの両親はどのようにしてあなたに主の戒めを残してくれているでしょうか。

一人の生徒に1ニーファイ5：22を声を出して読ませる。次のように質問する。「今日，わたしたちが旅行をするときに聖典を持って行くことはなぜ価値があるでしょうか。」

聖典を身近に持っていることが助けになった経験を生徒に話してもらう。

はじめに

リーハイとニーファイが家族に寄せた深い愛と気遣いがこれらの章全体に流れている。ニーファイは彼らがエジプトに売られたヨセフの子孫であることを簡単に記してから，自らの記録は「人々がアブラハムの神，イサクの神，ヤコブの神のもとに来て救われるように，説き勧める」（1ニーファイ6：4）ために記していると述べている。適切な結婚相手を得るために，エルサレムへ戻ってイシマエルの家族のもとへ行く旅が肉体的につらいものだったことを強調している。また，「家族にも食べてほしい」（1ニーファイ8：12）とリーハイが絶えず望んだ美しい命の木の夢について詳しい説明を加えている。

学び取るべき福音の重要な原則

- モルモン書の主要な目的は人々をキリストのもとへ連れて来ることである（1ニーファイ6：3－6参照）。
- 主を熱心に探し求め，主の預言者に従う人々を主は強めてくださるが，主を拒み，悪事を求める人々から御霊を退かせてしまわれる（1ニーファイ7：6－21参照。1ニーファイ1：20；10：17も参照）。
- すべての人は命の木に来るよう招かれているが，不信仰とこの世の誘惑のために，多くの人は来ようとしない（1ニーファイ8：10－36参照。マタイ13：18－23；ヨハネ3：16；アルマ5：34も参照）。
- 主は初めからすべてのことを御存じである。そして，主はすべての業を成就するために，ある方法を備えておられる（1ニーファイ9章参照。2ニーファイ9：20；モルモンの言葉1：6－7も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』9－11。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション2「ある賢明な目的のために」を1ニーファイ9章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

1ニーファイ6：3－6。モルモン書の主要な目的は人々をキリストのもとへ連れて来ることである。（15－20分）

注意：以下の実物を使ったレッスンはモルモン書のタイトルページで提案された教え方と似ている（17ページ）。以前に教えていてもこの方法を用いることを検討する。繰り返しによって生徒の記憶をよみがえらせる効果があるからである。

今日の青少年がよく知っている，適切な本と映画のビデオをクラスに持参する。それぞれの本と映画の著者と制作者はどのような目的を持っていたと思うかを生徒に尋ねる。モルモン書をかざして，質問する。「この本の著者と記録者はどのような目的をもって書いたでしょうか。」生徒に1ニーファイ6：3－4を読んで，この質問の答えを見つけるように言う。余白の部分に参照箇所として「2ニーファイ25：26」と記入して，その箇所を開き，読むように言う。この書物の目的について分からないことがあるかどうかを尋ねる。さらに，余白箇所に「2ニーファイ33：10－11」と記入して，その箇所を開き，読むように言う。次のように質問する。「モルモン書を通してわたしたちはだれの言葉を読んでいるのでしょうか。」

1ニーファイ6：5－6を読んでから，エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の話を紹介する。

「モルモン書はわたしたちが伝道活動で用いている偉大な旗です。それはジョセフ・スミスが預言者であったことを示し，キリストの言葉を告げるものです。そしてモルモン書の持つ偉大な使命は人々をキリストのもとへ導くことです。その他のことはすべて第二義的なものなのです。……それには『俗世の人々にとって喜ばしいこと』は書かれていません。したがって，世俗的な生活を追う人々はモルモン書に関心を示しません。この書物は実に，人々をえり分ける大きな『ふるい』なのです。」（「モルモン書は神の御言葉」『聖徒の道』1975年8月号，367－368）

1ニーファイ7：14－21。主を熱心に探し求め，主の預言者に従う人々を主は強めてくださるが，主を拒み，悪事を求める人々から御霊を退かせてしまわれる。（20－30分）

ゲームをするときに，味方に入れたい人から順々に指名してチームを作ったことがあるかどうかを生徒たちに尋ねる。以下の質問をする。

- どちらのチームにも選ばれなかった人や最後にやっと選ばれた人はどのように感じると思いますか。
- 人が味方を選んでチームを作るやり方と，自分で「主につく者」になることを決める方法では，どのような違いがあるでしょうか。

救い主はわたしたち全員が主の側に来ることを望んでおられるが，わたしたちには主の招きを受け入れるか，拒むかを選択する自由があることを説明する。

ニーファイは兄たちへの勧告の中で，預言者を拒むことによって招く結果について警告した。1ニーファイ7：14を読んでから，どのような結果がもたらされるかを尋ねる。1ニーファイ7：15を読む。一人の生徒にニーファイが兄たちに語った警告を自分の言葉で言ってもらう。次のように質問する。「悪人とともに滅びるか滅びないかはだれが選ぶのでしょうか。」

1ニーファイ7：16を読んでから，以下の質問をする。

- レーマンとレムエルはなぜニーファイに対して腹を立てたのでしょうか。
- 彼らの行動は，自分たちの選択をどのように表しているでしょうか。
- 今日の人々がどちらの側に立っているかは，どのような基準によって判断できるでしょうか。
- わたしたちの目に見える行動は，主に従うために努力しているかいないかをどのように映し出しているでしょうか。
- あなたがニーファイについて知っている事柄から判断すると，ニーファイはどちらの側につくことを望んでいたと思いますか。

1ニーファイ7：17－20を読んでから，以下の質問をする。

- これらの節で，主はどのようにしてニーファイを支えられたでしょうか。
- 主の側に立つとどのような良いことがあるでしょうか。

生徒たちに主の側に立っているかどうかを考えるように言う。次のように質問する。「あなたはそのことをどのように示しているでしょうか。」

主の側を選ぶよう生徒を励ます。その選択によって受ける祝福について分かち合う。「主の方には」（『賛美歌』165番）を歌うか，歌詞を読む。

1ニーファイ8章。すべての人は命の木に来るよう招かれているが，不信仰とこの世の誘惑のために，多くの人は来ようとしない。（40－50分）

「親指の返事」と呼ばれる活動を使ってリーハイの夢に関する話し合いを始めるとよい。リーハイの夢について質問することを告げる。答えが「はい」であれば，生徒は親指を上に向け，「いいえ」であれば親指を下に向ける。（注意：生徒は夢というテーマに関心を向けるであろう。話し合いの焦点をリーハイの示現からそらさないように注意する。）以下の質問をする。

- あなたは毎晩夢を見ますか。
- 夢の途中で目が覚めて，がっかりしたことがありますか。
- 夢で見たことが後からそのとおりに実現したことがありますか。
- 祈りの答えとなる夢を見たことがありますか。
- 啓示が夢という形で与えられることを信じていますか。
- リーハイが木についての夢を見たことを知っていましたか。
- リーハイは自分の夢の意味を理解していたと思いますか。

命の木に関するリーハイの夢すなわち示現はモルモン書の中で最も大切な出来事の一つであることを強調する。この夢で使われているしるしを理解することは，モルモン書のほかの箇所を理解する助けにもなる。（ニーファイが経験した夢のしるしについて教えるためのアイデアは，1ニーファイ10－14章の教え方の最初の提案，35ページに記されている）。

生徒たちの中から3人の希望者に，黒板の前に来るように言う（あるいは，もし可能であれば，大きなスケッチブックとカラーのマーカーペンを渡す）。ほかの生徒にはリーハイの夢が記されている1ニーファイ8：4から，順番に読ませる。一人が2節か3節ずつ読むとよい。合間ごとに，3人の生徒は夢の解釈を絵に描いて，情報が追加される度に描き加えていく（以下の表を参照する）。

1ニーファイ8：4－6	**ひどく暗くて寂しい荒れ野，リーハイについて来るように言った白い衣の一人の男性**
1ニーファイ8：7－9	**暗くて寂しい荒れ野，大きく広々とした野原**
1ニーファイ8：10－12	**白く，好ましい実をつけた木**
1ニーファイ8：13－14	**水の流れている川，サライアとサムとニーファイ**
1ニーファイ8：15－16	**実を食べる家族**
1ニーファイ8：17－18	**実を食べようとしないレーマンとレムエル**
1ニーファイ8：19－20	**細くて狭い道，鉄の棒，流れの源**
1ニーファイ8：21－23	**群れ集まって押し進む無数の人々，道を見失わせる暗黒の霧**

1ニーファイ8：24－25	**木に着いたが，実を食べた後で恥じた人々**
1ニーファイ8：26－28	**大きく広々とした建物，あざけり笑う人々，禁じられた道に踏み込んだ人々**
1ニーファイ8：29－30	**「やって来〔て〕，ひれ伏して木の実を食べた」人々**
1ニーファイ8：31－33	**建物の方へ道を探りながら進んでいる大勢の人々，「流れの深みにおぼれ」た人々，「見知らぬ道に迷っ」た人々**

3人の生徒に完成した絵を説明させる。その絵を使ってクラス全体で示現について話し合う。（注意：ニーファイの示現について教えるときのためにこの絵を保存しておくとよい。）

生徒に1ニーファイ8：6－9を読み直して，リーハイが最初に心配したことを見つけるように言う。次のように質問する。「リーハイは暗闇から逃れるために何をしたでしょうか。」生徒たちに1ニーファイ8：10－12をもう一度読むように言う。そして以下の質問から幾つかを選んで質問する。

- 実を食べた後にリーハイが最初に望んだことは何でしたか（12節参照）。
- リーハイが，来て実を食べるように招いたとき，家族はどうしたでしょうか（15－18節参照）。
- レーマンとレムエルはなぜ木の実を食べなかったのでしょうか。
- あなたに喜びと幸福をもたらしたものを家族が拒んだとしたら，あなたはどのように感じるでしょうか。

生徒に1ニーファイ8：36－37を読んで，リーハイがレーマンとレムエルの拒絶にどのような対応をしたかを見つけるように言う。両親から「優しい親の情を込めて」親の言葉に耳を傾け，従うように言われたことがあるかどうかを考えさせる（生徒が望むならば，答える時間を与える）。両親は子供たちが福音を信じて従うことをどれほど望んでいるかについてあなたの感じていることを述べる。天父がわたしたち一人一人を愛しておられること，また御自分を信じて従うようわたしたちに望んでおられることを生徒に理解させる。

リーハイは夢の中で，多くの人々を目にしたことを説明する。以下の表を黒板に書く。クラスを4つのグループに分ける。各グループに，1列ずつを担当して1ニーファイ8章で述べられている人々が経験した成功と失敗を，マタイ13章で述べられている人々と比較するように言う。

リーハイの夢	比　較	種まきのたとえ
1ニーファイ8：21－23		マタイ13：3－4，19
1ニーファイ8：24－28		マタイ13：5－6，20－21
1ニーファイ8：30		マタイ13：8，23
1ニーファイ8：31－33		マタイ13：7，22

各グループに，見いだしたことを黒板の「比較」の欄に書かせ，クラス全体で話し合う。以下のような質問をする。

- どのような人々が木の実を食べられたでしょうか。
- 木の実を食べられなかった人々は何が原因でしたか。
- 木の実を食べたら，必ず喜びと永遠の命が与えられたでしょうか。どのような理由で与えられ，どのような理由で与えられなかったのでしょうか。
- ある人たちはなぜ木まで行こうとしなかったのでしょうか。
- ある人たちは実を食べたにもかかわらず，道を外れてしまったのはなぜだと思いますか。
- ある人たちが信仰をもって木の実を食べることができたのはなぜだと思いますか。

「鉄の棒」（『賛美歌』176番）を歌うか，歌詞を読む。

1ニーファイ9章。主は初めからすべてのことを御存じである。そして，主はすべての業を成就するために，ある方法を備えておられる。（25－35分）

生徒に歴史の本を見せる。どの時代を扱っているかを指摘する。次に，同じ時代に書かれた個人の歴史，日記または日誌を見せる。できれば，日誌から霊的な経験を読む。以下の質問から幾つかを選んで質問する。

- これら2種類の書物の違いは何でしょうか。
- どちらの書物が歴史と呼ぶにふさわしいでしょうか。（いずれを主張してもよい。）
- どちらの書物がより価値があるでしょうか。（人によって，いずれも価値がある。）
- それぞれの書物はどのようなことに役立てることができるでしょうか。
- これらの書物はどのような点でモルモン書と似ているでしょうか。

モルモン書はニーファイ人とレーマン人の1,000年間の出来事が，ヤレド人の間ではそれ以上に長い期間に起きた出来事が記録されていることを説明する。次のように質問する。「モルモン書は一般に歴史書と呼ばれる書物と同じ意味での歴史書でしょうか。」（いいえ，基本的には宗教書である。）生徒にモルモン書ヤコブ3：13とモルモンの言葉1：5を読んで，モルモン書が，その中に記述されている人々についての完璧な歴史であると言えるかどうか調べるように言う。

生徒に1ニーファイ9：2を読ませる。ニーファイは俗世の歴史と宗教の歴史の両方を記録したことを説明する。生徒に「わたしの民について残らず述べる版」と書かれている箇所に印を付け，余白に「大版」と記入させる。次に1ニーファイ9：3を読んで，「民に対する務めについての話を刻む」と書かれている箇所に印を付け，余白に「小版」と記入するように言う。以下の質問から幾つかを選んで質問する。

- 3節によると，ニーファイはなぜ大版のほかに小版を作ったのでしょうか。
- 2－5節の「この版」とはどちらの版を指しているのでしょうか。（小版）
- わたしたちが読んでいる1ニーファイは大版か小版のどちらから作られたものでしょうか。（小版）
- ニーファイの大版には何が記録されていたでしょうか（4節参照）。

生徒たちに1ニーファイ9：5－6を読むように言う。「主が2組目の版を作るよう求めておられる理由についてニーファイはこれらの節で何と述べているでしょうか。」生徒にモルモンの言葉1：3－7を読むように言う。「小版を，ニーファイの大版を短くまとめたものに含めることについてモルモンはどのような理由を挙げているでしょうか。」

一人の生徒に以下の文を声を出して読ませる。

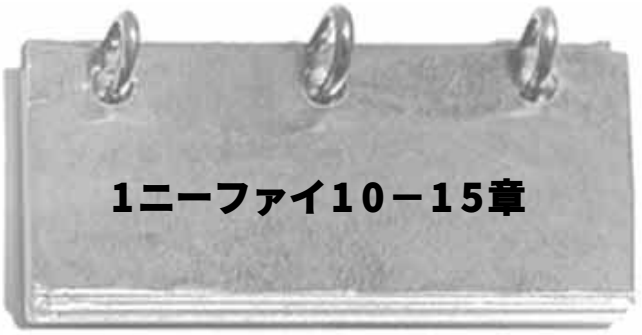
主がニーファイに二つの記録を作るよう命じられた「賢明な目的」（1ニーファイ9：5；モルモンの言葉1：7）の少なくとも一部は，ジョセフ・スミスがモルモン書を翻訳したときに明らかになりました。ジョセフは最初，ニーファイの大版をモルモンが短くまとめたものから翻訳しました。ジョセフを手伝っていたマーティン・ハリスは妻と家族に翻訳を見せたいと思いました。預言者は仕方なく，そのときまでに完成していた116ページの原稿を彼に渡しました。この原稿が盗まれて，翻訳は中断しました。

ジョセフ・スミスがしばらく悔い改めの期間を過ごした後に，主は失った部分をもう一度翻訳してはならないと言われました。その代わりに，同じ時期を扱っている小版を翻訳するようジョセフに命じられました。116ページの原稿を盗んだ人々が内容を変えて，主の業の信用を失わせようとしていることを主はジョセフに告げられました。けれども，このことをはるか昔から予知しておられた主は，サタンの計画をくじくために二つ目の記録を用意しておられたのでした。（*History of the Church*，第1巻，20－23；教義と聖約10：38－46参照）

1ニーファイ9：6を読んでから，「主は初めからすべてのことを御存じである」と知っていることが，わたしたちにとってどのような助けになるかを質問する（2ニーファイ9：20；モルモンの言葉1：7も参照）。以下の言葉を読む。

「万物の知識を持っておられないとしたら，神はいかなる創造物をも救うことがおできにならないであろう。神は万物の初めから終わりまですべてのことを知っておられるので，創造物にその知識を与えることが可能であられた。創造物はそれによって永遠の命にあずかる者となるのである。そして，もし人が神はすべてを御存じであるという概念を抱いていなければ，神に対して信仰を行使することは不可能である。」（ジョセフ・スミス編，*Lectures of Faith*〔1985年〕，51－52）

神が万物を御存じであることについて証（あかし）を述べて終える。



はじめに

ニーファイは信仰を持ち，従順であったこと，それに父の啓示を理解したいという望みを持っていたことにより，永遠に関する広大な示現を受けた。ニーファイは聖霊の力によって自分の民の将来，救い主の降誕と業，贖罪（しょくざい），背教，福音の回復，そして神の王国の行く末を見た。10－15章では「熱心に求める人は見いだすであろう。神の奥義は聖霊の力によって，……人々に明らかにされる」という神の約束が証明されている（1ニーファイ10：19）。

学び取るべき重要な福音の原則

- 救い主の使命は人類を迷い堕落した状態から贖（あがな）うことである（1ニーファイ10：4－6；11：31－33参照）。
- 熱心に求める人々は聖霊の力によって神の奥義を明らかにされる（1ニーファイ10：17－22参照。教義と聖約76：5－10も参照）。
- 神が預言者に未来のことを示しておられるのは，預言者が神の子らに警告し，来るべきことに備えさせるためである（1ニーファイ11－14；15：12－36参照。教義と聖約1：17－23も参照）。
- 望み，信仰，熟考，祈りは個人の啓示をもたらす（1ニーファイ11：1；15：7－11参照）。
- イエス・キリストは死すべき状態の母（マリヤ）から誕生された，不死不滅の御父（父なる神；1ニーファイ11：18－21；13：40参照）の御子であられる。
- 神は，愛する御子イエス・キリストをわたしたちのために死に引き渡して，神のすべての子らに愛を示された（1ニーファイ11：16－33参照。ヨハネ3：16も参照）。
- 命の木は神の愛のしるしである。この愛はイエス・キリストの生涯と使命に表れている（1ニーファイ11：21－25参照。1ニーファイ8：30；2ニーファイ11：4；モーサヤ4：2－3，11－12も参照）。
- モルモン書は，あらゆる国の支配を受けないえり抜きの地において福音が回復される時について予告した（1ニーファイ13：12－19，30－36参照）。
- 聖書から多くの分かりやすくて貴い真理が取り去られた。神はこれらの真理の多くをモルモン書，教義と聖約，高価な真珠によって回復された（1ニーファイ13：20－29，35－41参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』11－17。

教え方の提案

1ニーファイ10：4－6。救い主の使命は人類を迷い堕落した状態から贖うことである。（15－20分）

生徒たちに，深くて暗い穴に落ちたと想像させる。そこは切り立った滑りやすい壁に囲まれている。登って抜け出すこともできないし，穴の底には抜け出すのに役立つようなものは何もない。どうしたらよいかについて意見を求める。

生徒に1ニーファイ10：6を読むように言う。次のように質問する。「もし贖い主がおいでにならなかったら，人類はどうなっているでしょうか。」モーサヤ16：3－4を読んで，人類は何が原因で迷い堕落したか調べるように言う。この迷い堕落した状態にいる人を「生まれながらの人」と言う場合があることを説明する。

モーサヤ3：19を読んで，生まれながらの人はその迷い堕落した状態を克服するために何をしなければならないかを調べる。「主なるキリストの贖罪により，……聖徒となり」に印を付けるように言う。1ニーファイ10：4－6を読んで，次のように質問する。「イエス・キリストの贖罪がなければ，なぜ聖徒となることができないのでしょうか。」

生徒に先ほどの深くて暗い穴を思い出させる。次のように質問する。「穴から抜け出す唯一の方法は何でしょうか。」（穴に落ちていない人に助けてもらう。）

生徒に2ニーファイ9：10を読ませる。穴はこの堕落した世界にいる人類のジレンマを表していることを説明する。わたしたちはイエス・キリストの贖罪がなければ迷い堕落した状態から逃れることができない。

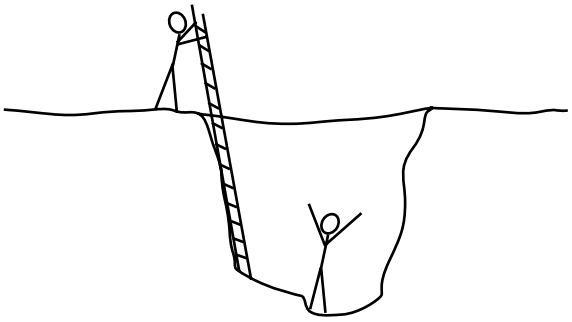
十二使徒定員会会長を務めていた時代にジョセフ・フィールディング・スミス長老が語った以下の話を読む。

「贖いの計画全体は身代わりの犠牲という原則を土台にしている。すなわちのろいの下にある人類全体のために罪のない御方が払う代理の犠牲である。過ちを犯した者が罰を受ける，すなわち自分の悪行を償わなければならないとするのはきわめて自然な考え方でありまた公正である。したがってアダムが律法に違背したとき，正義はほかの何者でもなくアダム自身が罪の償いをし，自分の生命をもって代価を支払うことを要求した。

しかし律法を破ったアダムは自分自身がのろいを受けることになり，のろいを受けていては自分がしたことを償うことも取り消すこともできなかった。アダムの子らにもこれはできなかった。彼らも同じのろいを受けていたからである。この原罪を償うにはこののろいの影響を受けない人が必要であった。わたしたちは皆こののろいを受けていたので，自分の罪を贖う力を持ち合わせていなかった。

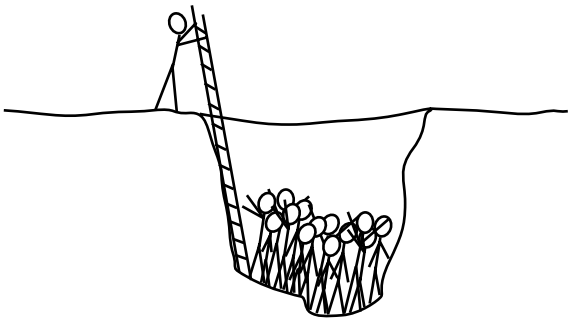
このため正義の要求に従って，わたしたちの罪とアダムの背罪を贖うためには，御父が罪のない独り子をお遣わしになることが必要となった。そこで御子は罪を償うために自身を犠牲としてささげ，十字架上で死ぬことによってアダムの背罪とわたしたち個人の罪をその身に引き受けられた。これによって悔い改めを条件にわたしたちを堕落と個人の罪から贖われた。」

（注意：スミス会長の話を先に進む前に，穴に落ちた人がほかの人にはしごを下ろして助けてもらう様子を黒板に描くとよい。）



「たとえで説明してみよう。一人の人が道を歩いていて，穴に落ち込んだ。あまりにも深くまた暗いため，道に這い上がることができないでいる。彼はどうすればこの窮地から脱出することができるだろうか。本人は自力で脱出することがどうしてもできない。穴の中には脱出する手立てがまったくないからである。そこでこの人は助けを求めた。すると親切な心の持ち主が助けを求めるこの人の叫びを聞いて，駆けつけた。そしてはしごを下ろして，この人が再び地表に這い上がるための手立てを提供した。」

（注意：ここで穴の中に大勢の人を描くとよい。）



「アダムが禁じられた実を食べたため，アダムと子孫が陥った状態はまさにこういった状態であった。一人残らず穴の中にいたので，だれも地表に上がって仲間を救い出すことができなかった。穴は主の前から追放されたことであり，肉体の死であり，体が塵に帰してしまうことであった。またすべての人が死を受けるため，脱出の手立てを提供できなかった。

そこで，限りない慈悲に満ちた御父は，子らの叫びを聞いて，死の支配も罪の支配も受けない独り子を遣わして，脱出の手段を提供された。御子は無限の贖罪と永遠の福音によってこれを実行されたのである。」（『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編，全3巻，1954－1956年，第1巻，121－123）

堕落の影響に打ち勝つ贖いの力について証する。

1ニーファイ10：17－22。熱心に求める人々は聖霊の力によって神の奥義を明らかにされる。（15－20分）

預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を読む。

「神は何でもジョセフに啓示されただけでなく，十二使徒にもお知らせになるからである。また，最も小さな聖徒でさえも，堪えられる程度に応じてすべてを知ることができるのである。将来，だれも『あなたは主を知りなさい』と隣人に言う必要のない時が来るからである。それは，最も小さい者から最も大いなる者に至るまで，（生き残っている）すべての者が主を知るようになるからである。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，149）

以下の質問の中から幾つかを選ぶか，あるいはすべてを質問する。

- 祈りの答えを受けられるのはどのような人でしょうか。
- あなたは自分の祈りの答えを受けることによって，どのようなことを学んできたでしょうか。
- 生ける預言者と同じ霊的な真理を知り，理解するにはどうすればよいでしょうか。

ニーファイは啓示を受ける方法についてすばらしい模範を示したことを説明する。生徒に1ニーファイ10：17－11：1；15：7－11を読ませる。そして，以下の質問をする。

- ニーファイは何を知りたかったのでしょうか。
- ニーファイは何の力によってこれらの真理が明らかにされることを承知していたでしょうか。
- 聖霊の力によって啓示を受けるためにわたしたちは何をしなければならないでしょうか。

奥義とは啓示によってのみ知らされる霊的な真理であることを生徒に告げる。以下の質問をする。

- だれが神の奥義を知ることができるでしょうか（1ニーファイ10：19参照）。
- ニーファイの兄たちはなぜ父親の啓示を理解できなかったのでしょうか。

生徒に教義と聖約76：5－10を読ませる。主はわたしたちの祈りに喜んでこたえられることについて証を述べる。

1ニーファイ10－14章。ニーファイの示現はリーハイの夢のしるしを解釈している。（20－25分）

言葉探しのゲームまたはほかのパズルを行う。以下のゲームを使うとよい。

黒板に9つの文字を書く。（1）I（2）QK（3）AU（4）KI（5）QU（6）QQ（7）II傘（8）AN（9）QN。生徒にこられの暗号の意味を解かせる。答え：（1）愛または藍（2）休憩または球形または求刑（3）英雄（4）敬愛（5）級友または旧友（6）救急（7）相合い傘（8）永遠（9）救援。

以下の質問をする。

- 多くの人はなぜこのようなパズルを解きたいと思うのでしょうか。
- これまで最も難しかったパズルはどのようなパズルですか。

わたしたちは時々，非常に難しいパズルを解くときのように，混乱してしまう問題にぶつかることがある。問題の答えを知りたくてたまらないという気持ちになったことがあるかどうかを生徒に尋ねる。次のように質問する。「解決方法を見つけるためにどれほど努力したでしょうか。」

1ニーファイ10：17を読んでから，以下の質問をする。

- ニーファイは何を知りたいと思ったのでしょうか。
- 1ニーファイ15：8－11を読んでください。霊的な理解を求めるニーファイの気持ちは兄たちとどのように違っていたでしょうか。
- 戒めに対する従順さが，それぞれにどのような影響を与えていたでしょうか（11節参照）。
- 霊的な知識を最も受けやすい状態にあったのはだれでしょうか。

霊的な知識を得るためにニーファイが行った努力はニーファイ自身だけでなく，わたしたちの理解を増すことにもつながったことを説明する。以下の表を黒板に書き写す。ただし，「解釈」の欄は空白にしておく。全員で参照聖句に目を通して，それぞれのしるしに対して霊感によってどのような解釈が与えられたか確認する。注意：1ニーファイ8章で使った生徒の絵を保存していれば，ここで見せるとよい。

しるし	リーハイの夢	相互参照	解　釈
大きく広々とした野原	1ニーファイ8：9	1ニーファイ8：20	世界
木	1ニーファイ8：10	1ニーファイ11：21－22，25 1ニーファイ15：21－22	神の愛 命の木
実	1ニーファイ8：10－16	1ニーファイ15：36	神の最も大いなる賜物（たまもの）
鉄の棒	1ニーファイ8：19－20	1ニーファイ15：23－24	神の言葉
細くて狭い道	1ニーファイ8：20	2ニーファイ31：18－19	永遠の命に通じる道
水の流れる川	1ニーファイ8：13	1ニーファイ12：16 1ニーファイ15：26－27 1ニーファイ15：28－29	地獄の深み 汚れ 淵，地獄
大きく広々とした建物	1ニーファイ8：26	1ニーファイ11：36 1ニーファイ12：18	世の人々の高慢 うぬぼれた空想と高慢
暗黒の霧 1ニーファイ8：	23 1ニーファイ12：	17 悪魔の誘惑	

父の示現を理解したいと望んだニーファイに感謝を表して終える。

1ニーファイ10－14章。神が預言者に未来のことを示しておられるのは，預言者が神の子らに警告し，来るべきことに備えさせるためである。（35－45分）

黒板にエズラ・タフト・ベンソン長老が語った次の言葉を書く。「預言とは歴史と表裏一体を成しています。未来の出来事を神が明らかにされることです。」（Conference Report, 1973年10月，89；または*Ensign*, 1974年1月号，69）

生徒に教義と聖約1：17－23を読ませる。以下の質問をする。

- これらの聖句によれば，神はなぜ預言者に啓示を与えられるのでしょうか。
- ジョセフ・スミスなどの預言者に与えられる神の啓示はどのように神のほかの子らの信仰を強めるでしょうか。

生徒に教義と聖約38：30を読んで，神が預言者を通じて御言葉（みことば）を伝えるもう一つの理由を見つけるように言う。以下の質問をする。

- 預言者は最近の説教でどのような警告を与えているでしょうか。
- あなたは現在の預言者の勧告によってどのように助けられているでしょうか。

ニーファイは義にかなった望みを抱いていたため，主は遠い未来にまで及ぶ示現を見せられたことを説明する。ニーファイは3つの社会で起きる出来事を見たことに注目する。ニーファイはユダヤにおけるキリストの業，ニーファイ人とレーマン人の文明とその崩壊，異邦人の国々に起きる終わりの時の出来事について述べている。付録からオーバーヘッドトランスペアレンシーを使って表「ニーファイの示現」（1ニーファイ10－14章）を見せる（282ページ）。あるいはそれを黒板に書き写す。配付資料として生徒に配ってもよい。示現の中で，今日の出来事が幅広く扱われているため「終わりの時における異邦人の国々」の欄は長くなっていることを指摘する。

クラスを幾つかのグループに分けて，各グループに一つの欄を割り当てる。（4つのグループに分けて，「終わりの時における異邦人の国々」の欄を2つのグループで分けてもよい。）15分以内で聖句を読み，話し合って，以下の質問の答えを見つけるように言う。

1. これらの預言を知ることはニーファイにとってどのような助けになったでしょうか。
2. これらの預言を知ることはニーファイの後の子孫にとってどのような助けになったでしょうか。
3. これらの預言を知ることはわたしたちにとってどのような助けになるでしょうか。

各グループで代表者を決めて，見つけた事柄を発表するように言う。

以下の質問を全員で話し合う。

- ニーファイの偉大な示現は今日のわたしたちにどのようなメッセージを伝えているでしょうか。
- この示現を知ったことによってあなたはどのように行いを変えるでしょうか。

1ニーファイ13：20－29，34－41。聖書から多くの分かりやすくて貴い真理が取り去られた。神はこれらの真理の多くをモルモン書，教義と聖約，高価な真珠によって回復された。（35－45分）

以下の表からテーマだけを黒板に書き出す（参照聖句は書かない）。クラスを小グループに分ける。各グループにリストのいちばん上のテーマから始めて，それぞれについてできるだけ多くの情報を聖書だけを使って見つけるように言う。

10分後に，見つけた事柄をグループごとに発表させ，それから全体で話し合う。次のように質問する。「聖書からもっと多くの情報を見つけられなかったのはなぜでしょうか。」

テーマ	参照聖句
栄光の3つの階級	教義と聖約76章
霊界	教義と聖約138章
御父と御子は骨肉の体を持っておられるが，聖霊は霊の御方である。	教義と聖約130：22－23
メルキゼデク，サレムの君	ジョセフ・スミス訳創世14：25－40
秘密結社	モーセ5：29－31，49－51；6：15；ヒラマン2：8；6：17－30；モルモン8：27，40；エテル8：18；10：33；11：15
前世における生活	教義と聖約93：29；アブラハム3：22－23
サタンの起源	モーセ4：1－4；アブラハム3：27－28
エノクとシオンの都	モーセ6－7章
アブラハムはメルキゼデクによって聖任された	教義と聖約84：14
結婚の新しくかつ永遠の聖約	教義と聖約131－132章
正当な権能を持つ人による水に沈めるバプテスマ	3ニーファイ11：22－26；教義と聖約13：1
死者のためのバプテスマ	教義と聖約127－128章
親子の結び固め	教義と聖約138：48
ゼノク，ゼノス，ニアムの教え	1ニーファイ19：10；アルマ33：3－17

黒板に書かれているリストの中から幾つかのテーマを選んで，それらは聖典のどこに見つけられるかを質問する。『聖句ガイド』を使って答えを見つけることを奨励する。聖書はこれらのテーマの多くに関する情報を提供しているが，わたしたちが知っている知識のほとんどは末日の啓示から得ていることがすぐに明らかになる。次のように質問する。「これらの真理はなぜ聖書にはっきりと書かれていないのでしょうか。」生徒に1ニーファイ13：19－29を読んで，答えを一つ見つけるように言う。以下の質問の中から幾つか，あるいはすべてを質問する。

- 「ユダヤ人の口から出て来た」のはどのような書物ですか（24節）。この書物にはどのような記録が載せられているでしょうか。
- 「ユダヤ人の口から出て来た」とき，この書物にはどのようなことが収められていたでしょうか。
- ユダヤ人から異邦人に伝えられたときにこの書物はどのような状態だったでしょうか（25節参照）。
- 26節によればこの書物をだれが支配したでしょうか。そして彼らは何をしたでしょうか。
- 彼らはなぜこの書物から一部を取り去ったのでしょうか（27節参照）。
- これによって，この書物を読む人にどのような影響を与えたでしょうか（29節参照）。
- これらの聖句が述べている書物とは何でしょう。(聖書)

次のように質問する。「信仰箇条の中で聖書に対してわたしたちの信じていることが記されているのはどこでしょうか。」希望者に信仰箇条第8節を暗唱させる。次のように質問する。「信仰箇条第8節にはなぜ『正確に翻訳されているかぎり』という一節が入っていると思いますか。」預言者ジョセフ・スミスはかつてこのように語っている。

> 「わたしは原著者の筆になったままの『聖書』を信じています。無知な翻訳者や不用意な筆記者，腹黒い意図を持つ堕落した聖職者たちは，多くの間違いを犯しました。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，327）

次のように質問する。「モルモン書にはなぜ『正確に翻訳されているかぎり』という一節が入っていないのでしょうか。」生徒にモルモン書の序文を開いて，5段落目の最初の文章を読んで，この質問の答えを見つけるように言う。（ジョセフ・スミスは「神の賜物（たまもの）と力によって」モルモン書を翻訳した。）

1ニーファイ13：35－41を読んで，モルモン書と末日のほかの聖典が聖書の教えをどのように回復し，明確にしているかを確認する。生徒がこれらの聖句を理解するために，以下の質問が役立つであろう。

- 「隠されて，小羊の賜物と力によって異邦人にもたらされる」（35節）分かりやすくて貴い真理の原典となるのは何でしょうか。
- それは何と呼ばれる書物でしょうか。（モルモン書）
- その書物にはどのようなことが書き記されているでしょうか（36節）。
- だれがレーマン人にイエス・キリストの福音を教えるのでしょうか（37－38節参照）。
- 39節にはキリストの力によって現代に出て来る幾つかのほかの書物について記されています。これらの書物とは何を指しているのでしょうか。
- 40節によれば，モルモン書とほかの記録は聖書に対して3つのことをしますが，それは何でしょうか。
- 41節では，モルモン書と聖書が「一つに合わせられる」と記されています。これはどのようにしてすでに実現しているでしょうか。

黒板のリストに戻って，モルモン書，教義と聖約，高価な真珠，ジョセフ・スミス訳はこれらのテーマについてのわたしたちの理解をどのように深めているかについて，生徒たちに例を挙げさせる。話し合いを展開するために表の2番目の欄に記されている参照箇所を活用してもよい。

モルモン書，教義と聖約，高価な真珠が，聖書から取り去られた分かりやすくて貴い真理を回復していることについて証（あかし）を述べる。

1ニーファイ16－22章

はじめに

リーハイの家族はイスラエルの家に属していた。出エジプト時代のイスラエルの民と同様，彼らも荒れ野を旅する間，苦難と試練に遭遇した。これもイスラエルの民と同様に，リーハイの家族は苦難に対してそれぞれに異なる反応を見せている。レーマンとレムエルがつぶやき，論争したのに対して，ニーファイは人格を築き，主への信仰を増し加えるために同じ苦難を役立てている。ニーファイは聖文の中でも特にイザヤ書を研究して，自分と家族に当てはめた。これらの章を研究するに当たって，あなたは彼らの経験と教えを自分に当てはめる方法を見つけるべきである。

学び取るべき重要な福音の原則

- 人々が真理に対して示す姿勢は，謙遜（けんそん）さと神の戒めに対する従順の度合いに応じて異なる（1ニーファイ16：1－3参照。1ニーファイ2：12，16も参照）。
- 主はわたしたちに自分でできることは自分でするように望んでおられる（1ニーファイ16：17－32参照。エテル2：22－3：1，4－6も参照）。
- 主は忠実な人々に対して様々な導きと養いの方法を授けてくださる（1ニーファイ16：10，16－32；17：7－10参照。アルマ37：38－41も参照）。
- 神は，御霊（みたま）に耳を傾け，忠実に神の戒めを守る人々を祝福し，支えてくださる（1ニーファイ17：1－18：15参照）。
- 預言者と聖典を通して与えられる主の勧告を拒むとき，人々は主を足の下に踏みつけていることになる（1ニーファイ19：7参照。教義と聖約1：38も参照）。
- ユダヤ人はイエス・キリストを拒んだために鞭打（むちう）たれ，散らされた。多くのユダヤ人は今なお真理から離れてさまよっているが，救い主を受け入れるときに再び集められる（1ニーファイ19：8－17；22：3－8参照）。
- 聖文を自分の生活に当てはめる人々にとって，聖文は大きな価値を持つものとなる（1ニーファイ19：23－24参照）。
- イスラエルは主と交わした聖約に背いているかぎり，罰を受け，散らされる。自分たちの聖約を思い起こすときに，イスラエルは大きな力をもって集められ，回復される（1ニーファイ20－21章参照）。
- わたしたちはほかのすべての聖文と同じように，御霊によってイザヤの書き記したものと預言を理解することができる（1ニーファイ22：1－2参照。2ニーファイ25：1－6も参照）。
- イエス・キリストが再臨されるときに，悪人は滅ぼされ，義人は救われる（1ニーファイ22：15－22，24，26参照。マラキ4：1も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』17－22。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション3「わたしは……道を備えよう」を1ニーファイ17章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

1ニーファイ16：1－3。人々が真理に対して示す姿勢は，謙遜（けんそん）さと神の戒めに対する従順の度合いに応じて異なる。（10－15分）

「真理は何と言えば」（『賛美歌』175番）を歌うか，歌詞を読む。生徒に1ニーファイ16：1－2を読んで，ニーファイの言葉にレーマンとレムエルがどのような反応を示したかを見つけるように言う。

- 人々はなぜ真理を教える預言者に対して様々に異なった反応を見せるのでしょうか。
- だれが真理に対する姿勢を決めるのでしょうか。

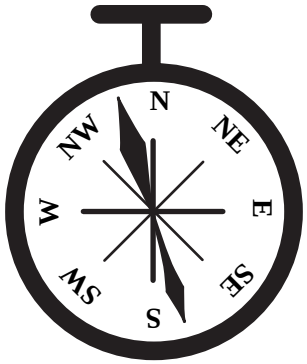
モルモン書の中から預言者の教えに人々が様々な反応を示した例を見つけるよう生徒に言う（アルマ8：9－13からアモナイハの民，アルマ10：6－9からアミュレク，アルマ11－12章；15：3－12からゼーズロムを例として参照する）。生徒が見つけた例について話し合い，黒板に書き出す。

1ニーファイ16：3－5を読んで，質問する。

- 兄たちが素直に真理を受け入れるように，ニーファイはどのような勧告を与えたでしょうか。
- この勧告はあなたにとってどのように役立つでしょうか。
- 聖典の中で真理を喜んで受け入れた人の例を知っていますか（アルマ18：21－23，40－42に記されているラモーナイは一つの例である）。
- 真理に対して積極的に反応できるようになるための鍵（かぎ）はどのようなことだと思いますか。

1ニーファイ16：10，16－32；17：7－10。主は忠実な人々に対して様々な導きと養いの方法を授けてくださる。（20－25分）

生徒にコンパスを見せる（または黒板に絵を描く）。コンパスの使い方を知っている生徒に説明させる。何人かの生徒にコンパスを使って方位を確認させる（例えば，一人の生徒に教室の北西はどの方角かを見つけさせる）。目的地を見つけるためにコンパスはどれほど役立つかについて話し合う。



1ニーファイ16：9－10を読んで，質問する。

- リーハイと家族が荒れ野にいた間，主はどのようにして彼らを導かれたでしょうか。
- 現在のコンパスとリアホナの違いは何でしょうか。

生徒に以下の表に記されている聖句を読んで，3つの大切な違いを見つけるように言う。

参照聖句	コンパス	リアホナ
2ニーファイ5：12	**コンパスは人が作った。**	**「主の手によって父のために備えられた球，すなわち羅針盤」（2ニーファイ5：12）**
1ニーファイ16：29－31	**コンパスは旅行者が地図を使って確認するときの助けになる。**	**リアホナに書かれた言葉は「主の道についてわたしたちに理解を与えてくれるものであった。そしてその言葉は，わたしたちが寄せる信仰と熱意に応じて，時々書き替えられた。」（1ニーファイ16：29）**
1ニーファイ16：28；アルマ37：38－42	**コンパスは磁気を帯びた針が地球の磁場によって自動的に一定方向を指すことによって機能する。**	**リアホナは「神を信じる先祖の信仰に応じて」働いた（アルマ37：40）。**

次のように質問する。「現在のわたしたちのために主は方向指示器として何を用意しておられるでしょうか。」生徒にアルマ37：44－45を読んで，アルマは何をリアホナにたとえているかを見つけるように言う。次のように質問する。「キリストの言葉はどこから手に入れられるでしょうか。」キリストの言葉は様々なところからもたらされることを説明する。すなわち，聖典（J・リチャード・クラーク「わたしの身も心も聖文を喜ぶ」『聖徒の道』1983年1月号，19－23参照），生ける預言者（教義と聖約68：3－4参照），祝福師の祝福（トーマス・S・モンソン「祝福師の祝福は光の羅針盤」『聖徒の道』1987年1月号，68－70参照），そしてわたしたちの良心に語りかける聖霊（スペンサー・W・キンボール「わたしたちのリアホナ」『聖徒の道』1977年2月号，109－111参照）である。

上記の参考資料の一つから読むか，以下のスペンサー・W・キンボール大管長の話からの引用を使う。

「球すなわち羅針盤を意味すると解釈されているリアホナは，リーハイが荒れ野を旅するときにその道を示すために，特に主によって備えられたものです。あなたはこのような球を持ちたくはないでしょうか。過ちの中にあるとき，あるいは誤った道にいるときにいつもそれに気づくように，正しい道を示し，メッセージを記してくれる球を。

……皆さんは全員それを持っています。主はすべての少年，すべての人に，誤った道へ入るときにそれを告げてくれる『良心』を与えてくださいました。したがって耳を傾けるならば，いつでもそのささやきを聞くことができるのです。言うまでもなく，そのささやきを聞くことを習慣化することは可能です。しかし無視するならば，やがて聞こえなくなることでしょう。

皆さんは自分自身の内に，羅針盤のような，リアホナのような何かがあることを認識しているに違いありません。すべての子供にはそれが与えられているのです。両親から十分に教えを受けてきた子供は，8歳になると善悪の判断ができます。したがって，自らの内にあるリアホナを無視するならば，ついにはそのささやきを得られなくなることでしょう。しかしわたしたち一人一人は正しく導いてくれるものを持っているということを心に留めるならば，すなわち自分のリアホナ，良心とも言われるリアホナの指示に聞き従うならば，船は誤った航路に迷い込むことはなく，苦しみも生じず，家族も食べ物を求めて泣き叫ぶことはないでしょう。」（「わたしたちのリアホナ」『聖徒の道』1977年2月号，111）

キリストの言葉に耳を傾けることの大切さについて証（あかし）を述べる。

1ニーファイ16：17－32。主はわたしたちに自分でできることは自分でするように望んでおられる。（20－25分）

前もって3人の生徒に以下の事例を割り当てておく。3人の生徒には文章を読んで，そこに見られるジレンマを解決する方法をよく考えるように言う。クラスで，3人はそれぞれ割り当てられた事例を読むか，自分自身の例を話し，解決方法を述べる。全体でそれらの解決方法について話し合って，ほかの解決方法があれば提案してもらう時間を取る。

- あなたはつい最近，祭司定員会の会長会で働く召しを受けました。家族はあなたが新しい責任を受けたことを大変喜んでいます。けれども，これから日曜日の朝に集会があることを聞いた途端，家族の間で意見の違いが出てきました。両親もそれぞれ日曜日の朝に出席しなければならない集会があり，幼い二人の弟を身支度させて，弟や妹たち全員を教会に連れて行くのはあなたに任されていたからです。
- あなたは長年，サッカーの選手として活躍しています。家族は試合の度に応援に来るのを楽しみにしてきました。ところが，リーグの日程が変更されて，これからは時々日曜日にも試合をすることになりました。そのことを家族に話しました。

家族はあなたが日曜に試合があることで悩んでいると知って驚いています。家族はこれからも試合があれば，それが日曜日でも家族全員で応援に行きたいと言っています。あなたは安息日を守ることを決心しましたが，家族にどう話したらよいか分かりません。

- 家族は財政的に困った状態にあります。父親は二つの仕事を持って働いているだけでなく，母親も，兄と姉もそしてあなたも働かなければなりません。ある日，夜遅い仕事に向かっていたあなたの車に，飲酒運転で赤信号を無視した車がぶつかって来ました。あなたにけがはありませんでしたが，車は修理ができないほど壊れてしまいました。事故の責任があなたにあるわけではありませんが，家族全員でその車を使っていたので，あなたに対して怒っています。父親までもがかんしゃくを起こしています。

ニーファイも家族とともに荒れ野を旅していたときに困難な状況に直面したことを説明する。次のように質問する。「ニーファイがどのように家族の問題を解決したかを知ることは，なぜわたしたちにとって役に立つのでしょうか。」

1ニーファイ16：17－21を読んで，ニーファイの問題を見つけるよう生徒に言う。一人の生徒にニーファイが置かれていた苦境をまとめて，説明させる。次のように質問する。「ニーファイはどのようなことができたでしょうか。」生徒の答えを黒板に書き出し，話し合う。

1ニーファイ16：22－32を読んで，ニーファイが問題にどのように対処したかを見つけるよう生徒に言う。以下の質問をする。

- ニーファイは家族のほかの人たちのように不平を言う代わりに何をしたでしょうか（23節参照）。
- あなたの問題を解決するために，あなた自身が精いっぱい努力して積極的に行動することは，どのように役立つでしょうか。
- ニーファイはなぜ父親に助けを求めたのでしょうか（23－26節参照）。
- 主はリーハイに何をするように言われたでしょうか(26節参照)。
- リアホナはどのように働いたでしょうか（27－29節参照）。
- 家族の危機はどのようにして救われたでしょうか(30－32参照)。
- アルマ37：44－46を読んでください。これらの聖句によれば，リアホナは何の予型だったでしょうか（何を表していたでしょうか）。
- 人生のチャレンジに立ち向かうことについて，わたしたちはニーファイの経験から何を学ぶことができるでしょうか。

『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（17－18ページ）の1ニーファイ16：18－32の解説から，七十人のマリオン・D・ハンクス長老が述べた話を読む。

1ニーファイ17章。神は，御霊（みたま）に耳を傾け，忠実に神の戒めを守る人々を祝福し，支えてくださる。（40－50分）

家族とともに長く暑い旅を強いられていると生徒に想像させる。小さな車に9人も乗り込んでいる。エアコンは壊れており，4枚のドアのガラスのうち3枚はどうしても開かない。車には生まれたばかりの赤ちゃんが乗っており，家族には食べ物もお金もない。以下の質問について話し合う。

- 車の中で家族は仲良く過ごせるでしょうか。
- どのようなことが争いのもとになると思いますか。
- この状況を改善するためにあなた自身はどのようなことができるでしょうか。

生徒に1ニーファイ17：1－6を読ませる。以下の中から幾つか，あるいはすべてを質問する。

- リーハイの家族は何年間荒れ野を旅したでしょうか。（8年間；4節参照）
- 彼らはどのような苦しみを経験したと思いますか。（アラビア半島は暑く，荒れ果てた地域で，食べ物を手に入れることが難しい。家族はいつも仲良く過ごしたわけではなかった。旅の途中で子供たちが生まれた。）
- 旅の間，主は彼らをどのように祝福されたでしょうか。
- 3節の教訓はあなたが自分の生活を通して学んできた事柄と，どのように関連しているでしょうか。

生徒を幾つかのグループに分けて，以下の状況を想像するように言う。あなたは宇宙飛行士で，月面のあらかじめ決められた地点で母船とランデブーすることになっていました。機械の故障によって，あなたの宇宙船はランデブー地点から300キロ離れた所に着陸しました。多くの機器が使えなくなっていました。生き残るためには300キロ離れた母船まで行かなければなりません。どうしても必要なものだけしか持って行くことができません。

以下の表をコピーして生徒に配る。その旅にとって大切な順に品物をランク付けさせる。いちばん大切なものに1番，次に大切なものに2番と，15番まで番号を付ける。最初に各自でランク付けをして，それからグループとしてのランク付けを行う。この作業に15分間を充てる。

個人の判定	グループの判　定	
		箱入りのマッチ
		宇宙食
		長いナイロン製のロープ
		パラシュート用の絹布（テントや毛布代わりに使用できる）
		携帯用コンロ
		45口径のピストル2丁
		脱脂粉乳1ケース
		50キロの酸素タンク2つ
		月面地図
		救命ボート
		磁石式コンパス
		水のボトル5本
		信号灯
		救急箱と皮下注射針
		太陽電池で作動する無線装置

活動を終えるに当たって，以下の質問をする。

- グループで品物のランク付けをしたときに，だれかがまとめ役をしたでしょうか。だれがしましたか。
- ほかの人よりも積極的に参加した人がいたでしょうか。どのように積極的でしたか。
- グループにこの活動を成し遂げたいという気持ちを与えたのは何でしたか。
- グループがこの活動を成し遂げることができたのは，どのような態度で取り組んだからでしょうか。
- グループで話し合ったことにより，どのようにして自分の考えの間違いに気づくことができたでしょうか。
- どのような態度が混乱を招いたでしょうか。
- 難しい問題を解決するためにグループで協力した経験から，あなたは何を学んだでしょうか。

1ニーファイ17：7－18を読んでから，以下の質問について話し合う。

- 主はなぜニーファイに山へ行くように命じられたのでしょうか。
- 山へ行ったニーファイに，主は何をするよう命じられたでしょうか。
- 家族を乗せて大海を渡るような船を造るように命じられたとしたら，あなたはどうこたえるでしょうか。
- ニーファイは命令にどうこたえたでしょうか。
- ニーファイが船を造るために最初に直面した問題は何だったでしょうか。
- ニーファイは問題を解決するためにどうしたでしょうか。
- 主はどのようにニーファイを助けられたでしょうか。
- レーマンとレムエルは，ニーファイが船を造ってバウンティフルを出発する予定を立てていることを知って，なぜ怒ったのでしょうか。

1ニーファイ17：19－22を読んで，ニーファイの兄たちが言った不適切な言葉をすべて見つけて，黒板に書き出す。以下の質問をする。

- あなたはだれかに思いやりのない言葉を言ったことがあるでしょうか。
- どうすればそのようなことを避けられるでしょうか。
- 新約聖書のヤコブ1：19を読んでください。ヤコブの忠告は1ニーファイで今読んだ事柄とどのような関係があるでしょうか。

生徒に1ニーファイ17：23－34に目を通して，ニーファイが兄たちに思い起こさせた歴史上の出来事を見つけるように言う。以下の質問をする。

- ニーファイはなぜイスラエルの民がエジプトを脱出した出来事を改めて話したと思いますか。
- 出エジプトの物語はあなたが主を信頼する気持ちを強めるうえで，どのように助けとなっているでしょうか。

主はある人々をほかの人々よりも大切にしたり，愛したりされると思うかどうかを生徒に質問する。答えを見つけるために一人の生徒に1ニーファイ17：35を読ませる。次のように質問する。「どうすれば主の恵みを受けることができるでしょうか。」

生徒に1ニーファイ17：36－44に目を通して，イスラエルの民が散らされ，滅ぼされた理由を見つけるように言う。次のように質問する。「レーマンとレムエルはエルサレムの人々とどのような点が似通っているでしょうか。」

周波数が放送局に合っていない状態にセットしておいたラジオを教師の机の上に置く。スイッチを入れて，1ニーファイ17：45を読む。周波数を放送局に合わせる。以下の質問について話し合う。

- 放送を受信できない状態のラジオは，主に関することを理解できない人々とどのような点で似ているでしょうか。
- 邪悪な人はどのようにして，御霊に対する感覚を鈍らせているでしょうか。
- 義人が持つ御霊を感じる能力は，周波数を正しく合わせたラジオとどのような点で似ているでしょうか。
- 放送を受信するのに，放送局との距離は関係があるでしょうか。（明瞭な音声を受信するには，送信局からの電波が届く範囲内にラジオを置かなければならない。）
- それは祈りや啓示を受けることとどのように似ているでしょうか。
- 放送を受信するときに電池や電源はどのような役割を果たすでしょうか。（電源がなければラジオは聞こえない。）
- それは祈りと啓示にどのような点で似ているでしょうか。

1ニーファイ17：45－55を読んで，雑音しか出さないラジオに似た状況を見つける。

- 雑音しか出さないラジオは，主の御心（みこころ）に波長を合わせることができないレーマンやレムエルとどのような点で似ているでしょうか。
- 彼らはどのようなことをしてきたので波長を合わせられなかったのでしょうか。
- 主は今日（こんにち）わたしたちに向かってどのように語りかけておられるでしょうか。
- 「心が鈍ってい〔る〕」（45節）状態に陥らないためにはどうすればよいでしょうか。

ボイド・K・パッカー長老が十二使徒定員会会員であった当時に語った以下の話をあなたが読んでいる間，生徒に「耳を傾ける」という語を見つけるように言う。

「昔，ある夏の宵（よい）に，動物学者のジョン・バローズが公園の人込みの中を歩いていました。そのとき，都会の喧噪（けんそう）を越えて1羽の鳥の鳴き声を耳にしました。

そこで彼は立ち止まってその声にじっと耳を傾けました。しかし，一緒にいた人たちにはそれが聞こえませんでした。彼は辺りを見回しましたが，だれもそれに気づいた人はいませんでした。

彼はこれほど美しいものをなぜみんなが聞き逃すのか気になって仕方がありませんでした。

そこでポケットから1枚の硬貨を取り出して空中に放り投げました。硬貨はチャリンという音を立てて舗道に落ちました。小鳥の鳴き声よりも小さいその音に，みんなは振り向きました。ちゃんと聞こえていたのです。

都会の雑踏の中にいて，小鳥の歌声を聞き分けるのは容易ではありません。しかし，分からないはずはないのです。鳴き声を聞き分けられるように自分を訓練していれば，はっきりと聞こえるはずです。

わが家の息子の一人が，以前からずっと無線通信に興味を持っています。小さいときのクリスマスプレゼントは，初心者用ラジオの組立てセットでした。

息子は成長して自分でアルバイトができるようになり，わたしたちにも余裕が出てくると，彼はもっと複雑な装置を買いました。

ここ何年か，またつい最近にも，その息子の隣に腰かけて，息子が遠い世界に住む人々と交信しているのを聞きました。

空電や電波障害が起きたり，混信したり，かと思うと一度に幾つもの声が入って来たりしたこともあります。

それでも息子は言っていることを正確にキャッチしていました。どんな電波障害があっても，きちんと聞き取れるように訓練ができていたからです。

この騒々しい世の中で静かな霊感の声を聞き分けるのは非常に難しいことです。自分をよく調えていないと，聞き逃してしまいます。

祈りの答えはひそやかにやって来ます。聖典には，霊感の声は静かな細い声と描写されています。

あなたは心から努力するならば，その声を感じ取ることができるようになるはずです。」（「祈りと答え」『聖徒の道』1980年3月号，27）

「その霊感の声は非常に静かに語られるため，簡単に聞き過ごしてしまうことがあります。その声に従わないまま放置してしまいがちです。その声に従うには非常な勇気を必要とすることがしばしばあります。この声は末日聖徒にとってはっきりとした合図なのです。」（Conference Report，1974年，スウェーデン・ストックホルム地域大会，20）

御霊に耳を傾け，御霊を感じることを学ばなければならないことについて証する。

1ニーファイ19：7－10。預言者と聖典を通して与えられる主の勧告を拒む人々は主を足の下に踏みつけていることになる。（20－25分）

次のように質問する。「あなたの生活の中で最も神聖だと考えている事柄はどのようなことでしょうか。」答えを黒板に書き出す（家族，母親，教会，国旗，純潔，イエス・キリストに対する証，自分を愛してくださる天父がおられることを知っていること，などの答えが考えられる）。幾つかの答えを採り上げてから，次のように質問する。「人々がそれらを無視し，あざけり，あるいは軽視するとしたら，あなたはどのように感じるでしょうか。」

1ニーファイ19：7を読んでから，以下の質問をする。

- 何かを「何とも思わない」，「取るに足りない」ものとするとはどのような意味でしょうか。（それに価値がないと考えること。）
- 救い主を足の下に踏みつけるとはどのようなことでしょうか。
- 「聞き従」うとはどのような意味でしょうか。（耳を傾けて，従うこと。）

言葉を換えれば，わたしたちが主の勧告に耳を傾けず，従わないならば，それは神を足の下に踏みつけることになるとニーファイは言っている。以下の質問をする。

- いにしえの人々は主の勧告をどのように無視したでしょうか。
- 1ニーファイ19：8－9を読んでください。これらの節によれば，イエス・キリストがこの世で業に携わっておられたとき，人々はどのようにイエスを「足の下に踏みつけた」でしょうか。

生徒にヒラマン12：2－6を読ませる。以下の質問の中から幾つかを選んで質問する。

- この預言を含んだ警告によれば，どのような行いによって人々は「聖者を足の下に踏みつける」のでしょうか。
- 今日の人々はどのように，またなぜ主の勧告を無視しているのでしょうか。
- わたしたちはどうすれば主の勧告を無視していないことを確認できるでしょうか。

ブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読む。

「わたしたちは驚きと恐れをもって，同時に礼節をもって次の事実を宣言します。すなわち，聖文と奇跡と力ある業をその目で見ていたにもかかわらず，ユダヤ人は彼らの神を拒絶し，ローマ人の手によって主を死に至らしめると固く決意し，荒々しくそれを行動に移しました。しかしながら，わたしたちが物事を正しく理解するには，主がどのように拒否されたかを公平に，また冷静にとらえるとともに，現在もそのような扱いを受けておられるかどうかを考えてみることが必要です。ヤコブが述べたように，当時存在したあらゆる国民の中で，主の行われた奇跡を見，主の行われた不思議に気づいているにもかかわらず，主をはりつけにするような民は，ユダヤ人しかいなかったでしょう（1ニーファイ19：7－9参照）。しかし，ほかの人々も主を拒んでいるでしょうか。人々の間で行われる神の教えと導きという非常に大いなる業を人々はどのように拒否しているでしょうか。」（*Promised Messhiah*，494－495）

1ニーファイ19：8－17；22：3－8。ユダヤ人はイエス・キリストを拒んだために鞭打たれ，散らされた。多くのユダヤ人は今なお真理から離れてさまよっているが，救い主を受け入れるときに再び集められる。（20－30分）

以下の文章を黒板に書く。

通りを走ってはいけません。
火遊びをしてはいけません。
知らない人からお菓子をもらってはいけません。

以下の質問をする。

- あなたはこれらの言葉をどこで聞いたでしょうか。
- 人々はなぜそのような警告を発するのでしょうか。
- これらの警告を無視するとどのような危険が待ち受けているでしょうか。
- もしあなたが友達に警告したにもかかわらず，友達がその警告を無視して悪いことが起きたとしたら，あなたはどのように感じるでしょうか。
- あなたはその友達を助けようとするでしょうか。それはなぜでしょうか。

預言者は危険で罪深い行いがもたらす悲惨な結果についてわたしたちに警告していることを説明する。預言者は，その警告を無視したために苦痛や困難な目に遭うわたしたちを見て喜んでいるわけではない。彼らは引き続きわたしたちを愛し，安全と平和な状態に導こうと努力する。ユダヤ人の散乱を研究するときに，これらの真理を心にとどめておくように奨励する。

生徒にモルモン書のタイトルページ，2段落目を読ませる。そして以下の質問をする。

- モルモン書で言われている異邦人とはだれのことでしょうか（聖句ガイド「異邦人」の項，41－42参照）。
- 主はユダヤ人と異邦人に対してどのような気持ちを抱いておられるでしょうか。
- 主がユダヤ人と異邦人のために行ってこられた偉大なことにはどのようなことがあるでしょうか。
- 救い主がこの世で御業（みわざ）を行っておられた時代の人々はなぜ「この御方を取るに足りない者と判断」したのでしょうか（1ニーファイ19：9）。
- 彼らは救い主をどのように扱ったでしょうか。
- 主はなぜ進んで彼らに身を任せられたのでしょうか。

1ニーファイ19：10－12を読んで，これらの節に記録されている預言を見つけるように言う。それらはどのように成就したかについて話し合う。2ニーファイ10：3－6；25：12－15を読んで，人々が主をあざけり，十字架につけた理由を見つけるように言う。1ニーファイ19：13－14を読んで，以下の質問をする。

- イエス・キリストを十字架につけたとき，エルサレムにいたユダヤ人に何が起きたでしょうか。それはなぜでしょうか（13節参照）。
- エルサレムに住んだユダヤ人の子孫はイエス・キリストを十字架につけたために神から罰を受けたでしょうか。（いいえ；信仰箇条1：2参照）
- ユダヤ人はなぜ何世紀もの間，肉にあってさまよい，滅びうせ，「すべての国民の中であざけられ，笑いぐさとなり，憎まれ」たのでしょうか。（彼らは引き続きイエス・キリストと主の福音を拒んだため；14節参照。聖文はいかなる意味においても，ある人々がユダヤ人に対して募らせている迫害や憎しみを奨励したり，許容しているわけではないことを強調する。）

1ニーファイ22：5を読む。その後にブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読んで話し合う。

> 「イスラエルの民はなぜ散らされたのでしょうか。答えははっきりしており，明確であり，疑問を挟む余地はありません。イスラエル人の先祖が散らされたのは，彼らが福音を拒み，神権を汚し，教会を捨て，王国から去ったからでした。彼らが散らされたのは主に背を向け，偽りの神々を礼拝し，異教の国民の道をことごとく歩んだからでした。アブラハムの聖約を捨て，聖なる儀式を足の下に踏みつけ，あらゆる預言者が証したエホバなる主，すなわち主イエスを拒んだために散らされました。イスラエルは背教したために散らされました。彼らの罪悪と反抗のゆえに主は怒りをもって，地のあらゆる国の異教の民の間に彼らを散らされたのです。」（*A New Witness for the Articles of Faith*〔1985年〕515）

- 1ニーファイ19：15－16を読んでください。イスラエルの民はどの時点で，主によって集められるでしょうか。（彼らが悔い改めて，神に立ち返り次第，主は彼らを集められる。）
- 1ニーファイ22：6－9を読んでください。イスラエルの民を主に立ち返らせるために，異邦人はどのような役割を果たすでしょうか。

1ニーファイ19：23－24（マスター聖句，1ニーファイ19：23）。わたしたちは自分たちの利益となり，知識となるように，聖文を自分たちに当てはめるべきである。（20－25分）

預言者が大会で聖典やほかの預言者の言葉を引用しないで，説教を行うのを聞いたことがあるかどうかを生徒に尋ねる。次のように質問する。「これはどのような理由からそうしていると思いますか。」生徒に1ニーファイ19：23－24を読むように言う。次のように質問する。「預言者たちはなぜ，聖文を読んだり，引用したりするために多くの時間を費やしているのでしょうか。」

黒板に「当てはめる」と書いて，以下の定義を書く。「たとえること；類似するものあるいは同様のもので表す。」（ノア・ウェブスター，*An American Dictionary of the English Language*〔1828年〕）生徒たちに，聖文の出来事を自分の生活に当てはめることによって得られる利点を挙げるように言う。

以下の表を黒板に書き写す。ただし，「意味」の欄を空白にしておく。全員で聖句について話し合い，その意味と現代における応用について生徒が導き出した結論を「意味」の欄に記入する。（括弧内の言葉は教師の参考のためである。この活動の目的は特定の回答を導き出すことではなく，生徒がすでにイザヤの言葉を自分に「当てはめて」いることに気づかせることである。）

参照個所	語　句	意　味
1ニーファイ20：1	「ユダの水」	（バプテスマの水）
1ニーファイ20：4	「あなたの首が鉄の筋であり」	（あなたは高慢である）
1ニーファイ20：10	「苦難の炉」	（試練または試し）
1ニーファイ20：14，20	「バビロン」	（俗世，罪悪）
1ニーファイ20：18	「あなたの義は海の波のよう」	（絶えず，またはとこしえに義にかなっている）
1ニーファイ21：1	「わたしの民の牧者たち」	（指導者たち）
1ニーファイ21：1	「わたしが胎内にいたときから……召し」	（前世でわたしを予任された）
1ニーファイ21：6	「異邦人の光」	（異邦人に対する模範）

わたしたちは聖文を自分に当てはめなければならない，すなわち応用しなければならないことを生徒が理解できるように助ける。

七十人であった当時にカーロス・E・エイシー長老が語った以下の言葉を一人の生徒に読ませる。

> 「息子や娘が次のような不平を漏らすのを両親は何度耳にしたことでしょうか。『もう，聖典を読むのをやめようよ。昔の話ばかりで，退屈だよ。』子供たちがこのように言っている間，両親はニーファイが実行していた状態にはまだ達していないことを思い知らされるでしょう。ニーファイはこう言っています。『すべての聖文を自分たちに当てはめて，それが自分たちの利益となり，知識となるようにするためであった。』（1ニーファイ19：23）」（*Family Pecan Trees: Planting a Legacy of Faith at Home*，1992年，39）

1ニーファイ19：22－24で，「ように」「ために」などと書いてある箇所に印を付けるように生徒に言う。それらの言葉の前に，ニーファイが何を何のために行ったかが書いてあると説明する。ニーファイがなぜイザヤ書から引用しているかを説明している箇所を採り上げて，全員で話し合う。

- 「主がほかの地で昔の人々の中で行われたことを，兄たちも知ることができるように」（22節）
- 「主なる贖(あがな)い主を信じるようさらに十分に勧めるために」（23節）
- 「それが自分たちの利益となり，知識となるように」（23節）
- 「あなたがたはその同胞から折り取られた者ですが，その同胞と同様に望みを抱くことができるように」（24節）

次のように質問する。「これらの語句のうちでモルモン書の目的を述べているのはどれでしょう。」これらの語句をモルモン書のタイトルページの2段落目と比較する。ニーファイがイザヤ書を活用したことは，タイトルページに記されている目的と合致していることを証する。

> 「これはイスラエルの家の残りの者に，主が彼らの先祖のためにどのような偉大なことを行われたかを示すものであり，また，彼らはとこしえに捨てられないという主の聖約を，彼らに分かるように示すものである。――また，ユダヤ人と異邦人に，イエスがキリストであり，永遠の神であり，すべての国民に御自身を現されることを確信させるものである。」（タイトルページ）

マスター聖句（1ニーファイ19：3）を生徒が暗記するのを助けるために少し時間を取る。各自の聖典に印を付けるように言う。

1ニーファイ20－21章。イスラエルは主と交わした聖約に背いているかぎり，罰を受け，散らされる。自分たちの聖約を思い起こすときに，イスラエルは大きな力をもって集められ，回復される。（40－50分）

旧約聖書の預言者たちは神聖な聖約について述べるときに法律的な契約や条約の用語を用いたことを説明する。1ニーファイ20－21章は，主と交わした聖約を破ったイスラエルの民に訴訟を起こしている状況にたとえることができる。以下の1ニーファイ20章の概要を黒板に書き写す。これは基本的に主とイスラエルの民との間で交わされた契約の形式を取っている。

契約書

1. *前文*（1ニーファイ20：1－2）。イスラエルよ，主に聞け。
2. *歴史の確認*（1ニーファイ20：3－8）。主はイスラエルの現在の問題を予告しておられた。
3. *契約の条件*（1ニーファイ20：9－11，14－15）。主は怒りを猶予して，イスラエルをバビロンから贖うことを約束される。
4. *証言*（1ニーファイ20：12－14，16）。地と天とイスラエルは神がこれまでに行われた事柄と今後行われる事柄を証言することを求められる。
5. *のろいと祝福*（1ニーファイ20：17－22）。主はイスラエルの罪深い行いと義にかなった行いの結果を対比しておられる。

聖約とは何か，また聖約はどのような点で契約と似ているかを理解しているかどうかについて生徒に質問する（聖句ガイド「聖約」の項，152－153参照）。

生徒たちを5つの「事実調査委員会」に振り分ける。黒板に書かれた契約の1から5の部分のいずれかを各グループに割り当てる。割り当てられた契約の部分に関する聖句を5分から10分で読んで，まとめるように言う。各グループに，代表者を選んで，見つけた事柄を発表するように言う。そして全員で話し合う。

契約に対する訴訟の様式にのっとった，以下の1ニーファイ21章の概要を黒板に書き写す。

公　判

1. *召喚状*（1ニーファイ21：1－6）。神の僕は言う，「わたしの裁きは主とともに」ある。
2. *原告の説示*（1ニーファイ21：7－13）。主は（イスラエルと異なり）これまで約束を守ってこられた，また今後も守ると言われる。
3. *被告の申し立て*（1ニーファイ21：14，21，24）。イスラエルは主の約束に信頼を置いていなかったことを言い訳とする。
4. *裁判官の判断*（1ニーファイ21：15－20，22－23，25－26）。主はイスラエルの民に，贖いを授けることを保証される。

以下の役割を演じる希望者を募る。法廷記録係，原告，被告，裁判官。被告に，立って自分がイスラエルを代表していることを他の生徒に説明するように言う。次のように質問する。「わたしたちは『イスラエル』と言うとき，だれのことを指しているでしょうか（聖句ガイド「イスラエル」の項，34－35参照）。」

木槌でテーブルをたたいて，開廷を宣言する。法廷記録係に召喚状を読むように言う（1ニーファイ21：1－6）。以下の質問をする。

- 1節によればイスラエルはなぜ散らされたのでしょうか。
- 4節の僕の言葉はどのような意味でしょうか。（僕はイスラエルを悔い改めさせるために努力したが，その努力は無駄に終わったため，「事件」を主の裁きにゆだねることにした。）
- 1－6節の僕はだれのことを指しているでしょうか。

イザヤは時々，第一人称で自分や，イスラエル，主を指して言うことがある。話者が予告なく変わるため，現代の読者はだれが話しているのかすぐには分からないことがある。これらの節の僕はイスラエルまたはイザヤであると思われる。しかし，イスラエルとイザヤはともにイエス・キリストの予型ともなるため，これらの節はメシヤを指していることが明らかである（6節参照。ルカ2：25－32も参照）。最終的に召喚状を交付するのは主である。

原告を演じる生徒に被告の罪状を読み上げるように言う（1ニーファイ21：7－13）。イスラエルの民は主と交わした聖約を守らなかったため，散らされて捕らわれの身となったことを生徒に思い起こさせる。これらの節で主は御自分の約束を果たされることをイスラエルに確認しておられる。以下の質問をする。

- 9節の，暗闇に座して捕らえられている者たちとはだれを指しているでしょうか。（福音の光を持っていないイスラエルの民が一つの答えである；教義と聖約45：28参照。もう一つの答えは死んで霊の獄にいる人々である；1ペテロ3：18－19；教義と聖約138：57参照）
- これらの捕らわれている人々はどのようにして解放されるのでしょうか。

被告であるイスラエルは主の説示に対して3つの異議を唱える。被告を演じる生徒に1ニーファイ21：14，21，24を読むように言う。

被告を演じる生徒にイスラエルの申し立てている異議をまとめるように言う。必要であればほかの生徒たちが助けてもよい。（主はイスラエルを見捨て，忘れられた〔14節参照〕；イスラエルの子らは失われた〔21節参照〕；捕らえた者たちは強すぎるためにイスラエルは逃れることができない〔24節参照〕）。以下の質問をする。

- 申し立てられたこれらの異議によればイスラエルに問題をもたらしたのは何だったでしょうか。
- これらの問題を解決するにはどうすればよいでしょうか。（主が救う力を持っておられることに信頼を置くことは，悔い改めるために必要な要素であることを指摘する。）

裁判官の判断を，裁判官を演じる生徒に読むように言う（1ニーファイ21：15－20，22－23，25－26）。以下の質問をする。

- 主はいつイスラエルを赦して，回復されるでしょうか。
- 「わたしはあなたを，わたしの手のひらに彫り刻んだ」（16節）という一節はイスラエルに対する主の愛をどのように表しているでしょうか。
- 主はイスラエルに危害や不当な仕打ちを加えた者たちをどうすると誓っておられるでしょうか（25－26節参照）。

生徒にモルモン書のタイトルページ2段落目を読んで，イスラエルについてどのようなことが教えられているかを見つけるように言う。神はすべての子らに対してとこしえの愛を抱いておられることを証する。神はあらゆる人が悔い改めて，神のもとへ帰ることを望んでおられる。

1ニーファイ22章。わたしたちはほかのすべての聖文と同じように，御霊によってイザヤの記録と預言を理解することができる。（15－25分）

以下の質問を黒板に書く。

> 自動車の機能をよく理解したいと思ったら，あなたはだれのところへ行くでしょうか。
>
> イザヤ書をよく理解したいと思ったら，あなたはだれのところへ行くでしょうか。

黒板に記された質問の答えについて全員で話し合う。以下の質問をする。

- イザヤの預言について預言者に洞察と理解を求めることはなぜ大切でしょうか（2ペテロ1：20－21参照）。
- そのような洞察を調べるにはどうすればよいでしょうか。

1ニーファイ22章は，1ニーファイ20－21章に記されているイザヤの言葉に関するニーファイの解説であることを説明する。次のように質問する。ニーファイの洞察はほかの資料よりもなぜ価値があるのでしょうか。

以下の質問を黒板に書き出すか，コピーを取って生徒に配付する。時間的な余裕がない場合を除いて，括弧内の参照個所は伏せておく。生徒に1ニーファイ22章から質問の答えを見つけるように言う。この演習は個々に行うか，小グループで行うか，クラス全体で行うかのいずれの方法を取ってもよい。生徒の答えについて話し合う。

1. わたしたちはどうすればイザヤの言葉を理解できますか（1ニーファイ22：1－2参照）。
2. イザヤの預言は現世のことについて言っているのですか，それとも霊的なことについて言っているのですか（3節参照）。
3. イスラエルの民はどのようにして，いつ，どこへ散らされますか（3－4節参照）。
4. イスラエルはなぜ散らされるのですか（5節参照）。
5. イスラエルはいつの日か異邦人によって養い育てられると預言したイザヤは，どのような意味で言ったのですか（6－12節参照）。
6. イスラエルに対して戦いを挑む人々はどうなりますか（13－16節参照）。
7. 大きな忌まわしい教会はどのようにして滅ぼされるのですか（13，16節参照）。
8. 主はどのようにして義人が悪人のために滅ぼされることのないようにしてくださいますか（16－22節参照）。
9. 主によって立てられるモーセのような預言者とはだれのことですか（20－21節参照）。
10. イエス・キリストが支配される千年の間，サタンはどのように縛られるのですか（24－26節参照）。

イザヤ書やそのほかの聖文に関する注解の中で最も役立つものは，モルモン書に見られる注解のような，預言者から与えられるものであることを強調する。

ニーファイ第二書

ニーファイ第二書はニーファイが小版に書き記したものの続きである。1ニーファイはリーハイの約束の地までの旅に焦点が絞られているのに対して，2ニーファイはイエス・キリストが救い主であり，贖い主であられることについてのニーファイの証であると考えることができる。ニーファイは1ニーファイの最後の節で，「ですから，わたしと父だけが証をし，神の戒めを教えたのだと考える必要はありません」（1ニーファイ22：31）と説明している。ニーファイ第二書にはイエス・キリストについてさらに幾つかの証人が含まれている（以下の表を参照）。

証　人	2ニーファイの各章
リーハイ	1—4章
エジプトに売られたヨセフ	3章
ニーファイ	4—5章；11章；25—33章
ヤコブ	6章，9—10章
イザヤ	7—8章；12—24章；27章

キリストについて証するほかに，2ニーファイには以下の教義が含まれている。

- イスラエルの散乱と集合
- 大背教
- モルモン書の出現と教会の回復
- 終わりの時のことと，再臨の時に悪人が滅ぼされること
- 救いの計画，イエス・キリストの贖罪が持つ贖いの力
- 全人類の復活

ニーファイは最後に，「キリストの教義」（2ニーファイ32：6）に従うことによって主の弟子たちはどのように永遠の命に導かれるかについて教えている。

ニーファイはすべての人々に彼の言葉を真剣に考えるよう勧めて記録を終えている。それらが「キリストの言葉」であることを証し，さらに「終わりの日に，……あなたがたとわたしとは〔神の〕法廷で対面する。そうすればあなたがたは，わたしが，……これらのことを書き記すようにキリストから命じられたことを知るであろう。

わたしは，あの大いなる終わりの時に，たとえすべてではなくても，わたしたちの多くの者が御父の王国に救われるように，キリストの名によって御父に祈る」（2ニーファイ33：11—12）と証している。

そしてニーファイは最後に生涯を通してテーマにしてきた事柄について振り返っている。「主がわたしにこのように命じられたので，わたしは従わなければならない。」（2ニーファイ33：15参照。1ニーファイ3：7も参照）

はじめに

ニーファイは，イエス・キリストの証人として語った父の最後の言葉をもって2ニーファイの記録を始めている。リーハイは世を去る前に子供たちとその家族に祝福と教えを授けた。レーマンとレムエルに対しては，「まことのメシヤ」（2ニーファイ1：10）を拒むことについての警告を与え，ニーファイの義にかなった指導を受け入れるようにと述べた。ヤコブに対しては，創造，堕落，イエス・キリストの贖罪について教えて，救いを受けるためには心をどこに向けなければならないかを知らせた。末の息子のヨセフには，エジプトに売られたヨセフと，終わりの時に関するヨセフの預言について語った。

リーハイが世を去ってから間もなく，ニーファイは，自分を殺害しようと企んでいたレーマンとレムエルから逃れるようにとの警告を受けた。「神の警告と啓示を信じる者たち」（2ニーファイ5：6）はニーファイと一緒に荒れ野に逃れた。リーハイの家族の残りの者たちはレーマンとレムエルのもとにとどまった。ここからニーファイ人とレーマン人の国家が始まる。ニーファイは兄たちについてこのように記している。「それで，主がわたしに言われた，『あなたの言うことに聞き従わなければ，彼らは主の前から絶たれる』という御言葉は成就した。見よ，彼らは御前から絶たれてしまったのである。」（2ニーファイ5：20）2ニーファイ1—5章で学び取るべきテーマの一つは神の戒めを守る人々は繁栄するという約束である。

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- 約束の地まで主に導かれた人々は，主の戒めを守るならば栄えるであろう。戒めを守らなければ，主の前から絶たれ，罪悪が熟したときに，地から一掃されるであろう（2ニーファイ1：3—12，20；5：8—27参照。エテル2：7—12も参照）。
- 神は義人の苦しみと艱難を聖別して，益としてくださる（2ニーファイ2：1—3参照。2コリント4：17；教義と聖約122：7も参照）。
- 天父はいかなる人も神の律法を完全に守ることができないのを承知しておられたので，悔い改める人々の罪を贖い，救いをもたらすために御子イエス・キリストを遣わしてくださった（2ニーファイ2：3—10参照）。

- 選択の自由は永遠の進歩に不可欠である。わたしたちの選択は最終的に，自由と幸福を得て神とともに永遠の命を得るか，束縛されて悪魔とともに惨めな状態を受けるかのいずれかの結果をもたらす（2ニーファイ2：11－29参照。ヒラマン14：30－31も参照）。
- 創造，堕落，贖罪は天父の計画に必要不可欠である。わたしたちはこれらを知ることによって，なぜ救い主が必要とされるのかを理解することができる（2ニーファイ2：14－26参照。2ニーファイ9：6－15；アルマ18：36－39も参照）。
- 「アダムが堕落したのは人が存在するためであり，人が存在するのは喜びを得るためである。」（2ニーファイ2：25）
- 主は回復の業を成し遂げ，モルモン書を世に現すために預言者ジョセフ・スミスを立てられた。わたしたちはモルモン書を研究することによって，主の聖約を知り，救いを得るための力を理解することができるようになる（2ニーファイ3：6－15参照。教義と聖約20：5－16も参照）。
- 主は子供に真理を教える責任を両親に課しておられる（2ニーファイ4：3－9参照。教義と聖約68：25－32も参照）。
- 自分の罪と欠点を知ることによって絶望を感じることもあるが，生活の中に主の祝福があることを認めて主の力を信頼するならば，絶望を希望に変えることができる（2ニーファイ4：17－5：5参照）。
- 罪深い人は自らの邪悪な行いによって，主と主の祝福から遠ざかる（2ニーファイ5：1－27参照。2ニーファイ7：1も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』23－28。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション4「自ら行動する者」を2ニーファイ2章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

2ニーファイ1：1－24。個人と国民は神の戒めに従順である度合いに応じて祝福を受けるか，あるいはのろいを受ける。（25－30分）

家族の写真，種の入った容器，その種が実らせた果物，お金を見せる。生徒に紙を配って「繁栄」という言葉の定義を書くように言う。生徒が書いた定義について話し合う。2ニーファイ5：10－13を読んで，以下の質問を話し合う。

- ニーファイの説明によると，人々はどのように繁栄したでしょうか。
- 家族の写真，種の入った容器，その種が実らせた果物，お金は，ニーファイの説明とどのような関連があるでしょうか。
- ある人たちはお金がなければ繁栄しているとは言えないと考えているのはなぜだと思いますか。
- わたしたちはほかにどのような方法で繁栄できるでしょうか。

生徒に1ニーファイ4：4を読んで，主がニーファイとその子孫に与えられた約束を見つけるように言う。従順は繁栄をもたらすことを証する。黒板に見出しとして「ニーファイ人」と「レーマン人」と書く。生徒に2ニーファイ5：13－17，20－24を読んで，二つの民の中がそれぞれ繁栄した事例と繁栄しなかった事例を見つけるように言う。それらを黒板の見出しの下に書き出す。一人の生徒に，七十人会長会の一員を務めていた当時にディーン・L・ラーセン長老が語った以下の言葉を読ませる。

> 「人々が主の御心に添った生活をするときには，神がその子供たちのために用意してくださっている祝福につながる要素が，ことごとく備わってくるようです。愛と一致の精神がみなぎり，天候や気候，自然の力までもがそれにこたえてくれるようです。また，平安と静けさがいつまでも続き，勤勉と進歩が民の生活の特徴となります。その状態は，主が約束されたとおりです。」（「主は義人を栄えさせる」『聖徒の道』1993年1月号，48）

この原則を現代にどのように当てはめることができるかについて話し合う。

個人と国民は神の戒めに従順である度合いに応じて祝福を受けるか，あるいはのろいを受けることを生徒に話す。黒板に「国民」と「個人」の二つの見出しを書き加える。生徒を二つのグループに分ける。一つのグループに2ニーファイ1：1－12を，別のグループに2ニーファイ1：13－23を割り当てる。両方のグループに以下の質問の答えを見つけるように言う。

- 従順であることによって国民はどのような祝福を受けるでしょうか。
- 個人にはどのような祝福がもたらされるでしょうか。
- 不従順によって国民や個人にどのようにのろいが降りかかるでしょうか。

生徒に答えを分かち合うように言う。そして黒板の該当する見出しの下に書き出す。国民と個人の間に見られる類似点と相違点について話し合う。

次のように質問する。「邪悪な人が義人と同じように，あるいは義人以上に繁栄しているように見えることがありますが，それはなぜでしょうか。」これは太古の時代から尋ねられてきた質問であることを説明する（エレミヤ12：1参照）。最終的に悪人は罰を受け，あらゆる人は地上での行いによって裁きを受けることを証する。この原則を話し合う際に以下の話を役立てるとよい。十二使徒定員会会員のダリン・H・オークス長老はこのように書いている。

> 「邪悪な人々の繁栄や見せかけの幸福に心を悩ませている人たちは物質的なことに心を向けすぎています。……
>
> ……富を持つことあるいは多くの収入を得ることは天の恵みを受けていることのしるしではなく，またそれらを得ていないことは天の不興を買っていることでもないのです。」（*Pure in Heart*〔1988年〕75）

スペンサー・W・キンボール長老は十二使徒定員会会員であった時代に，次のように記している。

「邪悪な者の繁栄に目を奪われる人々は，他人の過ちは誇張して言うが，自分の弱点に盲目になっていることが往々にしてある。……邪悪な人も一時は繁栄することがあるだろうし，神に逆らう人もその罪のために益を受けることがあるように見えるかもしれない。しかし，その時が来ると，正義の法廷ですべての人は，『おのおのそのしわざに応じて』（黙示20：13）裁かれるのである。一人として逃れることはできない。その日には自分の行為に対する罰を免れる人はいないし，また受けるべき祝福を受け損なう人もいない。」（『赦しの奇跡』315）

2ニーファイ2：1－3。神は義人の苦しみと艱難を聖別して，益としてくださる。（10－15分）

ハワード・W・ハンター大管長はわたしたちが出会う反対のものを，ボートレースでボートが受ける水の抵抗にたとえた。ハンター長老はサモアのアピア湾で行われたファウタシ，すなわち長いボートを使って競うレースを観戦したときの様子を語っている。一人の生徒に以下の話を読むように言う。

「競技が終わった後，わたしたちはカヌーがつながれている所に行ってみました。そこでこぎ手の一人は，次のように語っていました。『カヌーの船首は，抵抗をできるだけ少なくしてスピードが上げられるように，水を突っ切って，つまり水を分けて進むように造られています。逆に，オールをこぐ人は水の抵抗を利用して強くこぐことによって，カヌーを速く前進させるのです。』このように，抵抗は使いようによって，妨げる力にも，前進させる力にもなるのです。

摩擦，あるいは抵抗はおもしろい現象です。この力がなければ，人や乗り物は動くことができません。また，すでに動き出しているものであれば，何かに衝突しないかぎり止まることはできません。釘やねじ，ボルトなどは抜けたり外れ落ちたりするでしょうし，コルクも瓶の口にいつまでも詰まっていないでしょう。電球はソケットから外れますし，容器のふたも外れてしまうでしょう。

摩擦や抵抗の法則を，とかくわたしたちは科学の分野だけでしか考えないようですが，これは個人個人の生活にも当てはまると思います。」

生徒に2ニーファイ2：1－3を読んで，摩擦の法則がヤコブの生活においてどのように働いているかを見つけるように言う。以下の質問を検討する。

- ヤコブは人生の中でどのような抵抗を受けたでしょうか。
- ヤコブは父リーハイからどのような約束を受けたでしょうか。
- 主はどのようにしてわたしたちの苦難を聖別または祝福して，わたしたちの益としてくださるのでしょうか。

生徒に教義と聖約122：7と2コリント4：17を読み，相互に参照させながら，生徒の答えについて話し合う。

ハンター大管長は続いてこのように語った。

「わたしたちがこの死すべき世に来たのは，反対のものに遭うためです。反対のものに遭うことは，永遠進歩の計画の一部です。誘惑や病気，苦痛，悲しみがなければ，善も徳も，幸福や喜びに対する感謝もありません。」（「神は人々を試される」『聖徒の道』1980年9月号，35－36）

2ニーファイ2：3－10。天父はいかなる人も神の律法を完全に守ることができないのを承知しておられたので，悔い改める人々の罪を贖い，救いをもたらすために御子イエス・キリストを遣わしてくださった。（15－20分）

これから黒板に指示を書くので，周囲に何が起きようと完全に従ってほしいと言う。黒板に「何も考えない」と書く。生徒がこの指示に従おうとしているときに，彼らを妨げるようなことを行う（例えば，ビデオを再生する，書物から何かを読んで聞かせる，賛美歌をピアノで弾く，など）。約2分過ぎたら，質問する。

- 何も考えないことはどれほど難しいことでしょうか。それはなぜでしょうか。
- この指示に完全に従うにはどのようなことが必要でしょうか。

わたしたちが天父のもとへ帰るには天父の戒めを完全に守らなければならないことを説明する。ニーファイは次のように教えた。「清くないものは，どのようなものでも神の王国に入ることができないのです。」（1ニーファイ15：34）次のように質問する。「天父のすべての戒めを完全に守ることはどれほど難しいでしょうか。」

生徒に2ニーファイ2：5を読んで，「現世にかかわる律法」と「霊にかかわる律法」という語を見つけるように言う。現世にかかわる律法は全人類が肉体の死をもたらしたアダムの堕落によって効力を持ち始めたことを説明する。霊にかかわる律法には神の戒めが含まれる。あらゆる人は霊にかかわる律法を完全に守らないと霊の死（神から切り離されること）を受ける。以下の質問をする。

- この聖句によると，だれが昇栄できるでしょうか。（一人もいない。）
- 二つの律法に共通していることは何でしょうか。（どちらの律法も，それによって「絶たれる」。）
- 「この律法によって義とされる者はだれもいない」つまり神によって是認される人がいないのはなぜでしょうか。（キリスト以外にだれも律法に完全に従えないから。）
- わたしたちが律法を満たすにはどのような助けが必要でしょうか。（贖い）

2ニーファイ2：6－7を読んで質問する。

- わたしたちがこれら二つの律法を満たせるように，主はどのような助けを与えておられるでしょうか。
- 「律法の目的」とは何でしょうか。（罰。生徒に2ニーファイ2：10，26を読んで，この質問の答えを見つけるように言う。）

以下の質問を話し合う。

- イエス・キリストはどのようにしてわたしたちのために律法の目的を果たされたでしょうか。（律法を破ったことに対してわたしたちが受ける罰をキリストは受けてくださった。2ニー

ファイ2：7参照）

- 主はわたしたちの罪のために贖いの犠牲をささげてくださいました。「贖罪の目的」とはどのようなことでしょうか。（幸福。10節参照）
- 2ニーファイ2：8を読んでください。この聖句によれば，現世にかかわる律法によって科せられる罰（死）を逃れることができるのはだれでしょうか。（あらゆる人）
- 7節によれば，幸福という祝福を受けて，霊にかかわる律法によって科せられる罰を逃れることができるのはだれでしょうか。（「打ち砕かれた心と悔いる霊」を持つ人だけ）
- 「打ち砕かれた心と悔いる霊」を持つとはどのような意味でしょうか。

必要であれば，悔いるとは「悔い改める」という意味であることを指摘する。この語句をさらによく理解するために，十二使徒定員会会員であるリチャード・G・スコット長老の以下の話を一人の生徒に読むように言う。

> 「『打ち砕かれた心と悔いる霊』という絶対必要条件は，従順で，求めに容易に応じ，謙遜すなわち教えを受けることができ，進んで従うことの必要性を定めています。」（「贖い主イエス・キリスト」『聖徒の道』1997年7月号，65）

「打ち砕かれた心と悔いる霊」を説明するためにスコット長老が用いた言葉について話し合い，どうすればこれらの概念を日常生活で応用できるかについて生徒に意見を求める。2ニーファイ2：8を読んで，救い主の偉大な愛についてどのように感じているか，また主の犠牲がもたらしてくれた恵みにふさわしくなるために何をしたいと思うかを紙に書かせる。スコット長老による以下の話を読んで締めくくりとする。

> 「正しい道に戻るのは皆さんが今思っているほど難しいことではありません。サタンは皆さんにそれが不可能であると思わせようとしますが，それは間違いです。救い主は御自分の命をささげ，皆さんが直面する問題を完全に克服できるようにしてくださったのです（2ニーファイ2：6－8参照）。」（「戻る道を見いだす」『聖徒の道』1990年7月号，81）

2ニーファイ2：14－29。創造，堕落，贖罪は天父の計画に必要不可欠である。わたしたちはこれらを知ることによって，なぜ救い主が必要とされるのかを理解することができる。（25－30分）

地球，太陽系，または無数の星の絵を見せる（『福音の視覚資料セット』600参照）。以下の質問をする。

- 宇宙には惑星が幾つ存在すると思いますか（モーセ1：33参照）。
- わたしたちは宇宙のすべての惑星の中で，なぜ地球にいると思いますか。

これらの答えについて話し合ってから，十二使徒定員会会員であるラッセル・M・ネルソン長老の以下の話を一人の生徒に読ませる。

> 「わたしたちはなぜ，この地球という惑星にいるのでしょうか。
>
> その理由の中で最も重要なものは，肉体を受けることです。そして試しを受けることです。この試しの生涯で，様々な難問にどう対処するかを試されるのです。様々な機会に選択を迫られ，その選択は選択の自由があるからこそ可能となります。つまり，この世に生を受けた最大の理由は，自分の選択の自由をいかに行使するかを試されることなのです（2ニーファイ2：15，25参照）。」（「選択」『聖徒の道』1991年1月号，80）

次のように質問する。「ネルソン長老の言葉によれば，わたしたちが地球にいる二つの大きな理由は何でしょうか。」これらは天父の計画においてわたしたちが進歩するためになくてはならないものであることを説明する。別の折にネルソン長老は次のように述べている。

> 「あるとき，天上で大きな会議が招集されました。その会議にはわたしたちすべての者が出席したと思われます。そこで天父が御自身の計画を発表なさいました。……
>
> ……この計画を有効なものとしている基はイエス・キリストの贖いです。イエス・キリストの贖いこそ，この計画の中心です。ですからわたしたちは，その贖いの意味を理解するように努力しなければなりません。ただ，それを理解するには，まずアダムの堕落について理解する必要があります。そして，堕落の意味を十分に理解するには，その前に，創造についてよく理解しなければなりません。創造，堕落，贖い，この3つの出来事は神の計画の重要な3つの柱であり，教義的にも相互に関連性があります。」（「不変の原則」『聖徒の道』1994年1月号，39－40）

次のように質問する。「神の計画の3つの柱，つまり主要な要素とは何でしょうか。」

要約すると，人生の二つの大きな目的は，死すべき体を受けて，選択の自由をどのように使うかを試すことである。天父の計画の3つの柱は創造，堕落，贖いである。次のように質問する。「計画の3つの柱は，人生の二つの目的を成し遂げるためにどのように助けとなるでしょうか。」

この質問に答えるために，以下の表を黒板に書き写す。ただし，二つの「目的」欄の答えは空白にしておく。生徒に「神の計画の柱」の欄に記された聖句を読んで，それぞれの柱がどのように目的を果たしているかを見つけるように言う。生徒が個人で取り組むか，グループで取り組むか，いずれの方法を取ってもよい。

神の計画はわたしたちが地上に来る目的をどのように成就するか

神の計画の柱	第1の目的：肉体を受ける	第2の目的：選択の自由をどのように使うかを試す
創造（2ニーファイ2：14－16，22－23，25）	神はすべての創造物のために肉体を創造された（2ニーファイ2：14－15参照）。	神は「作用するものも作用されるものも創造された」（2ニーファイ2：14）。神は反対のものが存在することを許された（15節参照）。神は人に思いのままに行動する能力を与えられた（16節参照）。
堕落（2ニーファイ2：16－25；1コリント15：21－22）	アダムとエバが堕落したのは，神の子らが死すべき体を受け，生と死を経験できるようにするためであった（2ニーファイ2：19－23，25；1コリント15：21－22参照）。	わたしたちは善と悪に誘われる（引きつけられる，または，説得される）のでなければ選択の自由を行使できない。主は善を行うように勧め，悪魔は悪を行うようにそそのかす（2ニーファイ2：16－18参照）。
贖い（2ニーファイ2：26－29；アルマ11：42－43）	贖罪は全人類を堕落から贖い，死からの復活を与える（2ニーファイ2：26；アルマ11：42－43参照）。	わたしたちは贖いのおかげで，自由と永遠の命か，束縛と霊の死に通じる道のいずれかを選ぶことができる（2ニーファイ2：27－29参照）。

生徒が見いだした事柄について話し合う。十二使徒定員会時代にジョセフ・フィールディング・スミス会長が語った以下の言葉を読んで締めくくりとする。

「この世はわたしたちの存在の中で非常に短い部分でしかありませんが，最も重要な部分です。なぜならば，試練に遭い，比喩的に言えば火の中に投げ入れられ，試されて，わたしたちがどのような要素で構成されているのか，神の王国において昇栄を得るにふさわしいか，それともほかの王国に行くか確認されるのは，この死すべき世においてだからです。」（*Answers to Gospel Questions*，ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編，全5巻〔1957－1966年〕第4巻，82）

2ニーファイ2：25（マスター聖句）。「アダムが堕落したのは人が存在するためであり，人が存在するのは喜びを得るためである。」（5－10分）

以下の架空の話を紹介する。ある日，一人の学生が学校と家庭で自分に課せられている責任の重圧を感じながら，大学の構内を歩いていました。同じ歩道を反対の方向から年配の男性が歩いて来ました。彼は学生を見て，ほほえむと「幸せですか」と尋ねました。意外な質問に驚いた学生は口ごもりながら「ええ，幸せです」と答えました。すると老人は「ではそれを顔に出してくださいませんか」と言いました。

生徒に2ニーファイ2：25を読んで，この聖句は物語とどのような関係があると思うかを説明させる。以下の質問をする。

- 「喜び」を定義してください。
- ある人々はなぜ，この世で喜びを失うのでしょうか。
- 生活にもっと喜びをもたらすにはどうすればよいでしょうか。
- 2ニーファイ2：25で教えられている教義を完全に理解したら，毎日の生活はどのように変わるでしょうか。

聖句を全員で暗記する。喜びをもたらす原則に従って生活するよう生徒を励ます。

2ニーファイ2：27（マスター聖句）。選択の自由は永遠の進歩に不可欠である。わたしたちの選択は最終的に，自由と幸福を得て神とともに永遠の命を得るか，束縛されて悪魔とともに惨めな状態を受けるかのいずれかの結果をもたらす。（15－20分）

机に空の皿を載せて，一人の生徒に横に立ってもらう。その生徒に次のように言う。「皿から好きなキャンディーを選んでいいですよ。」そして，以下の質問をする。

- なぜキャンディーを選べないのでしょうか。
- 皿にキャンディーを一つだけ載せて，好きなキャンディーを取っていいですよと言ったらどうでしょうか。選ぶことができるでしょうか。

生徒とともに2ニーファイ2：11を読んでから，以下の質問をする。

- 選択の自由を使うには二つ以上の選ぶものがなければならないのはなぜでしょうか。
- この聖句の中でこの原則を表している語はどれでしょうか。（「反対のもの」）

生徒に2ニーファイ2：26－27を読んで，わたしたちがこの世で選ぶことができるものを見つけるように言う。以下の質問をする。

- 主に従うことによってもたらされる結果とサタンに従うことによる結果にはどのような違いがあるでしょうか。
- サタンと違って，主はわたしたちにどのようなことを望んでおられるでしょうか。
- 救い主が与えようとしておられることの中で，あなたが最も心を引かれるのはどのようなことでしょうか（贖い，永遠の命などの答えが考えられる）。
- 罪には結果が伴うにもかかわらず，なぜ人々はサタンの誘いに乗るのでしょうか。

十二使徒定員会の会員であったマービン・Ｊ・アシュトン長老の以下の言葉を読む。

「サタンの欺きから遠ざかってください。決して幸福へ導いてはくれません。一見そうではないように見えても，罪人が成功することはないのです。わたしたちは皆，いつかは神の前に立ち，肉体を持っていたときにした行為に従って裁かれるのです。罪人の重荷が聖徒の重荷より軽くなることは決してありません。」（「あらゆるものに与えられた規範」『聖徒の道』1991年1月号，22）

2ニーファイ3：6－15。主は回復の業を成し遂げ，モルモン書を世に現すために預言者ジョセフ・スミスを立てられた。わたしたちはモルモン書を研究することによって，主の聖約を知り，救いを得るための力を知ることができる。（25－30分）

「兄たちに売られるヨセフ」（『福音の視覚資料セット』109）と「預言者ジョセフ・スミス」（401）の絵を見せる。生徒に2ニーファイ3章の前書きを読んで，2枚の絵がだれであるかを確認し，また両者の共通点を見つけるように言う。2ニーファイ3章でリーハイは息子のヨセフに，同じヨセフという名を持つ二人の偉大な預言者について語ったことを説明する。リーハイはいにしえのヨセフが終わりの時に生を受けるジョセフに関して語った預言について述べている。（訳注――リーハイの息子のヨセフ，エジプトに売られたヨセフ，そして預言者ジョセフ・スミスは英語では3人ともJosephである。）

クラスを二つのグループに分けて，それぞれ2ニーファイ3：6－15を読むように言う。一つのグループは預言者ジョセフ・スミスに関する記述を，別のグループは預言者ジョセフが終わりの時に行う事柄を見つける。そして，学んだことを発表させる。預言者ブリガム・ヤングが語った以下の言葉を読む。

> 「地の基が置かれるはるか以前に開かれた永遠の会議において，彼すなわちジョセフ・スミスは，この世界の最後の神権時代に神の言葉を人々にもたらし，神の御子の神権のすべての鍵（かぎ）と力を受ける人となることが定められました。主は彼のうえに，彼の父親のうえに，彼の父親の父親のうえに，そしてアブラハムに至るまで，彼の先祖に目を注がれました。そしてアブラハムからさらにさかのぼって洪水の時代，洪水の時代からエノク，エノクからアダムに目を注いでこられました。主はこの家系を見守り，この家系の血統が始祖からこの人の誕生まで継承されるのを見守ってこられました。ジョセフはこの最後の神権時代を管理するよう永遠に予任されていたのです。」（『歴代大管長の教え―ブリガム・ヤング』106）

全員で2ニーファイ3：11；教義と聖約5：10；135：3を読む。以下の質問をする。

- 預言者ジョセフ・スミスは主としてどのようなことを成し遂げたでしょうか。
- ジョセフ・スミスはどのようにして主の言葉をもたらしたでしょうか。

生徒が答えとしてモルモン書を挙げたら，この書物が持つ真理と力について証（あかし）する。大管長会の一員を務めていた時代にゴードン・B・ヒンクレー長老が語った以下の言葉を一人の生徒に読ませるとよい。

> 「わたしは皆さんにはっきりと約束します。これまでに何度読んだかに関係なく，祈りの気持ちをもってモルモン書を読むなら，皆さんの家庭の中に，さらに豊かに主の御霊（みたま）が注がれるようになります。そして，主の戒めに従って歩もうとする決意が強められ，神の御子が確かに生きてましますことがさらにはっきりと分かるようになるでしょう。」（「モルモン書」『聖徒の道』1988年10月号，7）

生徒に2ニーファイ3：12を読ませる。そして，聖書とモルモン書が「一つに合わされる」とはどのような意味かについて意見を求める。古代の聖典が合わされることによって実現する5つの約束を見つけて印を付けるように言う。（偽りの教義が打ち破られる，争いが鎮められる，平和が確立される，人々に先祖についての知識が与えられる，主の聖約を知るようになる。）これら5つの約束がどのように成就しているかを生徒に質問する。

時間的に余裕があれば，2ニーファイ3：12とエゼキエル37：15－17とを相互参照して，モルモン書がこの古代の預言をどのように成就しているかについて話し合う。十二使徒定員会の一員であった当時のボイド・K・パッカー長老の以下の話を紹介する。

> 「ユダの木，すなわち記録（新旧約聖書）それにエフライムの木すなわち記録（モルモン書―イエス・キリストについてのもう一つの証）はこのような過程を経て一つに合わせられたのです。一方を読めば他方も読むことになり，一方から得た知識は他方を読むことによってより明確なものになります。2本の木は，ほんとうにわたしたちの手の中で一つになりました。こうして今日（こんにち），エゼキエルの預言が成就したわけです。」（「聖典」『聖徒の道』1983年1月号，92）

モルモン書によって生活が変わったことについて生徒に体験を話すように言う。

2ニーファイ4：3－9。主は子供に真理を教える責任を両親に課しておられる。（20－25分）

以下の質問をする。

- もしあなたが親であって，8歳になる息子がバプテスマを受けたくないと言ったとしたら，あなたはどのように対応するでしょうか。
- 10歳になる息子が教会に行っても退屈だから行かないと言ったとしたら，あなたはどのように対応するでしょうか。
- 友達が「ぼくは伝道に行かない。家族が教会にあまり熱心じゃないから，ぼくは立派な宣教師になれるはずがない」と言ったとしたら，あなたはどのように対応するでしょうか。
- 友達が「わたしはあなたのようなモルモンにはなれないわ。だってわたしの両親は二人ともアルコール中毒だから」と言ったとしたら，あなたはどのように対応するでしょうか。
- もしあなたが監督であって，一人の会員が「わたしが教会に行かなくなったのは両親のせいです。両親は聖文どころか何も教えてくれなかったからです」と言ったとしたら，あなたはどのように対応するでしょうか。

- ワードの一人の会員が「自分のしていることが別に悪いとは思っていません。父はいつもそうしていましたから」と言ったとしたら，あなたはどのように対応するでしょうか。

質問について話し合ってから，以下のように質問する。

- 両親はいつ子供の行いについて責任をともに負わなければならないでしょうか。
- 両親はいつ子供の行いについて責任を問われなくなるでしょうか。

大管長会と十二使徒定員会が発表した以下の宣言を読む。

> 「両親には，愛と義をもって子供たちを育て，物質的にも霊的にも必要なものを与え，また互いに愛し合い仕え合い，神の戒めを守り，どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻，すなわち父親と母親は，これらの責務の遂行について，将来神の御前で報告することになります。」（「家族――世界への宣言」『聖徒の道』1996年6月号，10）

リーハイは死の直前に子供たちとその家族を集めて祝福と警告を与えたことを説明する。2ニーファイ4：3－9を読んで，リーハイがレーマンとレムエルの子供たちに与えた勧告を見つける。以下の質問をする。

- 主は彼らにどのような約束を与えられたでしょうか。
- 「行くべき道に従って育てられる」子どもたちはどのようになることをリーハイは信じていたでしょうか（5節）。
- レーマンの子供たちがのろわれるとしたら，彼らにどのような祝福を残すとリーハイは語ったでしょうか（6節参照）。
- リーハイはなぜのろいは「その責任が両親の頭に帰する」と言ったのでしょうか（6節）。

レーマンとレムエルの子供たちはレーマン人として知られるようになることを生徒に告げる。

生徒を二つのグループに分ける。最初のグループに，モーサヤ10：11－17を読んで，レーマン人が信じるようにと教えられてきた事柄を挙げるように言う。第2のグループに，教義と聖約68：25－31を読んで，主が両親に対して子供たちに教えるべきであると言われた事柄を挙げるように言う。「レーマン人が子供たちに教えたこと」「主が両親に対して子供たちに教えるべきであると言われたこと」と黒板に見出しを書き，その下に生徒が見つけた事柄を書き出してから，二つのリストを比較する。次のように質問する。「子供たちに福音を教えない両親について主は何と言っておられるでしょうか（教義と聖約68：25参照）。」

福音をよく研究して，主の方法で子供たちを育てる義にかなったシオンの両親となる準備をするよう生徒を励ます。

2ニーファイ4：17－5：5。自分の罪と欠点に気づくことによって絶望を感じることもあるが，生活の中に主の祝福があることを認めて，主の力を信頼するならば，絶望を希望に変えることができる。（20－25分）

「み恵み数えあげ」（『賛美歌』153番）を歌うか，節ごとに順に読む。以下の質問をする。

- この賛美歌はどのようなメッセージを伝えていると思いますか。
- このメッセージにはあなたの生活を変える力があるでしょうか。それはなぜでしょうか。

今日は，ニーファイの詩篇と呼ばれることのある聖文について学ぶことを生徒に伝える。ニーファイの詩篇は4つの部分に分けられる。以下の表を黒板に書き写す。ただし，説明の欄は順序を適当に変えておく。生徒に，聖句を読んでから，正しい説明を見つけるように言う。個人またはグループのいずれでこの活動を行ってもよい。それが終わったら，全員で参照聖句と説明を正しく並べ替える。

ニーファイの詩篇

参照聖句	説　明
2ニーファイ4：17－19	ニーファイは自分の罪に対する悲しみを表している。
2ニーファイ4：20－25	ニーファイは受けた祝福を挙げている。
2ニーファイ4：26－29	ニーファイは受けている祝福に気づいて，いっそうの努力を決意する。
2ニーファイ4：30－35	ニーファイは主に頼り，主が贖ってくださるように祈る。

以下の質問の中から幾つかを選ぶか，あるいはすべてを質問する。

- あなたはニーファイが感じたような気持ちになったことがあるでしょうか。もしあれば，それはどのようなものでしたか。
- ニーファイは自分の生涯でどのような祝福を受けてきたことを認めているでしょうか。
- これらの祝福はどこから与えられたのでしょうか。
- 祝福が神から与えられていることを認めることによって，あなたの生活にはどのような変化が起こり得るでしょうか。
- ニーファイが主にささげたこの祈りから，何を学ぶことができるでしょうか。
- アルマ38：5を読んでください。この節によれば，苦難から逃れるにはどうすればよいでしょうか。
- 主を信頼していることをどのようにして主に示すことができるでしょうか。

ニーファイが受けた試練の多くは兄であるレーマンとレムエルの手によって引き起こされたものであることを生徒に告げる。彼らは何度かニーファイをたたき，命を奪おうとした（1ニーファイ3：28；7：16；18：10－12参照）。ニーファイはそれでも主を信頼し続けた。全員で2ニーファイ5：1－11を読んで，主を信頼する者たちは束縛から解放されるという約束を主がどのように実行されたかを見つけるように言う。この聖句を研究する際に，以下の質問を活用するとよい。

- ニーファイに対する兄たちの態度はどのように変化してきたでしょうか（2節参照）。
- 彼らはニーファイに対して何をしようとしていたのでしょうか。

- 主はニーファイとニーファイを預言者として信じた人々に何を行われたでしょうか。
- 彼らはどこへ行きましたか。
- 彼らが敵から解放されるために，信頼はどのような役割を果たしたでしょうか。

生徒にこれまで受けてきた祝福を数え上げ，主が助けてくださること，悪から解放してくださることについて主を信頼するよう勧める。リチャード・G・スコット長老の以下の話を紹介するとよい。

「わたしたちはこの世においては，主がわたしたち一人一人のために備えてくださった永遠の計画のほんの一部しか見ることはできません。たとえこの世で大きな苦しみに遭ったとしても，主の永遠の計画のことを考えて，どうぞ深く主を信頼してください。今すぐ祝福が欲しいと思うときでも，待つよう求められたら，どうぞ忍耐強く待ってください。主は，皆さんの考えとはまったく相反するようなことを，皆さんに求められるかもしれません。そのようなときは信仰を働かせ，『御心が成りますように』と言ってください。そのような誉むべき経験を重ねるうちに，さらに大きな祝福を受ける備えができていくのです。御父と同じように，主の願いも，皆さんが永遠の幸福にあずかり，たゆみない進歩を続け，ますます力が増し加えられることです。主は，御自分が今持っておられるものをことごとく皆さんに授けたいと願っておられます。」（「主から助けをいただく」『聖徒の道』1992年1月号，95）

2ニーファイ5章。罪深い人は自らの邪悪な行いによって主と主の祝福から遠ざかる。（15－20分）

神殿の絵を見せて，以下の質問をする。

- これはどなたの家でしょうか。
- 教義と聖約97：15－17を読んでください。ふさわしい状態で神殿に入る人々にはどのような約束が与えられているでしょうか。
- 主の前に行くためにあなたはどのようなことを進んで行おうと考えているでしょうか。
- わたしたちはどのようなことによって主から遠のいているでしょうか。

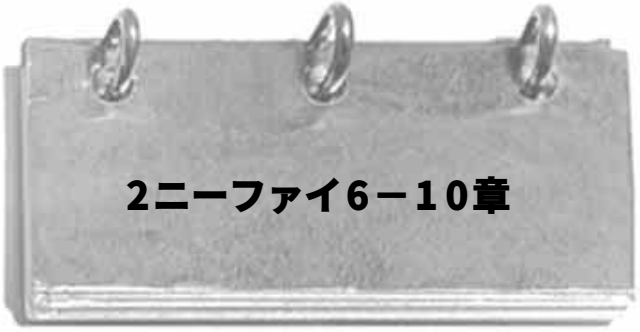
主はわたしたちを愛しておられ，わたしたちが主の前で住むよう望んでおられるが，時々わたしたちはそこへ行くのにふさわしくない事柄を行っていることを説明する。2ニーファイ5：20－24を読んで，以下の質問を話し合う。

- レーマン人は不従順であったためにどのようなのろいを受けたでしょうか。（彼らは主の前から絶たれた。20節参照）
- 彼らはなぜ絶たれたのでしょうか（21節参照）。
- 主はなぜ「彼らの肌を黒ずんだ肌にされた」のでしょうか（21節）。
- レーマン人と縁を結ぶ者に対して主はどのような警告を与えられたでしょうか。（同じのろいを受ける。23節参照。注意：のろいは「黒ずんだ肌」ではなく「主の前から絶たれる」ことであることを生徒に理解させる。）
- 主の前から遠のいた人々にどのようなことが起きたでしょうか（24節参照）。
- 2ニーファイ7：1を読んでください。この節によれば，主から遠ざかっていないことを確かめる責任はだれにあるでしょうか。

十二使徒定員会会長時代にジョセフ・フィールディング・スミス長老が語った以下の言葉を読んで，話し合う。

「主の御霊は人が主の戒めに従順でなければ，人と論じられることも，とどまってくださることもありません。

教会員はそれぞれ，謙遜に，誠実に，また与えられている戒めを厳密に守って生活する義務があります。これを行うならば，真理を知るでしょう。福音の要求に従って生活していないために，証を受けていない教会員が大勢います。主の御霊は清くない宮にとどまることがおできになりません。このため，約束されている知識を受けることができないのです。また，研究と信仰によって知識を身に付ける時間を取ろうとしない教会員がいます。彼らは忠実な者に約束されている霊感を受けることができません。このような状態にある人々は，欺かれやすく，偽りの教えや人の理論に転じる危険性が高いのです。」（*Answers to Gospel Questions*，第3巻，29－30）



2ニーファイ6－10章

はじめに

ニーファイは，救い主の生涯と使命に関する証として，弟ヤコブの二つの説教を2ニーファイ6－10章に含めた。ヤコブは最初の説教で，救い主の贖罪に対する自分の証の背景として，イスラエルの家に関する預言者イザヤの言葉を広く引用した（2ニーファイ6－9章参照）。2番目の説教では，「神の御心と和解しなさい。悪魔の意志と肉の思いに自らを従わせてはならない」，和解は「ただ神の恵みによること，また神の恵みを通じて」実現できることを民に説いた（2ニーファイ10：24）。ヤコブは「神が復活の力によって，あなたがたを死からよみがえらせ，また贖罪の力によって，永遠の死からもよみがえらせて」くださるよう民のために祈った（2ニーファイ10：25）。

十二使徒定員会会員のジェフリー・R・ホランド長老はこのように教えている。ヤコブの証は「贖罪が無限無窮であって，この世に生きたあらゆる男女，子供たちに益をもたらすものであることを確認しています。公平と正義を含む救い主の憐れみと愛は，**あらゆる人**に主の福音のよいおとずれを聞くことを求めています。したがって，キリストがこの世で教えと導きの業に携わられる以前に世に来た人々は，キリストがこの世におられた間にいた

人々やそれ以降の人々と同様，そのメッセージを聞く必要がありました。けれどもキリストは一人でそのメッセージを広めることはおできになりません。このように，キリストのために，あるいは言い方を変えればキリストを援助するために，ニーファイの時代を含むあらゆる時代に福音が記録され，証されなければならないのです。」（*Christ and the New Covenant：The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕61）

学び取るべき重要な福音の原則

- 預言者たちは終わりの時に福音が宣言され，主が御自分の民を集められ，悔い改めるすべての人々に贖いがもたらされることを預言した（2ニーファイ6：6－18；8：1－9：3；10：1－2，7－22参照）。
- 主はたとえ御自分の民が聖約を破り，主から離れても，決して民を見捨てられない（2ニーファイ6：8－11，14－15；7：1－2，4－7参照。ネヘミヤ9：16－17，30－31；黙示3：20も参照）。
- 終わりの時に主の聖約の民は喜びと楽しみのうちにシオンに集められる（2ニーファイ8：3－7，11－16参照。教義と聖約101：13－19も参照）。
- イエス・キリストの贖いは全人類を肉体と霊の死から解放する。しかし，悔い改めない者は第二の霊の死を受ける（2ニーファイ9：6－24；10：23－25参照。ヒラマン14：15－19も参照）。
- もし誘惑に屈して悔い改めないならば，わたしたちは高慢になり，肉の思いを抱き，霊的に死んだ状態となる（2ニーファイ9：27－39）。
- 神の勧告に聞き従うならば，学識のあるのはよいことである（2ニーファイ9：28－29参照。イザヤ55：8－9；1コリント3：18－20も参照）。
- わたしたちは主のもとへ行くことによって，霊的に生きた状態となり，救いの希望で満たされる（2ニーファイ9：39，41－43，45－46，49－52参照。2ニーファイ26：24－28も参照）。
- 主は終わりの時にシオンをアメリカ大陸に築かれる。シオンに戦いを挑む者は滅びる（2ニーファイ10：10－20参照。エテル2：6－12；信仰箇条1：10も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』28－32。

教え方の提案

2ニーファイ6：13。ヤコブにはニーファイ人に福音を教えるための資格があった。（10－15分）

大管長の写真と，著名な市民の指導者または企業の指導者，スポーツ選手あるいは映画スターの写真を見せる。以下の質問について話し合う。

- これらの二人の中でどちらの人から福音を教えてもらいたいと思うでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 著名な指導者や映画スターは何が欠けているために福音を教えることができないのでしょうか。
- イエス・キリストの福音を教えるにはどのような資格が必要でしょうか。

生徒に2ニーファイ6：1－3を読んで，ヤコブに福音を教える資格があった理由を少なくとも5つ探して印を付けるように言う。黒板に書き出して，一つ一つについて話し合う。以下の事項が考えられる。

- ヤコブは神によって召された（2節参照）。
- ヤコブは「聖なる位」に従って聖任された（神権を持っていた。2節参照）。
- ヤコブは預言者ニーファイによって聖別または任命されていた（2節参照）。
- ヤコブは自分の民を非常に心配していた（3節参照）。
- ヤコブはすでに，福音を教えるために非常な努力を払っていた（3節参照）。

これらの事柄がなぜ福音を教える資格となるのかについて簡単に話し合う。どのような理由で大管長にはヤコブと同じように教える資格があるのか，その理由について具体的な例を生徒が知っていれば，それも含めて発表するように言う。

2ニーファイ6：6－18。預言者たちは終わりの時に福音が宣言され，主が御自分の民を集められ，悔い改めるすべての人々に贖いがもたらされることを預言した。（30－35分）

生徒に1ニーファイ19：23；2ニーファイ6：4；3ニーファイ23：1を読んで，これらの聖句に共通する事柄を見つけるように言う。次のように質問する。「ニーファイ，ヤコブ，そして救い主までもがなぜイザヤの言葉を引用し，わたしたちにイザヤの言葉を調べるように勧めているのでしょうか。」2ニーファイ6：5；11：2；3ニーファイ23：2を読む。次のように質問する。「これらの聖句はイザヤの言葉が頻繁に引用される理由についてどのように教えているでしょうか。」イザヤに関するヤコブの霊感に満ちた解説を研究するに当たって，これらの原則に注意を払うよう生徒に勧める。

ヤコブは，イザヤの預言が成就する状況を明確にするために，ユダヤ人の歴史を簡単に紹介することから始めている。2ニーファイ6：8－11を読んで，以下の質問を話し合う。

- 主は，当時のユダヤ人についてヤコブにどのようなことを啓示されたでしょうか。（彼らは囚われの身となって連れ去られた。8節参照）
- ヤコブは次にどのようなことを示されたでしょうか。（後にユダヤ人はエルサレムに帰って来る。9節参照）
- ユダヤ人はイエスが地上で行われた業にどのように反応したでしょうか（9節；2ニーファイ10：3－4参照）。
- 彼らはなぜそのように反応したのでしょうか（2ニーファイ6：10；10：5参照）。
- イスラエルの聖者を拒んだために，ユダヤ人にはどのようなことが起きるでしょう。（ユダヤ人は再び散らされて，終わりの時まで集められない。2ニーファイ6：10－11；10：6参照）

自分の国の国旗と，腕に子供を抱いている両親の写真を見せる（『福音の視覚資料セット』616参照）。2ニーファイ6：6－7を読んで，これら二つのイメージがイザヤのメッセージとどのように関連しているかについて話し合う。

『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』を見せて，注解書とはどのようなものかを説明する（洞察豊かな解説）。生徒にこれから，ヤコブの助けを借りて2ニーファイ6：6－7の解説を書いてもらうことを告げる。以下の表を配付資料として生徒に配る。「解説」の欄は，各項目の始めにある参照聖句だけそのままにして，残りを空白にしておく。生徒に「預言」の欄から聖句を読んで，「解説」の欄にイザヤの預言のその部分をどのように説明するかを記入するように言う。

	預　言	解　説
2ニーファイ6：6（イザヤ49：22）	**「見よ，わたしは異邦人に向かって手を挙げ，もろもろの民に向かってわたしの旗を掲げよう。」**	**2ニーファイ6：11－12；9：1－2。主は散らされたイスラエルを「まことの教会」と「彼らに約束されたすべての地」に集めるために異邦人の国民を参加させられる。**
2ニーファイ6：6－7（イザヤ49：22－23）	**「……すると彼らはあなたの息子たちを腕に抱き，あなたの娘たちを肩に乗せて来る。** **王たちはあなたの養父となり，王妃たちはあなたの養母となる。……」**	**2ニーファイ10：7－9。異邦人は愛にあふれた親のように，主がイスラエルと交わされた聖約の成就の一つとして，イスラエルの家を彼らの受け継ぎの地に連れ戻す。**
2ニーファイ6：7（イザヤ49：23）	**「……彼らは顔を地に向けてあなたに身をかがめ，あなたの足のちりをなめる。こうしてあなたは，わたしが主であることを知る。わたしを待ち望む者は恥を受けないからである。」**	**2ニーファイ6：13－15。聖約の民に戦いを挑む人々は「足のちりをなめる」すなわち低くされる。主の降臨を待ち望む者は救われる。**

生徒が活動を終えたら，その結果について話し合う。必要であれば，「解説」の欄の答えを利用してもよい。話し合いを進めるために以下の中から幾つかを選ぶか，あるいはすべてを質問する。

- オリンピックの開会式に出席して，各国の入場行進を見物していると仮定してください。選手たちはその国独特の衣装を身に着けて，国旗を振りながら行進しています。各国にはなぜ国旗があるのでしょうか。国旗は何のためにあるのでしょうか。（地域やグループを明確にする，人々を何かに結集させる，あるいは軍隊の士気を高めるため。）
- 終わりの時に主が掲げられる旗はどのようなものだと思いますか。（「自分たちの贖い主を知る」知識〔2ニーファイ6：11〕，「神のまことの教会と群れ」〔2ニーファイ9：2〕，教会の回復とイスラエルの集合を可能にする政治上の出来事，などの答えが考えられる。）
- 異邦人の国民がイスラエルの家の集合をどのように助けるかを表すためにイザヤはどのような象徴を使ったでしょうか。
- 一つの国民がどのようにして「養父」や「養母」のようになることができるのでしょうか。
- ヤコブは何が，なぜ，滅ぼされると述べているでしょうか。
- ヤコブは破滅を免れる人々についてどのように述べているでしょうか。
- これらの預言はあなたにどのように当てはまるでしょうか。

教会員はイスラエルの家に属していることを生徒に告げる。ニーファイも終わりの時におけるイスラエルの家について語ったことを説明する。2ニーファイ25：16－18を読んで，来るべき滅亡を免れるためにわたしたちに何ができるかを見つける。キリストを信じ，「純真な心と清い手をもってキリストの名により天の御父を拝」する（16節）ことがなぜ，主の再臨の時に主の聖約の民として受け入れられるための備えとなるかについて話し合う。

「山の上に」（『賛美歌』2番）を歌って終える。

2ニーファイ6：8－11，14－15；7：1－2，4－7。主はたとえ御自分の民が聖約を破り，主から離れても，決して民を見捨てられない。（20－25分）

普通の人の絵の横に救い主の絵を置く。絵の中の人が罪を犯したとしたらどうなるかを，次の実演のどちらがよく表しているか生徒に質問する。最初は救い主の絵を人の絵から引き離す。救い主の絵を元の位置に戻す。次に，人の絵を救い主の絵から引き離す。次のように質問する。「わたしたちが罪を犯すと，救い主はわたしたちから去って行かれるでしょうか，それともわたしたちが救い主から去って行くでしょうか。あなたはそれがどうして分かるでしょうか。」

生徒に2ニーファイ7：1－2に記されているイザヤの預言を読んで，実演と同様の事柄を見つけ出すように言う。以下の質問を話し合う。

- この聖句はだれが話しているのでしょうか。
- だれに向かって話しているでしょうか。（イスラエル）
- 1節によると，だれがだれを捨てたのでしょうか。
- わたしたちはどのようにして主から離れて行くでしょうか。
- 2節で主が呼ばれたとき，だれが答えたでしょうか。
- 主はどのような方法でわたしたちに呼びかけておられるでしょうか。
- わたしたちはどのように答えているでしょうか。わたしたちはどのような行動によって，答えていないことを示しているでしょうか。

クラスを二つのグループに分ける。一つのグループに2ニーファイ6：8－11を，別のグループに2ニーファイ6：14－15を調べる割り当てを与える。イエス・キリストがユダヤ人に「御自身を現された」1回目と2回目の違いについて報告させる。以下の質問をする。

- ユダヤ人は主から離れたときにどのようなことが起きたでしょうか。
- ユダヤ人が主に帰るときにどのようなことが起きるでしょうか。
- 人が主から離れるとどのようなことが起きるでしょうか。
- あなたが主に立ち返ったときに主はあなたにどのようなことをされたでしょうか。

生徒に2ニーファイ7：4－7を読んで，イザヤはイエス・キリストをどのように描写しているかを見つけるように言う。イザヤのとった姿勢と救い主が示された姿勢とを比較するように言う。次

のように質問する。「これらの聖句から，わたしたちが主のもとに立ち返ることを決意するときに希望をお与えになることのできる主についてどのようなことが分かるでしょうか。」（主は去って行かれずに，いつもそこにいてわたしたちを助けようとしておられる。）モーサヤ11：24を読んで，わたしたちが不承不承主に耳を傾けているために，主は時々すぐにはおこたえにならないことを指摘する。モーサヤ7：33を読んで，主の祝福を受けるためにわたしたちが何をしなければならないかについて生徒の意見を求める。ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を読んで，締めくくる。

「この言葉は何度繰り返しても言いすぎることはありません。若いときの情欲を避けてください。麻薬に手を出さないでください。それらは確実に皆さんを滅ぼします。それらを恐ろしい病気に対するように避けてください。事実そのようになるからです。汚れた下品な話を避けてください。そのような話も破滅につながります。どんなときも誠実であってください。不誠実は人を堕落させ滅ぼします。知恵の言葉を守ってください。喫煙をしてはなりません。かみたばこもいけません。飲酒もしてはなりません。……皆さんを誘惑するこれらのものを超越してください。祈りを忘れないでください。信仰を込めて主に尋ね求めれば，主は皆さんの祈りを聞き届けてくださいます。主は皆さんを愛し，祝福したいと願っていらっしゃいます。主の祝福にふさわしく生活してください。」（「改宗者と若い男性について」『聖徒の道』1997年7月号，60）

2ニーファイ8：3－7，11－16。終わりの時に主の聖約の民は喜びと楽しみのうちにシオンに集められる。（30－35分）

新聞か雑誌を幾つかクラスに持って来る。それらを生徒の間に回して，世界中で起きている災害について報道している記事を見つけるように言う。見つけた記事について報告し，もしあれば写真も見せるように言う。次のように質問する。「これらの災害は再臨の前に起きる破壊とどのように関連づけることができるでしょうか。」キリストの再臨の前に起きる破壊を説明している聖句を分かち合うように言う（例えば，1ニーファイ22：13－16；教義と聖約43：25；45：31－33；88：88－91；112：23－24）。

イザヤは終わりの時に邪悪な人々が滅ぼされることについてだけでなく，主が義人に与えられる祝福についても預言した。2ニーファイ8：3－6を読んで，以下の質問を話し合う。

- シオンに住む義人にはどのような祝福が待っているでしょうか。
- 主は「荒れた所」（3節）すなわち破壊された場所をどのようにされるでしょうか。
- 邪悪な人々は滅ぼされます。けれども，主と主の福音を頼る人々には，主はどのような約束を与えておられるでしょうか（6節）。

クラスを二つのグループに分ける。最初のグループに，2ニーファイ8：7－12を読んで，主の民に与えられている約束を見つけるように言う。理解しにくい語句があっても，特に説明を与えずに割り当てを完成させる。第2のグループに，教義と聖約97：10－20を読んで，終わりの時にシオンが栄えるためにわたしたちがしなければならない事柄を見つけるように言う。最初のグループから報告を受けて，見つけた事柄について話し合う。以下の点が押さえられていることを確認する。

- 2ニーファイ8：7－8。主の民は邪悪な人々を恐れる必要がない。最終的に邪悪な人々は滅ぼされ，義人はとこしえに生きる（教義と聖約29：17－20も参照）。
- 2ニーファイ8：9－11。主は紅海を分けて古代イスラエルをエジプトから解放されたように，終わりの時の破壊から主の民を救い出して，シオンに導かれる（1ニーファイ17：23－27と『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』30ページ，2ニーファイ8：9－11の解説も参照する）。
- 2ニーファイ8：12。主の民は人々を恐れる必要がない。人は死すべき存在であり，死と破壊に支配される。主は御自分の民のあらゆる敵を打ち負かす力を持っておられる（イザヤ40：5－8；マラキ4：1も参照）。

義人は一個の民として守られるが，破壊の犠牲となる義人もいることを説明する。十二使徒定員会会員であったブルース・R・マッコンキー長老はこのように述べた。

「来（きた）るべき滅亡の日にすべての聖徒が救われるとは断言できません。しかし，ここで申し上げられるのは，主を愛し，主から命じられたすべてのことを行おうと努めている人々以外に，安全や保護を約束される人はいないということです。」（「一切の生くる者の上に自立せん」『聖徒の道』1979年10月号，135）

第2グループに，シオンが栄えるためにわたしたちはどのような助けができるかについて報告させる。答えについて話し合い，黒板に書き出す。以下の質問が役立つであろう。

- 主は何を建てるよう主の民に命じられたでしょうか。
- 神殿の建設費はどのようにして賄われているでしょうか。
- 主の民を再臨に備えさせるために神殿はどのような働きをするでしょうか。（王国に関するすべてのことについて指示を与える，心の清い人々が主の前に行くことができるように場所を与える，などの答えが考えられる。）
- 主の宮においてふさわしく礼拝することによって，シオンはどのような祝福を受けるでしょうか。
- 神殿を霊的な生活においていっそう意義深いものとするためにあなたは何ができるでしょうか。

一人の生徒にハワード・W・ハンター大管長の以下の言葉を読ませる。

「わたしたちは，神殿での礼拝を通して個人に与えられる祝福について改めて強調します。この聖なる宮の中で与えられる清めと安らぎについても強調したいと思います。神殿は主の宮であり，啓示と平安を受けられる場所です。神殿に入ると，人生の目的についてもっと豊かに掘り下げて学ぶことができますし，主イエス・キリストの贖いの犠牲の大切さについてさらに理解を深めることができます。神殿での礼拝，神殿で交わす聖約，神殿結婚など，神殿で行われる事柄を地上での究極の目標とし，現世の生涯における至上の経験としましょう。」（「神の御子に従う」『聖徒の道』1995年1月号，97）

神殿は神殿で礼拝する人々に対してどのように安全を与えるかについて簡単に話し合う。生徒に教義と聖約97：21－26を読んで，シオンにおいて主が御自分の民にどのような安全を約束しておられるかを見つけるように言って，締めくくりとする。

2ニーファイ9章。贖罪は人を堕落の影響から贖う。（30－40分）

生徒に建築中の高層ビルの中にいると仮定させる。15階を歩いているときに，足を滑らせて，足場から落ちてしまった。以下の質問をする。

- 以下のうち，どの安全装置が欲しいと思うでしょうか。傘，パラシュート，バンジージャンプのゴムロープ，地面に張られたネット。それはなぜですか。
- どの装置が最も安全でしょうか。
- 最も安全な装置を選ばない人がいるでしょうか。それはなぜですか。
- モーサヤ16：3－4を読んでください。この聖句はビルから落ちることと，どのようにたとえることができるでしょうか。
- 安全装置の中で贖罪に最も近いのはどれだと思いますか。それはなぜですか。

贖罪は人を堕落の影響から贖うことを説明する。以下の文章を黒板に書き写す。「2ニーファイ9章……は救いを求めるすべての人がよく注意して読む必要があります。」（ジョセフ・フィールディング・スミス，*Answers to Gospel Questions*，第4巻，57）

生徒に2ニーファイ9章の前書きを読んで，なぜこの章がそれほど大切だと思うかを尋ねる。

ヤコブは2ニーファイ9章で畏れと敬虔さを表すために「おお」という語を使い，悲しみと畏怖の気持ちを表すために「災いである」という語を使っていることを説明する。生徒に1枚ずつ紙を配り，紙に二つの欄を作って，それぞれ見出しとして「おお」と「災いである」と書くように言う。2ニーファイ9：6－38を読んで，これらの語を見つけるように言う。ヤコブが畏敬の念を抱いた事柄と悲しみを覚えた事柄を該当欄に書き出させる。そして，紙のいちばん下に「救いを求めるすべての人」がなぜ2ニーファイ9章をよく注意して読むべきか，思いつくことを書くように言う。

この作業に取り組んでいる個々の生徒を助け，励ます。完成したら，生徒がこの活動から学んだ事柄について話し合う。紙の最後に書いたことを分かち合いたいと思う生徒がいれば発表させる。

2ニーファイ9：6－24。イエス・キリストの贖いは全人類を肉体と霊の死から解放する。しかし，悔い改めない者は第二の霊の死を受ける。（25－30分）

黒板に「恐怖症」と書く。生徒にこの意味を質問し，人々が持っている様々な恐怖症の種類を挙げるように言う。話し合いの中で以下の質問をする。

- 人々はなぜこれらのことを恐れるのでしょうか。
- 罪や邪悪の結果はここに挙げられた恐怖と比べるとどのようなことが言えるでしょうか。
- わたしたちはなぜ，天父とともに住めなくなるような事柄に執着することがよくあるのでしょうか。

ヤコブは2ニーファイ9章で罪の重大さ，なぜそれを避ける必要があるのか，主の力を信じる信仰がどのように罪に打ち勝つ助けとなるかについて説明していることを生徒に告げる。2ニーファイ9：10，19，26を読んで，各節に見られるそれらの語句を見つける。以下の質問をする。

- 「恐ろしい怪物」とは何でしょうか。
- 死と地獄を表現するためにヤコブはなぜ怪物という象徴を使ったのでしょうか。

黒板に「死」「地獄」と書く。次のように質問する。「ヤコブはどのような意味でこれらの語を使ったのでしょうか（10節参照）。」2ニーファイ9：6－9を読んでから，以下の質問の中から幾つかを選ぶか，またはすべてについて話し合う。

- 6節によれば，何が「すべての人に及ぶようになった」のでしょうか。（死）
- この死に打ち勝つために神の憐れみに満ちた計画では何が用意されているでしょうか。（復活）
- この死はどのような死のことでしょうか。（黒板の「死」の下に「肉体の死」と書く。）
- アダムの堕落によってほかにどのような死がもたらされたでしょうか。（黒板の「地獄」の下に「霊の死」と「主の前から絶たれること」と書く。）
- 7節によれば，もし「無限の贖罪」がなかったとしたら，わたしたちの肉体はどうなっていたでしょうか。（永久に墓に横たわる。）
- 8－9節によれば，わたしたちの霊はどうなっていたでしょうか。（悪魔の使いになっていた。）
- イエス・キリストが復活されたために，わたしたちは皆肉体についてどのような希望を持っているでしょうか。
- 肉体は復活しても，霊の死に打ち勝つにはさらに何が必要でしょうか。

一人の生徒に以下のラッセル・M・ネルソン長老の話を読ませる。

「聖典によると霊の死というもう一つの死のあることが分かります（2ニーファイ9：12；アルマ12：16；42：9；ヒラマン14：16，18参照）。『霊の死とは霊的に神から離れている状態を言い』ます（ジョセフ・フィールディング・スミス『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編，全3巻，第2巻，200）。したがって，肉体的には生きている者が，霊的には死んでいることもあり得るのです。……

道徳的な誤ちを正す前に肉体の死が訪れると，悔い改めの機会を失います。したがって，『死の〔ほんとうの〕とげは罪』（1コリント15：56）なのです。

救い主も，わたしたちを罪があるままではお救いになれません。主はわたしたちを罪から救われますが，それには悔い改めという条件が伴います。霊の生死は，わたしたち自身の責任なのです（ローマ8：13－14；ヒラマン14：18；教義と聖約29：41－45参照）。」（「死の扉」『聖徒の道』1992年7月号，78）

イエス・キリストの贖いには肉体の死だけでなく霊の死にも打ち勝つ力があることを説明する。クラスを二つのグループに分けて，両方のグループに2ニーファイ9：10－24を調べる割り当てを与える。両グループとも，「すべての人」と書かれた箇所に印を付けさせる。第1のグループに，ヤコブがわたしたちをも含むすべての人に起きると言った事柄を書き出させる。第2のグループには，救い主の助けによってわたしたちは肉体と霊の死をどのように克服できるか，再び神とともに住むために何ができるかを見つけさせる。見つけた事柄について話し合う。

全員で2ニーファイ10：23－24を読む。わたしたち全員を「あの恐ろしい怪物，すなわち死と地獄と悪魔」（2ニーファイ9：26）から救ってくださる救い主の力について証する。

2ニーファイ9：27－39，41－43，45－46，49－52。もし誘惑に屈して悔い改めないならば，わたしたちは高慢になり，肉の思いを抱き，霊的に死んだ状態となる。わたしたちは主のもとへ行くことによって霊的に生きた状態となり，救いの希望で満たされる。（25－30分）

もしだれかから，「あなたは堕落の産物ですか，それとも贖罪の産物ですか」と尋ねられたとしたら，どう答えるかを生徒に考えさせる。この質問の意味について話し合い，考えられる答えを挙げさせる。それを以下の状況に当てはめる。

- ジャックは配られた数学の答案用紙を前にしたとき，ひどく落ち着かない様子でした。昨夜は勉強しないで友達とサッカーをしに行ってしまったことを後悔して，頭を振りました。そのとき，横に座っている女の子の答案用紙が目に入りました。見ようと思えばはっきりと見ることができました。先生はほかの生徒に注意を向けています。ジャックは素早く答えを書き写すと，安心していすにゆったりと腰かけました。
- マーガレットは扶助協会の会長をしている母からその日の晩，ホームメーキングの集会中，託児を手伝ってほしいと言われたとき，ほんの少しだけどうしようかと考えました。マーガレットはほほえんで，喜んでお手伝いすると返事しました。出かけるまでに宿題を済ませてしまうために急いで部屋に戻りました。数分後に友達が訪ねて来て，一緒に映画を見に行こうと誘われました。マーガレットはほんとうに行きたかったのですが，ホームメーキング集会の間母の手伝いをするために，誘いを断りました。

以下の質問を話し合う。

- ジャックの行動は何の影響によるものでしょうか。ジャックが持つ堕落による弱さでしょうか，救い主の贖いでしょうか。
- マーガレットの行動は何の影響によるものでしょうか。
- 堕落による弱さの影響を受けるとはどのような意味だと思いますか。
- 救い主の贖いの影響を受けるとはどのような意味でしょうか。

アダムの堕落とイエス・キリストの贖いはともに，わたしたちの生活に大きな影響を及ぼしていることを説明する。堕落のために，わたしたちは罪を犯して，「生まれながらの人」として生活する誘惑を受ける。贖いによってわたしたちは悔い改め，赦され，霊的な生活のもたらす祝福にあずかることができる。十二使徒定員会会員であった当時にスペンサー・W・キンボール長老が述べた以下の言葉について話し合う。

「今日，この教会には自分では生きていると思っていても，実は霊的に死んでいる人々が大勢います。活発であるかのように装っていますが，霊的に死んでいる人もまた大勢いるとわたしは考えています。彼らの働きは字義を追及するばかりで，霊をないがしろにしています。」（Conference Report，1951年4月，105）

2ニーファイ9：39を読んで，死に導くものと，命に導くものとを見つける。贖いの影響を生活にもたらすような選択をすることによって，毎日を霊的に生きている状態で過ごせることを生徒に告げる。

クラスを二つのグループに分けて，第1のグループに2ニーファイ9：27－38を調べる割り当てを与える。「災いである」という語と，どのような人々が「災い」に遭い，罪悪のために苦しむか書かれている箇所すべてに印を付けるように言う。（2ニーファイ9章の教え方の提案を採用して，生徒が「おお」と「災いである」のリストを保存していれば，その表を使ってこの割り当てを完成させる。）第2のグループに2ニーファイ9：39，41－43，45－46，49－52を研究する割り当てを与える。「来なさい」という語と，主のもとへ行くためにわたしたちがしなければならない事柄すべてに印を付けるように言う。そして，霊的な生活を送る人々に与えられる祝福を書き出させる。

黒板に「堕落の産物」「贖罪の産物」と書く。それぞれのグループから「堕落の産物」と「贖罪の産物」となることについて学んだことを分かち合うように言う。黒板に書かれた見出しの下に生徒が見つけた事柄を書き出す。一人の生徒にゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の言葉を読ませ，締めくくりとする。

「最も満ち足りた経験は福音が人々に与える影響を目の当たりにすることです。福音を知ると人生観が変わり，それまでに感じたこともないような視野が開けます。気高く神聖な事柄に目を向けるようになり，目を見張るような奇跡が起こります。彼らはキリストを仰ぎ見て，いきいきとします。」（「改宗者と若い男性について」『聖徒の道』1997年7月号，58）

2ニーファイ9：28－29（マスター聖句）。神の勧告に聞き従うならば，学識のあるのはよいことである。（10－15分）

クラスの生徒が大学の博士課程を修了して博士号を授与されたことを示す証書を黒板に描く。生徒に，学識を得ることによってもたらされる利点を挙げるように言う。

全員で2ニーファイ9：28を読んで，学識を持つことによって陥る可能性のある落とし穴について話し合う。わたしたちが以下の人々よりも賢いと考えるときにどのようなことが起こる可能性があるかについて生徒から意見を求める。

- 親
- 監督
- 預言者
- 天父

全員で2ニーファイ9：29を読み，どのような場合に学識のあることがよいとされるのかを見つける。教育を通して自己改善を図ることの大切さについて話す。けれども，ラッセル・M・ネルソン長老が語った以下の勧告を忘れてはならない。

「自分の学ぶ分野と，どのような目的をもって働くのかを決めてください。しかし，皆さんの知力を世俗的な学問の追究にだけ費やしてはなりません。」（「知恵はどこにあるのか」『聖徒の道』1993年1月号，6）

学問を追及できる分野としてほかにどのような分野があるかについて話し合う。

2ニーファイ10：10－20。主は終わりの時にシオンをアメリカ大陸に築かれる。シオンに戦いを挑む者は滅びる。（15－20分）

世界地図を見せる。世界のどこかの地を選んで，そこを指す。以下の質問をする。

- この地域へ引っ越したいと思い人はいますか。なぜ引っ越したいですか。あるいは，なぜ引っ越したくないですか。
- この地域へ行けば，あなたは家族とともにもっと幸福になることを知ったら，気持ちを変えるでしょうか。

生徒に2ニーファイ10：20を読んで，ヤコブが同じような経験をしたと記している箇所を見つけるように言う。以下の質問をする。

- 故郷を「追い出された」後のヤコブの家族に，主は何を用意しておられたでしょうか。
- ヤコブの家族はどの大陸へ導かれたでしょうか。（アメリカ大陸）

多くの預言者がアメリカ大陸にシオンが築かれること，そしてアメリカ大陸は「えり抜きの地」であることを預言してきたことを説明する（エテル2：12。エテル2：6－12；2ニーファイ1：5；信仰箇条1：10参照）。

以下の質問を黒板に書く。

- アメリカ大陸に住む人々にはどのような祝福が約束されたでしょうか。
- アメリカ大陸に築かれるシオンに戦いを挑む人々はどうなるでしょうか。
- シオンに住む人々にとっての唯一の王はだれでしょうか。その王は彼らに何を与えるでしょうか。
- 心を和らげた異邦人にどのような祝福がもたらされるでしょうか。

生徒に2ニーファイ10：10－18を読んで，黒板の質問の答えを1枚の紙に書き出すように言う。生徒が見つけた事柄について話し合う。神がアメリカ大陸に自由の地を確立されたために，生徒の生活にどのような祝福がもたらされたかを見つけるように言う。（神がアメリカ大陸に与えられた自由によって，福音の回復と教会の組織が可能となった。）

2ニーファイ11－24章

はじめに

ニーファイは次のように述べた。「主なる贖い主を信じるようさらに十分に勧めるために，預言者イザヤが記したことを彼らに読んで聞かせた。」（1ニーファイ19：23）これらの章ではモルモン書中のほかのどの箇所よりもイザヤの言葉が広範囲に引用されている。イザヤは救い主にまみえた（2ニーファイ11：2参照）。したがってイザヤの言葉はニーファイにとって自分の証を増す大切な証であった（2ニーファイ11：3－4参照）。イザヤが教えたすべての福音の原則の中で最も大切なのは，イエス・キリストと，救いの計画における救い主の役割に関する証である（2ニーファイ11：5－6参照）。

ニーファイは2ニーファイ11章で，その後に引用されるイザヤ書の13の章を紹介している。ここでニーファイはイザヤの言葉をなぜ喜びとし，引用するかについてその理由を説明している。また，イザヤが書いたものを理解する鍵を幾つか明らかにして，「世の初めから神が人に与えてこられたすべてのものは，キリストの予型である」（2ニーファイ11：4。モーセ6：63も参照）という大切な教えを付け加えている。12－24章はイザヤ書の2－14章に対応しており，救い主の多くの予型と影が収められている。

学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストの贖罪は救いの計画の根幹を成している（2ニーファイ11：2－8。2ニーファイ31：21；モーサヤ3：7も参照）。
- 罪悪と俗世を愛する者は神の罰を招く。この罰の例はイスラエルの散乱と再臨時の破壊に見られる（2ニーファイ12：5－14：1；15：1－25；18：19－22；20：1－6；23：6－22参照）。
- 終わりの時に神殿が建てられ，義にかなったイスラエルの残りの者は集められる（2ニーファイ12：1－3；15：26－30；20：19－22；21：10－16；24：1－4参照）。
- 福千年の間，義人は平和と幸福を味わい，サタンの影響を受けない。救い主はダビデの王座に着いて王として支配される（2ニーファイ14：2－6；19：6－7；21：6－9；22章参照）。
- 神は預言者を通じて子らに働きかけられる。預言者はイエス・キリストについて教え，証し，預言する（2ニーファイ16：1－17：16参照。アモス3：7；モルモン書ヤコブ7：11も参照）。
- イエス・キリストと主の福音は義人にとって踏み石となり，邪悪な者にとってつまずきの石となる（2ニーファイ17：14－15；18：5－17；19：1，5－7；21：1－5；23：10－13参照）。
- 暁の子ルシフェルは神の位まで自分を高めようとしたため，天から落とされ，悪魔となった（2ニーファイ24：12－23参照。黙示12：7－11も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』33－37。

教え方の提案

2ニーファイ11：2－8。イエス・キリストの贖罪は救いの計画の根幹を成している。（15－20分）

紙袋をクラスに持参する。珍しいものか貴重なものを紙袋の中に入れておく（珍しい本，大管長会からの手紙，有名な人からの手紙，婚約指輪，古くて貴重なもの，など）。生徒に紙袋を見せる。ただし中身を見せてはならない。中身について説明する。紙袋にその物が入っていることを信じる生徒はどれくらいいるかを尋ねる。信じた生徒の数を黒板に書いておく。

一人の生徒を指名して，紙袋の中をのぞいて，それがどのようなものかをほかの生徒に説明させる。何人の生徒がこれで信じたかを尋ね，その数を黒板に書く（信じる生徒の数が増えるはずである）。二人目の生徒を指名して，紙袋の中をのぞき，そのものについて説明してもらう。何人の生徒がこれで信じたかを尋ね，その数を黒板に書く。

証人が複数になるとなぜ信じやすくなるかについて話し合う。一人の生徒に教義と聖約6：28を読んで，そこで教えられている福音の原則を説明させる。真理を確立するために主が二人か三人の証人を使われた例の中から生徒が思いつくものを挙げるように言う。（モルモン書の三人の証人，二人一組で行動する宣教師，バプテスマで二人の証人が要求されている事実，などが含まれる。）

2ニーファイ11：2－3を読んで，質問する。

- ニーファイは証人の律法をどのように用いたでしょうか。
- ニーファイが述べたほかの証人とはだれのことでしょうか。
- これらの人々は何を証言したのでしょうか。
- 3節の「さらに多くの証人」とはだれのことでしょうか。

2ニーファイ11章は2ニーファイ12－24章で引用するイザヤ書の13の章を紹介するものであることを説明する。生徒に2ニーファイ11：2－7を読んで，「喜び」という語が出てくる度に傍線を引くように言う。次のように質問する。「ニーファイは何を喜んだのでしょうか。」「喜び」が出てくる節の中で，主について述べている部分（名前，称号，代名詞）をすべて丸で囲むように言う。そして，以下の質問をする。

- これらの聖句の中で主について述べている箇所は幾つあるでしょうか。
- ニーファイが5節で述べている計画は何の計画でしょうか。（救いの計画）
- 6－7節によると，もしイエス・キリストが関与しておられなければ，計画はどうなっていたでしょうか。
- 8節を読んでください。この節の中で「喜ぶ」と同じ意味に用いられている語は何でしょう。

- ニーファイがキリストについて話すのを喜びとし，これらの言葉はわたしたちに喜びをもたらすとニーファイが信じていたとすれば，イザヤの各章は何に焦点を絞っていたと思いますか。（イエス・キリスト）

生徒用学習ガイドから2ニーファイ11：4の「聖句を理解する」に記されている解説を読むように言う。次のように質問する。ニーファイはイザヤ書の13の章を引用するに先立って，なぜ「神が人に与えてこられたすべてのものは，キリストの予型である」と教えたのでしょうか。（イザヤが象徴的な言葉を使って救い主について語っていることが一つの理由であると考えられる。）イザヤの預言の多くが1度以上成就したことを生徒が理解できるように助ける。多くの節はイザヤの時代と救い主の時代の両方に当てはまる（2ニーファイ18：18；2ニーファイ20章の前書き参照）。イエス・キリストの予型に注意しながら，イザヤの言葉を研究するよう奨励する。

2ニーファイ12－24章。2ニーファイ12－24章に記されたイザヤの言葉の概要。（5分）

以下の語句をボードに書いて，教室内に掲示しておく。2ニーファイ12－24章を学ぶ間，これらの語句を定期的に参照する。

- イスラエルの散乱
- イスラエルの集合
- 福千年
- イエス・キリストに関する預言

これら4つの語句を生徒に見せる。イザヤは多くのテーマについて記し，またテーマを急に変えることがしばしばあることを説明する。しかし，2ニーファイ12－24章では，イザヤはしばしばこれら4つのテーマに立ち返っている。これらのテーマがどれほど頻繁に採り上げられているか，またイザヤがこれらのテーマについてどのようなことを述べているかに注目するように言う。

2ニーファイ12：5－14：1；15：1－25；18：19－22；20：1－6；23：6－22。罪悪と俗世を愛する者は神の罰を招く。この罰の例はイスラエルの散乱と再臨時の破壊に見られる。（45－50分）

生徒たちが見ている前でボールを床に落とす。あなたの指を水に浸す。手を乾かしてから，教室の明かりを消す。以下の質問をする。

- 手を離したら，どうしてボールは床に向かって落ちて行ったのでしょうか。
- 指を水に浸したら，なぜぬれたのでしょうか。
- スイッチを押したら，なぜ明かりが消えたのでしょうか。
- これらのことに共通しているのはどのようなことでしょうか。（当然の結果である。）
- 当然の結果とは何でしょうか。（特定の行為が自然にもたらす結果。）

黒板に次の質問を書いて，生徒と話し合う。「罪の当然の結果として何が起きるでしょう。」預言者イザヤは罪の結果について繰り返し教えたことを説明する。

（2ニーファイ12－24章の概要を教えていたら，掲示したボードの「イスラエルの散乱」を指して，これからこのテーマについて研究することを告げる。）

黒板に見出しとして「人々の罪」と「罪の結果」と書く。クラスを二つのグループに分ける。第1のグループに以下の聖句を読んで，人々が犯してきた罪の具体例を見つけるように言う。2ニーファイ12：5－9；13：5，8－9，15－16；15：11－12，20－23；18：19，21；19：13，15－17；20：1－2。様々な種類の罪を見つけたら，黒板の「人々の罪」の下に書き出す。

第2のグループに以下の聖句を読んで，罪を犯した人々にもたらされた結果を見つけるように言う。2ニーファイ12：10－22；13：1－4，11－12，17－26；14：1；15：9－10，13－15，24－25；18：21－22；19：11－12，14，18－21；20：4－6；23：6－9，15－16，19－22。様々な結果を見つけたら，「罪の結果」の下にそれらを書き出す。

各グループに，見つけた事柄を簡単にまとめるように言う。

一人の生徒に立って2ニーファイ15：1－7に見られる風諭（ふうゆ）を読むように言う。以下の質問をする。

- 肥沃（ひよく）な土地を見つけ，保護するためにそこに柵を巡らし，その中の石を取り除き，作物を植えたことによる当然の結果はどのようなことのはずだったでしょうか。（豊かな実りをもたらすはずだった。）
- ところが，どのような実りをもたらしたでしょうか。
- 野生のぶどうはどのように，黒板に記された罪にたとえられるでしょうか。
- 「良くないぶどう」を実らせたために，主はどのような結果をもたらすと誓われたでしょうか。
- ぶどう園はだれを表しているでしょうか（7節）。
- 2ニーファイ23：11を読んでください。この節は風諭をどのように要約しているでしょうか。
- 邪悪な人々は将来，どのような出来事によって滅ぼされるでしょうか。（再臨。2ニーファイ12；20；23－24の各章の前書き参照）
- 邪悪な人々は自分たちの罪の結果についてどのような思いを抱くでしょうか。
- 2ニーファイ13：10；23：3，22を読んでください。邪悪な人々に対して預言されたとおり破滅が及んでいる間の義人の状態について，主はどのように述べておられるでしょうか。
- 黒板に記された罪の中で，今日（こんにち）の世の中によく見られる罪はどれでしょうか。
- 人々が犯す罪の結果を学ぶことは，同じ間違いを避けるためにどのように役立つでしょうか。
- わたしたちはこれらの罰を避けるためにどうすればよいでしょうか。

2ニーファイ12：1－3；15：26－30；　20：19－22；21：10－16；24：1－4。終わりの時に神殿が建てられ，義にかなったイスラエルの残りの者は集められる。（35－40分）

ソルトレーク神殿の写真を見せる（『福音の視覚資料セット』502参照）。以下の質問をする。

- これはどこの神殿でしょうか。
- ソルトレーク・シティーは何という有名な山脈の中に築かれたでしょうか。（ロッキー山脈）

生徒に2ニーファイ12：1－3を読むように言う。以下の質問をする。

- この預言はいつ成就したでしょうか。
- 「主の家」とは何でしょうか。（神殿）
- 主の家にだれが集められるのでしょうか。
- 彼らはなぜ主の家に集まるのでしょうか。
- 神殿では救いに必要とされるどのような儀式が執行されるでしょうか。

以下の質問を黒板に書く。

- 山々は象徴的にどのような意味と結びついているでしょうか。
- 2ニーファイ12：2はいつ成就したでしょうか，あるいは将来いつ成就するでしょうか。

一人の生徒に『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』から2ニーファイ12：1－4の解説（33ページ）を読ませ，ほかの生徒には耳を傾けて黒板に記された質問の答えを見つけるように言う。さらに，ブルース・R・マッコンキー長老が語った次の言葉を紹介する。「現在完成しているすべての神殿と，アメリカの高い山々に建てられるであろうすべての神殿も，この預言の言葉を成就することでしょう。」（*Millennial Messiah: The Second Coming of the Son of Man*〔1982年〕，276）

生徒に2ニーファイ15：26を読むように言う。そして「旗」の持つ意味を質問する。（旗は，所属するグループを明らかにするため，あるいは人々を集めるために用いられる。）生徒に2ニーファイ29：1－2を読んで，わたしたちの教会の中に，末日に掲げられる旗の大切な要素としてどのようなものがあるかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- リーハイとニーファイの子孫の言葉はどこにあるでしょうか。
- モルモン書はどのような意味で，集合のための優れた手段となるでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の言葉を紹介する。

「主の御霊（みたま）によって霊感を受けている宣教師は，その御霊によって，効果のある適切な方法を選ぶよう導かれるに違いありません。わたしたちは主御自身が第一の証（あかし）としてモルモン書を与えておられることを忘れてはなりません。モルモン書は今もなお，最も強力な伝道の手段です。これを活用しようではありませんか。」（*The Teachings of Ezra Taft Benson*〔1988年〕，204）

（2ニーファイ12－24章の概要を教えていたら，掲示したボードの「イスラエルの集合」を指して，これからこのテーマについて研究することを告げる。）

2ニーファイ15：27－30を読んで，次のように質問する。「モルモン書によってどのように人々が集められるでしょうか。」この質問の答えを見つけるために，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』から2ニーファイ15：26－30の解説（34ページ）を読む。

生徒に2ニーファイ20章の前書きと20－22節を読むように言う。そして以下の質問をする。

- 再臨のときの破壊が終わった後も生き残る人はどれくらいいるでしょうか。
- 21－22節のどの語が「集合する」に相当するでしょうか。
- だれが集められるのでしょうか。

生徒に2ニーファイ21：10－16を読むように言う。そして次のように質問する。「10節の『エッサイの根』とはだれのことでしょうか（教義と聖約113：5－6参照）。」ブルース・R・マッコンキー長老は次のように語った。

「ここに登場する預言者は，神権がもたらされ，王国の鍵（かぎ）を受け，現在の神権時代に主の民を集める旗を掲げたジョセフ・スミスであると誤解していないでしょうか。……無限無窮の御方のささやきを聞き分けることのできる耳を持つ人々はこれらの意味を知っていることでしょう。」（*The Millennial Messiah*，339－340）

以下の質問をする。

- 10節で，掲げられる「旗」を「求め」るのはだれでしょうか。
- 11－12節のどの語が「集合する」に相当するでしょうか。（「戻す」「集める」）
- 主は世界のどの地方からイスラエルを集められるのでしょうか。
- その日，イスラエルに敵対できる人がいるでしょうか。
- 教義と聖約133：26－36を読んでください。これらの節は2ニーファイ21：16とどのような点で共通しているでしょうか。

以下の表を黒板に書き写す。生徒に聖句を読んでから，空欄に該当する語句の記号を書き入れるように言う。

2ニーファイ24：1－4

1. イスラエルは＿＿＿に戻るであろう。
2. イスラエルは＿＿＿からやって来るであろう。
3. イスラエルは＿＿＿を支配するであろう。
4. 主はイスラエルに＿＿＿を与えられるであろう。

A．地の果て
B．悲しみと恐れ，束縛からの解放
C．約束の地
D．虐げた者

（正解：1－C，2－A，3－D，4－B）

以下の質問をする。

- あなたがイスラエルに加えられるとすれば，散らされるとき，あるいは集められるときのどちらを希望するでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 終わりの時に行われる主の集合の業に，あなたはどのような方法で参加できるでしょうか。

終わりの時にあって，正義を守ることを決意するよう生徒に奨励する。七十人会長会の一員であった当時にニール・A・マックスウェル長老が語った以下の話を紹介する。

「ブリガム・ヤング大管長は教会が世界の国民の間に広がり，拡大されていくときに，……それに呼応するようにまた突然に敵の力が勃興（ぼっこう）するであろう……と述べています。

そのような波乱万丈のときに，あなたはジョージ・Q・キャノン副管長が終わりの時の人々に特有の勇気，決意，『どのような状況に置かれても神に従うこと』（*Journal of Discourses*，第11巻，230）という徳を必要とすることでしょう。……

教会がなすべきことのうち，容易にできることはすべて行われました。これからはもっと困難ながらも報いのあることを行っていくのです」。（*Wherefore, Ye Must Press Forward*〔1977年〕，81－84）

2ニーファイ12：16。モルモン書はイザヤの言葉の理解を増し加える。（10－15分）

簡単なジグソーパズルまたは絵を切って作ったジグソーパズルをクラスに持参する。ピースを数個取り除いて希望する生徒に与え，協力して完成するように言う。生徒ができる限りのことをした時点で，以下の質問をする。

- ジグソーパズルをなぜ完成できなかったのでしょうか。
- 「全体像」を理解するには何が必要でしょうか。

一人の生徒に2ニーファイ12：16を読ませる。半数の生徒は朗読する一人の生徒と一緒にモルモン書から読み，残る半数の生徒はイザヤ2：16を読むように言う。第2のグループにこれら二つの記録の違いについて質問する。以下の表から二つ目までの欄をオーバーヘッドプロジェクターを使って見せるか，黒板に書き写す。

イザヤ2：16		
日本聖書協会口語訳聖書（1955年改訳）	**モルモン書（2ニーファイ12：16）**	**七十人訳ギリシャ語聖書（セプトゥアギンタ）**
—	**また，海のすべての船，**	**また海のすべての船に，**
タルシシのすべての船，	**タルシシのすべての船，**	—
すべての麗しい船舶に臨む。	**すべての好ましい景色に臨む。**	**すべての優れた船舶の誇示に臨む。**

七十人訳ギリシャ語聖書は紀元前3世紀と2世紀に作られた旧約聖書のギリシャ語訳であることを説明する。これは優れた翻訳であるが，日本聖書協会口語訳聖書と異なる部分があることを生徒に告げる。表の最後の欄を見せて，質問する。

- イザヤ2：16のどの部分が七十人訳ギリシャ語聖書から脱落しているでしょうか。
- 日本聖書協会口語訳聖書からはどの部分が脱落しているでしょうか。
- 両方の語句を持つ唯一の書物はどれでしょうか。
- これはモルモン書についてどのようなことを物語っているでしょうか。

注意：モルモン書は日本聖書協会口語訳聖書または七十人訳ギリシャ語聖書に見られる矛盾点をすべて回復しているわけではない。

七十人の一員であった当時にハートマン・レクター・ジュニア長老が述べた以下の話を紹介する。

「皆さんが教会員でない友人や知人に差し出すことのできる最もすばらしい贈り物とは，福音を伝えることです。きわめて簡単にこれを行う方法は，恐らく宣教師を通じてモルモン書を渡してもらうことでしょう。なぜモルモン書を渡すのでしょうか。預言者ジョセフ・スミスの言葉を借りれば，『この世で最も正確な書物』（*History of the Church*，第4巻，461）だからです。なぜモルモン書にはそれほど力があるのでしょうか。それは，聖書から失われたり抜き取られたりした『分かりやすくて貴い』真理が，モルモン書の中でもう一度明らかにされているからです（1ニーファイ13：40参照）。わたし個人の意見を言えば，イエス・キリストについて知ろうとするときモルモン書以上に優れた書物はほかにありません。」（「復活」『聖徒の道』1991年1月号，84－85）

モルモン書が真実であることについてあなたの証を述べる。

2ニーファイ14：2－6；19：6－7；21：6－9；22章。福千年の間，義人は平和と幸福を味わい，サタンの影響を受けない。救い主はダビデの王座に着いて王として支配される。（20－25分）

以下の語を別々の紙またはボードに1語ずつ書く。扉の錠前，牢獄，病院，葬儀屋，墓，サタン，セキュリティーシステム，強力な軍隊，国の選挙，貧困，ポルノグラフィー。何人かの生徒にボードを持っていてもらう。「20の質問」ゲームを行う。このゲームでは，語句に共通するもの（恐らく，それらは皆，福千年には存在しない）を当てるために「はい」か「いいえ」で答える質問を20回まですることができる。答えを当てたら，次のように質問する。「あなたはそのような社会に住みたいと思いますか。」

（2ニーファイ12－24章の概要を教えていたら，そこで使ったボードの「福千年」を見せて，これからこのテーマについて研究することを告げる。）

生徒に2ニーファイ14：2－6を読んで，福千年はどのような状態かを見つけるように言う。以下の質問をする。

- その日，地の産物はどのような有様になるかについてイザヤは何と説明しているでしょうか（2節参照）。
- 3節で，人々の状態を表している語はどれでしょうか。（「聖なる」）
- 「聖なる者」や義人はどれくらいいるでしょうか。（「すべての者」）
- 4節で，わたしたちの汚れが洗い清められるという表現は何を象徴しているでしょうか。（霊的に清められる。）
- 主はシオンに何を造られるでしょうか（5節参照）。

- 出エジプト13：21－22を読んでください。この聖句とイザヤの預言との間にはどのような関連があるでしょうか。
- 2ニーファイ19：6－7を読んでください。福千年の間，だれが政府を統治されるでしょうか。

2ニーファイ21：6－9を読んで，以下の質問をする。

- 福千年の間，動物にどのような変化が起きるでしょうか。
- どうして子羊がおおかみとともに住むことができるのでしょうか。
- このことは人と動物との関係にどのような影響を与えるでしょうか。
- 9節によれば，何がこのような変化をもたらすのでしょうか。

生徒に2ニーファイ22章の前書きを読んで，イザヤはこの章でどの時代について預言しているかを確認するように言う。生徒に1－6節を黙読して，すべての動詞に傍線を引くように言う。この章を理解するために一つ一つの動詞を研究することがどれほど役立つかについて生徒の意見を求める。次のように質問する。「人々は福千年に生活することについてどのように感じると思いますか。」生徒の答えについて話し合う。

2ニーファイ16：1－13；17：1－9。神は預言者を通じて子らに働きかけられる。預言者はイエス・キリストについて教え，証し，預言する。（15－20分）

幹が1本の木またはその他の植物を見せる。上記の語句を黒板に書き写す。ただし，括弧内の語を書いてはならない。聖句を読んで，木のどこの部分について述べているかを確認するよう生徒に言う。

以下の質問をする。

- 木の根は枝をどのように助けているでしょうか。
- 根がイエス・キリストを象徴し，枝がわたしたちを表しているとすれば，木の幹は何を表すでしょうか。（預言者。アモス3：7参照）
- 預言者はどこから啓示を受けるのでしょうか。
- それは，根から栄養を受ける木とどのように似ているでしょうか。
- 預言者は主から与えられる知識をどのようにしてあなたに伝えているでしょうか。
- 預言者から養われることによってあなたの生活はどのように祝福を受けてきたでしょうか。

何人かの預言者は召しを受けたときに自分がどれほどふさわしくないと感じたかを述べていることを説明する。スペンサー・W・キンボール大管長は，大管長会のJ・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長から，十二使徒定員会に召されたことを伝える電話を受けたときのことを次のように述べている。

> 「『クラーク兄弟。わたしのような者が。何かの間違いに違いありません。あなたが正しいことをおっしゃっているとは思えません。』こうしてわたしはいすから滑り降りるようにして床に座り込みました。……
>
> 『クラーク兄弟。そのようなことはあり得ません。わたしは弱点が多く，立派な人物でもなく，力不足ですし，それに能力がありません。』」（エドワード・L・キンボール，アンドリュー・E・キンボール・ジュニア共著，*Spencer W. Kimball: Twelfth President of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*〔1977年〕，189）

エズラ・タフト・ベンソン長老もヒーバー・J・グラント大管長から十二使徒の召しを伝えられたとき，同じような経験をしたことを述べている。

> 「その通知は信じられないものであり，また圧倒されました。……数分間，〔わたしの〕口をついて出てきたのは『グラント大管長，そんなことがあるはずはありません』という言葉だけでした。わたしはこれを何回か口にしたに違いありません。それからようやく，何が起きているかに気づくまでに落ち着きを取り戻したのでした。……
>
> わたしは力もふさわしさもまったくないと感じていました。」（シェリー・L・デュー，*Ezra Taft Benson: A Biography*〔1987年〕，174）

生徒にモーセ6：31を読んで，エノクが預言者に召されたときにどのように感じたかを調べるように言う。2ニーファイ16章には自分がふさわしくないと感じたもう一人の預言者について記されていることを説明する。

主を見た預言者たちを挙げるように言う。（モーセ，リーハイ，ニーファイ，ジョセフ・スミスが含まれる。）2ニーファイ16：1－10を読んで，質問する。

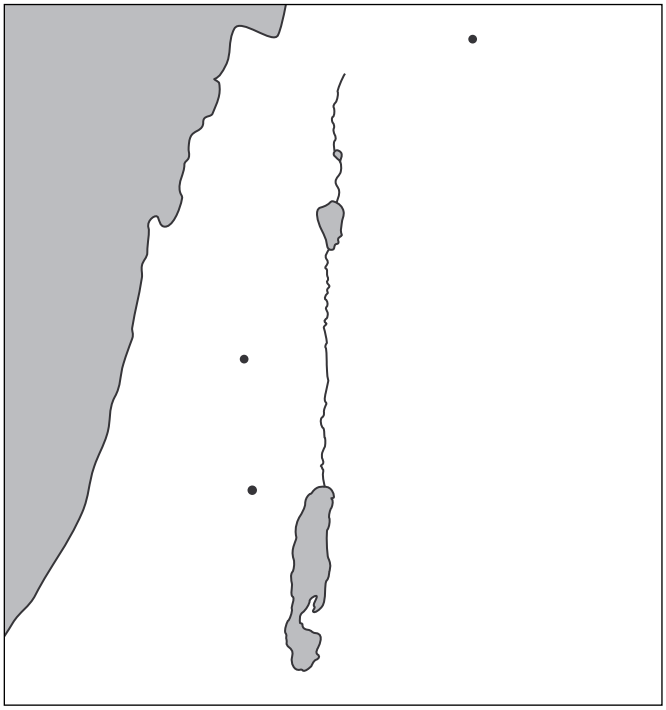
- イザヤは何を見たのでしょうか（1－4節参照）。
- イザヤは自分が見たことについてどのように感じたでしょうか（5節参照）。
- イザヤの抱いたふさわしくないという思いはどのようなことによって変化したでしょうか（6－7節参照）。

- 清められた後のイザヤはどうしたでしょうか（8節参照）。
- イザヤはどのようにキリストの予型となっているでしょうか（アブラハム3：27参照）。
- イザヤはどのような使命を帯びていたでしょうか（2ニーファイ16：9－10参照）。
- 教義と聖約11：9を読んでください。この聖句はイザヤの使命とどのような共通点があるでしょうか。
- 預言者が存在することによって，どのようなよいことがあるでしょうか。

2ニーファイ17：1－2を読んで，どのようなことが起きたかをまとめるよう生徒に言う。黒板に以下の地図を書き写し，生徒には自分の聖書に挿入されている地図から，以下の王が支配した都市を見つけるように言う。

- アハズ，ユダの王（首都エルサレム内）
- レヂン，スリヤの王（首都ダマスコ内）
- ペカ，イスラエルの王，イスラエルはエフライムまたはサマリヤとも呼ばれた（首都サマリヤ内）

生徒が都市を見つけたら，黒板に都市名を書く。



生徒に2ニーファイ17：3－9を読むように言う。それから，以下を質問する。

- 主はイザヤに，アハズ王に対して何を告げるように命じられたでしょうか。
- もしあなたがアハズだとしたら，7節のメッセージを聞いてどのように思うでしょうか。
- 預言者の勧告に信頼を置くときに，わたしたちは日々の生活の中でどのようなことについて自信を持つことができるでしょうか。

「来たれ，予言者より」（『賛美歌』13番）を歌うか，歌詞を読む。

2ニーファイ17：14－15；18：5－17；19：1，5－7；21：1－5；23：10－13。イエス・キリストと主の福音は義人にとって踏み石となり，邪悪な者にとってつまずきの石となる。（25－30分）

黒板に「イエス・キリスト」と書く。旧約聖書にイエス・キリストの名が何度出てくるかを生徒に質問する。何人かの生徒の予想する数を聞いてから，現在わたしたちが持っている旧約聖書には一度も出てこないことを説明する。次のように質問する。「旧約聖書ではイエス・キリストについて何も言われていないと思いますか。」1ニーファイ19：23を読んで，ニーファイがなぜイザヤの言葉を引用したかその理由を見つけるように言う。

（2ニーファイ12－24章の概要を教えていたら，そこで使ったボードの「イエス・キリストに関する預言」を見せて，これからこのテーマについて研究することを告げる。）

2番目の欄を空白にして，以下の表を生徒全員に配る。生徒に2ニーファイ17：14－15を読んで，イエス・キリストに関するイザヤの預言を表に書き入れるように言う。（注意：この表はレッスンを教える際の便宜上，3つに区分されている。配付する表は一つにまとめたものを作成する。）

	イザヤからイエス・キリストについて学ぶ事柄
2ニーファイ17：14	イエスの母親はおとめである。イエスはインマヌエルと呼ばれる（「神がわたしたちとともにおられる」という意味）。
2ニーファイ17：15	イエスは義にかなった御方である。

2ニーファイ11：2－8の教え方の提案から最後の段落を復習して，イエス・キリストの予型についてイザヤが書き記したことを生徒に思い起こさせる。次に2ニーファイ18：6－8を読んで，イザヤは救い主について述べる際にどのような象徴を使っているかを見つける。生徒がこれらの節で救い主の予型を見つけられるように，以下の質問をする。

- ヨハネ7：37－38を読んでください。ここでイエスは御自分を何と呼んでおられるでしょうか。（水の源）
- 2ニーファイ18：6では水を表現するためにどのような言葉が用いられているでしょうか。（「緩やか」）
- 7節では水を表現するためにどのような言葉が用いられているでしょうか。（「勢い」）
- 人々は水が「緩やかに」流れているとどのように反応するでしょうか。
- なぜ主は「勢い」よく流れる水をもたらされたのでしょう。
- 「勢い」よく流れる水は最終的にどこに到達するでしょうか。
- イエスを描写するのに「緩やか」と「勢い」という極端な二つの表現を用いることができるのはなぜでしょうか。（イエスは「穏やかに」来て地上における業を行われたが，再臨に当たっては「勢い」よく来られることが一つの答えとなる。この点を強調するために，「いやしく生まれ」〔『賛美歌』113番〕の歌詞を読む。）

生徒が持っている表にこれらの預言を書き加え，2ニーファイ19：5までこの作業を続けるように言う。

2ニーファイ18：6	キリストは最初の降臨のときにほとんどの人から拒まれる。
2ニーファイ18：7－8	キリストは力と栄光をもって再臨される。
2ニーファイ18：9－12，14－15	キリストに反抗する者たちはくじかれるが，キリストの側に立つ者は守られる。
2ニーファイ18：13，16－17	わたしたちは聖文に従い，主を礼拝し，待ち望むことによって再臨の備えをすることができる。
2ニーファイ19：5（20：16－18；23：9も参照）	再臨の時に邪悪な者たちは火によって滅ぼされる（邪悪な者たちを滅ぼす火の源について知るには教義と聖約133：41を参照）。

可能であれば，ヘンデルの『メサイア』の録音を持参する。「ひとりのみどりごがわれわれのために生まれた」を聞く間，生徒に2ニーファイ19：6を黙読するように言う。この節から救い主について学んだ事柄を表に書き込むように言い，表が完成するまでこの作業を続ける。

2ニーファイ19：6	キリストは福千年の間，世の政府を統治される。人々はキリストがどのような御方であるかを認める。
2ニーファイ19：7	キリストの力と統治には限界がなく，永遠である。
2ニーファイ21：1－2	キリストは御霊（みたま）と知恵と能力を持っておられる。
2ニーファイ21：3－5	キリストは義にかなって人々を裁かれる。また言葉の力によって悪人を殺される。
2ニーファイ23：10	キリストが来られるときに太陽と月と星は輝きを失う。
2ニーファイ23：13	キリストが戻られるとき地震が伴う。

教義と聖約97：22－25を読んで，次のように質問する。「イエス・キリストの再臨に備える最も良い方法は何でしょうか。」

2ニーファイ24：12－23。暁の子ルシフェルは神の位まで自分を高めようとしたため，天から落とされ，悪魔となった。（10－15分）

生徒に大学の卒業証書を見せるか，黒板に書く（00ページ参照）。次のように質問する。「卒業証書を授与されるにはどのようなことが求められるでしょうか。」（勉強する，一貫して努力する，意欲を持つ，努力する，時間をつぎ込むなどの答えが考えられる。）大学1年生が大学の学長のもとへ行って，卒業証書を交付してほしいと言っている情景を想像させる。以下の質問をする。

- あなたが学長だったらどうするでしょうか。この学生に何と言うでしょうか。
- 卒業証書を交付しなければ学長の座から引きずり降ろすと学生が脅したとしたら，あなたはどのように感じるでしょうか。

2ニーファイ24：12－15を読んで，必要な努力をしないで偉大なものを手に入れようとした人はだれかを見つける。以下の質問をする。

- 前世でサタンは何という名で呼ばれていたでしょうか。
- 彼はどのような称号を持っていたでしょうか。（暁の子）
- 13－14節の各文節はどのような人称代名詞で始まっているでしょうか。
- このことはサタンの問題をどのように表しているでしょうか。

黒板に「サタンは何を求めたか（2ニーファイ24：13－14）」と「サタンは何を受けたか（2ニーファイ24：12，15，19）」と書く。生徒に，13－14節を読んで，サタンは何を望んだかを述べている語を挙げるように言う。次に，12，15，19節を読んで，サタンは何を受けたかを述べている語を挙げるように言う。

サタンは何を求めたか（2ニーファイ24：13－14）	サタンは何を受けたか（2ニーファイ24：12，15，19）
昇る	落ちた
天	切り倒される
昇る	地
王座	落とされ
高く	地獄
星	穴
頂	墓
山	投げ出される
雲	刺し殺された
いと高き者	足で踏みつけられる

- マタイ23：1－12を読んでください。マタイによる福音書に記されている救い主の勧告と，イザヤ書のこれらの節との間にはどのような類似点があるでしょうか。
- マルコ8：35を読んでください。わたしたちが救われるために何をしなければならないとこの節で言われているでしょうか。
- わたしたちはどのようにして自分の命を「失う」のでしょうか。（大管長会の一員を務めていたマリオン・G・ロムニー長老はこのように述べている。「わたしたちは人に仕え，人を助けることによって『自分の命を失』います。」〔「日の光栄に至る自立の本質」『聖徒の道』1983年1月号，168〕）
- 救い主のこれらの教えを生活の中で実行するためにあなたは今，何ができるでしょうか。

2ニーファイ25－30章

はじめに

ニーファイは25－30章で，古代の聖文と預言を理解する鍵を明らかにしている。救いはイエス・キリストの贖いを通してのみもたらされることを確認し，キリストから遠ざかる落とし穴について警告している。わたしたちの時代を予見していたニーファイは，彼の書いたものが悪魔の策略によってぬかるみと化した世界に導きと希望を与えることを知っていた。ニーファイはモルモン書がこのメッセージを携えて終わりの時に出てくること，そして「書き記されたそれらの御言葉を信じる人々が大勢いる」（2ニーファイ30：3）ことを預言した。

学び取るべき重要な福音の原則

- イザヤの言葉は御霊と，現在の聖文と預言者の助けを借りて研究するときによりよく理解できる。イザヤの言葉は，ユダヤ人の歴史と文化について学ぶ助けともなる（2ニーファイ25：1－8参照）。
- モルモン書はイエス・キリストの贖いを通してのみ救いがもたらされることを証している（2ニーファイ25：19－30参照。モーサヤ3：18－19も参照）。
- 主が預言者を通じて語られることは何でも成就するであろう（2ニーファイ26：1－23；27：1－20参照。教義と聖約1：37－38も参照）。
- わたしたちは神の王国を築くために教会で奉仕する（2ニーファイ26：29－31参照。教義と聖約121：34－36も参照）。
- 終わりの時に多くの人々は偽りの教えに欺かれるであろう。これらの偽りの教えには，神はもはや人に対する働きかけを終えられた，奇跡は終わってしまった，神は最終的にあらゆる人を救われるので罪は赦される，「シオンの中では，すべてが良い」，地獄も天国も存在しない，などがある（2ニーファイ28章参照。モロナイ7：35－37も参照）。
- 終わりの時に多くの人は「心の中で誇り高ぶり」，自分の罪悪を主から隠しおおせると愚かにも信じるであろう（2ニーファイ28：7－9参照。教義と聖約1：3も参照）。
- 主はイエス・キリストの福音が真実であることを示す二つの証として聖書とモルモン書を与えておられる。これは主御自身が定められた証人の律法を満たしている（2ニーファイ29：1－9参照。マタイ18：16；教義と聖約6：28も参照）。
- モルモン書は多くの人々にイエスがキリストであられることを知らせる手段となるであろう（2ニーファイ30：3－8参照。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』38－43。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション5「霊の『わに』」を2ニーファイ28章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

2ニーファイ25：1－8。イザヤの言葉は御霊と，現在の聖文と預言者の助けを借りて研究するときによりよく理解できる。イザヤの言葉は，ユダヤ人の歴史と文化について学ぶ助けともなる。（35－40分）

ダイヤル式で開ける南京錠をかざして見せ，希望する生徒に開かせる（組み合わせ番号を教えてはならない）。次のよう質問する。「この南京錠を開くのはなぜ難しいのでしょうか。」希望する生徒に組み合わせ番号を教えて，もう一度試させる。まだ開けられなければ，さらに指示を与える。開いたら，以下の質問をする。

- 南京錠を開くためには正しい組み合わせ番号を知ることがなぜ大切でしょうか。
- ほかの組み合わせ番号ではなぜ開かないのでしょうか。
- 南京錠を開くために組み合わせ番号の使い方を理解することはなぜ大切でしょうか。

イザヤの絵を見せる（『福音の視覚資料セット』113参照）。イザヤが書き記したものについて，これまでどのような事柄を聞いたことがあるか尋ねる。以下の質問をする。

- この南京錠はどのような意味でイザヤの書き記したものと似ているでしょうか。
- 南京錠を開くことはどのように，イザヤを理解することにたとえられるでしょうか。

ニーファイをはじめとする預言者たちはイザヤの書き記したものの錠を開く「組み合わせ番号」を与えていることを説明する。生徒に2ニーファイ25：1－8を読んで，イザヤの言葉を理解する方法についてニーファイが述べていることを見つけるように言う。

この聖句をさらに検討するために，黒板に「組み合わせ番号1：古代イスラエルの風習と神の裁きを理解する」と書く。以下の質問をする。

- 2ニーファイ25：1によると，イザヤの教えの多くはなぜニーファイ人にとって理解しにくかったのでしょうか（モルモン書ヤコブ4：14も参照）。
- 2節によれば，ニーファイはなぜユダヤ人のしきたりや慣習，伝統について多くを民に教えなかったのでしょうか（生徒に2節の脚注にある参照聖句を調べるように言う）。
- 3節の「神の裁き」とは何を指していると思いますか。

七十人の一員であった当時にブルース・R・マッコンキー長老が語った以下の言葉を読む。

「主は時代を問わずあらゆるときに，不従順な子らに対して裁きを下しておられる。飢饉，束縛，疫病，洪水，稲妻，雹を伴う嵐，伝染病，大暴風，地震，戦争，天から降る火と硫黄の雨，これらすべてとさらに無数のものが，神と神の律法を捨てた人々に神から送られる（レビ26章；申命28章；29章；30章；3ニーファイ8章；9章；10章；教義と聖約43：25；63：32－33；88：88－91）。明らかにこれらの裁きは，人々や国民の背きに対して罰を与えるため，へりくだらせて義に立ち返らせるために下される。そして，汚れた行いに対する正当な報いを受ける人々とともに，義にかなった少数の人々もこれらによって苦しみを受けることも事実である。（*Teachings 〔of the Prophet Joseph Smith〕*, 162－163；ダニエル11：35）」（*Mormon Doctrine*, 第2版〔1966年〕，404－405）

次のように質問する。「イザヤをはじめとする預言者たちの言葉は人々が『神の裁き』を理解するためにどのように役立っているでしょうか。」

黒板に「組み合わせ番号2：『預言の霊』を持つ」と書く。ニーファイは「分かりやすい言葉」（2ニーファイ25：4）を喜びとすると語ったことに注目するように言う。以下の質問をする。

- 4節によれば，何がイザヤの言葉を分かりやすくするのでしょうか。
- 「預言の霊」とは何でしょうか。（聖霊による霊感と証）

黙示19：10は「預言の霊」をさらに明確にしている。この聖句を読んで，「預言の霊」の意味を見つける。次のように質問する。「イザヤの言葉を理解するためになぜイエス・キリストの証が不可欠なのでしょうか。」

黒板に「組み合わせ番号3：古代イスラエルの文化，歴史，地理を研究する」と書く。ニーファイは5節で，自分がエルサレムから来たこと，「ユダヤ人にかかわること」を見てきたと明らかにしている。ヘブライ語で「こと」はdabarといい，「言葉」「ことわざ」あるいは「行動」という意味を持つ。ニーファイは，ユダヤ人が「預言者たちの述べた事柄」を理解していたこと，「ユダヤ人の風習を教わっていないかぎり」ユダヤ人のようにこれらの預言を理解できる者はいないことを明らかにしている。

次のように質問する。「わたしたちが『ユダヤ人の風習』をよく理解するにはどうすればよいでしょう。」最良の方法の一つは彼らの書物，特に聖書とモルモン書を研究することである。イザヤ書を理解すれば，それはすべての聖文を理解する助けになる。ユダヤ人の歴史や文化，言語を研究することも役立つ。ブルース・R・マッコンキー長老の以下の説明を紹介するとよい。

「様々な聖文が最初に啓示された民の歴史，政治と社会の状態，教育水準，気質に関する知識は聖文の洞察を深めるものとなります。例えば，ニーファイ人にとってイザヤの預言を完全に取り入れることは，エルサレムに住んだユダヤ人と比べるとはるかに困難なことでした。それは，ニーファイ人が『ユダヤ人の風習』を教えられていなかったからです。イザヤの言葉は確かに『預言の霊に満たされている人々には分かりやすい』のです。科学や医学の書物は科学や医学の分野で訓練を受けた人々の方が理解しやすいのと同じように，預言を解釈する訓練を受けている人々の方がその完全な意味をとらえやすいのです。」（*Doctrinal New Testament Commentary*, 全3巻〔1966－73年〕，第1巻，58）

- 6節の「周りの地方」とはどのような意味でしょうか。（イスラエルと周辺地域の地理）
- 「周りの地方」についてよく知っていると，なぜイザヤの書き記したものを理解しやすいのでしょうか。

黒板に「組み合わせ番号4：終わりの時と時のしるしに関する預言を知る」と書く。以下の質問をする。

- 7－8節によれば，人々はいつイザヤの言葉を理解するでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 「時のしるし」を含む預言者たちの教えを研究することはなぜイザヤの言葉を理解する助けとなるのでしょうか。

イザヤの言葉を理解することが持つ価値について証し，それらを熱心に調べるよう命じられていることを指摘する（3ニーファイ23：1－3参照）。

2ニーファイ25：19－30。モルモン書はイエス・キリストの贖いを通してのみ救いがもたらされることを証している。（25－30分）

イエス・キリストの絵をかざして見せる。2ニーファイ25章に「キリスト」という称号が何回出てくるかを尋ねる。（日本語訳では章の前書きを含めて25回出てくる。）以下の質問をする。

- 「キリスト」という称号はどのような意味を持っているでしょうか。（聖句ガイド「イエス・キリスト」の項，25参照）
- この称号がこの章の中で頻繁に使われているのはなぜだと思いますか。

生徒に2ニーファイ25：19－21を読ませる。それから，以下の質問をする。

- イエス・キリストに関するニーファイのおもなメッセージはどのようなことでしょうか。
- ニーファイは自分が残すメッセージについてどのような約束を受けていたでしょうか。
- ニーファイにとって自分の子孫がこのメッセージを受けることはなぜそれほど大切だったのでしょうか。

生徒に福音を家族や友達と分かち合うことについてニーファイと同じような気持ちを抱いているかどうかを考えるように勧める。22節を読んで，次のように質問する。「モルモン書はわたし

たちの永遠の裁きとどのような関係があるでしょうか。」

23節を読んで，次のように質問する。「『恵み』とはどのような意味でしょうか（聖句ガイド「恵み」の項，254参照）。」十二使徒定員会会長を務めていた当時のエズラ・タフト・ベンソン会長が語った以下の話を読む。

「恵みの中には，天父の独り子というすばらしい賜物（たまもの）も含まれます。神を信じ，その律法と儀式を受け入れる人が，永遠の命を受けられるようになったのは，神が御子を遣わしてくださったからにほかなりません。

救い主は恵みによって，全人類が不死不滅の体を得ることができるように，贖いの犠牲を成し遂げられました。

またわたしたちは神の恵みとキリストの贖いを信じる信仰，罪の悔い改めによって，自分に必要とされる事柄を行う力を得ることができます。人間の力だけでそれを成し遂げることはできません。

わたしたちは，神の恵みによって数々の祝福と霊的な力を授けられます。それらは，最後まで堪え忍ぶ人々を，永遠の命に導いてくれるものです。

わたしたちは神の恵みによって神のようになるのです。

そうです，確かに人は『わたしたちが最善を尽くした後，神の恵みによって救われる』のです。では『わたしたちが最善を尽くした後』とはどういう意味でしょうか。

『わたしたちが最善を尽くした後』には，自分にできるすべてのことを行うことが含まれます。

『わたしたちが最善を尽くした後』には，主の戒めに従うことも含まれます。

隣人を愛し，自分に敵意を向ける人のために祈ることも，『わたしたちが最善を尽くした後』に含まれます。

裸でいる人に衣服を与えること，飢えている人に食べ物を与えること，病人を見舞うこと，最も小さな者の一人にしたのは，神に対してしたのと同じである（マタイ25：40）という教えを心に留めて，『助けを必要としている人を助ける』る（モーサヤ4：16）こともそうです。

『わたしたちが最善を尽くした後』には，純潔を守り，汚れのない清い生活をすること，良心に恥じない正直な生活をすること，自分がしてほしいと思うことを人にしてあげることも含まれます。」（「最善を尽くす」『聖徒の道』1988年12月号，4―5）

生徒に2ニーファイ25：24―30を読むように言う。次のように質問する。「モーセの律法に従って生活する方法について，ニーファイ人はイエスの時代のユダヤ人と比較すると，どのような違いがあったでしょうか。」ニーファイ人の間でモーセの律法が日常的にどのような方法で守られていたかについてわたしたちはあまり知らされていないことに注意する。しかし，彼らはイエス・キリストを信じる信仰と従順によって救われることをわきまえながら，律法を守っていたことが明らかである。

「主イエスの愛に」（『賛美歌』109番）を歌う。

2ニーファイ26：1―23；27：1―20。主が預言者を通じて語られることは何でも成就するであろう。（45―50分）

大管長会と十二使徒定員会が発表した「家族―世界への宣言」から以下の3つの言葉を黒板に書く（「家族―世界への宣言」『聖徒の道』1996年6月号）。

1. 「両親には，愛と義をもって子供たちを育て，物質的にも霊的にも必要なものを与え，また互いに愛し合い仕え合い，神の戒めを守り，どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻，すなわち父親と母親は，これらの責務の遂行について，将来神の御前（みまえ）で報告することになります。」
2. 「わたしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々，伴侶（はんりょ）や子供を虐待する人々，家族の責任を果たさない人々は，いつの日か，神の御前に立って報告することになります。」
3. 「またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は，個人や地域社会，国家に，古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょう。」

以下の質問をする。

- これらの預言を含んだ警告が実現することをわたしたちはどれほど知っているでしょうか。
- 教義と聖約1：37―38を読んでください。主は御自分の言葉を変えられたことがあるでしょうか。

今日これから研究する聖文にはすでに成就した預言が数多く含まれていることを説明する。次のように質問する。「これらすべての預言が文字どおりに成就していることを知ることによって，主に対する信頼はどのように深まるでしょうか。」

以下の表を配付資料として配るか，黒板に書き写す。「成就した」の欄が空白になっている付録の項にある表を使用する（283ページ）。生徒を4つのグループに分けて，各グループに表の4つの区分の一つを割り当てる。割り当てられた区分の預言と聖句をグループで読み，それぞれの預言が成就したことを示す聖句を見つける。10分後に調査の助けとなるヒントを与えることを生徒に告げておく。10分後に「成就した」欄から参照聖句を与える。ただし，順不同にする。さらに5分から10分間，調査する時間を与える。各グループで発表する人を選んでおくように言う。

1．イエス・キリストのアメリカ大陸訪問に関する預言		
預　言	宣　言	成就した
キリストはニーファイ人に御自身を現される。	2ニーファイ26：1	3ニーファイ11：8－10
ニーファイ人とレーマン人の間で大きな戦争がある。	2ニーファイ26：2	モルモン1：8
キリストの降誕と死と復活のしるしがニーファイ人に与えられる。	2ニーファイ26：3	3ニーファイ1：15－21；8：3，19－20，23
キリストが亡くなるときに，恐ろしい破壊が起きて邪悪な人々は滅ぼされる。	2ニーファイ26：4－6	3ニーファイ8：5－25
キリストを待ち望んだ義人は，キリストが亡くなるときの破壊に巻き込まれて滅びることはない。	2ニーファイ26：8	3ニーファイ10：12－13
2．キリストが来られた後のモルモン書の民に関する預言		
預　言	宣　言	成就した
キリストが来られた後のアメリカには長期にわたる平和の時代が訪れる。	2ニーファイ26：9	4ニーファイ
ニーファイ人はキリストがアメリカを訪れられた後の4代目の時代を迎えると間もなく滅亡する。	2ニーファイ26：10，18	モルモン8：7
モルモン書の民の子孫はニーファイ人の国家が崩壊した後，不信仰に陥る。	2ニーファイ26：15	モルモン8：8－10
3．終わりの時に関する預言		
預　言	宣　言	成就した
異邦人は高慢のために苦しみを受け，霊的につまずく。多くの教会が設けられて，ねたみと争いと悪意を引き起こす。	2ニーファイ26：20－21	ジョセフ・スミス－歴史1：5－6
秘密結社が現れる。	2ニーファイ26：22	教義と聖約42：64
4．モルモン書の出現に関する預言		
預　言	宣　言	成就した
モルモン書は学識のない者（預言者ジョセフ・スミス）に授けられる。	2ニーファイ27：9	ジョセフ・スミス－歴史1：59
三人の証人とほかの幾人かはニーファイ人の記録が収められている版を見る。	2ニーファイ27：12－14	教義と聖約5：11；17章
神はモルモン書の封じられていない部分の一部を学者に見せるようお命じになる。	2ニーファイ27：15	ジョセフ・スミス－歴史1：63－64
学者は，版を持ってくれば翻訳すると言う。	2ニーファイ27：15	ジョセフ・スミス－歴史1：65
学者は封じられている書物を読むことはできないと言う。	2ニーファイ27：17	ジョセフ・スミス－歴史1：65

各グループの代表者にグループで見つけたことをまとめさせる。それらの報告について全員で話し合う。これらの預言が成就していることは今日のわたしたちの生活にどのような影響を及ぼすかについて生徒から意見を求める。

生徒に2ニーファイ27：21－35に目を通して，まだ完全には成就していない現代に関する預言を見つけるように言う。生徒が見つけた預言を黒板に書き出す。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の言葉を読む。

「主のすべての言葉は，主御自身が語られるか，霊感と啓示を通して僕たちに宣言するように命じられるかにかかわらず，成就することでしょう。そして，聖なる御霊は，啓示と戒めの真理を知ることを願い求めるすべての人に証されることでしょう。」（*The Teachings of Ezra Taft Benson*，333－334）

2ニーファイ26：29－31。わたしたちは神の王国を築くために教会で奉仕する。（10－15分）

（訳注――この「教え方の提案」ではcraft〔技巧〕，priestcraft〔偽善売教〕，priesthood〔神権〕という語の意味を比較検討します。これは英語を母国語としない生徒にとって理解しにくいかもしれません。この「教え方の提案」を使用する場合には，質問の仕方を工夫してください。）

黒板に「craft（「技巧」などの意）」と書いて，生徒たちにこの言葉を定義させる。以下の定義を紹介する。(1)「計画，製作または実行の技術」，(2)「手先の器用さまたは芸術的技能を要求される仕事または取り引き」，(3)「目的を達するために欺く技術」，(4)「商業または商業組合の会員」（*Merriam-Webster's Collegiate Dictionary*，第10版〔1993年〕，"craft"の項，270）これは否定的な意味の語だと思うかどうかについて生徒から意見を求める。

黒板に見出しとして「priestcraft（偽善売教）」と書き，次のように言う。「『偽善売教』を定義してください。」モルモン書が翻訳された時代に出版されていたアメリカの辞書によると，「偽善売教」とは「祭司の策略と詐欺；宗教的な事柄の欺瞞または押しつけ；利己的で野心的な祭司が富と権力を得るためまたは人の信じ易さにつけ込んで信仰を押しつけるための駆け引き」と定義されている（ノア・ウェブスター，*An American Dictionary of the English Language*〔1828年〕，"priestcraft"の項）。

黒板の「priestcraft（偽善売教）」の右側に見出しとして「priesthood（神権）」と書く。次の質問をする。「『偽善売教』の定義と『神権』の定義にはどのような違いがあるでしょうか。」生徒の答えについて簡単に話し合ってから，十二使徒定員会会員であったスティーブン・L・リチャーズ長老の以下の言葉を読む。

「神権は通常，『福音の儀式を執行するために人に委任された神の力』と定義されます。この定義は正しいのですが，わたしは奉仕するという意味をそれに付け加えたいのです。その力は静止しているものではありません。その力が及ぼされる範囲は，それを持って使う人のふさわしさと能力によって様々です。」（*The Church in War and Peace*〔1943年〕，42）

生徒に，「偽善売教」と「神権」の意味を考えながら2ニーファイ26：29－31を読むように言う。次の質問をする。「『偽善売教』のこの定義は1828年当時の辞書の定義とどのように違うでしょう。」

この聖句で挙げられている「偽善売教」の持つ問題点を見つけるように言う。生徒の答えを黒板の「priestcraft（偽善売教）」の下に書き出す。次に，まことの神権が持つ対照的な事柄を生徒に挙げさせ，「priesthood（神権）」の下に書き出す。以下の表を参考にする。

priestcraft（偽善売教）	priesthood（神権）
偽善売教を行う者は自分自身を世の光とする。	まことの神権を持つ者はイエス・キリストを光として掲げる。
自分の利益を求める。	神の王国を築く。
世の誉れを求める。	謙遜（けんそん）に奉仕する。人から認められないことも多い。
シオンの幸いを求めない。	シオンの幸いを求める。
シオンで働く者を滅ぼす。	慈愛を持っている。
金銭のために働く。	シオンのために働く。

偽善売教と神権の間にある違いを理解することによって，神から遣わされた人とそうでない人とを見分けられることを説明する。神のまことの神権を持つ人であっても間違った使い方をしないように注意しなければならない。教義と聖約121：36－37を読んでから，次の質問をする。「わたしたちはどうすれば間違いなく義にかなって神権を用いることができるでしょうか。」

2ニーファイ28章。終わりの時に多くの人々は偽りの教えに欺かれるであろう。これらの偽りの教えには，神はもはや人に対するする働きかけを終えられた，奇跡は終わってしまった，神は最終的にあらゆる人を救われるので罪は赦（ゆる）される，「シオンの中では，すべてが良い」，地獄も天国も存在しない，などがある。（30－35分）

「思いは行動に先立つ」と黒板に書く。次のように質問する。「あなたがもし行いを変えたいと思ったら，最初に何を変えなければならないでしょうか。」

最近の新聞のニュース記事から，人々を巻き込んだ犯罪行為に関する幾つかの見出しを紹介する（例えば，「麻薬容疑で二人を逮捕」「高校教師，暴行の生徒を告訴」「家庭内暴力の男を起訴」「パーティーが大騒動に，アルコールが関与」など）。次のように質問する。「人はどのようなことを考えているとこうした行為に及ぶのでしょうか。」

黒板に書く。「福音の教義を研究することは，人の行動を研究することよりも，ずっと速やかに行動を改善する力があります。」（ボイド・K・パッカー「幼き子ら」『聖徒の道』1987年1月号，18－19）次のように質問する。「この言葉によると，主があなたに毎日モルモン書を研究するように望んでおられる一つの理由は何でしょうか。」

2ニーファイ28：1－14を読んでから，以下の質問の中から幾つかを選ぶか，あるいはすべてを質問する。

- 1節の「促される」とはどのような意味でしょうか。（「せざるを得なくなる」または「必要に迫られてどうしてもしなくてはならなくなる」）
- 2節の書物とは何を指しているのでしょうか。（モルモン書。それについてはニーファイが26－27章で説明している。）
- ジョセフ・スミス―歴史1：5を読んでください。この節はニーファイが2ニーファイ28：3－4で述べていることをどのように成就しているでしょうか。
- 2ニーファイ28：4－6によれば，終わりの時に存在する様々な教会はどのようなことを教えるでしょうか。
- これらの教会はイエス・キリストや奇跡，聖霊の賜物（たまもの）についてどのように考えているでしょうか。
- 世の人々は，なぜニーファイが警告した教会や教えを好むのでしょうか（7－9節参照）。
- これらの教えは人々をどのような行動に仕向けるでしょうか（10－14節参照）。
- 1－2節をもう一度検討してください。終わりの時に見られるこれらの状態に対抗するためにモルモン書はどのような助けを与えてくれるでしょうか。

2ニーファイ28：3－14で明らかにされている偽りの教えに対抗している聖句をモルモン書から見つけるために数分間与える（例として，以下の表を参考にする）。生徒が見つけた事柄について話し合う。

終わりの時に見られる偽りの教え	偽りの教えに対抗するための聖句
2ニーファイ28：4－6	モロナイ7：37
2ニーファイ28：8	2ニーファイ29：24－27；アルマ34：32－34
2ニーファイ28：12－14	モロナイ8：26－27

エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の話を読んで，証（あかし）を述べる。

> 「そうです。それは人の論理かあるいは啓示された神の言葉かという問題です。わたしたちが神の言葉に従えば従うほど，欺かれることが少なくなります。最も欺かれているのは人の知恵に頼っている人々です。」（*The Teachings of Ezra Taft Benson*，354）

生徒にかなづち，のこぎり，巻尺などの大工道具を見せる。これらの道具を一つずつかざして見せながら，何のために，どのように使うかを質問する。木材の種類がたくさんあり，大工は様々な仕事をするため，大工道具にはたくさんの種類があることを説明する。

人々には様々な弱点があるため，サタンも様々な道具を持っていることを説明する。以下の表を黒板に書き写す。左の欄の参照聖句は記入するが，右側の二つの欄は空白にしておく。生徒に2ニーファイ28：13－32を読んで，サタンが人々を誘惑する方法，人々がサタンの誘惑に負けたときにどのようなことが起きるかを見つけるように言う。これらの聖句を採り上げていく過程で二つの欄に記入していく。

参照聖句	サタンの悪巧み（わな）	結　果
2ニーファイ 28：13－15	サタンは人々を高慢にして，貧しい者から奪い，華やかな衣と豪華な教会を好む気持ちを満足させるようにそそのかす。	邪悪な者たちは地獄に突き落とされる。
2ニーファイ 28：16，20	サタンは，善いことを悪い，あるいは価値がないと人々にそそのかす。	彼らは滅ぼされる。
2ニーファイ 28：21，24－25	サタンは人々をなだめて，現世における安全を確信させ，すべてが良いと告げる。	悪魔は人々をだまして，地獄へ誘い落とす。
2ニーファイ 28：22－23	サタンは人々にへつらい，悪魔や地獄はないと言う。	サタンの鎖によって縛られ，死と地獄に捕らえられる。
2ニーファイ 28：27－30	サタンは人々がすでに受けている啓示で十分であり，これ以上必要ないと言って説得する。	持っているものさえも取り上げられる。

生徒に20－22節をもう一度読むように言う。そして質問する。「サタンはなぜ人によってそれぞれ異なる方法を使うのでしょうか。」サタンがどのようにある人々の怒りをかきたて，別の人々をどのようになだめ，さらに別の人々をどのようにへつらって黙らせるかについて，生徒に自分の経験から例を話させる。

2ニーファイ28：24－32を読む。「災いである」とは，深い苦悩，苦しみ，嘆きを表すことを説明する。以下の質問をする。

- ニーファイはどのような災いについてわたしたちに警告しているでしょうか。
- 現在これらの罪と偽りの信仰についてどのような実例が見られるでしょうか。
- ニーファイによれば，わたしたちが悪魔の悪巧みと誘惑に打ち勝つことができるように，主はどのような方法で助けてくださるでしょうか。

十二使徒定員会会員であるニール・A・マックスウェル長老の以下の言葉を読んで，証する。

> 「神は，わたしたちを決してお忘れにはなりません。神に背を向け，神を拒む人でさえも例外ではありません。彼らが悔い改めて神のもとへ来るならば，神は憐れんでくださることでしょう。『〔神〕は終日，腕を伸べているからである』（2ニーファイ28：32）。」（*A Wonderful Flood of Light*〔1990年〕，60）

2ニーファイ28：7－9（マスター聖句）。終わりの時に多くの人は「心の中で誇り高ぶり」，自分の罪悪を主から隠しおおせると愚かにも信じるであろう。（10－15分）

もみがらの付いた小麦か米と，小麦菓子か米菓子を少量ずつクラスに持参する（この実演はポップコーンでもできる）。小麦菓子を生徒に見せて，それが何かを尋ねる。もみがらの付いた小麦を見せて，次のように質問する。「どちらの方が長期間保存できるでしょうか。それはなぜでしょうか。」（もみがらの付いた小麦は殻に守られているため，保存しやすい。）以下の質問の中から幾つかを選ぶか，あるいはすべてを質問する。

- どのようにすれば穀物を小麦菓子にすることができるでしょうか。（ふたをした容器に穀物を入れて，水分が蒸気になる温度よりも高い温度で熱する。圧力を下げると，殻の中の水分が蒸気となり，穀粒が破裂する。）
- わたしたちは「熱せられ（圧力をかけられ）」，その後に環境が変わったために，「高慢になった（ふくらんだ）」経験があるでしょうか。
- 「誇り高ぶる」とはどのような意味でしょうか。（うぬぼれて，威張ること。「誇り高ぶった」人とは主に頼る必要がないと考える人である。）
- もみがらの付いた小麦と小麦菓子では，食糧としてどちらの方が価値があるでしょうか。それはなぜでしょうか。（もみがらの付いた小麦は食糧としての価値がある。小麦菓子は中がほとんど空気である。）
- あなたは5人の「誇り高ぶる」友達か5人の誠実な友達かのどちらを持ちたいと思うでしょうか。
- あなた自身はどのような友達になりたいと思いますか。

2ニーファイ28：7－9を読んで，「誇り高ぶる」人々が信じ，教えている教えを探して，黒板に書き出す。次のように質問する。「『誇り高ぶる』のを避けるにはどうすればよいでしょうか。」2ニーファイ28章の教え方の提案で話し合った，偽りの教え，高慢，邪悪に対抗するためにモルモン書が果たす役割について復習する。

マスター聖句（2ニーファイ28：7－9）に印を付けるように言う。次のように質問する。「この聖句はなぜマスター聖句に入るほど大切なのでしょうか。」「明日は死ぬ身なのだから，飲み食いし，楽しみなさい」「人の言葉に付け込んで欺き」「隣人を陥れる穴を掘りなさい」「神はわたしたちをほんの少し鞭打たれるだけで」など，鍵となる語句を明らかにして，生徒が内容を覚えるのを助ける。よければ傍線を引くように生徒に勧める。

2ニーファイ29：1－9。主はイエス・キリストの福音が真実であることを示す二つの証として聖書とモルモン書を与えておられる。これは主御自身が定められた証人の律法を満たしている。（25－30分）

二人の生徒に，あなたの家のドアをノックする宣教師の役を演じさせる。二人はあなたにモルモン書に興味を持ってもらうように働きかける。宣教師とのロールプレーで，あなたは彼らの意図していることはうれしいが，すでに聖書を持っているので，ほかに必要がないと思うと言う。二人にアドバイスを与えずに，対応させる。ほかの生徒が対応方法について提案してもよい。次のように質問する。「このような考えに対する答えとなる聖句がモルモン書の中にあるでしょうか。」2ニーファイ29章は力強い答えを与えていることを説明する。

29章は，終わりの時に主が驚くべき業を行われるというニーファイの預言で始まっている。生徒に1－2節を読んで，主が「驚くべき業」を行われる5つの理由を見つけるように言う。そして，それらを黒板に書き出す。以下のような答えになる。

- 「わたしが……人の子らに立てた聖約を思い起こ」す。
- 「わたしが……わたしの民を再び連れ戻す業に着手する」。

- 「あなたニーファイとあなたの父に立てた約束，すなわち，あなたがたの子孫を覚え……るようにするという約束を，わたしが思い起こして守る」。
- 「あなたがたの子孫の言葉がわたしの口から出て，あなたがたの子孫に伝わる」。
- 「わたしの言葉は地の果てまで響き渡り，イスラエルの家に属するわたしの民にとって旗となる」。

それぞれの意味について話し合う。

次のように質問する。「主は御自分の言葉が『響き渡』る（訳注――「響き渡る」という語は英文では "hiss forth"である）と言われましたが，それはどのような意味でしょうか。」（"hiss"とは，英米人がだれかの注意を引くために"psst"『プスッ』という鋭い無声音を出すことである。〔訳注――日本人にとって，ささやき声で『ちょっとちょっと』『ねえねえ』と言うことが，この"hiss"という行為に相当するであろう。〕）モルモン書に記されている神の言葉は地の果てまで響き渡ることになることを強調する（2ニーファイ29：2；モロナイ10：28参照）。

十二使徒定員会会長を務めていた当時に，エズラ・タフト・ベンソン会長は2ニーファイ29：2についてこのように述べている。

> 「わたしたち教会員は，特に宣教師は，このモルモン書を世界の果てまで響き渡らせ，証する者とならなければならない。」（「モルモン書は神のみ言葉」『聖徒の道』1975年8月号，367）

2ニーファイ29：3－14を読んで，聖書のほかになぜモルモン書を研究すべきかの理由を3つ探して，それらを黒板に書き出す。以下のような答えになる。

- 主は複数の国民に語られる（7節参照）。
- 二つの国民の証は一つの国民の証よりもよい（8節参照）。
- 主は書き記される数々の書物によってわたしたちを裁かれる（11節参照）。

第3の理由についてマリオン・G・ロムニー副管長は次のように語っている。

> 「モルモン書を所有する国民がその中に書かれた事柄によって裁きを受けるというこの言葉ほど，モルモン書を読もうという気持ちをかき立てるものはないと，わたしは考えています。」（「モルモン書」『聖徒の道』1980年9月号，99）

宣教師の役を演じた生徒たちとのロールプレーをもう一度行う。今回は彼らが2ニーファイ29章から得た知識を使って，あなたの異論に対応する練習をさせる。

2ニーファイ30：1－8。モルモン書は多くの人々にイエスがキリストであられることを知らせる手段となるであろう。（15－20分）

黒板に「すべての宣教師が持つことができて，御霊（みたま）と結びつくことによって最も偉大な伝道の手段となるものは何でしょう」と書く。モルモン書を手に持ってかざす。わたしたちは伝道の手段としてモルモン書をどのように活用するかを知ることが絶対に必要であると説明する。モルモン書は多くの人々を改心に導く手段となり，数々の預言がモルモン書によって成就する。十二使徒定員会会長を務めていた当時にエズラ・タフト・ベンソン会長が語った以下の言葉を読む。

> 「ここ数年来，わたしたちがモルモン書を神の御心（みこころ）に従って使用していないことを深く憂慮してきました。
>
> メキシコ・シティー神殿の奉献式に参加したときのことですが，わたしたちがモルモン書をおろそかにしていることを神が喜んでおられないと，強い気持ちを感じました。……
>
> モルモン書は教会員および教会員でない方々の両方のためのものです。主の御霊とともに，モルモン書は世の人々を改心させるために神から与えられた，比類のない最高の道具です。キンボール大管長がビジョンとして描かれた収穫を得るには，神がその業のために作られた道具，すなわちモルモン書を用いなければなりません。」（「キリストに対する新しい証人」『聖徒の道』1985年1月号，6－7）

2ニーファイ30：1－8を読んで，質問する。「モルモン書は世の人々に対してどのようなインパクトを与えるでしょうか。」（「異邦人」「ユダヤ人」「残りの者」の意味を理解するために，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』13，43ページから，1ニーファイ13：1－3；2ニーファイ30：4；2ニーファイ30：4－6の解説を参照する。）以下の質問の中から幾つかを選ぶか，あるいはすべてを質問する。

- この改心の過程においてわたしたちはどのような役割を果たすべきでしょうか。
- モルモン書はどのようにして全世界に届けられるのでしょうか。
- 伝道活動でモルモン書を最も効果的に使うにはどうすればよいでしょうか。
- なぜあなたは毎日モルモン書を勤勉に研究する必要があるのでしょうか。

ベンソン大管長の以下の言葉を読む。

> 「末日聖徒はモルモン書を生涯にわたって研究する必要がありますが，それには大きく3つの理由があります。
>
> その第1は，モルモン書はわたしたちの宗教のかなめ石だからです。それは預言者ジョセフ・スミスの言葉にあります。ジョセフ・スミスは『モルモン書はこの地上における最も正確な書物であり，わたしたちの宗教のかなめ石である』（*History of the Church*, 第4巻，461）と証（あかし）しています。かなめ石とはアーチの中央に置かれる石のことです。ほかの石を支える働きをしているので，取るとアーチは崩れ落ちます。……
>
> さて，モルモン書をわたしたちの学びの中心としなければならない第2の理由は，このモルモン書がわたしたちのために書かれたものであるからです。ニーファイ人たちにも，古代のレーマン人たちにもモルモン書はありませんでした。まさにわたしたちのためのものなのです。……

モルモン書が末日聖徒にとって価値のあるものである第3の理由は，先ほど引用した預言者ジョセフ・スミスの言葉にあります。彼は言いました。『わたしは兄弟たちにこう語った。モルモン書はこの地上における最も正確な書物であり，わたしたちの宗教のかなめ石であって，人がその教えに従って最も神に近づくことのできる書物である。』（*History of the Church*, 第4巻，461）これがモルモン書を学ぶ第3の理由です。つまり，わたしたちを神に近づけてくれるものだからです。わたしたちには，神に近づきたい，日々の行いの中で神のようになりたい，絶えず神の存在を感じたいと願う気持ちがどこか心の奥深くにあるのではないでしょうか。そうだとするならば，モルモン書はほかのどの書物よりもその助けとなるものです。

モルモン書は確かに真理を教えていますが，それだけではありません。モルモン書は確かにキリストの証をしていますが，それだけでもありません。それ以上のものがあるのです。モルモン書には力があって，真剣に読み始めるやいなやその力は読む者の人生に流れ込み，誘惑に打ち勝つ力となります。またそれは欺きを避ける力となり，細くて狭い道にとどまる力となります。聖典は『命の言葉』（教義と聖約84：85）と呼ばれていますが，モルモン書ほどその言葉にふさわしいものはありません。神の言葉に飢え渇く者はモルモン書を通して豊かに得られるようになるのです。」（「モルモン書――わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号，5－7）

はじめに

ジェフリー・R・ホランド長老は次のように書いている。

「ニーファイは自分の民と，まだ生まれぬそしてまだ見ぬ最後の神権時代の人々に与えた驚くべき最後の証の中で，『キリストの教義については少し述べて』〔2ニーファイ31：1－2〕，彼の預言（モルモン書の出現に関する預言を含む）と記録と，そして生涯の教えを『終え』ました。……

ニーファイが壮大かつ総括的な説教の中で教えた『キリストの教義』は，主イエス・キリストを信じる信仰，悔い改め，水に沈めるバプテスマ，聖霊の賜物を受けること，そして最後まで堪え忍ぶことに焦点が絞られています。この宣言においては，救いの計画の全貌やキリスト教徒として培うすべての徳，天の栄光の様々な階級においてわたしたちを待つ報いについて触れようとはしていません。この宣言では神権の職，神殿の儀式，あるいはその他の多くのまことの教義を扱っていません。これらすべては大切ですが，モルモン書で明らかにされている『キリストの教義』は単刀直入です。福音の第一の原則だけに焦点を絞り，そして堪え忍び，貫き通し，前進するようにとの励ましを付け加えています。明快で単純な『キリストの教義』の中に力が秘められています。ニーファイはそのことを知っていました。このように記しているからです。『わたしの分かりやすい預言の仕方で，あなたがたに分かりやすく述べておく。』〔2ニーファイ31：2〕」（*Christ and the New Covenant*, 49－50）

学び取るべき重要な福音の原則

- 従順，イエス・キリストを信じる信仰，悔い改め，バプテスマ，聖霊を受けること，キリストの言葉をよく味わうこと，最後まで堪え忍ぶこと，救い主の模範に従うこと，これらはすべて「キリストの教義」を構成する（2ニーファイ31：2－32：6参照。3ニーファイ11：28－41；27：8－22；モーセ6：48－68も参照）。
- イエス・キリストは罪のない御方であったにもかかわらず，あらゆる義を満たすためにバプテスマをお受けになる必要があった（2ニーファイ31：4－9参照。マタイ3：11－17も参照）。
- バプテスマは永遠の命に至る細くて狭い道に入る門である（2ニーファイ31：10－18参照。ヨハネ3：3－5も参照）。
- 「天使の言葉」で語る人々は聖霊の力によってキリストの言葉を語る（2ニーファイ31：13－14；32：1－3参照）。
- わたしたちはキリストの言葉を調べ，熱心に祈り，聖霊の導きを求めることによって，霊的な交わりをよく理解することができる（2ニーファイ32：1－33：2参照）。
- 御霊はわたしたちに祈るように教えるが，サタンは祈ってはならないと教える（2ニーファイ32：8－9参照。エテル4：11；モロナイ7：16－19；教義と聖約11：11－14も参照）。
- 人が聖霊の力によって語るとき，聖霊は熱心に耳を傾ける人々の心にそれらの言葉を伝えてくださる（2ニーファイ33：1－5参照）。
- わたしたちは皆，自分の受けた知識によって神により裁かれる（2ニーファイ33：10－15参照。黙示20：12－15；教義と聖約82：3も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』44－46。

教え方の提案

2ニーファイ31：2－32：6。従順，イエス・キリストを信じる信仰，悔い改め，バプテスマ，聖霊を受けること，キリストの言葉をよく味わうこと，最後まで堪え忍ぶこと，救い主の模範に従うこと，これらはすべて「キリストの教義」を構成する。（35－40分）

ボイド・K・パッカー長老が語った以下の話を読む。

「まことの教えを理解すれば，人の態度や行動は変わります。

福音の教義を研究することは，人の行動を研究することよりも，ずっと速やかに行動を改善する力があります。ふさわしくない行動についてばかり考えていると，実際にそのような行動をするようになります。だからこそ，わたしたちは福音の教えを勉強するようにと強く勧めるのです。」（「幼き子ら」『聖徒の道』1987年1月号，18－19）

この話はどのようなことを意味しているかについて生徒の意見を求める。次に，七十人の一員を務めていた当時のブルース・R・マッコンキー長老による「教義」の定義を紹介する。

「教義は教えである。……まことの教義はあらゆる真理の源であり泉である神からもたらされ，福音の中に見いだすことのできる教えと概念である。……

……完全な救いは主が啓示された教義のすべてを信じ，従う人々だけにもたらされ得る。」（*Mormon Doctrine*, 204）

以下の質問について話し合う。

- まことの教義を理解することがなぜ生活に力強い影響を及ぼすのでしょうか。
- まことの教義を理解することによってあなたはどのように助けられてきたでしょうか。

生徒に2ニーファイ31：1－2，21；32：6を読むように言う。次のように質問する。「これらの聖句によれば，『キリストの教義』はどれほど大切なものでしょうか。」この聖句ブロックの導入部で引用されているジェフリー・R・ホランド長老の話（75ページ）を生徒に読み聞かせる。ニーファイが説明している「キリストの教義」は福音の基本的な原則と儀式に焦点が絞られていることを説明する。

黒板に以下のテーマを書く。「イエス・キリストを信じる信仰」「悔い改め」「バプテスマ」「聖霊の賜物（たまもの）」「最後まで堪え忍ぶこと」。これらはキリストの福音の5つの基本を成していることを説明する。クラスを5つのグループに分けて，各グループに一つずつテーマを与える。各グループで2ニーファイ31：3－20を読んで，テーマに関して教えている節を見つけるように言う。グループの答えを全員で話し合う。以下の質問をする。

- これらの基本的な教義はわたしたちがキリストのもとへ行くためにどのように助けとなるでしょうか。
- これらの基本的な教義を理解することはなぜ必要不可欠だと思いますか。
- これらの教義を理解するとあなたの行いはどのように変わるでしょうか。

ホランド長老はこのように記している。

「〔ニーファイの言葉に〕耳を傾けた人々は，同時代の一部の人々と同様に，そのように単純な教義を聞くことについていぶかしげな視線を向けたかもしれません。彼らはこれが『キリストの教義』と言えるだろうかと考えたかもしれません。これがそのメッセージなのか。これが『良い知らせ』だろうかと。」（*Christ and the New Covenant*, 55）

キリストの教義は，簡潔であってもどれほど多くのチャレンジを含んでいるかについて生徒の意見を求める。

これらの質問に対してホランド長老が与えた答えを読んで締めくくりとする。

「これらの人々は悩む必要がありませんでした。それは言葉の響きほど複雑ではありませんでした。驚きに値するようなことでもありませんでした。これらの耳慣れた第一の原則と儀式に従い，断固として貫き通しさえすればよかったのです。彼らには二つの偉大な安全策，神の導きを受けるための二つの確かな手段がありました。『力強く進み』ながら『キリストの言葉をよく味わ〔う〕』義務がありました。それは，『見よ，キリストの言葉はあなたがたがなすべきことをすべて告げるから』です。そして彼らは，『〔彼ら〕がなすべきことをすべて〔彼ら〕に示される』聖霊の促しに忠実に従って生活しなければなりませんでした。……

これは易しい教えでも，気まぐれな教えでもなく，簡潔明瞭な教えです。特に悔い改めの部分については，一部の人にとって都合の良い，気楽な教義ではありません。しかし非常に明快で，非常に貴い教義です。キリストの教義は複雑ではないのです。大いに麗しく，ひたすら明確で，完全な教えです。」（*Christ and the New Covenant*, 55－56）

2ニーファイ31：4－9。イエス・キリストは罪のない御方であったにもかかわらず，あらゆる義を満たすためにバプテスマをお受けになる必要があった。（15－20分）

救い主のバプテスマの絵（『福音の視覚資料セット』208参照）を見せて，生徒に次の質問を考えるように言う。「イエス・キリストは罪のない御方であったにもかかわらず，なぜバプテスマを受けられたのでしょう。」生徒の答えについて話し合ってから，2ニーファイ31：4－6とマタイ3：15を読むように言う。以下の質問をする。

- 救い主がバプテスマをお受けになる必要性についてどのような理由が挙げられているでしょうか。
- 「あらゆる義を満たす」とはどのような意味だと思いますか。

以下の言葉を読む。

「末日聖徒は聖書とモルモン書から，イエスが『あらゆる義を満たす』ためにバプテスマを受けられたと理解している。これは，イエスが御父の前に自らへりくだり，イエスが御父に従うことを御父に証明し，これによって，永遠の命に至る狭い門を人類に示されたのである。」（"Baptism of Jesus Christ," ダニエル・H・ラドロー編，*Encyclopedia of Mormonism*, 全5巻〔1992年〕，第2巻，730）

ニーファイは救い主が4つの方法であらゆる義を満たされたことを明らかにしていることを告げる。生徒に以下の聖句を読んで，救い主がどのようにあらゆる義を満たされたかを示す語句に印を付けるように言う。それから全員で，以下の質問について話し合う。

1. 2ニーファイ31：7。「〔救い主は〕御父の前にへりくだる」
   - あなたにとってへりくだることはなぜ大切でしょうか。
   - バプテスマを受けることはどのように謙遜さを表しているでしょうか。
   - 謙遜さはどのように義に通じるでしょうか。
2. 2ニーファイ31：7。救い主は「御父の戒めを守ることについて御父に従順であること」を御父と聖約された。
   - モーサヤ18：8－10を読んでください。この聖句によれば，わたしたちはバプテスマにおいてどのような聖約を交わすのでしょうか。
   - 救い主がこれと同じ聖約を交わされたことを知ることが，なぜあなたにとって大切でしょうか。
   - 戒めを守ることはわたしたちが義に通じる道にとどまるために，どのように助けとなるでしょうか。
3. 2ニーファイ31：8－9。救い主のバプテスマは「道が細くて……門が狭いこと」を示した。
   - 救い主のバプテスマは御父の御心に進んで従う気持ちをどのように表しているでしょうか。
   - バプテスマはどのような意味で，日の栄えの王国に至る細くて狭い道に通じる門と似ているでしょうか。
   - すべての人が入るように求められている門と同じ門を通って救い主が入られたことを知るのはなぜ大切だと思いますか。
4. 2ニーファイ31：9。救い主はわたしたちが従うべき「模範を示された」。
   - 救い主の模範はあなたにとってどのような助けになっているでしょうか。
   - あなたが救い主に従うために，ほかの人々の義にかなった模範はどのように助けとなってきたでしょうか。
   - 人々に対してよい模範を示すことはわたしたち自身が義にかなう者となるためにどのように役立つでしょうか。

2ニーファイ31：10－17。バプテスマは永遠の命に至る細くて狭い道に入る門である。わたしたちは皆，自分の罪を悔い改め，バプテスマを受け，聖霊の賜物を受けるべきである。（15－20分）

一人の生徒に自分がバプテスマを受けたときの思い出や感じたことについて3分の話を準備してクラスに出席するよう伝えておく。この話が終わったら，以下の状況に対してどのように対応するかについて全員で話し合う。

1. ある日のセミナリーが終わってから，あなたの友達はこう話しています。「どうして8歳になったらバプテスマを受けるのかよく分からないよ。まだ早すぎると思う。バプテスマの意味がよく分かる年齢になるまで待つべきだと思う。」
2. ある友達がこのように打ち明けています。「わたしは8歳のときでなく，今バプテスマを受けられたらいいのにって思うわ。今わたしの罪が全部洗い流されたらどんなにすばらしいかしら。」

黒板に次のように書く。「聖霊の賜物を受けた子供たちは，バプテスマの聖約を理解するようになるに従って，福音を学ぶことができる。」

2ニーファイ31：10－13を読んで，バプテスマに結びついている祝福で，たとえ8歳の子供であっても助けになる祝福を見つける。以下の質問をする。

- 聖霊の賜物はなぜそれほど大切な祝福なのでしょうか。
- この賜物は子供たちにどのような祝福を与えるでしょうか。
- 聖霊の賜物は福音を学ぶ子供たちにとってどのような助けになるでしょうか。
- 聖霊の賜物がなかったらあなたの生活はどのような点で違っているでしょうか。

黒板に次のように書く。「わたしたちは聖霊の力を通して罪から清められる。これはバプテスマのときに始まって人生全体を通じて起きる。」

2ニーファイ31：17を読んで，質問する。「何の力によって罪から清められるのでしょうか。」十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老の以下の話を読む。

> 「わたしたちはバプテスマの水によって罪が赦されると象徴的に言っていますが，罪が赦されるのは聖霊を受けるときです。肉欲を消し去り，わたしたちに義にかなった状態をもたらしてくださるのは神の聖なる御霊です。実際に聖霊からの交わりを受けるときにわたしたちは清くなります。それからわたしたちの罪とかすと邪悪があたかも火で焼かれるように燃やされるのです。聖霊のバプテスマは火のバプテスマです。」（*A New Witness for the Articles of Faith*〔1985年〕，290）

以下の質問を話し合う。

- なぜ火のバプテスマを受けることが大切なのでしょうか。
- あなたは生活の中で聖霊の清めの力をどれくらいの頻度で受けることができるでしょうか。
- 天父からの赦しを受けて得た清い状態と，子供のときに持っていた清純さはどのような点で似ているでしょうか。

管理監督会の一員を務めていた当時のヘンリー・B・アイリング監督の以下の話を紹介する。

> 「皆さんは生活の中に聖霊との交わりを招くことができます。聖霊がいつ来ておられるかも，いつ退かれたかも知ることができます。そして聖霊があなたの伴侶となっておられるとき，贖いが自分の生活の中で効力を発揮していることが確信できます。……
>
> ……あなたは聖霊の影響力によって助けられていると感じ，承認されていると感じるでしょう。そして，少なくともその間だけでも，聖霊の力があなたとともにあることを知るでしょう。すると癒しの力が心に入り込んでくるのを感じます。なぜならば，御霊は清くない宮に住まわれないからです。御霊の及ぼす力は清めの力です。
>
> 聖霊の影響力を感じることは，罪からの癒しである贖い

があなたの生活の中で実現しているしるしとなるばかりではありません。罪を予防する力が働いていることも知ることができます。」("Come unto Christ," *Brigham Young University 1989—90, Devotional and Fireside Speeches*〔1990年〕，41）

レッスンの初めで紹介した二つの状況に戻る。生徒に，今度は2ニーファイ31章とマッコンキー長老，アイリング監督の言葉を使って，質問に答えるように言う。

バプテスマと聖霊の賜物の大切さについて証する。聖餐を受け，聖霊の賜物を生涯使い続けることによって，常に聖約を新たにするよう奨励する。

2ニーファイ32：1－33：2。わたしたちはキリストの言葉を調べ，熱心に祈り，聖霊の導きを求めることによって，霊的な交わりをよく理解することができる。（25－30分）

一人の生徒に目隠しをする。ほかの生徒たちに写真か絵を見せて，だれかにそれを目隠しをした生徒に説明させる。それから目隠しを取って，写真を見せる。その生徒に質問する。

- 説明だけをもとにしてそれがどのような写真かをどれほど理解できたでしょうか。
- 目隠しによって理解がどれほど制限されたでしょうか。

全員に質問する。「この原則はほかの感覚（嗅覚，味覚，触覚，聴覚）についても当てはまるでしょうか。」

わたしたちは肉眼で見るほかに，霊的にも「見える」ことを生徒に告げる。御霊の影響を受けたときのことを考えるように言う。それから以下の質問をする。

- わたしたちにとって日常生活で御霊の影響を受けることはなぜ大切でしょうか。
- あなたの霊的な感覚をほかの人に分かるように説明するのはなぜ難しいのでしょうか。
- 御霊に対する感覚を鈍くすることにはどのようなものがあるでしょうか。
- 御霊に対する感覚を研ぎ澄ますにはどうすればよいでしょうか。

2ニーファイ32：1—5を読んで，質問する。

- 「キリストの言葉」と聖霊は忠実な人にどのようなことをするとニーファイは語ったでしょうか。（「あなたがたがなすべきことをすべて告げる」〔3節〕，そして「あなたがたがなすべきことをすべてあなたがたに示される」〔5節〕）
- あなたの生活にとってこのような指示を受けることはなぜ大切でしょうか。
- この霊的な導きを受けるにはどうすればよいでしょうか。

ニーファイは霊的なことを理解しない状態を闇の中にいることにたとえたことを生徒に告げる（4節参照）。これは霊的なことに対して「目隠しをされている」ようなものである。生徒に，2ニーファイ32：4—9を読んで，御霊の影響を受けるために自分をよく備える方法を見つけるように言う。生徒が見いだした事柄について話し合い，これらの教えを実行するよう奨励する。

2ニーファイ32：3（マスター聖句）。わたしたちはキリストの言葉をよく味わうべきである。（10－15分）

以下の語をそれぞれ別の紙に書いておく。「試食する」「暴食する」「味わう」「少しずつかじる」「軽く食事を取る」「よく味わう」。ほかの生徒たちには何が書かれているかを見せないように言って，6人の生徒に紙を渡す。6人の生徒に前へ来させる。彼らに皿を渡して，食べ物が皿に載せられていると想像するように言う。6人の生徒に紙に書かれている言葉について説明するか，ジェスチャーで表すように言う。ほかの生徒はその言葉を当てる。6つの語を明らかにしてから，以下の質問を話し合う。

- よく味わうという語は食べることを説明するほかの語とどのように異なっているでしょうか。
- 以下のうちどれが「よく味わう」という語と最も関連があるでしょうか。（1）食べた食物の量，（2）食べた食物の種類，（3）食物を食べるスピード，（4）食事の回数。それはどのような理由からでしょうか。

生徒に2ニーファイ32：3を読ませる。そして以下の質問をする。

- ニーファイはわたしたちに何をよく味わうように勧めたでしょうか。
- 聖文をよく味わうことは，聖文を読むこと，ざっと目を通すこと，目を向けること，拾い読みすることとどこが違うでしょうか。
- キリストの言葉をよく味わうことと同じ意味の語にはどのような語があるでしょうか。（研究する，調べる，深く考える。）
- 聖文をよく味わうことは，次のうちどれを指しているでしょうか。（1）読む聖文の量，（2）どのような種類の聖文を読むか，あるいはどの節を読むか，（3）読むスピード，（4）聖文を研究する回数。それはなぜでしょうか。

十二使徒定員会会員のM・ラッセル・バラード長老の以下の話を読む。

「福音の真理，特に主イエス・キリストの神聖な生涯と使命に対する個人の証は，永遠の命に不可欠です。救い主はこう言われました。『永遠の命とは，唯一の，まことの神でいますあなたと，また，あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。』〔ヨハネ17：3〕言い換えれば，永遠の命は天父と聖なる御子に対するわたしたち自身の個人的な知識にかかっているのです。単に御二方を知るだけでは十分ではありません。わたしたちは自らをつなぎ止める錨となるような霊的な経験をしなければなりません。そうした経験は，飢えた人が食物を求めるように，激しく一心に求めることによってもたらされます。」（「主の食卓に着く」『聖徒の道』1996年7月号，92—93）

聖文を熱心に研究することによって得たよい経験を生徒たちに分かち合うように言う。いつもキリストの言葉をよく味わうよう奨励する。

2ニーファイ32：8－9（マスター聖句）。御霊はわたしたちに祈るように教えるが，サタンは祈ってはならないと教える。（10－15分）

以下の状況を提示する。もしあなたの国が戦争中で，あなたは軍隊にいるとしたら，敵国の軍隊の何を最初に破壊しようとするでしょうか。生徒たちから意見を聞いた後に，以下の質問をする。

- 敵の通信システムを破壊することにはどのような利点があるでしょうか。
- 天父とわたしたちの間にはどのような通信システムがあるでしょうか。（祈り）
- サタンはなぜ，わたしたちが神と交わろうとするのをやめさせようとするのでしょうか。
- サタンはそのために何をしているでしょうか。

クラスを5つのグループに分けて，各グループに以下の賛美歌から1曲を割り当てる。

- 「麗しき朝よ」（『賛美歌』18番）
- 「高ぶりを慎み」（71番）
- 「部屋を出る前に」（78番）
- 「祈りは楽しき」（81番）
- 「ひそかな祈り」（79番）

賛美歌の歌詞を読んで，教えられている大切な原則を3つ見つけるように言う。見つけた原則を各グループに発表させた後に，全員で話し合う。

2ニーファイ32：8―9を読んで，質問する。

- サタンはなぜわたしたちが祈ることを望まないのでしょうか。
- もし祈らなければわたしたちの生活は違ったものになっているでしょうか。
- あなたにとって定期的に祈ることは簡単ですか，難しいですか。それはなぜですか。
- 祈りはあなたの生活にどのような祝福をもたらしてきたでしょうか。
- どのようなことが定期的に祈るための助けになるでしょうか。

祈りの力についてあなたが経験したことを分かち合う（非常に神聖な事柄や個人的なことを明らかにする必要はない）。生徒から祈りについての証を分かち合うよう求め，毎日祈り続けるよう励ます。

2ニーファイ33章。ニーフィは証をもって記録を終えた。（30－35分）

生徒に今日が彼らにとって地上の最後の日であると想像させる。以下の質問をする。

- これまでの人生でどのようなことに感謝するでしょうか。
- あなたは人々にどのような人として記憶してもらいたいでしょうか。
- 葬儀の席で人々からどのように言われたいでしょうか。
- 墓石には何と書いてほしいと思うでしょうか。

ハワード・W・ハンター大管長の墓石には次の墓碑銘が記されていることを紹介する。「一人の預言者であり，愛にあふれ，忍耐強く，礼儀正しく，寛容であった人，ここに眠る。」次のように質問する。「あなたはハンター大管長に会ったことがないかもしれませんが，墓碑銘を読んでどのような印象を受けましたか。」

2ニーファイ33章はニーファイの最後の証であることを生徒に告げる。わたしたちはこの章から，ニーファイがどのような人であったか，そしてどのようなメッセージを世の人々に残していきたいと考えていたかを理解することができる。生徒に2ニーファイ33章を黙読して，以下の質問の答えを見つけるように言う。

- ニーファイにとっていちばん大切だった教えまたは教義は何だと思いますか。
- ニーファイと彼の信仰を表す墓碑銘を5つの語で表すとしたら，どのような語になるでしょうか。

生徒の答えについて話し合う。

ニーファイに対するあなたの証と，彼の生涯と書き記したものを研究できたことについて感謝を述べる。生徒が一番に模範としたいと考えるニーファイの性格か教えを一つ選ぶように言う。その性格を伸ばすための個人の目標をノートに書いて，目標を達成するために努力するよう励ます。

ヤコブ書

ヤコブ書はニーファイの小版に収められていた。ニーファイは死を前にして，弟のヤコブを版の管理者に任命した。ニーファイはすでにヤコブの教えの一部を版に加えていた（2ニーファイ6章；9－10章参照）。ヤコブは「兄たちが乱暴なためにひどい苦難を味わい，つらい思いをした」（2ニーファイ2：1）にもかかわらず忠実であった。ヤコブはニーファイとともに安全に暮らし，神に仕えて生涯を送るであろうと語った父リーハイの預言を成就した（2ニーファイ2：3参照）。ヤコブはニーファイと同じように救い主にまみえた（2ニーファイ11：2－3参照）。ヤコブは神聖な記録の管理者に指名されたとき，すでにその準備ができていた。ヤコブはイエス・キリストとキリストの贖いに焦点を絞って教義的なことを書き記したことで知られている。ヤコブ書は以下のように区分することができる。

- ヤコブ1章－序文と委任
- ヤコブ2－3章－神殿における説教と悔い改めの呼びかけ
- ヤコブ4章－イエス・キリストに関する教え
- ヤコブ5－6章－栽培されたオリーブの木と野生のオリーブの木に関する比喩とヤコブの説明
- ヤコブ7章－反キリスト，シーレムとの対決

はじめに

ヤコブが記録を記す責任を受けたとき，リーハイがエルサレムを去ってからすでに55年が過ぎていた（ヤコブ1：1参照）。このときまでにリーハイの子孫は，リーハイの子供，孫，曾孫，玄孫の代まで達していたと思われる。人数は数百人あるいは1,000人を越えるまでになっていたであろう。ニーファイの民は人数だけでなく富も増えた（16節参照）。しかし，残念ながら罪悪も大きくなっていた（15節参照）。ヤコブ自身も人々に悔い改めを叫ばなければならないことに「心が沈んでいる」（ヤコブ2：3）と述べ，「悲しいことであり」（6節），「わたしの心は重い」（9節）と記している。ヤコブは「力のかぎり神の言葉を民に教えなければ」，民の罪について自分もその責任の一端を問われることを理解していた（ヤコブ1：19）。このためヤコブは神殿で民に教えを説いた。彼は民の高慢，富を愛し富を不正に用いること，性的な不道徳を非難し，神の言葉を聞くように勧めた（ヤコブ2－3章参照）。ヤコブはわたしたちがイエス・キリストを生活の中心に据えなければならないことを教えた（ヤコブ4章参照）。

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- もし教会の指導者が人々を教えず，人々の罪について警告を発しなければ，主は指導者に対して責任を問われる（ヤコブ1：17－2：3参照。エゼキエル3：17－21も参照）。
- 高慢，富の不正な使用，性的な罪悪は悲しむべき罪であり，避けなければならない（ヤコブ1：15－16；2：12－35参照）。
- 主が御自分の預言者を通じて命じられる場合を除いて，多妻結婚は禁じられている（ヤコブ2：27－30参照。教義と聖約132：7，37－39も参照）。
- 神の前に戻って，神とともに永遠に住むために，わたしたちはイエス・キリストを知って，キリストを基とした生活を築かなければならない（ヤコブ4：9－16；6：8－12参照。ヨハネ17：3；2ニーファイ25：23；ヒラマン5：12も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』47－49。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション6「高慢」をヤコブ2章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

ヤコブ1：1－8。ヤコブはニーファイの小版をゆだねられた。（5－10分）

黒板に「ゆだねる」と書く。生徒にこの語の意味を定義させる。（「信頼するだれかに何かの管理を任せること。」）今日，生徒はモルモン書の中で金版をゆだねられたある人物について学ぶことを説明する。

ヤコブ1：1－8を読んで，以下の質問の答えを見つけるように言う（生徒の答えを黒板に書き出してもよい）。

- ニーファイの後に版をゆだねられた人はだれでしょうか。
- ニーファイは彼にどのようなことを版に記すように言ったでしょうか。
- どのようなことを版に記してはならないと言ったでしょうか。

ヤコブがどのような人であったか，民はどのような状態に置かれていたか，ヤコブは自分が書き記したものの中でどのようなことに焦点を絞っていたかを生徒が理解するのを助けるためにヤコブ書のこれらの聖句を活用することができる。

ヤコブ1：17－2：3。もし教会の指導者が人々を教えず，人々の罪について警告を発しなければ，主は指導者に対して責任を問われる。（10－15分）

食べ物がほとんど，あるいはまったくない家族がワードにいると生徒に考えさせる。次のように質問する。「家族の必要を確かめて配慮する責任はだれにあるでしょうか。」（両親，親戚，監督，定員会指導者，ホームティーチャー，扶助協会会長，訪問教師。）

生徒に，ヤコブ1：17－19を読んで，だれが民に対する責任を負っていたかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- これらの節で言われている指導者たちとはだれのことでしょうか。
- 彼らはどのような責任を持つ地位に就いていたでしょうか。
- 彼らはだれに対して責任を持っていたでしょうか。
- 「自分たちの務めを尊んで大いなるものとした」とはどのような意味でしょうか。
- これらの指導者は自分たちの責任をどのように考えていたでしょうか。

ヤコブ1：17－19とエゼキエル3：17－21を相互参照して，どのような関連があるかについて話し合う。以下の質問をする。

- エゼキエル書の聖句によれば，指導者がわたしたちに真理を教えているとすれば，わたしたちの行いの責任はだれにあるでしょうか。
- 信仰箇条の2節はこれらの聖句とどのような関連があるでしょうか。（預言者と教会の指導者はわたしたちに教え，警告する責任があるが，わたしたちは自分の罪について責任を取らなければならない。わたしたちは生まれながらにしてキリストの光を持っており，その光に従って行動する責任があることを生徒に理解させる〔モロナイ7：15－17参照〕。預言者が原則を教えて，わたしたちがそれを聞いて理解するならば，わたしたちは同様にその原則に従う責任がある。）

教会の召しを果たしたことのある生徒に手を挙げさせる。以下の質問をする。

- あなたの召しはヤコブやヨセフの召しと比較した場合にどのような共通点があるでしょうか。どのような点が異なっているでしょうか。
- これらの聖句はあなたの召しに対する考え方にどのような変化を生むでしょうか。

自分の召しを尊んで大いなるものとするために何ができるかを書き出すように言う。

ヤコブ2：3－10。主の戒めのうち，あるものは難しいように感じるかもしれない。何よりも先に天父の御心を行いたいという気持ちを支えにして，従うべきである。（10－15分）

生徒に，主が僕（しもべ）たちに難しい務めを果たすよう命じられた例を挙げるように言う。一人の生徒に答えを黒板に書き出してもらう。（アブラハムはイサクを犠牲としてささげるよう求められた，ヨナはニネベへ行って福音を教えるように命じられた，ニーファイは大海原を横断するための船を造るよう命じられた，イエス・キリストは贖（あがな）いを行うよう求められた。）これらの務めを果たすことは常に楽しく容易なことかどうか生徒に尋ねる。以下の質問をする。

- これらの務めの中で主がわたしたちに求めておられるものがあるでしょうか。
- 主はこの時代にほかにどのような務めを果たすようわたしたちに要求されるでしょうか。

ヤコブ2：3－9を読んで，ヤコブが難しい務めについてどのように感じていたかを表現している語句を挙げる。（「今日のわたしは，……心が沈んでいる」〔3節〕，「わたしにとって悲しいことであり，またわたしはこのために，……恥じて縮み上がる思いである」〔6節〕，「わたしにとって悲しいことである」〔7節〕，「わたしの心は重い」〔9節〕）以下の質問をする。

- これらの表現は人々に悔い改めを呼びかけることについてのヤコブの気持ちをどのように表しているでしょうか。
- 人々に悔い改めを呼びかけるよう求めておられるのはどなたでしょうか（10節参照）。

生徒にモーサヤ2：41と4ニーファイ1：12，16を読むように言う。以下の質問をする。

- わたしたちが主の御心を行うと，どのようなことが起きるでしょうか。
- 自分の気持ちよりも主の御心を優先させたヤコブの模範はわたしたちにとってどのような助けになるでしょうか。

主がわたしたちに願っておられることのほとんどは難しいものではないことを指摘する。

十二使徒定員会会員のダリン・H・オークス長老の以下の話を紹介する。

> 「人が奉仕を行う動機は様々です。また，動機のよしあしの程度もいろいろです。……
>
> この世的な報いを期待して奉仕する人がいます。……
>
> 良い友達を得たいという望みが動機になっている場合があります。……
>
> 人によっては罰を受けるのが怖くて働く人もいます。……
>
> 義務感のため，また友人や家族，伝統に対する忠義感で奉仕する人もいます。……
>
> 〔奉仕を行う動機としてより尊いもの〕の一つは永遠の報いへの希望です。……
>
> 最後に挙げるのは，わたしの考えでは，最高の動機だと思います。……
>
> 慈愛とは『キリストの純粋な愛』（モロナイ7：47）と書かれています。また，モルモン書はこの徳こそ『最も大いなるもの』（モロナイ7：46）であると教えています。……
>
> ……〔わたしたちの〕奉仕は，自分の利益，あるいはそのほかの次元の低い動機によってではなく，むしろ神と同胞（はらから）への愛に発するものでなければ〔なりません〕。」（「何のために奉仕するのか」『聖徒の道』1985年1月号，13－15）

マタイ26：36－39を読んで，贖罪（しょくざい）に伴う苦痛を進んで経験することについて救い主が言われた言葉を見つける。イエスとヤコブはともに，わたしたちが自分の望みよりも天父を愛することを優先させるならば，神が求めておられることがたとえ大きな犠牲を伴うものであっても，あるいは普通しないようなことであっても，

それを行うであろうと教えています。十二使徒定員会会員を務めていた当時のロレンゾ・スノー長老が勧告したように，わたしたちは「自分の意志を天父の御心に従わせ」なければなりません（*Journal of Discourses*，第20巻，191）。

以下の質問をする。

- 主はわたしたちに楽しくないことを行うよう求められるかもしれないと知っていると，人生で主の御心を成し遂げるためにどのように役立つでしょうか。（たとえ行うすべてのことを楽しめなくても，罪悪感を覚える必要はない，などの答えが考えられる。）
- わたしたちが天父の御心を第一に行うことを表すために，救い主が示された模範をどのように役立てることができるでしょうか。

ヤコブ1：15－16；2：12－35（マスター聖句，ヤコブ2：18－19）。高慢，富の不正な使用，性的な罪悪は悲しむべき罪であり，避けなければならない。（20－25分）

エズラ・タフト・ベンソン大管長が引用した以下の言葉を黒板に書く。ただし，「性的な罪悪」を空白にしておく。

> 「今の代にはびこっている罪として，性的な罪悪があります。預言者ジョセフは，イスラエルの長老たちはほかのいかなる人々よりも多くの誘惑，攻撃，困難に遭うであろうと言っています（*Journal of Discourses*, 第8巻, 55参照）。」（「器の内側を清める」『聖徒の道』1986年7月号，4－5）

空白の箇所にどのような言葉が入るかを生徒に考えさせる。

ヤコブ1：15－16を読んで，ヤコブが語った当時の人々の罪悪を見つける。（人々は心をかたくなにし，性的な罪悪を犯し，高慢になり，富を不正に求めるようになっていた。）アルマ39：3－5を読んで，これらの罪の中から最も重大な罪を見つける。生徒がまだ正解を見つけられなければ，空白に正解を書き込む。

クラスを二つのグループに分ける。最初のグループにヤコブ2：12－21を調べて富と高慢に関連する罪を見つけるように言う。第2のグループにヤコブ2：22－35を調べて性的な罪悪に関して見つけたことを挙げるように言う。両方のグループに，以下の質問の答えを見つけて，リストに書き出すように言う。

- 人々はなぜこれらの罪に陥るのでしょうか。
- これらの罪はほかの人々にどのような影響を与えるでしょうか。
- 人々はこれらの罪深い行いをどのように正当化しているでしょうか。
- これらの罪はどのような結果をもたらすでしょうか。
- 主はこれらの罪に対してどのように感じておられるでしょうか。ヤコブはどう感じているでしょうか。

各グループから見つけた事柄を発表させる。以下の質問をする。

- これらの罪は今日の世の中でどのように行われているでしょうか。
- 最も一般的に見られるのはどの罪でしょうか。
- これらの罪を退けることによってどのような祝福が得られるでしょうか。
- どうすればこれらの罪を生活の中に入り込ませないようにすることができるでしょうか。

ヤコブ2：27－30。主が御自分の預言者を通じて命じられないかぎり，多妻結婚は禁じられている。（5－10分）

生徒に，ヤコブ2：27－30を読んで，多妻結婚の実施が義とされるときがあれば，罪悪とされるときもあるのはなぜか，理由を探すように言う。預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を読む。

> 「わたしが常に話してきたように，主からほかの指示が与えられないかぎり，だれも一度に複数の妻を持つことはできない。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕，324。『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』48も参照）

次のように質問する。「この原則は現在の預言者に耳を傾けることの大切さをどのように示しているでしょうか。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の話を紹介する。

> 「わたしは，この教会はいかなる意味でも一夫多妻を実行している人々とは関係がないことを，断言しておきたいと思います。そのようなことをしている人々は，この教会の会員ではありません。その大部分の人々は教会員であったこともありません。彼らは法律に違反しています。彼らは，自分でも法律に違反していることを知っています。彼らは法律に従って罰を受けるはずです。……
>
> もしわたしたちの教会員の中に多妻結婚を実行している者が見つかった場合，その人は教会で課すことのできる罰則の中でも最も重い罰である破門の処分を受けることになります。そのようなことを実行している人々は，法律に直接背いているだけでなく，この教会の律法にも違背しています。わたしたちの信仰箇条の一つにより，わたしたちはある拘束の下にあります。そこにはこう述べられています。『わたしたちは，王，大統領，統治者，長官に従うべきこと，法律を守り，尊び，支えるべきことを信じる。』（信仰箇条 1：12）
>
> さらに，1世紀以上も前に，神は，多妻結婚の実施を中止するようにとその預言者ウィルフォード・ウッドラフに明確に示されました。これはつまり，現在，多妻結婚は神の律法に反するということです。法的にも宗教的にも多妻結婚が認められている国々においてさえ，教会は，結婚は一夫一妻でなければならないと教えており，多妻結婚を実行している人々を教会員として受け入れることもしていません。」（「人々がわたしたちについて尋ねること」『リアホナ』1999年1月号，77－78）

ヤコブ3章。多く与えられる者からは多く求められ，いっそう大いなる光に対して罪を犯す者は，いっそう大きな罪の宣告を受ける。（10－15分）

3人の生徒に前へ出て来るように言う。最初の生徒に偽物の小切手かおもちゃのお金で50万円を渡す。次の生徒には5万円を渡す。二人の生徒は特にお金を必要としていないが，3番目の生徒は命にかかわる手術をしなければならないのにお金がないと生徒たちに考えさせる。お金を持っている二人の生徒に，3番目の生

徒を助けるために幾ら差し出すかを尋ねる。全員に質問する。

- 持っているお金のほとんどを出すべき人はだれだと思いますか。それはなぜでしょうか。
- 教義と聖約82：3を読んでください。いちばん多くお金を持っている人はなぜいちばん多く分かち合うように望まれているのでしょうか。
- この聖句はお金に関して述べたものではありません。何について述べられているでしょうか。

以下のはかりを黒板に書いて，生徒がどの目盛りにいるかを考えさせる。

善悪に関する知識がない 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 **善悪に関するあらゆる知識を持っている**

生徒は今日，二つのグループの人々について学ぶことを説明する。一つのグループはほかのグループよりも福音についてはるかに深い理解を持っていた。以下の質問を黒板に書き写して，生徒にヤコブ3：3－11から答えを見つけるように言う。生徒の答えを各質問の右に書き出してもよい。

- 二つのグループの人々とはそれぞれどのような人々でしょうか。
- どちらのグループの方が福音について深い理解を持っていたでしょうか。
- レーマン人にはどのような約束が与えられていたでしょうか。
- どうしてこのような約束が与えられたのでしょうか。

以下の質問について話し合う。

- 福音を理解しているわたしたちには，福音を理解していない人々に対してどのような責任があるでしょうか。
- 両親は子供たちに対してどのような責任があるでしょうか。
- 福音を理解していても従わない人々にはどのようなことが起きるでしょうか。

「主の恵み，人にも分かたん」（『賛美歌』138番）を歌うか，歌詞を読んで締めくくる。

ヤコブ4：9－16；6：8－12。神の前に戻って，神とともに永遠に住むために，わたしたちはイエス・キリストを知って，キリストを基とした生活を築かなければならない。（25－30分）

末日聖徒の教育者であるジェラルド・N・ランドが語った以下の物語を紹介する。

「ザイルは登山家が落下から自分を守る手段です。だれかが最初に登って，しっかりした安全な場所に着いたら，自分の腰の周りにロープをしっかりと結び，下にいるパートナーに『ザイルで固定されているよ』と呼びかけます。これは『もしあなたが落ちても，わたしがつかまえているよ』という意味です。これは登山学校を経営するアラン・チェンクーシに関する書物に書かれていたことです（ちなみにアラン・チェンクーシは末日聖徒ではありません）。

チェンクーシはザイルを使って登山しているときに最善のケースと最悪のケースを経験しました。チェンクーシはあるとき，断崖から足を踏み外してしまいました。自分を支える3つの器具が引き抜け，絶壁に取り付けたハーケンが抜けるほどの勢いで落ちて行きました。そして，地上3メートルの所で逆さまになって止まりました。手足を伸ばしたパートナーが両腕の力を振り絞って落下を止めたのでした。」

生徒に以下の質問をする。

- もしだれかが命を救ってくれたとしたら，あなたはどのように感じるでしょうか。
- そのような行為に対して，どのようにお返しをするでしょうか。

物語を最後まで読む。

「『ドンはわたしの命を助けてくれました』とチェンクーシは話しています。『そのような人にどんなお返しをしたらいいでしょうか。使い古した登山用のロープをクリスマスプレゼントとして上げるでしょうか。いいえ，***彼のことを記憶に刻み込むのです***。どんなときにも決して彼を忘れないことです。』（エリック・G・アンダーソン，"The Vertical Wilderness," *Private Practice*，1979年11月，17；強調付加）」（"To This End Was I Born," *A Symposium on the New Testament, 1984*〔1984年〕，30）

生徒に，自分の人生を通じて助けてくれたすべての人々についてしばらくの間考えるように言う。以下の質問をする。

- それらの人々に対してどのような気持ちを感じていますか。
- 最も大きな助けを与えてくれた人はだれでしょうか（教義と聖約135：3参照）。

ヤコブ4：12を読んで，わたしたちは何について語るべきだとヤコブは考えていたかを見つける。それから，七十人の一員であった当時にブルース・R・マッコンキー長老が語った以下の言葉を紹介する。

「贖（あがな）いの教義はほかのあらゆる教義を含み，堪え，支え，命と力を与える。あらゆる真理がよって立つ基盤であり，あらゆるものがそれによって生じる。実に，贖いは福音である。」（*Mormon Doctrine*，第2版〔1966年〕，60）

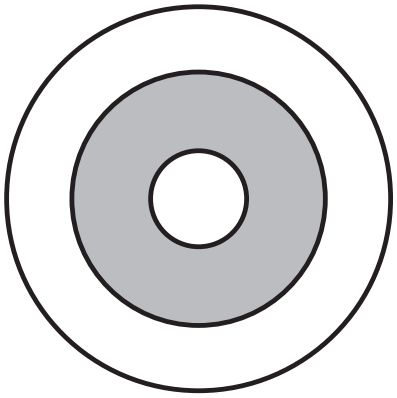
右の欄を空白にした以下の表を配付資料として生徒に配る。聖句を読んで，各自で右の欄に記入するか，全員で表を完成させる。

ヤコブ4章でキリストについて何を学ぶことができるか	
節	**キリストの生涯と使命**
4	モルモン書の目的の一つはイエス・キリストを証することである。
4	「すべての聖なる預言者」はキリストを信じた。
5	わたしたちはイエス・キリストの名によって御父を礼拝する。
5	モーセの律法の目的は人々の心をイエス・キリストに向けさせることであった。
5	アブラハムがイサクをささげようとしたことは御父がイエスをささげられたことの予型であった。
6―7	預言者が書き記したものを調べることによって，わたしたちはキリストによる望みと信仰，恵み，力を増し加えることができる。
9	人と地球は神の言葉の力によって創造された。
10	主は知恵と公正と憐れみをもって助言を与えられる。
11	わたしたちはイエス・キリストの贖罪を通じて御父と和解する。
11	わたしたちはキリストによって復活する。
11	わたしたちはキリストによって栄えある希望を得る。
13	御霊と預言者はわたしたちの救いに贖罪が必要なことを明らかにされる。
14―16	イエスはわたしたちが目指すべき的であり，安全な土台として建物を建てるべき石である。
14―16	イエスの時代の多くのユダヤ人はイエスを拒んだ。しかし彼らの子孫はいつの日かイエスを受け入れるであろう。

次のように質問する。「イエスのこれらの特質を知ることによって，あなたはイエスの犠牲と使命に対してどのように感謝を深めたでしょうか。」救い主に対して教師が感じていることと証を分かち合う。自分の気持ちを分かち合うことを希望する生徒にもその機会を与える。

ヤコブ4：14。わたしたちはイエス・キリストを中心に生活すべきである。（15―20分）

黒板に的を書く。



的から少し離れた地点にマスキングテープ（訳注――絵を描くときなどにへりの境界をはっきりさせたり，描かない表面部分を保護するために用いる接着テープ）を床にはる。何人かの生徒をマスキングテープの後ろに立たせて，的に向かって輪ゴムを飛ばすように言う。レッスンが始まる前に，一人の生徒に，的と逆の方向に輪ゴムを飛ばすように頼んでおく。的に当てようとして失敗する人たちと，的を目指そうとすらしない人の違いを生徒に尋ねる。

ヤコブ4：14を読んで，的のかなたに目を向けたのはどちらのグループかを確かめる。モロナイ4：3を読んで，人生におけるわたしたちの的すなわち目標が何であるかを知らせてくれる3つの聖約を見つける。黒板の的に戻って，的の中心に「イエス・キリスト」と書き入れる。ニール・A・マックスウェル長老は十二使徒補助であった当時に，ヤコブ4：14について語り，「的はキリストである」と述べている（Conference Report，1976年4月，39；または*Ensign*，1976年5月号，26）。標的の中心円が中心であって，ほかの場所は中心でないことを指摘する。ヒラマン5：12とエテル12：41を読んで，イエス・キリストをわたしたちの生活の的とする方法を見つける。

管理監督会の一員であった当時にH・バーク・ピーターソン監督が語った以下の話を読む。

> 「ニーファイはあるとき，方法が単純であったため，すなわち容易であったために，死んだ人が大勢いたと語りました（1ニーファイ17：41参照）。ヤコブは別の言葉でそれを述べています。人々は的のかなたに目を向けて答えを探し続けていたために，盲目となったと語りました（ヤコブ4：14参照）。彼らは福音の教えが単純であることを信じませんでした。」（Conference Report，1975年4月，78；または*Ensign*，1975年5月号，52―53）

七十人のジーン・R・クック長老の話も紹介する。

「教師は，人々のほんとうの必要に応じて，信仰，悔い改め，祈りなどだれもが応用できる基本的な福音の原則を平易に教えなければなりません（教義と聖約19：31；アルマ26：22参照）。また，聖典の教えをあまりに誇張したり，周辺の部分を教えたり，拡大解釈したり，一つの原則を採り上げて風変わりで極端な教えを説いたりすることによって的のかなたに目を向けてはなりません。例えば，極端に長い祈り，救い主やアダムについて偽りの教義，食事に関する極端な説，政治や投資などについての極論を説いたりすることがそれに当たります。極端な事柄には，サタンがかかわっていることを心に留めておきましょう。義にかなった教師は主の教えが厳格なものであると同時に，『すべてのことについて自制しなければ』ならないこと（教義と聖約12：8）を知っています。」（「義なる教師のために」『聖徒の道』1982年7月号，46）

次のように質問する。「的のかなたに目を向けるとはどのような意味でしょうか。」キリストを生活の中心に据えるために努力できる方法を書く時間を取る。

はじめに

ヤコブはヤコブ5章で，栽培されたオリーブの木と野生のオリーブの木の比喩について述べたゼノスの言葉を引用している。それらはイスラエルの散乱と集合をたとえたものである。ヤコブがこの比喩について話した目的の一つは，キリストを拒んだユダヤ人がどのようにして最終的にキリストを受け入れるかを示すことであった（ヤコブ4：15－18参照）。ヤコブは6章で比喩の説明を行っている。

ヤコブの最後の章にはヤコブと反キリスト，シーレムとの対決が記録されている。ヤコブがシーレムに対応した方法に注目する。わたしたちは生活の中で欺かれないように，同じ戦法を用いることができる。

学び取るべき重要な福音の原則

- イスラエルの家は全世界に散らされている。彼らは火によって地球が清めを受け，イエス・キリストが再臨されるに先立って集められるであろう（ヤコブ5－6章参照）。
- サタンとサタンの支持者はキリストに反対し，キリストの王国を覆すために熱心に働き，人々を惑わす（ヤコブ7：1－8参照）。
- 主はわたしたちに真理を知らせ，欺かれないよう助けるために聖文と預言者と聖霊を与えておられる（ヤコブ7：9－12参照。2ニーファイ32：2－5も参照）。
- 世の初めからすべての預言者はイエス・キリストを証してきた（ヤコブ7：11－12参照。3ニーファイ20：24も参照）。
- 戒めを守らない人々は最終的に不幸と落胆を味わう（ヤコブ7：15－20参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』50－52。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション7「オリーブの木のたとえ話」をヤコブ5－6章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

ヤコブ5－6章。イスラエルの家は全世界に散らされている。彼らは火によって地球が清めを受け，イエス・キリストが再臨されるに先立って集められるであろう。（40－50分）

生徒に一切れのパンを見せて，質問する。

- 「わたしが命のパンである」（ヨハネ6：35）と語ったのはどなたでしたか。
- イエスはなぜ御自身をパンにたとえられたのでしょうか。（パンは生きていくために必須の食品である。イエスはわたしたちの永遠の命に必須の食べ物である〔教義と聖約89：16－17；ヨハネ6：35参照〕。主は荒れ野で飢えたイスラエルの民を養うためにマナを与えられた。主は今日も，わたしたちを養っておられる〔ヨハネ6：49－51参照〕。主は聖餐を定めるときに，御自分の裂かれた体の象徴としてパンを用いられた〔ルカ22：19参照〕。）

生徒に『聖句ガイド』（130ページ）から「象徴」の定義を読ませる。次のように質問する。「イエスは御自身を命のパンと呼んでおられますが，これはどのようなことを象徴しているのでしょうか。」救い主は地上で教えを説いておられた間，人々に教えるためにたとえや象徴をしばしば用いられたことを指摘する。

生徒に，ヤコブ5章の前書きを読んで，5章の中の象徴的な物語にはどのような表現法が用いられているか調べるように言う。（寓意法，比喩。）ゼノスはどのような人物であったかを生徒に理解させるために，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（50ページ）からヤコブ5：1の解説を参照する。

ゼノスはこの比喩の中で，イスラエルの家の散乱と集合を象徴するために，栽培されたオリーブの木と野生のオリーブの木を植えて，接ぎ木することを用いていることを説明する。主はゼノスにイスラエルの子孫があらゆる国民の間に散らされることを示された（1ニーファイ22：3参照）。『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（51ページ）のヤコブ5：4－77の解説に基づいて，たとえを構成する象徴とそれらの解釈を黒板に書き出す。あるいは象徴と解釈の一覧表を配付資料にして配る。

生徒が象徴とその意味を理解したら，十二使徒定員会会長時代にジョセフ・フィールディング・スミス会長が語った以下の言葉を読む。

「簡単に言えば，〔ゼノスのたとえは〕イスラエルの長い歴史を記したものです。すなわち，部族が地のあらゆる場所に散らされること，そして野生のオリーブの木と交わる，つまり接ぎ木されることを説明しました。言葉を換えれば，イスラエルの血が異邦人の間に混ざることによって，主がアブラハムに告げられた大いなる祝福と約束が成就するのです。アブラハムがイサクを犠牲としてささげるほどの気持ちがあることを証明した後に，主は最も大いなる祝福を彼に与えて，言われました。

『わたしは自分をさして誓う。あなたがこの事をし，あなたの子，あなたのひとり子をも惜しまなかったので，

わたしは大いにあなたを祝福し，大いにあなたの子孫をふやして，天の星のように，浜べの砂のようにする。あなたの子孫は敵の門を打ち取り，

また地のもろもろの国民はあなたの子孫によって祝福を得るであろう。あなたがわたしの言葉に従ったからである。』〔創世22：16－18〕

〔ゼノスの〕驚くべきたとえは，オリーブの木の枝（イスラエル人）がどのようにして世界の隅々（主の果樹園）まで連れて行かれて，野生のオリーブの木（異邦人の国民）に接ぎ木されるかを説明しています。このように，彼らは主が交わされた約束を成就しているのです。

現在，末日聖徒は果樹園の僕（しもべ）として世界の隅々へ出て行ってこの実を集め，主の降臨のときに備えて実を蓄えています。これはモルモン書の中で最も人を啓発し，最も興味あるたとえの一つです。この物語を読んで，古代の預言者が受けた霊感に触れない人がいるでしょうか。」（*Answers to Gospel Questions*, ジョセフ・フィールディング・スミス・ジュニア編，全5巻〔1957－1966年〕，第4巻，141－142）

クラスを4つのグループに分けて，各グループに以下の聖句を割り当てる。

- ヤコブ5：4－14
- ヤコブ5：15－28
- ヤコブ5：29－60
- ヤコブ5：61－77

各グループは主が果樹園を訪れられた別々の時期を記録した箇所を研究することを説明する。黒板に以下の質問を書き出して，聖句を読みながらできるだけ多くの質問の答えを見つけるように言う。

- なぜイスラエルは全世界に散らされたのでしょうか。
- 現在のわたしたちは主のいずれの訪れの時期にいるでしょうか。
- 子らに対する主の接し方についてこのたとえはどのようなことを教えているでしょうか。
- ヤコブはなぜこのたとえをモルモン書に収めたと思いますか。
- イスラエルの集合が起きる時期についてこのたとえはどのように教えているでしょうか。

各グループで見つけたことを発表させる

復習として，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』の178ページから「ゼノスのたとえ話―栽培されたオリーブの木と野生のオリーブの木，『モルモン書』ヤコブ5」の図表をコピーして，生徒に配る。全員で図表を検討して，果樹園を訪れた際に主はそれぞれどのようなことをされたかをまとめる。注意：たとえに登場するあらゆる場面が特定の出来事や時期と結びつけられるわけではないことに注意する。歴史の概要を知る手立てとしてたとえを活用する。

ヤコブ6章にはヤコブ自身によるたとえの説明が記されていることを説明する。生徒に，ヤコブ6：2－12を読んで，以下の質問の答えを見つけるように言う。

- イスラエルの集合は再臨の前か後のいずれに起きるでしょうか（2節参照）。
- 集められない人々にはどのようなことが起きるでしょうか（3節参照）。
- ヤコブは集められない人々はどのような人々であると言っているでしょうか（4，6－8節参照）。
- 集められるためにわたしたちはどのようなことができるでしょうか（5，11－12節参照）。
- 集められない人々は最終的にどうなるでしょうか（9－10節参照）。

「悩めるイスラエル」（『賛美歌』6番）を歌うか，歌詞を読んでもよい。

ヤコブ7：1－8。サタンとサタンの支持者はキリストに反対し，キリストの王国を覆すために熱心に働き，人々を惑わす。（5－10分）

希望する一人の生徒に前へ出て来るように言う。一つの容器にキャンディーを一つ入れ，もう一つの容器にキャンディーを5，6個入れる。前に出て来た生徒に言う。「どちらの入れ物でも好きな方を取ることができます。ただし，見て選ぶことはできません。」生徒に目隠しをして，容器の位置を何度か入れ替える。クラスの半数の生徒にどちらかの容器を選ぶように勧めさせ，残る半数の生徒に別の容器を選ぶよう勧めさせる。（目隠しをした生徒にはどちらのグループがどちらの容器を割り当てられたかを知らせてはならない。）目隠しをした生徒が容器を選んだら，目隠しを取って，質問する。「ほかの生徒の言葉に影響されて入れ物を選びましたか。もしそうであれば，だれの言葉にいちばん影響を受けましたか。それはなぜですか。」全員に質問する。「わたしたちはほかの人たちからどのような方法で影響を受けるでしょうか。」

生徒に，ヤコブ7：1－8を読んで，以下の質問に答えるように言う（クラスが始まる前に，これらの質問を黒板に書いておいてもよい）。

- 人々に影響を与えようとしたのはだれでしょうか（1－2節参照）。
- 彼はどのようなことを教えたり，宣言したりしたでしょうか（2，6－7節参照）。
- どのようなことを目指していたのでしょうか（2節参照）。
- その目標をどれほど成功させていたでしょうか（3節参照）。
- 彼が影響を与えることができると考えていた偉大な預言者とはだれでしょうか（3節参照）。

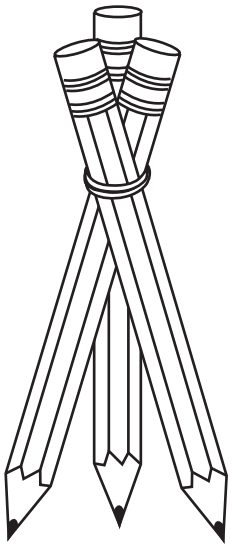
- シーレムは人々に影響を及ぼすために自分の学識をどのように使ったでしょうか（4節参照）。
- ヤコブを助けるために主はどのようなことをされたでしょうか（5，8節参照）。

以下の質問をする。

- 今日，ある人たちはシーレムのように人々に強い悪影響を及ぼすことができる特質を持っていますが，それはどのような特質でしょうか。
- 今日，欺かれている人々は目隠しをされた生徒とどのようなところが似ているでしょうか。
- 物事をはっきりと見て，欺かれないようにして，証を揺るぎないものとするために，わたしたちは何をしなければならないでしょうか。
- ヤコブがシーレムの欺きを退ける際にどのようなことが助けになったでしょうか（5，8節参照）。
- 今日の世の中で，人々に良い影響を及ぼしていると思われる人にはどのような人がいるでしょうか。
- 人々に良い影響を与えるためにわたしたちは何ができるでしょうか。

ヤコブ7：9－12。主はわたしたちにすべてのことについて真理を知らせるために聖文と預言者と聖霊を与えておられる。（25－30分）

鉛筆を3本と輪ゴムを1本クラスに持参する。1本の鉛筆を立てて，それがどれほど倒れやすいかを実演する。2本の鉛筆の端を輪ゴムで留め，留められていない方の端を開いて，立てようとする。次に3本の鉛筆の端を輪ゴムで留め，留められていない方の端を開いて，立てる（以下の図を参照）。しっかりした土台を築くには3点が必要とされることを説明する。（一輪車，二輪車，三輪車を例に挙げて説明してもよい。）



生徒に，2コリント13：1を読んで，この聖句のメッセージは3本の鉛筆が支え合って立つこととどのような関連があるかを見つけ出すように言う。ヤコブ7：8－12を読んで，主がわたしたちに与えておられる3つの証拠とは何かを探すように言う。（聖文，預言者，聖霊）2ニーファイ32：2－5を読んで，相互参照する。十二使徒定員会会員時代にエズラ・タフト・ベンソン長老が語った以下の言葉を紹介する。

> 「皆さんが欺かれないために，3つの簡単なテストを提案してみたいと思います。……
>
> 1. そのことについて標準聖典は何と言っているでしょうか。……
>
> 2. 第2の指針は，そのことについて教会の末日の預言者たち，特に生ける預言者は何と言っているでしょうか。……
>
> 3. 第3の，そして最後のテストは聖霊すなわち御霊のテストです。……このテストは，神との間の交流経路が聖く，徳高く，罪によって汚されていない場合にのみ完全な効力を発揮します。」（Conference Report，1963年10月，16－17）

黒板に「聖文」「預言者」「聖霊」と書く。ヤコブはこれら3つの証拠を使ってシーレムに真理を確信させたことを説明する。生徒にもう一度ヤコブ7：8－12を読んで，ヤコブがこれら3つの証拠を使ってどのような真理を教えたか探すように言う。（イエス・キリストとキリストの贖罪が真実であること。）これら3つの証拠の使い方を理解できるように以下の活動を行う。『聖句ガイド』を使って，イエスの生涯と使命に関して聖典から証明を見つけるように言う。（「贖い主」「復活」の項を見るとよい。参照聖句としてはヨブ19：25；マタイ16：15－16；2ニーファイ31：20－21などが含まれる。）見つけた聖句を生徒たちに発表させる。黒板の「聖文」の下にそれらの聖句の参照箇所を書き出す。

生徒に，イエス・キリストについて証した近代の預言者または使徒を思い出すことができるかどうかを尋ねる。最近の総大会から証を述べている場面のビデオを見せるか，ゴードン・B・ヒンクレー大管長が副管長時代に述べた以下の証を読む。

> 「この時満ちる神権時代に福音が回復された第一の目的は，永遠の父なる神と御子，復活された主イエス・キリストが生きたもうことを宣言することです。永遠の命を持つとは，神と御子を知り，愛し，御二方に従うことです。証をすることはわたしたちの使命です。神はわたしたちの父であり，全世界の神であり，全能の神です。イエス・キリストは神の長子であり，肉体を持ちたもう独り子であり，身を低くしてこの地に来られユダのベツレヘムのうまやで生まれ，完全な生涯を送り，救いの道を教えられました。イエスは人々のために御自身を犠牲にされ，十字架で苦しみと死に耐えられました。しかしイエスは眠っている者の初穂として復活されました（1コリント15：20参照）。キリストを通し，またキリストの恵みによってすべての人が死から救われ，永遠の生命を得る機会を与えられたのです。」（「幸福への招き」『聖徒の道』1986年7月号，50）

黒板の「預言者」の見出しの下に「ゴードン・B・ヒンクレー」（またはビデオを見せた預言者あるいは使徒の名前）と書く。イエス・キリストについて証する近代の預言者の証のもう一人の例として，教義と聖約76：22－24を読む。黒板のリストに「ジョセフ・スミス」を加える。

イエス・キリストに関するあなたの証と，キリストに関する証をどのようにして聖霊から与えられたかについて述べる。証を分かち合うことを希望する生徒にその時間を与える。イエスがキリストであられることを証するために，聖霊からどのような感情を与えられたかについて述べるよう生徒に勧める。あなたや生徒が感じた気持ちを黒板の「聖霊」の見出しの下に書く。（平安，自信，心の奥底が燃えるような気持ちなどが考えられる。）

聖文や預言者，聖霊が語っている事柄によって，生徒が学んだ事柄が真実であることを試してみるよう奨励する。

ヤコブ7：11－12。世の初めからすべての預言者はイエス・キリストを証してきた。（10－15分）

「作物を育てるうえで最も大切な要素は何でしょうか」と黒板に書いて，生徒に答えるように言う。（水，太陽の光，肥沃な土壌，時間などの答えが考えられる。）以下の質問をする。

- 最も大切な要素は何かについて，もしすべての農夫が同意見だとしたら，あなたはそれを信じるでしょうか。
- これらの要素を理解することは農夫にとってなぜ大切なのでしょうか。

黒板の質問に戻る。「作物を育てるうえで」を消して，「福音の中で」と書く。次のように質問する。「一つだけ要素を挙げることができるとすれば，それは何でしょうか。」しばらく話し合ってから，質問する。「もしすべての預言者が一つの教義に絞っていたとしたら，この質問の答えを導き出すのは容易でしょうか。」ヤコブ7：11を読んで，すべての預言者が教えてきた事柄を見つける。3ニーファイ20：24を読んで，相互参照する。福音はどれほど多くの側面からイエス・キリストに焦点を当てているかを生徒に理解させるために，以下のような質問をする。

- わたしたちは聖餐を受けるとき，どのような聖約を交わすでしょうか（モロナイ4：3参照）。
- これらの聖約の中でイエス・キリストはどのような位置を占めているでしょうか。（わたしたちは進んで御子の御名を受け，戒めを守り，いつも御子を覚えることを証明する。）
- 新約聖書，旧約聖書，モルモン書は皆，何について証しているでしょうか。
- もしイエス・キリストが福音の中心となる御方であるとすれば，わたしたちはキリストを生活の中でどのような位置に置くべきでしょうか。

ヨハネ17：3を読んで，イエス・キリストを知ることによって得られる恵みを探す。イエス・キリストを生活の中心に据えるための方法をノートに書く時間を数分取る。救い主のような人になるために絶えず努力するよう励ます。

ヤコブ7：15－20。戒めを守らない人々は最終的に不幸と落胆を味わう。（5－10分）

もし入手できれば，生徒に不凍液の入った容器（安全キャップの付いたもの）を見せる。不凍液は寒い季節に車のエンジンが凍らないようにするために使われることを説明する。寒冷地では車の必需品である。不凍液は毒性が非常に強いにもかかわらず，その甘い味に誘われて多くの犬や猫，その他の動物が飲んで，命を落としている。動物は命にかかわるようなものでも口に入れてしまう悲しい習性を持っていることを指摘する。

生徒に，ヤコブ7：15－20を読んで，シーレムの命と上記の例とを比較するように言う。マタイ16：26を読んで，それがどのようにシーレムに当てはまるかを生徒に質問する。

スペンサー・W・キンボール長老は十二使徒定員会会員時代に，主のたとえに出てくる放蕩息子についてこのように述べている。

> 「彼はいつまでも大いなる価値を持つ貴重な受け継ぎを，一時の肉体的な欲求の満足と交換した。将来を現在と，永遠を一時と，霊的な祝福を肉欲と交換したのである。」（『赦しの奇跡』321）

以下の質問をする。

- 人々はどのように欺かれて，永遠の幸福を一時的な快楽と交換しているでしょうか。
- そのようなことに陥らないようにするにはどうすればよいでしょうか（答えを黒板に書き出すとよい）。

永遠の祝福を一時的な快楽と交換することは，フルコースの食事を，今手に入るキャンディー1個と交換するようなものであることを説明する。このような行為を避けるよう生徒を励ます。

エノス書

ヤコブは老いが進んで，間もなく死ぬことを悟ったとき，版を保管する責任を息子のエノスに引き継いだ（ヤコブ7：27参照）。ヤコブは版についてニーファイから与えられたと同じ厳格な命令をエノスに与えた（ヤコブ1：1－4参照）。エノスは預言者としてまた記録者として民に仕えた。

はじめに

エノスはこの短くも力ある書の中で，罪の赦しを受けるための「苦闘」（2節）について述べている。「エノスは天の祝福を受けるために相応の代価を支払った。同時に彼は自分と同じように天の光と憐れみを求める人々に励ましを与えるような方法でそれを行った。これらのことを体験したエノスはキリストにあって得る喜びの霊をもって自らの書を封じた。」（ジョセフ・フィールディング・マッコンキー，ロバート・L・ミレット共著，*Doctrinal Commentary on the Book of Mormon: Volume II—Jacob through Mosiah*〔1988年〕，95）

学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストを信じる信仰を行使して，自分の罪を心から悔い改める者を主は赦される（エノス1：1－8，27参照）。
- 義人は主を信じる信仰をもって正しいことを願い求めるならば，何でも与えられる（エノス1：4－17参照。3ニーファイ18：20；教義と聖約50：29も参照）。
- 罪の赦しを味わう人はほかの人々の幸福に関心を持ち，家族や友人，敵にさえも福音を分かち合うことを望む（エノス1：9－12，20参照。1ニーファイ8：11－12も参照）。
- 主はわたしたちの心に御心を明らかにされる（エノス1：10参照。教義と聖約8：2－3も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』53－54。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション8「霊は飢えを感じ」をエノス1章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

エノス1：1－8，27。イエス・キリストを信じる信仰を行使して，自分の罪を心から悔い改める者を主は赦される。（20－25分）

生徒に今後数か月または数年の目標を分かち合うように言う。それらを黒板に書き出す。（学校の成績を上げる，楽器を演奏できるようになる，スポーツが上手になる，趣味を極めるなどの答えが考えられる。）以下の質問をする。

- あなたはその目標に向かってどれくらいの期間努力してきたでしょうか。
- 目標を達成するために，ほかに何かしなければならないことがあるでしょうか。

信仰と望みは人を行動に導き，行動は結果につながることを生徒に話す。今日生徒は，偉大な信仰と望みを持っていた人について学ぶことを説明する。生徒に，エノス1：1－4を読んで，以下の質問に答えるように言う。

- エノスはどのような望みを持っていたでしょうか。
- エノスは罪の赦しを得ることに対する自分の信仰と望みをどのような言葉を使って表しているでしょうか。（「苦闘」〔2節〕；「わたしの心に深くしみ込んできた」〔3節〕；「わたしの霊は飢えを感じた」〔4節〕；「熱烈な祈り……をもって造り主に叫び求めた」〔4節〕などが含まれる。）

わたしたちが赦しを受ける努力において信仰と望みがどれほど大切かをよく理解できるように，十二使徒補助を務めていたスターリング・W・シル長老の以下の話を紹介する。

「あるとき一人の若者がソクラテスのもとを訪れて，このように言いました。『ソクラテス先生，知恵と学問についてお話しするために2,600キロの道のりをやって来ました。あなたは知恵と学問を極めた方です。……どうしたら知恵と学問を極められるかを教えていただきたいのです。』ソクラテスは『ついて来なさい』と言って，若者を海辺へ連れて行きました。二人は海水が腰の辺りに来るまで歩いて行きました。するとソクラテスは若者の方に向き直ると，若者の頭を手で押さえて水中に沈めました。若者はもがいたり，け飛ばしたり，跳びはねたりして逃れようとしましたが，ソクラテスは手を離しませんでした。……若者がもがくことができなくなると，ソクラテスは若者を海岸まで連れて行って，服を乾かすために横にさせると，市場へ戻って行きました。

若者は服が少し乾くとソクラテスのもとへ行き，この異常な行動の理由を尋ねました。ソクラテスは若者に言いました。『頭が水中に沈められていたときに，ただ一つのことを求めていたと思う。それは何だったかな。』若者は答えました。『何よりも欲しかったのは空気でした。』するとソクラテスは言いました。『それでよい。空気が欲しかったように知恵と学問が欲しくなったら，ほかの人からそれを与えてもらおうとはしないのだよ。』」（"The Five Fingers of Leadership Success," *Brigham Young University Speeches of the Year*〔1965年2月9日〕，9）

以下の質問をする。

- ソクラテスと若者の物語の中で望みはどのような役割を果たしていたでしょうか。
- この経験とエノスの経験にはどのような共通点があるでしょうか。

信仰と望みが人を行動に駆り立てることを思い起こさせる。預言者ジョセフ・スミスの指示によって編集された『信仰に関する講話』（*Lectures on Faith*）から引用した次の文を紹介する。「信仰……はあらゆる行動を促す根拠となる。」（〔1985年〕1－2）

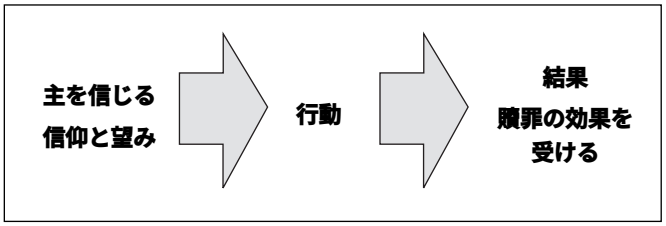
生徒に，信仰や信念によって行動がどのように促されるかについて例を挙げるように言う。再びエノス1：1－4を読んで，エノスは信仰と望みによってどのような行動に駆り立てられたかを黒板に書き出す。以下の事項が含まれる。

- 罪の赦しを受けるために主の前で苦闘した（2節参照）。
- 永遠の命について父が教えたことを深く考えた（3節参照）。
- 「熱烈な祈り……をもって〔天父に〕叫び求めた」（4節参照）。

行動は結果に通じることを生徒に思い起こさせる。エノス1：5－6，27を読んで，エノスの行動の結果，どのようなことが起きたかを見つける。（エノスは赦しを受けた〔5－6節参照〕。永遠の命を受けることを知って平安を得た〔27節参照〕。）以下の質問をする。

- エノスは主にどのような質問をしたでしょうか（7節参照）。
- 主はその質問に対して何と答えられたでしょうか（8節参照）。
- 赦しを得るために，イエス・キリストを信じる信仰がなぜそれほど大切だと思いますか。

復習するために，以下の図表を黒板に書く。信仰と望みはどのように人を行動に導き，行動はどのように贖罪（しょくざい）の効果を生活に生じる結果へとつながるかについて生徒と話し合う。



生徒に，以下の質問を考えるように言う。

- エノスが受けたような祝福を受けるためにあなたはどのようなことを進んで行うでしょうか。
- 贖罪のもたらすすべての恵みを受けるために，あなたはどのようなことを行って信仰を増し加え，望みと行動を変えるでしょうか。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の以下の話を読む。

「神から与えられた意志の力をもってすれば，思いをコントロールすることはできます。しかし，完全に正しいものになるまで思いをコントロールしていくには，長い年月が必要です。

ジョセフ・F・スミス大管長はこう述べています。『……何を望むべきかを教えることが，この世で幸せになるための非常に大切な要素となります。』（『歴代大管長の教え―ジョセフ・F・スミス』301）」（「心の中の思い」『聖徒の道』1987年6月号，23）

贖罪の祝福があなたの生活の中にもたらされていることについて証（あかし）と感謝を述べる。

エノス1：4－17。義人は主を信じる信仰をもって正しいことを願い求めるならば，何でも与えられる。（10－15分）

以下の出来事が実現したのはどのような行いが義にかなっていたためか生徒に質問する。

- ジョセフ・スミスの最初の示現（ジョセフ・スミス―歴史1：5－20参照）。
- ジョセフ・スミスに対するモロナイの最初の訪れ（ジョセフ・スミス―歴史1：27－43参照）。
- すべてのふさわしい男性に神権が授けられることに関してスペンサー・W・キンボール大管長に与えられた啓示（「公式の宣言二」参照）。
- ヤレドの兄弟がヤレド人の船に光を造り出すために，主は指で石に触れられた（エテル1：3参照）。

それぞれの出来事は義にかなった者が主の御心（みこころ）に添った信仰を持って祈ったことによって起きたことを指摘する。

生徒に，エノス1：4－8を読んで，エノスは自分の罪の赦（ゆる）しを受ける前にどのようなことを行ったかを探すように言う。以下の聖句群を読む。それぞれについて（1）エノスは何について祈ったか，（2）主はどのように答えられたか，を明らかにする。

- エノス1：9－10
- エノス1：11－12
- エノス1：15－16

黒板に「聖書」「モルモン書」「教義と聖約」「高価な真珠」と書く。それぞれの標準聖典の下に以下の参照聖句を書く。マルコ11：24；エノス1：15；教義と聖約4：7；モーセ6：52。4人の生徒に聖句を読ませてから，全員で聖句を相互参照するように言う。以下の質問をする。

- すべての標準聖典が同じ原則を教えているという事実から何を学ぶことができるでしょうか。
- 主はなぜ同じことを何度も繰り返し述べられると思いますか。
- 願い求めていることを得るために，わたしたちの信仰はどのような役割を果たすでしょうか。

十二使徒定員会会員を務めていた当時にボイド・K・パッカー長老が語った次の言葉を紹介する。「『求めなさい，そうすれば，与えられるであろう』という言葉ほど，聖典によく出てくる言葉はほかにありません。」（「啓示をもたらす敬虔（けいけん）さ」『聖徒の道』1992年1月号，23）

「祈りは楽しき」（『賛美歌』81番）を歌うか，歌詞を読む。主があなたの祈りに答えられたときの経験を分かち合い，生徒にも同じ経験について話す機会を与える。

エノス1：9－12，20。罪の赦しを味わう人はほかの人々の幸福に関心を持ち，家族や友人，敵にさえも福音を分かち合うことを望む。（10－15分）

生徒に，最近に見たよい映画，読んだよい本，あるいは食事をしたよいレストランについて考えるように言う。以下の質問をする。

- あなたはそのことをだれかに話したでしょうか。もし話していたら，だれに話しましたか。
- なぜその人に話したのでしょうか。

生徒に，エノス1：9－12，20を読んで，エノスは自分の罪を赦されてから何をしたかを確かめるように言う。次のように質問する。「9節と11節でエノスはそれぞれだれのことが気にかかっていたでしょうか。」マタイ5：43－47を読んで，エノスの祈りとどのような関連があるかを見つけるように言う。（生徒に，この聖句とエノス1：11とを相互参照させるとよい。）以下の質問をする。

- エノスの時代にニーファイ人とレーマン人はどのような関係にあったでしょうか（20，24節参照）。
- 1ニーファイ8：10－12を読んでください。エノスが感じたことは祖父のリーハイが抱いた思いとどのように似通っているでしょうか。
- マタイ22：39を読んでください。この聖句はエノクが行ったこととどのような関連があるでしょうか。
- わたしたちは人々に関心を持っていることをどのようにして主に示すことができるでしょうか。

ハロルド・B・リー大管長の以下の話を紹介する。

> 「あなたがだれかを引き上げるにはその人よりも高い所に立っていなければなりません。人を救おうとするならば，あなたはその人になってほしいと考えている模範を必ず示さなければなりません。あなた自身の心が燃えていなければ，他人の心に火をともすことはできないのです。」（Conference Report，1973年4月，178；または*Ensign*，1973年7月号，123）

以下の質問をする。

- もしあなたが流砂に飲み込まれて沈んでいるとしたら，だれに助けてもらいたいと思うでしょうか。一緒に流砂に飲み込まれている人でしょうか。それとも固い地面に立っている人でしょうか。それはなぜでしょうか。
- この例は，他人を助けるには高い所に立っていなければならないとリー大管長が語った原則とどのような点で似ているでしょうか。
- 9節と11節のエノスの経験はなぜ5－6節の経験の後に起きたのでしょうか。リー大管長の教えを深く考えてから，答えてください。

「主の恵み，人にも分かたん」（『賛美歌』138番）を歌うか，歌詞を読む。

ジェロム書

ジェロムは父エノスと同様に，モルモン書の中にわずかな言葉しか書き記していないが，ジェロムの言葉には力がある。彼の記録が短いのは恐らく，小版を受け取ったときにほとんど余白がなかったためであると思われる（ジェロム1：2，14参照）。ジェロムは預言と啓示の霊を持っていた（2節参照）。ジェロムが生きていた時代はニーファイ人が繁栄していた（8節参照）。レーマン人は戦いを挑んできたが，ニーファイ人は「信仰の篤い人々」によって導かれ，レーマン人を圧倒した（7節参照）。これができたのは人々が預言者を信じたためであるとジェロムは記録している。預言者たちは，キリストを「あたかも……すでに来ておられるように」信じるよう教え（11節），戒めを守らなければ滅ぼされると警告した（9－12節参照）。

はじめに

ジェロム書は義人に祝福が，邪悪な人に苦しみがもたらされることを約束している。「ジェロム書に関して言うならば，その言葉は分かりやすく，その霊に力があり，そのメッセージには普遍性がある。」（ジョセフ・フィールディング・マッコンキー，ロバート・L・ミレット共著，*Doctrinal Commentary on the Book of Mormon: Volume II—Jacob through Mosiah*〔1988年〕，105）

学び取るべき重要な福音の原則

- 神は忍耐強く，憐れみ深い御方であって，邪悪な人々が悔い改めて，神のもとに戻る機会を与えておられる（ジェロム1：3参照）。
- 聖霊は，へりくだって信仰を行使する人々と交わりを持たれる（ジェロム1：4参照）。
- 正しい者は霊的に，また時には物質的にも祝福を受ける。これに対して邪悪な人は苦難を受け，最終的に滅ぼされる（ジェロム1：3－12参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』54。

教え方の提案

ジェロム1：3－12。義人は霊的に，また時には物質的にも祝福を受ける。これに対して邪悪な人は苦難を受け，最終的に滅ぼされる。（10－15分）

黒板に二つの扉を描く。一つの扉に「幸福と永遠の命」，もう一つの扉に「苦難と破滅」と書く。生徒に扉を示して，以下の質問をする。

- あなたは幸福と永遠の命に入ることのできる扉の鍵に関心を持つでしょうか。それはなぜですか。
- あなたがどちらの扉から入るかを決めるのはだれでしょうか。
- 扉の鍵をもらうためにあなたはどのようなことを進んで行うでしょうか。

クラスを二つのグループに分ける。一つのグループにジェロム1：4－12を読んで，人々は幸福と永遠の命に導くどのようなことを行っているかを見つけるように言う。別のグループに同じ箇所を読んで，人々は苦難と破滅につながるどのようなことを行っているかを見つけるように言う。見つけた事柄を黒板のそれぞれの扉の下に書かせる。

あるいは，ジェロム1：4－12を生徒とともに読みながら，その間に以下の質問をしてもよい。

- ニーファイ人は主の戒めを守るために何を行ったでしょうか（5節参照）。
- 7節によれば，彼らが強くなるために指導者はどのような役割を果たしたでしょうか。
- ニーファイ人が義にかなっていたことは彼らの強さにどのような影響を与えたでしょうか（9節参照）。
- 10節の「神の言葉に従って，……強い警告の言葉を発した」とは，どのような意味でしょうか。
- ニーファイ人がキリストの降臨を信じていたことは彼らにとってどのような助けになったでしょうか（11節参照）。
- 末日の預言者と使徒はどのような方法で「絶えず民に悔い改めを促し」ているでしょうか（12節）。
- ニーファイ人は悔い改めたことによってどのような祝福を受けたでしょうか。
- 悔い改めはわたしたちにどのような祝福をもたらすことが可能でしょうか。

人々は悪を選ぶことによって受ける結果を知りながら悪を選ぶことがあるのはなぜかを生徒に考えるように言う。

オムナイ書

オムナイはジェロムの息子で，リーハイとサライアの玄孫であった。オムナイが書き記したとき，リーハイがエルサレムを去ってから276年がたっていた。オムナイは自分が「主の掟と戒めを守ってこなかった」「悪い人間」であると述べている（オムナイ1：2）。オムナイはレーマン人と何度も戦った（3節参照）。

オムナイ書は数世代にまたがっている書であり，5人の著者を持つ。すなわち，オムナイ，アメーロン，ケミシ，アビナドム，アマレカイである。オムナイ書のほとんどはアマレカイが記録した。アマレカイはニーファイの小版の最後の著者であった。アマレカイには子供がいなかったため，版をベニヤミン王に渡した。アマレカイは紀元前約130年，リーハイがエルサレムを去ってから約470年後に記録を終えた。以下の表はオムナイ書の著者と時代を理解するうえで役立つものと思われる。

節	著者	年代
オムナイ1：1—3	オムナイ（ジェロムの息子）	紀元前361—317年（ジェロム1：13—15；オムナイ1：3）
オムナイ1：4—8	アメーロン（オムナイの息子）	紀元前317—279年（オムナイ1：3，5）
オムナイ1：9	ケミシ（アメーロンの兄弟）	
オムナイ1：10—11	アビナドム（ケミシの息子）	
オムナイ1：12—30	アマレカイ（アビナドムの息子）	紀元前約130年

オムナイ書はわずか数ページで231年の期間（オムナイが記録を受け取った紀元前約361年から紀元前約130年まで）を扱っている。

はじめに

オムナイ書のおもな筆者であるアマレカイは霊的な洞察力を備えた人だった。多くの御霊の賜物について記し，すべての人に「キリストのもとに来て，自分自身をキリストへのささげ物としてささげ，断食と祈りを続け，最後まで堪え忍びなさい」（オムナイ1：26）と呼びかけている。この指示に心から従う人にアマレカイは救いを約束した。

アマレカイはまた，歴史的に重要な幾つかの手がかりを与えている。ニーファイ人がニーファイの地からゼラヘムラに移ったこと，ゼラヘムラの民（ミュレク人と呼ばれた）が「ユダの王ゼデキヤがバビロンへ囚われの身となって連れ去られたときに」（オムナイ1：15）主の導きによってエルサレムから来たことを説明している。さらに，バベルの塔で言葉が乱された後にアメリカ大陸へ主によって導かれたヤレドの民の中で最後まで生き残った人を発見したことについても述べている（オムナイ1：20—22参照）。ヤレドの民の歴史はエテル書に記録されている。

学び取るべき重要な福音の原則

- 主は義にかなった人々を幾度か，約束されたえり抜きの地であるアメリカ大陸へ導かれた。この地に住む人々が繁栄するには義にとどまっていなければならない（オムナイ1：14—22参照。エテル2：10も参照）。
- キリストのもとへ完全に来るには，自分自身のすべてと自分のあらゆる持ち物を喜んで主にささげなければならない（オムナイ1：26参照。モーサヤ2：34；教義と聖約103：28も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121—122』54。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション9「『モルモン書』の歴史概観」をオムナイ1章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

オムナイ1：1—12。オムナイ書は数人の著者が数世代にわたって記録したものである。（10—15分）

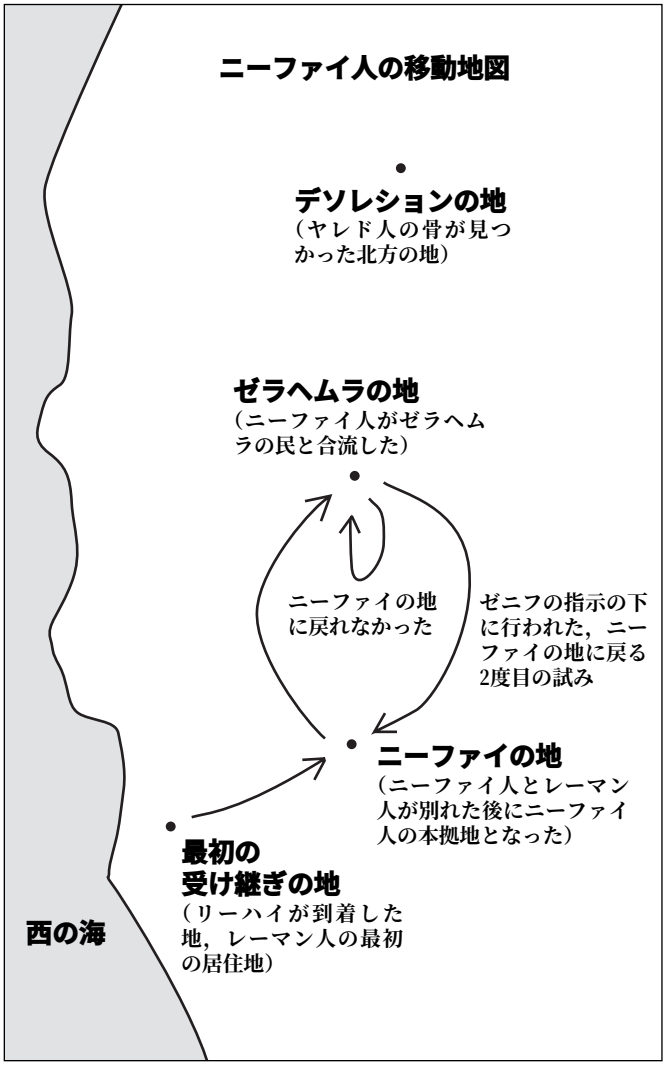
オムナイ書の導入部にある表を黒板に書き写す。ただし真ん中の欄を空白にしておく。生徒に，左の欄の聖句を読んで，その節の著者名と前の著者との関係を記入するように言う。以下の質問を話し合う（前もって黒板に書いておくとよい）。

- この時期にニーファイ人とレーマン人の間に何が起こったでしょうか。
- これらのモルモン書の著者についてわたしたちはどのようなことを知っているでしょうか。
- この時期のニーファイ人は邪悪だったでしょうか，義にかなっていたでしょうか。
- 邪悪なニーファイ人に何が起きたでしょうか。義にかなったニーファイ人には何が起きたでしょうか（5—7節参照）。

注意：モルモン書の記録者に関する詳しい情報については『モルモン書生徒用資料：宗教コース121—122』（171ページ）の「ニーファイ人の記録者」を参照する。

オムナイ1：12－19，27－30。モルモン書を理解するにはオムナイ書の歴史，地勢，民を知ることが不可欠である。（5－10分）

以下の地図を黒板に書き写す（矢印は除く）。ニーファイの時代にニーファイ人はレーマン人から離れて，「幾日も荒れ野を旅した」（2ニーファイ5：7）ことを生徒に思い起こさせる。彼らの新しい故郷はニーファイの地と呼ばれるようになった（オムナイ1：12参照）。最初に住んだ地からニーファイの地まで矢印を書き込む。



生徒は今日，ニーファイ人のもう一つの移動について学ぶことを説明する。オムナイ1：12－19を読んで，以下の質問の答えを見つける。

- ニーファイ人の王は何という名前だったでしょうか。
- ニーファイ人が行った新しい地は何と呼ばれたでしょうか。
- ニーファイ人はなぜ立ち去ったのでしょうか。
- ゼラヘムラの民はどこから来たのでしょうか。
- 聖文を持っていなかったことがゼラヘムラの民にどのような結果をもたらしたでしょうか。
- ニーファイ人はゼラヘムラの民に何をしたでしょうか。

生徒が答えている間に，ニーファイの地からゼラヘムラの地に向かって矢印を書き込む。

生徒に，オムナイ1：27－30を読んで，アマレカイが生きていたときに一部のニーファイ人がもう一度行った旅を見つけるように言う。生徒が答えている間に，ゼラヘムラの地からニーファイの地に向かい，再びゼラヘムラの地に戻る矢印を書き込む。さらに，もう1本，ゼラヘムラの地からニーファイの地に向かって矢印を書き込む。

オムナイ1：25－26。キリストのもとへ完全に来るには，自分自身のすべてと自分のあらゆる持ち物を喜んで主にささげなければならない。（10－15分）

クラスが始まる前に，二つの水差しにパンチを作っておく。同じ色と香りにして，片方のパンチだけに砂糖を入れる。一人の生徒に両方のパンチを飲んで，違いを述べさせる。全員に以下の質問をする。

- レシピは何のためにあるのでしょうか。
- 材料を一つか二つ入れなかったらどうなるでしょうか。
- 材料を全部入れることによって食べ物や飲み物はどれほどおいしくなるでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を紹介する。「そうです，兄弟姉妹の皆さん。教会の使命は栄光に満ちたものです。……すべての人がキリストのみもとに来るように招待するのです。」（「キリストのみもとに来てキリストによって全くなれ」『聖徒の道』1988年6月号，90）以下の質問をする。

- 「キリストのみもとに来る」方法を示す「レシピ」があるとすれば，あなたはそれに完全に従いたいと思いますか。それはなぜですか。
- キリストのもとへ完全に来るために必要なことをすべてしていない人はどのようなことを怠っているでしょうか。
- ある人たちはなぜキリストのもとへ来ようとしないのでしょうか。

生徒に，オムナイ1：26を読んで，キリストのもとへ完全に来るにはどのようなことが必要とされるかを見つけるように言う。次のように質問する。「自分自身をキリストへのささげ物としてささげるとはどのような意味でしょうか。」モーサヤ2：34を読んで，オムナイ1：26と相互参照する。完全に変わることの一つの例として，以下の質問を話し合う。

- 幼虫は蝶（ちょう）になるために何をしなければならないでしょうか。
- 幼虫が蝶になっても変わらないのはどのようなことでしょう。変わるのはどのようなことでしょう。
- 幼虫の方が将来変身する蝶より多少でも美しいと思いますか。

生徒に自分自身のすべてと自分の持ち物のすべてを喜んで主にささげる気持ちがあるかどうかを考えるように言う。以下の質問をする。

- このような犠牲をささげることはどれほど難しいことでしょうか。
- あなた自身を主にささげると，生活は良くなるでしょうか悪くなるでしょうか。それはどのような形で現れるでしょうか。

中央扶助協会の前会長イレイン・ジャック姉妹の以下の話を紹介する。

「預言者ジョセフ・スミスは『自分自身をキリストへのささげ物としてささげ』るとは『心と，勢力と，思いと，力を尽くして』（教義と聖約4：2）神に仕えることだと表現しました。それは神の祭壇に自らの時間と才能，賜物や祝福，そして喜んで奉仕し主のすべての求めに応じる心をささげることです。」（「小さな石」『聖徒の道』1997年7月号，85）

以下の質問を黒板に書き出して，生徒に答えを紙に書くように言う。

- 主のもとへ来るためにあなたは何をささげますか。
- 日常生活の中で，主にすべてをささげるとはどのようなことを言うのでしょうか。

モルモンの言葉

「モルモンの言葉」は，ニーファイの小版と，ニーファイの大版をモルモンが短くまとめたものとの橋渡しをするものである。モルモン書がモルモンの名を冠しているのは，モルモン書の大半がモルモンの手によって短くまとめられたからである。モルモンに関する詳しい情報は，モルモン書の導入部（235ページ）を参照する。

はじめに

「モルモンの言葉」は読者がモルモン書の流れを理解するうえで大切な役割を果たしている。1ニーファイ，2ニーファイ，ヤコブ，エノス，ジェロム，オムナイの各書はすべてニーファイの小版からの書である。モーサヤ，アルマ，ヒラマン，3ニーファイ，4ニーファイはニーファイの大版から短くまとめられたものである。「モルモンの言葉」は小版と大版の関連を説明している。

学び取るべき重要な福音の原則

- すべての聖文はキリストを証(あかし)しており，わたしたちの利益と学問のために与えられている。わたしたちは聖文で教えられている原則によって裁かれる（モルモンの言葉1：2－11参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』54－55。

教え方の提案

モルモンの言葉1章。すべての聖文はキリストを証(あかし)しており，わたしたちの利益と学問のために与えられている。御言葉(みことば)を大胆に宣(の)べ伝えることによって，いっそう義をもたらすことができる。（5分）

生徒に白紙を配り，聖文を読み研究することによって，これまでどのようにして祝福を受けてきたかを3つ書き出させる（無記名とする）。紙を集めて，幾つかの答えを読む。もし聖文がなかったら，生徒はどのように異なる生活を送っていたと思うかについて話し合う。オムナイ1：17を読んで，ゼラヘムラの民は聖文を持っていなかったためにどのような状態になっていたかを見つける。

生徒に，モルモンの言葉1：2，4，7，15－18を読んで，聖文がわたしたちの生活にもたらすことのできる恵みを探すように言う。答えを黒板に書き出してもよい。毎日聖文を研究する習慣を続けるよう生徒に奨励する。

モルモンの言葉1：3－10。モルモン書の大半はニーファイの小版とニーファイの大版によって構成されている。（5分）

水の入った透明のコップをかざして，以下の質問をする。

- これは何ですか。
- これをH_2Oと呼ぶのは正しいでしょうか。
- H_2Oとは何の略でしょうか（水素が2つ，酸素が1つ。）
- 二つの元素（水素または酸素）のいずれか一つを切り離しても，それはまだ水でしょうか。

生徒に，モルモン書の初めにある「『モルモン書』についての概説」から項目一を読むように言う。ニーファイの版が二つの部分からできていることを確認させる。何人かの生徒に，モルモン書の中から好きな出来事や物語を分かち合うように言う。それらの物語は大版か小版のいずれにあったものかを尋ねる。次のように質問する。「モルモン書が大版だけでできていたとしたら，どのような教義，教え，物語が失われているでしょうか。小版だけだったらどうでしょうか。」

モルモンの言葉はモルモン書になぜ小版が挿入されたかを説明している。生徒に，モルモンの言葉1：3－10を黙読して，すべての「版」という語を見つけて，傍線を引くように言う。クラス全体で再び同じ箇所を読み，どれが大版でどれが小版かを確認する。（注意：ここでは，「ニーファイの版」は大版を指し，「この版」は小版を指す。10節の「ほかの版」は大版を指す。）

モーサヤ書

モルモン書の中で「ニーファイの大版」に記された書として最初に登場するのがモーサヤ書である（モルモン書の導入部にある「『モルモン書』についての概説」参照）。大版（モーサヤから4ニーファイ）はモルモンによって要約または編集された。しかし，小版（1ニーファイからオムナイ）は編集されなかった。

モーサヤ書の書名は紀元前約124年から91年までゼラヘムラを支配したモーサヤ王の名にちなんで付けられている。1－5章にはモーサヤの父であるベニヤミン王の最後の教えが記されている。6－8章と25－29章にはモーサヤとその統治の歴史が記されている。9－22章にはモーサヤが再びニーファイの地を支配する以前にゼラヘムラを去ったゼニフ，ノア，リムハイと，彼らの民の歴史が詳細に記されている。モーサヤ23－24章はノア王の民から分かれたアルマとその民の物語が記されている。付録の「モーサヤ書の7回の旅」の図表（285ページ）にはこれらのグループの相互の関係が明らかにされている。

はじめに

ベニヤミン王はその生涯で，戦争，偽キリスト，偽預言者，自分の民の間の争い，レーマン人への逃亡を経験した（モルモンの言葉1：12－16参照）。しかし，ベニヤミンは「自分の体力の限りを尽くし，能力の限りを尽くして働くことによって，預言者たちの助けを受けながら，国内にもう一度平和を確立した……。」（18節）このような状況でベニヤミンはモーサヤ2－4章に記された力強い説教を行った。この説教について，十二使徒定員会会員のジェフリー・R・ホランド長老は次のように述べている。

「ベニヤミン王はキリストの苦難と贖罪（しょくざい），正義と憐（あわ）れみの果たす役割，わたしたちが聖約によってキリストの名を引き受けることの必要性……について偉大な説教を行いました。

この説教は筆記された文字が明らかにしている以上に霊的な力を持っていたに違いありません。なぜならば，説教が終わって，『聖約を神と交わしたすべての人の名を書き留めておく方がよい』と考えたこの神の偉大な僕（しもべ）は，『民〔が〕，幼い子供を除いて一人残らず聖約を交わし，キリストの名を受けた』〔モーサヤ6：1－2〕ことを知ったからです。わたしたちがそのような説教をもっと聞くことができたらどれほどすばらしいでしょうか。それよりもさらに大切なことは，耳を傾けるすべての人が彼らのように偽りがなく，心から聖約を交わすことができたらどれほどすばらしいでしょうか。」（*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，99，103）

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- 聖文を絶えず努力して調べる者は神の奥義を理解し，神の戒めをよく守り，信仰を強めることができる（モーサヤ1：3－7参照。教義と聖約1：37も参照）。
- 福音の真理はわたしたちの視野を明らかにし，わたしたちを悪から守ってくれる（モーサヤ1－2章参照）。
- わたしたちは隣人を愛し，隣人に奉仕することによって，神を愛し，神に仕えることを表す（モーサヤ2：11－21参照。マタイ25：40も参照）。
- わたしたちは神から多くの祝福を受けているので，神に対して恩を受けている。これに対して神がわたしたちに求めておられるのは，神の力を認め，戒めを守ることだけである（モーサヤ2：19－26，34，41；4：2，5，11，17－24参照。マタイ22：36－40；モーセ1：9－11も参照）。
- いっそう大いなる光に対して罪を犯す者は，いっそう大きな罪の宣告を受ける（モーサヤ2：32－33，36－39；3：12，23－27参照。マタイ12：31；教義と聖約82：3も参照）。
- イエス・キリストとキリストの贖（あがな）いに関するメッセージは，全人類に対する大きな喜びと希望のメッセージである（モーサヤ3：2－6，13－15；4：3，11参照。ルカ2：10；ヨハネ13：17；モルモン書ヤコブ7：11；アルマ41：10も参照）。
- イエス・キリストは無限の贖罪（しょくざい）を成し遂げるために，この世のだれにも耐えることのできない苦しみを受けられた。贖罪は，福音を知らずに世を去った人々，責任を負うことのできる年齢に達する前に亡くなった人々，主を信じて悔い改める人々の罪の代価を支払う（モーサヤ3：7－19；4：2－3，6－8参照。教義と聖約19：16－19；29：46－47；137：10も参照）。
- 御霊（みたま）の勧めに耳を傾けて，幼子のようになる人は，イエス・キリストの贖いによって生まれながらの人を捨てて，再び生まれることができる（モーサヤ3：18－19；4：11－16，26参照）。
- 天父は大いなる祝福をわたしたちに与えておられる。天父は，わたしたちが助けを必要としている人々に持っているものを分かち合うことを期待しておられる（モーサヤ4：16－22参照）。
- イエス・キリストは最後の裁きにおいてわたしたちの思いと言葉と行いによって裁きを行われる（モーサヤ4：30参照。ヨハネ5：22も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』56－61。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション10「キリストの子となる」をモーサヤ2―5章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

モーサヤ1：3―12。聖文を絶えず努力して調べる者は神の奥義を理解し，神の戒めをよく守り，信仰を強めることができる。（10―15分）

聖徒たちがノーブーからソルトレーク・シティーまで2,100キロの旅をしたときのことを考えるように言う。もしブリガム・ヤングが近代的なトラックをたくさん持っていたとしたら，聖徒たちを約束の地まで連れて行くのがどれほど容易なことだったかを想像させる。次のように質問する。「開拓者の中に運転する方法を知っている人がだれもいなかったとしたら，トラックは役に立ったでしょうか。」今日は，非常に価値のあるものであるにもかかわらず，時々使わないままにしているあるものについて学ぶことを説明する。

オムナイ1：23―25とモルモンの言葉1：10―18を読んで，ベニヤミン王とはどのような人だったかを生徒に思い出させる。これらの聖句からベニヤミン王がどのような人だったかを生徒に説明させる。モーサヤ1：2―8を読んで，ベニヤミン王が息子たちに教えたことと，それらを教えた理由を見つけるように言う。以下の質問をする。

- ベニヤミン王の勧告はどのようなことに焦点が絞られていたでしょうか。
- 聖文を研究する人にはどのような恵みがあるでしょうか（生徒からの答えを黒板に書き出してもよい）。
- 聖典を持っていても使わないことは，トラックを持っていても運転の仕方を知らない開拓者の例とどのように似ているでしょうか。

ベニヤミン王は自分の息子たちだけでなく民全体に教えたいと考えていたことを生徒に告げる。モーサヤ1：9―12を読んで，ベニヤミン王が人々に伝えたいと考えた理由を挙げる。以下の質問をする。

- 11―12節によれば，ベニヤミン王は人々に何を与えたいと考えていたでしょうか。
- ベニヤミン王が人々に与えたいと考えていた名前はどのような名前だと思いますか（モーサヤ5：7―12参照）。

ベニヤミン王が与えたいと考えていた名前についてはモーサヤ5章で詳しく話し合うことを生徒に説明する。

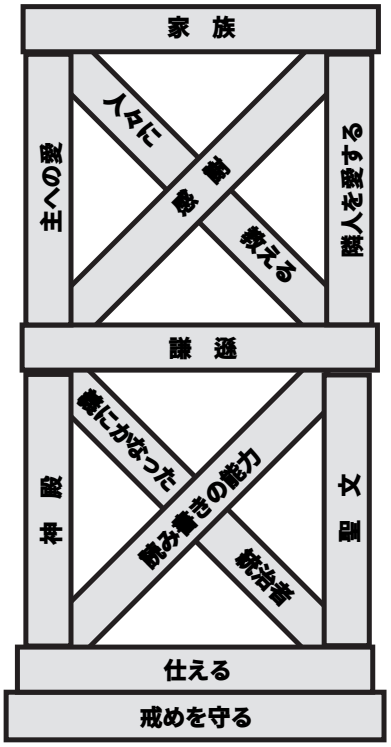
モーサヤ1―2章。福音の真理はわたしたちの視野を明らかにし，わたしたちを悪から守ってくれる。（15―20分）

様々な種類の塔の写真を見せるか，絵を描く（高層ビル，配水塔，空港の管制塔，無線用の塔など）。次のように質問する。「人々はなぜ塔を建てるのでしょうか。」（遠くを見るため，防衛のため，など。）今日，わたしたちも視野を拡大し防御を増強する必要があると生徒に告げる。ベニヤミン王が教えた真理はわたしたちが霊的に成長するうえで役立つ。以下の表を黒板に書き写すか，配付資料として生徒に配る。ただし右の欄は空白にしておく。全員で聖句を読んで，右側の欄に記入し，自分の霊的な塔を築くためのブロックとして積み上げていく。

ベニヤミン王の教え

参照聖句	塔のブロック
モーサヤ1：2	読み書きの能力，教育
モーサヤ1：3―7	聖文
モーサヤ1：18	神殿
モーサヤ2：5	家族
モーサヤ2：11―15，31	義にかなった統治者
モーサヤ2：13	戒めを守る
モーサヤ2：17	仕える（主を愛する，隣人を愛する）
モーサヤ2：20	感謝
モーサヤ2：21	謙遜（けんそん）
モーサヤ2：27―28	人々に教える

以下のような塔を描く。生徒たちにモーサヤ1―2章から塔を築き上げるブロックに名称を記入させる。生徒に，どのブロックが「基本的な真理」であり，どのブロックが「柱となる真理」であり，どのブロックが「補強となる真理」であるかを判断しながら，塔を「築く」ように言う。そして，なぜそのような順序で組み立てたかを説明させる。（生徒の組み立てた順序は表と一致する必要はない。）



モーサヤ2－4章。ベニヤミン王の説教の概要。（5－10分）

モルモン書の預言者の一人が来週の聖餐会で話をすると仮定するように言う。以下の質問をする。

- あなたはいつもの日曜日とどのように違う気持ちで教会へ行くでしょうか。
- あなたはその集会があることについてだれに話すでしょうか。
- その預言者が話している間，あなたはどのような行動を取るでしょうか。その行動は普段の日曜日の行動とはどのように違ったものとなるでしょうか。

モルモン書の預言者が聖餐会で話すことはないだろうが，彼らの言葉を研究する機会はある。モーサヤ2－4章でベニヤミン王は大切な話をしていることを生徒に告げる。モーサヤ2－4章は3つのテーマに分けることができ，それぞれのテーマが互いに支え合っている。生徒に，モーサヤ2－4章の前書きを読んで，これらのテーマを探すように言う。生徒の意見について話し合ってから，以下の概要を黒板かポスターに書く。（数日間掲示しておいて，生徒がベニヤミン王の説教を研究する際に参照できるようにするとよい。）

- モーサヤ2章－わたしたちは神に恩を受けており，神と隣人に仕えるべきである。
- モーサヤ3章－イエス・キリストの贖罪はわたしたちに与えられた最も大いなる祝福である。
- モーサヤ4章－贖罪の祝福を受け続けるには忠実でなければならない。

これらの章はどのように互いを支え合っているかについて生徒に尋ねる。ベニヤミン王の説教を研究する際にこの概要に記されている原則を心に留めておくように言う。

モーサヤ2：4，22－24，41。戒めを守ることによって霊的，物質的な祝福と大きな幸福がもたらされる。（20－25分）

黒板に「それは公平ではない」と書く。生徒に，どのような場合にこのような言葉が出てくるかを質問する。生徒の答えを黒板に書き出す。以下の質問をする。

- 義にかなった行いをすると必ず，すぐに祝福があるでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 邪悪な人々はこの世で栄えることがあるでしょうか。それはなぜでしょうか。
- マタイ5：45を読んでください。この聖句はこれらの質問に対する答えとなっているでしょうか。

生徒にモーサヤ2：3－4を読むように言って，それから以下の質問をする。

- 主はニーファイの民に対してどのようなことをしてこられたでしょうか。
- これらの祝福は神に対する彼らの気持ちにどのような影響を与えたでしょうか。
- 22－24節を読んでください。主は戒めを守る人々に対してどのような祝福を約束しておられるでしょうか。
- わたしたちはどのような祝福について主に恩を受けているでしょうか。

クラスを3つのグループに分けて，各グループに以下のいずれかの参照聖句を割り当てる。モーサヤ2：41；4ニーファイ1：15－17；アルマ41：10－11。従順な人々と反抗する人々が受けた幸福の程度の違いを比較するように言う。預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を紹介する。

「幸福こそ，わたしたちの存在する目的であり計画である。わたしたちがそこに通じる道に従っていけば，最後に到達できるものである。その道とは，徳，公正，忠実，聖さ，そして神のすべての戒めを守ることである。

神は……民に対して，御自身が意図された幸福をもたらさない儀式を定めたり，戒めを与えたりすることは，決してなさらないのである。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，ジョセフ・フィールディング・スミス編〔1976年〕，255－256）

以下の質問をする。

- あなたの人生で最高に幸福だったのはいつでしょうか。
- 戒めを守ることがなぜ幸福をもたらすのでしょうか。

全員でモーサヤ2：41を読んでから，以下の質問をする。

- 神は戒めを守る人々にどのような約束をしておられるでしょうか。
- この聖句で戒めを守る人々に約束されている祝福は短期的なものでしょうか，それとも，長期的なものでしょうか。
- この聖句にはどのような長期的な祝福が述べられているでしょうか。
- これらの祝福はなぜ戒めを守るだけの価値があるのでしょうか。
- マタイ5：45とモーサヤ2：41で教えられている原則の間には矛盾があるのではないでしょうか。どうして両方とも正しいと言えるでしょうか。

神は常に義人を祝福されるが，それらの祝福はすぐに与えられないものや目に見えるようなものでない場合があることを生徒が理解できるように助ける。ジェフリー・R・ホランド長老が語った以下の話を紹介する。

「忠実な者にとってのチャレンジの一つは，従順でなく，ふさわしくない人々が，この世の物質的な祝福を，犠牲を払い奉仕している人々と同様にあるいは多く受けているように見える場合があるということです。……聖徒たちは最後まで忠実であるべきですが，隣人と自分を比較しすぎないようしなければなりません。……太陽の光は忠実でない人にも間違いなく降り注がれます。時には義人よりも多く注がれます。しかし，忠実な者の信仰と献身は小羊の命の書に記録され，やがて時が来れば神の宝石の中に加えられることでしょう。その日に重要視されるのは，だれが義にかないだれが邪悪で，だれが神に仕えだれが仕えなかったかということです。そのときまで，すべての人は，神は年末の決算を9月に行われないことを記憶しておかなければなりません。」（*Christ and the New Covenant*，296－297）

モーサヤ2：11－21（マスター聖句，モーサヤ2：17）。わたしたちは隣人を愛し，隣人に奉仕することによって，神を愛し，神に仕えることを表す。（10－15分）

生徒に学校で最も難しい科目は何かを尋ねる。その科目の成績は何によって判定されるかについて話し合い，それらの要件を黒板に書き出す。各要件の横に，成績を判定するうえでその要件の占める割合を推測して書く。例えば，

期末テスト＝40%
その他のテストやクイズ＝20%
課題＝15%
レポート＝10%
宿題＝10%
出席＝5%

以下の質問をする。

- もしこれらの割合でほんとうに成績が決まるのであれば，あなたは努力する時間のほとんどを何につぎ込むでしょうか。
- これらの要件はどのように戒めにたとえられるでしょうか。

生徒に，マタイ22：36－40を読んで，神が最も大切だと考えておられる戒めを見つけるように言う。マタイ25：40とモーサヤ2：17を読んで，以下の質問をする。

- 第1と第2に大切な戒めの間にはどのような関係があるでしょうか。
- わたしたちは第1と第2の大切な戒めのいずれかを選ばなければならないような状態を経験したことがあるでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 天国に入るための大切な要件のリストを作るとしたら，あなたは「隣り人を愛する」をどの順位に置くでしょうか。
- 戒めの重要度を知っていると，生活の方法が変わるでしょうか。

マタイ22：36－40；マタイ25：40；モーサヤ2：17を使って聖句チェーンを作るように言う。（聖句チェーンの作り方については，付録270ページの「聖文の教え方」から『相互参照』を参照する。）

モーサヤ2：11－21を読んで，ベニヤミン王が隣人に対する愛を説明するために使った語句を見つける。生徒に，それらのすべての語に印を付けるように言う。次のように質問する。「奉仕することによってどのように人々に愛を表すことができるでしょうか。」大管長会時代にマリオン・G・ロムニー副管長が語った以下の言葉を紹介する。

「わたしたちは人に仕え，人を助けることによって『自分の命を失』います。しかし，そうするときに，永遠に尽きることのない真の喜びを味わうのです。奉仕とは，日の栄えの王国に入る資格を勝ち取るために，この地上で我慢して行うようなものではありません。それは，日の栄えの王国に昇栄した人の生活を形造る大切な要素なのです。

奉仕が天父の業を達成するものであることを知りながら，また天父のおられる所に住んで天父のようになりたいと願っていながら，なぜわたしたちは互いに仕え合うように戒めてもらわなければならないのでしょうか。ああ，わたしたちの心が清められて，これらすべてのことが自然に行われるようになるとき，それは何と輝かしい日になることでしょう。その日には戒めなど必要ありません。なぜなら，だれもが経験を通して，真の幸福は奉仕に携わるときにもたらされることを知っているからです。自立に伴う自由を活用して，施しや奉仕を行おうではありませんか。」（「日の栄えに至る自立の本質」『聖徒の道』1983年1月号，168－169）

「今日われ善きことせしか」（『賛美歌』137番）を歌うか，歌詞を読む。だれかに仕えることによって大きな喜びを経験した例を分かち合うよう生徒に勧める。毎日の生活の中で人々に仕える機会を探し求めるよう奨励する。

モーサヤ2：19－24，34。わたしたちは神から多くの祝福を受けているので，神に対して恩を受けている。これに対して神がわたしたちに求めておられるのは，神の力を認め，戒めを守ることだけである。（10－15分）

生徒に，最も感謝している祝福を5つ挙げるように言う。全員でその幾つかについて簡単に話し合う。一人の生徒に，イエスが10人のハンセン病患者を癒された物語を話すように言う（またはルカ17：11－17を読む）。癒された人の中で感謝したのは一人だけだった。イエスはどのように感じられたと思うか生徒に尋ねる。モーサヤ2：19－24を読んで，以下の質問を話し合う。

- わたしたちはだれに感謝すべきでしょうか。（神と，わたしたちに仕えてくれた人々に対して。17節参照）
- 21節によれば，わたしたちはなぜ神に恩を受けているのでしょうか。
- わたしたちは主に対して「感謝します」と言うだけでなく，感謝を表すためにどのようなことができるでしょうか。（主の戒めを守る；22節参照。そのほかに，召しを受け入れる，新会員や教会にあまり活発でない会員と親しくする，ワードや支部の活動を支援する，などの答えが考えられる。）
- わたしたちはなぜ主に感謝してもし切れないのでしょうか（21－24節参照）。
- わたしたちはいつまで天父に恩を受けるのでしょうか（34節参照）。

教義と聖約59：7，21を読んで，以下の質問をする。

- 7節で主はどのような戒めを与えておられるでしょうか。
- 感謝しない人々に対して主はどのような気持ちを抱かれるでしょうか。

これらの聖句とモーサヤ2：19－24，34を相互参照する。ジョセフ・F・スミス大管長の以下の言葉を分かち合う。

「今日の地に住む者の最も大きな罪の一つは，恩を知らないという罪である。……神は，地上の民を喜んでおられない。すべてのことに神の手を認めないので，人々に怒りを示しておられる。」（*Gospel Doctrine*〔1939年〕，270－271）

以下の質問をする。

- ある人たちはなぜ恩を知らないのでしょうか。
- 感謝する気持ちを増し加えるにはどうしたらよいでしょうか。

生徒に，教義と聖約78：19を読んで，感謝を表す人々に与えられる祝福を見つけるように言う。

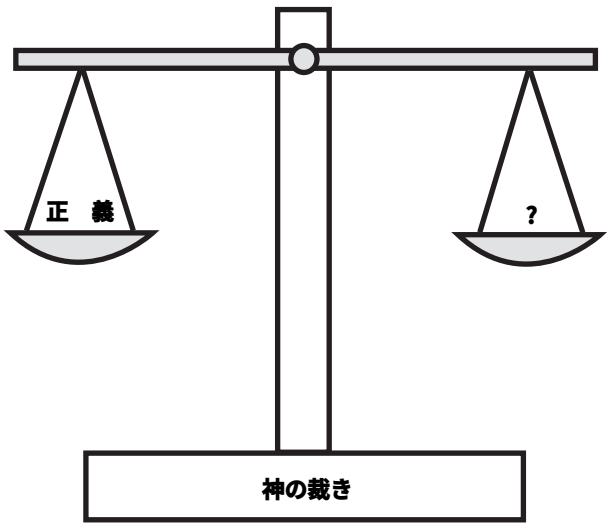
モーサヤ3：7－13，17；4：2－3，6－8。イエス・キリストは無限の贖罪を成し遂げるために，この世のだれにも耐えることのできない苦しみを受けられた。贖罪は，福音を知らずに世を去った人々，責任を負うことのできる年齢に達する前に亡くなった人々，主を信じて悔い改める人々の罪の代価を支払う。（40－45分）

一人の生徒に前へ出て来させ，片足の靴とソックスを脱いでもらう。その生徒に大きな石を渡して，足の真上の位置で石を持っているように言う。全員に以下の質問をする。

- 石を足の上に落としたらどうなるでしょうか。
- 手を離したら石が落ちることを，皆さんはどれほど確かに知っているでしょうか。
- 石はどうして落ちるのでしょうか。手を離したら必ず落ちるでしょうか。
- たまたま手が滑って石を手から離しても落ちるでしょうか。
- 石から手を離して足にけがをした後で，後悔して石を落とさなければよかったのにと思ったとしたら，足の痛みは和らぐでしょうか。

生徒に，2ニーファイ9：17を読んで，引力の法則のように確実な事柄を探すように言う。「正義の律法と，上記の石のレッスンの間にはどのような類似点があるでしょうか。」（石は罪のようなものである。意識的に石から手を離すことは罪を犯すことを選ぶようなものである。石によって受ける痛みは罪の結果と似ている。）

黒板に以下のようなはかりを描く。生徒に，モーサヤ3：26を読んで，このはかりで正義とバランスを取るのは何かを見つけるように言う。（憐れみ）



モーサヤ4：2—3，6—8を読んでから，生徒に以下の質問に答えるように言う。

- ベニヤミン王の民はなぜ主の憐れみを必要としたのでしょうか（2節参照）。
- 彼らは主の憐れみを受けるために何を行ったでしょうか（2，6節参照）。
- 主が彼らに憐れみを与えられると，どのようなことが起きたでしょうか（3節参照）。
- 彼らはこのことを経験して，どのように感じたでしょうか。
- 救い主の贖いによって憐れみを受ける人は最終的にどうなるでしょうか（7—8節参照）。

付録から表「キリストに関するベニヤミン王の教え」（284ページ）のオーバーヘッドトランスペアレンシーを作るか，黒板に書き写す。生徒には参照聖句だけを見せて，それらの聖句を読む時間を10分から15分与える。そして，正義の律法に支配されているすべての人に，憐れみをもたらすことを可能にするためにイエスはどのようなことを行われたかを見つけるように言う。キリストとキリストの贖いに関する聖句から学んだ事柄を紙に書き出すように言う。

生徒が書き終わったら，それらについて話し合い，表に記されている事項と比べる。これらはジェフリー・R・ホランド長老の話から取ったものである。教義と聖約19：16—19を読んでから，以下の質問を話し合う。

- 16節によれば，主はなぜ贖罪を行われたのでしょうか。
- どのような人は自分の犯した罪について，主が経験されたような苦しみを味わわなくて済むでしょうか。
- 悔い改めない人にはどのようなことが起きるでしょうか。
- 救い主がわたしたちのために受けられた苦しみについてこれらの聖句は何と言っているでしょうか。

「十字架を覚え」（『賛美歌』111番）を歌うか，歌詞を読む。贖罪が実際に行われたことについて証を述べる。

モーサヤ3：18－19；4：2－26（マスター聖句，モーサヤ3：19）。御霊の勧めに耳を傾けて，幼子のようになる人は，イエス・キリストの贖いによって生まれながらの人を捨てて，再び生まれることができる。（30－35分）

マスキングテープ（訳注——絵を描くときなどに，へりの境界をはっきりさせたり，描かない表面部分を保護するために用いる接着テープ）を正方形に床にはって，一人の生徒が立てるぐらいの場所を作る。一人の生徒にその四角の中に立たせる。生徒の手が届かない位置に机を置いて，その上にキャンディー（または生徒が欲しがるようなもの）を置く。その生徒に「四角に囲われた場所から出ないでキャンディーを取れたら，あなたに上げます」と言う。生徒に何度かむなしい努力をさせてから，二人目の生徒に前へ来させる。四角の中の生徒に「もし，この生徒に助けてもらえたら，二人ともキャンディーをもらえます」と言う。2番目の生徒にキャンディーを取って四角の中の生徒に渡させる。そして2番目の生徒に別のキャンディーを与える。

生徒に，この状況で，手の届かなかったものがないと生きていけないと仮定するように言う。以下の質問を話し合う。

- 生きていたいと思う気持ちはキャンディーを手に入れたいと思う気持ちとどのようにたとえられるでしょうか。
- あなたは命を救ってくれた人に対してどのような気持ちを感じるでしょうか。

- その人があなたの命だけでなくあらゆる人の命を助けるとしたら，その人に対する気持ちは変わるでしょうか。
- だれかがほかの人の命を助けようとしたところ，助けを必要としている人がその助けを拒んだとしたら，あなたはどのように思うでしょうか。

生徒に，1コリント15：22を読んで，モーサヤ3：16－17と比較するように言う。(1) だれが堕落して (2) だれが救いの方法を与えたかを見つける。これらの聖句と上記のキャンディーを使ったレッスンに共通するのはどのようなことだろうか。以下の質問をする。

- 四角の中の生徒はだれを表しているでしょうか。(堕落した状態にある人)
- わたしたちの中でだれがその状態に置かれているでしょうか。(全員)
- わたしたちに救いを与えるために命を差し出した方はどなたでしょうか。(イエス・キリスト)

黒板に「聖徒となる（モーサヤ3章)」と書いて，その下に「主が行われること」と「わたしたちがしなければならないこと」と見出しを書いた二つの欄を作る。生徒に，モーサヤ3：18－19を読んで，主が行われることと，わたしたちが生まれながらの人を捨てるためにしなければならないことを見つけるように言う。生徒が見つけた事柄をそれぞれの見出しの下に書き出す（以下の表を参照)。

聖徒となる（モーサヤ3章）	
主が行われること	**わたしたちがしなければならないこと**
● **贖罪(しょくざい)をもたらされる(18－19節参照)。**	● **へりくだる（18節参照)。** ● **幼い子供のようになる（18節参照)。** ● **イエス・キリストを信じる信仰を持つ（18節参照)。** ● **聖霊の勧めに従う（19節参照)。** ● **生まれながらの人を捨てる（19節参照)。** ● **従順で，柔和で，謙遜(けんそん)で，忍耐強く，愛にあふれた者となり，喜んで主に従う（19節参照)。**

次のように質問する。「『生まれながらの人』とはどのような意味でしょうか。」以下の説明を分かち合う。

「末日聖徒は『生まれながらの人』という語句を，悔い改めない人を指すと理解している。死すべき人が生まれながらに堕落していることや邪悪であるという意味はない。人は単に堕落した状態にいるだけである。生まれながらの人は『この世で神なしに生きている人々であり，神の性質に反して行動』する人のことである（アルマ41：11)。主はジョセフ・スミスに言明された。『人の霊は皆，初めに罪がなかった。そして，神が人を堕落から贖ったので，人々は，幼児の状態で，再び神の前に罪のない者となった。』(教義と聖約93：38)」(ダニエル・H・ラドロー編，*Encyclopedia of Mormonism*，全5巻〔1992年〕，第3巻，985)

黒板の表を参照しながら，質問する。「わたしたちはなぜ主に頼らなければ聖徒となることができないのでしょうか。」

モーサヤ4：3を読んで，ベニヤミン王の民が王の説教にどのように答えたかを見つける。以下の質問をする。

- この節によれば，イエス・キリストを信じる信仰を行使して，罪を悔い改めるとどのような結果が得られるでしょうか。(聖霊を受ける，喜びに満たされる，赦(ゆる)しを受ける，「良心の安らぎを得る」。)
- これらはどれほど価値のある祝福でしょうか。
- あなたはこれらの祝福を得るためにどのようなことを喜んで行いたいと思うでしょうか。

黒板に「日々」と書く。生徒に，モーサヤ4：6－7，9－12，26を読んで，黒板の言葉を受ける語を探すように言う。(「続けて」。)

- ベニヤミン王は民が生活の中で贖いの祝福を続けて受けられるようにするため，6－7，9－11節でどのようなことを教えているでしょうか。
- ベニヤミン王の勧告は黒板のリストとどれほど共通しているでしょうか。
- このことはこれらの戒めの大切さについてどのようなことを教えているでしょうか。

七十人の一員であった当時にブルース・R・マッコンキー長老が述べた以下の言葉を紹介する。

「改宗者とは生まれながらの人を捨てて，聖なる御霊の勧めに従い，『主なるキリストの贖罪により』聖徒となる人である。そのような人は『子供のように従順で，柔和で，謙遜で，忍耐強く，愛にあふれた者となり，子供が父に従うように，主がその人に負わせるのがふさわしいとされるすべてのことに喜んで従〔う。〕』(モーサヤ3：19) 彼は聖霊によって新しく造られた者となる。古いものが新しいものへと変換または変更されたのである。彼は新しく生まれている。霊的に死んでいた状態から，霊的に生きている状態へと生まれ変わったのである（モーサヤ27：24－29)。救いを得るために絶対的に必要となる（マタイ18：3）ことの改心によって，改宗者は自分の信念を変え，過去の偽りの風習を捨てて，啓示された麗しい教えを受け入れるだけでなく，生活方法をまったく変え，その存在の本質と構造が聖霊の力によってよみがえり，変えられるのである。」(*Doctrinal New Testament Commentary*，全3巻〔1966－1973年〕，第1巻，770)

生まれながらの人を克服するとわたしたちの望みは変わることを生徒に告げる。モーサヤ4：12－16，26を読んで，本質が変えられた人の典型的な行動を探し，それらを黒板に書き出す。以下のような事項が挙げられるであろう。

新しく生まれた人々

- 喜びを味わう（11－12節参照）。
- 神の愛で満たされる（12節参照）。
- 罪の赦しを保つ（12節参照）。
- 神と真理に関する知識が増す（12節参照）。
- 他人を傷つけることを望まない（13節参照）。
- 他人に対して公平であることを望む（13節参照）。
- 子どもたちに関心を寄せ，教える（14－15節参照）。
- 乏しい人を助ける（16，26節参照）。

これらの性質のうち生徒はどれを身に付けているか考えるように言う。「聖徒となる」の表をもう一度見るように言う。「わたしたちがしなければならないこと」に挙げた項目から一つを選んで改善を図るための方法を紙に書くように言う。

モーサヤ4：16－22。天父は大いなる祝福をわたしたちに与えておられる。天父は，わたしたちが助けを必要としている人々に持っているものを分かち合うことを期待しておられる。（5－10分）

生徒に，食べる物がなくて物乞いをしている人を最後に見たのはいつかを尋ねる。以下の質問を考えるように言う。

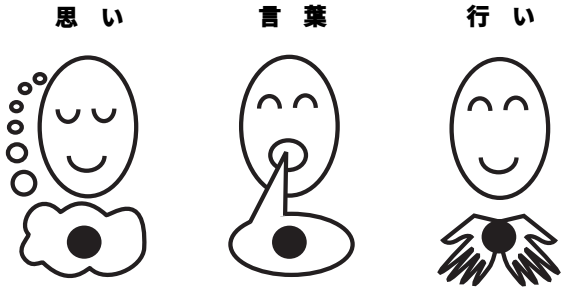
- 物乞いの状態を見て，あなたはどのように感じましたか。
- あなたは物乞いに対してどうしましたか。
- 救い主ならどうされたでしょうか。

生徒に，モーサヤ4：16－25を読んで，救い主はわたしたちにどうすることを望んでおられるかを見つけるように言う。この聖句とイザヤ58：3－7を相互参照する。イザヤの聖句を読んで，主はわたしたちが貧しい人に与えられるように，どのような方法を定められたかを見つける。（断食献金）次のように質問する。「断食の律法を正しく守るにはどうすればよいでしょうか。」（2回続けて食事の時間に食物と水を取らず，貧しい人々を助けるために献金を教会に惜しみなく納める。断食日は祈りをささげ，証（あかし）を述べる機会でもある。）「主の恵み，人にも分かたん」（『賛美歌』138番）を歌うか，歌詞を読む。デビッド・O・マッケイ大管長が語った以下の言葉を紹介する。

> 「〔断食献金を納めること〕の根底にある目的と，それがもたらす計り知れない恵みのゆえに，毎月の断食日を守ることがこの末日の業の最大の特質の一つになっているのです。完全で活発な組織によってこれが実施されるならば，それは教会のワードや支部の囲いの中にいるふさわしく，貧しいすべての人の必要を満たす経済的な手段となるのです。」（"On Fasting," *Improvement Era*, 1963年3月号，156）

モーサヤ4：30。（マスター聖句）。わたしたちは思いと言葉と行いによって裁かれる。（10－15分）

以下の図式を黒板に書く。



これら3つの語に共通しているものは何かを生徒に尋ねる。何人かの生徒から意見を聞いた後に，モーサヤ4：30を読んで，答えを探すように言う。以下の質問をする。

- これらの中でコントロールするのが最も難しいのはどれですか。
- 思いと言葉と行いをよくコントロールするにはどうすればよいでしょうか。

大管長会の一員であったジョージ・Q・キャノン副管長の以下の言葉を紹介する。

> 「ある人たちはバプテスマの水に入り，罪を悔い改めたら，それで目的を達成したと考えています。何と大きな間違いを犯していることでしょうか。わたしたちはこの悔い改めの霊を持ち続ける必要があります。毎日どのように行動すべきかを神から示していただくために祈る必要があります。毎晩，休む前にその日の思いと言葉と行いを思い起こして，正しくなかったことや聖なる御霊（みたま）を悲しませたことをすべて悔い改めなければなりません。毎日をこのように暮らし，毎日進歩するように努めてください。わたしたちは正しくないことにふけったり，悪い思いにふけったり，よこしまな動機に基づいて行動したり，正しくないものを見たり，……しているかもしれません。
>
> したがって，毎日，毎時間，すべての人は悔い改める必要があるのです。」（*Gospel Truth: Discourses and Writings of President George Q. Cannon*, ジェレルド・L・ニュークイスト編，全2巻〔1957年〕，第1巻，164）

生活の中で悔い改めのもたらす祝福を認めるために，この原則を知っていることがどのように役立つかを生徒に尋ねる。

はじめに

モーサヤ5－6章にはベニヤミン王の教えに民がどのようにこたえたかが記録されている。説教に満ちていた霊と力が民の心を大

きく動かした。その結果，彼らは神と聖約を交わし，「残りの全生涯」（モーサヤ5：5）聖約を守ることを約束した。

学び取るべき重要な福音の原則

- バプテスマは再び生まれることの象徴である。人々は再び生まれると心の中に大きな変化を経験する。神聖な聖約を交わして，それを守ることにより人はキリストの子となる（モーサヤ5：2，5－13参照。ヨハネ3：3－5も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』61－63。

教え方の提案

モーサヤ5：2，5－13。バプテスマは再び生まれることの象徴である。人々は再び生まれると心の中に大きな変化を経験する。神聖な聖約を交わして，それを守ることにより人はキリストの子となる。（45－50分）

何人かの生徒に家族の写真を持って来て，クラスで見せるように頼んでおく。以下の質問をする。

- あなたはあなたの家族に生まれたことによって，あるいは養子縁組されたことによってどのような名前を受けているでしょうか。（姓）
- あなたは生まれたときになぜ，友達の姓を受けなかったのでしょうか。
- わたしたちは自分の名前を大切にするためにどのような責任を果たさなければならないでしょうか。

モーサヤ2－4章にはベニヤミン王が民に与えた説教が記録されていることを生徒に思い起こさせる。モーサヤ1：11－12を読んで，ベニヤミン王が民に話すことを望んだ一つの理由を見つける。以下の質問をする。

- ベニヤミン王は民に何を与えたかったのでしょうか。
- ベニヤミン王はどこで説教を行ったでしょうか（モーサヤ1：18；2：1参照）。

今日は，ベニヤミン王が民に与えた名前について学ぶことを生徒に告げる。モーサヤ5：1－5を読んで，以下の質問の答えを見つける。

- ベニヤミン王は民に話してから，どのような質問をしたでしょうか（1節参照）。
- ベニヤミン王はなぜ民が自分の言葉を信じたかどうかを知りたいと思ったのでしょうか。
- 民は何と答えたでしょうか（2節参照）。

モーサヤ5：2で，「全能の主の御霊（みたま）」はすでに民に大きな変化を生じさせてくださったと民は報告した。生徒に，モーサヤ4：2－3を読んで，そのような変化がベニヤミン王の民にいつ起きたかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- 何がこの変化を促したのでしょうか。
- 心の変化は民にどのような影響を与えたでしょうか（モーサヤ5：5参照）。
- 皆さんの幾人かはベニヤミン王の民が神と交わしたのと同じ聖約を交わしています。いつそれを交わしたでしょうか。
- バプテスマをすでに受けている人は手を挙げてください。
- あなたはバプテスマを受けたときにどのような聖約を交わしましたか（モーサヤ18：8－10参照）。

わたしたちは聖餐（せいさん）を受けるときに毎週これらの聖約を新たにすることを生徒に確認する。モロナイ4：3を読んで，黒板に聖餐の聖約を書き出す。

- 進んでキリストの御名（みな）を受ける。
- いつも御子を覚える。
- 御子の戒めを守る。

モーサヤ5：5でベニヤミン王の民は主の戒めを守ることを約束したことに生徒の注意を向ける。生徒に，モーサヤ5：7－13を読んで，ベニヤミン王の民が交わしたほかの聖約を探すように言う。（キリストの御名を受ける〔7－11節参照〕，キリストを常に忘れない〔12－13節参照〕。）これらの節に述べられている聖約は，わたしたちがバプテスマを受けたときに交わし，聖餐を受けるときに新たにする聖約と同じであることを指摘する。以下の質問をする。

- キリストの戒めを守るとはどのような意味でしょうか。
- キリストを常に忘れないとはどのような意味でしょうか。
- キリストの御名を受けるとはどのような意味でしょうか。

あなたはこれら3つの聖約をよく理解できるように生徒を助けたいと思っていることを告げる。生徒に，以下の聖句を読んで，それぞれが最初の聖約を守ること（戒めに従うこと）についてどのようなことを教えているかを見つけるように言う。

- モーサヤ2：41
- ヨハネ13：17
- アルマ41：10
- 2ニーファイ2：13－14

生徒が見つけた事柄について話し合う。モーサヤ5：5，8をもう一度読んで，わたしたちはいつまで戒めを守るべきかを見つける。

救い主を常に忘れないことがどれほど大切かを理解させるために，以下の質問をする。

- パンと水の両方の聖餐の祈りに入っている聖約はどれでしょうか（教義と聖約20：77，79参照）。
- 救い主はニーファイ人の間で聖餐を定められたとき，どの聖約を強調されたでしょうか（3ニーファイ18：7，11参照）。
- 主はエルサレムで弟子たちに聖餐を執行されたとき，何を強調しておられたでしょうか（ルカ22：19参照）。

モーサヤ5：13を読んで，生徒にベニヤミン王の質問を自分の言葉で言い直させる。以下の質問を心の中で考えるように言う。

- イエス・キリストはあなたの心の「思いと志」にどれほど近づいておられるでしょうか。
- あなたが学校にいるときに，救い主はあなたの思いの中におられるでしょうか。アルバイトをしているとき，友達と一緒

にいるとき，デートをしているときはどうでしょうか。

次のように質問する。「救い主がいつもあなたの思いの中におられたら，あなたの行動はどれほど異なったものになるでしょうか。」

ベニヤミン王が民を神殿に集めたのは新しい名前を与えるためであったことを生徒に確認する（モーサヤ1：11－12参照）。生徒に，モーサヤ5：7を読んで，キリストの御名を受けることの意味を見つけるように言う。次のように質問する。「キリストの御名を受けることとキリストの家族の一員となることはどのように比較できるでしょうか。」

十二使徒定員会の一員であったブルース・R・マッコンキー長老が述べた以下の言葉を紹介する。

「家族の一員は家族の名を受ける。その名によって知られ，呼ばれ，確認される。その名は異なる血統や先祖を持つ他のすべての人々から分け隔てる。……キリストの子ら，すなわち再び生まれた人々，新しい父によって霊的に生まれた人々，キリストの名を受けた人々も同様である。彼らはその名によって知られる。……それは彼らが何者かを明らかにして，ほかのすべての人々から分け隔てる。彼らは今や家族の一員であり，ほんとうの意味でのクリスチャンである。」

マッコンキー長老はキリストの名を受けることによって生じる責任について明らかにしている。マッコンキー長老の次の言葉によく耳を傾けるように生徒に言う。

「彼らは実際にキリストの名を帯びているのであり，その名の品位と威厳を保つ義務がある。恥辱や不面目によって汚してはならない。ほんのわずかの不名誉もその名に付けてはならない。……神の聖徒は自分が何者であり，そのためにどのような行動を取るべきかを忘れてはならない。」（*The Promised Messiah: The First Coming of Christ*〔1978年〕，363）

モーサヤ5：12とモーサヤ26：24を読み，相互参照して，キリストの御名を受ける人は何を聞くことができるかを確認する。以下の質問をする。

- 正しい名で呼ばれるとどのような違いを生じるでしょうか。
- 主の右，あるいは，左にいるとはどのような意味でしょうか（マタイ25：31－46参照）。

生徒に主のどちら側にいたいと思うかを尋ねる。マッコンキー長老の以下の言葉を紹介する。

「キリストの名を受け，その後，主が御自身の名でもあり彼らの名でもある名によって呼び続けられるときに耳を傾け，キリスト教徒の家族としての基準を守り，教会において兄弟姉妹との交わりを続けてきた人々は，日の栄えの王国の神の家族の一員として永遠の喜びと幸福に到達するのである。」（*The Promised Messiah*，365）

モーサヤ5：15を読んで，質問する。「マッコンキー長老の言葉とこの節はどのような関係にあるでしょうか。」わたしたちが再び生まれて，主の名を受けるために聖約を交わし，主の戒めを守り，いつも主を覚えるならば，わたしたちは主の子となり，主の家族の一員となることを生徒に告げる。もう一度15節を引用して，質問する。「これらの聖約を守る人々に与えられる祝福は，神殿で家族が経験する事柄とどのように似ているでしょうか。」

以下の質問を黒板に書いて，答えを紙に書く時間を与える。

- わたしにとって，キリストの家族に結び固められるとはどのような意味だろうか。
- バプテスマの聖約をさらによく守るにはどうすればよいだろうか。

はじめに

モーサヤ王と民は何年も前にニーファイの地へ戻るためにゼラヘムラを去った大勢の人々のその後を知りたいと思った（オムナイ1：27－30参照）。アンモンの指揮の下に16人の男たちはその人々を探すために出かけた。モーサヤ7－8章にはニーファイの地へ向かったアンモンの旅について記録されている。

学び取るべき重要な福音の原則

- 聖典にはイエス・キリストの生涯に関する多くの予型と影が含まれている（モーサヤ7：1－8，16参照。モーセ6：63も参照）。
- 不従順は物質的，霊的束縛を招くことがある。主を信頼し，主に仕える者は物質的，霊的な自由を得るであろう（モーサヤ7：17－33参照。アルマ36：27；38：5も参照）。
- 聖見者は啓示者，預言者であって，その力は神からの賜物（たまもの）である。聖見者は未知の言語を翻訳することができ，過去のことや未来のこと，隠れたことを知ることができる（モーサヤ8：6－18参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』62－64。

教え方の提案

モーサヤ7：1－5。幾つかのグループがゼラヘムラからニーファイの地へ向かった。（5－10分）

付録の地図「モーサヤ書の7回の旅」（285ページ）を黒板に書き

写すか，配付資料として生徒に配る。モーサヤ書には7回の大規模な旅について記されていること，今日は最初の2回の旅について学ぶことを説明する。オムナイ1：27を読んで，紀元前200年ごろ，大勢のニーファイ人がニーファイの地に戻ろうとしたことを生徒に告げる。モーサヤ9：1を読んで，質問する。

- ゼニフはなぜ偵察するためにレーマン人の中に派遣されたのでしょうか。
- オムナイ1：28とモーサヤ9：2を読んでください。ゼニフが報告した後で，なぜ彼らの中で論争が生じたのでしょう。
- この偵察隊は最終的にどうなったでしょうか。

この不運な偵察隊がたどった進路を地図で示す。ゼニフは後に2度目の隊を組織してニーファイの地へ向かい，この度は成功したことを説明する。生徒にオムナイ1：29とモーサヤ9：3を読むように言ってから，以下の質問をする。

- ゼニフはなぜ2度目の偵察隊を組織したのでしょうか。
- この偵察隊はなぜ多くの苦難に出遭ったのでしょうか（モーサヤ9：3参照）。
- モーサヤ9：4－7を読んでください。新しい居住地を築くためにレーマン人はどの地を明け渡したでしょうか。
- モーサヤ7：9を読んでください。この居住地で最初の王になったのはだれでしょうか。彼はどのようにして選ばれたのでしょうか。

ゼニフが取った進路を地図で示す。

モーサヤ書に記されている7回の大規模な旅をすべて示した地図に含まれている参照聖句に目を通すように言う。聖典の余白に旅の名称を記入するように言う。

（注意：このような全体像を見ることによって生徒はこれから研究する章の内容を理解する助けを得ることができる。モーサヤ書を学ぶ期間，地図を教室にはっておくとよい。この「教え方の提案」で採り上げている質問は『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』〔62－64ページ〕のモーサヤ7：1－14；8：7－21の解説から翻案したものである。『モルモン書生徒用資料』にはほかの7回の旅について同様の質問が含まれているので，それらを活用してもよい。）

この章で起きる事柄を簡単に復習するために，モーサヤ7章の前書きを読むように言う。

モーサヤ7：1－8，16。聖典にはイエス・キリストの生涯に関する多くの予型と影が含まれている。（15－20分）

（注意：この「教え方の提案」にはモーサヤ11－17章の「教え方の提案」〔108－109ページ〕と同じ資料が幾つか含まれている。ここではアンモンを例として挙げており，モーサヤ11－17章ではアビナダイを例として挙げている。どちらかの提案だけを使ってもよい。あるいは，聖典中の予型はキリストを思い起こさせるということをはっきり示すために両方を使ってもよい。）

黒板に「モルモン書の目的は何か」と書く。この質問について話し合う。序文からモルモン書の書名と副題を指摘する（「モルモン書――イエス・キリストについてのもう一つの証（あかし）」）。生徒に，2ニーファイ25：26を読んで，黒板に書かれている質問をもう一度読むように言う。モルモン書のタイトルページの「教え方の提案」からエズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉を読む（17ページ）。

1個の石，透明なコップに入った水，一切れのパンを生徒に見せる。黒板に以下の参照聖句の箇所を書く。ヒラマン5：12；エレミヤ17：13；ヨハネ6：47－51。これらの聖句を読んで，石と水とパンがどのようにイエス・キリストを表すか，つまり予型となるかについて生徒に話し合うように言う。十二使徒定員会会員のダリン・H・オークス長老が語った次の言葉を読む。「予型とは何かに似ているもの，何かを思い起こさせるものです。」（「聖書の物語と個人的な守り」『聖徒の道』1993年1月号，44）

生徒に，モーセ6：63を読んで，神の創造物の中でキリストの予型となるものがどれほど多いかを見つけるように言う。聖典中の出来事もキリストの予型となることを生徒が理解するように助ける。例えば，アブラハムがイサクを犠牲としてささげた話と天父が御子イエス・キリストを犠牲としてささげられたことには幾つかの類似点がある（モルモン書ヤコブ4：5参照）。聖典からイエス・キリストの生涯と使命に類似している事柄を探すことによって，わたしたちはキリストについていっそう学び，よく覚えることができる。ブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を紹介する。

> 「多くの預言者の生涯には，これらの義にかなった人をメシヤの予型や影として聖別する多くの出来事があったに違いないのです。あらゆる所でキリストの相似を探して，キリストとその律法が最も大切なものであることを思い起こすためにそれらを繰り返し活用することは有益であり，適正なことです。」（*Promised Messiah*，453）

生徒に，モーサヤ7：1－8，16を読んで，イエス・キリストの生涯と類似する事柄を見つけるように言う。以下の表を使って話し合いを展開する（オーバーヘッドプロジェクターを使って見せてもよいし，配付資料として生徒に配ってもよい）。

アンモン	イエス・キリスト	類似点
モーサヤ7：2	ヨハネ5：36	王はアンモンを遣わした。天父はイエスを遣わされた。
モーサヤ7：3	詩篇24：8	アンモンとイエスはともに力の強い人物であることが説明されている。
モーサヤ 7：4，16	マタイ4：1－2	両者とも40日間の飢え，渇き，疲れを経験した。
モーサヤ7：6	マタイ26：37 両者ともほかの3	人を連れて，少し離れた場所へ行った。
モーサヤ7：7	ヨハネ18：12	両者とも縛られ，連れて行かれた。
モーサヤ7：8	ルカ23：7	両者とも王の前に連れ出されて，質問を受けた。
モーサヤ7：18。モーサヤ22：11も参照	教義と聖約 138：23	アンモンは人々を物理的な束縛から解放した。イエスは人々を死と地獄から開放された。

上記のマッコンキー長老の言葉を見直す。生徒に，聖餐（せいさん）の祈りを参照するように言う（モロナイ4：3参照）。次のように質問する。「予型と影を探すことは『いつも御子を覚え』るうえでどのように役立つでしょうか。」教義と聖約52：14を読んで，予型を

探すことから得られるもう一つの祝福を見つける。次のように質問する。「欺きを避けることは生活の中でどのように助けになるでしょうか。」生徒とともにエテル12：41を読んで，イエス・キリストを求める人々に与えられる祝福を見つける。次のように質問する。「キリストを求める人にその恵みはどれほど長くとどまるでしょうか。」3ニーファイ27：27を読んで，以下の質問をする。

- この聖句によれば，わたしたちはだれのようになるために努力すべきでしょうか。
- あなたはキリストのような人を知っているでしょうか。それはだれですか。
- その人のどのような行いを見てあなたは救い主のことを思い起こしますか。

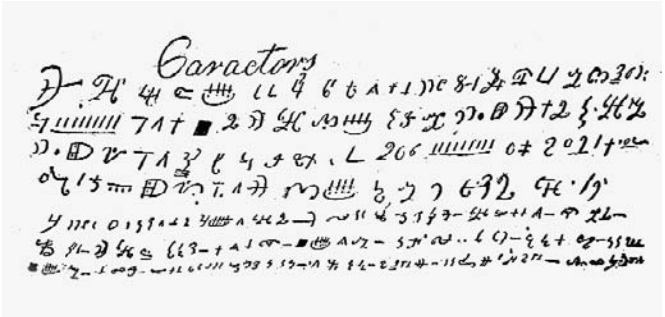
以下の質問を考えるように言う。

- あなたは救い主のような特質を持っているでしょうか。それはどのようなことでしょうか。
- あなたは自分の生活をもっとキリストに近づけるためにどのようなことができるでしょうか。

聖文と周りの世界の中から救い主の予型を探すよう奨励する。

モーサヤ8：6－18。聖見者は啓示者，預言者であって，その力は神からの賜物（たまもの）である。聖見者は未知の言語を翻訳することができ，過去のことや未来のこと，隠れたことを知ることができる。（10－15分）

ジョセフ・スミスが金版から書き写した以下のような文字を幾つか黒板に書く。



金版を翻訳するという難しい仕事を与えられてからジョセフ・スミスはどのような気持ちだったかを想像してみるように言う。ジョセフ・スミス―歴史1：62を読んで，モルモン書を翻訳するジョセフを助けるために主は何を与えられたかを見つける。今日は，ウリムとトンミム，そしてそれを使った人々について学ぶことを説明する。モーサヤ8：6－17を読んで，以下の質問をする。

- リムハイ王はアンモンにどのようなことを尋ねたでしょうか（6節参照）。
- リムハイ王は43人の者に何をするよう命じたでしょうか（7節参照）。
- リムハイ王はなぜ未知の言語を翻訳することのできる人を求めていたのでしょうか（8－9，12節参照）。
- モーサヤ王は何の力によって翻訳することができたのでしょうか（13－14節参照。13節の「解訳器」の意味を明確にするために，『聖句ガイド』から「聖見者」〔146－147ページ〕を読む。）
- この翻訳する力を持っている人は何と呼ばれるでしょうか（13節参照）。

十二使徒定員会会員であったジョン・A・ウイッツォー長老の以下の言葉を紹介する。

> 「聖見者とは霊的な目で見る人です。聖見者はほかの人々には分かりにくいと思われることの意味を理解します。したがって彼は永遠の真理の解釈者であり注釈者です。聖見者は過去と現在から未来を見通します。聖見者はこれを行うに当たって，主の力を直接受けるか，あるいはウリムとトンミムのような神聖な道具を通して間接的に受けます。要するに，聖見者は主の光を明らかな目をもって見，歩む人です。」（*Evidences and Reconciliation*，G・ホーマー・ダラム編，全3巻，第1巻〔1960年〕，258）

以下の質問をする。

- リムハイ王は聖見者の価値について何と語ったでしょうか（15節参照）。
- アンモンはリムハイ王が聖見者を正しく理解するのを助けるために，何と言ったでしょうか（16節参照）。
- 聖見者は何を知っているのでしょうか（17節参照）。

カートランド神殿の奉献について預言者ジョセフ・スミスが語った以下の話を紹介する。

> 「わたしは短い話をしてから，幾つかの定員会と出席していたすべての聖徒に向かって，大管長会を預言者，聖見者として受け入れ，祈りによって支持するよう求めました。全員が起立して，そのようにすることを聖約しました。
>
> わたしは次に，定員会と聖徒たちに向かって，そこに出席していた十二使徒を預言者，聖見者，啓示者，地のあらゆる国民に対する特別な証人として，……受け入れ，祈りによって支持するよう求めました。全員が起立して賛意を表しました。」（*History of the Church*，第2巻，417）

以下の質問をする。

- わたしたちは今日，だれを預言者，聖見者，啓示者として支持しているでしょうか。（大管長会と十二使徒定員会）
- これらの人々の召しと権能を理解することは彼らの勧告を受け止める姿勢にどのような影響を与えるでしょうか。

はじめに

モーサヤ9－22章はモーサヤ書に記録されている二つの歴史的回想の最初の記事である（モーサヤ書の導入部，97ページを参照）。

これらの章はゼニフの記録をモルモンが短くまとめたものであり，ニーファイ人の3人の王，ゼニフ，ノア，リムハイの統治について述べている。モーサヤ9－10章はリーハイ・ニーファイの地へ移住するために大勢のニーファイ人をゼラヘムラから率いたゼニフの物語で始まっている。彼らは多くの苦難を経て，レーマン人の侵略から自分たちを守った。これらの章で注目すべき一つのテーマは主がゼニフの民をどのようにして敵の手から守られたかということである。

学び取るべき重要な福音の原則

- 時には主が邪悪な人々に送られる罰のために義にかなった者も苦難を受けることもある。しかし，義人は栄え，悪人は滅びる（モーサヤ9：1－3，12－19参照）。
- 両親は子供たちに福音の真理を教える責任がある。両親の罪悪は子供たちに強い悪影響を及ぼす（モーサヤ10：12－16参照。教義と聖約68：25－27も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』65。

教え方の提案

モーサヤ9：1－3，12－19。時には主が邪悪な人々に送られる罰のために義にかなった者も苦難を受けることもある。しかし，義人は栄え，悪人は滅びる。（15－20分）

黒板に「義人は栄え，悪人は滅びる」と書く。生徒に，モーサヤ9：3を読んで，ゼニフが語った民の苦難の理由を探すように言う。黒板に書かれた言葉を参照して，以下の質問をする。

- この原則は正しいでしょうか。（最終的には正しい。）
- この原則に当てはまらないような例を思い出すことができるでしょうか。（ヨブの苦しみ，ニーファイが兄たちから受けた虐待，ジョセフ・スミスとアビナダイの死。）
- これらの義人たちは永遠においてはどうなるでしょうか（マラキ3：14－18参照）。
- この世で，悪人が栄えて，義人が苦しんでいるように見えることがあるのはなぜでしょうか。

2ニーファイ25：1－8についての「教え方の提案」（68ページ）からブルース・R・マッコンキー長老が裁きについて述べた言葉を一人の生徒に読ませる。

クラスを4つのグループに分ける。各グループにモーサヤ書の次の4つの聖句から一つを読ませる。9：1－3；9：12－19；10：6－11；10：19－21。各グループに概要を発表させてから，以下の質問をする。

- これらの節ではレーマン人とニーファイ人の霊的な状態について何と言っているでしょうか。
- これらの戦いではだれが勝利を収めたでしょうか。悪人でしょうか，義人でしょうか。
- これらの戦いで死んだのは悪人だけだったと思いますか。
- これらの戦いによって義人はどのような苦しみを受けたでしょうか。
- モーサヤ9章に記されている戦いでレーマン人は何人死んだでしょうか（18節参照）。
- 同じ戦いでニーファイ人は何人死んだでしょうか（19節参照）。
- このことは黒板に書かれている言葉とどのように一致するでしょうか。
- 現在の神権時代で苦難を受けた義にかなった個人や民としてどのような人たちを挙げることができるでしょうか。
- 黒板の言葉が完全に成就するのはいつでしょうか。（救い主の再臨の時）

預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を読む。

> 「わたしは人の子の来臨について説明した。悪人は苦しむが，聖徒はすべての裁きを免れるというのは間違った考えである，とも説明した。なぜならば，すべての肉なる者は必ず苦しみを受け，『義人はほとんど逃れられない』からである。それでも，聖徒たちの多くは逃れるであろう。正しい者は信仰によって生きるからである。しかし，義人の多くは，肉の弱さのために，疫病などのえじきとなるが，神の王国に救われるであろう。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，162）

次のように質問する。「義にかなった行いに対していつの日か大いなる祝福を受けると知っていることは，わたしたちにとってどのような助けとなるでしょうか。」

はじめに

ノア王の民は非常に邪悪な民となったため，主はアビナダイと呼ばれる預言者を遣わして，悔い改めなければ滅亡することを民に警告させられた。11－17章には，救い主イエス・キリストと贖罪（しょくざい）に焦点を絞ったアビナダイの伝道と証（あかし）が記されている。十二使徒定員会会員のジョセフ・B・ワースリン長老はこのように述べている。「背教者のノア王とその祭司たちに，悔い改めるように呼びかけたアビナダイの証は，モルモン書の中でも最も重要な教義を示す説教です。王と祭司たちは，一人を除き，すべてアビナダイの教えを拒み，彼を殺しました。その一人はアルマでした。」（「再生の種」『聖徒の道』1989年7月号，11）

十二使徒定員会会員のロバート・D・ヘイルズ長老はこのように教えた。「アビナダイの信仰の堅固さは，聖文中の胸を刺すような記述からうかがえます。『アビナダイはこれらの言葉を述べ終えると，倒れて焼け死んだ。まことに，***彼は神の命令を拒もうとしなかった***ために殺され，自分の言葉が真実であることを死によって確かなものとしたのである。』（モーサヤ17：6－20参照。強調付加）

……アビナダイはわたしたちすべてにとって何と力強い模範でしょうか。彼は主の命令に勇気をもって従いました。命を犠牲にしてまでもです。」（「もし命に入りたいと思うなら，戒めを守りなさい」『聖徒の道』1996年7月号，42）

学び取るべき重要な福音の原則

- 罪悪は惨めな状態と霊的な破滅につながる（モーサヤ11：1－25；12：2－8；16：1－5参照。モーサヤ4：30も参照）。
- 預言者は未来のことを知って預言する力を持つ（モーサヤ11：20－25；12：3－8；13：10；17：15－19参照。アモス3：7；モーサヤ19：18－20；アルマ25：1－12も参照）。
- 主は義にかなった僕たちを死すべき世における使命が成し遂げられるまで守られる（モーサヤ11：26；13：1－7参照。教義と聖約122：9も参照）。
- 悔い改めて神の戒めを守る者はイエス・キリストの贖罪によって救いを得る（モーサヤ12：30－37；13：11－35参照。出エジプト20：1－17；2ニーファイ31：20－21；教義と聖約14：7も参照）。
- イエス・キリストは贖いを成し遂げるために，わたしたちの悲しみ，背き，罪を引き受けられた。イエスの死と復活によってすべての人に復活する道が開かれた（モーサヤ13：28－15：1；16：7－15参照。アルマ7：11－13も参照）。
- イエス・キリストは様々な意味において御父であり御子であられる。天父とイエス・キリストの間には多くの類似する点がある（モーサヤ15：1－7参照。ヨハネ10：30も参照）。
- 子供たちを含む義人は正しい者の復活のときによみがえる。悪人は正しくない者の復活のときによみがえる（モーサヤ15：20－27；16：8－11参照。教義と聖約76：17も参照）。
- 義人は真理を喜び，悪人は真理を拒む（モーサヤ16：13－17：12参照。1ニーファイ16：1－2；4ニーファイ1：12，16も参照）。
- 救い主のように，一部の人々は自分の血をもって証を結び固める召しを受けている（モーサヤ17：13－20参照。教義と聖約135：3も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』65－67。

教え方の提案

モーサヤ11－12章。罪悪は惨めな状態と霊的な破滅につながる。（45－50分）

教室内に2本の道を作る。1本の道は神殿や幸福な家族の写真や絵に通じ，別の1本は牢獄か服役者の写真や絵に通じるようにする。生徒に道を示して，目的地について話す。生徒はどちらの目的地に行きたいかを尋ねる。神殿や幸福な家族に行きたいと思っている生徒を牢獄や服役者に通じる道に並ばせる。以下の質問をする。

- あなたが望んでいる目的地へここから行けるでしょうか。なぜ行けないのでしょうか。
- もしだれかがある目的地へ行きたいと言っていたのに，別の道を選んでいたとしたら，あなたはどのようなことを考えるでしょうか。
- このことはあなたの人生にどのようにたとえることができるでしょうか。
- 実際の生活で，どの道がどこに通じているかを言うことは常に簡単でしょうか。なぜですか。

自分が行きたい目的地について混乱しているように見える人はあまりいないが，どの道が目的地まで通じているかについて混乱している人々がいることを説明する。今日は，幸福を望んでいるにもかかわらずいつも不幸へ通じる道を選んだ人々について研究することを生徒に説明する。

モーサヤ10：19－21を読んで，ゼニフの民がレーマン人に対して勝利を収めたことを探すように言う。以下の質問をする。

- 彼らが勝利を収めた理由を説明している鍵の語句は何でしょうか。（「主を信頼して」〔19節〕）
- これらの人々は幸福への道を歩んでいるでしょうか。それとも不幸へ通じる道でしょうか。
- モーサヤ11：1－2を読んでください。ゼニフの息子ノアが権力を手にしたとき，人々が歩む道にどのような変化が起きたでしょうか。

以下の表を黒板に書き写す。ただし，右の欄は空白にしておく。生徒に参照聖句を読んで，ノアと民が犯した罪を説明している語句に傍線を引くように言う。それから，全員で空欄に記入する。

参照聖句	ノアと民が犯した罪
モーサヤ11：2	利己心，多妻結婚，みだらな行い
モーサヤ11：3－4，6	貪欲，怠惰，偶像礼拝
モーサヤ11：5	高慢
モーサヤ11：7，11	虚栄心，だまし
モーサヤ11：14	富への執着，性的な不道徳
モーサヤ11：15	大酒飲み
モーサヤ11：18－19	自分たちの力を自慢する
モーサヤ11：20，26	預言者を拒む
モーサヤ11：27－28	怒り，殺害を求める
モーサヤ11：29	心をかたくなにして，悔い改めを拒む

- モーサヤ11：20－25を読んでください。これらの節によれば，ノアと民はどのような道を歩んでいたでしょうか。
- アビナダイは，彼らがたどり着く先を変えられるどのようなことを教えたでしょうか。
- あなたがどの道を歩んでいるかを知るにはどうすればよいでしょうか。
- 今日の人々はどのように道をそれているでしょうか。
- あなたが今歩んでいる道についてよく考えることはなぜ大切だと思いますか。

モーサヤ12：1－8を読んで，アビナダイが人々に与えた警告を探すように言う。以下の質問をする。

- アビナダイはどの道を選ぶように奨励したでしょうか。それはなぜでしょうか。

- アビナダイは道を変えるよう，どのような方法で人々に奨励したでしょうか。

モーサヤ12：9－16を読んで，アビナダイの言葉に人々はどうこたえたかを見つけるように言う。黒板の表に以下を書き加える。

モーサヤ12：9	**アビナダイに対して怒りを募らせ，彼を縛った**
モーサヤ12：14	**アビナダイはうそをついており，彼の預言は偽りであると言った**
モーサヤ12：15	**自分たちの力に頼った**

- モーサヤ12：15によれば，ノアの民はどこに向かって進んでいると考えていたでしょうか。

モーサヤ12：17－19を読んで，黒板の表に以下を書き加える。

モーサヤ12：17	**アビナダイを投獄する**
モーサヤ12：18－19	**アビナダイをわなにかけようとする**

モーサヤ12：25－37を読んで，以下の質問をする。

- 質問を始めたのはだれでしたか（19節参照）。
- 最終的に質問をしたのはだれでしたか。
- アビナダイはどのような質問をしたでしょうか。
- アビナダイのこれらの教えから，日常生活に関してどのような原則を学ぶことができるでしょうか。

アビナダイの教えの中で生徒が懸命に取り組んでいる事柄を一つか二つ選んで，その分野を改善する方法を幾つか紙に書くように言う。

モーサヤ11：26；13：1－7。主は義にかなった僕（しもべ）たちを死すべき世における使命が成し遂げられるまで守られる。（10－15分）

教会の初期の時代に，多くの教会員が集っていたファーウェストの町がミズーリの暴徒たちによって包囲されたことを生徒に話す。一人の生徒に以下の出来事を読ませる。

「流血を避けるためにジョセフ・スミスとほかの者たちは民兵の代表者と会見することに同意しました。すると，その民兵の代表者は……彼らを逮捕しました。その夜開かれた軍法会議はあっさりと，ジョセフ・スミスとほかの者たちを銃殺することを決定し，ルーカス〔将軍〕はアレクサンダー・ドニファン准将に対して，夜明けとともに死刑を執行するよう命じました。ドニファンはその命令が法律違反であると考え，勇敢にも執行を拒否して，執行しようとする者がいれば必ず法廷に立たせると宣言しました。」（"Missouri Conflict," ダニエル・H・ラドロー編，*Encyclopedia of Mormonism*，全5巻〔1992年〕，第2巻，931）

預言者ジョセフは何度も命を脅かされたことを説明する。生徒に，教義と聖約122：9を読んで，ミズーリで投獄されていたジョセフに主はどのような約束をされたかを見つけるように言う。ウィリアム・テーラーによる以下の説明を読む。ウィリアムは1842年に預言者が命をつけねらう敵から隠れていた数日間，預言者と行動を共にした人である。

「わたしはかつてこう言ったことがあります。『ジョセフ兄弟，邪悪な人々にいつも付きまとわれて，恐ろしくなったことはないのですか。』

すると彼はこのように答えました。

『いいえ，怖くなったことはありません。主が守ってくださると言われたからです。わたしは主の言葉を完全に信頼しています。』」（"Joseph Smith, the Prophet," *Young Woman's Journal*，1906年12月号，548）

生徒にルカ4：28－30を読むように言って，以下の質問をする。

- ナザレの人々は救い主をどうしようとしたでしょうか。
- 主はそれをどのようにして避けられたでしょうか。

ブルース・R・マッコンキー長老はこのように説明した。「明らかに主の敵は，殺意を実行に移そうとしても，特別な方法でそれを止められていました。」（*Doctrinal New Testament Commentary*，第1巻，162）

生徒に，モーサヤ11：26を読んで，ジョセフ・スミスや救い主の状況とこの聖句とを比較するように言う。モーサヤ13：1－7を読んで，以下の質問をする。

- 王は何を命じたでしょうか。
- 僕（しもべ）たちはその命令にどうこたえたでしょうか。
- アビナダイは何によって命を救われたのでしょうか。
- これらの節によれば，主はなぜこの時点でアビナダイを生かしておかれたのでしょうか。
- アビナダイは人々に何と言ったでしょうか。

一人の生徒に，ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が語った以下の言葉を読ませる。

「嘆き悲しんでいる方々に慰めとなり，わたしたち全員にとっても慰めと導きとなることをお話ししたいと思います。すなわち，義にかなった者はその人に定められた時が来る前に取り去られることはありません。」（リチャード・L・エバンズ長老の葬儀における話，1971年11月4日，1）

- この言葉はジョセフ・スミスやアビナダイ，イエス・キリストの死について何を示唆（しさ）しているでしょうか。
- この言葉はわたしたちに対してどのように当てはまるでしょうか。
- 友達や家族が亡くなったときに，この言葉はわたしたちにとってどのように慰めとなるでしょうか。

モーサヤ13：11－35。悔い改めて神の戒めを守る者はイエス・キリストの贖罪（しょくざい）によって救いを得る。（15－20分）

黒板に「2+2+2＝6」と書く。以下の質問をする。

- もし，2が一つ抜けたらこの等式はどうなるでしょうか。
- 2+2は6になることがあるでしょうか。

預言者アビナダイは正しい霊的な公式を教えたが，ノア王の民は2+2＝6というように，その公式をゆがめて，壊してしまったことを説明する。

生徒に，モーサヤ12：29を読んで，アビナダイがこの節で尋ねた最初の質問を見つけるように言う。アビナダイは次の章でモー

セの律法に対する考え方を説明している。黒板に1から10までの番号を書く。何人かの生徒にモーサヤ12：35；13：11－24を交代で声を出して読ませる。ほかの聖徒は出エジプト20：3－17を黙読して，アビナダイが十戒の一つについて述べた箇所に来たら，読んでいる生徒にそこで止めるように合図する。生徒が戒めを見つける度に，それを番号に従って黒板に記入する（表を参照）。

律　法

十戒を含む

1. 「わたしのほかに，なにものをも神としてはならない。」
2. 「刻んだ像を造ってはならない。」
3. 「主の名を，みだりに唱えてはならない。」
4. 「安息日を覚えて，これを聖とせよ。」
5. 「あなたの父と母を敬え。」
6. 「あなたは殺してはならない。」
7. 「あなたは姦淫（かんいん）してはならない。」
8. 「あなたは盗んではならない。」
9. 「あなたは……偽証してはならない。」
10. 「あなたは……むさぼってはならない。」

以下の質問をする。

- ノア王と祭司たちは何によって救いが与えられると主張したでしょうか（モーサヤ13：27参照）。
- 主はイスラエルになぜモーセの律法を与えられたのでしょうか（29－30節参照）。

これらの質問をまとめるために，黒板に以下の表を書き加える。

ノア王と祭司たちが偽って信じていると主張した事柄

律　法

十戒を含む

1. 「わたしのほかに，なにものをも神としてはならない。」
2. 「刻んだ像を造ってはならない。」
3. 「主の名を，みだりに唱えてはならない。」
4. 「安息日を覚えて，これを聖とせよ。」
5. 「あなたの父と母を敬え。」
6. 「あなたは殺してはならない。」
7. 「あなたは姦淫してはならない。」
8. 「あなたは盗んではならない。」
9. 「あなたは……偽証してはならない。」
10. 「あなたは……むさぼってはならない。」

＋

儀　式

動物の犠牲を含む

＝

救　い

生徒にモーサヤ13：28，30－35を読むように言う。以下の質問をする。

- ノアと祭司たちは公式から何を取り除いていたでしょうか。
- 贖罪はなぜ，律法と同様に不可欠なのでしょうか（28節参照。2ニーファイ2：5－7も参照）。
- アビナダイによると，モーセの律法はなぜ与えられたのでしょうか（モーサヤ13：30－31参照）。

黒板の表に「贖罪」を書き加えて，「アビナダイが教えたこと」と見出しを書き直す（以下を参照）。以下の質問をする。

- イスラエルの子らはなぜ，この教えを誤解したのでしょうか。（心がかたくなだった。32節参照）
- イエス・キリストとキリストの贖罪について教えた預言者は何人いるでしょうか（33節参照）。
- これらの預言者はキリストが何を行われると言ったでしょうか（34－35節参照）。
- モーサヤ13：27と3ニーファイ9：17－20を読んでください。わたしたちは今日（こんにち），なぜ動物の犠牲をささげないのでしょうか。
- 主は現代のわたしたちにどのような儀式を執行することを求めておられるでしょうか。（注意：2番目のますの「動物の犠牲」を消して，生徒が挙げる儀式を記入する〔例えば，バプテスマや聖餐（せいさん）〕。）
- モーセを通して与えられた律法の中で今日の福音にまだ含まれているのはどのような律法でしょうか。（十戒がまだ有効であると生徒が理解していることを確認する。）

アビナダイが教えたこと

律　法

十戒を含む

1. 「わたしのほかに，なにものをも神としてはならない。」
2. 「刻んだ像を造ってはならない。」
3. 「主の名を，みだりに唱えてはならない。」
4. 「安息日を覚えて，これを聖とせよ。」
5. 「あなたの父と母を敬え。」
6. 「あなたは殺してはならない。」
7. 「あなたは姦淫してはならない。」
8. 「あなたは盗んではならない。」
9. 「あなたは……偽証してはならない。」
10. 「あなたは……むさぼってはならない。」

＋

儀　式

含む

バプテスマ
聖餐
……

＋

贖　罪

＝

救い

信仰箇条1：3を読むか，一人の生徒に暗唱させて締めくくる。

モーサヤ13：34－15：1。イエス・キリストは贖いを成し遂げるために，わたしたちの悲しみ，背き，罪を引き受けられた。イエスの死と復活によってすべての人に復活する道が開かれた。（50－55分）

モーサヤ13：34とモーサヤ15：1を比較するように言う。次のように質問する。「これら二つの聖句はどれほど似通っているでしょうか。」同じ言葉に傍線を引いて，相互参照するように言う。これらの聖句はイエス・キリストが「御自身を低くされること」を短くまとめたものであることを説明する（1ニーファイ11：26－33も参照）。アビナダイはモーサヤ書のこれら二つの聖句の間に，救い主と救い主の贖罪に関して聖典の中で最も力強い章の一つであるイザヤ53章を引用している。生涯の最後に語る言葉として，アビナダイはこの章を引用することを選んだ。それはモーサヤ13：34とモーサヤ15：1で簡単に説明した教義であった。

生徒に5分間でモーサヤ13：35－14：12を調べるように言う。イエス・キリストまたはキリストの贖罪に関する事柄を見つけたら，紙にその箇所と何を教えているかを書き出すように言う。見つけたことを発表するように言い，それらを黒板に書き出す。以下の事項が含まれる。

- モーサヤ13：35。救い主は死者の復活をもたらされる。
- モーサヤ13：35。救い主は虐げられ，苦しめられる。
- モーサヤ14：2。救い主は普通の人のように見える。
- モーサヤ14：3。救い主は悲哀を知っており，嫌われ，拒まれる。
- モーサヤ14：4。救い主はわたしたちの悲哀を負い，悲しみを担われる。
- モーサヤ14：5。救い主はわたしたちが癒されるようにわたしたちの背きと罪のために苦しみを受けられる。
- モーサヤ14：7。救い主は御父の犠牲の小羊となられる。
- モーサヤ14：8－9，12。救い主は悪人とともに殺される。
- モーサヤ14：10。救い主は贖罪を成し遂げられる。
- モーサヤ14：11。救い主は正義の要求を満たされる。
- モーサヤ14：12。救い主はその犠牲に対して大きな報いを受けられる。

時間が許せば，モーサヤ13：34－15：1をさらに深く研究するために以下の質問，活動，言葉の一部または全部を活用する。

モーサヤ13：35

アルマ11：43－44を読んで，以下の質問をする。

- これらの聖句によれば，どのような人が復活するのでしょうか。
- 復活体にはどのような特徴があるでしょうか。
- わたしたちが復活した後にどのような偉大な出来事があるでしょうか。

モーサヤ14：2

- この「主の前に」という語句の中の「主」とは，だれのことでしょうか。（御父）
- ルカ2：40を読んでください。この聖句は御父が御子を見守っておられることをどのように表しているでしょうか。
- ヨハネ15：5を読んでください。わたしたちが枝であって，イエス・キリストがぶどうの木または幹であるとはどのようなことでしょうか。（生徒の答えについて話し合う。）
- 主が育たれた地域の人々は，どのような点で乾いた土に似ていたのでしょうか。（乾いた土には種が育たないのと同じように，彼らのかたくなな心の中には容易に福音が育たなかった。）

十二使徒定員会会長時代にジョセフ・フィールディング・スミス会長が語ったイザヤのこの節についての解説を紹介する。

> 「主には，格別人目を引くようなところはなかった。外見上主は他の人々と変わらなかった。そこで預言者は見るべき姿も威厳もないと表現した。言い換えれば主は人々が主を見て神の御子と認めるほど，特別際立っていたわけではなかったし，異なってもいなかった。主は一人の肉体を持った人として登場されたのである。」（『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編，全3巻，〔1954－1956年〕第1巻，24）

イエス・キリストは外見上ほかの男性と変わらなかっただけでなく，通常の方法で世にお生まれになった。次のように質問する。「この事実はなぜ一部の人にとって信仰の大きな試練となるのでしょうか。」

モーサヤ14：3

生徒に，ルカ4：16，22，28－29と2ニーファイ10：3を読むように言う。そして，以下の質問をする。

- これらの聖句はモーサヤ14：3とどのような関連があるでしょうか。
- 「わたしたちは，彼から顔を背けるかのように振る舞った」とはどのような意味でしょうか。（イエスに耳を傾けないだけでなく，イエスを避けた。）

モーサヤ14：4

次のように質問する。「この節によれば，主はわたしたちの罪に加えて何のために苦しみを受けられたのでしょうか。」生徒に，アルマ7：11を読んで，救い主が苦しみを受けられた目的を示す箇所に傍線を引くように言う。マタイ11：28－30を読んで，質問する。「救い主はわたしたちのすべての苦痛，苦難，病気のために苦しみを受けられたことを知っていると，マタイのこの聖句を理解するうえでどのように役立つでしょうか。」

十二使徒定員会会員のニール・A・マックスウェル長老の以下の話を読む。

> 「イエスは毎日の生活と務めを通して，『世の常』（1コリント10：13）である人の病気や嘆き，苦痛，悲しみ，欠陥を実際に見て，よく知っておられたに違いありません。しかし，贖罪の苦しみは無窮で，イエス御自身が経験されたものでした。人の悲しみや苦痛がすべて罪と関連しているわけではないので，わたしたちの罪のほかにわたしたちの苦痛，欠陥，病気を背負うことによるこの上ない激しさ

が贖罪に伴いました。わたしたちの苦しみは何であれ，『自分の思いわずらいを，いっさい神にゆだねる』（1ペテロ5：7）ことができます。」（*"Not My Will, But Thine"*〔1988年〕，51）

モーサヤ14：4—5

イザヤ53章とモーサヤ14章で述べられているようにイエス・キリストは時々「受難の僕（しもべ）」と呼ばれる。4節の「神に罰せられ」についての以下の説明を紹介する。

「苦しみを受けている人は神の罰を受けていると考えることが，長年にわたって一般的だとされてきました。その『僕』を見て人々は，彼が罪に対する罰を受けているのだと考えます。皮肉なことに，それは正しいのです。しかし，彼が苦しみを受けられたのは自分の罪ではなく，わたしたちの罪が原因でした。」（ドナルド・W・ペリーほか，*Understanding Isaiah*〔1998年〕，474）

「傷つけられた」という語は「砕かれた」とも翻訳できることを生徒に説明する。以下の質問をする。

- キリストが贖罪のために苦しみを受けられたことによってわたしたちにどのような祝福が授けられると5節で述べられているでしょうか。
- オリーブから油を抽出するにはどのようにするでしょうか。（オリーブはオリーブ圧搾機で砕かれる。）

ゲツセマネという語は「油搾り」に由来していることを生徒に告げる。以下の質問をする。

- 主が贖いのために苦しみを受けられた場所の名である「ゲツセマネ」の意味は，主がわたしたちの罪悪のために「砕かれた」と語ったイザヤの言葉との間にどのような関連があるでしょうか。
- マタイ27：26を読んでください。この聖句によれば，十字架にかけられる前のイエスにどのようなことが起きたでしょうか。
- このことはモーサヤ14：5の最後の文とどのような関連があるでしょうか。（イザヤとアビナダイは贖いの持つ癒しの力を表現するために，イエスの体に残された「鞭（むち）の打ち傷」という語句を使った。1ペテロ2：24—25も参照）

モーサヤ14：6

1ヨハネ1：8を読んで，質問する。「この聖句はモーサヤ14：6とどのような関連があるでしょうか。」

モーサヤ14：7

マタイ26：67—68；27：29—30を読んでから，質問する。「これらの聖句によると，イエスはどのような苦難に耐えられたでしょうか。」マルコ15：3—5；ルカ23：9を読んでから，質問する。「これらの聖句はモーサヤ14：7とどのような関連があるでしょうか。」モーサヤ14：6の羊はわたしたちであり，羊飼いはイエスであることを指摘する（ヨハネ10：14も参照）。次のように質問する。「7節の小羊と羊はだれを指しているでしょうか。」生徒に，ヨハネ1：29とモーセ5：6—8を読んで，イエスがどのような意味で神の小羊であられるかを挙げるように言う。

モーサヤ14：8

生徒に，教義と聖約19：16—18を読んで，イエスが「民の背き」によって「打たれ」ることがどれほど恐ろしいことだったかを見つけるように言う。

モーサヤ14：8，10

生徒に，モーサヤ5：7；15：10—13を読んで，だれがキリストの「子孫」かを見つけるように言う。

モーサヤ14：9

マタイ27：38を読んで，救い主とともに死んだ罪人がだれであるか見つけるように言う。マタイ27：57—60を読んでから，イエスはどのように「死んでは富裕な者とともに」あったかを生徒に尋ねる。

モーサヤ14：10

ヨハネ3：16；10：17—18を読んで，だれが進んで贖罪を完成されたかを見つけるように言う。（御父と御子）

モーサヤ14：11

生徒に，モーサヤ15：9；アルマ34：14—16を読んで，これらの聖句がモーサヤ14：11とどのような関連を持っているかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- 最後の犠牲をささげたのはどなたでしたか。
- 何が満たされたのでしょうか。
- だれが義とされたのでしょうか。
- 何が彼らが義とされるのを可能にしたのでしょうか。

モーサヤ14：12

生徒に，教義と聖約49：5—6を読んで，イエスが得た高い位を見つけるように言う。「いやしく生まれ」（『賛美歌』113番）を歌うか，歌詞を読む。イエスがかつてどのような場所に置かれ，現在どのような所におられるかの対照に注目するように言う。ローマ8：16—17を読んで，イエスがわたしたちと喜んで分かち合おうとしておられるのが何であるかを見つけるように言う。

イエス・キリストについてあなたの証（あかし）を述べ，生徒にもその機会を与える。

モーサヤ15：1—7。イエス・キリストは様々な意味において御父であり御子であられる。天父とイエス・キリストの間には多くの類似する点がある。（15—20分）

父親は皆息子でもあるかどうかを尋ねる。次のように質問する。「イエスはどのような意味で御父であり，御子でもあられるのでしょうか。」生徒に，モーサヤ15章の前書きの最初の一文を読むように言う。様々な意味でイエスは御父であり，御子でもあられることを説明する。これはイエス・キリストと天父が同一の御方であるという意味ではない。イエスは「御父」と呼ぶこともできるという意味である。

一人の生徒にモーサヤ15：1—9を声を出して読ませる。その間，クラスの半数の生徒に御子としての役割を果たされるイエス・キリストの例を探し，残る半数の生徒に御父としての役割を果たさ

れるイエス・キリストの例を探させる。読んでいる間にイエスのいずれかの役割を示す箇所に来たら，読むのを止めて，それを黒板に書き出す。以下のようなリストになるであろう。

御子と御父の役割を果たされるイエス・キリスト

御　子	御　父
肉体をもって地上に住まわれた（2節参照）。	肉体を御父の御心（みこころ）に従わせられた（2節参照）。
死すべき体にお生まれになった（3節参照）。	天父の力によって胎内に宿られた（3節参照）。
肉体を従わせ，殺された（7節参照）。	死に対して勝利を収められた（8節参照）。

（ジェフリー・R・ホランド，*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，192より翻案）

イエス・キリストがどのような意味で御父であられるかをまとめるために，ジェフリー・R・ホランド長老の以下の言葉を紹介する。「特定の務めについてキリストは御父と非常に密接に一致しておられるため，キリストは正当に父親の役割を果たし，その際御父の称号を用いられることがあります。」（*Christ and the New Covenant*，183）

モーサヤ15章はイエス・キリストがどのような意味で御父であり御子であられるかを説明するだけでなく，イエス・キリストと天父の間にある類似点についても述べている。以下の文章を黒板に書く。ただし，太字の部分は空白にしておく。生徒に，モーサヤ15：4－5を読んで，空所を埋めるように言う。

- 御父と御子は***天と地の創造***を行われたので，「一つの神」である。
- 御子の***御心***は天父の御心と同じである。

以下の質問をする。

- 御父と御子にはほかに類似点があるでしょうか。（御二方は外見がよく似ておられることも答えの一例である。ヘブル1：3参照）
- 御二方は同じ御方でしょうか。

御二方が似ておられることをさらに調べるために，ブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を紹介する。

> 「御父と御子と聖霊は，目的において一つであることよりもはるかに大いなる意味において一つの神です。……
>
> 昇栄された神々の家族において，御父と御子は一つです。御二方は同じ性格，完全，特質を有しておられます。御二方は同じように考え，同じ言葉を語り，同じ行動を取り，同じ望みを持ち，同じ業を行われます。御二方は同じ力を持ち，同じ思いを持ち，同じ真理を知り，同じ光と栄光の中で生活しておられます。一方を知ることは別の一方を知ることであり，一方を見ることは別の一方を見ることであり，一方の声を聞くことは別の一方の声を聞くことです。御二方は完全に一致しておられます。御子は御父の本質の真の姿です。御二方はそれぞれに人間の体と同じように触れることのできる骨肉の体を持っておられ，神が創造されたすべてのものを主権と威勢と力と大いなる栄光をもって統治しておられます。」（*The Promised Messiah*，5，9）

生徒に，3ニーファイ12：48を読んで，ほかにだれが御父や御子のようになることを勧められているかを見つけるように言う。全員でモロナイ7：48を読んで，わたしたちが御父や御子に似た者となることのできる一つの方法を見つける。生徒に，各自の生活で改善が必要な分野を選び，その分野で御父や御子に似た者になることを決意するよう生徒に奨励する。

モーサヤ15：20－27；16：8－11。子供たちを含む義人は正しい者の復活のときによみがえる。悪人は正しくない者の復活のときによみがえる。（15－20分）

次のように質問する。「愛する人を死によって失ったことのある人はいますか。」それらの人の死を乗り越えるのが難しかった経験を何人かの生徒に述べてもらう。（注意：繊細な気持ちを傷つけることのないように注意する。）次のように質問する。「愛する人の死を乗り越えるために福音の知識はどれほど助けになるでしょうか。」モーサヤ16：8を読んで，何が死の「とげ」を取り除くかを見つける。

教義と聖約76：17を読んで，復活に二つの区分があることを見つける。黒板に「正しい者の復活」と「正しくない者の復活」と書く。預言者アビナダイは二つの復活がそれぞれどのような人にもたらされるか説明していると生徒に告げる。生徒を二つのグループに分ける。最初のグループにはモーサヤ15：20－25を読んで，以下の質問に答えるように言う。（これらの質問を「正しい者の復活」の下に書いてもよい。）

1. だれが死の縄目を断つのでしょうか（20節参照）。
2. 正しい者の復活にはだれがあずかるのでしょうか（アビナダイが語った「第一の復活」を含む）（22節参照）。
3. 彼らはどこへ行くのでしょうか（23節参照）。
4. 彼らは何を受けるでしょうか（23節参照）。
5. 24節によれば，正しい者の復活にあずかるのはほかにどのようなグループの人々でしょうか。
6. 正しい者の復活にはほかにだれがあずかるでしょうか（25節参照）。

もう一つのグループにモーサヤ15：26－27；16：10－11；黙示録20：4－5；教義と聖約76：102－106を読んで，以下の質問に答えるように言う。（これらの質問を「正しくない者の復活」の下に書いてもよい。）

1. どのような人が正しくない者の復活まで待たなければならないのでしょうか（モーサヤ15：26参照）。
2. これらの人はなぜ正しい者の復活にあずかることができないのでしょうか（26－27節参照）。
3. だれがこれらの人々と一緒に住むことになるでしょうか（モーサヤ16：11参照）。
4. 正しくない者の復活にあずかる人々はいつ復活するのでしょうか。（福千年の後。黙示録20：4－5参照）
5. 正しくない者の復活にあずかる人々にはどのような特徴があるでしょうか（教義と聖約76：102－104参照）。
6. これらの人々はどこへ行くのでしょうか（モーサヤ16：11；教義と聖約76：105－106参照）。

最初のグループの代表者に割り当てられた質問の答えを全員に教えるように言う。次に，第2のグループの代表者に質問の答えを全員に教えるように言う。

モーサヤ16：13－17：12。真理は様々な方法で人々に影響を及ぼす。義人は真理を喜び，悪人は真理を拒む。（5－10分）

生徒に聖餐会に出席していると考えさせる。聖餐会が終わって出口に向かって歩いていると，ある人が「すばらしい聖餐会だった」と言い，別の人は「こんなに退屈な集会は今までに経験したことがない」と言った。以下の質問をする。

- 同じ集会に出席した人の気持ちがこれほど違うのはなぜでしょうか。
- わたしたちが御霊を受けるかどうかの責任は主としてだれにあるでしょうか。

今日は，同じキリストの証を聞いて信じる人と怒る人が出てくる理由について学ぶことを説明する。3人の生徒に以下の役割を演じさせる。アビナダイ，ノア王，アルマ。以下の表を黒板に書き写す（「ノア王の反応」と「アルマの反応」の下に挙げられている答えを書いてはならない。）

アビナダイの言葉	
ノア王の反応	**アルマの反応**
● 信じなかった ● 怒った ● 預言者を殺すことを求めた ● 信じた人々を殺すことを求めた	● 信じた ● 預言者に味方する言葉を述べた ● 自分の命をかけて進んで従った

アビナダイの役を演じる生徒に，モーサヤ16：13－15からキリストに関するアビナダイの最後の証を読ませる。二人目と三人目の生徒に，ノアの反応（モーサヤ17：1，3，5）とアルマの反応（モーサヤ17：2，4）を読ませる。全員でこれら二人の反応について話し合う。黒板の該当する見出しの下に，生徒の答えを書き出す。以下の質問を話し合う。

- 生活の幾つかの分野について悔い改め，改善するように言われたとしたら，あなたはどのような態度を示すでしょうか。
- あなたの生活のどの分野が問題にされるかによってその態度は異なるでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 悔い改めるよう求められたときに，これらの聖句を知っていることはどのような助けになるでしょうか。

モーサヤ17：6－8を読んで，以下の質問をする。

- ノア王によると，アビナダイのどのような言葉が死に値するのでしょうか。
- アビナダイは自分の命を救うためにどのようなことを言うことができたでしょうか。
- ノア王の論理はどのようにつじつまが合っていないでしょうか。
- それはノアがどのような人であることを物語っているでしょうか。（ノアはキリストの降臨に関心を持っていなかった。ノアは自分のことしか考えていなかった。）
- 9－10節を読んでください。これらの節によると，アビナダイは何と答えたでしょうか。
- 11節を読んでください。アビナダイの大胆な言葉はノアにどのような影響を与えたでしょうか。
- 12節を読んでください。ノアとともにいる人たちはノアに対してどのような影響を与えたでしょうか。
- あなたは友達からどのような影響を受けているでしょうか。

生徒に，アビナダイの模範に従って，どのような試練に遭っても真理を大胆に守るよう奨励する。ゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の話を紹介する。

> 「*正義を守る強さを示してください*。現在わたしたちの住む世界は，妥協と譲歩に満ちた世界です。日常遭遇するいろいろな状況の中で，わたしたちは何が正しいかを知っています。……信ずるところに従って生きる精神力をはぐくまなければなりません。」（「あなたのタバナクルを築きなさい」『聖徒の道』1993年1月号，60）
>
> 「わたしたちが滑って転ぶと，教会全体も幾らか力が弱まります。わたしたちが良いことをすれば，教会全体も幾らか向上します。……わたしたちはもう少し良いことができます。わたしたちがもう少し熱心に働き，もう少し献身し，もう少し愛を示し，もう少し祈り，もう少し熱心になれるよう祈っています。これは救い主の業です。」（*Teachings of Gordon B. Hinckley*〔1997年〕，137）

モーサヤ17：11－20。救い主のように，一部の人々は自分の血をもって証を結び固める召しを受けている。（5－10分）

霊的に成熟した生徒に，イエス・キリストについて証を述べるように言う。その生徒に以下の質問をする。

- どのようなことがあればあなたは証を否定するでしょうか。
- お金をもらえれば証を否定するでしょうか。その金額が大きかったらどうでしょうか。
- 楽になりたいから，慰めを得たいからといって証を捨てるでしょうか。名声ではどうでしょうか。権力ではどうでしょうか。
- 殺すと脅かされたら証を否定するでしょうか。

（注意：生徒がこれらの質問に答えにくいようであれば，偉大な信仰を示している教会指導者か会員の例を使う。）

何かを深く信じているためにたとえどのようなことが起きてもそれを否定しない人々についてどのように感じているかを生徒に尋ねる。次のように質問する。「そのような人々と，信仰に限界を設けている人々とではどのような違いがあるでしょうか。」

以下の聖句を順番に声を出して読ませる。マタイ14：1－10；使徒7：51－60；モーサヤ17：11－20。これらの物語に共通する事柄について生徒と話し合う。以下の質問をする。

- バプテスマのヨハネ，ステパノ，アビナダイはどのようなことをしたので人々を怒らせたのでしょうか。
- 教義と聖約135：3を読んでください。この聖句によれば，ジョセフ・スミスと「昔の，主の油注がれた者のほとんど」はどのようなことを行ったでしょうか。
- なぜ多くの人が自分の血によって証を結び固めるよう召されているのでしょうか（ヘブル9：16参照）。
- 今日，このような証を持つには何をしなければならないでしょうか。

以下の物語を紹介する。

「メキシコ・シティーからさほど遠くない小さな町サンマルコスに，ライフル銃から発射された6発の銃声がこだましました。そのときヘスシタ・モンロイは，息子のラファエルと同僚のビセンテ・モラレスが殺害されたことを知りました。

ヘスシタは頭にショールをかぶると，土砂降りの雨の中を二人の死体を探すため家を出ました。1915年7月17日の安息日から殉教者の血を洗い流すかのような雨でした。……

メキシコの市民革命が激化したため，1913年に宣教師はやむなく撤退を始めました。そして，メキシコ伝道部のサンマルコス支部の管理は，商店を経営する30代の店主ラファエル・モンロイにゆだねられることになりました。彼は教会に入ってわずか3か月しかたっていませんでした。

ラファエルは会員が7人の小さな支部で毎週集会を開きました。隣人に福音を伝え続けた努力が実って，支部は次第に大きくなってきました。1915年5月までに，50人のバプテスマがありました。集会の出席者は75人になっていました。

当時，敵対する二つの軍隊は国を制圧するために闘いを繰り返していました。その衝突がサンマルコスに降りかかっていたのです。しばらくの間カランサが町を掌握していました。その後，サパタと彼が指導する『グアダルーペの聖母』を狂信的に信奉する者たちが町を制圧しました。

モンロイの家の近くに住んで，彼らの宗教活動に猛烈に反対していたある人物が，サパタの本部へ行き，ラファエルがカランサの支持者であり，また，モルモンであると言って非難しました。

兵士たちがモンロイの家を包囲しました。ラファエルと，たまたま訪れていた教会員のビセンテは逮捕されました。兵士たちは『武器を捨てろ』と命令しました。

ラファエルはポケットから聖書とモルモン書を引っ張り出して言いました。『諸君，わたしが持っている武器はこれだけです。これらは過ちを正す，真理という武器です。』

ラファエルとビセンテは拷問を受け，宗教を否定するよう脅迫されました。『わたしの宗教は命よりも大事です。捨てることはできません』とラファエルは言明しました。

彼は牢獄に閉じ込められたその日の午後，牢に入れられていた人々や衛兵に聖文を読み，説明しました。午後7時に，母親が食べ物を持って来ました。ラファエルは食物を祝福しましたが，『わたしは今日，断食しています』と言って口にしようとはしませんでした。

しばらくして，ラファエルとビセンテはサンマルコスの中心を離れた大きな木のある所まで連れて行かれました。宗教を捨てて，サパタの支持者になるなら，解放すると言われました。しかし二人はそれを拒否しました。

ラファエルは祈ることを許されました。彼はひざまずいて，自分の家族と，小さな支部が守られるよう願い求めました。そして最後に，死刑執行者のためにも祈ってこう言いました。『父よ彼らをお赦しください。彼らは自分たちが何をしているのか知らないのですから。』

ラファエルは立ち上がると，両手を組んで言いました。『諸君，どうぞ好きにしてください。』

『彼のように雄々しく死んでいった人を見たことがない』と兵士は言いました。」（"Two Members Died Courageously for the Truth," *Church News*, 1959年9月12日付，19）

生徒に，以下の質問を考えるように言う。

- あなたはどれほど強い証を持っているでしょうか。
- あなたは証のために喜んで命を差し出せるでしょうか。もっと大切なことは，証のために喜んで生きているでしょうか。
- 証の強さに応じて日常の行動はどのように変わらなければならないでしょうか。

モーサヤ11－17章。聖典はイエス・キリストに関する多くの予型と影を含んでいる。（20－25分）

モーサヤ7：1－8，16についての「教え方の提案」（106－107ページ）から予型と影に関する資料を復習する。注意：この「教え方の提案」を以前に使っていなければ，今回は以下の表を使って教えるとよい。

生徒に，以下の表に挙げられている参照聖句を読んで，アビナダイとイエス・キリストの生涯に見られる共通点を探すように言う。「共通点」の欄を空白にした表を生徒に配って，記入させてもよい。

アビナダイ	イエス・キリスト	共通点
モーサヤ 11：20－25；12：9	マタイ4：17；ルカ4：28	二人とも人々に悔い改めを叫んだ。いずれの場合も，人々は彼らの教えに怒りを募らせた。
モーサヤ11：26	ルカ4：29－30	彼らが教えようとした人々は彼らを殺そうとしたが，二人ともその人々の手から逃れた。
モーサヤ12：9	ヨハネ18：12；ルカ23：7	二人とも縛られて，王のもとに連行された。
モーサヤ12：17－18	マタイ26：57	アビナダイは祭司たちの評議会によって裁かれた。イエスは大祭司，律法学者，長老の評議会によって裁かれた。
モーサヤ12：19	マルコ14：55―59；ルカ20：19－20	祭司たちは二人の言葉じりを捕らえようとした。
モーサヤ12：26	マタイ 23：13－26	二人とも宗教指導者を叱責した。
モーサヤ13：1	ヨハネ10：20	ノア王はアビナダイの気が狂っていると言った。多くの人々はイエスの気が狂っていると言った。
モーサヤ 14章；17：1	ルカ4：16－21，28－30	アビナダイは救い主に関するイザヤの預言を引用した。その後ノアはアビナダイを殺させようとした。イエスは救い主に関するイザヤの預言を引用された。その後ナザレの人々はイエスを殺そうとした。
モーサヤ 17：5－6	使徒10：40；1ペテロ3：18－19	アビナダイは3日間牢に入れられた。イエスは3日間墓の中で過ごす間，獄にいる霊たちに教えを説かれた。
モーサヤ 17：7－8	マタイ 26：63－66	二人ともキリストは神であられることを教えた。
モーサヤ17：9	ヨハネ18：1－8	二人とも捕らえようとする人々の手に自らをゆだねた。
モーサヤ 17：9－10	ヨハネ 10：17－18	二人とも進んで死を受けた。
モーサヤ17：10	マタイ 27：22－24	二人とも無実だった。
モーサヤ17：11	マタイ 27：15－18	いずれの場合も政治的指導者は二人を解放しようとした。
モーサヤ17：12	ルカ23：2	二人とも反逆罪で告発された。
モーサヤ17：13	ヨハネ19：1	二人とも鞭で打たれた。
モーサヤ17：19	ルカ23：46	二人とも霊を受け入れてくださるよう祈りながら息を引き取った。
モーサヤ17：20	ヨハネ19：30。ヘブル9：15－16も参照	二人とも自らの血によって証を結び固めた。

聖文や周囲の世界から救い主の予型を探すよう生徒に奨励する。

はじめに

ゼニフの記録の最後の部分がモーサヤ18－22章に見られる。モーサヤ18章にはアルマの物語とモルモンの泉における彼の経験が記されている。アビナダイが亡くなった後，ノア王の若き祭司であったアルマはアビナダイの言葉を信じて，ひそかに民の間で教えていた。多くの人々はアルマを信じてモルモンの泉へ行った。そして約200人がバプテスマを受けた。

ノア王の受けた苦難と死，そしてノアの民に下った報いについてモーサヤ19－22章に記されている。これらの章はアビナダイがノア王について語った預言がどのように成就したかを明らかにしている。

これらの章には幾つかの民のグループが登場する。それぞれのグループは善か悪のいずれかを選ばなければならなかった。そして，その選択の結果を突きつけられることになった。善を選んだ人々は祝福を受け，悪を選んだ人々はのろいを受けた。アルマが教えたように「悪事は決して幸福を生じたことがない。」（アルマ41：10）あるいはパウロが説明したように「罪の支払う報酬は死である。しかし神の賜物は，……永遠のいのちである。」（ローマ6：23）

学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちはバプテスマにおいて，神の戒めを守り，互いに支え合い，慰め合うことを聖約する。これに対して神はわたしたちに神の御霊を注ぎ，永遠の命を与えることを約束される（モーサヤ18：7－13参照。モロナイ4：3；6：1－6も参照）。
- すべての教会員と同様に，教会の指導者は主を愛し，主の戒めを守るべきである。指導者はまた，会員たちが互いに愛し合い，教え合い，仕え合うこと，援助を必要としている人々に持ち物を分け与えるよう奨励すべきである（モーサヤ18：17－30参照。モーセ7：18－21も参照）。
- 預言者を通して与えられる主の言葉は必ず果たされる（モーサヤ19：15，20；20：21；21：2－4，15参照。モーサヤ11：23－24；12：1－5；17：17－18；教義と聖約1：37－38も参照）。
- 罪悪は苦難をもたらす。ヘりくだって福音の聖約を交わして守り，罪を悔い改めるならば，主はわたしたちを苦難から解放してくださる（モーサヤ21－22章参照。1ニーファイ1：20；モーサヤ23－24章も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』68－70。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション11「証し人として立つ」をモーサヤ18：1－16を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

モーサヤ18章。わたしたちはバプテスマにおいて，神の戒めを守り，互いに支え合い，慰め合うことを聖約する。これに対して神はわたしたちに神の御霊を注ぎ，永遠の命を与えることを約束される。（40－45分）

以下の図のように教室を区切る。テープやひもを使って地域を分け，各地域には名称を書いた看板を立てておく。

リーハイ・ニーファイの地
（ノア王を指導者とする）

モルモンの地
（注意：生徒全員が座れるように
この地域は大きく取る）

モルモンの泉

生徒が教室に入って来るときに，教室の隅（「リーハイ・ニーファイの地」）で待っているように言う。モーサヤ9－17章でリーハイ・ニーファイの地とノア王の民について学んだ事柄について考えるように言う。以下の質問について話し合う。

- ノア王の民の間で最も広く浸透していたのはどのような種類の罪悪でしょうか。
- モーサヤ17：1－4を読んでください。これらの節によると，アルマはなぜノアのもとから逃げたのでしょうか。
- 当時の罪悪と今日の罪悪にはどのような共通点があるでしょうか。
- 邪悪に満ちた世界の中で生きていくことはなぜ難しいのでしょうか。

教室の「リーハイ・ニーファイの地」は俗世を表していると考えるように言う。一人の生徒に教義と聖約53：2；59：8－9を読ませてから，以下の質問をする。

- これらの聖句は俗世についてどのようなことを教えているでしょうか。
- 世の汚れを捨て，世の汚れに染まらないために，わたしたちはどのようなことができるでしょうか。

モーサヤ18章には，世の邪悪な影響を離れて霊的な平安と守りを求める人々にとって有益な教義が含まれていることを説明する。

生徒全員に教室の中央（「モルモンの地」）に集まるように言う。生徒に，モーサヤ18：1－7を読んで，モルモンの地とそこに集まった人々に関する説明を探すように言う。以下の質問をする。

- これらの節で述べられている地と人々はリーハイ・ニーファイの地とそこに住む人々とを比較すると，どのような違いがあるでしょうか。
- モルモンの地とそこに集まった人々に関してあなたが最も感銘を受けたのはどのようなことでしょうか。
- あなたはこれら二つの地のうち，どちらに住みたいと思いますか。それはなぜですか。
- 世の罪悪から離れた美しさ，平安，清さ，守りを見いだすことのできる場所にはどのような所があるでしょうか。

教義と聖約84：2を読んで，次の質問をする。「主が末日に教会を設立された二つの理由とは何でしょうか。」生徒に，教室内の「モルモンの地」は教会を表していると考えるように言う。教会は会員たちに平安と安全と助けを与えられることを証する。生徒に，教室内の「モルモンの泉」は教会の会員となるための扉または門を表していることを告げる。2ニーファイ31：17－18を読んで，その門がどのようなものかを見つける。

生徒にモーサヤ18：8－10を読むように言ってから，以下の質問をする。

- わたしたちはバプテスマを受けるときに何を約束するでしょうか。あるいは聖約するでしょうか。
- これらの聖約はあなたにとってどのような意味があるでしょうか。
- これらの聖約はあなたが世の邪悪に耐える助けとなるでしょうか。
- 主は聖約を交わす人々に対して，どのような約束をしておられるでしょうか。
- 主の約束はあなたの人生でどのように祝福となってきたでしょうか。
- 神の羊の群れにいることによって受ける祝福はなぜ，そのためにささげる犠牲に見合うだけの価値があるのでしょうか。

モーサヤ18：11－17を読んで，人々がバプテスマを受けるときに感じていた事柄を表す語句に印を付けるように言う。生徒が印を付けた語句について話し合う。

以下の表を黒板に書き写す（右側の欄を空白にしておく）。

教会員であることによって受ける祝福（モーサヤ18章）	
正しい教義を教えられる。	19節
信仰と悔い改めについて教えられる。	20節
自分に愛を示してくれる人々に囲まれる。	21節
神の子となる。	22節
毎週の集会に出席することによって福音を学ぶ。	25節
祭司たちは御霊と神の知識を受ける。	26節
貧しい人々は会員たちの与えるものを通して助けを受ける。	27－28節

生徒に，モーサヤ18：19－28を読んで，黒板に挙げられた恵みが記されている箇所を確認するように言う。現在の教会員にも同じ恵みが与えられているかどうかを尋ねる。次のように質問する。

「教会はどのような意味で俗世からの避難所あるいはオアシスとなっているでしょうか。」

生徒に，黒板に挙げられているような方法で祝福を受けた経験を分かち合うように言う。神のまことの教会の会員としてわたしたちは大きな祝福と責任を受けていることを証する。モーサヤ18：29－30を読んで，生徒が自分の家庭，ワード，支部をモルモンの泉のように，美しさ，愛，平安，繁栄，守りにあふれた場所であって，福音を学び，福音に従って生活する場所とするように励ます。

モーサヤ19：1－21：15。預言者を通して与えられる主の言葉は必ず果たされる。（30－40分）

以下の12の出来事をそれぞれ別の紙に書いて，黒板にテープで留める。順不同とする。

- ノア王がギデオンに殺されそうになる。
- ノア王の民がレーマン人から逃れる。
- レーマン人がノア王の民を捕虜にする。
- リムハイがノア王の跡を継ぐ。
- ノア王が殺される。
- ノア王の邪悪な祭司たちが荒れ野に隠れる。
- リーハイ・ニーファイの地に平和がある。
- レーマン人の娘たちが踊る。
- レーマン人がリムハイの民を攻撃する。
- ギデオンが難しい状況を救う。
- レーマン人がリムハイの民の命を助ける。
- リムハイの民が奴隷になる。

以下の人または人々に一人ずつ生徒を割り当てる。

- ノア王（モーサヤ19：1－12，20－21）
- ギデオン（モーサヤ19：4－8，18－24；20：17－22）
- ノアの民（モーサヤ19：9－12）
- レーマン人の兵士たち（モーサヤ19：6，14－15；20：7－11，24－26）
- ニーファイ人の美しい娘たち（モーサヤ19：13－15）
- リムハイ王（モーサヤ19：16－17，26－29；20：8－26）
- 邪悪な祭司たち（モーサヤ19：18，21，23；20：3－5，18－23）
- 歌い踊るレーマン人の娘たち（モーサヤ20：1－6，15，18，23）
- レーマン人の王（モーサヤ20：12－15，23－26）
- リムハイ王の民（モーサヤ21：1－13）

生徒に，モーサヤ19－21章の前書きを読んでから，自分に割り当てられた人や人々に関する節を読むように言う。読み終えたら，クラス全員で黒板の12枚の紙を正しい順に並べ替える。10人の生徒（各聖句ブロックから一人ずつ）に，調べた節から学んだ最も大切な教えと，その教えを今日（こんにち）のわたしたちに応用する方法について発表させる。

モーサヤ11：20－21；12：1－5；17：14－18を読んでから，以下の質問をする。

- アビナダイのこれらの預言に共通していることは何でしょうか。
- モーサヤ19－21章はこれらの預言とどのような関係があるでしょうか。（上の預言は皆これらの章の中で成就した。）
- このことは預言者の言葉についてどのようなことを教えているでしょうか。（預言の言葉は必ず成就する。）
- 教義と聖約1：37－38を読んでください。これらの聖句はこの真理をどのように裏付けているでしょうか。

預言者に従うことの大切さについて証（あかし）する。ロバート・D・ヘイルズ長老の以下の話を紹介する。

> 「わたしは，いにしえの預言者たちやこの神権時代のこれまでの預言者たちが有した特質を，今日の預言者たちも確かに備えていることを証します。
>
> わたしたちに託された神の権能により，今日，わたしたちには預言者が与えられていることを厳粛に宣言いたします。教会の大管長すなわち預言者は，地上における神の代表者であり，主の教会を導くために任命されています。……
>
> ……霊的な平安は，生ける預言者のはっきりとした声に耳を傾けることによりもたらされます。わたしたちが彼の声に耳を澄ませその勧告に従うなら，キリストがわたしたちに望んでおられるような生活をし，最後まで堪え忍ぶことができます。そしていつの日か，わたしたちは天父と救い主イエス・キリストのみもとに，家族とともに戻ることができます。」（「預言者の声に聞き従う」『聖徒の道』1995年7月号，18）

モーサヤ21－24章。罪悪は苦難をもたらす。へりくだって福音の聖約を交わして守り，罪を悔い改めるならば，主はわたしたちを苦難から解放してくださる。（45－55分）

注意：この教え方の提案は，この聖句ブロック（モーサヤ18－22章）と次の聖句ブロック（モーサヤ23－24章）の両方を含んでいる。

生徒に以下の状況を想像するように言う。それぞれにカメラが渡されて，「奴隷」「苦難」「苦悩」「試練」または「苦労」のうち，いずれか一つの語を表す写真を撮る仕事が与えられる（あるいは新聞や雑誌からそのような写真を探すように言う）。以下の質問について話し合う。

- あなたは何の写真を撮るでしょうか。
- あなたはこれらの語に当てはまるような経験をしたことがあるでしょうか。またはそのような人を知っているでしょうか。
- これらのチャレンジはあなたにとって祝福だったでしょうか，それともものろいだったでしょうか。それはなぜですか。
- 主はあなたがチャレンジを克服できるように，どのように助けてくださるでしょうか。
- 主の助けを受けるためにあなたは何をしなければならないでしょうか。

モルモン書を執筆した人々についてエズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の話を紹介する。

「彼らがこの日のことを見，わたしたちのためになることを選んでくれたとしたならば，なおさらモルモン書を学ぶ必要があるのではないでしょうか。『この記録をモルモン（モロナイあるいはアルマ）に書くよう主が霊感を与えられたのはなぜだろうか。現代の生活への教訓として何を学べるのだろうか』と絶えず自問する必要があります。」（「モルモン書―わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号，6）

アビナダイの死後，ノア王の民は二つの地域に分かれて住んだことを生徒に告げる。リムハイ王に導かれた民（モーサヤ19―22章）とアルマによって導かれた民である（モーサヤ18章；24―25章）。これら二つの民の物語は主が子らとどのように交わられるかについて興味深い対照を成している。またこれらの物語はわたしたちがチャレンジに対応するための大切な答えを与えている。

以下の表を配付資料として生徒に配る。「リムハイの民」と「アルマの民」の欄は斜体文字で書かれた参照聖句を除いて空白にしておく。最初のグループにはリムハイの民の欄を，第2のグループにはアルマの民の欄を完成させる。

質　問	リムハイの民	アルマの民
どのような民だったか	***（モーサヤ19：2―20）*** ●分裂した（2節参照）。 ●争いが起こった（3節参照）。 ●レーマン人から逃れた（9節参照）。 ●家族を捨てた（11節参照）。 ●娘たちに懇願させた（13節参照）。 ●王を殺した（20節参照）。	***（モーサヤ18：3―21）*** ●アルマを信じた（3節参照）。 ●福音を聞くために出かけた（4節参照）。 ●危険を物ともしなかった（4，6節参照）。 ●悔い改めて，主を信じる信仰を持つように教えられた（7節参照）。 ●神と聖約を交わした（8―11節参照）。 ●恵みに満たされた（16節参照）。 ●争うのでなく，互いに愛し合うように教えられた（21節参照）。
何が起きたか，それにどう対応したか	***（モーサヤ19：22―20：22）*** ●囚われの身となって，所有するものの半分を貢ぎ物として納めた（19：22参照）。 ●2年間，囚われの身に置かれたまま平和に生活した（19：29参照）。 ●レーマン人が攻撃した（20：7参照）。 ●防戦した（20：8―11参照）。 ●囚われの身となることを承諾した（20：22参照）。	***（モーサヤ23：2―37）*** ●主は彼らを強められた（2節参照）。 ●町を築いた（5，20節参照）。 ●非常に栄えた（19―20節参照）。 ●レーマン人が彼らを見つけた（25節参照）。 ●主に叫び求めた（28節参照）。 ●降伏して，囚われの身となることを承諾した（29，36―37節参照）。
囚われの間どのような状態だったか	***（モーサヤ21：3―6）*** ●レーマン人が頬を打った（3節参照）。 ●レーマン人が権力を振るった（3節参照）。 ●レーマン人が重荷を負わせ，動物のように追い立てた（3節参照）。	***（モーサヤ24：8―14）*** ●アミュロンが迫害した（8節参照）。 ●アミュロンが権力を振るい，見張りの監督を置いた（9節参照）。 ●苦難は非常に大きかった（10節参照）。 ●死の恐怖にさらされた（12節参照）。 ●肩に荷を負わされた（14節参照）。
この囚われの状態にどう対応したか	***（モーサヤ21：6―14，25―26）*** ●つぶやき始めた（6節参照）。 ●戦いに行って，3度敗れた（7―12節参照）。 ●へりくだらざるを得なかった（13―14節参照）。 ●奴隷となり虐待された（13節参照）。 ●主に熱烈に叫び求めた（14節参照）。 ●助けを求めるために人を派遣した（25―26節参照）。	***（モーサヤ24：10―16）*** ●神に熱烈に叫び求めた（10節参照）。 ●心の中で祈った（12節参照）。 ●喜んで従った（15節参照）。 ●信仰と忍耐を示した（16節参照）。
その対応はどのような結果につながったか	***（モーサヤ21：15―22：16）*** ●主は彼らの嘆願を聞き届けるのを遅くされた（21：15参照）。 ●主が敵の心を和らげてくださったので，敵は彼らの重荷を軽くした（21：15参照）。 ●すぐには解放されなかった（21：15参照）。 ●次第に繁栄した（21：16参照）。 ●ほかの人々を助けた（21：17参照）。 ●神に仕えることを聖約した（21：31参照）。 ●レーマン人の見張りの兵にぶどう酒を与えた。すると兵は深く寝入った（22：7，10参照）。 ●逃れた（22：11参照）。	***（モーサヤ24：13―25）*** ●主は彼らに話された（13節参照）。 ●主は解放すると約束された（13節参照）。 ●主は重荷を軽くされ，彼らを強められた（14―15節参照）。 ●主は「明日」解放すると約束された（16節参照）。 ●主は見張りの兵を深く眠らせられた（19節参照）。 ●逃れた（20節参照）。

生徒が表を完成させたら，見つけた事柄について話し合う。二つのグループに，リムハイの民とアルマの民について学んだ事柄を比較対照させる。以下の質問について話し合う。

- リムハイやアルマの民が遭遇した奴隷の状態と比較することができるような今日の問題や困難にはどのようなものがあるでしょうか。
- チャレンジに直面することについて，わたしたちはこれらの人々から何を学ぶことができるでしょうか。
- あなたは主がどのような方法で試練や苦難から解放してくださると信じていますか。
- これら二つの出来事からあなたが学んだ最も大切な教訓は何でしょうか。

生徒に，アルマ32：13，16を読むように言う。次のように質問する。「リムハイの民について最もよく説明しているのはどの節でしょうか。アルマの民についてはどうでしょうか。」生徒に自分たちについて最もよく説明しているのはどの節で，それはなぜかを

尋ねる。次のように質問する。「自発的にさらに主の前に謙遜になるにはどうすればよいでしょうか。」

はじめに

モーサヤ23－24章には引き続き，アルマとその民の物語が記されている（モーサヤ18章参照）。ノア王の手の届かない所へ逃げてモルモンの泉で教会を組織したこれらの忠実な聖徒は，レーマン人に捕らえられて奴隷の状態になった。主は，彼らの信仰と義のゆえに彼らを敵の手から解放された。アルマの民はゼラヘムラでニーファイ人と一緒になることができた。

モーサヤ書の中のほかの多く章と同じように，これらの章は試練と苦難からの解放というテーマを強調している。ベニヤミン王はイエス・キリストの贖罪を通して霊的に解放されることについて述べた。自らの選択によって奴隷の境遇に置かれたリムハイの民もまた，へりくだって主の御心に従うことにより，物理的な束縛から解き放たれた。アルマの民は引き続き信仰を持ち，従順であったため，物理的な束縛から解き放たれた。彼らは主に叫び求め，主はその声を聞いて，祈りにこたえられた。わたしたちが遭遇する試練が物理的なものであれ，霊的なものであれ，また自身の決断の結果であれ，堕落した世界に住んでいるためであれ，自由をどこに求めるべきかについてアルマが示した模範から学ぶことができる。

学び取るべき重要な福音の原則

- 人民の選んだ指導者によって政府が構成されている場合，人民は社会の善と悪に対して責任の一端を担う（モーサヤ23：6－13参照。モーサヤ29：8－32も参照）。
- 人が福音を宣べ伝え，その儀式を執行する権限を受けるには，預言によってまた権能を持つ人々の按手によって神から召されなければならない（モーサヤ23：14－18参照。モーサヤ18：13，17－20；信仰箇条1：5も参照）。
- 天父はわたしたちの成長に関心を寄せておられる。試練を堪え忍ぶことができるように，天父は時々わたしたちを強めてくださる。また，重荷を軽くしてくださることもある（モーサヤ23：21－24：25参照。モーサヤ21：15－16も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』69－70。

教え方の提案

モーサヤ23：6－14。人民の選んだ指導者によって政府が構成されている場合，人民は社会の善と悪に対して責任の一端を担う。（15－20分）

生徒に，自分たちの指導者になってほしいと思う人にこれから投票すると告げる。生徒は二人のうち，一人を選ばなければならない。候補者はベニヤミン王とノア王である。二人の生徒に候補者の応援演説をさせる。最初の生徒に，ベニヤミン王に投票するように説得する簡単な演説をさせる。演説の中でモーサヤ2：10－16を使うように言う。2番目の生徒にモーサヤ11：1－9を引用して，ノア王を応援する演説を行うように言う。全員に以下の質問をする。

- もし選ぶ機会が与えられるとしたら，どちらの人を自分たちの指導者として選ぶでしょうか。それはなぜですか。
- 指導者はどのような特質を持っていることが大切だと思いますか。
- 邪悪な指導者にはどのような危険性が潜んでいるでしょうか。
- 指導者を選ぶときに，人々にはどのような責任があるでしょうか。
- 指導者を選ぶ人々にはなぜ自分たちの社会で起きる善悪に対してある程度責任があるのでしょうか。

アルマの民はアルマを深く愛していたので，彼に王になってほしいと考えたことを生徒に告げる（モーサヤ23：6参照）。しかしアルマは王が人々を治めることに懸念を抱いていた。モーサヤ23：6－14を読んで，指導者を選ぶことについてアルマはどのような警告を発したかを尋ねる。聖典の中には，人々が王によって導かれた時代と，王がいなかった時代があることを生徒に告げる。モーサヤ23：8，14をもう一度読んで，指導者を選ぶ機会があれば，義にかなった人を選ぶことが大切であることを生徒が理解できるように助ける。

生徒に，モーセ7：53を読んで，ここで言われている王はだれのことかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- イエス・キリストはどのような意味で王と考えることができるでしょうか。
- 救い主が持っておられる特質の中で，世の指導者に持ってほしいと思われる特質にはどのようなものがあるでしょうか。
- わたしたちはどのようにして天の王に支持と愛を表すことができるでしょうか。
- イエス・キリスト御自身が福千年で地を治められるとき，わたしたちの生活はどのように変わると思いますか。
- モーサヤ23：8は，イエス・キリストがわたしたちの王であられるということについてどのように当てはまるでしょうか。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の証を紹介する。

「イエス・キリスト〔は〕神の御子〔です〕。主はたぐいない永遠の力で死に打ち勝たれました。キリストは世の贖い主です。わたしたち一人一人のためにその命をささげられました。しかし主は再び命を取り戻し，眠っている者の初穂となられたのです。キリストは王の王として，すべて

の王の上に君臨しておられます。また，全能者としてすべての統治者の上に君臨しておられます。主はわたしたちの慰めです。霊が肉体を離れるときにわたしたちを取り囲む，この世の夜の闇のとばりに対する真の慰めであります。……

この御方はわたしたちの王，主，教師，生けるキリストであり，御父の右手に立たれる御方です。キリストは生きていらっしゃいます。真実，生きていらっしゃいます。栄光に満ちた，驚嘆すべき生ける神の生ける御子です。」（「栄えあるイースターの朝に」『聖徒の道』1996年7月号，77）

モーサヤ23：14－18。人が福音を宣べ伝え，その儀式を執行する権限を受けるには，預言によってまた権能を持つ人々の按手によって神から召されなければならない。（20－25分）

生徒に鎖を見せるか，黒板に絵を描く。これは「権能の鎖」であることを告げ，最初の環が主を表し，最後の環が現在の預言者を表すと考えさせる。現在の預言者は使徒によって任命され，その使徒はほかの使徒によって聖任され，鎖をさかのぼってペテロ，ヤコブ，ヨハネ，そしてイエス・キリストまで行き着くことを説明する。以下の質問について話し合う。

- 権能の鎖がイエス・キリストから預言者までつながっていることはなぜ大切なのでしょうか。
- この権能の鎖が切れていたとしたらどのようなことが起きていたでしょうか。
- すべての神権者が正しい権能によって召されることはなぜ大切でしょうか。

生徒に聖典から信仰箇条を開くように言う。これまで話し合ってきたことを最もよくまとめているのは何節かを尋ねる。

信仰箇条5節を，現在の神権の召しに関連する原則ごとに分割し（例えば「神から召され」），黒板に書き出させる。これと同じ原則がモルモン書の中でも守られていることを説明する。生徒に，モーサヤ18：13；23：16－18を調べて，これらの原則を説いている語句を挙げさせる（例えば「神から」〔23：17〕）。次のように質問する。「どうしてこれらの原則がモルモン書の中にも見られると思いますか。」

アロン神権者の生徒にアロン神権に関するプレゼンテーションをさせてもよい。アロン神権の権能が今日教会内でどのように継承されているかについて説明させるとよい。神権の大切さについて証し，神の権能は神の教会の中でしか見ることができないことを生徒に理解させる。副管長であった時代にジョセフ・フィールディング・スミス大管長が語った以下の言葉を読んで，締めくくる。

「神権は神御自身が持っておられる力の一部を選ばれた僕たちに授けられたものです。それは彼らが神の御名において福音を宣言し，福音のすべての儀式を執行できるようにするためです。……

人は，神の権能である神権を受けずに主の御名において正当に行動することはできません。いかなる人もこの栄誉を自分で受ける力や権利を有していません。……そのように行ったとしても，その人の行動は諸天において効力を持つこともなく，また承認されることもありません。……

神権すなわち神の権能の問題は非常に大切です。なぜならばそれはわたしたち一人一人の救いに関係があるからです。神の王国に入るにはその王国の律法に従わなければなりません。この王国の儀式典礼を正式に執行できるのは権能を与えられた役員だけです。業を行うよう聖任されているのでなければ，権能を受けてそれを執行する権利はいかなる人にもありません。そのような行為は承認されていない行為であり，律法に反する行為です。」（Conference Report，1966年10月，83－84）

モーサヤ25－29章

はじめに

モーサヤ25－29章は紀元前120年から91年ごろまでのゼラヘムラにおいて起きたことを記録したものである。リムハイの民とアルマに従った者たちを含むゼニフの移民団はゼラヘムラへ戻り，モーサヤ王の掟に従って彼らに合流した。不信者によって多くの教会員が罪悪に誘われはしたが，この時期は平安と繁栄の時期であった。

モーサヤ王は義にかなって民を治めた。晩年に起きた以下の大切な出来事は，モーサヤの死後も民に祝福と守りをもたらす助けとなった。(1) モーサヤは父アルマにゼラヘムラで教会を組織する権能を授けた。(2) モーサヤは信者と不信者が平和に暮らすための法律を定めた。(3) 息子アルマとモーサヤの息子たちは奇跡的な方法によって改心し，生涯を神に仕えるためにささげた。(4) モーサヤは解訳器（ウリムとトンミム）を使ってヤレド人の記録を翻訳した。(5) モーサヤは息子アルマに真鍮の版，その他宗教的な記録，古代の遺品を管理する責任を託し，神の民に関する記録を書き続けるよう命じた。(6) モーサヤは王でなくさばきつかさが民を治めることを提案し，民はこれに合意した。(7) 息子アルマは教会の大祭司として，また，最初の大さばきつかさとして仕えた。

学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちは聖文を読むことによって喜びと感謝の念に満たされ，罪に対して悲しみを覚える（モーサヤ25：4－12参照。ヨシュア1：8；2テモテ3：15－17も参照）。
- 悔い改めて，聖約を守り，忠実に堪え忍ぶ人々は物質的，霊的に祝福を受け，永遠の命を受け継ぐことができる（モーサヤ25：17－24；26：15－24参照。教義と聖約14：7も参照）。
- 真の福音を信じない者，主に従わない者，主の名を呼び求めない者は主と主の祝福から自らを遠ざける（モーサヤ26：1－6，25－32参照。申命28：1－6，15－19も参照）。
- 個人の啓示を受けるために，しばしば霊的に大きな努力を要求される（モーサヤ26：7－14参照。エノス1：1－6；公式の

宣言二；ジョセフ・スミス―歴史1：10－16も参照）。

- 破門された人は教会における会員資格を失う（モーサヤ26：29－36参照。3ニーファイ18：31；教義と聖約134：10も参照）。
- 悔い改めるには，告白し，悲しみを覚え，罪を捨て，償い，人を赦し，心を入れ替えなければならない。悔い改めは霊的な再生と主の赦しによる喜びをもたらす（モーサヤ27：11－37参照。アルマ36：6－26も参照）。
- イエス・キリストの弟子たちはイエス・キリストの証を持ち，人々を愛し，人々の永遠の幸福を望むことによって，伝道する意欲をかき立てられる（モーサヤ28：1－9参照。教義と聖約4：1－7も参照）。
- ウリムとトンミムを持つ人は聖見者と呼ばれる（モーサヤ28：10－16参照。モーサヤ8：13－17；教義と聖約107：91－92；ジョセフ・スミス―歴史1：35も参照）。
- 指導者は義にかなった裁きを行い，神の律法に従って仕える責任がある（モーサヤ29：11－44参照。ジェロム1：7，11－12；教義と聖約107：99も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』71－74。

教え方の提案

モーサヤ25章。教会員はともに集まって，預言者が宣言する神の言葉に耳を傾けることにより，互いに強め合う。（25－30分）

教会員は大きな犠牲を払って預言者や使徒が語る大会に出席することがあることを生徒に説明する。十二使徒定員会会員のM・ラッセル・バラード長老の以下の話を紹介するか，生徒が知っている同様の話を分かち合うように言う。

「わたしはボリビアのラパスで開かれた地区大会を管理する割り当てを受けていました。遠く離れた小さな町や村から，集会に出席することを決意して，大きな犠牲を払ってやって来た人々がいました。神権指導者訓練集会が始まる前に，わたしは集っていた兄弟たちを歓迎しました。すると一人の年配の兄弟のシャツが胸から上と下で色が違うことに気づきました。上が白で，下が赤茶けていました。彼と3人の同僚は全員がメルキゼデク神権者で，長い時間をかけて会場までやって来ました。旅の大半が徒歩で，川を二つ渡って来ました。茶色がかった赤い水の流れるその川を，胸まで水に浸かって渡って来たのでした。手を振ってトラックを止め，荷台に乗せてもらいました。旅の最後の2時間はトラックの荷台に立ったまま運んでもらったのでした。

彼らの犠牲と，犠牲に対する彼らの態度に接し，わたしはこの上なく謙遜になりました。これらの忠実な兄弟の一人がこう言いました。『バラード長老，あなたは主の使徒です。この兄弟たちとわたしは，あなたから教えを受けるためなら，たとえ何を求められたとしても行うでしょう。』」（"The Law of Sacrifice," *Ensign*，1998年10月号，11－12）

以下の質問について話し合う。

- 人々はどのような動機からこのような犠牲をささげるのでしょうか。
- 教会員が集まるときにどのような祝福がもたらされ得るでしょうか（教義と聖約6：32参照）。

モーサヤ25：1－4を読んでから，以下の質問をする。

- この特別な集会にはどのような人々が集ったのでしょうか。
- ゼラヘムラの民がリムハイの民やアルマの民と一緒になってからどれほどの期間が過ぎていたでしょうか（約80年。モーサヤ9章と24章の前書きを参照）。
- この特別な集会で再会したこれらの人々はどのような様子だったと想像できるでしょうか。

ゼラヘムラのこの集会は現在の総大会と比べることができると生徒に告げる。生徒用学習ガイドのモーサヤ25章から活動Aをここで行う。活動を終えたら，正解を発表し，話し合う。

モーサヤ26章。個人の啓示を受けるために，しばしば霊的に大きな努力を要求される。（35－40分）

黒板に以下の質問を書いて，全員で話し合う。

- 若人が直面する最も難しい問題は何でしょうか。
- 両親が直面するとあなたが考える最も難しい問題は何でしょうか。
- 預言者が直面するとあなたが想像する最も難しい問題は何でしょうか。

自分の問題が何かをはっきりさせることは大切であるが，それらを解決することの方がもっと大切であることを生徒に話す。以下の質問について話し合う。

- 問題を解決するためにあなたは第1段階として何をするでしょうか。
- ほかにどのような段階を踏むでしょうか。
- 問題を解決することについて両親や預言者からどのようなことを教わってきたでしょうか。

以下の言葉を読んで，問題解決にどのように応用できるかを話し合う。マリオン・G・ロムニー副管長はこのように語った。

「今日世の中に起きている問題のおもな原因の一つは，人々が主の御心を求めず，またそれを行わないことにあります。そして自分自身の知恵ややり方に頼って問題に対処しようとしているのです。主が戒めの書のはしがきとして与えられた教義と聖約の第1章には，地上の民に向けてなされた主の預言どおり，このことが災いの元になると示されています。この力強い言葉に耳を傾けてみましょう。

『彼らはわたしの定めから離れ去り，わたしの永遠の聖約を破った。

彼らは主の義を打ち立てるために主を求めようとせずに，すべての人が自分の道を……歩む。』（教義と聖約1：15－16）」（「一致」『聖徒の道』1983年7月号，30）

十二使徒定員会会員であった時代にハロルド・B・リー長老はこのように語っている。

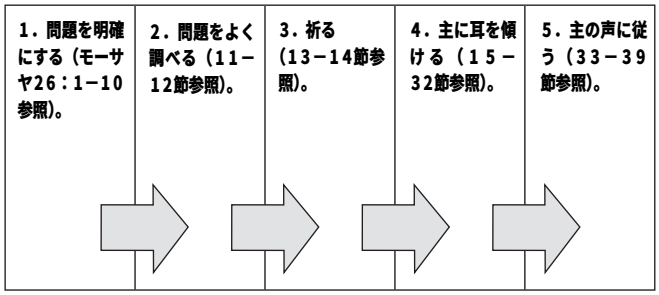
「もし祝福が欲しいと思うのならば，ひざまずいて，そのことについて祈るだけでは不十分です。求めている祝福を受けるにふさわしい者となるために，考えられる限りの方法で自分自身を整えてください。」（*The Teachings of Harold B. Lee*〔1996年〕，129）

後に，大管長としてリー長老はこのように語った。

「あなたにできる最も大切なことは，神と話すことを学ぶことです。父親に話すように話してください。神はあなたの御父だからです。御父はあなたが話しかけることを望んでおられます。御父はあなたが聞くことを学ぶように望んでおられます。あなたが耳を傾けるとき，すべきことを告げるために御霊（みたま）によって様々な印象をお与えになるのです。心にわく突然のひらめきに注意を払えるようになると，最も必要とするときにそれが与えられるようになるでしょう。このような促しを聞く耳を養うつもりならば，あなたは啓示の霊によって歩むことを修得するでしょう。」（*Teachings*，130）

次のことわざについて生徒とともに話し合う。「あらゆることが主にかかっているかのように祈りなさい。そして，すべてのことが自分にかかっているかのように働きなさい。」

以下の表を黒板に書き写す。問題を解決するためのこのパターンはモーサヤ26章で用いられていることを生徒に話す。



モーサヤ26：1－10を読んでから，以下の質問について話し合う。

- アルマはどのような問題に直面していたでしょうか。
- 若い世代の罪悪は何が原因となっていたでしょうか。
- この問題に直面したアルマはどのようなことを感じたでしょうか。
- 現代に見られる同じような問題は何が原因となっているでしょうか。
- 両親や神権指導者はこの問題についてどれほど心配していると思いますか。それはなぜでしょうか。

11－12節を読んで，以下の質問をする。

- この問題を解決しようとしてアルマは何をしたでしょうか。
- なぜモーサヤに相談することが助けになると思ったのでしょうか。
- 教義と聖約9：7－8を読んでください。この聖句はアルマのとった行動とどのような関連があるでしょうか。

十二使徒定員会会員だったマーク・E・ピーターセン長老の言葉を一人の生徒に読むように言う。

「力のない祈りを何度かささげさえすれば，〔神の〕助けが得られると考えてはなりません。わたしたちが救いに導かれるためには，弱々しく嘆願しているだけでは不十分なのです。」（Conference Report，1968年4月，62）

モーサヤ26：13－14を読んで，以下の質問をする。

- アルマの祈りが「弱々しい」ものでなかったことはどの語句に表れているでしょうか。
- 問題を解決する助けとなる答えを受けるために，全身全霊を尽くして祈らなければならないのはなぜでしょうか。

モーサヤ26：15－19に出てくる「幸いである」という語すべてに印を付けるように言う。主はアルマの嘆願にこたえられ，慰めと安心を与えておられることを説明する。わたしたちの問題について助けを求めて主に願うときに，主は同じようにされることを証する。モーサヤ26：20－21を読んで，アルマに与えられた大きな祝福を見つける。

生徒に，モーサヤ26：22－32に素早く目を通して，この問題について主がアルマにどのような指示を与えられたか見つけるように言う。以下の質問をする。

- 主は信じようとしない人々をどう扱うようにアルマに命じられたでしょうか。
- 悔い改めた人々に対して主はどのような指示をお与えになったでしょうか。
- 30節に記されている教義を知ることや信じることはなぜ大切でしょうか。

生徒にモーサヤ26：33－39からアルマが主の勧告に従ったことを示す語句を見つけるように言う。見つけた事柄について話し合う。

あなたが問題を解決するために主から霊感を受けたときの経験を分かち合うか，そのような経験を分かち合うように生徒に言う。生徒が生活の中で問題に直面したときにこのパターンに従うよう奨励する。

モーサヤ27章。悔い改めるには，告白し，悲しみを覚え，罪を捨て，償い，人を赦（ゆる）し，心を入れ替えなければならない。悔い改めは霊的な再生と主の赦しの喜びをもたらす。（50－60分）

以下のたとえまたはあなたが自身で考えたたとえを使う。それぞれのたとえは悔い改めとどのように関連しているか質問する。

- 汚れた皿と清潔な皿か汚れた布と清潔な布を見せる。（悔い改めは清めの過程である。）
- 2本の糸またはロープを見せる。1本に多くの結び目を作っておく。（悔い改めは過ちを元に戻してくれる。）

生徒に悔い改めに関連したほかのたとえを考えるように言う。それらについて全員で話し合う。モーサヤ27：25－29を読んで，以下の質問をする。

- これらの聖句は悔い改めについてどのようなことを教えているでしょうか。
- この過程を表すためにどのような言葉が使われているでしょうか。

- なぜ人は皆変わることや贖われることが必要なのでしょうか。（すべての人は罪を犯すから。）
- 「新たな者」になるとはどのような意味だと思いますか（26節）。

モーサヤ27章に記されている息子アルマの経験から悔い改めについて多くを学べることを生徒に告げる。ほとんどの人にとって悔い改めの過程はそれほど劇的なものではないが，アルマの経験に見られる悔い改めの原則はわたしたち一人一人に応用できるものである。

黒板に見出しとして「以前のアルマ」「後のアルマ」と書く。生徒に，モーサヤ27：8－12を読んで，悔い改める前のアルマがどのような人であったかを説明する語句を探すように言う。見つけた語句を黒板の「以前のアルマ」の下に書き出す。以下の質問をする。

- この説明の中で特にあなたの注意を引いたのはどの部分でしょうか。それはなぜですか。
- これらの中で今日の人々の間でよく見られるのはどのような行動でしょうか。

モーサヤ27：32－37を読んで，アルマに起きた変化を探す。生徒が見つけた事柄を黒板の「後のアルマ」の下に書き出す。以下の質問について話し合う。

- アルマの生涯のこの時期において，あなたが最も感銘を受けたのはどのようなことでしょうか。
- アルマが悔い改めた後に味わった喜びと，以前に感じていた惨めな思いを比べたときに，アルマはどれほど大きな喜びを感じたと思いますか（28－29節参照）。
- 今日の人々にもこのような変化が起こり得ると思いますか。なぜ起こり得るでしょうか。あるいはなぜ起こり得ないでしょうか。

モーサヤ27：24，28を読んで，「悔い改め」という語に印を付けるように言う。この変化は人々が悔い改めて，イエス・キリストの贖いの力を受けた後に初めて起こることを証する。

以下の悔い改めの原則を生徒と分かち合う。ニール・A・マックスウェル長老の話を読んでから，質問について話し合い，アルマが従った悔い改めの原則はわたしたちにも適用されることを生徒が理解するように助ける。

わたしたちは悔い改める必要がある

「悔い改めは，主の王国において最も重要で憐れみに満ちた教義の一つです。しかし，……わたしたちは悔い改めの原則をほんとうに理解し，実践しているでしょうか。……悔い改めとは，『日々自分の十字架を負う』（ルカ9：23）ことでもあります。また，悔い改めなくしては，明らかに『聖徒たちをととのえ』る（エペソ4：12）ことはできないのです。

悔い改めは決して重苦しい教義ではなく，人を救いへと導くものです。邪悪な罪人だけでなく，少しずつでも成長しようと努力する善人にとっても必要です。……

ほんとうの悔い改めは，ただ機械的にチェックリストに印を付けるというような単純作業ではなく，持って生まれた肉体的な欲求や欲望を抑制することです。悔い改めの過程は，同じことが繰り返されたり，それぞれの要素が互いに影響を及ぼし合ったりしながら進みますが，どの段階も一つ一つ欠くことのできない重要なものです。この過程を進む強さは各人の決意により左右されますが，ほかの人の援助も大きな支えとなります。」

- モーサヤ27：11－17を読んでください。アルマを助けるために父アルマと人々の祈りはどのような働きをしたでしょうか。
- アルマに悔い改めるよう求めるためにだれが訪れたでしょうか。
- わたしたちはどのような方法によって悔い改めのメッセージを受けているでしょうか。（預言者，聖典，聖霊）

何が悪いかを知らなければならない

「悔い改めるためには，まず第1に，誤った行いを認める必要があります。状況からやむを得ず認めるにせよ，自ら反省して認めるにせよ，あるいはまたどうしても忘れることができずに苦しんだ結果として認めるにせよ，とにかく自分の罪を否定する心を改めなくてはなりません。ついに『本心に立ちかえっ〔た〕』（ルカ15：17）放蕩息子が経験したように，罪を認めた瞬間に，明るく照らす光により『現在のことをありのままに』（モルモン書ヤコブ4：13）理解し始めるのです。……罪を認めると，わたしたちは恥ずかしさのあまりよく顔を赤らめますが，それは神聖な瞬間と言えます。」

- アルマ36：12－13を読んでください。アルマが自分の罪の重大さに気づいたことを示している語句はどれでしょう。
- 罪を犯していたことを認めることはなぜ大切だと思いますか。

神の御心に添った悲しみを覚えなければならない

「罪を認めると，ほんとうの悲しみが心を覆います。その悲しみは，『この世の悲しみ』でも『罰の定めを受ける者の悲しみ』でもなく，二度と『罪のあるままで幸福になる』ことのない『神のみこころに添うた悲しみ』です（2コリント7：10；モルモン2：13参照）。……

心から悔い改めるには，自ら苦しみ，十分な時間をかけて罪を清め，新たな出発をしなくてはなりません。単に悲しみの感情が収まるのを待つだけでは十分とは言えません。……

ほんとうの悲しみはすぐに良いしるし，すなわち『悔改めにふさわしい実』（マタイ3：8。使徒26：20；アルマ5：54参照）を生じます。『時がたって』（モーセ7：21）その実はつぼみとなり，花が咲き，実をつけるのです。」

- モーサヤ27：28；アルマ36：12－17を読んでください。悔い改めるためになぜ，悲しみすなわち神の御心に添った悲しみが必要だと思いますか。

罪を告白しなければならない

「ほんとうの悔い改めの中には，告白が含まれます。……告白することによって，心の中に病巣を作っていた罪を一掃し，退いていた御霊を新たに呼び戻すことができるのです。

あらゆる罪は主に対して告白しなければなりませんが，中には教会の役員やそのほかの人に告白したり，これらすべての人に告白すべき場合もあります。わずかですが，公衆の面前で告白すべき場合もあります。罪を告白すると，罪を捨てることがたやすくできるようになります。公然とまた多くの人に対して罪を犯しておきながら，『神はわたしたちをほんの少し鞭打たれるだけで』（2ニーファイ28：8。教義と聖約42：88－93参照），直ちに，またひそかに赦されると期待することはできません。」

- モーサヤ27：35を読んでください。アルマはだれに自分の罪を告白したでしょうか。
- この告白はアルマが傷つけた人々を助けることになったと思いますか。
- わたしたちは罪を正しく告白することによってどのような祝福が与えられると思いますか。

罪を捨てなければならない

「ほんとうに悔い改めると，実際に罪を捨てるようになります。『悔い改めて，あなたがたのすべてのとがを離れよ。さもないと悪はあなたがたを滅ぼす。』（エゼキエル18：30）……

このようにして，『人が罪を悔い改めたかどうかは，これによって分かる。すなわち，見よ，彼はそれを告白し，そしてそれを捨てる』（教義と聖約58：43）のです。

罪を捨て，新しい一歩を踏み出すこの苦しい段階を乗り越えるためには，孤独ではなく，ほかの人々の心からの愛と支えが必要です。」

- アルマ36：23－25を読んでください。アルマが罪を捨てたことはどのような証拠が示しているでしょうか。
- 罪を捨てることはどれほど簡単なことでしょうか。それはなぜですか。
- 罪を捨てる力を強めるにはどうすればよいでしょうか。

可能であれば元の状態に戻さなければならない

「罪を償うことも必要です。

『罪を犯し……たならば，彼はそのかすめた物，しえたげて取った物，預かった物，拾った落し物，……すべての物を返さなければならない。』（レビ6：4）

しかし，実際に償うことが不可能な場合もあります。例えば，相手の信仰や純潔を失わせたような場合です。ただし，その後に義の模範を示すというのは，罪を償う一つの方法と言えましょう。」

- モーサヤ27：35を読んでください。償いをするとはどのような意味でしょうか。
- アルマは自分の罪を償うために何をしたでしょうか。

悔い改めの後に得られる大きな祝福

「しかしながら，真の悔い改めに伴って，特別な約束が与えられています。

『たといあなたがたの罪は緋のようであっても，雪のように白くなるのだ。紅のように赤くても，羊の毛のようになるのだ。』（イザヤ1：18）

『その犯したもろもろのとがは，彼に対して覚えられない。』（エゼキエル18：22）

『主なるわたしはもう〔その罪〕を思い起こさない』！（教義と聖約58：42）

以上述べた様々な理由でわたしたち個人個人は悔い改めなくてはなりませんが，それと同時に教会員には果たすべき特別な責任があります。それを示現で見たニーファイは，このように述べています。『地の全面に散っている』主の聖約を受けた民が将来いつか『義と神の力とをもって，大いなる栄光のうちに武装』するのです（1ニーファイ14：14）。これは確かに起こりますが，それにはもっと多くの会員が清くなり，神の目にかなった行動をするようにならなくてはなりません。」（「悔い改め」『聖徒の道』1992年1月号，34－37）

- モーサヤ27：29－31；アルマ36：19－21を読んでください。アルマは悔い改めによって得られる喜びをどのように表現しているでしょうか。

これらの悔い改めの原則に従うことそれ自体で赦しが得られるのでなく，主から赦しを受ける場所に置かれただけであることを生徒に説明する。実際の赦しは主によって与えられ，人に平安を得させるのである。

この喜びはわたしたち一人一人が得ることができるということを示す経験のある生徒がいれば，分かち合うように言う。「主に来たれ」（『賛美歌』67番）を歌う。主に心を向けて，罪を悔い改めるよう生徒に奨励する。

モーサヤ28：1－9。イエス・キリストの弟子たちはイエス・キリストの証を持ち，人々を愛し，人々の永遠の幸福を望むことによって，伝道する意欲をかき立てられる。（20－25分）

次のように質問する。「宣教師になろうと考えている人々が伝道したいと思う理由にはどのようなものがあるでしょうか。」答えを黒板に書き出す。以下のような答えが考えられる。

- 「わたしは自分の証を強めたいと思っています。伝道は救い主に近づくためのすばらしい方法だと思います。」
- 「伝道によって教育や就職，家庭生活などの人生の様々なチャレンジに備えることができると思います。」
- 「戒めだからです。わたしは戒めを守ることが大切だと信じています。」
- 「わたしは救い主を愛しています。救い主の福音を分かち合いたいと思います。」
- 「友達が全員行ったからです。そして彼らはすばらしい経験だと言っています。難しいけど，楽しい経験になると思います。」

以下のような質問をして，挙げられた理由について話し合う。

- 伝道に出る理由として挙げられた一つ一つについてどのように感じますか。
- 伝道に出る理由はどのようなものであるべきだと思いますか。

生徒に，モーサヤ28：1－3を読んで，モーサヤの息子たちが伝道したいと考えた理由に印を付けるように言う。以下の質問をする。

- 彼らの理由と黒板に書かれている理由に違いがあるでしょうか。
- 宣教師がそのような動機によって伝道に出たら，何か違いが表れるでしょうか。

十二使徒定員会のデビッド・B・ヘイト長老の以下の話を読む。

「専任宣教師として主に仕えるのは特権です。専任宣教師としての奉仕の第1の目的は，神の王国を築くことにあります。そして，主は最も優れた使者を必要としておられるのです。この召しにこたえる若い男女は，若い時期における最も厳しいチャレンジに対して，霊的にも知的にも，また感情や肉体の面においても備えなければなりません。

確かに宣教師はその奉仕を通して強められ，高められ，成長しますが，それが彼らの第一目的ではありません。また宣教師本人も，その家族や指導者も，伝道に出さえすれば，未解決の問題も何とかなるだろうなどと考えるべきではありません。主はわたしたちに最善を求めておいでになります。主は，ただ歩くだけでなく，肉体的にも霊的な意味でも走ることのできる人を求めておられます。そして，清さと力，確信をもって永遠の力を行使できる人を必要としていらっしゃるのです。」（「伝道活動－わたしたちの責任」『聖徒の道』1994年1月号，70）

モーサヤ28：5－9を読んで，モーサヤの息子たちに何が起きたかを探す。以下の質問について話し合う。

- モーサヤの息子たちを伝道に召したのはだれでしたか。
- 主はモーサヤに息子たちについてどのような約束をされたでしょうか。
- モーサヤの息子たちは伝道するために何を犠牲にしたと思いますか。
- 今日（こんにち），伝道に出るためにどのようなことを犠牲にしなければならないでしょうか。

9節の「彼らが行ったことについての話」はアルマ書にも見られることを生徒に告げる。生徒はこの話を研究することによって，モーサヤの息子たちが伝道によって受けた祝福は，犠牲をささげるだけの価値があったことを見いだすであろう。

モーサヤの息子たちの時代と同じように，今日の伝道の召しも主の啓示によって与えられることを証する。栄（は）えある専任宣教師として働くためのふさわしさを維持するよう生徒を励ます。

モーサヤ28：10－20。ウリムとトンミムを持つ人は聖見者と呼ばれる。（10－15分）

以下のヘブライ文字を黒板に書き写す（これは「救いは主のものです」という意味である。詩篇3：8参照）。

יהוה הישועה

この文章に記されている事柄は生徒の救いに必要なものであると想像するように言う。以下の質問について話し合う。

- ヘブライ語を読めないとしたら，この情報はどれほど役立つでしょうか。それはなぜですか。
- それを翻訳することはあなたにとってどれほど大切でしょうか。

聖文は非常に大切であるため，人々がそこに記されている言語を読めない場合に，主はそれらを翻訳する手段を用意されたことを生徒に話す。生徒に，モーサヤ28：10－20を読んで，以下の質問の答えを見つけるように言う（レッスンが始まる前に質問を黒板に書き出しておいてもよい）。生徒が見つけた事柄を話し合う。

- モーサヤは息子たちが伝道の召しを受けてから，どのようなことが気がかりとなっていたでしょうか。
- モーサヤは解訳器を持っていたために何と呼ばれたでしょうか（16節参照）。
- 12節から19節のどの語句が，理解できる言語に翻訳された聖文を持つことの大切さを示しているでしょうか。
- 教会の資料のうち，日本語に翻訳されている資料にはどのようなものがあるでしょうか。
- あなたにとってその資料はどれほどの価値があるでしょうか。
- モーサヤは神聖な記録と解訳器，そのほか神聖な遺品をだれに託したでしょうか（20節参照）。
- アルマがこれらの記録を受ける資格があり，ふさわしかったことを示す証拠をどこに見つけることができるでしょうか。

モーサヤ29章。わたしたちは，政治指導者に従うべきこと，法律を守るべきことを信じる。指導者は義にかなった裁きを行い，神の律法に従って仕える責任がある。（20－25分）

29章でモーサヤは統治に関する提案書を書いて，それを民に送ったことを生徒に話す。モーサヤ29：1－4を読んでから，次のように質問する。「どのような状況からこの提案を行ったのでしょうか。」（モーサヤは死が近かった。息子たちは王になることを辞退した。）

クラスを3つのグループに分けて，各グループに以下の3種類の指導者について調べる割り当てを与える。義にかなった王，不義な王，さばきつかさ。グループでモーサヤ29：11－25，28－36を素早く読んで，どのような種類の指導者を選んだか，ニーファイ人にとって統治形態を変えることがなぜ大切だったかについてモーサヤが語ったことを見つけるように言う。グループが見つけた事柄について話し合う。モーサヤ29：37－42を読んで，以下の質問をする。

- 民はモーサヤの言葉に対してどのようにこたえたでしょうか。
- 民はモーサヤに対してどのような思いを抱いていたでしょうか。それはなぜですか（40節参照）。
- 最初の大さばきつかさに任命されたのはだれでしょうか。

- 息子アルマはほかにどのような職に就いたでしょうか。

モーサヤ29：39を読んで，ニーファイ人は自分たちの指導者を選ぶ自由を得たことをなぜ喜んだかについて話し合う。以下の質問をする。

- あなたにはどのような自由があるでしょうか。
- あなたはそれらの特権を持っていることをどのように感じているでしょうか。
- それらの自由を奪われたとしたら，どのような生活をしていると思いますか。

七十人会長会の時代にロイデン・G・デリック長老が語った以下の話を紹介する。

> 「モルモン書に記録されている古代アメリカの民の歴史は，文明が道徳を基盤として成り立つものであることを教えています。すなわち，民が堅く道徳を守っているときには栄え，不道徳に陥るときには苦しみを味わっているのです。道徳なくして自由はあり得ません。また，その自由は無償で与えられるのではく，勝ち取るものであることが分かります。」（「貞節とその報い」『聖徒の道』1981年9月号，108）

次のように質問する。「なぜ自由は勝ち取るものだと思いますか。」人々が道徳的に堅固であったときに栄え，罪悪を犯したときに苦難を受けたことを示す例について，あなたがモルモン書の中から考えつくものを提示して，話し合う。モーサヤ29：26－27を読んでから，以下の質問をする。

- これらの聖句はデリック長老の言葉をどのように裏付けているでしょうか。
- 正しいことを望んで，追求するようほかの人々を促すために，あなたは何ができるでしょうか。
- わたしたちは個人的にどのような方法によって「熱心に善いことに携わ〔る〕」（教義と聖約58：27）ことができるでしょうか。

選択の自由は天父の幸福の計画において重要な位置を占めることを証（あかし）する。選択の自由は，その選択について責任が伴うことを生徒に理解させる。生徒が義の「声」となるよう奨励する。

アルマ書

アルマ書はモルモンの版を原典としている（モルモン書の冒頭「『モルモン書』についての概説」参照）。これは息子アルマとその子ヒラマンの記録を短くまとめたものである。この書は新しく確立されたさばきつかさの統治の下でニーファイの民が平和な時を過ごしていた時代の記事から始まっている。息子アルマはこれら新しいさばきつかさの最初の人であり，神聖な記録の管理者だった。アルマ書はアルマの孫であるヒラマンが神聖な記録を託されたこと，またニーファイ人とレーマン人が戦いを交えている記録で終わっている。

アルマ書はモルモン書の中で最も長い書である。わずか38年間を記録するために235ページが充てられており，最も詳細に記録された書でもある。アルマが救い主の教会における偽善売教や背教を処理した方法など（アルマ1，4章参照），この書には現代に応用できる数々の出来事が記されている。アルマは義にかなったギデオンの民に，贖罪について詳しく説明している（アルマ7：11－13参照）。アルマとモーサヤの息子たちはわたしたちの堕落した性質とそのために救い主を必要とすることについて教えている（アルマ12，18，22章参照）。聖約を守っているために迫害を受けたアンモンの民は忠実さについて感動的な模範を示している（アルマ24－25章参照）。アルマは神の言葉を宣べ伝えることには人々を義に導く大きな力があることを示している（アルマ31：5参照）。アルマは従順な子供と道を踏み外した子供に教えることについて父親が倣うべき模範を示している（アルマ36－42章参照）。アルマ書の最後の部分は司令官モロナイやそのほかの軍事指導者が，自由を得るためには天父に頼らなければならないことを明らかにしている（アルマ43－63章参照）。またこれらの章は霊の敵に対して絶えず戦うことについても洞察を与えている。アルマ書を研究するに当たって，日常生活であなたや生徒が福音に従うための助けとなる真理を探すべきである。

はじめに

人の身の安全や自由を攻撃することと，真理の証に攻撃を加えることでは，どちらが重大な意味を持つだろうか。アルマ1－4章には，ニーファイ人が身と霊の安全を攻撃された様子が記されている。息子アルマは国民の大さばきつかさ（最高位の政治職）と教会の大祭司（霊的な面での管理の職）として，民を両方の戦いから守るために行動を起こさなければならなかった。アルマは物理的な戦いと霊的な戦いに打ち勝つために忠実な人々をどのように導いたかに注目する。

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- 高慢と偽善売教は霊的な滅亡を招く（アルマ1：2－12，19－24参照）。忠実，忍耐，謙遜は平安をもたらす（アルマ1：25－28参照）。
- 謙遜で忠実な人々は主から強さを与えられる。わたしたちは主の力によっていかなる問題をも克服し，堪え忍ぶことができる（アルマ2：18－19，27－31参照。申命31：6；イザヤ40：29－31；モーサヤ24：14－15；教義と聖約104：78－80も参照）。
- 忠実さの度合いによって，わたしたちが示す模範は人々の足場ともつまずきの石ともなる（アルマ4：9－11参照。箴言4：18－19；マタイ5：14－16；アルマ39：11；教義と聖約115：5も参照）。
- 神の言葉を研究することは，福音に従って生活するための助けとなる（アルマ4：11－20参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』75－76。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

アルマ1：2－28。高慢と偽善売教は霊的な滅亡を招く。忠実，忍耐，謙遜は平安をもたらす。（20－25分）

教会の建物の写真を黒板にはる。写真の横に，「訪問者歓迎。入場料1,000円」と書いた紙をはる。生徒に，2ニーファイ26：29を読んで，このような行為を表す言葉を見つけるように言う。（偽善売教）イエス・キリストの教会にはそのような看板が見られないのはなぜかを生徒に尋ねる。

黒板に「偽善売教」と書く。2ニーファイ26：29をもう一度読んで，生徒にこの語を定義するように言う。アルマ1：2－6を読んで，ニーホルがアルマの民の間に導入した偽善売教の要素を見つけるように言う。生徒はこれらの要素に傍線を引いて，余白に「2ニーファイ26：29参照」と記入するとよい。アルマ1：2－6からニーホルが教えたほかの事柄を見つける。以下の質問をする。

- ニーホルはこれらの教えのうちどの教えによって人々の心をつかんだと思いますか。それはなぜでしょうか。
- 今日の世界でも教えられているのはどの教えでしょうか。例を挙げて，説明してください。
- ニーホルは企てが成功すると，どうしたでしょうか（6節参照）。
- 偽善売教はなぜ高慢につながるのでしょうか。
- 偽善売教と高慢はともに人の霊性をどのように滅ぼすでしょうか。

すべての人がニーホルと彼の偽善売教を受け入れたわけではなかった。アルマ1：26を読んで，義にかなった祭司たちはどのようなことを教えたかを見つける。クラスを3つのグループに分ける。最初のグループにアルマ1：3，26；第2のグループにアルマ1：5－6，27；第3のグループにアルマ1：19－21，25を割り当てる。各グループは割り当てられた聖句を読んで，イエス・キリストの教えに従わなかった人々と従った人々について分かったことを書き出す（考えられる答えとして，以下の表を参考にする）。

キリストの教えに従わなかった人々	キリストの教えに従った人々
アルマ1：3。ニーホルは，教師は人望を得るはずであって，人々に生活を支えられて当然であると教えた。	**アルマ1：26。神の教会の祭司は自分たちを聞く者よりも偉いとは思っていなかった。皆，自分の生活のために働いた。**
アルマ1：5－6。人々はニーホルに金銭を贈った。ニーホルは高慢な心で高ぶり，高価な衣服を身に着けるようになった。	**アルマ1：27。教会員は貧しい者，乏しい者，病気の者と財産を分かち合った。高価な衣服を身に着けなかった。**
アルマ1：19－20。教会員でない人々は神の教会に属している人々を迫害した。	**アルマ1：21，25。教会には教会員であるなしを問わず，いかなる人をも迫害してはならないという厳しい律法があった。忠実な会員は迫害に辛抱強く耐えた。**

教会員全員が迫害に対して同じように対応したわけではなかった。アルマ1：21－25を読んで，教会員のとった様々な行動を見つける。26－28節を読んで，主は忠実で，忍耐強く，謙遜であった人々をどのように祝福されたかを見つける。以下の質問をする。

- この時期の教会にとって平和はなぜ貴重な祝福だったのでしょうか。
- 戦争がないことに加えて，平和をもたらすものとしてほかにどのようなことがあるでしょうか。（家族，教会，社会における一致；良心に恥じることのない状態から来る心の平安；聖霊の現れ。）
- あなたの生活において平和はどのように祝福となっているでしょうか。
- あなたの生活に平和を増し加えるために，アルマの民が行ったことの中でどのようなことを実行できるでしょうか（26－27節参照）。

平安に関する以下の言葉を読む。十二使徒定員会の会員だった当時にジョン・テーラー長老はこのように語った。

「平安は神の賜物（たまもの）です。あなたは平安が欲しいと思いますか。では，神のもとへ行きなさい。あなたは家族の中に平安が欲しいと思いますか。……そうであれば，あなたの信仰に忠実に生活しなさい。すると，神のまことの平安があなたとともにあるでしょう。平安はそこからもたらされるからであり，ほかの場所にはとどまらないからです。」（*The Gospel Kingdom*, G・ホーマー・ダラム編〔1943年〕，340－341）

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老はこのように述べている。

「天父の『幸福の計画』の原則を知って，それに従って生活するとき，主が約束された平安がもたらされ……ます。」（「人生の疑問に答える」『聖徒の道』1995年7月号，26）

わたしたちが謙遜にまた忍耐強く福音に従って生活するなら，アルマの民と同じように平安が得られることを証（あかし）する。

アルマ1章。主はわたしたちが国の法律と主の戒めに従うときに，祝福を与えられる。（20－25分）

アルマ1：1を読んで，以下の質問をする。

- 国の法律はだれが決めたのでしょうか。
- 人々は法律に対してどのような責任があるでしょうか。

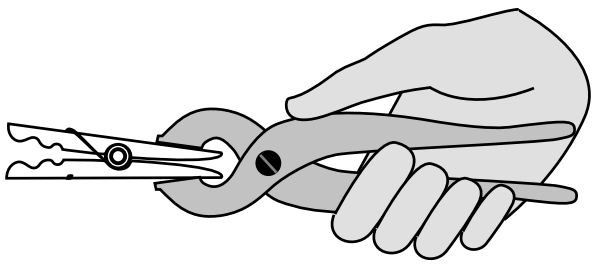
生徒にアルマの置かれた状況に自分がいると考えるように言う。付録の286ページにある「アルマとニーホル」の活動のオーバーヘッドトランスペアレンシーを見せる（あるいは，レッスンが始まる前に黒板に書いておく）。それぞれの状況について，質問を読み，どのような答えが考えられるか話し合う。その後に，聖典から解答を読んで，アルマがなぜそのような行動をとったかについて話し合う。

活動を終えたら，以下の質問について話し合う。

- それぞれの状況についてアルマの採った方法がなぜ最良の対応策だったのでしょうか。
- 国の法律を守ることによってどのような恵みがあるでしょうか。
- 29－31節を読んでください。主はこのときに，忠実な教会員に対してなぜ富を祝福されたのでしょうか。
- 彼らはなぜ自分たちの富を助けの必要な人々と喜んで分かち合ったのでしょうか。
- 貧しい人々に分かち合うことはなぜ，与える人と受ける人双方に祝福となるのでしょうか。

主はわたしたちが国の法律と主の戒めに従うときに，祝福を与えられることを証（あかし）する。物質的な祝福が与えられる場合と，霊的な祝福が与えられる場合とがあることを説明する（マラキ3：10；ヒラマン3：24－25参照）。注意：富は必ずしも義のしるしではないことを生徒に理解させる。時によっては，邪悪な人も義にかなった人も貧しい場合があり，あるいは富んでいる場合がある。

アルマ2：1－31。謙遜（けんそん）で忠実であるならば，主はわたしたちを強めてくださる。わたしたちは主の力によっていかなる問題をも克服し，堪え忍ぶことができる。（25－30分）



クラスにペンチと洗濯バサミを持参する。一人の女生徒に人差し指と親指だけを使って洗濯バサミを開き，そのまま開いておくように言う。指が疲れたら，助けを求めてもよいが，洗濯バサミは開いたままにしておかなければならないことを指示する。彼女が助けを求めたら，ペンチを渡して，洗濯バサミを開いたまま保持させる。

次のように質問する。「ペンチの助けを借りることは天父がわたしたちを助けてくださることとどのように似ているでしょうか。」主はわたしたちをすぐに助けるのでなく，わたしたちが助けを求めるまで待っておられる場合がしばしばあることを指摘する（3ニーファイ27：29参照）。以下の質問をする。

- 主に助けを求めることによって，わたしたちはどのような資質を築いているのでしょうか。
- 天父はなぜ，時々，単に試練を取り除くという方法ではなく，助けを与えるという方法を取られるのだと思いますか（教義と聖約122：7参照）。

アルマ2章から，天父が試練を取り除くのでなく，試練に耐えられるように忠実な聖徒を強められた例を探すように言う。

生徒とともにアルマ2：1－4，7－8を読む。黒板に「アルマ（モーサヤ29：43）」と「アムリサイ（アルマ2：4，10）」と書く。生徒に，これらの聖句を読んで，アムリサイとアルマを比較するように言う。次のように質問する。「もし民の声がアムリサイを選んだとしたら，ニーファイ人にどのようなことが起きていたでしょうか。」この質問に答えるために，生徒に，モーサヤ29：25－27を読み，アルマ2：7と相互参照するように言うとよい。

生徒に，アルマ2：15－19，21，23－24，28－31を読んで，「強くされ」「強くして」の語句すべてに印を付けるように言う。次のように質問する。「ニーファイ人はどうしてアムリサイ人とレーマン人の大軍を破ることができたのでしょうか。」申命31：6とイザヤ40：29－31を読んで，相互参照する。これらの旧約聖書の聖句の中でどの語句に最も心が引かれるかを尋ねる。生徒や生徒の家族の一員を主が強められたときの経験を分かち合うように言う。「主のみ言葉は」（『賛美歌』46番）を歌うか，歌詞を読んで締めくくる。

アルマ3：4，15－18。わたしたちは世の習慣に従うときに，自分に「しるし」を付けている。（10－15分）

この部分を教える前日に，一人の生徒にスポーツチームか特定の職業の人が着る服装またはユニフォームを着てクラスに出席するよう頼んでおく。レッスンを始めたら，服装はその人について何を物語るかを全員に質問する。生徒に，アルマ3：4，15－18を読んで，アムリサイ人はなぜしるしを付けたかについて話し合う。パンフレット『若人のために』の「服装と外見」（8ページ）から最初の段落を読む。節度ある服装と慎みのない服装はともに，どのようにそれを着ている人に「しるし」を付けているかを尋ねる。人々が自分にしるしを付ける方法にはほかにどのようなものがあるかを生徒に例を挙げさせる。（アクセサリー，言葉遣い，食事，娯楽，ヘアースタイルなどの答えが含まれる。）

一人の生徒にM・ラッセル・バラード長老が語った以下の警告を読ませる。

> 「ある非行グループは，音楽や服装，言葉遣い，態度，振る舞いなどによって，現代の暴力や犯罪行為を行っています。……
>
> もし神の神権者にふさわしくないものをまとっていたら，皆さんやわたしは真理と正義を守ることはできないと思います。わたしにとって，邪悪な考えや俗悪な言葉を扱った音楽を聴いたり，ビデオや映画を見たりしながら，主の御霊（みたま）を保つことは，とうてい不可能です。」（「真理と正義を守る」『聖徒の道』1998年1月号，44）

マタイ5：14－16を読んで，信仰篤（あつ）い人々はどのような方法で「自分にしるしを付ける」ことによって周囲の人々に祝福をもたらすことができるかを生徒に尋ねる。

アルマ4：1－11。忠実さの度合いによって，わたしたちの示す模範は人々の足場ともつまずきの石ともなる。（10－15分）

教室の前の床に大きな石を置いておく。最初に活動を行う。石の横を歩いて，石につまずくふりをする。石の上に立って，手を伸ばしてある動作を行う（例えば，壁に絵を掛ける）。この石は助けになるか，それとも障害になるか尋ねる。どのような場合に助けとなり，どのような場合に障害となるだろうか。

クラスを二つのグループに分ける。最初のグループにアルマ4：1－5を，第2グループにアルマ4：6－11を読んで以下の質問の答えを探すように言う。

- これらの教会員は教会に属していない人々にとって足場となったでしょうか，それともつまずきの石となったでしょうか。
- あなたは彼らの物質的な富をどう説明するでしょうか。
- その結果もたらされた霊的な状態はどのような言葉で表現できるでしょうか。
- 彼らはほかの人々をどのように扱ったでしょうか。
- これは教会員でない人々にどのような影響を与えたでしょうか。

これらの質問について話し合う時間を取る。話し合いの中で，アルマ4：1，5（紀元前86－85年）とアルマ4：6，11（紀元前84－83年）の時代を比較させる。次のように質問する。「多くの教会員はこれほどの短期間に，どうして足場からつまずきの石へと変わってしまったのでしょうか。」

十二使徒定員会会員のロバート・D・ヘイルズ長老の以下の言葉を紹介する。

> 「状況はどうあれ，わたしたちは模範となり，人を高め，義を探し求めるよう鼓舞し，イエス・キリストの力についてすべての人に証（あかし）を述べることができ〔ます〕。」（「あなたが立ち直ったときには，兄弟たちを力づけてやりなさい」『聖徒の道』1997年7月号，95）

使徒パウロは若人が生活を通してよい模範となることができると教えた。生徒に，1テモテ4：12を読んで，アルマ4：10と相互参照するように言う。生徒に，若い人の模範によってよい影響を受けた経験について分かち合うように言う。さらに，信仰篤（あつ）い人々の生活がどのようにあなたによい影響を与えたか生徒に分かち合うとよい。

アルマ4：11－20。神の言葉を研究することは，福音に従って生活するための助けとなる。（5－10分）

アルマ4：11－12，15を読んで，以下の質問をする。

- これらの節で述べられているのはどのような問題でしょうか。
- この問題を解決するためにどのようなことができるでしょうか。

16－18節を読んで，アルマが民を助けるために進んで譲ろうとしていたものを見つける。生徒に，19節を読んで，アルマが教会員を助けるために行った事柄に傍線を引くように言う。次のように質問する。「神の言葉を宣べ伝えることの利点としてアルマはどのような事柄を挙げているでしょうか。」エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の言葉を分かち合う。

> 「もし各個人や家族が定期的に続けて熱心に聖文を読むならば，これらの様々な領域の活動は自動的に成し遂げられます。もっと証が深まり，人々はさらに熱心に参加するようになるでしょう。家族が強められ，個人のうえに啓示が注がれることでしょう。」（「御言葉の力」『聖徒の道』1986年7月号，81）

福音の教えに従って生活するために毎日聖文を読むことがどのように助けになっているかについて生徒の意見を求める。

はじめに

教会と新たに設立された政府が内部の罪悪と争いによって脅かされたとき（アルマ4：9－11参照），アルマは教会員の心の中に大きな変化が生じなければ真の改革はないことを知った。ほかの指導者なら行動を変えるために法律を変更しようとしたかもしれない。しかしアルマは現代の預言者たちが知っていることをすでに理解していた。「主は心の内側から外側に向けて働きかけられますが，この世は外側から内側に向けて働きかけます。……この世は環境を変えることによって人間を形成しようとしますが，キリストは人間自体を変え，それによって人間が自らの手で環境を変えられるようにします。この世は人の行動を変えようとしますが，キリストは人の性質を変えることができるのです。」（エズラ・タフト・ベンソン「神によって生まれる」『聖徒の道』1986年1月号，6）

アルマは大さばきつかさとしての政治上の職を譲って，人々に悔い改めを呼びかけるため全教会を巡る旅に出発した。アルマは改革のための働きかけを首都ゼラヘムラから始め，次にギデオンに移った。ゼラヘムラの迷い出た教会員が生活を吟味して，「大きな変化」を遂げるために，アルマがどのように語りかけたか注目する。忠実なギデオンの会員たちに語ったときには，アルマのメッセージがどのように異なっていたかについても注目する。

学び取るべき重要な福音の原則

- 神を信じる信仰はわたしたちの心の中に大きな変化を生む。この霊的な再生はわたしたちを罪から清め，いっそうキリストに似た者にする（アルマ5：11－15，58－62参照。ローマ6：4；モーサヤ5：1－2，7も参照）。
- 福音を教える者は御霊に導かれるままに聖典と預言者の言葉から教えるべきである（アルマ5：44－49；6：8参照。教義と聖約52：9；68：1－5も参照）。
- イエス・キリストは「あらゆる苦痛と苦難と試練を」（アルマ7：11）受けられた。主は贖いを成し遂げられたので，復活させ，罪を清め，試練の中にある人を慰める力を持っておられ，また，キリストのようになる力をわたしたちにお与えになる（アルマ7：7－13参照。ヘブル2：18；4：15；モロナイ10：32－33；教義と聖約62：1も参照）。
- わたしたちは福音の原則に従って生活し，基本的な儀式を受け，聖約を守ることによって，生活の中に聖霊を招くふさわしさを身に付け，永遠の命の道を歩み続けることができる（アルマ7：14－27参照。2ニーファイ31：19－20；教義と聖約14：7も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』77－78。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション12「想像することができるか」をアルマ5章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

アルマ5：20－48。純粋な証は現実の力強い影響力であって，生活を変えることができる。（35－40分）

全員が中を見ることができるような大きい容器に水を入れたものを準備する（人数の多いクラスでは，透明の容器に水を入れて，オーバーヘッドプロジェクターに載せるとよい）。容器に小石を落としたら水面はどうなるかを尋ねる。水面に小石を落として，波紋が広がる様子を観察する。以下のような質問について話し合う。

- 証はどのような点でこの小石に似ているでしょうか。
- 証を分かち合うことには周りの人たちを変える力があるのはどうしてでしょうか。
- 証を分かち合うとわたしたちはどのような影響を受けるでしょうか。
- 水にもっと大きな石を落としたらどうなるでしょうか。
- 証の場合はどうなるでしょうか。

2ニーファイ33：1と教義と聖約100：7－8を読んで，これらの聖句は証を分かち合うことについて何を教えているかを尋ねる。小石が水面を変化させたように，証を述べることには人々の生活を変化させる力があるとアルマは理解していたことを説明する。ゼラヘムラの教会員の多くは高慢と悪巧みと争いに心が奪われて

いたことを生徒に告げる（アルマ4：19参照）。アルマは「人々に神の言葉を宣べ伝えて，彼らの義務を思い起こすように促すため」民の間に出て行った。アルマ4：19を読んで，アルマは「人々を改心させる」ために，このほかに何をしようとしていたかを見つける。（「純粋な証をもって責める」。）預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を紹介する。

「わたしたちの宗教の基本原則は，イエス・キリストが死んで，葬られ，3日目に再びよみがえって，天に昇られたという，使徒と預言者たちの証です。わたしたちの宗教に関するほかのすべての事柄は，それに付随するにすぎません。しかしこれらに関連して，わたしたちは，聖霊の賜物と，信仰の力，神の御心に従った霊的な賜物の享受，イスラエルの家の回復，真理の最終的な勝利を信じています。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*〔1976年〕，121）

ブルース・R・マッコンキー長老は七十人の会員時代に，次のように記している。

「証を述べることは，証を構成する事実が真実であることを証明する個人の啓示を受けたことを厳粛に宣言し，確認し，立証することである。」（*Mormon Doctrine*，第2版〔1966年〕，786）

アルマは迷い出た教会員を改心させるために救い主に対する自分の証の力を用いた。生徒に，以下の表に挙げられている聖句を読んで，アルマが各節で教えている事柄を見つけるように言う。

アルマ15：20－21	**イエス・キリストによって清められる者だけが救われる。**
アルマ5：22－25	**悪事を犯した者は天の王国で座に着く場所がない。**
アルマ5：28－29	**高慢な者は神の王国に住む用意ができていない。**
アルマ5：30－31	**人々をあざける者や迫害する者は悔い改める必要がある。**
アルマ5：38－39	**キリストの羊の群れに属していない者は悪魔が彼らの羊飼いである。**
アルマ5：40－41	**善を行う者は良い羊飼いに聴き従う。**
アルマ5：48	**イエス・キリストは来られて，イエス・キリストを信じる者の罪を取り去られる。**

以下の質問をする。

- これらの教えはそれぞれイエス・キリストの贖罪とどのような関連を持っているでしょうか。
- アルマはどのようにして証を得たでしょうか。

アルマ5：44－46を読んで，アルマの知識の源を探し，黒板に書き出す。以下のようなリストが完成すると思われる。

アルマ5：44

- アルマは神権の権能によって語った（「神の聖なる位に従って」）。
- アルマは神に従うほかの人々から教えを受けた。

アルマ5：45

- アルマは自分が教えたことを自分自身で知っていた。

アルマ5：46

- アルマは幾日もの間断食し，祈った。
- 主は聖なる御霊によってアルマに知識をお与えになった。

44－46節で述べられた知識の源のうち，生徒はどの源から知識を得ることができるかを尋ねる。わたしたちは証を生活の一部とすることができるし，また，そうするべきであることを生徒に告げる。証は実際にわたしたち自身と周囲の人々の生活を変えることを説明する。ゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の言葉を読む。

「個人の証は……その生き方を変える要因になります。その証があると，教会員は主に仕えるときにはあらゆるものを捨てても仕えたいという気持ちになります。……

……教会員の心の中にこの証があると，進んで義務を果たそうという気持ちになります。……証は人を行動へ駆り立てます。証があると，わたしたちは求められていることを実際に行うようになります。」（「証」『聖徒の道』1998年7月号，74）

祈りと断食と，預言者と使徒の言葉を調べることによって証を得，証を強めるよう生徒を励ます。ほかの人の証によって生活を変えた経験のある生徒に証を述べてもらうか，自分の証を分かち

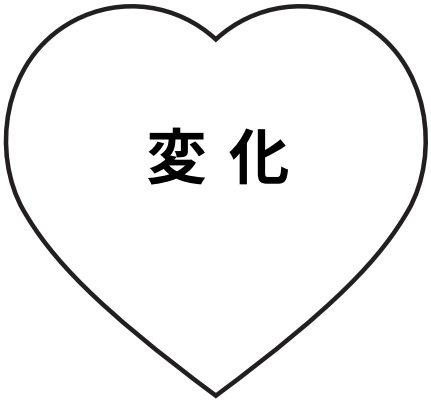
合うことを希望する生徒にその機会を与えるとよい。

アルマ5章。神を信じる信仰はわたしたちの心の中に大きな変化を生む。この霊的な再生はわたしたちを罪から清め，いっそうキリストに似た者にする。（35－40分）

生徒に一つの卵を見せる。以下の質問を黒板に書いて，全員で話し合う。

- 受精卵はどのような可能性を持っているでしょうか。
- 普通の卵と最終的にどこが異なるでしょうか。
- この変化を起こすためにどのような外的条件が重要でしょうか。
- この変化が起きるにはどれほどの時間が必要でしょうか。

黒板にハートの輪郭を描く。以下の図のように，ハートの中に「変化」と書く。



ハートの下に以下の質問を書いて，全員で話し合う。

- このハートは何を表していますか（モーサヤ5：2参照）。
- この変化は人にどのような影響を与えるでしょうか。
- 聖典に記されている人々の中でだれが心の変化を経験したでしょうか。（エノス，息子アルマ，ラモーナイ王などの答えが考えられる。）

アルマ5章には心の中の大きな変化についても述べられていることを説明する。以下の質問を黒板に書き加え，アルマ5：4－14を読んで答えを見つける。

- 父アルマと彼に従った人々は二つのものから救い出されました。何と何から救い出されたのでしょうか（4－6節参照）。
- だれが彼らの心を変えたのでしょうか（7節参照）。
- 彼らは何を条件として救われたのでしょうか（10－13節参照）。
- 14節のメッセージはどのような点で，これら一連の聖句全体の中心メッセージとなっていると考えられるでしょうか。

一部の生徒は生活の中に劇的な変化が見られないので霊的な再生を経験していないと感じているかもしれない。次のように質問する。「心の中の変化とは一つの出来事でしょうか，それとも過程でしょうか。」エズラ・タフト・ベンソン大管長が述べた以下の警告を紹介する。

「聖典の中には，息子アルマ，ダマスコへ旅していたパウロ，夜になるまで長く祈り続けたエノス，ラモーナイ王など，きわめて短時間のうちに劇的な変化を遂げた人物に関するすばらしい記述が幾つかあります。罪の中に浸っていた人々をも変えたこれらの驚くべき力の事例は，贖いの力は失意の底にある人々にも達するという確信をわたしたちに与えてくれます。

しかし，これらの傑出した例について論じるときには注意が必要です。確かにこれらの事例は真実であり，力強いものです。しかし，きわめて例外的なものであるということです。結果的にパウロあるいはエノス，ラモーナイ王のような生活の変化を体験した人はいるでしょう。しかしそのような人々の場合でも，多くはきわめて緩やかなプロセスを歩んでいるのです。彼らには神に近づいているという意識はほとんどありませんが，日々主に近づくための歩みを続けています。彼らは『火と聖霊によるバプテスマを受けた。***しかし，彼らはそれを知らなかった***』（3ニーファイ9：20，強調付加）と主に言われたレーマン人に似ています。」（「大管長会メッセージ―大いなる改心」『聖徒の道』1990年3月号，7）

生徒に，アルマ5：6－30に目を通して，疑問文に印を付けるように言う。ベンソン大管長が述べた神に近い生活を築くうえで助けとなる幾つかの質問をアルマは投げかけていることを説明する。生徒に，15，19，26－28，53－55節（または教師が選んだ節）を読むように言う。自分の霊的成長を評価するために最も役立つと思う質問に傍線を引くように言う。質問を紙に書いて，それらがなぜ役立つと思うかを書くように言う。

全員でアルマ5：58－62を読む。従いたいという気持ちをもって根気強く努力するならば，イエス・キリストはわたしたちに必要な助けを与えてくださり，わたしたちの性質を変えてくださることを指摘する。十二使徒定員会会員のニール・A・マックスウェル長老の以下の言葉をコピーして生徒に配る。

「わたしたちは，完成への道を自分自身でどれだけ登ってきたか，深く考えてみることができます。ほとんどの場合，思ったよりも進んでいるものです。また，そのように振り返ってみることによって，決意を新たにすることができます。

神はわたしたちが完成に至る途上のどの地点にいるかということよりも，どれだけ成長してきたかということの方に関心を抱いておられるという事実に，心を留めることができます。

確かにこの福音はわたしたちに非常に高いものを期待しています。しかし，もしわたしたちが即席のクリスチャンというものなど存在しないことを忘れなければ，神の恵みはわたしたち一人一人に十分与えられるのです。」（「弱い者であっても」『聖徒の道』1977年2月号，46）

卵の質問に戻る。それぞれの質問を人に当てはまるように書き直すのを生徒に手伝わせる。それから質問に答えさせる。生徒が誤解しているところがあればそれを正す。マックスウェル長老の

話を各自の日記に書き写して，自分が完成に向かって進歩していることについて感じていることも書くように奨励する。わたしたちは救い主の助けによって，もっと救い主に近づけることを証する。

アルマ7：7－16。イエス・キリストは「あらゆる苦痛と苦難と試練を」受けられた。主は贖いを成し遂げられたので，復活させ，罪を清め，試練の中にある人を慰める力を持っておられ，また，キリストのようになる力をわたしたちにお与になる。（25－30分）

生徒に紙を配って，以下の質問の答えを書くように言う。

- 来週1週間に起こることの中で何が最も大切ですか。来年は何が大切ですか。
- 今後5年間で最も大切なことは何ですか。今後50年では何が大切ですか。

生徒の答えについて話し合う。アルマ7：7を読ませてから，以下の質問をする。

- 地球が存在する全期間の中で，最も大切な出来事は何でしょうか。
- アルマはなぜ贖い主の降臨が「どれよりも重要なこと」と述べたと思いますか。

8－9節を読んで，神の御子の降臨に備えるためにしなければならないと御霊が言われたことを探す（答えに傍線を引くように勧めるとよい）。次のように質問する。「わたしたちはこれを行うことによって，どのように御子の再臨に備えることができるでしょうか。」

一人の生徒にクラスの筆記者を務めさせる。その生徒に以下の語を黒板に書くように言う。「苦悩」「苦痛」「苦難」「試練」「病」「弱さ」。これらの語の具体例を挙げるよう生徒たちに言う（注意：「弱さ」とは「弱点」の意味）。アルマ7：11を読む。ほかの節も同様の方法で進める。それから次のように質問する。「イエスは罪のない御方であったにもかかわらず，なぜこの苦しみを経験される必要があったのでしょうか。」

イエスの苦しみに関して考えられる理由を話し合ったら，アルマ7：12－13で「ために」と「ように」にすべて印を付けるように言う。これらの語を「矢印」にたとえると，これらの語の前には理由が示され，これらの語の後にはその目的や理由に基づいた行為が示されることが多いということを説明する。以下の表を黒板に書く（「理由」「ために／ように」「行為」とだけ書く）。生徒に12－13節を読んで，ある行為の基となった理由とその理由を基にして行った行為を探させる。生徒が見つけたら，それらについて全員で話し合い，そして黒板の該当する見出しの下に記入する。聖典に記されている理由に傍線を引くように言う。黒板のリストを使って，イエスが苦しみを受けられた一つの理由は，わたしたちが困難を耐え忍べるように助けるためであったことを生徒が理解できるようにする。

理　由	ために／ように	行　為
死の縄目を解く		イエスは死を受けられた（12節）。

贖いが及ぶのは罪の結果だけにとどまらないことを生徒に理解させる。贖いはアダムの堕落のすべての結果に及ぼされる。ニール・A・マックスウェル長老はこのように説明している。

> 「人類のすべての悲しみと苦痛が罪と結びついているわけではないため，贖いの全体にはわたしたちの罪のほかに苦痛や弱さ，病気が含まれます。わたしたちが受ける苦悩がどのようなものであっても，『自分の思いわずらいを，いっさい神にゆだねる』（1ペテロ5：7）ことができます。」（"*Not My Will, But Thine*"〔1988年〕，51）

後に七十人会員となったブルース・C・ヘーフェンはこのように記している。

> 「教会員の中には，もっと善い生き方をしようと努力し続けているときでさえ，自分自身の生活状況を見て，落胆し，打ちひしがれている人がいます。自分自身に対してこのような失望を感じるのは，決して何か悪いことをしたからというわけではありません。自分にすべての責任があるわけでもない問題で苦しんでいる人が多いのです。イエス・キリストの贖罪はこのような体験をしている人々にも当てはまります。キリストの贖罪は人生のすべてに適用されるのです。わたしたちが最善を尽くすなら，救い主はわたしたちの涙をすべてぬぐい去ってくださいます。
>
> このように，救い主の贖罪は罪を癒すだけでなく，不完全さ，弱点，そして深い悲しみのすべてを癒してくれるのです。贖罪は罪人のためだけのものではありません。」（「灰にかえて冠を与え」『聖徒の道』1997年4月号，39）

アルマ7：13から以下の部分を指摘するとよい。「御霊はすべてのことを御存じである。にもかかわらず，神の御子は……肉において苦しみを受けられる。」生徒にこの意味を尋ねる。ニール・A・マックスウェル長老の以下の洞察を紹介する。

> 「イエスはゲツセマネにおいて，『恐れおののき』（マルコ14：33）始められました。ギリシャ語では『畏敬の念にかられた』または『驚いた』という意味を含んでいます。
>
> この世のみならず多くの世を創造されたエホバが驚かれたのです。想像できるでしょうか。イエスは御自身の苦痛を知識としては知っておられました。しかし経験はしておられませんでした。贖罪がいかに過酷で強烈なものかまだ直接御存じではなかったのです。ですから苦痛が最高潮に達したとき，それはイエスの特別な知力をもってしても想像し得ないものとなりました。御使いが現れてイエスを力づけたのは当然のことです（ルカ22：43参照）。
>
> こうして，過去，現在，未来の全人類の罪の重荷が，完全で，罪のない，繊細な御方に課せられたのです。したがって，わたしたちの不完全さや病気は，何らかの形で主の贖罪の一部を成しているのです。」（「喜んで服従する」『聖徒の道』1985年7月号，73）

生徒に，11－13節を読んで，イエスが御自身に受けられた肉に

おける経験を少なくとも5つ挙げるように言う（黒板に書き出してもよいし，生徒に自分の聖典に印を付けさせてもよい）。次のように質問する。「救い主がわたしたちの苦労を理解しておられることを知っていると，どのように助けとなるでしょうか。」わたしたちが主の教えと模範に従うならば，主はわたしたちが苦しんでいるときに慰め，また罪から解放してくださることを証する。次のように質問する。「イエスはわたしたちのために多くのことをしてくださいました。では，わたしたちは主に対して何をしたらよいでしょうか。」

アルマ7：14－27。わたしたちは福音の原則に従って生活し，その儀式を受けることによって，神の王国に通じる道にとどまることができる。（15－20分）

二人の生徒に黒板まで来てもらう。一人の生徒に信仰箇条3節を，もう一人の生徒に信仰箇条4節を黒板に書くように言う（できれば，何も見ずに書かせる）。生徒に，アルマ7：14－16を読んで，信仰箇条にも出ている教えに相互参照の印を付けるように言う。以下の質問について話し合う。

- アルマは教会員になぜ福音の基本原則と儀式について話したのでしょうか。（彼らはわたしたちと同じように，それらを思い起こし，絶えずそれらに従って生活する必要があった。）
- わたしたちはバプテスマで交わした聖約をどのように新たにするでしょうか。

聖餐のパンの祈り（モロナイ4：3または教義と聖約20：77参照）に目を通して，アルマ7：15と比較させる。表のように類似する語句を黒板に書き並べて，次の質問について話し合うとよい。

モロナイ4：3	アルマ7：15
「永遠の父なる神よ，……人々が，……進んで……〔する〕ことを，あなたに証明して」	「進んで……〔する〕ことを，神に示しなさい」「神にそのことを証明しなさい」
「御子が与えてくださった戒めを守る」	「すべての罪を捨て〔る〕」「神の戒めを守るという神との聖約に……入る」

- すべての罪を捨てることと戒めを守ることはどのように似ているでしょうか。
- 毎週この聖約を新たにすることは，神のもとに通じる狭くて細い道にとどまるためにどのように助けとなるでしょうか。
- 神に証明するとはどのような意味でしょうか。
- これらの節で選択の自由はどのような役割を果たすでしょうか。

7章はギデオンにおけるアルマの教えの記録であることを生徒に思い起こさせる。ギデオンの聖徒たちは完全ではなかったが，全力を尽くして主を信頼していたことを生徒に理解させるために，17－19，25－27節を読む。できるかぎり忠実に生活するならば，生徒たちも「神の王国に通じる道」にとどまっていることを証する。十二使徒定員会会員を務めていたブルース・R・マッコンキー長老の以下の話を紹介する。

「わたしたちは教会員として，永遠の命に通じる道を明示し，……正しい方向に進み，俗世に打ち勝つことによって……一歩ずつ段階を追って自分を完成させていくならば，永遠の命を受けることが確実に保証されています。このことについて疑問の余地はありません。……道を明示し，この世において最善を尽くして道に従って進むならば，わたしたちはこの世を離れるときにも，まったく同じ道を歩み続けることでしょう。」（"Jesus Christ and Him Crucified," *1976 Devotional Speeches of the Year*〔1977年〕，400－401）

アルマ7：20－27。わたしたちは福音の原則に従って生活し，基本的な儀式を受け，聖約を守ることによって，生活の中に聖霊を招くふさわしさを身に付け，永遠の命の道を歩み続けることができる。（15－20分）

十二使徒定員会会長代理のボイド・K・パッカー長老が語った以下の話を分かち合う。パッカー長老は第二次世界大戦中に軍人としてアメリカ大陸を横断する旅をしたときの経験を語っている。

「わたしたちは，屋根付きの貨物列車で移動しました。列車には幅の狭い折り畳み式ベッドが備え付けられていて，夜になると壁から起こして使いました。食堂車はありませんでした。その代わり，貨物列車の中で野営用の食事用具が汚れた床の上にしつらえられていました。

……荷物を積んだ貨車は別便だったため，6日間の旅行中に着替えはできませんでした。テキサスとアリゾナを横断したときはすごい暑さでした。エンジンが吐き出す煙と石炭の燃え殻には閉口しました。入浴することも，制服を洗うこともできません。ある朝，汚れた身なりのままわたしたちはロサンゼルスに到着し，夕方までに列車に戻るように言い渡されました。

わたしたちは，まず食事のことを考えました。隊の中の10人でお金を寄せ集めて，その辺りでいちばんよさそうなレストランに向かいました。

店はとても混んでいて，わたしたちは席に着くための長い列に並びました。10人中わたしがいちばん前になり，美しく着飾った婦人たちの後ろに立ちました。わたしの直前にいた品のよさそうな女性は振り返らなくても，後ろにむさ苦しいわたしたちのいることに気づきました。

彼女は振り返るとわたしたちを見ました。そしてもう一度振り返ると，わたしを頭のてっぺんから足のつま先までまじまじと見詰めました。わたしは汗臭く，汚れて，灰をかぶった，しわだらけの制服でじっと立っていました。彼女はうんざりした声でこう言いました。『まあ，何てだらしのない人たちなんでしょ。』皆がこちらを振り返りました。

彼女がわたしたちにそこにいてもらいたくないと思っていることは明らかでした。わたしもそうしたいと思いました。わたし自身，見事な汚れようで不快であり，恥ずかしかったのです。」（「洗われて清くなる」『聖徒の道』1997年7月号，9）

以下の質問をする。

- 清潔にしている人々の前で汚れた姿でいたパッカー長老はなぜ不快な気持ちになったのでしょうか。
- モルモン9：4を読んでください。外見の汚れをパッカー長老が不快に思ったことは，霊的に汚れていることにどのようにたとえることができるでしょうか（アルマ36：11－15も参照）。
- 罪悪はどのようにわたしたちを聖霊の導きから遠ざけるでしょうか（1ニーファイ15：34参照）。
- 悔い改めはどのように石けんにたとえることができるでしょうか（イザヤ1：18参照）。

アルマはギデオンの忠実な聖徒たちに引き続き清く，聖霊を受けるにふさわしくあるよう奨励した。アルマ7：21を読む。それから脚注①に挙げられている聖句を読んで，アルマが宮という語をどのように使っているかを理解する。次のように質問する。「聖霊と交わりを持つためにわたしたちはなぜ霊的に清くなければならないのでしょうか。」2ニーファイ31：17；アルマ7：25；3ニーファイ27：20を読んで，聖霊を受けるにふさわしく生活することがどのように神の王国に住むために必要な清さをもたらすかを見つける。（御霊はわたしたちを罪から清めてくださる。）

アルマ7：23－24をガラテヤ5：22－23と比較する。以下の質問をする。

- アルマはパウロがガラテヤ人への手紙の中で挙げた御霊の実に何を加えているでしょうか。
- これらの特質は御霊と一致した生活を送ることとどのような関連があるでしょうか。（これらの特質は御霊を受けているときにしばしば得られる。さらに，このような特質をもって生活を送ることによって，生活の中に御霊を招くことができる。）

アルマ7：27を読んで，アルマがギデオンの忠実な聖徒たちのために願った御霊の実を見つける。以下の参照聖句を生徒の間で分ける。ヨハネ14：27；ローマ8：6；1コリント14：33；モーサヤ4：3。これらの聖句を読ませ，「神の平安」を得るとはどのような意味かについて話し合う。アルマ7：27をもう一度読んで，以下の質問をする。

- 神の平安があなたの家庭に与えられたら，それはどのように祝福となるでしょうか。
- 神の平安はあなたの所有物についてはどのように祝福となるでしょうか。
- 神の平安はあなたが信仰を持ち，従順であるために，どのような助けとなるでしょうか。

生徒に聖霊の導きを受けたときの経験を話すように言う。次のように質問する。「そのときに聖霊はどのようにあなたと交わられたでしょうか。」御霊の影響がどのような方法で受けられるかについて例を挙げるように言う。ふさわしく生活するときに与えられる御霊の実について証する。

はじめに

リーハイは息子のヤコブにすべての事物には反対のものがなければならないと教えた（2ニーファイ2：11参照）。聖典の中に見られる対比はわたしたちに多くの福音の真理を教えている。アルマ5－11章で，預言者アルマは幾つかのニーファイ人の都市で悔い改めのメッセージを宣べ伝えている。多くの人々がアルマのメッセージを受け入れ，アルマはゼラヘムラ，ギデオン，ミレクの聖徒たちを改心させることに成功した。アルマ8－16章には，アモナイハの人々が預言者の主張に，上記の聖徒たちとは非常に異なった反応を示したことが記録されている。これら二つの出来事を比較対照することによって，あなたは福音の真理についてどのようなことを学べるだろうか。

天父は子らに対して，メッセージを聞いて受け入れるための十分な機会を与えておられる。アルマはアモナイハの町から追い出された後に，一人の天使から戻ってもう一度主のメッセージを伝えるように言われた。ほとんどの人はアルマの言葉を拒絶したが，生活を変えた人も多くいた。どのような人々がアルマのメッセージを受け入れたか，また，それらの人々が福音を受け入れるために何を犠牲にしたかに注目する。

学び取るべき重要な福音の原則

- 伝道活動はチャレンジに満ちているが，主は助けを与えてくださる（アルマ8章参照。ピリピ4：13；1ニーファイ3：7；教義と聖約5：34も参照）。
- 福音を多く理解している者が罪を犯すと，理解の少ない者が罪を犯した場合よりも大きな罰を受ける（アルマ9：15－24参照。ヤコブの手紙4：17；教義と聖約82：3；112：24－26も参照）。
- 義人が住んでいる地域に住む人々はそのために祝福を受けることがある（アルマ10：22－23参照。創世18：28－32；2ニーファイ26：3；3ニーファイ9：11；教義と聖約86：1－7も参照）。
- 神の御子イエス・キリストは「まことの永遠の父」であり，「御名を信じる」すべての人に救いを与えられる（アルマ11：38－40参照。モーサヤ5：7；15：1－4も参照）。
- すべての人は完全な体に復活して，裁きを受けるために救い主の前に連れ出される（アルマ11：40－45参照。1コリント15：20－22；2ニーファイ9：22；モルモン7：6も参照）。
- 神はわたしたちの思いを御存じであって，必要であれば，聖霊の力によって神の僕たちに明らかにされる（アルマ12：3，7参照。ヘブル4：12－13；モルモン書ヤコブ2：5；教義と聖

約6：16も参照）。

- わたしたちは神に寄せる注意力と熱意の度合いに応じて，また神がふさわしいとされるときに，神の奥義を知ることができる（アルマ12：9－11参照。教義と聖約76：5－10；130：19も参照）。
- わたしたちは自分の言葉と行いと思いに応じて裁かれる（アルマ12：12－18参照）。
- 神は全人類をその堕落した状態から救うために贖いの計画を用意された。神は子らにその計画を教えるために僕たちを遣わされる（アルマ12：22－37参照。アルマ42：9－15；教義と聖約29：42も参照）。
- メルキゼデク神権者の責任の一つは神の子らに，キリストのように立派な生活を送って最終的に永遠の命を受ける方法を教えることである（アルマ13：1－19参照。アルマ6：1，4，8も参照）。
- 選択の自由は非常に大切なので，神は義人が他人の邪悪な行いによって苦しみを受けるのを黙認されることがある。しかしながら，神はわたしたちの苦難を忘れておられるわけではなく，試練に遭っている忠実な人々を祝福してくださる（アルマ14：7－29参照。モーサヤ17：9－10；アルマ60：13；教義と聖約24：8も参照）。
- イエス・キリストを信じる信仰を持ち，神の御心にかなうならば，わたしたちは苦しみを癒される（アルマ15：3－11参照。マタイ9：20－22；使徒14：8－10；3ニーファイ18：20も参照）。
- 聖霊の力により神の言葉を教え，また受けると，わたしたちはイエス・キリストの再臨に備えることができる（アルマ16：14－17参照。教義と聖約50：13－14；136：32－33も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』79－84。

教え方の提案

アルマ8章。伝道活動はチャレンジに満ちているが，主は助けを与えてくださる。（35－40分）

青年時代に英国で宣教師として働いたときの経験を述べたゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の話を紹介する。

> 「到着したときにはみんながわたしたちに偏見を持っているように感じました。
>
> 着任したてのころは，体調が良くありませんでした。病気と住民からの反感のため，最初の数週間は気持ちが沈んでいました。そこでわたしは父に手紙を書き，時間と父が送ってくれるお金を無駄にしているように思うと伝えました。」（「世の人々への宣言」『聖徒の道』1987年11月号，6）

この物語はここで終わったわけではなく，後に物語に戻ることを生徒に告げる。ヒンクレー大管長の話は主に仕える多くの宣教師が同じように経験しているチャレンジであることを説明する。アルマも宣教師として働いているときに困難を経験した。生徒に，アルマ8：1，3－5を読んで，ゼラヘムラ，ギデオン，ミレクでアルマが成功を収めたことについて話し合う。アモナイハで何が起きたかを読んで（8－13節参照），アルマが以前の3つの都市で経験したことと比較する。以下の質問をする。

- アルマがアモナイハで経験したことが，以前と大きく異なっていたのはなぜだと思いますか。
- これは伝道活動についてどのようなことを明らかにしているでしょうか。（ほかと比べて難しい場合がある，いつも直接的で目に見えるような成功を収めるわけではない，などの答えが考えられる。）
- 宣教師がメッセージを拒否されるときに，主はどのように宣教師を慰められるでしょうか。

生徒に14－15節を読んで，アモナイハの人々がアルマのメッセージを聞いたときに示した態度と天使の言葉とを比較するように言う。アルマ8：16－17を読んで，天使は次にアルマに対して何と言ったかを見つける。生徒に13節に注目させて，次のように質問する。「もしあなたがアルマの立場だったら，与えられたこの指示をどのように考えるでしょうか。アルマはなぜ不安を感じたのでしょうか。」

1ニーファイ3：7を読んで，次のように質問する。「この聖句は神の戒めについてどのようなことを教えているでしょうか。」生徒に，アルマ8：18－22を読んで，アルマが使命を成し遂げるために主が用意された「方法」を見つけるように言う。生徒が見つけたことについて話し合う。生徒に，27－32節を読んで同じようにするように言う。これらの節について話し合う際に，主はアミュレクにアルマと一緒に伝道するよう召しを与えられたことを指摘する。話し合いのために，以下の質問を活用するとよい。

- アルマが「幾日もの間アミュレクの家に滞在した」間にどのようなことが行われたでしょうか。（恐らく伝道の準備に費やされた。）
- 主のメッセージを一人で述べるよりも，二人で述べることにはどのような利点があるでしょうか（この質問に答えるために，生徒に，アルマ9：6を読んでから，脚注②の参照聖句を読むように言う。教義と聖約6：28も参照）。
- 邪悪な都市の人々に教えるためになぜアルマ8：31で述べられている力が必要とされるのでしょうか。

伝道活動は難しく，落胆するようなこともあるが，わたしたちが謙遜であり，主を信頼するならば，主は助けてくださることを証する。ヒンクレー大管長は伝道を始めたときに難しい状況に置かれたことを生徒に思い起こさせる。話の続きを紹介する。

> 「そこでわたしは父に手紙を書き，時間と父が送ってくれるお金を無駄にしているように思うと伝えました。父はステーク会長で，賢明で，霊感にあふれた人でした。ずいぶん短い返事をくれました。『愛するゴードン，君の手紙を受け取りました。アドバイスは一つだけ。自分を忘れて伝道しなさい。』その手紙を受け取った日の早朝，同僚たちとの聖典勉強会で同僚とわたしは主の次の言葉を読んでいたのです。『自分の命を救おうと思う者はそれを失い，わたしのため，また福音のために，自分の命を失う者は，それを救うであろう。』（マルコ8：35）

主のこの言葉は，父のアドバイスとも重なって，わたしの心に深く刻まれました。わたしは父の手紙を手にわたしたちの住居であったワダムロード15番地の家の寝室に入り，ひざまずいて主に願い求めました。そして，主の業のために自己を忘れ自己をささげることを聖約したのです。

1933年7月のその日は，わたしにとって決意の日でした。新たな光がわたしの人生にさし込み，わたしの心には新しい喜びが沸き起こりました。わたしはこの実り多い，すばらしい伝道の機会を生涯感謝し続けることでしょう。」（「世界の人々への宣言」『聖徒の道』1987年11月号，6）

以下の質問をする。

- ヒンクレー大管長の父親のアドバイスはどのような変化を引き起こしたでしょうか。
- 天父は気落ちした宣教師に向かって何と言われたでしょうか。

生徒に，伝道中に主の助けを受けた友達や家族の経験を知っていれば，分かち合うように言う。

アルマ9：1－24。福音を多く理解している者が罪を犯すと，理解の少ない者が罪を犯した場合よりも大きな罰を受ける。（25－30分）

数学の物語問題を考えるか，高校の数学の教科書から問題を引用する。レッスンの前に，一人の生徒に問題を与えて，解き方を教えておく（答えを教えてはならない）。レッスンで，この生徒と問題を教えていない一人の生徒に前へ出て来てもらう（レッスンの前に問題を教わった生徒は最初に問題を解くことができなければならない）。二人が問題を解き終えたら，最初の生徒にどのような助けを与えておいたかを全員に説明する。問題に取り組んだ二人の生徒に，なぜ情報を多く持っていた人が最初に問題を解くことができたかを尋ねる。

別の二人の生徒に，複雑な割り算の問題を与える。一人の生徒には紙と鉛筆を与え，別の生徒には電卓を与える。どちらの生徒が早く答えを出せるはずかを尋ねる。生徒に，教義と聖約82：3を読ませて，上記の例がこの聖句をどのように説明しているかについて意見を求める。

黒板に「習慣的浪費主義」と書いて，生徒にどのような意味だと思うかを質問する。「習慣」の一つの定義は，「社会的習慣または伝統に従うこと」であり，「浪費」とは「度を超して無駄が多いこと」であると説明する。キリストのたとえの中で放縦な生活を送って受け継ぎを浪費した若者は「放蕩息子」と呼ばれている（ルカ15：11－32参照）。生徒にもう一度「習慣的浪費主義」の意味を尋ねる。ニール・A・マックスウェル長老の解釈を紹介する。

「なぜある若者たちは，『みんながやっているじゃないか』という一見正当に見える口実を使って反抗し，悪に染まっていたずらに時を費やし，自分の人生を台なしにする危険を冒すのでしょうか。神が間違っていると宣言しておられることを群衆が正しいとすることはできません。そのような反抗的な若者がいつか元の道へ引き返すつもりでいても，多くの場合，アルコールや薬物，ポルノグラフィーなどの悪癖を捨てるのはたやすいことではありません。いったんこの世の道に従った者を，この世の方がなかなか放そうとしないからです。」（「答えなさい」『聖徒の道』1989年2月号，35）

マックスウェル長老は何に対して警告しているのかを質問する。教会の若い会員たちは，教えられてきたとおりに行うことは間違っていると言うことがある。彼らがそのようなことを言う理由について生徒の考えを述べさせる。ヤコブの手紙4：17と教義と聖約82：3を読んで，質問する。「これらの聖句はそのようなこじつけに対してどのように警告しているでしょうか。」生徒に，アルマ9：1－18を順番に読ませ，その中からこの原則の一つの例を見つけるように言う。アルマはアモナイハの人々に対してなぜ「もしあなたがたが自分の罪の中にとどまるならば，裁きの日には，〔レーマン人〕の方があなたがたよりも堪えやすいであろう」（15節）と宣言したかを尋ねる。

19－22節を生徒とともに読む。ニーファイの民が受けた祝福を見つけて，傍線を引くように言う。それらを黒板に書き出す。次のように質問する。「わたしたちはこれらの祝福のうち，どの祝福を受けているでしょうか。」アモナイハの人々はこれらの祝福をなぜ忘れてしまったかについて話し合う。23－24節と教義と聖約3：4を読む。以下の質問をする。

- わたしたちがすでに受けている祝福を失うとしたら，どのような理由で失うでしょうか。
- イエス・キリストの福音を教えられた人はなぜ多くを求められると思いますか。（それが公平だから，わたしたちは聖約を交わしているから，良い模範を示す必要があるから，信頼にこたえるような生活を送る必要があるから，主に従うことは感謝を表すよい方法だから，などの答えが考えられる。）

副管長であった当時にゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように語った。

「感謝の心を忘れないようにしましょう。そして，高慢にならないように気をつけましょう。全能者の豊かな祝福にあずかる者として，感謝とへりくだる心とを胸に満たそうではありませんか。」（「教会員数500万到達――発展への道しるべ」『聖徒の道』1982年7月号，82）

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老はこのように教えている。

「主である救い主を心に留めるとき，わたしたちは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として受けている大いなる祝福に思いをはせる必要があります。わたしたちは主イエス・キリストから教えを受けてきました。主の預言者に導かれてきました。福音の結び固めの儀式を受けてきました。主はわたしたちにあふれんばかりの恵みを下さっているのです。

この祝福に思いをはせるとき，わたしたちは次の主の警告も心に留めるべきです。『多く与えられる者からは多く求められ〔る。〕』（教義と聖約82：3。ルカ12：48も参照）

律法と正義に関するこの永遠の原則は，わたしたちへの神の期待を示すものです。」（「常に忘れず」『聖徒の道』1988年6月号，33）

主から受けている祝福に感謝を表す方法を分かち合うよう生徒に求める。

アルマ9：25－34。義人は「イエス・キリストの力と解放によって」救いを得る。（10－15分）

生徒に，『賛美歌』から「イスラエルの救い主」（4番）を開いて，歌詞を読み，この賛美歌は救い主のどちらの降臨を指しているかを考えるように言う。（再臨）イエス・キリストは地球に2度来られることになっていることを生徒に思い起こさせる。ある聖句は主の最初の降臨を預言し，ある聖句は主の再臨を預言しており，また両方の降臨に当てはまる聖句もある。生徒に，アルマ9：25－27を読んで，アルマはイエス・キリストのどちらの降臨について述べているかを判断するように言う。（アルマはキリストの最初の降臨について述べているが，アルマの言葉は再臨にも関係があると考えられる。）生徒に自分たちの判断を裏付ける語句について話し合うように言う。イエスは肉体において成長する間に，26節に挙げられているすべての属性と徳を伸ばされたことを生徒に理解させる（ルカ2：52；ヘブル5：8－9；教義と聖約93：12－14参照）。

生徒に，アルマ9：26をもう一度読んで，救い主のこれらの徳の一つ一つはわたしたちが福音に従って生活するためにどのように助けとなっているかを説明するように求める。

27節を読み返し，さらに28節の前半を読んで，「イエス・キリストの力と解放」のところで中断する。そして以下の質問をする。

- 「イエス・キリストの力と解放によって」救いを受けるために，人はどのようにならなければならないでしょうか。
- アルマは27節で義のどのような要素について教えているでしょうか。
- イエス・キリストの御名（みな）を信じる信仰，悔い改め，バプテスマは，わたしたちをどのように救い主の再臨に備えるのでしょうか。

生徒に28節の残りの部分を読んで，善を選ぶ人と悪を選ぶ人の受ける報いを比較するように言う。それから30－33節を読んで，アモナイハの民がアルマの言葉にどのようにこたえたかを示す語句を見つけるように言う。次のように質問する。「アルマとアルマが教えた人々とではどちらの方が幸せだったでしょうか。」アルマ41：10を読んで，なぜこれが正しいかを話し合う。

わたしたちが主の教えに従うならば，救い主は祝福してくださることを証（あかし）する。主はわたしたちが不死不滅と永遠の命を得るよう助けたいと思っておられる（モーセ1：39参照）。ジェームズ・E・ファウスト副管長の以下の言葉を分かち合う。

「わたしたちは皆，これまでに誤った判断を下したことがあります。憐（あわ）れみ深く思いやりがあり，わたしたちの御父である神は，わたしたちの犯した過ちに対しては，できるだけ軽い裁きを下され，わたしたちが行う善行に対しては，最大の祝福を与えてくださると，わたしは信じています。〔アルマ9：26に記されている〕アルマの荘厳な言葉はそのことを確認しているように思われます。」（「女よ，なぜ泣いているのか」『聖徒の道』1997年1月号，63）

アルマ10：1－8。俗世のことを心配しすぎると，霊的な交わりがおろそかになることがある。（20－25分）

あなたの耳に耳栓をするか脱脂綿を詰める。生徒に学校や教会の活動について質問して，生徒が答えたら，耳がよく聞こえないことを告げる。耳栓を外して，以下の質問をする。

- 耳栓はどのようなときに役立つでしょうか。
- 耳栓をしているとどのような問題が起きるでしょうか。

耳栓をする自由と耳栓を外す自由がわたしたちにはあることを指摘する。耳栓が助けになるか障害となるかは主としてそれをどのように使うかに左右される。

黒板に「アミュレク」と書いて，どのような人かを質問する。生徒にアルマ10：1－6を読んで，アミュレクについて分かることをすべて探すように言う。何人かの生徒にそれらを黒板に書き出すように言う。以下の質問をする。

- 霊的な交わりについて6節にはどのようなことが教えられているでしょうか。
- アミュレクが主の声に対して行ったことが，なぜ耳栓をすることに似ているでしょうか。

話し合いを展開するために以下の一部またはすべての質問を活用するとよい。

- アミュレクは召しを受ける以前から福音について多少知っていたと言えるでしょうか。
- 主はどのような方法でアミュレクを「幾度となく呼ばれた」のでしょうか（6節）。
- 「幾度となく呼ばれたが，わたしは聞こうとしなかった。……わたしはこれらのことについて知っていながら，知りたいと思わなかった」とはどういう意味でしょうか。
- 主はわたしたちを幾度となく呼んでこられたでしょうか。それはいつ，どのようにして行われたでしょうか。

ニール・A・マックスウェル長老の以下の言葉を紹介する。

「青少年は聖霊（たまもの）の賜物を含む幾つかの賜物を持っているのですが，『それを知らなかった』（3ニーファイ9：20）いにしえの人々と同じような状態にある場合があります。彼らはほかのことで頭がいっぱいで福音のメッセージに心が向いておらず，アミュレクのようになっているのです。」（*Sermons Not Spoken*〔1985年〕，2）

次のように質問する。「俗世についてどのようなことを心配すると心がいっぱいになってしまうでしょうか。」生徒に，アルマ9：1；10：7－9を読んで，主はどのようにしてアミュレクに呼びかけられたかを確かめる。（天使と預言者を通して。）天使を見た人，天使の言葉を聞いた人がすべて変わるわけではない。天使に会っても変わろうとしなかった人の例を聖文から挙げるように言う（1ニーファイ3：29－31参照）。以下の質問をする。

- アミュレクはどのようにして耳を傾け，理解することができるようになったと思いますか。
- 主はどのような方法で生活を変えるようわたしたちに呼びかけておられるでしょうか。

アミュレクは生活をまったく変える変化を経験したことを説明する。マックスウェル長老は，アミュレクが主の召しを受け入れたときに「弟子となるための代価を経験した」と教えています（*Meek and Lowly*〔1987年〕，12）。4節に戻って，アミュレクは召しを受ける前にどのようなものを持っていたかを確認するように言う。それから，アルマ15：16を読んで，主に従うためにアミュレクが捨てたものと比較するように言う。あらゆる祝福には「弟子となるための代価」と同等の価値があるかどうかについて話し合う。次のように質問する。「わたしたちは耳を傾け，天父の御心（みこころ）に従うために何を犠牲にするよう求められるでしょうか。」たとえこの世のいかなるものを犠牲にしても，神の言葉に耳を傾け，神を知ることには価値があることを証（あかし）する。

アルマ10：22－23。義人が住んでいる地域に住む人々はそのために祝福を受けることがある。自分たちの中から義人を追い出す悪人は滅ぼされる。（15－20分）

イーストが入った袋を見せる。生徒に，マタイ13：33とガラテヤ5：9を読んで，この物質の別名を尋ねる。少量のパン種がパン生地全体にどのような影響を及ぼすかを尋ねる。

以下の例を読み聞かせ，それぞれの話が霊的なパン種とどのような関係があるかを生徒に尋ねる。

- インガのサッカーチームは優勝を遂げました。監督は酒場でお祝いをしたいと思っています。けれどもチームのキャプテンを務めるインガは自分の家にみんなを招待しました。選手たちは彼女の招待を受け入れて，アルコール抜きの祝勝会を行いました。
- ショーン，トッド，ランディーの3人は一緒に映画を見に行くことにしました。ショーンとトッドは最近封切りされたアクション映画を見たいと思っていますが，その映画には暴力や神を冒瀆（ぼうとく）する場面がたくさん出てきます。ランディーはもっと標準の高い映画を見るよう説得しています。
- フェレーラ家族は小さな農村で唯一の教会員です。地域はひどいかんばつに襲われましたが，フェレーラ家族がしばしば断食し祈ったことによって雨が降りだしました。
- メレの家族はよく口げんかをします。けれどもメレは謙遜（けんそん）で明るく振る舞うため，彼女が家にいると争いが少なくなります。

邪悪な町アモナイハにも義にかなった人々が住んでいたことを説明する。アミュレクはこれらの忠実な人々のおかげで町が救われたことを教えた。一人の生徒にアルマ10：22－23を声を出して読んでもらう。以下の質問をする。

- 義人たちのどのような行いが町全体を救ったのでしょうか。
- 邪悪な人々が自分たちのために祈ってくれた人々を追い出したり，殺したりしたらどのようなことになっていたでしょうか。
- これらのことはわずかな義人が周囲の人々の生活に影響を与えられることについて，何を教えているでしょうか。

生徒に，アルマ14章の前書きとアルマ16：9－10を読んで，この預言がどのように成就したかを確認するように言う。義人が去った後に主から保護してもらえなくなった邪悪な人々の例を，このほかに聖典から探すように言う。（ロトの家族が去った後のソドムとゴモラ〔創世18：23－32参照〕，イエスと何人かの使徒たちが殺された後のエルサレム〔ルカ19：41－44参照〕，義人たちが追い出され，殺された後のノア王の民〔モーサヤ17－19章〕など。）

十二使徒定員会会長代理を務めていた時代にスペンサー・W・キンボール大管長はこのように教えている。

> 「霊を堕落させようとする多くの声が，肉欲の楽しみを得よ，奔放（ほんぽう）に肉体的満足を得よと語っています。現在の我々の世はニーファイ人の預言者が次のように言ったときとほぼ同じ状態です。『……もしも今，この地に住む義人の祈りがなかったならば，あなたがたは完全な滅亡に見舞われていたことであろう。……』〔アルマ10：22〕言うまでもなくすべての戒めに正しく忠実に従って生活し，その生活と祈りによって，この世を破滅から救っている人々も数多くいます。」（「過去，現在，未来からの声」『聖徒の道』1971年10月号，295）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように付け加えている。

> 「わたしは，この神権時代におけるわたしたちの立場が，あの低地に町々があった時代の義人のようなものではないかと考えています（創世19：29参照）。あのとき，恐らく主は，義人のゆえに，何人かの邪悪な人々を生かしておられたのかもしれません。それを考えると，わたしたちには偉大で重要な責任が課せられていることになります。それが，わたしたちがこの現世にいる目的です。もっと効果的に主に使われる者となり，真の意味での戦士となることによって，全能の神の指示の下に，神の息子娘たちを破滅の道から救い出すのです。その道は，彼らが進路を変えないかぎり，この世においても永遠の世においても人を破滅へと導く道です。」（「生ける預言者の言葉」『聖徒の道』1998年2月号，13）

生徒が家族や学校のほかの生徒，隣人，地域社会の人々に良い影響を与えることについて，思っていることや感じていることを分かち合うように言う。

アルマ11：1－25。わたしたちは証（あかし）を個人の利益や利己的な好奇心と引き換えにする誘惑を受けることがある。真の幸福は義にかなった生活から得られる。（15－20分）

様々な金額の貨幣か紙幣を見せる。正直にお金をもうける方法を挙げるように生徒に言う。アルマ11：1，3，20を読む。アモナイハの法律家やさばきつかさの正直さや誠実さについて生徒の意見を求める。次のように質問する。「彼らは何を目的としていたでしょうか。」（利益を得ること。）

生徒に5－19節を素早く読ませ，これらの節が何を説明しているか尋ねる。黒板に以下の表を書く。

	1	2	4	7
金	セナイン	セオン	シュム	リムナ
銀	セヌム	アムノル	エズロム	オンタイ

オンタイは銀の通貨で最も大きな価値があることを指摘する（7－13節参照）。21－22節を読んで，以下の質問をする。

- ゼーズロムはアミュレクに幾ら与えると言ったでしょうか。
- ゼーズロムはアミュレクがこのお金を手に入れるには何をしなければならないと言ったでしょうか。
- 今日（こんにち）の人々は証や信念や標準を何と交換する誘惑を受けることがあるでしょうか。（力，人気，お金，この世的な楽しみ。）
- 義よりも罪悪を選ぶとどのような結果を招くでしょうか（アルマ41：10参照）。

アルマ10：10－12；12：1；14：6を読んで，ゼーズロムとアミュレクを比較する。生徒に二人がどのような人かを説明する語句を黒板に書き出してもらう。

一人の生徒に以下の文章を読ませる。エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように述べた。

> 「わたしたちは福音の計画は幸福の計画にほかならないというこの永遠の真理をまず最初に理解しなければなりません。邪悪な行いは過去，現在，未来にわたって決して幸福をもたらしません。神の律法を破れば，悲しみと，束縛と，暗闇（くらやみ）とを招くだけです。」（「大いなる改心」『聖徒の道』1990年3月号，4参照）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように述べている。

> 「悪事を行っている間，幸福はやって来ません。罪の中に幸福はないのです。あるのは惨めさと苦痛，後悔，心の痛み，苦悩です。幸福は義の道を歩んでいるときに訪れます。幸福は忠実さと義の中にあります。」（*Teachings of Gordon B. Hinckley*，256）

以下の質問をする。

- わたしたちは主に従うことによってどのように幸福を感じるでしょうか。
- この世の楽しみは，天父に従うことよりも幸福の度合いが低いのはなぜでしょうか。
- あなたがこれまでに最も大きな幸福を感じたのは，どのような行いを通して天父に従ったときですか。

この世の楽しみや一時的な快楽よりも義を選ぶことによって，尽きない喜びを得ることについて証する。

アルマ11：21－40。神の御子イエス・キリストは「まことの永遠の父」であり，「御名（みな）を信じる」すべての人に救いを与えられる。（40－45分）

以下のクイズを黒板に書くか，配付資料として生徒に配る。これらの質問はある預言者に尋ねられたものであることを説明する。答えを別紙に書くように言う。まだ正解を発表してはならない。

正誤問題

1. 福音について質問されたらすべてに答えなければならない。
2. 神は何人もいる。
3. イエス・キリストは御自分の民を罪のあるまま救われる。
4. 神の御子はまことの永遠の父である。
5. 永遠の命と救いは普通同じ意味である。

朗読が上手な二人の生徒にゼーズロムとアミュレクの役を演じさせる。アルマ11：21－40から二人の会話を読ませる。（あなたは語り手を務めるとよい。）二人の生徒が読んでいる間，ほかの生徒はアミュレクがクイズの答えを述べているので注意して聞くように言う。質問と答えを見つけたら自分の聖典に傍線を引くよう生徒に勧める。

朗読が終わったら，クイズの答えについて話し合う。問題の中には状況に応じて正誤のいずれにもなり得ること，アミュレクの答えはその状況に合っていたことを説明する。以下の提案と質問を使って話し合いを進めるとよい。

1. *福音について質問されたらすべてに答えなければならない。*（誤；アルマ11：21－22参照）

生徒に，アルマ12：9－11；教義と聖約42：12－14を読んで，アルマ11：22と相互参照するように言う。御霊（みたま）から許されたことだけを教えることがなぜ大切かについて話し合う。一般的に，教義を学ぶ準備ができたときに，御霊は人にそれが真実であることを証（あかし）される。

2. *神は何人*もいる。（誤；アルマ11：28－29参照）

御父と御子と聖霊は神会を構成し，それぞれに神の称号を持っておられるとわたしたちは信じていることを生徒が理解するように助ける。しかし，アミュレクは神会の物理的な面について答えたのではない。アミュレクは神が複数おられることについて話を展開するのでなく，イエス・キリストとキリストの神としての役割を中心に話した。1コリント3：2を読んで，以下の質問をする。

- 霊的に「乳を飲ませて，堅い食物は与えな〔い〕」とはどういう意味でしょうか。
- これは福音の質問に答えることについてどのように当てはまるでしょうか。
- 福音に関する質問に対して簡潔に答えるべき状況にはどのような場合があるでしょうか。
- 神に関するゼーズロムの質問にアミュレクは一言で答えましたが，それはなぜ賢明な方法だったのでしょうか。（ゼーズロムは論争することを目的に質問していた。彼は神の本質を理解しようとはしていなかった。）

3. *イエス・キリストは御自分の民を罪のあるまま救われる。*（誤；アルマ11：34参照）

この文章が誤りとなる大切な単語を見つけるように言う。「こ

の文章を正しいものとするために『あるまま』をどのような語に置き換えたらよいでしょうか。」ヒラマンの息子ニーファイは後にこれと同じ教義を教えて，この質問に答えている（ヒラマン5：10－11参照。3ニーファイ9：21も参照）。

4. *神の御子はまことの永遠の父である。*（正；アルマ11：38－39参照）

この教義はベニヤミン王も教えた。モーサヤ5：7を読んで，質問する。「イエス・キリストはどのような意味で御父でしょうか。」生徒の答えを黒板に書き出すとよい。以下のような答えが考えられる。

- イエスはわたしたちの生活を支えるために地球を創造された。イエスは創造を行われたために，わたしたちの御父であられる（ヘブル1：1－2；モーセ1：31－33参照）。
- イエスは復活を成し遂げられた。イエスはわたしたちの復活体に対して御父であられる（1コリント15：22；アルマ11：42；モルモン9：12参照）。
- イエスは贖罪によって新しい命を与えられた。イエスはわたしたちの霊的な再生の御父であられる（モロナイ10：33；モーセ6：59参照）。
- わたしたちが悔い改めて主に従うときにイエスはわたしたちの本質を変えて，家族の一員としてくださる。わたしたちが主の名を受けるとき，イエスはわたしたちの御父となられる（モーサヤ5：7－8；27：25参照）。

『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』61－62ページのモーサヤ5：7の解説も参照する。注意：父なる神と御子イエス・キリストは別個の，異なった存在であることを生徒が理解していることを確認する。

5. *永遠の命と救いは普通同じ意味である。*（正；アルマ11：40参照）

生徒に，救い主の名を信じる人々に与えられた約束に特に注意を払って，アルマ11：40を読むように言う。アミュレクは永遠の命を得る者だけに救いが与えられると語ったことに注目する。ブルース・R・マッコンキー長老による以下の説明を紹介する。

> 「預言者は，日の栄えの世界の至高の天において完全な救いに人々を導くことを目的としているため，〔預言者が〕救いについて語り，記すとき，それはほとんど例外なく，永遠の命すなわち昇栄を意味している。預言者は救い，昇栄，永遠の命を同義語として，いかなる違い，区別，差を持つことのない語として用いている。」（*The Promised Messiah: The First Coming of Christ*〔1978年〕，129）

アミュレクが教えた教義によって，以前よりも理解が深まった事柄を紙に書き出すよう生徒に言う。それらの教えがなぜ大切で，どのように生活に応用することができるかについても書くように言う。後に参照できるようにその紙を保存しておくように勧める。

アルマ11：40－46。救い主の贖いによって，すべての人は完全な体に復活して，裁きを受けるために救い主の前に連れ出される。（20－25分）

以下の語の定義を黒板に書き出す（黒板に書いた定義が表している言葉を書いてはならない）。定義と一致する語を探しながら，生徒とともにアルマ11：40－45を読む。生徒が正しい語を見つけたら，定義の横に書き出す。

- **贖い：**キリストの贖罪によって堕落と罪の影響から解放する。
- **肉体の死：**霊が肉体から離れること。
- **再び結合する：**再び一つになる。
- **回復される：**以前の状態に戻される。
- **思い出す：**記憶をよみがえらせる。
- **連れ出され：**行いを説明するために呼ばれる。
- **死すべき：**死を免れない。
- **朽ちる：**死によって腐敗する。

黒板に「復活」「裁き」と書く。クラスの半数の生徒に41－43節を，残りの生徒に44－45節をもう一度読んで，復活と裁きに関する教えを探すように言う。見つけた事柄を発表させる。新たに理解した事柄に印を付けるように言う。

46節を読んで，質問する。「ゼーズロムはアルマ11章に記されているアミュレクのどの教えによっておののいたと思いますか。それはなぜですか。」

家族や友達が亡くなった経験を持つ生徒がいるかどうかを尋ねる。（注意：繊細な気持ちを傷つけることのないように注意する。）以下の質問をする。

- その人の死について最もつらかったのはどのようなことでしょうか。
- その人がいなくて寂しいと思うのはなぜでしょうか。

知り合いの中で肉体的または精神的な障害を持っている人のことを考えるように言う。次のように質問する。「救い主はすべての人が完全な肉体と精神をもって永遠に生きられる方法を備えてくださったことを知ると，どのような慰めが得られるでしょうか。」

復活の力に関してあなたの感じていることを分かち合う。イエス・キリストのおかげで，あらゆる人が復活して，「行いに応じて裁かれるために」（アルマ12：12）神会の前に立つことを証する。わたしたちは贖いを受け入れ，キリストに望みを託して戒めを守るならば，忠実な者に約束された祝福を受ける。

アルマ12：1－8。神はわたしたちの思いを御存じであって，必要であれば，聖霊の力によって神の僕たちに明らかにされる。（30－35分）

以下の話を読む。

> 「〔ソルトレーク〕神殿の建築中，エンダウメント・ハウスの責任を受けていたヒーバー・C・キンボールは，儀式を執行するために神殿に入ろうとしていた人々に会った。彼は神殿に入るのにふさわしくない人が何人かいると感じた。そこで，自分が神殿に入るにふさわしくないと思う人は部屋を出るようにと言った。だれも部屋を出なかった。彼は重ねて，その資格がないために神殿に入るべきでない人々がいる，他の人々が神殿の儀式を始められるよう

にするために，ふさわしくない人々は部屋を出てほしいと言った。死のような静けさであった。だれも動かなかったし，返事もしなかった。3回目に，彼は，姦淫の罪を犯した人が二人いる。その二人が部屋を出なければ名前を言うと告げた。二人の人が部屋を出て，ほかの人々は神殿に入った。」（スペンサー・W・キンボール『赦しの奇跡』119）

ヒーバー・C・キンボール副管長はどのようにして「神殿に入るのにふさわしくない人が何人かいる」ことを知ったのかを生徒に質問する。アルマとアミュレクはキンボール副管長と同じような経験をしたことを説明する。アルマ12：1－3を読む。そして，アルマがゼーズロムの意図をどのようして知ったかを説明している箇所に印を付けるように言う。

教義と聖約6：16を読んで，アルマ12：3と相互参照する。二つの聖句を比較して，一方では教えられているが他方では教えられていない真理を挙げるように言う。（教義と聖約6：16は神は人の思いを知っておられるとだけ教えている。アルマ12：3は人の思いが御霊によってほかの人々にも知らされ得ることを明らかにしている。）この識別力は御霊の賜物である（教義と聖約46：11－12，23，27参照）。天父はわたしたちの思いを御存じであるが，わたしたちのプライバシーを尊重して，それらを他人に明らかにすることは頻繁に行われないことを生徒に理解させる。ブルース・R・マッコンキー長老の以下の説明を読む。

「人の思いは内密であって，他人からのぞかれることはない。また，悪魔にのぞかれることもない。……

しかし，主は人々の心にある思いと志を預言者に明らかにすることができるし，そうされることが時々ある〔モルモン書ヤコブ2：5；アルマ10：17〕。このように他人の思いを明らかにすることは，御霊の賜物の一つである。それは預言の霊に近いものであり，人の力ではなく神の力によって与えられる〔アルマ12：3，7；18：16－20，32；ヒラマン9：41〕。主は人々の間で業を行っておられた間，しばしば相手の心を読む力を使われた。」（*Mormon Doctrine*, 777。197も参照）

アルマ12：4－8を読んで，アルマはゼーズロムの思いを知って何をしたかを見つける。以下の質問をする。

- ゼーズロムはアルマから企みを明らかにされたために，心にどのような影響を受けたでしょうか。
- 監督やステーク会長などの神権指導者は教会員を助けるために識別の賜物をどのように使っているでしょうか。

御霊と波長を合わせて生活している人々は様々な方法によって人々を助けるよう導かれることを証する。御自分の子らの思いと志を知っておられることから，子らが祝福を受けるように天父はどのような方法で導きを与えられると思うか生徒に考えを述べさせる。生徒に自分の経験から例を話すよう勧める。必要であれば，以下の例を活用して話し合いを展開する。

- ある日，芳子は昼食に行く途中，自分のロッカーの前に立っている一人の女の子とすれ違いました。振り返って話しかけようという思いに駆られた芳子はそうしました。すると，彼女は転校して来たばかりで，友達が一人もいなくて，寂しい思いをしていることが分かりました。芳子はその女の子と一緒に昼食を取りました。それから二人の友情が始まりました。
- フアンは教師定員会の会長に召されたばかりです。新聞配達をしている間，定員会の一人の会員の名前が頭から離れません。フアンは彼が定員会の第一副会長になる人だという結論に至りました。その晩，フアンは監督に電話をかけて，推薦する人の名前を言いました。監督は自分が考えていた人と同じだったと言いました。
- ウォン兄弟は多忙な父親です。ある日の夕方，仕事から家に帰る途中，ホームティーチャーとして担当している家族を訪問すべきだと感じました。訪れてみると，父親が重い病気にかかっていました。母親は祝福を依頼するためにウォン兄弟を探していたところでした。
- ダニエレは自分の家族のためにパンを作っています。彼女は支部のある家族のことが心に浮かびました。その家族は父親が失業していました。彼女はその助けを必要としている家族にパンを届けることにしました。パンを持って行くと，その家族の母親は感謝しながら，食料が残り少なくなっていたことを打ち明けました。この贈り物を数回の食事に充てることができるとダニエレに言いました。

十二使徒定員会の会員だった当時にトーマス・S・モンソン長老は次のような経験を紹介している。

「ある日の午後，わたしはデゼレトジムで天井を見詰めながら背泳ぎをしていました。そのとき，静かではあってもはっきりと，ある考えがわたしの頭に浮かびました。『あなたの友人スタンは病院のベッドで身動きもできずにいるというのに，あなたはゆうゆうと水泳などしている。』そして，御霊のささやきを感じました。『病院へ行ってスタンに祝福を授けなさい。』

わたしは泳ぐのをやめ，服を着てから病院のスタンの部屋へと急ぎました。ベッドは空っぽでした。治療に備えて車いすでプールのところに行ったと看護婦が教えてくれました。急いでそこに行くと，スタンがたった一人でプールのいちばん深い所のふちにいました。あいさつを交わしてから，彼の病室に戻り，そこで神権の祝福を授けました。

ゆっくりと，しかし確実に，力と動きがスタンの足に戻ってきました。……

スタンは教会の集会で，主が自分を祝福してくださったことを度々話します。彼の話によれば，あの日の午後，プールのふちで車いすに座り，絶望的な人生を宣告されたように思ったとき，ゆううつな暗い思いにふさがれたそうです。そして，それから逃れる方法はないかと考えました。深いプールの穏やかな水面に向かって憎らしい車いすを押し出すのは容易なことでした。そうすれば，すべては終わります。しかしちょうどそのとき，友人であるわたしの姿が目に入ったのです。スタンはその日，文字どおり，人は一人で歩くのではないことを知りました。その日，わたしもまた教訓を学びました。それは決して，決して，決して，御霊のささやきに従うのを引き延ばしてはならないということです。」（「霊は人を生かす」『聖徒の道』1985年7月号，70）

以下の質問をする。

- スタンの思いを御存じだった天父はモンソン長老をどのように導いてスタンを助けられたでしょうか。
- モンソン長老にとって聖霊と波長を合わせていることはなぜ大切だったでしょうか。
- 友達を助けるようにとの促しを受けてからモンソン長老はどうする必要があったでしょうか。（促しに従って行動する必要があった。）

天父が子らに祝福をお授けになるときに助けとなることができるように，生徒がこれから行おうと思うことを以下の3つについて書き出すように勧める。（1）主の促しを受けるにふさわしくなる，（2）促しに気づく，（3）促しの声に従って行動する。

アルマ12：8－11。わたしたちは神に寄せる注意力と熱意の度合いに応じて，また神がふさわしいとされるときに，神の奥義を知ることができる。（10－15分）

以下の質問をする。

- もしあなたが教会のだれとでも15分間だけ話すことができるとしたら，だれと話すでしょうか。それはなぜですか。
- あなたはその人にどのようなことを尋ねるでしょうか。
- その人が与える勧告に対してあなたはどのように反応するでしょうか。それはなぜですか。

十二使徒定員会会員時代に語ったマリオン・G・ロムニー長老の以下の経験を読み聞かせる。

「昨年の秋，3つの伝道部を訪問しました。最後に，わたしはおよそ400名の宣教師と個人面接を行いました。そして，何か意見か質問があるかという問いかけに答えた一人の宣教師を通して，わたしは一瞬にして謙遜（けんそん）になる経験をしました。その宣教師はこのように言いました。『中央幹部から面接を受けることの，どこがそんなにすばらしいのですか。……

……ほとんどの宣教師は中央幹部との面接を心待ちにして，面接が終わると長い間その面接の思い出を話しています。わたし自身は特にそれがすばらしいこととは思いません。』」

生徒はロムニー副管長と一緒に旅行していて，ロムニー副管長からその宣教師の質問に答えるよう言われたと仮定する。生徒は何と答えるだろうか。生徒の答えについて話し合ってから，ロムニー副管長の言葉を読んで締めくくる。

「わたしは落ち着きを取り戻すと，……こう言いました。『この質問に答えてみてください。ある大会で隣り合わせに二人が座って，帰り道，一人が言いました。「これまで出席した中で最高の大会だった。とても感動した。」するとほかの一人は「それほどすばらしかったとは思わないよ。以前の話と同じようなものじゃないか」と言いました。なぜ，このようなことが起こるのでしょう。』」（Conference Report，1970年4月，66）

教会の同じ集会に出席した二人が大きく異なる経験をした理由について生徒の意見を求める。一人の生徒に，アルマ11：21からゼーズロムの最後の質問を声を出して読んでもらう。生徒全員に，22節を読んで，ゼーズロムがまじめに福音を学ぼうとしていたかどうかを判断するように言う。一人の生徒に，アルマ12：8から最初の文章を声を出して読ませる。それから以下の質問について話し合う。

- どの言葉がゼーズロムの心の変化を表しているでしょうか。
- 彼の心はどのように変化したのでしょうか。
- このことは福音の真理に対するゼーズロムの理解力にどのような変化を生んだでしょうか。
- 福音について質問する際にゼーズロムが見せた熱意は，彼が最終的に改心するうえでどのような役割を果たしたでしょうか。

生徒に，9節を読むように言う。神の奥義とは，世の中から隠されていて，忠実な者たちに啓示によって与えられる真理であることを説明する（アルマ26：22参照）。次のように質問する。「この聖句によれば，神の奥義を知るために人は何をしなければならないでしょうか。」10－11節を読んで，「わずかな御言葉しか受けない」のはどのような人であり，「さらに多くの御言葉を与えられ〔る〕」のはどのような人かを見つけるように言う。次のように質問する。「心をかたくなにしていると，最終的にどのような結果を招くでしょうか。」

あなたが以下のダリン・H・オークス長老の言葉を読む間，「注意力と熱意」は「さらに多くの御言葉を与えられる」こととどのような関係にあるかを注意して聞くように言う。

「神の戒めを守ることによって，祈りによって，生ける預言者の教えに注意を向けることによって，わたしたちは霊感と啓示を受けやすくなります。預言者の言葉は聖文を理解するうえで，またそのほかのことについて，わたしたちの導きとなります。……

……ブルース・R・マッコンキー長老はこのように語りました。『王国に関して決して明るみに出されない秘密の一つは，聖文が啓示を受けるための扉を開くということであるとわたしは時々考えることがあります。』（*Doctrines of the Restoration*，マーク・L・マッコンキー編，Salt Lake City: Bookcraft，1989年，243）聖文を読むとわたしたちは主の御霊（みたま）と波長が合うためにこのようなことが起きるのです。」（"Scripture Reading and Reveration," *Ensign*，1995年1月号，7－8）

福音をいっそう深く理解するために以下の行動はどのように役立つかについて生徒の意見を求める。

- 聖文を調べる
- 心から祈る
- 生ける預言者の教えに従う

福音を熱心に研究し，学んだ真理に注意を払うときに御霊の導きを受けられることについて証（あかし）する。福音を生活の中で応用することについて救い主は完全な模範を示しておられる。

アルマ12：12－18。わたしたちは自分の言葉と行いと思いに応じて裁かれる。（10－15分）

思いと信念が行動にどのような影響を与えるかについての事例を挙げるように言う。アルマ12：12－13を読んで，アミュレクの教えはこの原則とどのように関連しているかを見つける。

アミュレクはゼーズロムに対して厳しい警告を与えた。14節を読んで，罪に定められる3つの事柄に印を付けるように言う。モーサヤ4：30を読んで，14節と相互参照する。次のように質問する。言葉や行い，思いが清くないとなぜ，「あえて神を仰ぎ見ようとはしない」のでしょうか。15－18節を読んで，言葉や行い，思いをコントロールすることを身に付けないとどのような結果を招くかを挙げる。

次のように質問する。「わたしたちのひととなりや生活方法のほとんどは何を考えているかに大きく左右されます。その思いをコントロールするにはどうすればよいでしょうか。」正しい考えを維持する方法について以下の提案を紹介する。十二使徒定員会会員の時代にボイド・K・パッカー長老はこのように述べている。

> 「思いをコントロールできれば，たとえ下劣な習慣といえども習慣を克服することができる。習慣を従わせることができれば，幸せな生活ができる。
>
> あなたがたにお教えしたいのは，このことである。教会の聖なる音楽の中から，好きな賛美歌を1曲選びなさい。心を高めてくれる歌詞と敬虔な音楽で，霊感に近い何かを感じさせてくれる1曲を。……
>
> そこでその賛美歌をあなたの思いの行き場にしなさい。いざというときの水路にしなさい。……
>
> 音楽が始まり，思いの中に歌詞が登場すれば，価値のない思いは恥じたように消え去るであろう。」（Teach Ye Diligently〔1975年〕，46－47）

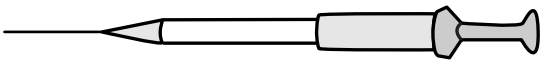
マリオン・G・ロムニー副管長はこのように述べている。

> 「これまでもそうであったように，今日の世の中においてもいちばん大きな問題はそれぞれの心の中にあります。すべての人は，心の葛藤に苦しんでいます。自分が心に抱く事柄と戦っているのです。しかしよく考えてみると，その原因は自分自身にあることが分かります。当然のことながら，人は自分の考えていることの中へ引き込まれていきます。その昔，賢者はこの偉大な真理を次のように簡潔に言い表しました。『ひととなりはその心に思うそのままであるからだ。』（欽定訳箴言23：7より和訳）……
>
> 兄弟姉妹の皆さん，世俗的な欲望を絶ちたいと思いながら，思いを御霊にかかわる事柄で満たさないとすれば，まったく理に反したこととしか言いようがありません。わたしは御霊にかかわる事柄がモルモン書の中で力強く教えられていることを知っています。……
>
> そこで愛する兄弟姉妹，そして友人の皆さんすべてに，毎日少しの時間を取ってモルモン書を読むことを生涯の習慣とするようお勧めしたいと思います。」（「モルモン書」『聖徒の道』1980年9月号，99－102）

霊感を与える音楽に耳を傾け，モルモン書を読むことによってどのように思いと言葉と行いをコントロールできるかについて生徒の経験を分かち合うように勧める。

アルマ12：22－37。神は全人類をその堕落した状態から救うために贖いの計画を用意された。神は子らにその計画を教えるために僕たちを遣わされる。（40－45分）

黒板に注射器を描く。以下の質問をする。



- 病気にかからないようわたしたちを守るためにこの器具はどのように使われるでしょうか。（血管にワクチンを注入するために使われる。）
- ワクチンはどのような働きをするのでしょうか。（免疫機能を高めて，特定の病気を発生させる細菌を攻撃する抗体を作る。）
- 細菌は肉眼では見えません。細菌が危害を加えることをわたしたちはどのようにして知るのでしょうか。（細菌に感染して病気にかかったり，命を奪われたりしてきたほかの人たちから。）

一人の生徒にボイド・K・パッカー会長代理の以下の話を読んでもらう。

> 「皆さんは幼いときに免疫注射を受けました。小さくて目に見えない敵である伝染病菌にさらされても，皆さんを守るために抗体が体内に注入されました。……
>
> ……わたしはこれまで何度伝染病菌にさらされたか知りませんが，予防接種で一時的に嫌な思いをしたおかげで，重大な病気にかからずに済んできました。
>
> 適正な血清によって伝染病から体を守ることができますが，同じ方法で思いと霊に免疫を作ることはできません。思いと霊に免疫を作るのは皆さんの考えと真理です。」（*The Play and the Plan*〔1995年5月7日ヤングアダルト向けの講話〕，1）

生徒に，アルマ12：25－26，30，32－33を読んで，7回登場する語句を見つけるように言う。（「贖いの計画」）この語句が出てくる度に印を付けるように勧める。「贖いの計画」「幸福の計画」「偉大な憐れみの計画」「救いの計画」「大いなる創造主の憐れみに満ちた計画」などの語句はモルモン書の中で20回以上登場することを指摘する。次のように質問する。「主の預言者たちはなぜこの教義をそれほどまでに強調していると思いますか。」贖いの計画に関する知識はどのようにパッカー会長代理が述べたワクチンに似ているかを考えるように勧める。

生徒に，アルマ12：25，30に目を通して，贖いの計画はいつ作られたかを探すように言う。わたしたちは地上に来る前にこの計画について教えられたことを証する。わたしたちは皆，この計画を理解し，受け入れた。パッカー会長代理は次のように教えている。

「わたしたちがこの世の生涯で歩む道は，誕生から死を迎えるまで永遠の律法に合致していて，偉大な幸福の計画として啓示に述べられている計画をたどっています。皆さんの心に植え付けたい一つの考え，一つの真理はこれです。計画は3つの部分から成っています。皆さんは第2すなわち真中の部分にいます。誘惑や試練や恐らく悲劇によって試される部分です。このことを理解してください。そうすれば，人生の意義をさらに理解することができ，疑いと絶望と憂うつという病魔を退けることができるようになります。」（*The Play and the Plan*，1－2）

幕があるために前世の生活を思い出すことはできないが，わたしたちは地上に来る以前に生活しており，死んだ後も生き続ける。以下の質問をする。

- 3つの部分から成る計画の第2の部分に生きていることを知っていると，誘惑にさらされたときにどのように役立つでしょうか。
- このことを理解していることは苦難に出遭ったときにどのように助けとなるでしょうか。

アルマはゼーズロムに贖いの計画を説明した。贖いの計画の各要素を明確にするために以下の活動を行うとよい。

クラスを2人か3人ずつのグループに分ける。各グループに以下の表から1組かそれ以上の聖句を割り当てる。1組の聖句について1枚の紙を配る。それぞれの聖句から贖いの計画の要素を見つけて，紙に書き出すように言う（簡単な絵で表現させてもよい）。作業が終わったら，各グループは聖句を読んで，紙に書いたことを説明する。

アルマ12章	
22節	**アダムが堕落したことにより，全人類は迷い堕落した。**
23，26節	**死はアダムの堕落の結果であり，計画になくてはならない要素である。**
24節	**地上の生涯は試しの状態，神に会う用意をする時期である。**
25節	**もしも贖いの計画がなかったならば，復活もなかっただろう。**
25，30節	**地球が創造される以前から計画は備えられていた。**
27節	**全人類は死んで，裁きを受ける。**
28－30節	**神は神の子らの信仰と悔い改めと聖なる行いに応じて計画を示される。**
32節	**神は贖いの計画を教えた後に，戒めをお与えになった。**
33－34節	**独り子による贖いは贖いの計画の中核を成す。**

節の順に紙を黒板にはり出す。計画の各要素がどのように全体を構成するかを生徒が理解できるように，それぞれの紙に記されている原則を復習する。生徒が表の右側の各概念を理解していることを確認する。これらの教義はどのようにわたしたちの「霊の予防接種」となるかについて話し合う。

33－34節の重要性に生徒の注意を向ける。贖いの計画を実現可能にしたのは贖い主であることを説明する。「贖罪」（redemption）と「贖い主」（Redeemer）の両方ともに「贖い」（redeem）という語が元になっていることを指摘する。以下の贖いの定義を黒板に書く。「買い戻す，埋め合わせる，買い戻し金を支払って捕らわれの身から解放する，救出する，回復する，償う。」次のように質問する。「これらの定義は贖いの計画における贖い主の役割についてどのようなことを教えているでしょうか。」モーサヤ3：7と，「街を離れたる青き丘に」（『賛美歌』110番）の3節を読む。次のように質問する。「なぜ，イエス・キリストは贖いの計画を成就できる唯一の御方だったのでしょうか。」

パッカー会長代理はこのように助言している。

「ある人は生まれながらにしてわずかしか与えられず，ある人は多くを与えられています。貧困，障害，苦痛，苦難を背負って生まれる人々がいます。成熟する前に死を迎える人がおり，無垢な幼子のうちに死んでしまう子もいます。凶暴で情け容赦のない自然の力があり，人が人に対して残虐な行為を行っています。わたしたちは最近このようなことをよく目にしています。

神はこれらを勝手気ままに行っておられると考えてはなりません。神御自身の目的において許しておられるのです。そのすべての計画と目的を知るときに，あなたはこれらのことも愛に満ちた天父を明らかに示すものであることが分かるでしょう。」（*The Play and the Plan*，2）

贖いの計画を与えてくださった天父と御子の愛に感謝を表す。

アルマ12：31－13：2。メルキゼデク神権者の責任の一つは神の子らに，キリストのように立派な生活を送って最終的に永遠の命を受ける方法を教えることである。（25－30分）

レッスンが始まる前に預言者ジョセフ・スミスの絵を黒板にはり，その横に次の言葉を書いておく。

「メルキゼデク神権は……あらゆる知識，教義，救いの計画とあらゆる大切な事柄が天より啓示される経路である。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，166－167）

以下に共通しているものは何かを尋ねる。道路のセンターライン，二つの土地の境界線，同一標準時を用いる地帯，国土の境界線，緯度と経度，時と分。（すべて人の作った区分である。）これら人工的な区分と同じように，聖典の章と節は人によって付け加えられたものであることを説明する。これによって聖句を探すことができる。しかし，章で区切られていることで前の章から始まっている概念の展開が分かりにくくなることがある。マタイ24章の最後の数節と25章の最初の節を読んでこの具体例を示すとよい。もう一つ，1コリント12章の最後と13章の最初を例として挙げることができる。

モルモン書には前の章からの前後関係を考えながら読むと理解しやすい章が幾つかあることを説明する。生徒に，アルマ13：1を読むように言う。「これらの戒め」で中断させて，次のように質問する。「アルマはどの戒めについて述べているのでしょうか。」生徒にアルマ12：37から戒めについて述べられている箇所を見つ

けるように言う。「第二の戒め」とは何を指しているかを明確にするために，アルマ12：31を読んで，「最初の戒め」という語句があることを指摘する。脚注②の参照聖句から，最初の戒めとは何かを確認させる。アルマ12：32を読んで，以下の質問をする。

- 主はアダムとエバに新しい戒めを与える前に何をされたでしょうか。（主は二人に贖(あがな)いの計画を示された。）
- 最初に救いの計画を知っていると，どのように天父の戒めに従いやすくなるでしょうか。（救いの計画によって，なぜ戒めが与えられているかを知ることができる。）
- 教義と聖約82：3を読んでください。この聖句はアルマ12：32で教えられている原則とどのような関係があるでしょうか。（わたしたちは教えられた***後***にいっそう大きな律法に従うことを求められる。）

黒板に「これらの戒め」と書く。以下の質問をして，生徒の答えを黒板に書き出す。

- アルマ12：32によれば，神が与えられた戒めの一つは何でしょうか。
- 33－34節を読んでください。神はほかにどのようなことを行うようわたしたちに求めておられるでしょうか。
- このことはわたしたちをどのようにキリストに近づけてくれるでしょうか。

生徒に，アルマ13：1－2を読んで，天父は「これらの戒め」をどのようにして子らに教えられるかを見つけるように言う。生徒に脚注2①に印を付けてから，教義と聖約107：2－4を読むように勧める。次のように質問する。「アルマ13：2に記されている『御子の位に従〔う〕』とは何の権能を指しているでしょうか。」（メルキゼデク神権）ブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読む。

> 「モルモン書の預言者たちは現在の神権時代において大祭司として知られている役員に祭司という称号を与えた。すなわち，彼らはメルキゼデク神権の祭司であった。……アルマの時代にニーファイ人の間ではアロン神権は存在しなかったため，……小神権と大神権の祭司を区別する必要はなかった。」（*Mormon Doctrine*，599）

アルマ13：1によれば，主はなぜメルキゼデク神権をお与えになったのだろうか。時間に余裕があれば，モルモン書の前の章からこの例を示すとよい。例えば，アルマ6：1－5を読んで，これらの神権者はどのように召しを果たしていたかを見つける。黒板にはってある預言者ジョセフ・スミスの言葉を読み，「これらの戒め」のリストを参照する。メルキゼデク神権者がこれらの責任を果たすために実施していることを生徒に挙げるように言う。（宣教師として働く，ホームティーチングの割り当てを果たす，定員会集会に出席する，神権の祝福や神殿の聖約と儀式を執行する，などの答えが含まれる。）

メルキゼデク神権のおかげで，すべての教会員がキリストのようになるための方法を学ぶために，奉仕する機会，聖約と儀式，召しが備えられていることについて証(あかし)する。

アルマ13章。多くの人々は現世でメルキゼデク神権の召しを受けることを，前世で予任された。神権の召しは個人のふさわしさに基づいており，イエス・キリストの模範に従っている。（35－40分）

ソルトレーク神殿の写真を見せる（『福音の視覚資料セット』502など）。以下の質問をする。

- この神殿を建てるために何年かかったでしょうか。（40年）
- 建設を始める前にどのような準備が必要だったでしょうか。（設計図を引く，資材を集める，作業を組織化する。）
- 聖徒たちがソルトレーク盆地に入る何百年も昔にこの神殿について知っていた人はだれでしょうか。（生徒とともにイザヤ2：2－3を読む。副管長時代にゴードン・B・ヒンクレー大管長はソルトレーク神殿について，「これは紛れもなくイザヤの預言の成就です」と語った〔「ソルトレーク神殿」『聖徒の道』1993年11月号，7〕）。
- この神聖な建物に入るにはどのような生活をしなければならないでしょうか（教義と聖約97：15－16参照）。

メルキゼデク神権は神殿のようなものであることを生徒に教える。神殿を建てるには外形的な準備が必要であり，神殿に入るには霊的な準備が必要である。アルマ13章は，この世で神権を持つ人々は前世で召され，準備され，予任されたことを教えている。

以下の活動を行う間，神権に関して教えている語句に印を付けるよう生徒に勧める。生徒を二つのグループに分ける。各グループに以下の表から聖句ブロック選んで，読み，質問に答えるように言う。グループが見つけたことを黒板に書き出して，クラス全体で話し合う。

アルマ13：1－9 神権を受けるための条件	アルマ13：10－19 神権を尊ぶ
• なぜメルキゼデク神権者が聖任されるのでしょうか（1，6節参照）。 • いつ彼らは最初に召されたでしょうか（3，5節参照）。 • 彼らはどのような資格を満たしているために神権を受けるのでしょうか（3－4節参照）。 • 神権はどのような性質を持っているでしょうか（7－9節参照）。	• 神権者はどのようにしてその聖なる召しにふさわしくなるのでしょうか（10－12節参照）。 • 神権者（またはその他の聖徒たち）はふさわしい状態を維持するためにどのような生活を送るべきでしょうか（12－14節参照）。 • 神権を尊ぶことについてメルキゼデクの模範はどのようなことを教えているでしょうか（17－19節参照）。

話し合いを展開するために以下の預言者の言葉を活用する。預言者ジョセフ・スミスはこのように述べている。

> 「世の人々を教え導く召しを受けている人はすべて，前世の天上の会議において，まさしくその目的のために聖任されたのである。わたし自身，天上の会議でまさしくこの職に聖任されたと思う。」（デビッド・B・ヘイト「新しい預言者への支持」『聖徒の道』1995年7月号，40で引用）

J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長はこのように述べている。

「〔預言者ジョセフ・スミスによるこの言葉は〕小さな召しや小さな者であるわたしたちをも含んでいるとわたしは考えたいのです。……恐らくその会議において，何が期待されているかを示され，この世で再度確認を受けることを条件に，地上において神の王国を建設するに当たって特定の事柄を行う権限が与えられて，少なくとも何かの言葉がわたしたちにかけられたと考えたいのです。」（Conference Report，1950年10月，170－171）

十二使徒定員会会長を務めていた時代にウィルフォード・ウッドラフ大管長はこのように述べている。

「わたしは聖なる神権を受けている使徒，大祭司，七十人，イスラエルの長老たちに関して，彼らはここへ来る前に聖任されていたと信じています。イスラエルの神は彼らを養い，幼いときから彼らを見守り，目に見える生活と見えない生活の両面について様々な場面を経験させ，彼らを主の手に使われる者として備え，この王国を背負わされたと信じています。」（*Journal of Discourses*，第21巻，317）

ハロルド・B・リー大管長はこのように述べている。

「今述べた聖句の中で言われている『予任』という召しにもかかわらず，次のような霊感に満ちた宣言もある。『まことに，召される者は多いが，選ばれる者は少ない。……』（教義と聖約121：34）

この聖句から分かることは，確かに人は現世で選択の自由が与えられているが，創世の前に大いなる召しに予任された人が大勢おり，現世でその召しにまだ十分備えていない人も大勢いるということである。たとえ彼らがかつて高潔で偉大な者たちの中に数えられ，御父が彼らの中から指導者を選び出すつもりでおられたとしても，彼らが予任された召しを現世で全うできないということはあり得る。」（*Stand Ye in Holy Places*〔1974年〕，9）

副管長時代にゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように述べている。

「この神聖な力を授かった者はだれでもこの崇高な真理を認識しなければなりません。神権と結びつく天の力は『義の原則に従ってしか制御することも，運用することもできない』のです。」（「正義の原則によりてのみ」『聖徒の道』1993年5月号，22）

義にかなったメルキゼデク神権者が教会員に祝福をもたらす方法を挙げるように言う。（模範，奉仕，神権の祝福，祝福師の祝福，儀式を通して，などの答えが含まれる。）以下の質問をする。

- 若い男性はどのような方法でメルキゼデク神権を受ける準備ができるでしょうか。
- 若い女性は若い男性が備えるのをどのように助けることができるでしょうか。
- 若い男性と女性はどのようにして神殿の儀式を受ける準備ができるでしょうか。

生徒とともにアルマ13：27－28を読んで，わたしたちがこれらの祝福を受けるにふさわしい状態を保つためにできることに印を付けるよう勧める。

アルマ14章。選択の自由は非常に大切なので，神は義人が他人の邪悪な行いによって苦しみを受けるのを黙認されることがある。しかしながら，神はわたしたちの苦難を忘れておられるわけではなく，試練に遭っている忠実な人々を祝福してくださる。（30－35分）

実際にはしていないのに何か悪いことをしたとして非難された経験があるかどうかを生徒に尋ねる。そのようないわれのない非難を受けたときの気持ちについて話し合う。生徒に，不正に非難されたり，迫害されたり，殺された人々の例を聖典から挙げさせる。アルマ14章には忠実な女性や子供たちが邪悪な人々によって命を奪われた出来事が記されている。章全体を生徒とともに読んでもよい。生徒の理解を助けるために以下の質問と提案を活用する。

3節

1ニーファイ16：2を読んで，アルマ14：3と相互参照する。次のように質問する。「邪悪なことをしている人々はなぜ，悔い改めるように言われると怒るのでしょうか。」

6－7節

ゼーズロムはかつて，法律家の中でも「最も有能な者の一人」であると認められていました（アルマ10：31）。人々はなぜ彼の言葉に耳を傾けなくなったのでしょうか。

10節

主はなぜ罪のない人々を悪人の手に渡したままにしておかれると思いますか（この質問の答えを見つけるためにアルマ60：13を読む）。

11節

以下の質問をする。

- 福音のために苦しみを受けている人々に対して，この節で説かれているどの教義が慰めを与えるでしょうか。
- 苦難を耐え忍んでいる人々の模範は，困難な時期を迎えているときにどのようにわたしたちを強めてくれるでしょうか。

モーサヤ17：11－20についての「教え方の提案」に記されているラファエル・モンロイとビセンテ・モラレスの物語を復習する（116ページ）。

17－19節

これらの節とマタイ27：12－14に記されている救い主の対応とを比較する。次のように質問する。「なぜ，何も答えないことが最良の答えとなると思いますか。」

26－29節

- アルマの最初の問いかけに注目する。同じような問いかけをしたいと感じたことがあるでしょうか。それはいつのことでしたか。

- 主は最終的にどのようにしてアルマとアミュレクを苦しみから解放されたでしょうか。
- 二人はなぜ命を助けられたのでしょうか。

ジェームズ・E・ファウスト副管長の以下の話を分かち合う。

「時々，わたしたちの歩む道が苦しくてチャレンジに満ちているからといって，天の御父がわたしたちを心にかけておられないなどと思わないようにしようではありませんか。……わたしたち一人一人が，次のような励みになる主の勧告に従っていけますように。『苦難の中で忍耐強くありなさい。あなたは多くの苦難を受けるからである。しかし，それに耐えなさい。見よ，わたしはあなたの生涯の最後まで，あなたとともにいるからである。』（教義と聖約24：8）」（「逆境から生まれる祝福」『聖徒の道』1998年5月号，8）

主はわたしたちの試練を御存じであり，わたしたちが最後まで忠実に堪え忍ぶならば祝福してくださることを証する。

アルマ15：3－11。イエス・キリストを信じる信仰を持ち，神の御心にかなうならば，わたしたちは苦しみを癒される。（15－20分）

生徒に，何かについて非常に心配したために体の健康を害したことがあるか，またはほかの人がそのような経験をしたのを知っているかどうかを尋ねる。それらの経験を話すように言う。ボイド・K・パッカー長老はこのように述べている。

「最近わたしは地域医療に従事している一人の医師に純然たる体の病気の治療にどれくらいの時間を充てているか尋ねてみた。大勢の患者を抱えている彼は，しばらく考えてからこう答えた。『20パーセントにもならないだろうね。あとの時間は，体そのものには起因しないが，患者さんたちの健康に非常に影響するいろんな問題にかかわっている感じだね。』

そして彼は最後にこう言った。『そういう人々の体の不調は，別の問題がそんな形を取って表れたにすぎないんだよ。』」（「ギリアデの乳香」『聖徒の道』1978年2月号，91）

以下の質問をする。

- 体に関係のないどのような問題が体の病気の原因となることがあるでしょうか。（ストレス，悩み，怒り，恐れなどの答えが考えられる。）
- 罪のために体の健康が害されることがあるでしょうか。

生徒にどこを読んでいるかを明かさないで，アルマ15：1－3を，「その高熱は……ために起こったものであった」の「……」の部分を抜かして読み，生徒に文章を完結させるように言う。生徒に，3節を読んでゼーズロムの高熱の原因を見つけるように言う。原因に印を付けるように言う。ゼーズロムはなぜこれが原因で病気になったと思うかを生徒に尋ねる。

4－5節を読んで，質問する。

- ゼースロムが最も苦しんだのはどのようなことでしたか。
- アルマはどのようにして彼を助けることができましたか。

パッカー長老はこのように続けている。

「わたしたちには触って知ることはできないが，肉体と同じように存在の確かなもう一つの部分がある。その触って知ることのできない部分は，心，感情，知性，気質など，様々に言われている。霊性と呼ばれることはきわめてまれである。

しかし，人には霊がある。それを見過ごすことは現実を無視することである。実際に霊は不調になるし，病気になる。そして，極度の苦しみを被ることがある。

人の体と霊は一つに結ばれている。そのためにしばしば，不調なときに，どちらがどうなのか判別が非常に困難な場合もある。」（「ギリアデの乳香」『聖徒の道』1978年2月号，91）

アルマ15：6を読んで，質問する。「ゼースロムが癒されるためにアルマの質問はなぜ大切だったのでしょうか。」（癒されるかどうかはイエス・キリストを信じるゼースロムの信仰にかかっていたから。）3人の生徒に以下の聖句を読ませる。アルマ15：7－12；マタイ9：2－7；ヤコブの手紙5：14－15。次のように質問する。「ゼーズロムは熱が下がっただけでなく，ほかにどのような癒しを受けたでしょうか。」ブルース・R・マッコンキー長老の以下の説明を紹介する。

「信仰，献身，義，個人のふさわしさを備えている人は癒しを受けられる状態にある。また，その人の生活の方向性を御霊が義と承認してくださる状態にある。また，ふさわしくなければ受けることのできない御霊の交わりを受けるという事実から明らかに分かるように，その人の罪は赦されているのである。」（*Mormon Doctrine*，297－298）

体の病気を治す同じ力が，病んでいる人に霊的な癒しをもたらし得ることを証する（マタイ9：5；ルカ5：18－25参照）。主イエス・キリストを信じる信仰によって両方が可能となる。病人が癒されたのを目撃したあなたの経験を話す時間を取るとよい。

アルマ16：14－17。聖霊の力により神の言葉を教え，また受けると，わたしたちはイエス・キリストの再臨に備えることができる。（20－25分）

この教え方の提案を基にして教える1日か2日前に2人ないし4人の生徒に，アルマ16章に記されている出来事から「ニュース番組」をクラスで発表するよう頼んでおく。台本を作り，創造性を発揮するよう奨励する。そのうち半数の生徒にアモナイハの滅亡を中心に番組を作るよう指示する（アルマ16：1－11参照）。そこにどのような人々が住んでいて（アルマ8：9；9：4；14参照），彼らの罪悪の結果がどんなものであったかも含めるよう指示する。残る半数の生徒にはアモナイハの滅亡後，アルマとアミュレクがニーファイ人への伝道に成功したことについて報告するよう指示する（アルマ16：12－21参照）。人々は彼らの教えにどのように反応したかを扱うようにする（特に，アルマ16：13，16－17，21参照）。

これからアルマの時代のニュース番組を見ると言って，発表の紹介をする。アモナイハの人々と，ほかのニーファイの町の人々が福音のメッセージに対してどれほど対照的な反応を示したかに

注意するように言う。

ニュース番組が終わったら，メッセージに対する反応の大きな違いについて生徒に質問する。アルマ16：12－17を読んで，教えに耳を傾け，信じようとした人々がどのように祝福を受けたかを見つける。それらの祝福が記された箇所に印を付けるように言う。アルマ14：26－27，29を読んで，「恐れ」という語に注目するように言う。アルマ16：20を読んで，アモナイハの邪悪な民が抱いた恐れと対照的な気持ちを探すように言う。21節を読んで，これらの人々はなぜ救い主の降臨の準備ができていたかについて話し合う。次のように質問する。「これはイエス・キリストの再臨に備えることについて，わたしたちにどのようなことを教えているでしょうか。」

はじめに

伝道を終えて帰還する多くの男女が，その経験を振り返って人生最良の年月だったと言うのはなぜだろうか。七十人のローレン・C・ダン長老はこのように説明している。「彼らが伝道に出た理由は様々です。義務を果たすため，奉仕のため，宣べ伝えるメッセージへの証のためであったりします。しかし，1年半または2年間の名誉ある伝道を終えると，彼らは一様に，自分が仕えた人々に対して深い愛を抱くようになります。」（「愛の福音」『聖徒の道』1986年1月号，11）

モーサヤの息子たちは，自分たちニーファイ人を憎んでいる人々の間で14年間福音を宣べ伝えた。苦難や迫害を受けたにもかかわらず，多くのレーマン人の心をイエス・キリストの福音に向けさせることに成功した（アルマ17：4－5参照）。レーマン人に対する愛と奉仕が心を和ませ，教えるための門戸を開いたのだった。彼らは聖文を調べ，度々祈りと断食をすることによって預言と啓示の霊を授かったため，力と権能をもって教えることができた（アルマ17：2－3参照）。「彼らは，だれであろうと人が滅びるのに耐えられなかったからである。まことに，無窮の苦痛を受ける人がいると考えただけで，彼らは震えおののいた。」（モーサヤ28：3）あなたがこれらの章を研究するに当たって，モーサヤの息子たちがレーマン人に示した愛と奉仕の行為を探し，これらの行いが伝道活動を成功に導いたことに注目する。

学び取るべき重要な福音の原則

- 聖霊を受け，福音を理解するために，断食と祈り，聖文の研究は助けになる（アルマ17：1－3，9－10参照。モルモン書ヤコブ4：6；教義と聖約88：76－78も参照）。
- キリストのような方法で仕える人々は，教える相手に影響を及ぼす大きな力を得る（アルマ17：11，20－25；18：8－23参照）。
- 神の本質，創造，アダムの堕落，わたしたちの堕落した状態，救い主の贖罪の必要性を含むまことの福音を教えることによって，人々を悔い改めに導き，生活を変えさせることができる（アルマ18：24－41参照。コロサイ1：13－16；アルマ22：10－14も参照）。
- イエス・キリストの福音は人に光と希望と喜びをもたらす（アルマ19：6，12－14，29－36参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』85－86。

教え方の提案

アルマ17：1－6。年代の概要（5－10分）

アルマ17：1－4を読んで，アルマとモーサヤの息子たちがどれほどの期間伝道したかを見つける。生徒に，しおりに印刷されているモルモン書の年表（カタログ番号32336 300）を参照して，「息子アルマ」と「レーマン人への伝道」を見つけるように言う（この年表は生徒用学習ガイドの末尾にも掲載されている）。

一人の生徒にモルモン書のアルマ17章の前にある概要を読ませる。以下の質問について話し合う。

- アルマ17－26章にはどのようなことが記されているでしょうか。
- モルモン書の中で同じ時期にほかにどのようなことが起きていたでしょうか。（アルマとアミュレクは伝道活動を行っていた。）
- これらの章は何年ごろの出来事を扱っているでしょうか。（紀元前約91－77年）

生徒に以下の表を見せて，挙げられている聖句に素早く目を通させる。コピーを取って生徒に配り，聖典に挟んでおくようにするとよい。

アルマ1－27章の概要
（年代は推定）

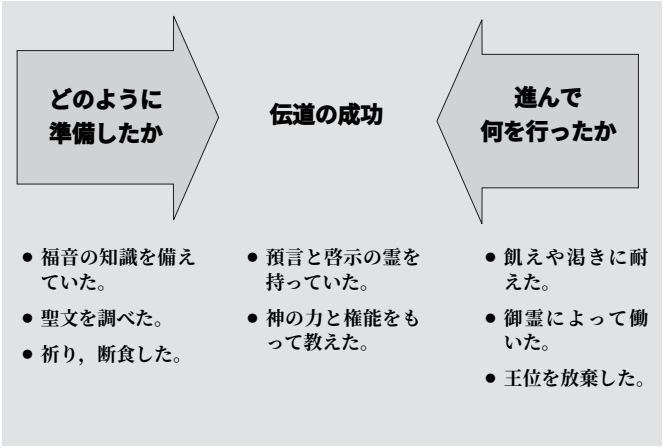
ニーファイ人の間で		レーマン人の間で
		紀元前91年 モーサヤの息子たちがレーマン人に伝道するために出かける（アルマ17：6－19参照）。
紀元前91年 アルマがニーファイ人の大さばきつかさとなる（アルマ1－4章参照）。		
紀元前83年 アルマはさばきつかさの職を退いて，伝道を行う（アルマ5－15章参照）。	紀元前81－78年 改宗しなかったレーマン人はニーファイ人に戦いを挑み，アモナイハの市を滅ぼす（アルマ16章；25章参照）。	モーサヤの息子たちは伝道の成功を喜ぶ（アルマ25章；17章；26章参照）。
紀元前77年 アルマとモーサヤの息子たちが再会する（アルマ17：1－5；27：16参照）。		紀元前77年 モーサヤの息子たちと改宗したレーマン人はゼラヘムラへ行く準備をする（アルマ27：1－15参照）。

アルマ17：1－12。わたしたちが聖霊を受け，福音を教えるために，断食と祈り，聖文の研究は助けになる。（10－15分）

次のように質問する。「宣教師は伝道に出る前に肉体的，物質的にどのような準備をしておかなければならないでしょうか。」黒板に「物質的な準備」と見出しを書いて，その下に生徒の答えを書き出す。（衣服を用意する，健康診断と歯の検査を受ける，貯金するなどの答えが含まれる。）次のように質問する。「霊的にはどのような準備をすべきでしょうか。」黒板に「霊的な準備」と見出しを書いて，その下に生徒の答えを書き出す。（モルモン書を読む，祈る，断食する，『福音の標準教授法』を勉強する，神殿の聖約を交わすなどの答えが含まれる。）以下の質問について話し合う。

- 宣教師として成功するために物質的な準備をすることはなぜ大切でしょうか。
- 宣教師として成功するためになぜ霊的な準備を欠かすことができないのでしょうか。
- 準備不足は，宣教師としての成功にどのような影響を与えるでしょうか。それはなぜでしょうか。

アルマ17：1－6を読んで，モーサヤの息子たちはどのように準備したか，また伝道を成功させるためにどのようなことを進んで行ったかを見つける。答えを見つけたら，以下の表に記入する。



生徒が宣教師として働くことについて抱いている気持ちは，モーサヤの息子たちが伝道に対して抱いていた期待に匹敵するかどうかを尋ねる。今日（こんにち）の宣教師が主の力を受けるためにどのように犠牲を払い，奉仕し，研究し，断食しているかを示す宣教師の経験を生徒が知っていれば，分かち合うように勧める。アルマ17：9－10を読んで，奉仕する人々に主が与えられる導きと守りと慰めについて証（あかし）する。

次のように質問する。「啓示の霊と『神の力と権能をもって』（3節）教える能力は人々にとってどのような祝福となるでしょうか。また，それはあなたにどのような祝福となるでしょうか。」七十人を務めていた当時に語ったW・マック・ローレンス長老の以下の言葉を分かち合う。

> 「これと同じ啓示の霊，すなわち改心の霊は，断食と祈り，従順，聖文の研究を通して熱心に求めるすべての人に注がれます。」（「改心と決意」『聖徒の道』1996年7月号，87）

教義と聖約84：85に記されている主の約束を読む。断食と祈り，従順，聖文の研究を通して与えられる啓示の霊について証する。福音を人々と分かち合うには啓示の霊が必要であることを説明する。

アルマ17：19－18：17。しばしば預言者は救い主の生涯の予型となる。（45－50分）

注意：この教え方の提案はモーサヤ7：1－8，16とモーサヤ11－17章の教え方の提案を発展させたものである。

レッスンが始まる前に以下の言葉を黒板に書いておく。

> 「あなたの知人でキリストを知らない人が，あなたと知り合ったために，キリストについて知りたいと望むような生活を送りなさい。」（H・デビッド・バートン「耳を傾ける勇気」『聖徒の道』1994年7月号，71）

生徒にモーセ6：63を読むように言う。以下の質問をする。

- この聖句は黒板の言葉とどのような関係があるでしょうか。
- わたしたちはどうすればイエス・キリストを証（あかし）するような生活をすることができるでしょうか。

1ニーファイ22：20－21を読んで，モーセは民にだれのことについて語ったかを見つける。モーセの生涯のどのような点が，イエス・キリストの生涯を思い起こさせるかを生徒から挙げさせる。（二人とも幼い時代に殺されそうになった，40日40夜断食した，弟子や従う人たちに奇跡的な方法で食べ物を与えた，従う者たちを束縛から解放した。）聖典に登場するほかの預言者たちの生涯もイエス・キリストを示している。「アブラハムがイサクをいけにえとして差し出すよう求められたことはどのように天父と独り子を思い起こさせるでしょうか（モルモン書ヤコブ4：5参照）。」

以下の表の各列を何人かの生徒に割り当てる（各生徒にアンモンに関する聖句とそれに対応するイエス・キリストに関する聖句を割り当てるようにする）。割り当てを受けた生徒は自分の聖句を静かに読む。クラスでアルマ17：19－18：17を読む。表に挙げられている箇所に来たら中断して，割り当てを受けた生徒からアンモンの経験がどのようにイエス・キリストを思い起こさせるかを発表させる。

アンモン	イエス・キリスト
アルマ17：20	マタイ27：2
アルマ17：25	ヨハネ10：11
アルマ17：31	マタイ18：12－13
アルマ17：37	教義と聖約6：2
アルマ18：3	ヨハネ10：17－18
アルマ18：10	ヨハネ6：38
アルマ18：13	ヨハネ20：16
アルマ18：17	ルカ22：42

モルモン書の主要な目的は「ユダヤ人と異邦人に，イエスがキリストであり，永遠の神であり，すべての国民に御自身を現され

ることを」（モルモン書タイトルページ）確信させることである。これについて生徒に証する。エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の勧告を分かち合う。

「誠心誠意で真理を求める人は，霊感あふれるモルモン書の言葉について祈りの気持ちをもって深く考えるなら，イエスはキリストであるとの証を得ることができます。……

……モルモン書を読んで，イエスがキリストであるとの確信を得るようにしましょう。またモルモン書を何度も繰り返して読むことにより，キリストのみもとへさらに近づき，キリストに専心し，キリストを中心とし，キリストにすべての思いを向けるようにしましょう。」（「キリストのみもとに来て」『聖徒の道』1988年1月号，90，92）

アルマ17：19－18：23。キリストのような方法で仕える人々は，教える相手に影響を及ぼす大きな力を得る。（15－20分）

注意：この教え方の提案は，生徒がアルマ17－18章のアンモンの経験をよく知っていることを前提にしている。

宣教師は伝道を始めるときに小さな手引き書を与えられることを生徒に教える。もしこれを手に入れることができれば，生徒に見せる。この手引きには伝道を成功させるための指針，原則，規則が記されていることを説明する。宣教師はこの手引きをいつも持っていて，しばしば読み，その教えに従って生活しなければならない。奉仕に関する指示を手引きから読む。

「1．礼儀を守って奉仕する。

2．地域での奉仕活動は，管轄の伝道部長の承認を得て行う。奉仕活動は週4時間までとし，週末あるいは準備の日以外の日中に行う。ただし，緊急時または災害時には管轄の伝道部長の指示に従う。」（『宣教師の手引き』24－25）

次のように質問する。「奉仕活動に関する指示がなぜ，宣教師の手引きに記されていると思いますか。」

アンモンがラモーナイ王に教えるようになった出来事を生徒に思い出させる。アンモンはイシマエルの地へ入ると，王の衛兵に捕らえられた。通常，王はアンモンの命を奪うことができた。しかし，数日の間に王は福音について知りたいと強く望むようになったため，アンモンを軍隊で守るとまで言った（アルマ18：20－21参照）。

- アルマ17：20－25；18：10を読んでください。どのようなことがアンモンに対する王の気持ちを変えたのでしょうか。
- アンモンはいつまで王に喜んで仕えるつもりだったでしょうか（23節参照）。
- モーサヤ28：3；アルマ17：9，16を読んでください。モーサヤの息子たちはなぜそれほどまでに進んでレーマン人のために努力したのでしょうか。
- もしアンモンが衛兵に対して，王に福音を教えるために来たとだけ言ったとしたら，アンモンの経験はどれほど違うものになっていたでしょうか。

十二使徒定員会会員のヘンリー・B・アイリング長老はこのように述べている。

「教会員は毎日，何千回となく人々から見られています。人々はわたしたちの生活に好奇の目を向けています。わたしたちは証人となるという聖約を交わしているので，福音によってどのように幸せになったかを人々に話そうとすることでしょう。話を聞いた彼らが何を考えるかは，わたしたちが彼らに対して抱いている関心をどれほど感じるかによって大きく違ってきます。」

以下の質問をする。

- あなたの両親はどのような方法で福音の原則をあなたに教えてきたでしょうか。
- なぜ両親の教えは効果的なものになったのでしょうか。

生徒に，福音に関して影響を受けた教師について考えるように言う。以下の質問をする。

- なぜ教師の教えは効果的なものになったのでしょうか。
- 教師があなたを心にかけていると知っていることは，どれほど大切だったでしょうか。
- 人々と福音を分かち合うことについて，以上の事柄は何を教えているでしょうか。

一人の生徒にアイリング長老の話の残りを読ませる。

「わたしたちが出会う人々は，……あふれ出る愛を感じることでしょう。ラモーナイ王の場合のように数時間や数日ではないかもしれません。彼らはわたしたちの真意を試してから愛を感じてくれます。そしてわたしたちが彼らに心からの関心を抱いていることに気づいたとき，聖なる御霊（みたま）が彼らの心の琴線（きんせん）に触れやすくなるため，わたしたちはアンモンのように教え，証することができます。」（「神の証人」『聖徒の道』1997年1月号，36－37）

福音を分かち合うことはまさに奉仕することであると生徒に告げる。奉仕することによって，福音に耳を傾けてくれるように人々を説得することができるかといえばそうではない。人々が福音のメッセージにどのような反応を示すかにかかわりなく，人々への愛と関心から奉仕を行わなければならない。

生徒が福音を分かち合いたいと考えている人について考えるように言う。その人に仕えるために何ができるかを紙に書き出すように言う。奉仕に関する聖句を書かせ，奉仕することが人々をキリストに近づけるためにどのように助けとなるかを書き出すように言う。

アルマ18：24－19：36。神の本質，創造，アダムの堕落，わたしたちの堕落した状態，救い主の贖罪の必要性を含むまことの福音を教えることによって，人々を悔い改めに導き，生活を変えさせることができる。（45－55分）

タペストリーの実物か写真を見せる。タペストリーは絵画的デザインの刺しゅうを施した重い布で，カーテンや壁掛け，いすの布張りとして使用されることを説明する。昔は大きなタペストリーを使って物語を記したり，重要な出来事を記録したりすることもあった。次のように質問する。「より糸が何本かなかったらタペストリーはどうなるでしょうか。」全体を強化し，デザインを完成させるには1本1本の糸が必要であることを指摘する。

イエス・キリストの福音をタペストリーにたとえる。福音の1本1本の糸は互いに関連し合っている。例えば，悔い改めはバプテスマと関連がある。互いに関連のある福音の原則を挙げるよう生徒に言う。（バプテスマと聖霊の賜物，信仰と行い，従順と祝福などの答えが考えられる。）福音の教えは互いに密接な関連があるため，一つの教えを学ぶことはほかの教えの理解に影響を与える。ブルース・R・マッコンキー長老は次のように語った。

「永遠においてこれまで起きた，あるいはこれから起きる3つの最大の出来事といえば，それは，

1. 天地，人，あらゆる生命体が創造されたこと，

2. 人，あらゆる生命体，地球自体がその初めの楽園の状態から現在の死すべき状態に堕落したこと，そして

3. 地とあらゆる生き物の救いを完成するために，人やあらゆる生き物や地球さえもその堕落した状態から贖う無窮で永遠の贖いが行われることです。

これら3つの神聖な出来事は，永遠の3本の柱であって，永遠の救いの計画として知られる一大タペストリーにしっかりとより合わされているのです。」（*A New Witness for the Articles of Faith*，81）

福音を効果的に教えるには多くの関連する大切な原則が含まれることを生徒に理解させる。黒板に「神の存在」「創造」「堕落」「贖いの計画」と書く。アンモンはラモーナイ王に教えた際に，これらの基本的な教義を一つ一つ教えたことを説明する。アルマ18：24－40を読んで，アンモンが黒板に記された教義を教えている節を指摘するよう生徒に言う。

アルマ18：40－43；19：6を読んで，これらの教えを学んだ結果ラモーナイに何が起きたかを見つける。（生徒はラモーナイが福音を聞いてなぜそのような反応を示したのか不思議に思うかもしれない。ラモーナイの反応は普通ではないが，同じような経験をした人たちがほかにもいる。モーサヤ27：11，19；アルマ22：18－19参照）

アルマ19章を全員で読み，この章で採り上げられている大切な教義と原則について話し合う（文章の流れがよく，生徒の関心をつなぎ止めておくことができる）。話し合いを展開するために以下の質問と提案を活用する。

5節

次のように質問する。「王妃はほかの人々のように夫が死んだと考えなかったのはなぜだと思いますか。」（生徒はこの聖句の分析に興味を持つことであろう。）

6節

以下の質問をする。

- ラモーナイはどのような変化を経験しつつあったでしょうか。
- 何がラモーナイに影響を与えていたのでしょうか。

ブルース・R・マッコンキー長老はこのように説明している。

「聖なる御霊（すなわちキリストの光）の勧めに注意を払い，促しに聞き従う人は，聖なる御霊（すなわち聖霊）を受けることができます。

福音を探し求める人に注がれるキリストの光が完全に作用する状態に関する例の中で，ラモーナイ王に起きた出来事以上に優れたものはありません。」（*A New Witness for the Articles of Faith*，261）

13節

次のように質問する。「ラモーナイの証と神の御霊の力は王妃にどのような影響を及ぼしたでしょうか。」

14節

次のように質問する。「アンモンは自分が一宣教師にすぎないことをどのように示しているでしょうか。」

16－17節

以下の質問をする。

- エービシについてわたしたちはどのようなことを知っているでしょうか。
- 彼女はある機会に気づき，それを見逃しませんでしたが，その機会はどのようなものでしたか。（福音を分かち合う機会）
- あなたにはこれまでどのような伝道の機会がありましたか。

22－23節

生徒に脚注23①に印を付けて，参照聖句を読むように言う。次のように質問する。「これらの聖句から主の約束についてどのようなことを学べるでしょうか。」

24－29節

これらの奇跡について論争が起きたことに注目する。「神によって偉大な奇跡が起きているときでさえ，人々を互いに論争させようと望んでいるのはだれでしょうか（3ニーファイ11：29参照）。それはなぜでしょうか。」

31－35節

ラモーナイが教え始めたとき，ラモーナイの民が経験した改心の過程で見られた要素を黒板に書き出すように，生徒に言う。

36節

- だれが聖霊を受けるように招かれているでしょうか。
- 聖霊を受けるには何をしなければならないでしょうか。

進んで福音に耳を傾けて，学ぼうとする人はだれでも聖霊の力によって心の変化を経験できることを証する。（もし生徒が自分の生活の中で劇的な変化を経験していないために，当惑したり落胆したりしていると感じたら，134ページにあるアルマ5章についての「教え方の提案」からエズラ・タフト・ベンソン大管長が述べた勧告を紹介するとよい。）

はじめに

十二使徒定員会会員のＬ・トム・ペリー長老はこのように教えている。「人から攻撃されても仕返しをしないことによって，その人に大きな影響を及ぼすことができます。わたしたちがキリストの模範に従って，ほかの頬を向けるならば，文字どおり彼らの心を変えることができます。キリストに粛々と従うわたしたちの模範は，主に従う気持ちを人々に抱かせるのです。」（*Living with Enthusiasm*〔1996年〕，128）モーサヤの息子たちは多くの人々を真理に導き，導かれた人々は流血の世界から決別した。彼らの柔和な態度は敵であった多くの人々の心を打ち，そうした人々も武器を置いて，改宗した兄弟姉妹の群れに加わった。改宗者の生活に起きる変化とそれによって得る幸福はどのような犠牲を払っても求める価値があることを生徒が理解するように助ける。

学び取るべき重要な福音の原則

- 聖霊はたとえ困難なことであっても神の御心を行うようお勧めになる（アルマ20：1－5；21：13－18；22：1－4参照。箴言3：5－6；1ニーファイ4：10－13；教義と聖約11：12－13も参照）。
- 怒りはより大きな罪に発展することがある（アルマ20：8－18参照。3ニーファイ11：29－30；ジョセフ・スミス訳エペソ4：26も参照）。
- 福音に従って生活していれば必ず苦難を避けられるというわけではない。しかし，主は，最後まで堪え忍ぶ人々を最終的に苦難から解放してくださる（アルマ20：28－30；21：13－14参照。ヨブ1：1；2：7；マタイ5：38－42；教義と聖約67：13；90：24も参照）。
- 救い主が必要であることを理解するにはまず，神が生きておられること，神が万物を創造されたこと，そしてアダムの堕落と自分の罪のゆえにわたしたちは神との関係が絶たれていることを知らなければならない（アルマ22：7－14参照。コロサイ1：13－16；アルマ18：24－41も参照）。
- 自分の罪を捨て，持っているあらゆるものを進んで犠牲にすることによって，永遠の命が与えられ，神を知る喜びを得る（アルマ22：15－18参照。マタイ13：44－46；オムナイ1：26も参照）。
- 主に帰依している人々は主の力と慈しみを喜び，死よりも罪を恐れ，人を救うことに喜びを見いだし，背教を退ける力を得る（アルマ23：1－7；24：6，16－26；26：11－17，35－37；29：1－3参照。アルマ30：19－20；教義と聖約18：10－16も参照）。
- わたしたちは罪のあるまま死ぬ人々に悲しみを覚える。神の子らが罪のあるまま死んでその結果を被ることのないように，わたしたちはすべての人にイエス・キリストの福音を教える（アルマ28：11－29：5参照。教義と聖約42：46－47も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』86－90。

教え方の提案

アルマ20：1－5；21：16。聖霊はたとえ困難なことであっても神の御心を行うようお勧めになる。（15－20分）

水を入れた水差しを見せる。一人の生徒に前へ出て来させ，ほかに何も使ったり加えたりしないで，水をオレンジジュースに変えてほしいと言う。その生徒に質問する。

- なぜできないのでしょうか。
- もし主からそうするようにと言われたとしたら，状況は変わるでしょうか。
- 主から与えられた戒めの中で，守るのが不可能だと思われるような戒めがあるとすれば，それはどのようなことでしょうか。

不可能であるかのように思われることを行うよう主から命じられた人々を聖典の中から挙げるように言う。それらの人の名前を黒板に書き出す。（箱舟を造るように命じられたノア，イスラエルの子らを率いてエジプトを脱出するように命じられたモーセ，などが含まれる。）以下の質問をする。

- この人たちはどのようなことによって命令を成し遂げることができたでしょうか。
- 彼らはなぜそのような務めを試みたと思いますか。
- いずれの場合も，彼らはその務めをどのように果たしたらよいかを前もって知っていたでしょうか。
- 命令を成し遂げるまでの間，彼らは何に頼ることができたのでしょうか。

一人の生徒にアルマ20：1―3を読ませ，それから以下の質問をする。

- 主はアンモンにどのような任務を与えられたでしょうか。
- この任務が困難だったのはどのような理由からでしょうか。（ミドーナイの地の人々はアンモンの兄弟に敵意を抱いており，またアンモンを知らなかった。）
- アンモンはどのようにして兄弟たちを救出したらよいかを知らなかったにもかかわらず，なぜすぐに出発したのでしょうか。

ニーファイも難しい任務を与えられたことを生徒に思い起こさせる。それがどのようなものだったかを確認するために1ニーファイ3章の前書きを読むように言う。一人の生徒に，1ニーファイ4：6を読んで，これがどのようにアンモンに与えられた任務と似ていたかを説明するように言う。（アンモンは問題を知らされたが，それを解決する方法を知らされなかった。）アルマ20：4の最初と2番目の文を読んで，次のように質問する。「子らが命令を成し遂げられるように助ける力を主が持っておられることに対する信仰を，ラモーナイはどのように表したでしょうか。」生徒に，ローマ8：31を読んで，アルマ20：4と相互参照するように言う。ラモーナイとパウロはともにどのような原則について証しているかを生徒に尋ねる。

アルマ20：4―7を読んで，次のように質問する。「アンモンが同僚の宣教師たちを救出する方法を主はどのように与えられたでしょうか。」生徒に，何か困難なことを行うよう促しを受けて，主の助けによってそれを行う方法を見つけた経験があれば分かち合うように言うとよい。わたしたちがふさわしく生活していれば，主の業を行うようにとの励ましを受けることについて証する。この霊感に従うことは必ずしも易しいことではないかもしれないが，信仰と祈りによってわたしたちは求められたことを成し遂げられる。

アルマ20：8―17。怒りはより大きな罪に発展することがある。（20―25分）

人はどのような理由から怒るのかについて生徒の意見を求める。3ニーファイ11：29を読んで，怒りや争いを奨励しているのはだれかを尋ねる。アルマ20：16を読んで，ラモーナイの父はなぜ怒ったと思うかを生徒に尋ねる。生徒に，8―15節を読んで，彼が怒った理由を探して，分かち合うように求める。次のように質問する。「これらの理由は3ニーファイ11：29とどのような関連があるでしょうか。」

アルマ20：17を読んで，以下の質問をする。

- アンモンは怒る王に対してどのように警告しているでしょうか。
- アンモンはラモーナイを剣から守るだけにとどまらず，怒りの持つ霊的な危険性について王に話したのはなぜだと思いますか。
- 怒っているときに御霊を感じることが非常に難しいのはなぜでしょうか。

黒板に以下の参照箇所を書く。ジョセフ・スミス訳エペソ4：26；3ニーファイ11：30；12：22。これらの聖句を読んで，メッセージを短い文章にまとめるように言う。生活の中で聖霊の導きを受けるには，怒った自分を悔い改めなければならないことを説明する（教義と聖約1：33参照）。生徒が身に付けた怒りを克服する方法について分かち合うように求める。

怒りに関する以下の話を読んで，生徒の意見を求める。七十人のリン・G・ロビンズ長老はこのように語っている。

> 「わたしたちは怒りを『やめる』ことができます。なぜならば主がそのように教え，命じておられるからです。
>
> 怒りとは，自制心を放棄することにより，サタンの影響下に身を置くことです。それは心の中で犯す罪であって，やがて憎しみの気持ちや行動へと発展していきます。また，それは高速道路でほかの運転者に怒りを向ける起爆装置であり，スポーツ競技場での激高した姿であり，家庭内暴力となって表れています。
>
> 抑制されない怒りはいとも簡単に，残酷な言葉があふれ出る引き金になったり，感情的虐待の様々な形態へと化したりして，人々の純粋な心に傷跡を残します。」（「選択の自由と怒り」『聖徒の道』1998年7月号，87）

副管長を務めていた当時にゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように述べている。

> 「ここにおられる少年の皆さん，今このとき，人格形成の時期に短気を起こさないように気をつけてください。……今こそ自分自身を訓練する能力を養う時です。怒りに燃え，主の御名を汚す言葉を口にすることを男らしいことだと思っている人がいるかもしれませんが，それは間違いです。それは弱さの表れにすぎません。怒りは力の表れではなく，自分の思いや，言葉，感情を抑制できないことの表れなのです。怒ることは簡単です。怒りに支配された人は理性の力を失ってしまいます。自己訓練という大きな力を自分の中に養ってください。」（「わたしたちの神聖な責任」『聖徒の道』1992年1月号，58）

後に大管長として，このように語っている。

> 「短気な人は，今からコントロールの仕方を学んでください。若ければそれだけ直すのも簡単です。この教会の会員であれば，自分をコントロールできなくなるような不必要で見苦しい態度は避けましょう。」（「いつか結婚する女性にふさわしく生活する」『聖徒の道』1998年7月号，57）

アルマ20：28―30；21：13―14。福音に従って生活していれば必ず苦難を避けられるというわけではない。しかし，主は，最後まで堪え忍ぶ人々を最終的に苦難から解放してくださる。（20―25分）

磨いた石，鍛造された金属（金属の工具など），美しい木工芸品を見せる。これらに共通する事柄を尋ねる。すべて磨きがかけられていることを生徒が理解できるように助ける。石は研磨され，金属は熱によって鍛えられ，木は彫刻が施されて紙やすりがかけられている。預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を紹介する。

「わたしは，高い山から転がり落ちる，大きな粗い石に似ています。わたしが唯一磨かれるときと言えば，それは，何かほかのものと接触することによって削り取られるときです。……あちらこちらの角が打たれ削られるときです。このようにして，わたしは，全能者の矢筒の中の，滑らかな研ぎ澄まされた矢となるのです。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，304）

以下の質問について話し合う。

- 主の優れた僕（しもべ）になるために何が助けになったとジョセフ・スミスは述べているでしょうか。
- ジョセフはどのような苦難を受けたでしょうか。
- 義人が苦難を受けた例として，聖典からどのような人々を挙げることができるでしょうか。（後に参照するため，答えを黒板に書き出しておく。）
- 天父は御自分に従う人々が苦しむのをなぜ許しておかれるのでしょうか。

3人の生徒に以下の聖句を声を出して読ませる。アルマ17：2－3，5；アルマ20：28－30；アルマ21：13－14。以下の質問について話し合う。

- アンモンの兄弟たちは信仰を脅かされるような経験をしましたが，それはどのようなことだったでしょうか。
- 彼らの伝道はアンモンの場合と大きく異なっていましたが，それはなぜだと思いますか。
- 彼らは苦難をどのように受け止めたでしょうか（アルマ20：29参照）。

生徒が，遭遇する試練を堪え忍ぶ方法をよく理解できるように，以下の参照聖句で聖句チェーンを作る。マタイ5：10－12，38－44；モーサヤ24：13－14；教義と聖約24：8；67：13；90：24（聖句チェーンの作り方については270ページを参照する）。

苦難を堪え忍ぶことについて以下の話を紹介する。七十人名誉会員のマリオン・D・ハンクス長老はこのように述べた。

「つまり次のような約束なのです。悲しみや苦しみのときに，もし堪え忍んで忠実であり，主を信頼して勇気を持つならば，主は苦しみの中にあるわたしたちを訪れ，重荷に耐えられるように強め，試練のときに支えてくださいます。主は最後までわたしたちとともにいてくださり，終わりの日にわたしたちを高く上げてさらに大きな奉仕の機会を与え，再会した愛する人々や主とともに昇栄させ，艱難（かんなん）を神聖にしてわたしたちの利益に変えてくださるのです。」（「愛をもって人と語る神」『聖徒の道』1993年1月号，70－71）

七十人会長会の一員であったレックス・D・ピネガー長老はこのように教えた。

「今日（こんにち），この世界にひどい苦しみが存在していることは事実です。善良な人々にも悲劇が訪れています。神が悲劇を引き起こされるのではありませんし，悲劇を常に防いでくださるわけでもありません。しかし心から祈るなら，神はわたしたちを強め，平安をもって祝福してくださいます。」（「祈りによる平安」『聖徒の道』1993年7月号，69）

七十人の一員であったロナルド・E・ポールマン長老はこのように語った。

「苦難に遭わないと，わたしたちは神が現世を造られた目的を忘れ，この世のはかない物事にとらわれた生活を送りがちになることでしょう。

それでは，苦難や艱難を進んで願い求めるべきでしょうか。そうではありません。できることなら，避けるように努力すべきです。また，苦しみを取り除かれるように願い求めてもよいでしょう。ただし，次のように言われた救い主の模範にいつも従いましょう。『しかし，わたしの思いのままにではなく，みこころのままになさって下さい。』（マタイ26：39）」（「神が定めた現世の目的と苦難」『聖徒の道』1989年7月号，26）

聖典に登場する，苦難を受けた義人のリストを参照する。これらのうちだれが苦しみを堪え忍んだかを尋ねる。知っている人の中で苦難を耐えてきた人々について簡単に話すように生徒に言う。彼らはどのような助けによって堪え忍ぶことができたかを尋ねる。

アルマ22：1－14。救い主が必要であることを理解するにはまず，神が生きておられること，神が万物を創造されたこと，そしてアダムの堕落と自分の罪のゆえにわたしたちは神との関係が絶たれていることを知らなければならない。（30－35分）

コップを数個と氷水の入った水差しを見せる。のどが渇いている何人かの生徒に水を飲むように勧める。水を飲みたいと思わない生徒がいるかどうか尋ねる。以下の質問をする。

- 水を飲むことにはどのような魅力があるでしょうか。
- なぜあらゆる人に水が必要なのでしょうか。
- なぜ飲みたくないと思う人がいるのでしょうか。

机の上に何種類かの果物を置くか，または果物の写真を見せて，空腹な生徒がいるかどうかを尋ねる。

- 空腹の人はなぜ食べ物に関心を持つのでしょうか。
- なぜあらゆる人に食物が必要なのでしょうか。
- もし空腹でなかったとしたら，わたしたちは同じような関心を向けるでしょうか。なぜ向けないのでしょうか。

イエス・キリストの絵を見せて，質問する。

- あらゆる人の生活に救い主が必要でしょうか。それはなぜでしょうか。
- 救い主が必要であることをすべての人が知っているでしょうか。なぜ知っているのでしょうか。あるいはなぜ知らないのでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長による以下の説明を紹介する。

「人は飢えを感じなければほんとうに食べたいとは思いません。それと同じように，人はなぜキリストが必要かを理解するまで，キリストの救いを得たいとは思いません。

堕落に関する教義と堕落が全人類に及ぼした結果を理解し受け入れるまでは，なぜキリストが必要なのかを，正しくまた十分に理解することはできません。またモルモン書ほどこの大切な教義をよく教えてくれる書物は世界中のどこにもありません。」（「モルモン書と教義と聖約」『聖徒の道』1987年7月号，96）

アンモンがアダムの堕落についてラモーナイに教えたのは，なぜすべての人にキリストが必要かを教えるためであった（アルマ18：36－39参照）。アロンもラモーナイの父に同じことを行った。生徒とともにアルマ22：1－8を読んで，アロンは堕落と贖罪（しょくざい）の教義を教えるために，どのようにして王を準備させたかを確かめる。次のように質問する。「アロンは教えを始めるに当たってなぜ，神を信じているかどうかを尋ねたのでしょうか。」ブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を紹介する。

「神と神の律法を知らなければ救いを得ることができません。だれも神を知らないまま救われないのです。」（*A New Witness for the Articles of Faith*，43）

アロンは神について教えてから，王に聖文を読んで説明したことを生徒に告げる。ヘンリー・B・アイリング長老はこのように述べている。「アロンは神の愛について，また，わたしたちが神を必要とすることについて強調するような方法で神の御言葉を教えました。」（「信仰により人々に影響を与える」『聖徒の道』1996年1月号，44）

黒板に見出しとして，「創造」「堕落」「イエス・キリストの贖罪」と書く。生徒に，アルマ22：9－14を読んで，これらの教義が教えられている節を探すように言う。何人かの生徒に見つけた節の番号をそれぞれ黒板の見出しの下に書き，教義を短くまとめた説明を書かせる。以下のようなリストになる。

創　造	堕　落	イエス・キリストの贖罪
10－11節。神は天と地を創造された。 12節。神は御自分の形に人を創造された。	12－13節。人は背きのために堕落して，肉欲に従う者となった。 14節。人類は堕落したので「自分自身で何も良い報いを得る」ことはできない。	13節。前世で贖（あがな）いの計画が備えられた。 14節。「信仰と悔い改めなどによって，キリストの苦しみと死が〔わたしたちの〕罪を贖う。」 14節。キリストの贖いは死の縄目を断つ（あらゆる人は復活する）。

黒板の3つの見出しを参照して，以下の質問をする。

- わたしたちが神の形に創造されたという教義は神の愛を理解するうえでどのように助けとなるでしょうか。
- 神はなぜ子らが戒めを破るのを許しておかれるのでしょうか。
- イエス・キリストの贖いはわたしたちが自分でできないどのようなことをしてくれるでしょうか。
- 贖罪の賜物（たまもの）を自分の生活に取り入れるためにわたしたちは何をしなければならないでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長が投げかけた以下の質問を紹介してから，生徒に答えを紙に書くように言う。

「ゲツセマネとカルバリにおける主の苦しみは，わたしたち一人一人にとって，どのような意味を持つのでしょうか。

堕落からの贖いは，わたしたちにとって個人的にどのような意味を持つのでしょうか。アルマの言葉にあるように，『贖いをもたらす愛の歌を歌おう』（アルマ5：26）と思ったことがあるでしょうか。」（「モルモン書と教義と聖約」『聖徒の道』1987年7月号，96）

アルマ22：15－18。自分の罪を捨て，持っているあらゆるものを進んで犠牲にすることによって，永遠の命が与えられ，神を知る喜びを得る。（25－30分）

黒板に「バプテスマ」「聖霊の賜物（たまもの）」「神権の聖任」「神殿の結び固め」と書く。以下の質問をする。

- これらの儀式はなぜ大切なのでしょうか。
- これらの儀式を受けるためにあなたは何を喜んで犠牲にするでしょうか。

ダリン・H・オークス長老の以下の話を紹介する。

「古今の開拓者には共通した二つの特質があります。自己の利益を求めない心と犠牲の精神です。わたしたちのユタの開拓者は『全体の利益と地域の目標を個人の利益や野望に優先させた』ことにおいて優れていました〔キャロ

ル・コーンウォール・マドセン，*Journey to Zion: Voices from the Mormon Trail*（1997年），6〕。同じ特質は現代の開拓者たちの改宗の物語にも見られます。彼らは回復された福音が真理であるとの証を受けるやいなや，躊躇することなく必要な犠牲をすべて払い，祝福が子供へ，そしてこれから生まれてくる世代へと確実に及ぶようにしたのです。中には神殿に来るために全財産を売り払った人もいます。仕事を失った人，友人を失った人もいます。中には信仰のために勘当されて，両親や親戚を失う人もいます。これこそ最大の犠牲です。」（「開拓者に倣う」『聖徒の道』1998年1月号，83－84）

福音を受け入れるため，あるいは福音の儀式を受けるために大きな犠牲を払った会員たちの最近の話を紹介するか，生徒に一例を話させる。そのような犠牲のもたらす祝福を強調するようにする。

福音の祝福を受けるために物質的な犠牲を払うよう求められることがあることを生徒に説明する。儀式は常に無料で受けられるが，それらを受けるための条件を満たさなければならない。教義と聖約64：34を読んで，主が求めておられる事柄に傍線を引くように言う。アルマ22：15を読んで，ラモーナイ王の父は福音の喜びを受けるために何を進んで差し出そうとしたかを確認する。以下の質問をする。

- 王の申し出は主が教義と聖約64：34で求めておられることをどのように果たし始めているでしょうか。
- 王は喜びに満たされるためになぜ物質的な持ち物以上のものを差し出さなければならなかったのでしょうか。
- 王の心や動機が正しかった証拠としてどのようなことが挙げられるでしょうか。

アルマ22：16－18を読んで，王は何を差し出し，その見返りとして何を求めたかを示している箇所に印を付けるように言う。以下の質問から幾つかを選んで質問するとよい。

- 王が自分の罪をすべて「捨て」ることはどのように「心と進んで行う精神」を差し出すことを表しているでしょうか。
- 罪はどのような意味で持ち物でしょうか。
- 罪をすべて捨てるとはどのような意味でしょうか。
- どちらの申し出（15節または18節）が大きな犠牲を求められるでしょうか。それはなぜですか。
- 罪を捨てることが非常に難しいのはなぜでしょうか。

神を知るとはどのような意味かを生徒に質問する。罪を捨てるには何をしなければならないかを考えるように言う。付録の「罪を捨てる」（287ページ）から文章を読む。（この文章を，オーバーヘッドプロジェクターを使って提示するか黒板にはり出す。あるいは，配付資料として生徒に配ってもよい。）生徒に，罪を捨てるためにできる事柄を表す語句を見つけるように言う。生徒が見つけた語句について話し合う。

アルマ23－29章。主に帰依している人々は主の力と慈しみを喜び，死よりも罪を恐れ，人を救うことに喜びを見いだし，背教を退ける力を得る。（35－40分）

福音に帰依した人々が改心するに至った経緯を話すのを聞いたことがあるかどうかを尋ねる。次のように質問する。「彼らはどのような理由で，ほとんどいつも福音に対して燃えるような思いを感じているのでしょうか。」福音にほんとうに帰依することによって多くの祝福があることを生徒に理解させる。エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の話を読んで，ほんとうに改心した人々について述べた語句を探すように言う。

「キリストを指導者と仰ぐ人々は，キリストに心のすべてをささげることでしょう。ハロルド・B・リー大管長の言葉を用いて言えば，彼らは自分の胸の内が燃えているので，ほかの人々を燃え立たせるのです。（*Stand Ye in Holy Places*〔Salt Lake City: Deseret Book Co., 1974年〕，192）

彼らの思いは神の御心にかなったものとなり（ヨハネ5：30参照），

絶えず主に喜ばれる事柄を行うようになります（ヨハネ8：29参照）。

彼らは，主のためには進んで命をささげようとするだけではなく，それ以上に大切なこと，主のために生きることを望みます。

彼らの家に足を踏み入れれば，壁にかけてある絵，棚に置かれた本，流れている音楽，彼らの言葉そして行いから，彼らがクリスチャンであることが分かります。

彼らはいつでも，どのようなことについても，どのような所にいても，神の証人になります（モーサヤ18：9参照）。」（「神によって生まれる」『聖徒の道』1986年1月号，6）

クラスを4つのグループに分ける。各グループに以下の聖句ブロックから一つを割り当てる。

- アルマ23：1－7，16－18
- アルマ24：6，16－26
- アルマ26：11－17，35－37
- アルマ29：1－3，9－14

付録の「ほんとうの改宗をした人々」（287ページ）から聖句ブロックに関連する引用文のコピーを各グループに渡す。各グループは聖句と引用文を読んでから，真の改心について学んだ事柄を発表する。

改心はわたしたちをどのように変えるかについて生徒にまとめさせる（黒板に書き出してもよい）。わたしたちが忠実に戒めを守り続けるならば，これらの変化は生涯続くことを証する。

アルマ28－29章。わたしたちは罪のあるまま死ぬ人々に悲しみを覚える。神の子らが罪のあるまま死んでその結果を被ることのないように，わたしたちはすべての人にイエス・キリストの福音を教える。（40－45分）

生徒に，何が人生で最も悲しい経験だと思うか話させる。以下の質問をする。

- なぜそれらの経験はそれほど悲しいのでしょうか。
- それは防ぐことができたでしょうか。どのように防げたでしょうか。

アルマ28章には非常に悲しい物語が記されている。生徒とともに1－11節を読み，2節と6節の後に上記の質問をする。12節を読んで，以下の質問をする。

- この描写にはどのような違いがあるでしょうか。
- 罪のあるまま死んだ人に対しては，どのような理由から悲しみを覚えるのでしょうか。
- 義にかなった人が亡くなったとき，その人を失って寂しい思いをしながらも，喜びを感じることができるのはなぜでしょうか。
- 愛する人が肉体の死を迎えたときの悲しみと愛する人が霊的に死んだときの悲しみにはどのような違いがあるでしょうか。

アルマ28：13－14と教義と聖約93：38－39を読んで，相互参照する。以下の質問について話し合う。

- あらゆる人は罪のない状態で生まれます（教義と聖約93：38参照）。アルマ28：13によると何が原因で人々の間に違いが生じるのでしょうか。（罪，背き，不従順）
- なぜあらゆる人が同じ理解をもって死を迎えないのでしょうか。
- 命と死について正しい理解をほかの人たちに教えるにはどうすればよいでしょうか。
- わたしたちはどうすれば「主のぶどう園で働く」（アルマ28：14）ことができるでしょうか。

一人の生徒にアルマ29：1－3を読ませる。以下の質問をする。

- アルマはどのようなことを願ったでしょうか。
- アルマはどのようなことに挫折感を抱いていたでしょうか。

続いて4－5節を読んで，福音を人々と分かち合うことについてアルマが理解していたことを見つける。（人には選択の自由があり，福音のメッセージを拒むという選択もできる。）

福音を分かち合うことによって大きな喜びを得ることができるが，同時に大きなチャレンジを経験することもある。多くの人は主のメッセージを分かち合いたいと思っているがその方法を知らない。

クラスを5つのグループに分ける。以下の状況のロールプレーをグループごとに準備して，発表させる。

1. あなたはモニカが一番の親友だと思っています。いろいろなことを一緒にしていますが，福音について話したことはありません。あなたのチャレンジはモニカにモルモン書を渡して，読んでもらうことです。
2. あなたはデニスと友達になりました。デニスと一緒にいると楽しいのですが，彼は教会員ではありません。デニスは高い標準を守り，あなたにもまじめに接しています。彼はあなたのワードの地域に住んでいます。あなたのチャレンジは彼を誘って一緒に教会へ行くことです。
3. あなたは学校で運動クラブに入っています。毎日練習が終わると，あなたはニジェールと一緒に歩いて家に帰ります。ニジェールは運動が得意で，生徒たちの人気の的になっています。あなたはつい最近までニジェールとあまり親しくしていませんでした。あなたは物事に対する彼の態度を立派だと思っています。ワードで青少年の活動が計画されています。あなたのチャレンジはニジェールを活動に誘うことです。
4. ある日の夕方，友達があなたの家に集まりました。その中で教会員でないのはリカルドだけです。ゲームをしたりして楽しく遊んでいました。すると突然リカルドがこう言いました。「君たちモルモンはほんとうに楽しく時間を過ごす方法を知っているようだね。」あなたのチャレンジはモルモンがなぜそのように清く，良い楽しみ方を知っているかをリカルドに知らせて，日曜日に彼を教会に誘うことです。
5. あなたは理恵子と一緒にレストランで働いています。彼女は結婚して2年になるのですが，夫婦の間がうまくいっていません。理恵子から問題を打ち明けられたあなたは，彼女とご主人が二人に欠けているものを見つけるには教会の教えを知ることが一番だと感じました。あなたのチャレンジは二人を専任宣教師に紹介することです。

以下の質問について話し合うとよい。

- アルマ29：8を読む。主はこの節で述べられていることをどのような方法で成し遂げられるでしょうか。
- わたしたちはどのようにそれを助けることができるでしょうか。
- 9－10節を読んでください。わたしたちは福音を分かち合うことによってどのように主に栄光をもたらすのでしょうか。
- わたしたちは福音を分かち合うことによってどのように喜びを感じるでしょうか。（福音を分かち合ったことのある生徒に，その経験によってどのように相手の人と親しくなり，また天父を身近に感じるようになったかについて話させる。）
- 14－15節を読んでください。帰還宣教師はなぜ，伝道地でともに奉仕した人々に深い愛を抱くのでしょうか。

ゴードン・Ｂ・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を紹介する。

> 「〔主は〕わたしたちに，良い隣人，すなわちあらゆる点でクリスチャンになることを期待しておられます。『何事でも人々からしてほしいと望むことは，人々にもそのとおりにせよ』（マタイ7：12；3ニーファイ14：12）という黄金律に従う人になるよう，主は期待しておられるのです。兄弟姉妹，わたしたちは良い隣人でなければなりません。わたしたちは親しみやすい人物にならなければなりません。すべての人の良い点を認めなければなりません。ほかの教会を非難してはなりません。わたしたちは積極的な，また肯定的な方法で説き，教えるのです。わたしたちはほかの宗教の人々に対してこう言うのです。『あなたがたはあなたがたが持つあらゆる善を行ってください。わたしたちはほかに何かできるかどうかを考えますから。』これが，……わたしたちの偉大な伝道プログラムの真髄であり，成果を上げています。」（"Messages of Inspiration from President Hinckley," *Church News*, 1998年11月7日付，2）

はじめに

現在のような困難な時代にあって，わたしたちが霊的な成長を遂げるのに役立つように，天父は御言葉を与えてこられた。エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように説明している。「聖典，生ける預言者の言葉，そして個人の啓示の中に見いだされる神の言葉には，聖徒を強め，御霊を通して守る力があります。その結果，聖徒たちは悪に立ち向かい，善を固く守って，人生に喜びを見いだすことができるのです。」（「御言葉の力」『聖徒の道』1986年7月号，80）アルマ30－35章では，神の言葉には聖徒たちの生活を変え，主の業に敵対する者から守る力があることを説明している。

学び取るべき重要な福音の原則

- サタンは自分の力に屈した者たちを使って偽りの教義を教える。預言者と聖典の言葉はサタンの偽りを明るみに出す（アルマ30：6－18参照）。
- 御霊によって得られる平安と喜びは，預言者，聖文，あらゆる創造物の証とともに，神が生きておられることの証拠である（アルマ30：34－44参照。モーセ6：63も参照）。
- 神の言葉には人々の思いと態度を変えて，善を選ぶように導く力がある（アルマ31：5；35：3参照。1ニーファイ11：25；ヒラマン6：37も参照）。
- 人が悔い改めて福音を受け入れるには謙遜にならなければならない（アルマ31：24－28；32：6－8，12－16，25参照。教義と聖約136：32－33も参照）。
- 信仰とは「まだ見ていない真実のことを待ち望む」ことである（アルマ32：21）。イエス・キリストを信じる信仰を得る過程は緩やかな場合もある（アルマ32：21－43；33：12－23参照。ヘブル11：1；エテル12：6も参照）。
- 神は祈りを聞いて，こたえてくださる。わたしたちは毎日の祈りを通して救い主にすがっていることに気づくことができる（アルマ33：2－11；34：17－27，39参照）。
- イエス・キリストの無限にして永遠の贖いは贖いの計画の中核を成している（アルマ34：2，6－16参照）。
- 現世は悔い改めの時期である。わたしたちはこの世の生活で得る資質や習慣を来世に持って行くことになる（アルマ34：32－35参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』91－97。

教え方の提案

アルマ30：1－18。サタンは自分の力に屈した者たちを使って偽りの教義を教える。預言者と聖典の言葉はサタンの偽りを明るみに出す。（25－30分）

前もって二人の生徒に，以下の実物を使ったレッスンを手伝ってくれるよう頼んでおく。釘を使ってジュース缶の底に穴を開けて，中を空にしておく。中身が空であることを明かさずに一人の生徒にジュースの缶を持って，入札でいちばん高い値段をつけた人に売ると言わせる。生徒たちが値をつけ始めたら，もう一人の生徒に前へ来させ，缶を調べて，中がどうなっているかを言わせる。

缶を見ると中においしいジュースが入っているように見えるが，その外見は人を欺いていることを指摘する。以下の質問をする。

- 前へ出た生徒はほかの生徒が知らなかったことをどのようにして知ったのでしょうか。
- この生徒はどのように主の預言者や聖文にたとえることができるでしょうか。

預言者アルマとコリホルとのやりとりは預言者と聖文がどのように真理を明らかにし，偽りの教義を暴くかを示している。生徒がアルマ30章の内容を理解できるように，1－5節に目を通させ，以下の質問をする。

- ニーファイの民は主の戒めをどれほど忠実に守っていたでしょうか。
- このために彼らはどのような祝福を受けていたでしょうか。

6－11節に目を通させ，以下の質問をする。

- ニーファイ人はどのような法律を定めていたので，キリストの降臨を否定することを宣べ伝えることが許されていたのでしょうか。
- 反キリストとはどのような意味でしょうか。（まことの福音の計画に似せた偽物を作り，キリストに反対する人。）
- 12節を読んでください。この反キリストは名前を何といいましたか。

以下の組み合わせ問題を黒板に書く。生徒にアルマ30：12－18を読ませ，左の欄のコリホルの教えと関連のある事項を右の欄から選んで組み合わせるように言う。（正解は最後に示されている。）

反キリスト，コリホルの教え	
1.「だれも将来起こることを知ることはできない。」（13節）	A．宗教上の真理に関して物的な証拠がなければ，信じるべきではない。
2.「あなたがたが預言と呼〔んで〕……いるこれらのことは，……先祖の愚かな言い伝えである。」（14節）	B．罪などというものは存在しない。
3.「あなたがたはまだ見ていない物事を知ることはできない。」（15節）	C．人々は自分の努力によって繁栄するのであって，神の祝福によるのではない。
4. 罪の赦しなどというものはない（16節参照）。	D．聖文は真実ではない。
5.「人は皆，この世の生涯を善く暮らすも悪く暮らすも，その人の対処の仕方次第で〔ある。〕」（17節）	E．預言者や預言を信じることはできない。
6.「人がすることはどんなことも決して罪にならない。」（17節）	F．キリストは存在しないので，罪を贖われることもない。
7. 人が死ねばそれで終わりである（18節参照）。	G．死後の世界などはないので，将来裁きを受けることも報告することもない。

（正解：1－E，2－D，3－A，4－F，5－C，6－B，7－G）

生徒に，18節を読ませ，コリホルの教えは多くの人々にどのような影響を与えたか尋ねる。以下の質問について話し合う。

- コリホルの教えの中であなたが聞いたことのあるものがあるでしょうか。
- コリホルの多くの教えが現在も人々の間に広められているのはなぜでしょうか。

預言者アルマはコリホルの偽りの教えを暴露して，打ち破るよう主から霊感を受けたことを告げる。次のように質問する。「主はわたしたちを真理の敵から守るために何を与えてこられたでしょうか。」

わたしたちが現代の偽りの教えを見分けることができるように天父は聖文と現代の預言者を与えておられることを証する。十二使徒定員会会長を務めていた時代にエズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように説明している。

「〔モルモン書は〕キリストの敵を明らかにします。……モルモン書は偽りの教義を打ち破り，争論を鎮めます（2ニーファイ3：12参照）。またそれは，謙遜にキリストに従う者たちが，今日の悪魔の企てや戦略，その教えに対抗できるよう力を与えてくれます。モルモン書中の背教者のタイプは，今日のそれによく似ています。わたしたちが誤りを見抜き，今日の誤った教育や政治，宗教，哲学などの概念といかに戦ったらよいかその方法を知ることができるように，神は実に無限の先見の明をもってモルモン書を備えられたのです。」（「モルモン書は神の御言葉である」『聖徒の道』1975年8月号，366－367）

ヘンリー・B・アイリング長老はこのように教えている。

「預言者の勧告に耳を傾け，祈りを通してそれを確認し，その教えに従ったときには，自分が安全な方向に向かっていることが分かりました。そして，その道が自分のために前もって備えられていて，大変だと思われるような場所も難なく通過できることを発見してきました。神はわたしのために愛をもって道を備えてくださり，わたしを安全な方向に導いてくださいました。時にはその道は，かなり前から用意されていたのです。」（「助言の中に安全を見いだす」『聖徒の道』1997年7月号，29）

アルマ30：19－60。主の教会の敵と出会うようなことがあっても，わたしたちは争うことなく，キリストの教えに従って対応することができる。（30－35分）

十二使徒定員会の会員であった当時にジョージ・A・スミス長老が1857年に引用した以下の中国の寓話を紹介する。

「一人の旅人が田園地帯を抜けて，繁栄を極めた大きな都にやって来ました。彼はその都を眺めて案内人に言いました。『ここの住民は義にかなった人々に違いない。これほど大きな都だというのに，小さな悪魔が1匹しか見当たらない。』

案内人は答えて言いました。『それは間違いでございます。この都は完全に邪悪と堕落と退廃に包まれております。ですから，すべての住民を従わせるのにたった1匹の悪魔がいれば，それで十分なのでございます。』

しばらく行くとでこぼこ道に差しかかりました。見ると，一人の老人が荒々しい形相をした7匹の巨大な悪魔に取り巻かれながら，丘の斜面を登ろうとしていました。

そこで旅人は言いました。『何てことだ！　あの老人はひどい悪人に違いない。あんなにたくさんの悪魔に取り囲まれているなんて。』

すると案内人が言いました。『国中で義人はあの老人だけなのでございます。何とかあの老人を正しい道からそらせようと，最も力の強い悪魔が7匹で躍起になっているのですが，それができないのでございます。』」（*Journal of Discourses*，第5巻，363－364）

スミス長老がこの寓話で教えている原則について話し合いを展開する。最初の示現以来教会が敵対者に囲まれてきたことを理解するためにこの寓話はどのように助けとなるかについて生徒に尋ねる。回復された教会はサタンにとって脅威であるため，教会に敵対する人々が存在することを証する。モルモン書の預言者たちが敵対する人々をどのように扱ったかを読むことによって，偽りの教義に対応する方法をよく学ぶことができる。

アルマ30：1－18をすでに教えていれば，以下の質問をする。もし，教えていなければ，コリホルを紹介し，コリホルの教え（13－18節参照）を幾つか簡単に採り上げてから，以下の質問をする。

- アルマ30：18を読んでください。ゼラヘムラの人々はコリホルの教えをどのように受け止めたでしょうか。
- 19－20節を読んでください。アンモンの民はコリホルが彼らの地で教えを説き始めたとき，どうしたでしょうか。
- モルモンはなぜ，アンモンの民が多くのニーファイ人よりも賢明であったと語ったと思いますか。
- 21－22節を読んでください。コリホルはなぜギデオンで成功を収められなかったのでしょうか。
- 23－31節を読んでください。コリホルは教会の指導者に対してどのような非難を浴びせたでしょうか。
- それらの非難は正当なものだったでしょうか（35節参照）。

コリホルへのアルマの対応は敵対者をどのように扱ったらよいかを示す優れた模範である。アルマは救い主の教えに従って，コリホルとの論争を避けた（3ニーファイ11：29；教義と聖約60：14参照）。アルマは教会の指導者に対するコリホルの偽りの非難を正した。そしてコリホルがどのように真理をゆがめているかを示した。そして，自分の証と，預言者と聖文の教えを使って真理を擁護した。アルマ30：31－45を生徒とともに読んで，アルマがどのような方法で取り組んだかを確認する。以下の表から幾つかの概念とそれに続く質問を選んで，話し合いを展開する。

アルマ30章

コリホルの言葉	アルマの対応
教会の指導者は民の労苦によって飽きるほど食べている（31節参照）。	あなたは教会の指導者が教会の奉仕によって利益を得ていないことを知っている。わたしたちは兄弟たちが喜ぶのを見て喜びとするほかに何の利益も得ていない（32－34節参照）。
あなたがたはまだ見ていない物事を知ることはできない（15節参照）。神は過去にも未来にも存在しない者である（28節参照）。	わたしは神がおられることを知っている（39節参照）。あなたは神が実在しない証拠を持っているわけではない（40節参照）。教会の指導者，預言者，聖文，あらゆる創造物は神がおられることを証している（44節参照）。
わたしは神を信じない（37－38，45節参照）。	わたしはあなたが信じていることを知っている。ところがあなたは偽りを言う霊に取りつかれている（42節参照。52－53節も参照）。
しるしを見せてくれなければ，わたしは神を信じない（43，45，48節参照）。	あなたはすでにしるしを持っている（44－45節参照）。もう一つのしるしとして，あなたは物が言えなくなるであろう（49，51節参照）。

アルマ30：37－43

- しるしを求めたことからコリホルがどのような人物だったことが分かるでしょうか（マタイ16：4参照。『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』92ページのアルマ30：37－43の解説も参照）。

アルマ30：39，44

- アルマは神が実在する証拠を4つ挙げています。それらは何でしょうか。（アルマの証，教会員と預言者の証，聖文，大地の存在と惑星の運行。）
- これらの証拠のうち，現在も存在している証拠はどれでしょうか（『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』92ページのアルマ30：44－45の解説を参照）。

アルマ30：48－51

- 主はコリホルにほかのしるしを与えるのでなく，物を言えなくすることを選ばれたのはなぜだと思いますか。（注意：主を否定する人々や主の業を攻撃する人々のすべてが直ちに物が言えなくなるのではなく，最終的に自分の行いの招く結果を刈り取ることを生徒に理解させる。）

アルマ30：54－56

- アルマはコリホルが再び人々を罪悪に導くようになることをどのようにして知ったのでしょうか。
- わたしたちの預言者は罪悪に導く人々について，わたしたちにどのような警告を与えているでしょうか。

アルマ30：59－60

- これらの節からゾーラム人がどのような民であったことが分かるでしょうか。
- モルモン4：5を読んでください。コリホルの死はこの聖句で教えられている原則をどのように実証しているでしょうか。
- 悪魔からの助けと，わたしたちが教会で受ける助けにはどのような違いがあるでしょうか。

先に引用した寓話についてジョージ・A・スミス長老が導き出した結論を紹介する。

「悪魔は……この世全体を……完全に思いのままにしているので，世の人々を支配するのにわずかな悪魔しか必要としません。そして，悪魔の全軍団は『モルモン』に的を絞っており，人の子らの心をあおり『モルモン』をこの世から抹殺させることに専念しています。」（*Journal of Discourses,* 第5巻，364）

七十人会長会の一員を務めていたカーロス・E・エイシー長老が与えた以下の勧告を分かち合う。

「わたしたちはこのような悪意ある企てにどのように応じたらよいのでしょうか。やり返しますか。対応の仕方を提案したいと思います。この提案は救い主の教えに調和するもので，過去および現代の預言者の賢明な勧告とも一致するものです。

1. ***信仰を奪おうとする人を避ける。***信仰を失わせるような人は遠ざけることです。彼らが人々の心や頭の中に植え付けた種は癌細胞のように成長し，徐々に御霊を破壊します。神のまことの使いは，破壊者ではなく，建設者です。……

2. ***戒めを守る。***ブリガム・ヤング大管長は次のように約束しています。『わたしたちのなすべきことは，前に向かって，また天を目指して進むこと，そして天父なる神の戒めを守ることです。そうするならば神はわたしたちの敵を打ち砕いてくださいます。』（*Discourses of Brigham Young*，ジョン・A・ウイッツォー選，Salt Lake City: Deseret Book Co., 1957年，347）……

3. ***……生ける預言者に従う。***『いつも教会の大管長に目を向けていなさい。そして，もし彼が何かするようにと言ったときに，たとえそれが間違っていても，言われたとおりに行うならば，主はあなたを祝福してくださるでしょう。……でも心配する必要はありません。主は決して主の代弁者を通して人々を間違った道に導くようなことはなさらないからです。』（ヒーバー・J・グラント，マリオン・G・ロムニーによる引用，Conference Report，1960年10月，78）……

4. ***教義について論争しない。***主はこのように警告しておられます。『争いの心を持つ者はわたしにつく者ではなく，……悪魔につく者である。』（3ニーファイ11：29）正しい結論を得ようとするときにサタンの方策を用いるならば，それは矛盾したことになります。このような矛盾は心に不満を生じ，御霊を失わせ，敗北を招く結果になります。……

5. ***聖文を調べる。***聖文を生活の指針あるいは羅針盤とするならば，横道へそれたり道を見失ったりすることは，まずないでしょう。……

6. ***教会の使命から注意をそらさず，離れない。***……サタンは荒野でキリストを誘惑しようとしたときにこの手段を使いました。救い主の断固とした答え，『サタンよ，退け』（マタイ４：10）は，わたしたちにとって良い模範となります。……

7. ***敵のために祈る。***……

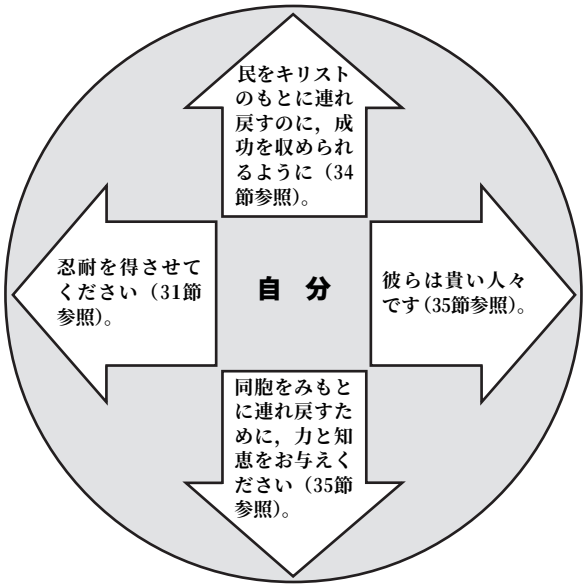
8. ***『純粋な宗教』を実践する。***クリスチャンとしての奉仕に携わってください。……

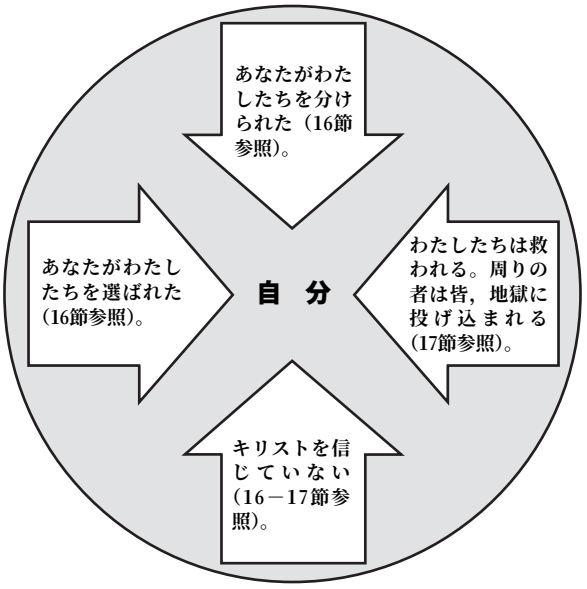
9. ***今ある疑問の中には答えを得ることのできないものもあるし，ただ信仰によって受け入るしかないこともたくさんあることを忘れない。***」（「神の業に敵対するもの」『聖徒の道』1982年4月号，109－111）

アルマ３１章。神の言葉には人々の思いと態度を変えて，善を選ぶように導く力がある。（４０－４５分）

レッスンの前に，朗読が上手な一人の生徒に以下の活動に参加するよう頼んでおく。ほかの生徒には聖句の引用箇所や説明を与えないで，頼んでおいた生徒に前へ出て来てアルマ31：15－18を読ませる。この祈りはどこに記されているかを生徒たちに尋ねる。これはゾーラム人が高い立ち台に立ってささげた祈りであることを説明する。この民の霊的なレベルについて生徒に尋ねる。生徒に，アルマ31章の前書きから2番目の文章までを読んで，自分の想像したことと比べるように言う。

黒板に「わたしたちは（が）」「わたしたちを」「わたしたちに」と書く。生徒にアルマ31：15－18を読んで，これらの語が祈りの中で何回出てくるかを数えるように言う。「このことはゾーラム人について何を教えているでしょうか。」以下の図を黒板に書き写す。両方の図に「自分」とだけ書き入れて，ほかの語は書き入れない。どちらの図がゾーラム人の祈りをよく表しているかを尋ねる。ゾーラム人の祈りが自己中心であることを表していると思う語や概念を祈りの中から見つけて，矢印の中に記入するように言う。（生徒の答えは以下に提案されているものとは厳密に一致しないかもしれない。）





ゾーラム人の祈りと対比して，アルマがゾーラム人に教え始める前にささげた祈りを読む（アルマ31：26－35参照）。生徒に，アルマの祈りから，外に向かって指している矢印の中に記入できる語を見つけるように言う。

アルマ31：13，21－22を読んで，ゾーラム人がどのような方法で礼拝したかを見つける。生徒に，8－10，23－25，27－28節を順に読ませてから，これらの節でゾーラム人について説明されていることをまとめるように言う。生徒に，1－2節を読ませ，ゾーラム人の罪悪がアルマにどのような影響を与えたかを説明させる。アルマが生徒のもとを訪れて，ゾーラム人への対応方法を尋ねたと仮定する。次のように質問する。「どのような提案をしたらよいでしょうか。」3－4節を読んで，質問する。「もしアルマが

ゾーラム人の地に軍隊を派遣することを決めたとしたら，彼らの信じていることや行動は変わったと思いますか。それはなぜですか。」

生徒に，アルマ31：5を読んで，アルマがゾーラム人に対して用いることにした道具と，そのようにした理由に印を付けるように言う。次のように質問する。「人々に善を行うように仕向けるために，神の言葉はなぜ効果があるのでしょうか。」ヒラマン6：37を読んで，レーマン人はガデアントンの強盗団を滅ぼすためにどのような武器を使ったかを見つける。ボイド・K・パッカー長老が語った以下の言葉を紹介する。

「まことの教えを理解すれば，人の態度や行動は変わります。

福音の教義を研究することは，人の行動を研究することよりも，ずっと速やかに行動を改善する力があります。」（「幼き子ら」『聖徒の道』1987年1月号，18－19）

アルマ4：11－20についての「教え方の提案」に記されているエズラ・タフト・ベンソン大管長の話も読む（132ページ）。

アルマ32：1－16。悔い改めて福音を受け入れるには謙遜（けんそん）にならなければならない。（10－15分）

軟らかい粘土と乾いて固くなった粘土を生徒に見せる。（もし粘土が手に入らなければ，軟らかい土と固い土を使ってもよい。）以下の質問をする。

- 扱いやすいのはどちらでしょうか。それはなぜですか。
- 軟らかい粘土はどのように教会に改宗したばかりの人にたとえることができるでしょうか。
- 柔和な（軟らかい）心を持つ，かたくなな（固い）心を持つ，とはそれぞれどのような意味でしょうか。
- 福音の原則を学ぶために柔和な心を持つことがなぜ必要とされるのでしょうか。

ゾーラム人が霊的にどのような状態だったかを生徒に思い起こさせる（アルマ31：20－25参照）。アルマ32：1－3を読んで，ゾーラム人の中でどのような人がアルマと同僚たちのメッセージに進んで耳を傾けたかを見つけさせる。次のように質問する。「時に貧しい人の方が富んでいる人よりも福音のメッセージに耳を傾けやすいのはなぜだと思いますか。」アルマ32：5－6を読んで，これらの人々が教えを受ける準備ができていたのはなぜかを見つける。以下の質問をする。

- あなたのこれまでの人生で，最も熱心に，進んで福音の原則を学ぼうとしたのはいつだったでしょうか。
- 主はどのようにしてわたしたちがへりくだるよう助けてくださるでしょうか。

アルマ32：14を読んで，アルマが語った謙遜になる方法を見つける。以下の質問をする。

- わたしたちはどのような方法によって主の言葉を受けることができるでしょうか。（聖文を研究する，預言者と霊感あふれる指導者の言葉に耳を傾ける，聖霊の勧めに従う，祝福師の祝福を研究する，などの答えが含まれる。）
- 主の言葉はなぜわたしたちを謙遜にすることができるでしょうか。

生徒に，アルマ32：13，16を読んで，へりくだる二つの方法を比較するように言う。アルマ32：15－16を読んで，質問する。「アルマはなぜ，やむを得ずへりくだるのでなく，自分からへりくだる方が幸いであると言ったのでしょうか。」自分は主の言葉のためにへりくだっているか，やむを得ずへりくだっているかどうかを深く考えるように生徒に言う。

以下のニール・A・マックスウェル長老の言葉を紹介する。

「福音はひざまずくことと同時に心を神に従わせることをわたしたちに求めています。ところが関節炎になりやすいのはひざよりもむしろ心の方です。」（*That Ye May Believe*〔1992年〕，101）

次のように質問する。「この言葉はアルマ32：15－16とどのような関係があるでしょうか。」

謙遜さは祈り，聖文の研究，わたしたちが主にすがっていることを認めること，証（あかし）を人々と分かち合うことなど，単純で日常的な経験から得られることを証する。

アルマ32：21（マスター聖句）。信仰とは「まだ見ていない真実のことを待ち望む」ことである。（5－10分）

イタリア（または遠く離れているが，よく知られている国）へ行ったことがある生徒がいるかどうかを尋ねる。イタリアへ行ったことのない生徒に以下の質問をする。

- この国が存在することをどうして知っていますか。
- この国が存在することを示すどのような証拠があるでしょうか。（イタリアへ行ったことのある人を知っている，あるいは写真を見たことがある，イタリアの言葉を聞いたことがある，地図で見た，など。）
- この国が存在することを自分で知るには，最終的にどうすればよいでしょうか。

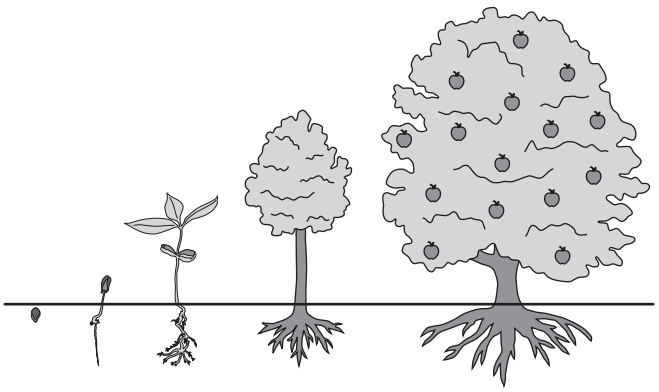
アルマ32：21を読んで，神を信じる信仰と，まだ行ったことのない国の存在を知ることとを関連づけるよう生徒に言う。ヘブル11：1を読んで，信仰に関して理解を深める。以下の質問をする。

- わたしたちは大管長が神の預言者であることをどのようにして知ることができるでしょうか。
- 大管長が預言者であることの証（あかし）を持っていないとしたら，どうすれば得られるでしょうか。

アルマは主の言葉を一つの種にたとえたことを説明する。種を植えて，養い育て，もしそれが良い種であるならば，わたしたちの信仰は成長して完全な知識となることが可能である（34節参照）。しかしその後もほかの種を植えることによって信仰を行使し続けなければならない。イエス・キリストを信じる信仰を行使して，原則に従って生活するならば，わたしたちの証は成長することを生徒に告げる（ヨハネ7：17参照）。

アルマ32：21－33：23。イエス・キリストを信じる信仰を得る過程は緩やかな場合もある。（50－55分）

レッスンの前に以下の絵を黒板に書き写しておく（参照聖句を除く）。



1粒の種とその種が実らせた果物を見せる。種を植えて，庭を造ったことのある生徒がいるかどうか尋ねる。種から果実を実らせるにはどのようなことが求められるかについて話し合う。以下の要素を含める。

- 土壌は肥沃でなければならない。
- 種は良いものでなければならない。
- 種を植えなければならない。
- 水をやり，雑草を抜き，肥料を与え，日光を当てなければならない。
- 果実を収穫しなければならない。

イエス・キリストへの信仰を深めることを，庭造りにたとえるように言う。アルマがゾーラム人に教えるためにどのようにこの相似を用いたか注目するように言う。

アルマ32：21を読んで，2人か3人の生徒に，アルマのメッセージを自分の言葉で言わせる。生徒に22節と26節を読ませ，アルマが何に対する信仰を行使するよう勧めているかを見つけさせる。（主の御言葉）アルマ32：28でアルマは御言葉を一つの種にたとえている。アルマの説教を研究する前に，生徒に，アルマ33：1，11，13－14，16－18，22－23を調べて，「御言葉」とは何を指しているかを見つけるように言う。（イエス・キリストとキリストの贖いを中心とする福音）生徒が見つけた事柄について話し合う。アルマ30：12とアルマ31：16を比較させる。次のように質問する。「アルマはゾーラム人に教え始めたときに，偽りの教義に再び遭遇しましたが，それはどのようなものだったでしょうか。」（キリストが現れることはない。）アルマ32章は信仰について述べた説教以上のものであることを生徒に理解させる。これはイエス・キリストを信じる信仰を深め，再び燃え立たせる方法についての勧告である。

黒板の絵に注目させる。アルマ32：6，27－43；33：22－23を読む。あなたがこれらの聖句を読んでいる間，生徒に絵の中のそれぞれの木に相当する節を探して，黒板に書き出すように言う。以下の質問と提案を活用して話し合いを展開する。

アルマ32：6

次のように質問する。「わたしたちの心の中で種が生長するためには，どのような心を持っていなければならないでしょうか。」

アルマ32：27

わたしたちの土壌を耕すためにほかにしなければならないことを述べた語句を見つけるように言う。（「目を覚まし，能力をつくし」「信じようと望む」「わたしの言葉の一部分でも受け入れる」などの答えが考えられる。）

アルマ32：28

アルマは信仰ではなく「御言葉」を一つの種にたとえていることを説明する。「御言葉」とはイエス・キリストを中心とする福音のことである。以下の質問をする。

- この「御言葉」をどのようにして心の中に植えるのでしょうか。
- 種に対して，してはならないことは何でしょうか。
- 「御言葉」に対する証が成長し始めていることはどのようにして分かるでしょうか。（ふくらみ始めることを感じる。それは心を広げ，理解に光を投げかけ，良い気持ちを与え始める。）

アルマ32：30

次のように質問する。「種すなわち神の御言葉が成長しているのを感じ始めるときに，わたしたちはその種について何を知り始めるでしょうか。」（良い種であること。31－32節も参照）

アルマ32：34－36

- 御言葉が良いものであるのを感じ始めたら，調べて祈ることをやめてはならないのはなぜでしょうか。
- 庭造りで水を与えるのをやめてしまったらどうなるでしょうか。

アルマ32：37－40

次のように質問する。「雑草を抜き，水を与え，肥料を与えることにたとえられる霊的な活動にはどのようなものがあるでしょうか。」（聖文を調べて深く考える，祈る，教会指導者の言葉に耳を傾ける，戒めを守る，断食する，奉仕活動を行う，家族やほかの人々を力づける，教会の召しを受ける，など。）

アルマ32：41－43

次のように質問する。「信仰と熱意と忍耐は救い主に対する証を強くするためになぜそれほど大切な要素となるのでしょうか。」アルマはその木がやがて甘く，白く，清い実を結び，わたしたちは満ち足りるまでその実を食べると述べている。次のように質問する。「この実は何を表しているでしょうか。」（この実は福音の原則に従う生活，福音に従って生活することから得られる祝福，永遠の命の喜びを表していることを生徒に理解させる。1ニーファイ8：10－12；15：36；教義と聖約14：7参照）

アルマ33：22－23

- 心に植えて，信仰によって養い育て，生長させるようにというメッセージを通して，アルマはわたしたちに何を伝えようとしているでしょうか。
- 23節によれば，わたしたちの重荷はどのようにして軽くされるのでしょうか（マタイ11：28－30も参照）。

主によって重荷を軽くされた生徒の経験またはほかの人の経験を分かち合うように言う。

救い主と救い主の福音に対する証を得る過程を復習する。謙遜，信じようとする望み，主を信じる信仰，正しい教義，研究，祈り，忍耐，従順，熱意が含まれなければならないことを確認する。わたしたちの証はイエス・キリストとキリストの贖いを中心として

いなければならない。ゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の言葉を分かち合う。

「教会の力は個々の教会員が心に持っている確信にあります。以下の事柄について確かな知識を得るのは，一人一人の末日聖徒が持つ特権であり，機会であり，義務です。すなわち，これが全能者の業であり，永遠の父なる神が生きておられて，信仰をもって仰ぎ見る神の子らを見守っておられ，イエスがキリストであり，神の御子であり，全人類の贖い主であり，眠っている者の初穂として，死人の中からよみがえられたことに対する知識です。そのような証は……人が持つことのできる最も貴い財産です。」（*Teachings of Gordon B. Hinckley*，647）

「主イエス・キリストが実際に生きておられることを知ると，ほかのあらゆることはあるべき位置に落ち着きます。わたしはそのことを知っており，そのことに満足を覚えています。……それは末日聖徒であることを公言する人々に見られるあらゆる徳の源泉です。」（*Teachings of Gordon B. Hinckley*，648）

アルマ33：2－11；34：17－27。神は祈りを聞いて，こたえてくださる。わたしたちは毎日の祈りを通して救い主にすがっていることに気づくことができる。（20－25分）

「ゲツセマネで祈るイエス」の絵を見せる（『福音の視覚資料セット』227）。イエスはゲツセマネにおいて，何のために祈られたかを生徒に尋ねる（マタイ26：39，42，44参照）。主が教導の業に携わっていた間に祈られたほかの例を挙げるように言う。（十二使徒を選ぶ前の晩〔ルカ6：12－13参照〕；弟子たちのために祈られた最後の晩餐〔ヨハネ17参照〕；ニーファイ人を訪れられたとき〔3ニーファイ17：15－17参照〕など。）以下の質問について話し合う。

- あなたが天父に心を向けて祈りをささげるのはどのような状況に置かれたときでしょうか。
- 祈るためにへりくだる必要があるのはなぜでしょうか。

ゾーラム人は礼拝と祈りについて間違った方法を受け入れていたことを説明する。アルマ33：1を生徒とともに読んで，謙遜になったゾーラム人は種を植える方法を知りたいと思ったことを理解させる。アルマ32：4－5を読んで，貧しい状態に置かれていたゾーラム人がどのようなことで悩んでいたかを見つける。黒板に以下の質問を書き写す。

- 主はわたしたちの祈りをいつ聞いて，こたえてくださるでしょうか。
- わたしたちはどこで祈り，礼拝することができるでしょうか。
- 何について祈るべきでしょうか。
- わたしたちが天父と御子を必要としていることに気づくために祈りはどれほど助けになるでしょうか。
- どのような状況のときに，天父は憐れみを与えてくださるのでしょうか。

クラスの半数の生徒にアルマ33：2－10を読ませ，残りの生徒にアルマ34：17－27を読ませる。黒板の質問の答えを見つけて，話し合うように言う。

アルマ33：11を読んで，質問する。

- わたしたちが救い主を必要としていることを気づくために，苦難はどのように助けとなるでしょうか。
- なぜ真心を込めて祈らなければならないのでしょうか。
- わたしたちは祈りをささげることによって，毎日どのように主の憐れみに触れることができるでしょうか。

アルマ33：11；34：8を読んで，質問する。「アルマと同僚たちは何を教えたのでしょうか。」（救い主を信じる信仰）わたしたちは御子の名によって御父に祈るよう命じられていることを説明する（2ニーファイ32：9；3ニーファイ18：19参照）。自分の罪の赦しを求め，戒めに従えるように助けを求めて祈るとき，わたしたちは主にすがっていることを思い起こす。わたしたちは祈りを通して，毎日御霊を受けて生活できるように願い求めることができる。

七十人のジーン・R・クック長老の以下の話を紹介する。

「わたしたちが直面する試練をうまく乗り越えるには，わたしたちの目と心をいつも主イエス・キリストに向けていなくてはなりません。『人類は堕落したので，自分自身で何も良い報いを得ることはできなかった。』（アルマ22：14）ですから，わたしたちは仲保者，すなわち執り成しをされる御方に助けていただく必要があったのです。そして『〔神〕がこのようにわたし〔たち〕を憐れんでくださったのは，***御子のおかげ***』なのです（アルマ33：11，強調付加）。」（「主の恵みを通して神の助けを受ける」『聖徒の道』1993年7月号，82）

以下の質問の答えを紙に書き出すように言う。

- わたしは祈りを改善するためにどのようなことができるだろうか。
- 救い主を思い起こすために祈りはどのように助けとなるだろうか。

アルマ34：1－16。イエス・キリストの無限にして永遠の贖いは贖いの計画の中核を成している。（20－25分）

この活動はゾーラム人にアルマが与えた教えに対してアミュレクが述べた第2の証を理解できるように助けるものである。付録からワークシート「御言葉はキリストの内にあることを証するアミュレク」（288ページ）を生徒に配る。この活動は単独，または二人一組で行う。クラス全体で正解を導き出し，学んだことを話し合う。

正　解

1. **信仰，忍耐。**
2. **「その御言葉が神の御子の内にあるのかどうか，キリストが将来降臨されるのかどうか。」**
3. **アルマ，ゼノス，ゼノク，モーセ，アミュレク。**
4. **すべての人は堕落し，迷った状態にある。**
5. **無限，永遠。**
6. **成就した。イエス・キリストの犠牲。**
7. **救い。悔い改めを生じる信仰。**
8. **生徒の任意。**

ブルース・Ｒ・マッコンキー長老の以下の言葉を紹介する。

「福音的な意味からすれば，悔い改めは神によって定められたシステムであって，堕落した人類はこの方法によって救いを得ることができます。それは憐れみの計画であって，罪人が神と和解できるのはこの計画のおかげです。それは罪人であるあらゆる人が正義の拘束から逃れて，憐れみの腕に永遠に抱かれることを可能にする方法です。それは無限で永遠の贖いにより，贖いを通して，贖いのおかげで効力を発揮します。もし贖いがなかったとしたら，悔い改めの教義は何の目的を果たすこともなく，だれも救うことができません。救いは贖いによってもたらされるのであり，悔い改める人々のために用意されているのです。」（*A New Witness for the Articles of Faith*，217）

アルマ34：32－34（マスター聖句）。現世は悔い改めの時期である。わたしたちはこの世の生活で得る資質や習慣を来世に持って行くことになる。（10－15分）

黒板に「引き延ばしは永遠の命の盗人である」と書く（ジョセフ・フィールディング・スミス，“ Procrastination Is the Thief of Eternal Life，” *Improvement Era*，1969年6月号，37参照）。この文の意味を生徒とともに話し合う。ブルース・Ｒ・マッコンキー長老が語った以下の話を読む。

「もう他界してしまいましたが，わたしはある人を知っています。彼は教会員ではありませんでした。俗世の方法で生きることに喜びを感じていた（と自分では思っていた）昔ながらの退廃した無頼漢でした。口にたばこをくわえ，酒くさい息を吐き，神を冒瀆し，みだらな話をしては唇を汚していました。彼の品行は望ましい状態からはるかにかけ離れたものでした。

彼の奥さんは教会員でした。そのような環境で精いっぱい忠実な生活をしていました。ある日，奥さんはご主人にこう言いました。『教会が正しいことはもう知っているわよね。バプテスマを受けたらどうですか。』彼は答えました。『もちろん，教会が正しいことは知っているさ。でも教会に入るためにこの習慣を変える気はさらさらないね。今のままがいいのさ。だけど，まったく心配していないね。わたしが死んだら，だれかに神殿へ行ってもらい，儀式を受けてもらうのだろうから，結局はすべて良しということになるね。』

彼が亡くなって，奥さんは神殿の儀式を行いました。わたしたちは裁きの座に着いているわけではなく，また身代わりの儀式を否定するつもりはありません。しかし，その儀式は彼のためになるのでしょうか。」（“ The Seven Deadly Heresies，” *1980 Devotional Speeches of the Year: BYU Devotional and Fireside Addresses*〔1980年〕，77）

3人の生徒にアルマ34：32－34を1節ずつ読ませる。もし，マッコンキー長老の話の中の男性が喜んで耳を傾けてくれるとすれば，どの部分を彼に読んであげるかを述べさせる。3人の生徒が分かち合ってくれた語句に傍線を引くようほかの生徒に言う。

生徒に，まだ悔い改めていない個人的な罪について考えるように言う。そして，生活を変えることを決意するよう勧める。ヒラマン13：38－39を読んで，マスター聖句とどのような関連があるかについて話し合う。ハロルド・Ｂ・リー大管長が与えた以下の勧告を紹介する。

「さて，もしあなたが過ちを犯していたら，生活を改める努力を今日から始めてください。これまで行ってきた悪い行いから離れてください。神の戒めの中で最も大切な戒めは，今日あなたが最も守りにくい戒めです。それが不正直であれ，純潔に反することであれ，偽ることであれ，真実を言わないことであれ，今日を境に努力して，弱点を克服できるまで続けてください。正しい状態に戻したら，次に守るのが最も難しい戒めに取りかかります。これが神の戒めを守ることによってあなた自身を清める方法です。」（*The Teachings of Harold B. Lee*，クライド・Ｊ・ウィリアムズ編〔1996年〕，82）

アルマ36－42章

はじめに

主は両親に対して福音を子供たちに教えるよう常に求めてこられた。親が子供に福音を教えることについてこの世で最初の模範を示したのはアダムとエバである（モーセ5：12参照）。教会が回復されて間もなく，預言者ジョセフ・スミスはシオンの両親に向けた啓示を受けた。それは子供たちに悔い改め，キリストを信じる信仰，バプテスマ，聖霊の賜物について教えることである（教義と聖約68：25参照。教義と聖約93：40－49も参照）。最近では，

大管長会と十二使徒定員会は両親に「愛と義をもって子供たちを育て，物質的にも霊的にも必要なものを与え，また互いに愛し合い仕え合い，神の戒めを守〔る〕……ように教えるという神聖な義務」があることを確認している（「家族―世界への宣言」『聖徒の道』1996年6月号，10－11）。

モルモン書に登場する両親も同じ責任を与えられた。ベニヤミン王は当時のニーファイ人の両親に対して次のように訓戒を与えている。「あなたがたは，自分の子供たちが飢えていたり，着る物がなかったりするのをほうってはおかないであろう。あなたがたは子供たちが神の律法に背くのも，互いに戦うのも，争い合うのもほうってはおかないであろう。」（モーサヤ4：14）アルマ36－42章には預言者アルマが自分の子供たちに教え，必要であれば悔い改めさせるという義務をよく理解していたことが描かれている。アルマは救い主の贖罪と教えに基づいて子供たち一人一人に適切な指導を行っている。

学び取るべき重要な福音の原則

- 罪は苦しみを引き起こす。悔い改めはその苦しみを取り去り，喜びに変える（アルマ36：10－22参照。モーサヤ27：28－29；教義と聖約19：16－17も参照）。
- 「小さな，簡単なこと」によって大いなることが成し遂げられる（アルマ37：3－12，38－47参照。2テモテ3：15；1ニーファイ15：23－24；アルマ31：5も参照）。
- 若いうちに神の戒めを守るのを習慣とすることは賢明である（アルマ37：35；38：2参照。箴言22：6も参照）。
- 高慢と自慢は罪悪に通じる。しかし，へりくだって主に頼るならば罪から守られる（アルマ38：11－39：4参照。2ニーファイ4：30－35も参照）。
- 良きにつけ悪しきにつけ教会員の模範は教会に影響を及ぼす（アルマ39：1－12参照。マタイ5：14－16；モルモン書ヤコブ2：35； アルマ4：10－11も参照）。
- 純潔の律法を破ることは非常に悲しく，忌まわしい罪である。完全な悔い改めによってのみ赦しがもたらされ得る（アルマ39：3－9参照。モルモン書ヤコブ2：28；教義と聖約59：6も参照）。
- イエス・キリストの贖いによって万人の復活が可能となった（アルマ40章参照。1コリント15：22；ヒラマン14：16－17も参照）。
- 回復の計画により，わたしたちの霊と体は再結合されて，裁きの座に立つ。義人は幸福な状態に回復され，悪人は惨めな状態に置かれる（アルマ41章参照。ガラテヤ6：7；教義と聖約6：33も参照）。
- わたしたちは罪を犯すと，正義の律法によって神の前から絶たれる。救い主の贖いによって，悔い改めるあらゆる人のために，憐れみが正義の要求を満たす（アルマ42：1－28参照。アルマ34：16；教義と聖約19：16－17も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』98－102。

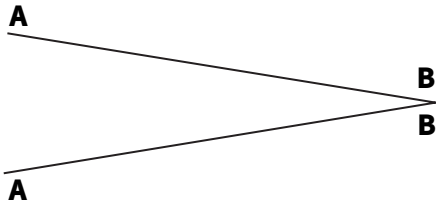
教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション13「神が救い出してくださった」をアルマ36章を教える際に利用できる。プレゼンテーション14「これらは冒瀆である」をアルマ39章を教える際に利用できる。プレゼンテーション15「仲保者」をアルマ40－42章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

アルマ36章。罪は苦しみを引き起こす。悔い改めはその苦しみを取り去り，喜びに変える。（45－50分）

韻を踏んでいる短い詩を読む。どのような文章形式の作品かを生徒に尋ねる。押韻詩は形式が決められているため，聞きやすい文章形式であることを説明する。交差対句法と呼ばれる文章形式があるが，これはあまり一般になじみがない。古代ヘブライ文学者は交差対句法を使うことがあった。押韻詩と同様に形式が決められているため，効果的な形式である。

交差対句法は一定の順序に語や概念を並べ，それから逆の順序で繰り返す方法である。簡単な交差対句法を説明するために以下の図を黒板に書く。



イザヤ55：8とマタイ10：39の交差対句法を例として採り上げて読み，これらの聖句で交差対句法がどのように展開されているかを見つける。以下の節は関連する語を斜体太字で示し，それぞれ*A*と*B*の記号が付けられている。

イザヤ55：8（欽定訳より和訳）

（A）*わが思いは*，（B）*あなたがたの思いとは*異なり，

（B）*あなたがたの道*は，（A）*わが道*とは異なっている，

と主は言う。

マタイ10：39

（A）*自分の命を得ている者*は（B）*それを失い*，

（B）わたしのために*自分の命を失っている者*は，（A）*それを得る*であろう

交差対句法では大切な概念や語を繰り返すことによって強調することを指摘する。さらに，著者の主概念は交差対句法の真ん中に置かれることが多い。

アルマは自分の改心の物語を息子のヒラマンに話すに当たって交差対句法を用いたことを説明する。以下の表の1列に一人ずつ生徒を割り当てて，聖句を調べさせる（クラスの規模によって，生徒を二人一組にしてもよい）。節が互いにどのような関連を持

っているかを見つけて，各節の簡単なまとめを紙に書くように言う。

	アルマ36章	
位　置	節	節
A	1	30
B	2	28－29
C	3	27
D	4－5	26
E	6	24
F	10	23
G	14	22
H	16	19－21
I	17	18

以下の概要を黒板に書き写す。クラス全員で全章を読む。概要に含まれている節を読み終えるごとに生徒を黒板のところに来させ，読んだ節の番号の横にその節のまとめを書くように言う。

A．1節
B．2節
C．3節
D．4－5節
E．6節
F．10節
G．14節
H．16節
I．17節
I．18節
H．19－21節
G．22節
F．23節
E．24節
D．26節
C．27節
B．28－29節
A．30節

（ジョン・W・ウェルチ，“Chiasmus in the Book of Mormon,” ノエル・B・レイノルズ編，*Book of Mormon Authorship*〔1982年〕，49－50より翻案）

主概念は交差対句法の真ん中に置かれる場合が多いことを生徒に思い起こさせる。以下の質問をする。

- この交差対句法で中心となるメッセージは何でしょうか（17－18節参照）。
- わたしたちが罪の苦しみから解放される方法についてアルマの経験からどのようなことを学べるでしょうか。
- アルマの模範から，イエス・キリストを中心にした悔い改めとはどのような悔い改めかを説明してください。

後に十二使徒定員会の会員になったジェフリー・R・ホランド長老が語った以下の証を一人の生徒に読ませる。

「あらゆる悔い改めにはキリストの力が必要です。……アルマは父親の教えに影響を受けていましたが，大切なことは，彼が『イエス・キリストは神の御子であり，世の罪を贖うために来られる』（アルマ36：17）ことに関する預言を思い出したということです。それはすべての人が聞かなければならない名であり，メッセージです。……わたしたちがどのような祈りをささげようとも，何が必要であろうとも，すべては『おお，神の御子イエスよ，……わたしを憐れんでください』という嘆願にかかっているのです。キリストはいつでもその憐れみを与えようとしておられます。キリストはこれを与えるために御自分の命を差し出されたのです。」（*However Long and Hard the Road*〔1985年〕，85）

生活の中で救い主の助けが必要であることに気づくにはまず謙遜にならなければならないことを説明する。救い主に思いを集中させることはわたしたちがへりくだる助けとなるだけでなく，大きな喜びとなる。ホランド兄弟の以下の言葉を読む。

「わたしたちの意志は文字どおり変わり，キリストの御心を受け入れるようになります。教会へ行くことや聖餐会に出席すること，あるいは監督や両親や尊い友人たちを避けてきたかもしれません。神御自身を含めてわたしたちが罪を犯した相手をことごとく避けてきたかもしれません。しかし，悔い改めた心は彼らとともにいることを願うのです。これが贖い――一つとなること――の喜びと光の一部であり，わたしたちは再び神と結ばれるだけでなく，本来のすばらしい自分が最愛の人々と再び特別なきずなで結ばれるのです。」（*However Long and Hard the Road*〔1985年〕，86－87）

「主に来たれ」（『賛美歌』67番）の１節と3節を歌うか，歌詞を読む。

アルマ37：1－20，38－47（マスター聖句，アルマ37：6－7）。「小さな，簡単なこと」によって大いなることが成し遂げられる。（30－35分）

以下のような品物を見せるか黒板に絵を描く。点火プラグ，馬のくつわ，コンピューターディスク，船の舵の絵，紙クリップ，コンパス，空の聖餐カップ。次のように質問する。「これらの品物に共通しているのはどのようなことでしょうか。」生徒の意見について話し合ってから，黒板に「小さくて簡単」と書く。「それぞれの品物はどのようにこの言葉に当てはまるでしょうか。」生徒に，アルマ37：6－7を読ませ，これらの聖句が最もよく表している品物はどれかを判断して，その理由を説明するように言う。

クラス全員でアルマ37：1－5を読んで，アルマは何について息子に説明しているかを見つける。（真鍮の版）章の前書きの最初の文を読んで，「小さくて簡単なもの」に加えることのできるものを探すように言う。（「そのほかの聖文」）

アルマ37：8－10を読んで，「これらのもの」という語句に印を

付けるように言う。この語句は何を指しているかを尋ねる。聖文に聞き従ったニーファイ人とレーマン人に対して聖文がもたらした「大いなること」を黒板に書き出す。以下の質問をする。

- 聖文はあなたの生活にこれらの恵みのうちのどれをもたらしているでしょうか。
- 聖文はどのような方法であなたに多くのことを思い出させ，あるいは行いが間違っていることを納得させてきたでしょうか。
- 聖文のおかげで神の知識を得た人々をあなたは知っているでしょうか。それはだれですか。

生徒に，15節と16－18節を比較するように言う。以下の質問について話し合う。

- 15節で，もし戒めを破れば何が取り去られるとヒラマンは警告されているでしょうか。
- わたしたちが戒めを破ると，何が取り去られるでしょうか。
- わたしたちが戒めを守るならば，神の力によってどのように強められるでしょうか（16節参照）。
- モルモン書はヒラマンの「先祖」に与えられた神の約束をどのように成就しているでしょうか（17－18節参照）。

コンパスを見せて，質問する。

- コンパスはどのような機能を持っているでしょうか。
- どのような力によって正しい働きが妨げられるでしょうか。
- 使い方を知らないと，なぜ役に立たないのでしょうか。

以下を黒板に書く。

- アルマ37：40。リアホナは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿によって働いた。
- アルマ37：41－42。リアホナは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ときに働きを止めた。
- アルマ37：43－45。リアホナはどのようにキリストの御言葉と似ているだろうか。＿＿
- アルマ37：46。アルマは次のようにわたしたちに警告している。＿＿

それぞれの聖句を読んで，空欄に記入するように言う。生徒の答えについて話し合い，これらの聖句がわたしたちの生活にどのように当てはまるか例を挙げるように言う。（注意：43－45節の「影」と「予型」について生徒に説明する必要があるかもしれない。影と予型とはほかの事柄，特に救い主の象徴である。）

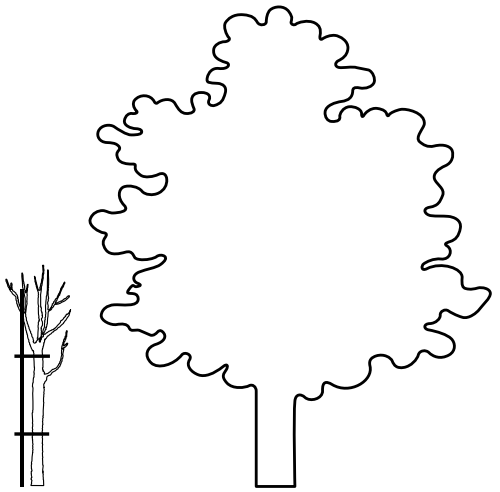
キリストの言葉は力と助けの源であることを証（あかし）する。わたしたちの複雑な問題を解決するには，「小さくて，簡単すぎる」と誤解して聖文研究を怠ることがないようにしなければならない。アルマ37：47と，十二使徒定員会会員を務めたマービン・Ｊ・アシュトン長老の以下の勧告を読む。

「何か大変なことが起きたり，苦しいことに遭ったりすると，『一体だれにすがったらいいのか』と言う人がよくいます。

わたしたちの意志一つで手に入れることのできる賜物（たまもの）があります。それが神に導きを求めるという賜物です。その賜物を通して，わたしたちは力，慰め，導きを受けることができるのです。」（「多くの賜物」『聖徒の道』1988年1月号，21）

アルマ37：35（マスター聖句）。若いうちに神の戒めを守るのを習慣とすることは賢明である。（15－20分）

以下の絵を黒板に描く。



以下の質問をする。

- なぜ若木に添え木を縛っておくのでしょうか。
- 木が成熟するとなぜ添え木を外すのでしょうか。

若木が正しく生長するように剪定（せんてい）したり，刈り込んだりすることを指摘する。次のように質問する。「何年も待つのでなく，木が若いうちに剪定することはなぜ大切なのでしょうか。」

副管長時代にゴードン・Ｂ・ヒンクレー大管長が述べた以下の言葉を一人の生徒に読ませる。

「わたしたちは結婚して間もなく，最初の家を建てました。お金はあまりありませんでした。ほとんどの仕事を自分でしました。今風に言えば『労働提供型持ち家促進制度』というところです。庭造りも全部自分でしました。たくさんの木を植えましたが，その最初はサイカチの木でした。いずれ夏には涼しい木陰を作ってくれる日が来ると想像しながら，庭の片隅に植えました。そこは峡谷からの東風がいちばん強く当たる場所でした。穴を掘り，苗を植え，周りに土を入れ，水をかけましたが，あとはその木のことはほとんど忘れていました。それは直径2センチほどの小さな木でした。枝はとてもしなやかで，どちらの方向にでも簡単に曲がりました。年月は過ぎていきましたが，わたしはその木にはほとんど注意を向けませんでした。

そしてある冬の日，たまたま窓越しに，葉をすっかり落としたその木を見たのです。それは樹形も悪く，バランスが取れず，西方に傾いていました。まったく信じられない思いでした。わたしは外に出て，その木を自分の力で押して，まっすぐに立てようとしてみました。しかし幹の直径はすでに30センチほどになっていて，わたしの力ではびくともしませんでした。それでわたしは物置から滑車装置を取り出してきました。一方の端を木に，もう一方をしっかりした支柱に縛りつけてから，わたしはそのロープを引っ張りました。滑車が少し動き，木の幹がわずかに揺れました。しかし，それだけでした。」

生徒に，アルマ37：35を読んで，ヒンクレー大管長が経験した木と関連づけるように言う。以下の質問をする。

- アルマは戒めを守ることについて息子にどのようなことを教えているでしょうか。
- どのような人々が若いうちに神の戒めを守ることを習慣とするのか説明するために，アルマはなぜ「知恵」という語を使ったのでしょうか。
- 幼いころから守ってきた戒めで，もし10代または大人になってから守り始めるとしたら難しかったと思われる戒めにはどのようなものがあるでしょうか。

ヒンクレー大管長の話の続きを読む。

「わたしは最後の一念で，西側に伸びた大枝をのこぎりで切り落としました。20センチ以上もある，醜く大きな傷跡が残りました。わたしは少し下がって，自分がしたことの結果を見てみました。わたしが切ったのは木のおもだった部分で，空に向かって伸びる枝が１本だけ残っていました。

あの木を植えてから，すでに半世紀以上がたちました。今その家には娘とその家族が住んでいます。先日，その木を見てみました。大きくなり，形もよくなっていました。今ではその家にとって貴重な存在となっています。わたしがその木に残した傷はひどいものでした。まっすぐに立て直すためとはいえ，われながら随分手荒なことをしてしまったものです。

最初に植えたときに，ひも1本で動かないようにしておけば，風の力にも耐えて，まっすぐに育っていたことでしょう。ひもを結わえることなど，わずかな手間でできたことですし，そうすべきだったのです。しかし，わたしはそれをしませんでした。そして木は吹きつける風の力に負けて，傾いてしまったのです。」（「子をその行くべき道に従って教えよ」『聖徒の道』1994年1月号，66）

アルマ37：35について感じたことや考えを紙に書くように言う。以下を含めるよう提案する。

- この聖句が伝えようとしていることを自分の言葉で表す。
- 幼いころから守ってきた特定の戒めに対して感じていること。
- この戒めを初めて知ったときのことや，従おうと決意した理由。
- 幼いころから始めたおかげで，今この戒めがどれほど守りやすいか。

紙に書いた事柄を家に帰ってから日記に書き写すよう奨励する。

アルマ37：32－37；38：11－39：4。高慢と自慢は罪悪に通じる。しかし，へりくだって主に頼るならば罪から守られる。（10－15分）

次のように黒板に書く。「正誤問題：モルモン書のある預言者は，人々に永遠の憎しみを持つように教えることを息子に勧告しました。」生徒に，アルマ37：32を読んで，正しい答えを見つけるように言う。以下の質問をする。

- アルマはヒラマンに，何を永遠に憎むよう人々に教えなさいと言ったのでしょうか。
- なぜ罪を憎むべきでしょうか。
- 罪は人の生活をどのように傷つけるでしょうか。

アルマ37：33－35を読んで，悪魔の誘惑に抵抗する方法を見つける。以下の質問をする。

- 謙遜（けんそん）になることはなぜ大切なのでしょうか。
- 謙遜であると，どのように戒めが守りやすくなるでしょうか。

イエス・キリストを信じる信仰のおかげで，誘惑に抵抗する力を得た経験を分かち合うように言う。アルマ39：1－3からアルマが息子のコリアントンに与えた勧告を読み，コリアントンが陥った非常に重大な罪を見つける。次のように質問する。「どのような罪が高じて，コリアントンは大きな罪を犯したのでしょうか。それはなぜでしょうか。」

クラスの半数の生徒にアルマ37：36－37を，残る半数の生徒にアルマ38：11－14を読んで，誘惑を退けるための助けとなるアルマの忠告に傍線を引く。生徒が見つけた事柄について話し合う。

ボイド・K・パッカー長老による以下の説明を読む。

「ニューイングランド伝道部の部長を務めていたときのことです。タバナクル合唱団がモントリオールの世界博で公演することになりました。日程が組まれていない日が1日あったため，ニューイングランドでコンサートを開いてはどうかという打診を受けました。同地の実業界のある指導者が公演会を主催する特権を与えてほしいと言ってきました。

コンディー兄弟とスチュアート兄弟が打ち合わせのためにボストンを訪れました。わたしたちはボストン空港で彼らを出迎えると，マサチューセッツ州アトルボロへ車で向かいました。途中，車の中でイエーガー氏がコンサートについて尋ねました。『合唱団の皆さんのためにレセプションを開きたいと思います。場所はわたしの家か，わたしのクラブでもかまいませんが。』彼はニューイングランドの，いや，国の著名人である友人たちを招待したいと考えていました。こう言ってから，次にアルコールを出すことについて尋ねました。

スチュアート兄弟はそれに答えてこう言いました。『イエーガーさん，あなたのお宅で開くのですから，あなたが主催者です。あなたのしたいようにしていただいていいと

思いますよ。』

『いえ，そういうことは考えていません。』このすばらしい実業家は言いました。『わたしがしたいことをするつもりはありません。あなたがたがわたしに望んでおられることをしたいのです。』

このような精神の中に自由の鍵があります。わたしたちは一人一人が天父の前に行って『わたしがしたいことをするつもりはありません。お父様がわたしに望んでおられることをしたいのです』と言えるようにならなければなりません。すると，世の父親たちと同じように，主はこう言われることでしょう。『絶えず監督する必要がほとんどない自由なわたしの子が，ここにも一人いる。』」（*That All May Be Edified*〔1982年〕，257）

謙遜に従うことによってどのように罪からの自由が得られるかについて，生徒の意見を聞く。

アルマ39：1－11。純潔の律法を破ることは非常に悲しく，忌まわしい罪である。完全な悔い改めによってのみ赦しがもたらされ得る。（50－55分）

注意：以下の教え方の提案には長い引用文が幾つか含まれている。これらをコピーして生徒に配り，各自で読み，保管できるようにするとよい。

アルマ39：3－5を読んで，主の目に最も忌むべき3つの罪を挙げるように言う。アルマの息子コリアントンはそれらの罪の一つに陥っていたことを告げる。アルマ39：1－2を読んで，コリアントンのどのような行いがさらに大きな罪を招いたかを見つけさせる。箴言3：3－6を読んで，次のように質問する。「これらの教えに従っていればコリアントンはどのように堕落から守られたでしょうか。」

以下の言葉を分かち合う。

「神が持っておられる多くの力の中で，非常に大切にしておられる力は，命を与え奪う力です。神は命を奪うことをわたしたちに禁じておられます。しかし，神はこの世に子らを送り出すという，命を創造する力を分かち与えておられます。これは神聖な力であるため，すべての子らに対してこの力を正しく用い，結婚関係の中だけで用いるように定められました。この大いなる力の背後にある欲望を抑え，神が定められた範囲の中で用いるようにと言われました。」（*The Uniform System for Teaching Families*〔Missionary discussions, 1973年〕，H－13）

次のように質問する。「性的な罪はなぜ殺人に次ぐ重大な罪なのでしょうか。」命を創造する力は非常に神聖であるため，サタンはわたしたちに間違った用い方をさせようと懸命に努力していることを説明する。十二使徒定員会会員であるリチャード・G・スコット長老の以下の話を分かち合う。

「サタンは弱い人に照準を定めて誘惑し，二人が愛し合っていれば，性的な関係を持つことが認められると理由づけ，それらの行為を正当化させようとします。しかし，そのようなことは決して正しくありません。神は適切な行動の境界線を定めておられます。

わたしたちの体の一部で，神聖かつ個人的な部分に関連して起こる強い感情は，結婚という聖約の下で，夫婦にとって適切で容認できる方法で用いるように意図されています。これらの感情は夫婦を結び合わせ，家族を築く責任に備えさせるための愛と信頼を形作る大切な要素となっています。またこれによって子供をもうけるという祝福をもたらしてくれます。こういった強い感情は結婚の聖約に基づいていないところで自己満足を得るために刺激したり，用いたりしてはなりません。またこれらの感情をあおるために，他人の体の神聖かつ個人的な部分に触れたり，あるいは衣服を身に着けていてもいなくても，皆さんの体をほかの人に触れさせたりしてもなりません。自分の体の一部を刺激してそのような感情をかき立ててはなりません。それは悪いことです。決してしないでください。それは，皆さんが自分の将来について非常に大切な決断を下さなければならないときに，聖霊の導きを受ける力を弱めてしまいます。このような行為は容易に抜け出せない中毒症状と化し，重大な背きへと発展します。

サタンは皆さんが見たり，聞いたり，触れたりするものによってこれらの強い感情はかき立てられることを知っています。このような感情がかき立てられると，人は破壊へと導くかっこうの実験台となり，次いで重大な背きへと走ることになります。サタンはビデオテープ，映画，雑誌，コンピューター画像，あるいは人を堕落させることを目的とした汚れた音楽などの手段を通して，ポルノグラフィーを使っています。そのようなものから皆さんの目と耳と思いと心を閉じてください。あるがまま受け入れると，最初は興味本位で見たり聞いたりしていたものもやがては太刀打ちできない怒り狂う怪物へと確実に成長します。この悪魔と化した思いは健全な望みやふさわしい関係にある仲を台なしにし，高貴な思いや行いを破壊して，ついには皆さんを滅ぼしてしまいます。どのような形にしろ，みだらなものを覆っている包みを解いてはなりません。そうすれば皆さんはそのようなもののとりこになることはありません。」（「義の力」『リアホナ』1999年1月号，74－75）

コリアントンが純潔の律法を破ったために，彼の父アルマはコリアントンが悔い改めて，生活を再び清くできるように助けたいと願ったということを生徒に告げる。アルマ39：7－8を読んで，コリアントンは自分の罪について何を知る必要があったかについて話し合う。教義と聖約38：7を読んで，アルマ39：7－8と相互参照する。ヨハネ3：20を読んで，この聖句がコリアントンとどのようなかかわりを持っているかについて話し合う。以下の質問について話し合う。

- 人はなぜ自分の罪を隠そうとするのでしょうか。何を得ようとしているのでしょうか。
- サタンはなぜわたしたちに罪を隠し，秘密にしておくように教えると思いますか。

- 罪を隠そうとすることは，どのように悔い改めを遅らせるでしょうか。
- 宣教師が神権指導者に対して自分の罪を隠そうとすると，どのような結果を招くでしょうか。

生徒に，アルマ39：9－11を読んで，これらの重大な罪を悔い改めて捨てることについてのアルマの勧告に印を付けるように勧める。どの語になぜ印を付けたかを生徒に尋ねる。9節の「これらのことをすべて断つ」という語句について話し合う。（この語句の理解を助けるために，生徒とともにジョセフ・スミス訳マタイ16：25－26を読む。）リチャード・G・スコット長老は次のように勧告している。

「ここで大きな誘惑に負けてしまった方々に少しお話ししたいと思います。どうか悪い癖を今すぐやめてください。理解ある両親，監督，あるいはステーク会長の助けを借りてやめることができます。不道徳な行為などの重大な背きを犯した人が完全かつ適切に悔い改めの過程をだれにも知られずに着実に全うするには，監督やステーク会長など適切な権能の鍵を持つ人の助けが必要です。重大な背きについて告白してしまえば悔い改めが終わったと考えるような間違いを犯さないでください。告白は大切な段階ではありますが，悔い改めに必要なことのすべてではありません。また監督やステーク会長があなたの背きについて詳しいことを尋ねなかったからといって，皆さんはそれらのことを話す必要はないと考えないでください。完全な罪の赦しを得るために備えられた悔い改めの道を正しく歩むときに，監督やステーク会長から助けを受けることができるように，自分が犯した罪の内容を十分理解できるように伝えることが，皆さんの務めなのです。」（「義の力」『リアホナ』1999年1月号，75）

十二使徒定員会会員のジェフリー・R・ホランド長老は次のように教えている。

「そのような人には主イエス・キリストの贖いの犠牲を通して，悔い改めによる平安と再生の道が開かれています。そのような深刻な問題に関しては，悔い改めの道を歩み始め，進み続けるのは決して容易ではありません。しかし，世の救い主は，自ら足を踏み出そうとするすべての人とともにその救いに至る道を歩んでくださいます。くじけそうになるとき，力づけてくださいます。最も暗いと思えるときに，あなたの光となってくださいます。すべての希望がうせたと思えるときに，主はあなたの手を取り，あなたの希望となってくださいます。主の思いやりと憐れみ，そしてすべての清めと癒しの力は，完全な赦しを得たいと望み，それに至る階段を1段ずつ上って行くすべての人に惜しみなく与えられているのです。」（「個人の清さ」『リアホナ』1999年1月号，85－86）

性的な罪は深刻であり，深い悲しみを招くことについて証する。しかしながら，イエス・キリストの贖罪は，神権指導者に助けを求めて完全に悔い改める人々に，平安と清らかな良心を得させる。

アルマ40章；41：2；42：23。イエス・キリストの贖いによって万人の復活が可能となった。（50－55分）

生徒に，聖典から奇跡について記されている箇所をできるだけ多く挙げるように言う。次のように質問する。「これらの奇跡の中で，すべての人がいつか経験するものはどれでしょうか。」1コリント15：21－22を読んでから，以下の質問について話し合う。

- すべての人が経験するとパウロが証している奇跡は何でしょうか。
- 復活の知識は生と死に対するあなたの見方にどのような影響を与えているでしょうか。

モルモン書には「復活」またはこれに類する語が60回以上登場することを告げる。次のように質問する。「わたしたちの時代のために書かれたこの書物の中で，なぜこのテーマに関することがこれほど頻繁に語られていると思いますか。」エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の言葉を読む。

「このように主は，正義が天より出，また真理が地より出ることを約束されたのです。わたしたちはその預言がこの世代に成就するのを見てきました。モルモン書は地より出て来ました。〔そして〕真理に満ち……ています。」（「現在の啓示の賜物」『聖徒の道』1987年1月号，86）

モーセ7：62を読んで，主が「地から」出される二つの真理を探す。（イエス・キリストの実在と復活の現実性。）アルマはモルモン書の中で，復活に関して最も長い説明を加えていることを紹介する。以下の表に挙げられている節を生徒に割り当て，読んだ内容をまとめるように言う。それらを黒板に書き出し，必要に応じて話し合う。（表の右の欄に答えが提案されている。）各節が教えている事柄を記憶するための鍵となる語句に傍線を引くように言う。ここで扱う9組の聖句グループと，関連する聖句や引用文が，この表の次に記されている。必要に応じてこれらを活用して，話し合いを展開する。

アルマ，復活についてコリアントンに教える		
1.	アルマ40：1－2	イエス・キリストの来臨後までは復活はない。
2.	アルマ40：3	イエス・キリストは復活をもたらされる。
3.	アルマ40：4	すべての人に，復活する時が定められる。
4.	アルマ40：6－9	死と復活の間には時の隔たりがある。
5.	アルマ 40：11－12	義人の霊はパラダイスと呼ばれる幸福な状態で復活を待つ。
6.	アルマ 40：13－14	悪人の霊は暗闇の中で裁きを恐れながら復活を待つ。
7.	アルマ 40：16－19	イエス・キリスト以前の時代に生きていた人々は，キリストの時代以降に生きる人々よりも前に復活する。（注意：義人の霊は悪人の霊よりも先に復活することを生徒が理解していることを確認する。ヨハネ5：29；教義と聖約88：95－102参照）
8.	アルマ 40：23；41：2	霊と体が再結合するときに，手足，間接，髪の毛など，肉体のあらゆる部位はその正しい位置に回復される。

9.	アルマ42：23	贖罪（しょくざい）は復活を可能にする。復活はあらゆる人を裁きのために神の前に連れ戻す。

1. １コリント15：20，25－26；2ニーファイ2：8
2. モーサヤ16：7；アルマ7：12；11：42
3. ヨハネ5：28－29
4. 教義と聖約138：11，15－16
5. 『聖句ガイド』「パラダイス」の項，209－210

ジョージ・Q・キャノン副管長は次のように教えた。

「『すべての人の霊は，この死すべき体を離れるやいなや，……彼らに命を与えられた神のみもとへ連れ戻される』と語ったとき，アルマは心の中で，神が遍在なさることを考えていたに違いありません。もちろん御自身が遍在しておられるという意味ではなく，代行者である聖なる御霊（みたま）を通してという意味です。

アルマはすべての人の霊が直ちに神御自身の前に連れて行かれるという考えを伝えることを意図していませんでした。アルマが限定された意味でこの語句を用いたことは明らかです。」（*Gospel Truth: Discourses and Writings of President George Q. Cannon*，ジェレルド・L・ニュークイスト編，全2巻〔1957年〕，第1巻，73）

6. 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（101ページ）アルマ40：11－15の解説からブルース・R・マッコンキー長老による最初の引用文を参照。
7. モーサヤ15：21－22

十二使徒定員会会長時代にジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように記している。

「アルマ書40章19節を読むと，キリスト以前に生涯を終えた悪人はキリスト降誕後に生まれた義人よりも先によみがえると取れますが，アルマはそのようなことを言おうとしたのではありませんでした。19節からは上記のようにも受け取れますが，20節で彼はこれを修正し，この復活の時によみがえるのは義人の身と霊であると言っています。」（『救いの教義』全3巻，第2巻，276）

8. 預言者ジョセフ・スミスはこのように語った。

「復活に関して，すべての人は年老いているか若いかを問わず，横たわったときの状態で墓から出てくるとだけ，申し上げておきます。『自分の背丈を１キュビト伸ばすこと』もできなければ，縮めることもできません。すべての人は神の力によってよみがえるのです。霊が体に宿るのです。そこに血はありません。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，199－200）

ジョセフ・フィールディング・スミス会長は次のように記している。

「当然のことながら死んだ子供が墓の中で成長することはない。彼らは墓に横たえられたときの姿でよみがえるが，復活後成熟した大人にまで成長する。……

……ジョセフ・F・スミス大管長は，人は『肉体に受けた傷に至るまで』元の姿形のままよみがえる，と言った。『しかしいつまでも傷跡，不具，欠陥，病気で傷ついたままの状態が続くというのではない。なぜならこれらの傷は，神の慈悲深い愛によって，適切なときに取り除かれるからである。』〔『福音の教義』23〕」（『救いの教義』全3巻，第2巻，270）

9. ヒラマン14：15－17

アルマ41章。回復の計画により，わたしたちの霊と体は再結合されて，裁きの座に立つ。義人は幸福な状態に回復され，悪人は惨めな状態に置かれる。（25－30分）

修理して再生させた家具，破損した車と修理後の車の写真，あるいは簡単にできるジグソーパズルを見せる。黒板に「回復」と書いて，見せたものがどのようにこの言葉の例となっているかを生徒に尋ねる。アルマ41：13を読んで，「回復」とその定義である「再び返す」に印を付けるように言う。

生徒に，アルマ41：1－2を読んで，回復の一つの例を探すように言う。次のように質問する。「復活はなぜ，回復の好例と言えるのでしょうか。」

アルマが語った回復には復活だけでなく裁きも含まれることを説明する。生徒に，アルマ41：3を読んで，わたしたちが何によって裁かれるかを二つ見つけて印を付けるように言う。モロナイ7：8；教義と聖約137：9を読んで，アルマ41：3と相互参照するように言う。次のように質問する。「わたしたちが心に抱く望みはなぜ行いと同じように大切なのでしょうか。」アルマ41：5－6を読んで，以下について話し合う。

- 裁きにおいてわたしたちに何が回復されるのでしょうか。
- 義にかなった生活に対して幸福を受けるという事実から，裁きについてどのようなことを示しているでしょうか。
- 福音の原則の中にはある人には容易に守れても別の人には守ることが難しいものがあります。それは例えばどのような原則でしょうか。（神殿へ行くことが答えとして考えられる。ある会員たちは神殿の所在地から非常に遠い地域に住んでいる。）
- 自分の言葉と行いと思いに応じて裁かれるということを知っていると，最後の裁きに対してどのように感じるでしょうか。

ダリン・H・オークス長老による以下の解説を読む。

「わたしたちは自分の邪悪な思いに対して責任を負いますが，それと同じように，義にかなった思いに対して報いを受けます。まことに義にかなった望みを持ちながら，実際的にそれを行うことが不可能な場合に，天父はその思いを行いの代わりとして受け入れてくださいます。わたしの義理の父はこの原則を彼なりに理解し，好んで実行していました。だれかが彼のために何かをしたいと思っていても，

その人の置かれている状況から実行できない場合に，彼はこう言いました。『ありがとう，ご厚意だけを頂いておきます。』

息子のイサクを犠牲としてささげようとしたアブラハムが祝福を受けたのはこの原則によるものでした。主は最後の瞬間にアブラハムをお止めになりましたが（創世22：11－12参照），主の命令に喜んで従う彼の気持ちによって『彼は義と認められた』のです（教義と聖約132：36）。

この原則は，わたしたちができることすべてを行うとき，わたしたちの望みによって，足りない部分が補われるという意味です。また，わたしたちの望みが正しいものであれば，その望みを実現しようと努力している間に過失によって犯した過ちについては赦され得るという意味でもあります。力不足に悩むわたしたちにとってこれは何とすばらしい慰めでしょうか。」（*Pure in Heart*〔1988年〕，59）

生徒にまったく異なる二つの種を見せる（ニンジンの種とドングリなど）。クラスを3つのグループに分けて，各グループに以下の聖句の一つを読むように言う。2コリント9：6；ガラテヤ6：7；教義と聖約6：33。福音の原則を教えるために各聖句で種がどのように用いられているかを見つけて，発表させる。以下の質問について話し合う。

- 2種類の種はアルマ41：5－6で述べられている回復の計画をどのように説明しているでしょうか。（善は一つの実を結び，悪は異なる実を結ぶ。）
- 義にかなう種にはどのような実がなるでしょうか。

アルマ41：9－11からアルマがコリアントンに与えた警告を読んで，以下の質問をする。

- アルマのメッセージをまとめて簡単な語句で表してください。
- 邪悪な種はなぜ幸福を生じることができないのでしょうか。

生徒に，アルマ41：14－15を読んで，回復の教義をどのように生活の中に当てはめなければならないかについてアルマが述べている箇所に傍線を引くように言う。どこに傍線を引いたかを発表させる。「あなたから出るものがあなたに返って来て，回復される」（15節）ことを説明する前向きな例を分かち合うように言う。

アルマ41：10（マスター聖句）。「悪事は決して幸福を生じたことがない。」（10－15分）

3人の生徒に以下の言葉を読ませる。読む前にそれぞれ別の生徒に，自分が読む言葉の内容を一つの文にまとめて黒板に書き出すように依頼させておく。

十二使徒定員会会員のジョセフ・B・ワースリン長老はこのように述べた。

「福音の戒めは愛ある優しい御父から出ています。御父の律法はわたしたちを幸福にし，守護するために，与えられています。また，サタンに従って誘惑に負けたときに必ず味わう，逃れられない苦痛と悲惨を避けるのに役立ちます。」（「従順な人生」『聖徒の道』1994年7月号，45）

大管長会と十二使徒定員会の指示の下に発行されたパンフレット『若人のために』は次のように勧告している。

「悪いことをしていながら，良い気持ちを感じることはできません。それは不可能なことです。……サタンは，自由気ままな生き方をするようにと誘惑します。そして，その誘惑に身をゆだねなければ喜びは得られないと，皆さんに信じ込ませようとしています。しかし，神の戒めを破って自分の人生を台無しにしてしまった人々を見ればそれだけで，なぜサタンが『あらゆる偽りの父』と呼ばれるのか，その理由が分かります。（2ニーファイ2：18）……

喜びと幸福は，主が望んでおられる生き方を……することによって得られます。」（4，20）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように語った。

「邪悪は決して幸福を生じません。罪も同様です。幸福はイエス・キリストの簡潔で麗しい教えとその力と愛にあるのです。」（「改宗者と若い男性について」『聖徒の道』1997年7月号，59）

黒板に書かれている3つの文章を要約している1節をアルマ41章から見つけるように言う。アルマ41：10にマスター聖句の印を付ける。天父の戒めを守ることによって喜びが得られることについてあなたの証を付け加える。

アルマ42：1－28。わたしたちは罪を犯すと，正義の律法によって神の前から絶たれる。救い主の贖いによって，悔い改めるあらゆる人のために，憐れみが正義の要求を満たす。（55－60分）

レッスンが始まる前に，黒板に以下の表を書いておく。

アルマ42	言　葉	意　味
1節	置かれる	引き渡される，譲り渡される
2－3節	ケルビム	天使たち
4節	試し	試験，テスト
7節	肉体的	物質的，死すべき体と関係がある
8節	適当	適している，適切である
8節	救われる	回復される，戻される
10節	肉欲	俗世的，肉体的な快楽を追い求める

黒板に「わたしは最後の裁きが公平に行われることを望みます」と書く。この言葉に賛成する生徒に手を挙げさせる。挙げた手の数を数えて，その数字を黒板に書く（ほとんどの生徒が賛成するはずである）。

以下の聖句を読む生徒を割り当てる。申命32：4；モーサヤ16：1；2ニーファイ26：7。ほかの生徒はこれらの聖句によく耳を傾けて，神についてどのようなことを教えているかを見つける

ように言う。生徒が理解したことを分かち合うように言う。神は公正な御方であり，神の裁きは公平であることについて証する。しかし，これはわたしたちすべてに対して問題を投げかけていることを説明する。ダリン・H・オークス長老の以下の話を読む。

> 「『正義』という言葉には多くの意味があります。一つはバランスを取ることです。……
>
> 人々は一般的に，違反した人がそれに見合う報いを受けたときに正義が行われたと考えます。犯罪に見合う罰が与えられるようなときがそうです。……
>
> ……相応のものを受けることが正義だとする考えは，人は自分の行いに応じて裁かれると述べた聖句に見られるように，あらゆる聖文の基本的な前提となっています。……
>
> 神の正義はわたしたち自身の背きに対して責任を問い，自動的に罰を課します。」（*Sins, Crimes, and Atonement*〔教会教育システム教育者に対する講話，1992年2月7日〕，1－2）

次のように質問する。「神の正義はわたしたちにとってどのような問題となるのでしょうか。」罪はあらゆる人を神の前から遠ざけることを生徒が理解していることを確認する。オークス長老はこのように続けている。

> 「正義のゆえに，わたしたちは自分が受けるにふさわしいものを必ず受けます。残念ながらそれが自然の結果です。自分にふさわしいものを受けるのであれば，わたしは永遠の目標に到達することができません。全身全霊を尽くして努力しても，わたしはなおベニヤミン王が呼んだ『ふつつかな僕』なのです（モーサヤ2：21）。永遠の目標に到達するには，わたしは自分のふさわしさ以上のものを受けなければなりません。わたしは正義を超えるものを必要としているのです。」（*Sins, Crimes, and Atonement*，2）

アルマの息子は正義に関連する問題を抱えていたことを説明する。アルマ42：1を読んで，コリアントンが何について心を悩ましていたかを見つける。（コリアントンは罪を犯した人が自分の罪によって苦しみを受けるべきではないと考えていた。）コリアントンは天父の計画を理解していなかったことを説明する。生徒とともにアルマ42：2－11を読む。黒板の表を見て難しい言葉の意味を確かめるように言う。生徒に，以下の質問の答えを探すように言う。

- 神は，堕落した後のアダムとエバ，そして二人の子孫に何をお許しになったでしょうか（4節参照）。
- わたしたちの始祖（と二人の子孫）は二つの意味で絶たれましたが，それは何でしょうか（7－9節参照）。
- もし贖いがなかったとすれば，わたしたちはどのような状態に置かれているでしょうか（11節）。

アダムの堕落は救いの計画で必要とされる部分であったことを説明する。堕落がなかったならば，わたしたちは地上に来て肉体を得ることがなく，忠実な者たちを永遠の命に備える試練を経験することもできなかった。しかし，わたしたちは堕落した状態のままでは救われない。黒板に「正義」と「憐れみ」と書く。「正義」の横に「自分にふさわしいものを受ける」と書く。生徒に「憐れみ」とはどのような意味かを尋ねる。（考えられる答えの一つは，自分のふさわしさ以上のものを受けること，である。）以下の質問をする。

- わたしたちの中で憐れみを必要とするのはだれでしょう。それはなぜですか。
- 天父はどのようにしてわたしたちに憐れみを与える人を用意してくださったでしょうか。

アルマ42：14－15を読み，以下のオークス長老の話を紹介する。

> 「正義と憐れみの関係において，『贖い』は正義が満たされ，憐れみが差し伸べられるための手段となります。正義と憐れみと贖いが組み合わされることによって，神の正義と憐れみが栄えある永遠の完全な状態になるのです。」（*Sins, Crimes, and Atonement*，2）

アルマ42：13を読んで，贖いの中に込められている憐れみを受けるためには何をしなければならないかを見つける。この節とアルマ34：16と教義と聖約19：16－17を相互参照するよう生徒に勧める。

アルマ42：16－18を読んで，質問する。「律法も罰もなかったとしたら，わたしたちはどのような賜物を受けることができないでしょうか。それはなぜでしょうか。」悔い改めた人でも苦しむ必要があるのはなぜだろうと考える生徒がいるかもしれない。スペンサー・W・キンボール大管長の以下の説明が役立つであろう。

> 「もしまだ苦んでいないのであれば，その人はまだ悔い改めていません。……彼は自分の考え方を変えなければならず，そのときに苦しみを受けます。それから赦しが与えられ得るのです。」（*The Teachings of Spencer W. Kimball*，エドワード・L・キンボール編〔1982年〕，99）

オークス長老はこう付け加えている。

> 「悔い改める人は，救い主がその人の罪のために苦しまれたと『同じように』苦しむ必要はありません。悔い改めの過程にある罪人は幾らか苦しむでしょうが，本人の悔い改めのゆえに，また，贖罪のゆえに，救い主が自分の罪のために受けられたと同等の『激しい』永遠の苦痛を受けることはありません。……
>
> ……打ち砕かれた心と悔いる霊をもってキリストのもとに来て悔い改める罪人は，自分の罪に対する個人的な痛みと苦しみの過程を経ています。『心から悔い改める者のほかにはだれも救われない』と語ったアルマの言葉の意味を理解しています（アルマ42：24）。」（*Sins, Crimes, and Atonement*，5）

アルマ42：18－31を読み，以下の提案と質問を使って話し合いを展開する。

18－20節

「良心がとがめることはわたしたちにとってどのように祝福となるでしょうか（18－20節参照）。」

23節

悔い改める人には，主の憐れみにより，犯した罪に対する罰のすべてを経験しなくて済むようにしてもらえることを説明する。次のように質問する。「贖いによって無条件に与えられている，憐れみの祝福とは何でしょうか。」（わたしたちは復活して，神の前に連れ戻される。）

29節

生徒に，2コリント7：9－10を読んで，この節と相互参照するように言う。以下の質問をする。

- パウロは「悔い改めに導く悩み」をどのように説明しているでしょうか。（「神のみこころに添うた悲しみ」。）
- わたしたちは悔い改めるときになぜ「神のみこころに添うた悲しみ」を経験しなければならないのでしょうか。

30－31節

コリアントンは非常に重大な罪を犯したが，悔い改めと赦しが可能だった。

- これらの節の中でコリアントンが悔い改めて，赦されたことを示すどのような証拠があるでしょうか。
- これはあなたが犯した罪についてどのようなことを教えているでしょうか。

ダリン・H・オークス長老は教師であるあなたに対して，以下のように要請している。

> 「生徒たちが神との関係を理解し，神が彼らを心配しておられることを感じ，また神の愛を感じられるように助けてください。その愛は贖いの中で表されました。わたしたちは悔い改めの原則を実行するときにその愛を受け入れるのです。
>
> 悔い改めは生涯継続するものであって，すべての人に必要なものです。なぜならば『すべての人は罪を犯したため，神の栄光を受けられなくなって』いるからです（ローマ3：23）。完全な悔い改めが可能であり，そうすれば確かに赦されることを生徒に教えてください。」（*Sins, Crimes, and Atonement*，8）

アルマ43－58章

はじめに

モルモンはアルマ43：3で「ここで，ニーファイ人とレーマン人の間の戦争の話に戻ろう」と説明している。モルモン書にはなぜ戦争についてこれほど多くの記録が含まれているのか不思議に感じている人々がいる。エズラ・タフト・ベンソン大管長はこの書物を編さんした人々が「わたしたちの時代を見，わたしたちのためになることを選んでくれた」ことを思い起こさせている（「モルモン書――わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号，6）。モルモンが戦争に関する記録を多く含めた理由は幾つかあると思われるが，以下の事項が含まれる。

- 終わりの時に多くの戦争が起きる（黙示9章参照）。ベンソン大管長はこのように語った。「わたしたちはモルモン書を読むことにより，キリストの弟子たちが戦争の時代をどのように生きたかを知ることができます。」（「モルモン書――わたしたちの宗教のかなめ石」6）これには戦争の正当な理由や流血に対する正しい考え方を理解することが含まれる。
- 戦争に関する原則の中には，邪悪に対する霊的な戦いに応用できるものもある。
- 聖約を交わし，守ることによって，庇護を受けられることを知ることができる。
- 邪悪と破壊に囲まれていても，義にかなった生活をすることによって幸福を見いだした人々がいたことを知ることができる。
- 福音に従って日常の生活を送るときに助けが与えられることと，ベンソン大管長が説明したように「主の再臨に備える方法」を見つけることができる（「モルモン書――わたしたちの宗教のかなめ石」6）。

学び取るべき重要な福音の原則

- 義人は決して流血を喜びとするわけではないが，自分たちの自由と平和と家族と宗教上の権利を守るために戦争に参加することは正当とされる（アルマ43：9－14，45－54；44：1－7；46：12，20－21，28；48：10－16，21－23参照。申命20：10－12；モルモン3：9，15；教義と聖約98：32－38も参照）。
- 神を信じる信仰によってわたしたちは敵に打ち勝つことができる（アルマ43：49－50；44：3－6；48：7参照）。
- 主の戒めを破ることは不和や争いにつながるが，聖約を守ることは一致と祝福，守り，平和をもたらす（アルマ46：4－8，11－15，21－22；49：23，30；50：21－24参照。2ニーファイ2：11も参照）。
- 「クリスチャン」とはイエス・キリストを信じる者である。彼

らは進んで，また忠実にキリストの名を受ける（アルマ46：13－15参照。使徒11：26；モーサヤ5：7－12も参照）。

- 義はサタンの力に制限を加える（アルマ48：11－17参照。1ニーファイ22：26も参照）。
- 戦争と戦争のうわさが飛び交う中でも正義と幸福は存在する（アルマ50：22－23参照。アルマ62：39－41も参照）。
- 義にかなった両親の教えに従い，正義のうちに育てられた，信仰に満ちた子供たちはその生涯の中で偉大な奇跡を見ることができる（アルマ53：16－21；56：44－56；57：19－27；58：37－40参照）。
- 信仰，希望，平安は神の賜物（たまもの）である。これらの賜物は熱心に祈り，自分たちの成功の中に神の力を認める人々に与えられる（アルマ57：35－36；58：10－13参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』103－107。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション16「キリストへの堅固な信仰」をアルマ43－48章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

注意：これらの章を教える際に付録から地図「推定：モルモン書の地理」（281ページ）を参照するとよい。これを黒板に書き写すか，配付資料として生徒に配る。

アルマ43：1－14，45－54；44：1－2；48：10－23。義人は決して流血を喜びとするわけではないが，自分たちの自由と平和と家族と宗教上の権利を守るために戦争に参加することは正当とされる。（20－25分）

次の質問を黒板に書く。「モルモン書はなぜ多くのページを戦争の記録に割いているのでしょうか。」生徒から意見を求めて，話し合う。

モルモン8：30を読んで，現代に見られる同じような状態を考える。モルモン8：34－35を読んで，モルモン書の著者たちはわたしたちが戦争と戦争のうわさが飛び交う時代に生きることをどのようにして知ったかを確かめる。アルマ43－58章の「はじめに」の最初の黒丸（178ページ）からエズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉を読む。

戦争の時代に忠実な生活を送るうえで遭遇するチャレンジの一つは，どのような場合に戦争が正当化されるかを知ることである。アルマ43：5－8を読んで，以下の質問について話し合う。

- レーマン人はなぜニーファイ人を攻撃したのでしょうか。（黒板に「レーマン人が戦いを挑んだ動機」と見出しを書いて，その下に生徒の答えを書き出す。）
- もしあなたがニーファイ人だったら，レーマン人と戦うことは正当化されると感じますか。なぜそう感じますか。

生徒に，アルマ43：9－14を読んで，ニーファイ人が自分たちを守ることを決意した理由に傍線を引くように言う。生徒に，学んだことを発表させ，黒板に見出しとして「ニーファイ人が戦いに臨んだ動機」と書いて，その下に生徒の意見を書き出す。次のように質問する。「ニーファイ人の動機とレーマン人の動機との間にはどのような違いがあったでしょうか。」44－48節を読んで，それぞれの軍隊の動機の違いが戦いにどのような影響を与えているかを見つける。アルマ43：49－44：2を読んで，質問する。

- ニーファイ人は戦いを終結させる機会が訪れたとき，どのような意向を示したでしょうか。
- 軍の指揮官である司令官モロナイは敵の死についてどのように感じていたでしょうか。

アルマ48：11，14，16を読んで，アルマ44：1と相互参照するよう勧める。次のように質問する。「血を流すことに関するニーファイ人の信条は，この戦いの間，彼らにどのような影響を及ぼしたでしょうか。」

生徒にアルマ48：21を読んで，ニーファイ人が同胞のレーマン人と戦うことについてどう感じていたかを最もよく表している語句に印を付けるように言う。次のように質問する。「『不本意ながら……戦わざるを得なくなった』とはどのような意味だと思いますか。」生徒に，23節を読んで，ニーファイ人がレーマン人と戦うのを喜ばなかった二つの理由に印を付けるように言う。

生徒に，戦争についてどのように感じているかを述べさせる。大きな戦争に加わる国に教会員が住んでいる場合があることを説明する。1942年に大管長会が発表した以下の声明を読む。

> 「教会は戦争に反対であり，また反対しなければなりません。教会自体は主が新たな戒めをお与えにならないかぎり，戦争を行うことができません。教会は，戦争が国際間の紛争を収める義にかなった手段であると考えることができません。これらの紛争は関与する国家が平和裏に交渉し，調整することによって収拾すべきであり，またそのような方法によって収拾が可能です。
>
> しかし教会員は国家の一員であって，主権に従わなければなりません。教会はその主権を支配することはできません。主は自ら，『国の合憲的な法律を擁護する』ようわたしたちに命じておられます〔教義と聖約98：4－7参照〕。……
>
> ……したがって，国家がこれらの原則に基づいて，合憲的な法律により軍隊に加わるように要求するとき，教会の男性は，国に忠誠を尽くす国民の第一の義務としてその要求に従わなければなりません。召集に応じて指揮官に従うとき，相手側の命を奪っても，それは殺人とはなりません。また，殺人を犯した者に定められている神の罰を受けることもありません。」（Conference Report，1942年4月，94で引用）

可能なかぎり戦争を回避しなければならないことを証（あかし）する。しかし，主は自分たちの自由と家族と宗教上の権利を守るために戦争に参加することを正当とされると言われた。さらに，もしわたしたちが国家に対する義務によって戦争に行くとしても，主の戒めに忠実であって，流血を喜びとするのでなければ，主はわたしたちを義とされる。

アルマ43：18－38；48：15－16；49：1－15；50：1－6。ニーファイ人が町に防備を施し，防具を着けたように，わたしたちも霊的な危害から守られるように，主の言葉によって自身を強めなければならない。（20－25分）

生徒に，以下の賛美歌の歌詞を黙読して，共通する事柄を探すように言う。「神のみ業に進みて」（『賛美歌』149番），「戦い止むまで」（『賛美歌』162番），「シオンのつわもの」（『賛美歌』159番）。戦争や争いを扱ったほかの賛美歌も探すように言う。（「戦い進め」〔『賛美歌』155番〕，「シオンの若者，真理を守り」〔『賛美歌』163番〕などが含まれる。）以下の質問について話し合う。

- 戦いや戦争を扱っている賛美歌が数多くあるのはなぜだと思いますか。
- わたしたちはだれと戦っているのでしょうか。
- 黙示12：7－9を読んでください。これらの節によれば，サタンとの戦いはいつ始まったのでしょうか。
- 11節を読んでください。わたしたちはサタンとの戦いでどのような武器を手にすることができるでしょうか。
- この戦いはどのような惨事を招いているでしょうか。
- この戦いはあなたの身近な人に影響を与えているでしょうか。それはどのようなことでしょうか。
- 教義と聖約27：15－18を読んでください。この聖句はわたしたちがこの戦いで自分を守る方法についてどのようなことを教えているでしょうか。

司令官モロナイと兵士たちが戦いのために何を準備し何を計画したかを研究することによって，わたしたちの霊の戦いで自分を守る方法について多くを学ぶことができると生徒に説明する。以下の参照箇所を黒板に書き出す。

- アルマ43：18－21，37－38
- アルマ43：23－24
- アルマ43：28－30
- アルマ48：15－16
- アルマ49：1－4，8，14－15
- アルマ50：1－6

クラスを6つのグループに分けて，各グループに黒板に書いた参照聖句を割り当てる。聖句を読んで，次の質問を考える時間を与える。「サタンの攻撃から身を守るために，彼らが用いた戦略をどのように応用することができるでしょうか。」生徒が学んだことを発表させ，それらについて話し合う。

アルマ43：49－50；44：3－5；48：7，15－16。神を信じる信仰によってわたしたちは敵に打ち勝つことができる。（15－20分）

恐ろしいと感じた経験について何人かの生徒に簡単に話させる。恐れにはどのような種類があるか挙げさせる。聖文は恐れについて二つの意味で使っていることを説明する。「尊敬する，あがめる」という意味で，恐れ（畏れ）という語を使うことがある。神を畏れるとは，神に対して敬虔（けいけん）な思いを抱き，神の戒めを守るという意味である。ほかに，「危険，邪悪，苦痛，未知のものを恐ろしいと感じる」という意味で，恐れという語を使うことがある。生徒に，『聖句ガイド』を開くように言う。2番目の意味での恐れについての参照聖句と，この恐れに打ち勝つ方法を見つけるように言う。幾つかの参照箇所とそこで教えられている原則の概要を黒板に書き出す。

次のように質問する。「もしあなたが自分を守るために剣しか持たずに現代の戦場に送り出されたとしたら，どのような恐れを経験するでしょうか。」アルマ43：48の最初の文を読んで，質問する。「モロナイの兵たちには恐れる理由があったでしょうか。それはなぜですか。」49－51節を読んで，ニーファイ人は敵の攻撃に対して何をしたかを探す。以下の質問について話し合う。

- ニーファイ人は福音のどの原則を実行したでしょうか。
- 神を信じる信仰によって彼らはどのように救い出されたでしょうか。

ニーファイ人がレーマン人を包囲したとき，モロナイは戦うのをやめて，レーマン人の総隊長であるゼラヘムナに語りかけたことを生徒に説明する。生徒に，アルマ44：3－4；48：7，15－16を読んで，ニーファイ人がレーマン人を打ち負かす力を得た理由に印を付けるように言う。アルマ44：5を読んで，ニーファイ人が戦いの最中であっても幸せを感じた根拠を見つける。以下の質問をする。

- 「神聖な御言葉」はどこで見つけることができるでしょうか。
- それはわたしたちの信仰を強めるためにどのような働きをするでしょうか。
- イエス・キリストを信じる信仰によってあなたはどのような「敵」に打ち勝つことができるでしょうか。
- あなたの体を傷つける敵と，あなたを霊的に傷つける敵では，どちらが手ごわいでしょうか。なぜそう思いますか。
- サタンはどのような方法でわたしたちの霊に攻撃を加えているでしょうか。

副管長のときにゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の言葉を紹介する。

> 「教会はあら探しの大軍と敵の軍隊に取り囲まれています。彼らは神聖なものをあざけり，神から来たものをさげすみ，けなします。彼らは，神聖なものをおもしろおかしく見せかけることを喜んでいる人々の欲望に迎合しています。わたしはこのような行動以上にキリストの霊と調和しないものを思い浮かべることができません。
>
> 聖なるものを冒瀆（ぼうとく）する行為にわたしたちは心を痛めています。しかし，わたしたちは恐れる必要はありません。この大義はどのような人よりも偉大だからです。どのような敵もやがては影を潜めるでしょう。わたしたちは恐れずに，信仰の力によって前進するだけでよいのです。」（*Faith: the Essence of True Religion*〔1989年〕，16）

以下の質問をする。

- 信仰と恐れの間にはどのような関係があるでしょうか。
- 教義と聖約6：34，36－37を読んでください。救い主を信じる信仰はどのように敵に打ち勝つ力を与えてくれるでしょうか。

アルマ45：1－19。主は将来の出来事を御存じであって，預言者を通じて明らかにすることがおできになる。（15－20分）

今日の天気についての昨日の天気予報を読む。以下の質問をする。

- 予報はどれほど正確だったでしょうか。
- あなたは，天気予報はどれくらい正確だと考えていますか。

- 予報が時々当たらないのはなぜでしょうか。
- 気象学者が天気を予想するのと，主の僕（しもべ）が預言をするのとではどのような違いがあるでしょうか。
- 主の約束が必ず実現するのはなぜでしょうか。

預言者アルマは自分の務めを終えた後に，自分の家族と人々のもとを去ったことを生徒に告げる。生徒に，アルマ45：18－19を読んで，アルマがどこへ行ったかを探すように言う。アルマは人々のもとを去る前に，息子のヒラマンと話し合って，教えを授けた。生徒に，アルマ45：1－8を読んで，アルマは自分の息子について何を知りたいと思っていたかを述べるように言う。アルマ37：1を読んで，質問する。

- ヒラマンは強い証（あかし）を必要とされるどのようなことを命じられたでしょうか。
- どうしたら，あなたの証を将来の世代と分かち合うことができるでしょうか。

アルマはニーファイ人の将来についてありのままを預言したことを生徒に告げる。生徒に，アルマ45：10－17を読んで，この預言の要点に傍線を引くように言う。次のように質問する。「ニーファイ人は何が原因で破滅するのでしょうか。」生徒に，脚注と章の前書きからニーファイ人が滅亡するこの預言がモルモン書のどこで成就しているかを探すように言う。（モルモン6章）モルモン6章の前書きから日付を示して，この滅亡がいつ完結したかを尋ねる。以下の質問について話し合う。

- アルマは実際に起きる500年近くも前にその出来事を正確に知っていたのはなぜでしょうか。
- 教義と聖約1：38を読んでください。この聖句に記されている主の約束はモルモン書の民に対してどのように当てはまるでしょうか。
- これは現在のわたしたちについてどのように当てはまるでしょうか。

以下のウィルフォード・ウッドラフ大管長の言葉を紹介する。

> 「神が人にこれまで授けてこられた啓示を積み上げるとしたら……途方もない高さに達します。神の王国である教会は現在を含むどの時代にあっても，神の生ける預言者なしには発展できないのです。」（“The Keys of the Kingdom,” *Millennial Star*，1889年9月2日付，548）

十二使徒定員会会員を務めていた当時に，ジョン・テーラー長老はこのように語った。

> 「アダムの受けた啓示は，ノアに箱舟を造るように指示するものではありませんでした。ノアの受けた啓示は，ロトにソドムを捨てるようには告げませんでした。またどちらの啓示も，イスラエルの子孫にエジプトから逃れるように命じてはいません。啓示はすべて，それを受けた人たちのものなのです。」（“On Priesthood,” *Millenial Star*，1847年11月1日付，323）

十二使徒定員会会長時代にエズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように述べている。「生ける預言者はわたしたちにとって標準聖典よりも大切です。」（“Fourteen Fundamentals in Following the Prophet,” *1980 Devotional Speeches of the Year*〔1981年〕，26）次のように質問する。「これはどのような理由から正しいと言えるでしょうか。」預言者を通じて主の言葉が与えられていると生徒が感じた経験を分かち合うように言う。次のように質問する。「あなたは生ける預言者の言葉によってどのような祝福を受けてきたでしょうか。」

中央扶助協会会長会のバージニア・U・ジェンセン姉妹はこのように述べている。

> 「この世には保証となるものはあまりありません。……人の手によるもの，人が制御するものに完全な保証はないのです。しかし，ここに奇跡があります。主は免責条件のない幾つかのすばらしい保証を与えてくださいました。その一つが，民を決して誤り導くことのない預言者を召してくださったことです。これがいかに大きな影響を及ぼすか考えてみてください。純粋で，世に染まっていない導きを求める場所があるのです。」（「来れ，預言者より御言葉聞け」『リアホナ』1999年1月号，14）

アルマ46章。主の戒めを破ることは不和や争いにつながるが，聖約を守ることは一致と祝福，守り，平和をもたらす。（40－45分）

日本の国旗を見せる。生徒に国旗の色と象徴について説明させる。次のように質問する。「自分の国に強い関心を持っている人々は国旗に対してどのような思いを抱いているでしょうか。」生徒に，司令官モロナイが人々を集めるために何を用いたかに注意を向けるように言う。

以下の表を黒板に書き写す。左の欄の聖句は記入するが，ほかの欄の答えは空白にしておく。クラスを4つのグループに分ける。各グループに1組ずつ聖句を割り当てて，該当欄に記入させる。

参照聖句	最高指導者	指導者はレーマン人だったか	指導者はニーファイ人からの離反者だったか
アルマ43：5－8	ゼラヘムナ	いいえ	はい
アルマ46：3－7	アマリキヤ	いいえ	はい
アルマ50：25－29	モリアントン	いいえ	はい
アルマ61：8；62：6	ペーカス	いいえ	はい

モルモンがアルマ43－63章で挙げている敵は皆，ニーファイ人の離反者のグループかニーファイ人の離反者によって率いられたかあるいはそそのかされた人々であったことを説明する。反抗してニーファイ人のもとを離れた人々はその離反によって重大な問題を引き起こしていた。生徒に，アルマ47：36を読んで，離反者たちは義にかなったニーファイ人の平和と安全にとってなぜそれほど大きな脅威となったかについて話し合う。

次のように質問する。「これらの離反者はなぜニーファイ人のもとを去って，レーマン人とともにかつて同胞であった人々を相手に戦いを挑んだと思いますか。」アルマ45：23－46：3を読んで，アマリキヤのグループがなぜ離反したかを見つける。以下の質問をする。

- 富はなぜ人々の間に不一致を引き起こすのでしょうか。

- 高慢な人は神ではなくだれに頼るでしょうか。
- 高慢な人はなぜ，主の僕（しもべ）たちの勧告に喜んで従おうとしないのでしょうか。
- 主の勧告を拒む人々は主の勧告を受け入れる人々に対してどのような行動をとることが多いでしょうか。

アルマ46：4－7を読んで，アマリキヤが人々を教会から離れさせるのに成功した理由に傍線を引くように言う。アルマ46：8－9を読んで，モルモンがここで述べていることが正しいことを示す例を聖典または生徒の生活の中から挙げるように言う。

全員でアルマ46：11－12を読んで，戦うことが正当とされるとニーファイ人が考えていた6つの理由を見つける（アルマ43：45－47も参照）。クラスを6つのグループに分けて，各グループに6つの理由の一つを表す絵を紙に描かせる。黒板に自由の旗を描くか，大きな布を広げて黒板に留める。各グループの代表者にそれぞれの絵を旗にはって，絵の説明をさせる。アルマ46：13－22を読んで，以下の質問について話し合う。

- アマリキヤの誘いを拒否するよう人々を備えさせるために，司令官モロナイは自由の旗を掲げましたが，それ以外にどのようなことをしたでしょうか（16節参照）。
- 人々を共通の目的に向けて一致させるために，祈りはどのような効果があるでしょうか。
- 人々が自分の衣を裂いてモロナイの足もとに投げたことはどのような気持ちを表しているでしょうか（20－22参照）。
- 家族と自由を守ると同時に忠実な生活を送ると聖約することは人々にどのような影響を与えると思いますか。

28－29節を読んで，質問する。「司令官モロナイはニーファイ人を義にかなった大義の下に結束させることにどれほど成功したでしょうか。」33－35節を読んで，殺すと脅して誓いを立てさせることは通常間違ったことであるが，アマリキヤ人の行動によってニーファイ人の命と自由が脅かされていたことを説明する。司令官モロナイは政府から権限を与えられて行動していたことも忘れてはならない大切な点である。次のように質問する。「モロナイは聖約を交わしてそれを守ることにどれほどの価値を置いていたでしょうか。」モルモン書の民は聖約を非常に大切にしており，そのためモロナイは離反者であってもいったん誓った人々を積極的に信頼したことを説明する（アルマ44：6，8，19－20も参照）。アルマ46：36－41を読んで，質問する。「聖約を守ったときに，ニーファイ人にどのようなことが起きたでしょうか。」

以下の質問について話し合う。

- 聖約を守ることによって，あなたは霊的な「戦い」のためにどのような備えができるでしょうか。
- 主との約束を守ることによってなぜ，平安と幸福が増し加えられるのでしょうか。
- たとえ困難な状況に置かれていても聖約を守ることによって，あなたはどのように強められるでしょうか。

ジェフリー・R・ホランド長老が述べた約束を紹介する。「平安と恐れからの解放は，シオンの中にいる人々……特に聖約を交わして守る子らに与えられることでしょう。」（*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，291）

アルマ46：13－15。「クリスチャン」はイエス・キリストを信じている。彼らは進んで，また忠実にキリストの名を受ける。（15－20分）

黒板に「モルモンはクリスチャンですか」と書く。以下の質問をする。

- この質問を最後に聞いたのはいつでしたか。
- もしだれかから今日，この質問を受けたとしたら，あなたはどう答えるでしょうか。

ある人がクリスチャンであるためにはどのような条件を満たす必要があるか生徒に尋ね，黒板に書き出す。

モルモン書の時代の教会員がクリスチャンだったかどうかを生徒に尋ねる。『聖句ガイド』を使って，モルモン書の中でクリスチャンという語が使われている箇所を探すように言う。アルマ46：13－16を読んで，クリスチャンという語に傍線を引くように言う。次のように質問する。「これらの聖句ではクリスチャンがどのような人を指すと説明されているでしょうか。」説明している箇所に傍線を引くように言う。以下の質問をする。

- これらの要件は黒板に書かれている項目と同じでしょうか。
- まことの信者はなぜ「喜んで」キリストの御名（みな）を受けるのでしょうか（15節）。

アルマ46：14－15とモーサヤ5：7－12を相互参照するように言う。ジョセフ・B・ワースリン長老の以下の話を紹介する。

「クリスチャンには二つの特徴があることが分かります。一つは，救い主を***信じる***ことを公言していることです。もう一つは，救い主の教えと調和した生活を***実践している***ことです。聖徒，あるいは末日聖徒と呼ばれる忠実な教会員たちは，この二つの特徴をはっきりと兼ね備えています。わたしたちは，信仰においても行いにおいても，『キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である』〔エペソ2：20〕ということを実証しています。……

……定義によれば，クリスチャンというのは，ただ単に，救い主を信じるという***信仰***を公言するだけではありません。クリスチャンというのは，イエス・キリストの教えと戒めに***従って生活し，実践する***人々なのです。主はこう教えられました。『わたしにむかって「主よ，主よ」と言う者が，みな天国にはいるのではなく，ただ，天にいますわが父の御旨を***行う***者だけが，はいるのである。』〔マタイ7：21，強調付加〕イエスはまた，このようにも言われました。『もしあなたがたがわたしを愛するならば，わたしのいましめを守るべきである。』〔ヨハネ14：15；教義と聖約124：87〕主はさらに，御自分の生活に倣ってわたしたちも生活するよう，お命じになりました〔3ニーファイ12：48；マタイ5：48；3ニーファイ27：27参照〕。主の真の弟子とは『御言葉を行う人』であって『聞くだけの者』ではありません〔ヤコブの手紙1：22〕。……

主の御名を引き受けるようになると，わたしたちはほぼクリスチャンになったと言うことができます。それは，キリストの御名を頂くからです。毎週，わたしたちはパンと水のしるしを頂くとき，主を記念するために頂きます。わたしたちは聖約を新たにし，『進んで〔神の〕御子の御名を受け，いつも御子を覚え，御子が〔わたしたちに〕与え

てくださった戒めを守る』のです〔教義と聖約20：77〕。」（「信仰にも行いにもクリスチャンである」『聖徒の道』1997年1月号，80，82）

末日聖徒とクリスチャンという語は真の意味で同義語であることを説明する。以下の質問の答えを紙に書くように言う。

- わたしはどのような方法で自分がクリスチャンであることを表しているだろうか。
- わたしはどうすればもっと良いクリスチャンになることができるだろうか。

アルマ47章；48：11－20。義はサタンの力に制限を加える。（45－50分）

生徒に，尊敬している指導者のことを考えさせる。この指導者がどのような点で優れているかを挙げるように言う。黒板に見出しとして，「義にかなった指導者」と「邪悪な指導者」と書く。教義と聖約121：41－43を読んで，これらの節で挙げられている義にかなった指導者の特質を黒板に書き出す。次のように質問する。「主の優れた僕（しもべ）になるためにこれらの特質を身に付けるとよいのはなぜでしょうか。」

わたしたちが模範とすべき義にかなった指導者がモルモン書に大勢登場することを説明する。生徒に，アルマ48：11－20を読んで，司令官モロナイとヒラマンがどのような人物だったかを示す特質を挙げるように言う。これらの特質を「義にかなった指導者」の下に書き出す。次のように質問する。「なぜこのような指導者に従いたいと思いますか。」モロナイとヒラマンが示した義の特質を持っていると，教会の召しや学校，アルバイト，家庭でどのように役立つかを話し合う。

立派な指導者について知るとその模範に従うことができるようになり，邪悪な指導者について知るとその欺きを退けることができるようになると説明する。アルマ46：9－10；47：1－35；49：10を読む。読んでいる間に，アマリキヤの性格，目標，策略について分かったことをメモするように言う。読み終えたら，生徒が見つけた事柄を黒板の「邪悪な指導者」の下に書き出す。以下の質問について話し合う。

- もしアマリキヤがあなたの指導者だったとしたら，あなたはどのように思うでしょうか。なぜそのように思うでしょうか。
- これらの事項はアマリキヤ以外のだれを描写しているでしょうか。
- モーセ4：1－6を読んでください。アマリキヤの性格，目標，策略のうち，サタンと似ているのはどれでしょうか。
- サタンの策略を知ることはなぜ助けになるのでしょうか（2コリント2：11参照）。

十二使徒定員会会員を務めていた時代に語ったジェームズ・E・ファウスト長老の以下の言葉について話し合う。

「わたしたちは皆，心の中に一つのブレーキシステムを持っています。それは，わたしたちがサタンに従って悪の道を遠くまで進まないように，ブレーキをかけてくれます。わたしたちの心にささやきかける静かな細い声こそ，このブレーキシステムにほかなりません。しかしひとたびサタンに負けると，ブレーキオイルが漏れ始め，ブレーキの利きが悪くなったり，全然役に立たなくなったりします。……

……しかし，サタンの力を恐れるあまり萎縮する必要はありません。すきを与えなければ，サタンはわたしたちに対して力を振るうことはできないのです。サタンはほんとうは憶病で，わたしたちに確固とした心構えがあれば退却してしまうのです（ヤコブの手紙4：7；1ニーファイ22：26参照）。……

……サタンは罪を犯した人に，罪の赦（ゆる）しはないと思い込ませることがあります。しかし希望は常にあるのです。どれほどひどい罪であっても，そのほとんどは心からの悔い改めを通して赦していただくことができるのです。……

……サタンの業は，福音の聖約と儀式に従順に従いキリストのみもとに来る，すべての人の働きによって打ち砕くことができます。隣人に対して正直で誠実な生活をし，主の宮に参入し，ふさわしい状態で聖餐（せいさん）を受け，安息日を守り，什分（じゅうぶん）の一や献金を納め，悔い改めの気持ちをもって祈りをささげ，主の業に励み，指導者に従うなら，主の謙遜（けんそん）な弟子は決して悪魔にだまされたりはしません。」（「大いなる偽り者」『聖徒の道』1988年1月号，37－39）

アルマ50：19－23。戦争と戦争のうわさが飛び交う中でも正義と幸福は存在する。（15－20分）

台風や大吹雪や洪水など異常気象によって最近起きた災害に関する記事を新聞か雑誌から探して，生徒に見せる。以下の質問をする。

- 家の近くでそのような大災害が起きたとしたら，あなたは安全を求めてどこへ行きたいと考えるでしょうか。
- 騒動や災害の間もそこにいれば安全だと感じる場所はどのような所でしょうか。
- どうして災害の間も安全だと思うことができるのでしょうか。

全員で「戦い止むまで」（『賛美歌』162番）を歌うとよい。この賛美歌は戦いの間であってもわたしたちが幸福でいられることを教えていることを指摘する。

モルモンはモルモン書を短くまとめていたとき，特定の出来事をモルモン書に収める理由を説明する自分の言葉を時々加えていたことを説明する。生徒に，アルマ50：19を読んで，モルモンが読者に対して大切な原則に注意を向けさせるために使った語句を探すように言う。（「以上のことから……が分かる。」）次のように質問する。「主の憐れみと公正さについてモルモンはこれらの節でどのようなことを教えているでしょうか。」生徒に，20節を読んで，主がリーハイの子孫に与えられた二つの部分から成る約束に傍線を引くように言う。以下の質問をする。

- 主の戒めを守る人にはどのような約束が与えられているでしょうか。
- 主の戒めを守らない人は何を失うでしょうか。

生徒に，アルマ50：21－23を読んで，この二つの約束がどのようにして成就するかを探すように言う。以下の質問をする。

- この戦争の間忠実だった人々について，どのように記されて

いるでしょうか。(「ニーファイの民にとって，……当時以上に幸せな時はかつて一度もなかった。」)

- そのような試練の時であったにもかかわらず彼らはなぜ幸せだったのでしょうか。
- 今日の世に生きている教会員にとってこのことはどのように当てはまるでしょうか。

M・ラッセル・バラード長老の以下の話を分かち合う。

「信仰を通して，平安や慰め，耐える勇気を見いだすことができます。自分の知識に頼らず，神と幸福のための計画を心から信頼するならば希望が生じます（箴言3：5参照）。希望は信仰によってはぐくまれ，行うすべてのことに目的と意味を与えます。また逆境のときに慰めを，試練のときに力を，そして疑問や苦悩を感じても当然であるようなときに平安を与えてくれるのです。」(「人生の疑問に答える」『聖徒の道』1995年7月号，26)

アルマ53：10－21；56：44－56；57：19－27。義にかなった両親の教えに従い，正義のうちに育てられた，信仰に満ちた子供たちはその生涯の中で偉大な奇跡を見ることができる。(45－50分)

『福音の視覚資料セット』から以下の絵を入手して，黒板に隣り合わせに置く。「武器を地に埋めるアンタイ・ニーファイ・リーハイ人」(311)と「2,000人の若い兵士たち」(313)。以下の質問をする。

- これらの絵はだれを描いているでしょうか。
- これらがアンモンの民（アンタイ・ニーファイ・リーハイ人）であることを示す手がかりは何でしょうか。

これらの章を読んだことのある生徒に，若い兵士たちとアンモンの民とはどのような関係にあるかを説明させる。

最初の絵の上に「アンモンの民」，2枚目の絵の上に「アンモンの民の息子たち」と書く。クラスの半数の生徒にアルマ24：13，16，18を読ませる。このグループを代表して一人の生徒に，最初の絵の下にアンモンの民が交わした聖約の要点を書かせる。残りの生徒はアルマ53：16－17を読む。グループを代表して一人の生徒に，2枚目の絵の下に若い兵士たちが交わした聖約の要点を書かせる。

生徒に，アルマ53：10－13を読んで，アンモンの民はなぜ聖約を破ろうとしていたかを説明させる。14－15節を読んで，質問する。

- ヒラマンはなぜ彼らに聖約を守るよう説得したのでしょうか。
- 聖約を守ることの大切さについてこれはどのようなことを教えているでしょうか。
- あなたは主とどのような聖約を交わしているでしょうか。

生徒に，アルマ19－21節を読んで，これらの青年が持っていた特質に傍線を引くように言う。生徒が毎日直面する「戦い」において主に忠実であるために，これらの特質はどのように助けになるかについて話し合う。

6人の生徒に，アルマ56章から以下の聖句を一つずつ割り当てる。1－2節，3－4節，5－6節，7－8節，9－10節，16－17節。聖句の内容をまとめて簡単に説明させる。ヒラマンの軍隊は小人数であり，戦いの経験がなかったにもかかわらず，強大なレーマン人の軍隊と戦うよう求められたことを説明する（34－44節参照)。アルマ56：45－46を読んで，質問する。

- これらの青年はだれを信頼していたのでしょうか。
- 彼らのどのような言葉が信頼している相手を明らかにしているでしょうか。
- 47－48節を読んでください。彼らはなぜそれほど勇気を持っていたのでしょうか。
- 49，54－56節を読んでください。ヒラマンは戦いの後，どのようなことに「非常にうれしい」と思ったのでしょうか。
- 若い兵士全員が守られたのはなぜだと思いますか。
- 義人が必ずしも戦いにおいて，肉体的に守られないのはなぜだと思いますか。
- アルマ57：36を読んでください。忠実な人たちはたとえ命を落としても，どのような意味で勝利を収めるでしょうか。

ヒラマンの息子たちは数のうえで圧倒的に劣っていたにもかかわらず，2回目の戦いに出て行った理由を説明する（アルマ57：1－19参照)。アルマ57：20－22，25－27を読んで，質問する。

- 青年たちは戦いの間，どのように行動したでしょうか。
- ヒラマンはこの青年たちの偉大な特質についてだれをほめたたえたでしょうか。
- あなたは両親の教えと証(あかし)と模範によってどのような影響を受けているでしょうか。
- この戦いの結果と前回の戦いの結果にはどのような共通点があるでしょうか（アルマ56：56参照)。
- 兵士たちは自分たちが守られたことについてだれをたたえたでしょうか。

神に対して信仰を持っていたために神の力によって助けられた経験を分かち合うよう生徒に言う。信仰の力についてあなたの証を述べる。レックス・D・ピネガー長老の以下の言葉を分かち合う。

「わたしは自分が人生の中で味わってきた苦しい経験を通して，神への信仰は神への愛をはぐくみ，それは必要なときに祝福となって返ってくることを学びました。……人生のチャレンジを恐れないでください。神への信仰をもって忍耐強く取り組んでください。神はわたしたちの信仰に対する報いとして，忍耐する力だけでなく，日々の困難や失望，試し，苦闘に打ち勝つ力を与えてくださいます。神への信仰を持ち，神の律法に従った生活をしようと熱心に努力するなら，世の方法や世の誉れに左右されて永遠の道を踏み外すようなことはなくなるでしょう。」(「信仰――生きる力」『聖徒の道』1983年1月号，44)

これらの兵士に信仰について最初に教えたのはだれかを思い出すように言う（アルマ56：47－48参照)。以下の大管長会の指針を紹介する。

「わたしたちは親の皆さんと子供たちに，家族の祈り，家庭の夕べ，福音の研究と指導，そして健全な家族活動を最優先させるようお勧めします。必要とされるその他の事柄や活動がどれほど価値のある適切なものであったとしても，それらは，親と家族だけが全うできる天与の義務に取って代わるものでは決してありません。」（大管長会からの手紙，1999年2月11日付）

以下の質問について話し合う。

- 大管長会からのこの助言はだれに向けられたものでしょうか。
- なぜ両親だけに向かって語られなかったと思いますか。
- あなたの家族が家族の祈り，家庭の夕べ，福音の研究と指導，そして健全な家族活動をすることを最優先させるために，あなたはどのようなことができるでしょうか。
- この勧告に従うことによってあなたの信仰と家族の信仰はどのように強められるでしょうか。

はじめに

ニーファイ人の国家はその民と指導者の罪悪のために再び滅亡の危機を迎えた。司令官モロナイがレーマン人との戦いを有利に進めていたにもかかわらず，彼の国家は国内の混乱と分裂によって危険な状態に近づいていた。国家の危機を知ったモロナイは軍を率いてゼラヘムラへ戻り，パホーランの軍と合流して政府を掌握していた王政党の者たちを打破した。

指導者が腐敗して，国家に対して罪悪を働こうとするとき，人々は宗教の自由を奪われることがよくある。王政党が支配したゼラヘムラはそのような状態だった。主は司令官モロナイに言われた。「まず器の内側を清めなさい。それから器の外側も清めなさい。」（アルマ60：23）司令官モロナイとパホーランは協力して，民が「神が自由な者にしてくださったその自由にしっかりと立つ」（アルマ61：21）ために，王政党の者たちに対して立ち上がった。

学び取るべき重要な福音の原則

- 不一致は国を弱体化させる。義と神を信じる信仰は一致を増し加え，国を強める（アルマ59：9－13；60：6－24参照。マタイ12：25；教義と聖約38：27も参照）。
- 敵から解放され，神の祝福を受けるには，国家の人民と指導者がまず内側を清めなければならない（アルマ60：23；61：19－20；62：6－13参照）。
- 試練のときに義人がへりくだって主に心を向けると，主は彼らを強め，祝福してくださる。しかし邪悪な人々は主を拒んで，さらにかたくなになる（アルマ62：39－51参照）。
- 主は義人の祈りのために，邪悪な者たちの命を助けられることがある（アルマ62：40参照。アルマ10：22－23；ヒラマン13：13－14も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』108－109。

教え方の提案

アルマ59－61章。不一致は国を弱体化させる。義と神を信じる信仰は一致を増し加え，国を強める。（45－50分）

預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を一人の生徒に読ませる。

「一致は力です。あらゆる政府の安定に一致がどれほど大切かを考えるとき，権力を手に入れるために不和を助長している人々やグループの愚かな行動には驚くばかりです。」（*History of the Church*，第6巻，198）

以下の質問をする。

- この言葉は何を意味していると思いますか。
- 一致の力とはどのようなものでしょうか。
- 一致によって大きな力を発揮したグループやチーム，組織を知っているでしょうか。例を挙げてください。
- サタンはなぜ国家や教会や家族の一致を崩壊させようとするのでしょうか。

以下の質問を黒板に書く（4番目の質問の答えを書いてはならない）。生徒に，アルマ59：1－13に目を通して，答えを見つけるように言う。

- モロナイは1節で「非常に喜んだ」とありますが，11節では「非常に嘆」いたのはなぜでしょうか。
- パホーランはなぜニーファイハの町に人々を派遣すべきだったのでしょうか。
- 9節から学ぶ大切な原則は何でしょうか。
- これは罪に陥ることとどのような関連があるでしょうか。（罪を悔い改めるよりは，誘惑を退ける方が容易である。）
- ニーファイ人の邪悪あるいは義は彼らに起きた出来事にどのような影響を与えたでしょうか（11－13節参照）。
- これはわたしたちの生活にどのように当てはまるでしょうか。

生徒に自分がニーファイ人の国の大さばきつかさパホーランの政治顧問であると仮定するように言う。パホーランは司令官モロナイからの手紙を受け取ったばかりで，どのような返事をしたらよいか助言を求めている。順番に，アルマ60：1－21，36からモロナイの手紙を読む（ほかの節を選んでもよい）。以下の質問をする。

- 司令官モロナイはどのようなことを非難しているのでしょうか。
- パホーランと国の指導者たちはこの手紙によって気分を害し

たでしょうか。それはなぜでしょうか。

- 司令官モロナイはどのような性格の人だと思いますか。司令官モロナイは反逆者でしょうか，愛国者でしょうか。どうしてそう言えるでしょうか。
- あなたはパホーランに何と返事をするよう助言するでしょうか。

全員でアルマ61：2－21（あるいはこれらの節の一部）を読んで，パホーランは司令官モロナイの手紙にどのような返事をしたかを確認する。以下の質問について話し合う。

- パホーランは兵と食糧をモロナイの軍隊に送らなかったことについて，どのような理由を挙げているでしょうか（1－8節参照）。
- 国を崩壊させようとしている共通の敵はだれでしょうか（3－5節参照）。
- パホーランとモロナイに共通していたことは何でしょうか（アルマ60：36；61：9－10参照）。
- 彼らはどのような意味から偉大な愛国者だったと考えられるでしょうか。
- 邪悪な人はどのようにして国を分裂させるでしょうか。
- 分裂はどのように国家の崩壊につながるでしょうか。
- アルマ62：6－8を読んでください。義にかなった原則の下で一致する人々にはどのような祝福があるでしょうか。
- これらの原則はあなたの生活や家族，教会に対してどのように当てはめることができるでしょうか。

以下の言葉を読んで，生徒の生活に応用できる方法について話し合う。後に十二使徒定員会会員を務めたオーソン・F・ホイットニーは次のように書いている。

> 「力が宿るのは不和でなく一致であり，高慢でなく謙遜（けんそん）であり，利己心でなく犠牲であり，反抗でなく従順です。」（*Life of Heber C. Kimball*〔1945年〕，64）

十二使徒定員会のヘンリー・B・アイリング長老はこのように語った。

> 「もう一つの警告は，高慢です。御霊（みたま）によって和らげられた家族や人々が一つになると，大きな力がもたらされます。やがてその力が世の中で認められるようになります。そして褒められ羨望（せんぼう）の的になると，わたしたちは高慢になるかもしれません。高慢は御霊を妨げます。不一致の源である高慢を防ぐ方法があります。それは，神が与えてくださる恵みを，主の愛のしるしとしてだけでなく，さらに意義深い奉仕を通して周囲の人々と交わる機会としてとらえることです。」（「わたしたちが一つとなれるように」『聖徒の道』1998年7月号，72）

アルマ62：1－13。敵から解放され，神の祝福を受けるには，国家の人民と指導者がまず内側を清めなければならない。（25－30分）

二つの透明なコップを見せる。一つは外側を汚しておき，一つは内側を汚しておく。コップに水を注いで，生徒にどちらのコップの水を飲みたいと思うかを尋ねる。以下の質問をする。

- 外側が汚れているコップから水を飲むのと内側が汚れているコップから水を飲むのとではどのような違いがあるでしょうか。
- 内側が汚れているコップから水を飲む前に何をしたいと思いますか。
- 人々はどのようにこれらのコップと似ているでしょうか。
- マタイ15：18－20を読んでください。内側が清いことの方がなぜ大切でしょうか。

アルマ60：23－24を読んで，これらの節が話し合ったこととどのような関連があるかを見つける。以下の質問をする。

- まず「器の内側」を清めなければならないのはなぜだと思いますか（マタイ23：26参照）。
- 司令官モロナイは何を指して器の内側と言ったのでしょうか。

一人の生徒にアルマ59－61章でニーファイ人が置かれていた状況をまとめさせる。王政党の者たちは政府を支配し，レーマン人と連合しようとしていたことを指摘する。アルマ61：17－18を読んで，質問する。

- パホーランはモロナイに何をしてもらいたいと望んでいたでしょうか。
- これは器の内側を清めることとどのような関係があるでしょうか。

アルマ62：1－13を読んで，以下の質問について話し合う。

- 司令官モロナイはパホーランの手紙に対して二つの反応を示しましたが，それは何でしょうか（1－2節参照）。
- モロナイはゼラヘムラで背いた者たちを攻めるためにどのようにして兵士を集めたでしょうか（3－6節参照）。
- ペーカスの王政党との戦いはどのように器の内側を清めることになったでしょうか（7－9節参照）。
- ニーファイ人が「国の安全のために厳しく執行する」必要のあった法律とはどのような法律だったでしょうか（10－11節参照。『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』109ページのアルマ62：3－14の解説も参照）。
- ニーファイ人にとって器の内側を清めることはどれほど困難だったと思いますか。それはなぜですか。
- ニーファイ人は器の内側を清めることによってどのように破滅を免れたでしょうか（12－13節参照）。
- この原則は現代にどのように応用できるでしょうか。

以下のエズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉について話し合う。

> 「主は心の内側から外側に向けて働きかけられますが，この世は外側から内側に向けて働きかけます。この世は貧民窟から人々を連れ出そうとしますが，キリストは人々から悪や汚れた面を取り去り，自分自身で貧民窟から抜け出られるようにします。この世は環境を変えることによって人間を形成しようとしますが，キリストは人間自体を変え，それによって人間が自らの手で環境を変えられるようにします。この世は人の行動を変えようとしますが，キリスト

は人の性質を変えることがおできになるのです。」（「神によって生まれる」『聖徒の道』1986年1月号，6）

アルマ62：39－51。試練のときに義人がへりくだって主に心を向けると，主は彼らを強め，祝福してくださる。しかし邪悪な人々は主を拒んで，さらにかたくなになる。（20－25分）

生徒にこれまでに起きた大きな戦争を挙げるように言う。「その戦争は何年間続きましたか」「その戦争は人々にどのような影響を残しましたか」などの関連する質問について話し合うとよい。

アルマ62：39とアルマ43：3を比較して，ニーファイ人は何年間レーマン人と戦争を続けてきたかを調べるように言う。（約13年間）以下の質問をする。

- 「長年の間」の戦争と流血はニーファイ人の国家にどのような影響を与えたと思いますか。
- これらの年月は教会にどのような影響を与えたと思いますか。

苦難や試練が人々に様々な影響を与えてきたことを指摘する。同じ出来事が人によって異なる影響を与える理由について話し合う。アルマ62：40－41を読んで，以下の質問をする。

- 善人と悪人の両方が破壊を免れたのはどのような理由によるのでしょうか。
- 苦難や試練を受けている間に，ある人たちはなぜ主から離れてしまうのでしょうか。
- ある人たちはなぜ主に近づくのでしょうか。
- このことを知っていると，わたしたちが試練に出遭うとき，どのように助けとなるでしょうか。

教会の組織も戦争によって苦難を被ったことを説明する。生徒に，アルマ62：44－51を読んで，以下の質問の答えを見つけるように言う。

- 「ヒラマンと彼の同僚たち」は教会を再び確立し，強めるために何をしたでしょうか（44－46節参照）。
- 教会と中央政府を確立したことによって，国全体にどのような効果があったでしょうか（47－48節参照）。
- 人々は引き続き主の祝福を受けるために何をしたでしょうか（49－51節参照）。
- 今日のわたしたちにとってニーファイ人の模範に従うことはどのような助けとなるでしょうか。

アルマ63章。アルマ書の終結。（15－20分）

黒板に以下の見出しを書く。「36年目」「37年目」「38年目」「39年目」。クラスを4つのグループに分けて，各グループにアルマ63章から以下の節を割り当てる。1－3節，4－6節，7－9節，10－16節。その節の中で起きた出来事を見つけて，黒板の該当する見出しの下に書き出すように言う。

世界地図を見せて，リーハイの子孫がどれほど広範囲に散って行ったと思うかを質問する。ハワイ，サモア，トンガ，ニュージーランドなどの南太平洋諸島を指して，どのような人たちがこれらの島に定住したと思うかを尋ねる。スペンサー・W・キンボール大管長はサモアの地域大会でアルマ63章から聖句を読んで，聖徒たちに次のように語ったことを説明する。

「皆さんの先祖は北方の地へ移住し，また南太平洋の地域を横断したことが明らかだとわたしは感じています。皆さんは記録を持って来ませんでしたが，たくさんの食糧と必需品を持って来ました。このため，南の海にはニーファイ人を先祖に持つ教会員が大勢います。彼らは南方の地から来て，北方へ行きました。それはハワイだったかもしれません。そして，ほかの移住者たちは再び南へ移動して，ニュージーランドを含むこれらすべての島々へ行きました。主は御自分の民を別の場所に移されるときに，その詳細を知っておられます。それはイスラエルが散らされることです。ある人たちはアメリカにとどまって，アラスカから南の地点へ行きました。皆さんはこの方角に向かったのです。

ジョセフ・F・スミス大管長は大管長時代に，ニュージーランドの〔マオリの〕人々に向かって語りました。『ニュージーランド出身の兄弟姉妹，皆さんがハゴスの民の子孫であることを知っていただきたいと思います。ここには「もしかしたら」という語句はありません。』（ジョセフ・F・スミス，ウィリアム・A・コールとエルウィン・W・ジェンセンによる引用，*Israel in the Pacific*，388）スミス大管長はこの件について論争することを望みませんでした。」（Conference Report，サモア地域大会1976年，15）

生徒に，アルマ書に登場する人物の中で尊敬する一人の人について短い文章を書くように言う（アルマ，アミュレク，アンモン，リムハイ，エービシ，ヒラマン，司令官モロナイ，テアンクムなど）。その人を尊敬する理由と，まねしたいと考える性格を盛り込むように言う。何人かの生徒に書いたことを読み上げさせる。

ヒラマン書

アルマ書の最後の部分にはニーファイ人の文明が戦争によってどのように荒廃したかが記録されている。数百年にわたって続いてきたレーマン人との戦いに加えて，王政党と自由党との間で繰り広げられた内戦は国家を自立させる能力さえもまひさせていた。

ヒラマン書ではニーファイ人社会の内部に潜んでいたさらに狡猾な新しい脅威が頭をもたげてくる。ニーファイの大版をモルモンが短くまとめたものから取ったこの書はガデアントンの強盗団と呼ばれた秘密結社が勃興した様子を詳しく記録している。強盗団は人を殺し，盗み，陰謀によって権力と利益を得ることを目的としていた（ヒラマン2：8参照）。サタンはガデアントンがカインのような男であることを知って，彼に秘密の誓いの言葉と誓約を教えた（ヒラマン6：26－27参照）。モルモンはこのように宣言している。「このガデアントンがニーファイの民を覆す，まことにほとんど完全に滅ぼしてしまう元になることを知るであろう。」（ヒラマン2：13）

はじめに

ニーファイ人とレーマン人の世界には暗雲が立ち込めていたが，福音の光はなお輝いていた。「神の言葉」（ヒラマン3：29）の力によって，多くの人々が教会に加わり，救いの約束を受けた（24－26，29－30節参照）。レーマン人の国ではガデアントンの強盗団を国の中から「完全に絶え」させた（ヒラマン6：37参照）。主の光はどのように闇の力を打ち破り，光を受け入れる人々に希望を与えるものであるかに注目する。エズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように宣言している。「聖典，生ける預言者の言葉，そして個人の啓示の中に見いだされる神の言葉には，聖徒を強め，御霊で守る力があります。その結果，聖徒たちは悪に立ち向かい，善を固く守って，人生に喜びを見いだすことができるのです。」（「御言葉の力」『聖徒の道』1986年7月号，80）

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- 殺人，謀略，争い，不和は国を弱体化させ，滅亡に向かわせる（ヒラマン1：1－22，27；2章；3：17－23参照）。
- 信仰篤い教会員が祈り，「神の言葉を手に入れ」る（ヒラマン3：29）ときに，世の中が混乱していても教会は繁栄する（ヒラマン3：1－3，17－35参照）。
- 人々は主を忘れて，自分の力に頼るときに，弱くなる（ヒラマン4：11－26参照）。
- 約束の地の「はるかに大勢」の住民が義を選ばなければならない。さもないと滅亡の危機にさらされる（ヒラマン5：2－3；6：37－40参照。モーサヤ29：25－27も参照）。
- 救い主の教えに基づいて生活するならば，わたしたちはサタンの誘惑を退ける力を得る（ヒラマン5：12参照）。
- 神の御霊の力によって教える神の僕たちは，軍隊の力をもってしても及ばないほどの力で敵の心を改めさせることができる（ヒラマン5：13－19，49－52参照。アルマ31：5も参照）。
- 邪悪な人々は「あらゆる罪の根源」（ヒラマン6：30）であるサタンの影響を受けやすい。サタンは時の初めから，殺人と強盗によって利益を得るよう教えてきた（ヒラマン6：31－32参照。モーセ5：29－31も参照）。
- 主の御霊は心をかたくなにする邪悪な人々から退く（ヒラマン6：35参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』110－112。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション17「高慢は繰り返す」は，ヒラマン1－12章に関連しており，この聖句ブロックか次の聖句ブロックを教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

ヒラマン1章－3ニーファイ11章。イエス・キリストのアメリカ大陸への訪れは再臨にたとえられる。（30－35分）

生徒に立ち上がって，自分で47秒後だと思うときに座るように言う（時計を見ないでこの活動を行う）。以下の質問について話し合う。

- 正確に47秒過ぎたことを判断するのが難しいのはなぜでしょうか。
- もっと正確に時間を判断するためにどのようなものがあれば助けになるでしょうか。
- このことはイエス・キリストの再臨にどのようにたとえられるでしょうか。（だれもその日や時刻を知らない。）
- 再臨が近いことをわたしたちに知らせるために主はどのような手段を用意してくださったでしょうか。（聖文，預言者，福音の回復，伝道活動，時のしるしなどの答えが考えられる。）

もう一度生徒に立ち上がって，20秒後に座るように言う。今度は時計を使って行う。次のように質問する。「再臨のしるしに気づいていると，その日に備えるうえでどのように助けとなるでしょうか。」生徒の答えについて話し合う。

エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った次の言葉を読む。

「救い主が訪れられる直前の時代の，ニーファイ人の歴史が記されていますが，当時とわたしたちが再臨を待ち望んでいるこの時代の間には数多くの共通点が見られます。」（「アメリカへのキリストの訪れ」『聖徒の道』1987年7月号，4）以下の質問をする。

- この言葉に基づいて考えてみると，モルモン書はわたしたちが再臨に備えるためにどのような助けとなるでしょうか。
- 現代と，モルモン書に記されている出来事に共通する事柄として，どのようなことが考えられるでしょうか。

付録から表「ヒラマンと3ニーファイ：キリストの再臨との共通点」（289－290ページ）をコピーして生徒に配るか，黒板に書き写す。クラスを5つのグループに分けて，表の5つの欄から項目を一つずつを割り当てる（「社会的および政治的混乱」「恐るべき出来事」など）。生徒にそれぞれの欄の聖句を研究させる。調べ終えたら，キリストのニーファイ人への訪れと，再臨との共通点を報告するように言う。

ヒラマンと3ニーファイを研究するときに再臨との共通点に注目して，再臨に備える気持ちを強めるよう奨励する。

ヒラマン1－6章。イエス・キリストの福音は個人と国家の霊的な病気を癒すことができる。（40－50分）

一人か二人の生徒に，病気になったときのことと，病気を治すために行われた事柄について話させる。黒板に見出しとして「病気」「薬の投与」「全快」と書く。生徒の話から各段階に該当する事項を見つけて，それぞれ見出しの下に書くように言う。ヒラマン書のニーファイ人とレーマン人は別の病気を抱えており，元気になるには薬が必要だったことを説明する。

ヒラマン4：11－15を読んで，どのような病気であったかを見つける。そして該当する見出しの下に書き出す。以下の質問をして，答えを黒板に書き出す。

- どのような薬が処方されたでしょうか（14節参照）。
- 人々が元気になったしるしは何でしょうか（15節参照）。

一人の生徒に，十二使徒定員会会員だった当時にエズラ・タフト・ベンソン長老が語った以下の話を読ませる。

> 「世界情勢の見通しは決して明るくありませんが，わたしたちは答えを知っています。答えは一つしかありません。それはイエス・キリストの福音です。心の中から平和があふれ出てこなければなりません。人々の心が変わらなければならず，義が世界の人々の生活を支配しなければ，平和がやって来ることはありません。神がその日を速められますように。回復された福音のメッセージが大いなる力をもって大勢の人々に宣べ伝えられ，神の子らが襲いかかる災いから逃れることができますように。」（Conference Report，1947年4月，157）

以下の質問をする。

- 「薬」を服用する人々にはどのような約束が与えられているでしょうか。（平和，心の変化，守りなどの答えが考えられる。）
- 福音に従って生活すると，わたしたちはどのような災いを逃れることができると思いますか。

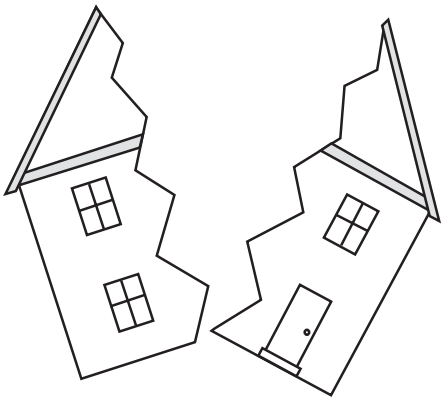
クラスを4つのグループに分けて，各グループにヒラマン1－3，5章から1章ずつを割り当てる。各グループには霊的な病気，薬の投与，癒されたしるしを示す語句を見つけさせる。各グループの代表者に見つけた語句を報告し，黒板の該当する見出しの下に書き出させる。

ニーファイ人のために処方された薬は今日の人々にとってどのような助けになるかを全員で話し合う。ヒラマン6：1－2，34－36を読んで，これらの原則が各自にとってどのような意味があるかについて短くまとめた文章を書くように言う。何人かの生徒に書いたことを分かち合わせる。

ヒラマン1：1－22，27；2：1－14。殺人，謀略，争い，不和は国を弱体化させ，滅亡に向かわせる。（35－40分）

注意：十二使徒定員会の会員であったブルース・R・マッコンキー長老はこのように予告している。「ガデアントン流の強盗団がすべての国々に横行……するであろう。」（「一切の生くる者の上に自立せん」『聖徒の道』1979年10月号，134）秘密結社はニーファイ人とヤレド人の国を滅ぼしているため（ヒラマン2：13；エテル8：20－21参照），わたしたちは自分の国に及ぼされるこの重大な脅威に注意する必要がある。特定の組織について話し合うのではなく，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』112ページのヒラマン6の解説に挙げてある秘密結社の8つの特徴に焦点を合わせる。

以下の絵を黒板に描く。生徒にマタイ12：25を読んで，絵の題名を提案させる。以下の質問をする。



- 「内わで分れ争う家」とはどのような意味でしょうか。
- これは家族，市，国についてどのように当てはまるでしょうか。
- ヒラマン1：1－8を読んでください。これらの節で説明されているニーファイ人の間の分裂は何が原因だったでしょうか。
- この分裂はパホーランの家族に対して，またニーファイ人の社会に対してどのような衝撃を与えたでしょうか。
- 3ニーファイ11：29を読んでください。この聖句によれば，争いはどこから来るでしょうか。
- それはあなたにどのような影響を及ぼすでしょうか。

ニーファイ人同士による争いは内部からも外部からも傷つきやすい状態を来していたことを説明する。生徒に，ヒラマン1：9－13に目を通して，ニーファイ人が内部でどのように傷つきやすい状態にあったかを探すように言う。次に，14－22，27節に目を通して，ニーファイ人がどのように外部から傷つけられやすい状態にあったかを探すように言う。どちらの脅威がニーファイ人の社会にとって危険であると思うか，またその理由を生徒に尋ねる。

ヒラマン2章の内容を全員で復習して，以下の質問について話し合う。

- ニーファイ人はレーマン人による外部からの脅威に打ち勝った後，どのようにしてさばきつかさを選んだでしょうか（1－2節参照）。
- 内部からのどのような脅威が勢いと影響力を増してきたでしょうか（3－5節参照）。
- この脅威は何と呼ばれていたでしょうか。（「ガデアントンの盗賊団」または「秘密結社」が答えとして考えられる。）
- この秘密結社の目的は何でしたか（8節参照）。
- この結社は後にニーファイ人の国家にどのような影響を与えたでしょうか（13－14節参照）。

以下の質問について話し合う。

- わたしたちの社会は外部からどのような脅威を受けているでしょうか。
- わたしたちの社会は内部からどのような脅威を受けているでしょうか。
- 争いを避けて一致することはなぜわたしたちにとって大切なのでしょうか。

十二使徒定員会会員のヘンリー・B・アイリング長老の以下の話を読んで，その約束と警告について話し合う。

「聖餐の祈りが毎週思い起こさせるように，一致の賜物はイエス・キリストの福音の律法と儀式に従うことによってもたらされます。主の御名を受け，いつも主を覚え，すべての戒めに従うという聖約を守るとき，主の御霊を伴侶として受けるのです。それによって心は和らぎ，わたしたちは一つとなります。しかし，この約束には二つの警告があります。

まず，聖霊がとどまられるのは，わたしたちが清い状態で，この世のものに執着していないときだけです。汚れた選択は，聖霊を追い出します。聖霊は，この世のことより主を選ぶ人にしか宿られることはないのです。……

もう一つの警告は，高慢です。御霊によって和らげられた家族や人々が一つになると，大きな力がもたらされます。やがてその力が世の中で認められるようになります。そして褒められ羨望の的になると，わたしたちは高慢になるかもしれません。高慢は御霊を妨げます。不一致の源である高慢を防ぐ方法があります。それは，神が与えてくださる恵みを，主の愛のしるしとしてだけでなく，さらに意義深い奉仕を通して周囲の人々と交わる機会としてとらえることです。」（「わたしたちが一つとなれるように」『聖徒の道』1998年7月号，72）

ヒラマン3：1－3，17－35。信仰篤い教会員が祈り，「神の言葉を手に入れ」るときに，世の中が混乱していても教会は繁栄する。（20－25分）

世の中の混乱や邪悪を示す現在の出来事を生徒に挙げさせる。以下の質問をする。

- あなたは混乱が増えていると思うでしょうか，減っていると思うでしょうか。それはなぜですか。
- これらの出来事は教会と教会員にどのような影響を与えているでしょうか。

黒板に見出しとして「ニーファイ人の世界」と書く。ヒラマン3：1－3，17を読んで，ニーファイ人の世界の状態を確認する。これらの節から，人々の生活が次第に悪い状態に向かっていることを示す語句を見つけて，黒板の見出しの下に書き出す。（「争いがなかった」「少し高慢があり」〔1節〕，「ひどい争い」〔3節〕，「ひどい争い」〔17節〕などが含まれる。）

最初の見出しの横に「神の教会」と見出しを書く。生徒に，ヒラマン3：24－26を読んで，教会の状態を確認するように言う。以下の質問をする。

- 同じ時期に教会はどのようなことを経験していたでしょうか。
- 信じられないほどの発展をあなたはどう説明するでしょうか。
- 世界と教会に関して，当時と現在にはどのような類似点があるでしょうか。

モルモンは教会の成長を説明するために「これによって分かるように」を3回用いていることを説明する。「これによって分かるように」とは，「そのことから学んだのは次のとおりである」を言い換えたものである。生徒に，ヒラマン3：27－30を注意深く読んで，困難な時期にあっても教会が発展するために教会員ができる3つの援助を挙げるように言う。以下の質問をするとよい。

- 「真心」を込めることはわたしたちの祈りにどのような影響があるでしょうか（27節参照）。
- 「天の門」とは何でしょうか（28節）。
- 「神の言葉を手に入れる」人に与えられる二つの祝福とはどんなものでしょうか（29節）。
- どうすればキリストの人になることができるでしょうか。

すべての教会員がこれらの祝福を経験するわけではないことを説明する。生徒に，ヒラマン3：33－35を読んで，これらの節で明らかにされている2種類の教会員を探すように言う。以下の質問をする。

- 教会に属していることを「公言する」とはどのような意味でしょうか（アルマ5：37参照）。
- 謙遜な人はどのようにして，「ますます謙遜になり」，「ますます……信仰を確固としたものに」するのでしょうか（ヒラマン3：35）。

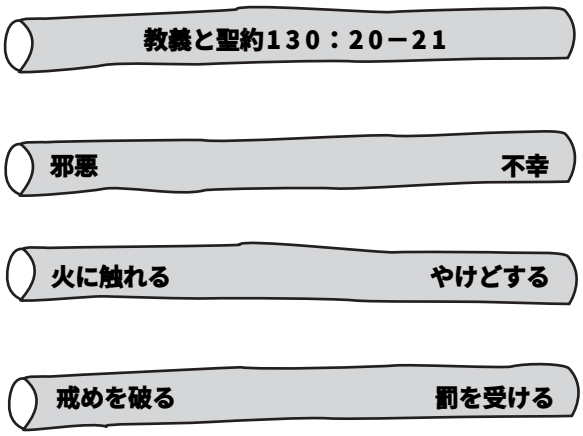
十二使徒定員会会員であったブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を紹介し，それが真実であることを証する。

「聖霊はまことに清める御方です。人はどの程度聖霊の賜物を受け，喜びを得るかに応じて，清めを受けます。わたしたちのほとんどにとって，清めは生活の中で経験する継続する過程であって，世に打ち勝ち，行いにおいても名においても聖徒となる程度に応じてその栄光あふれる地位に上っていくのです。」（*A New Witness for the Articles of Faith*〔1985年〕，266）

ヒラマン4：11－26。人々は主を忘れて，自分の力に頼るときに，弱くなる。（25－30分）

「教義と聖約130：20－21」と書いた棒を見せる。十二使徒定員会会員であった当時にボイド・K・パッカー長老が語った以下

の言葉を読む。「次のような古いことわざがあります。『棒は片方の端を持ち上げれば，あとの片方も同時に持ち上がる。』」（「わたしたちの生まれ」『聖徒の道』1985年1月号，64）棒を使ってこの原則を実演する。生徒に，教義と聖約130：20－21を読んで，なぜあなたが棒にこの聖句を書いたかその理由を見つけるように言う。



片方の端に何か選択を書いて，別の端にその選択の結果を書いた棒を準備しておいて，それらを見せる。十二使徒定員会会員のラッセル・M・ネルソン長老が語った以下の言葉を読む。「選択は自由でも，一度その選択を行えば，わたしたちはその結果に拘束されます。」（「束縛か自由か」『聖徒の道』1989年2月号，7）生徒にこの原則を説明するのに役立つような選択と結果の例を挙げるように言う。

生徒に，ヒラマン4章の前書きを読んで，レーマン人がこの時点でどの程度領地を征服していたかを確認するように言う。ヒラマン4：11－13を読んで，以下の質問をする。

- ニーファイ人はどのような結果を被っていたでしょうか。
- これらの結果を招いたのはニーファイ人がどのような選択をしたためでしょうか。

生徒に，ヒラマン4：14－20を読んで，モロナイハとほかの人々はニーファイ人を助けるために何をしようとしたかを話させる。以下の質問をする。

- ニーファイ人の反応はどのようなものだったでしょうか。
- ニーファイ人の将来の見通しはどうだったでしょうか。

以下の文を読む。

> 「レーマン人がどれほど邪悪で，凶暴で，腐敗していたとしても（彼らはまさにそのとおりでした），数においてニーファイ人をどれほど上回っていて，四方を取り囲んでいたとしても，……***ニーファイ人の問題はレーマン人ではありませんでした***。レーマン人がそこにいたのはニーファイ人にほんとうの問題を気づかせるためでした。それは主の前をまっすぐに歩むことでした。」（ヒュー・ニブレー，*Since Cumorah*，第2版〔1988年〕，339－340。1ニーファイ2：21－24も参照）

このように深刻な状態に追い込まれたニーファイ人はようやく自分たちの置かれている状態に気づいた。一人の生徒にヒラマン4：21を読ませる。この節の中で大切な言葉を生徒たちに提案させる。以下の質問をする。

- 「思い出す」という語はニーファイ人が何に対して罪があるということを示しているでしょうか。
- ニーファイ人は主と主の預言者を忘れたためにどのような結果を招いていたでしょうか。

ヒラマン4：21－26を読んで，ニーファイ人が気づいた背きを少なくとも5つ探して，それらの背きが招いた5つの結果を見つける。

ヒラマン5：2－3；6：37－40。約束の地の「はるかに大勢」の住民が義を選ばなければならない。さもないと滅亡の危機にさらされる。（10－15分）

生徒に腐った果物（あるいはほかの腐った食べ物）を見せる。以下の質問について話し合う。

- 普通，腐った果物はどうするでしょうか。
- 果物が腐っていて捨てなければならないかどうかを判断するにはどうするでしょうか。
- 腐った食べ物を捨ててしまうのはどのような理由からでしょうか。

生徒に，ヒラマン5：2－3；6：37－40を読んで，ニーファイ人の国がどのような点で「滅びの機が熟して」いたかを見つけるように言う。（大半の人が悪を選んだ，強情な民だった，反抗した，ガデアントンの強盗団を支援した。）以下の質問をする。

- ニーファイ人が最も必要としていたことは何でしょうか。
- この状態はわたしたちの国についても言えるでしょうか。（もしほとんどの人が邪悪であれば，人々は滅亡の危機に瀕している。）

ヒラマン5：12（マスター聖句）。救い主の教えに基づいて生活するならば，わたしたちはサタンの誘惑を退ける力を得る。（10－15分）

大きな石を見せて，嵐の日にそれを家の外に出しておいたらどうなるかを尋ねる。次に少量の砂を見せて，嵐の日にそれを家の外に出しておいたらどうなるかを尋ねる。以下の質問をする。

- もし家を建てるとしたら，どちらを基礎にしたいと思いますか。それはなぜですか。
- サタンの誘惑はどのような意味で嵐にたとえられるでしょうか。
- 石はどのような意味でイエス・キリストにたとえられるでしょうか。

ヒラマン5：12を読んで，以下の質問について話し合う。

- わたしたちはどのようにしてキリストの岩の上に基礎を築くことができるでしょうか。
- 家をこの岩の上に建てることによって，サタンの嵐や人生の試練を乗り切る助けをどのように得ることができるでしょうか。
- この岩の上に家を建てる人にはどのような約束が与えられているでしょうか。

生徒に，ヒラマン5：5－12を読んで，特に目立っている語を一語探すように言う。以下の質問をする。

- ヒラマンはなぜ「思い起こす」という語を何度も使ったと思いますか。
- このことから人の持つ性質についてどのようなことを学べるでしょうか。

十二使徒定員会会員時代にスペンサー・W・キンボール長老が語った以下の言葉を読む。生徒にこの言葉を覚えておくように奨励する。

「辞書の中から最も大切な単語を選ぶとしたら，それは何だか知っているでしょうか。それは『思い起こす』という語だと思います。なぜなら，皆さんは全員聖約を交わしているからです。……したがって，わたしたちにとって最も大切なことは思い起こすことです。」（“ Circles of Exaltation ”〔ブリガム・ヤング大学ディボーショナルにおける説教， 1968年6月28日〕，8）

ヒラマン5：13－19，49－52。神の御霊の力によって教える神の僕たちは，軍隊の力をもってしても及ばないほどの力で敵の心を改めさせることができる。（35－40分）

黒板に剣の絵を描く。モルモン書をここまで学んできた中で，剣の力を示す出来事を思い起こすように言う。（多くの人々が剣によって殺され，多くの町が征服された。）剣を手にしているとどれほどの説得力があるかについて質問する。副管長時代にゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の証を分かち合う。

「わたしたちの証を受け入れてください。この証は皆さん一人一人がお持ちの次のような証と同じものです。すなわち，わたしたちの永遠の父なる神は生きていらっしゃり，宇宙の統治者であり，わたしたちが仰ぎ見，祈りの中で語り合う神であられるという証です。また，イエスはキリストであり，肉体における御父の独り子，生ける神の御子であり，全人類の罪を贖うために自らの命をささげられた御方です。この御二方は，時満ちる神権時代の幕明けにこの地上を訪れ，預言者としての召しに定められた少年に，末日の業の礎となる偉大な鍵を授けられたのでした。これがわたしたちの信仰であり，証なのです。イエス・キリストの御名により申し上げます。アーメン。」（「預言者の証」『聖徒の道』1993年7月号，97）

剣と証ではどちらの方に強い説得力があるかを生徒に質問する。アルマ31：5を読んで，現在の世の中にも御言葉の力の例が見られることを説明する（エペソ6：17；ヘブル4：12も参照）。

生徒に，ヒラマン4：15－20に目を通すように言う。以下の質問をする。

- ニーファイ人はレーマン人によって領土をどれほど奪われたでしょうか。
- ニーファイ人はどのようにして領土を取り戻そうとしたでしょうか。

ヒラマンの息子であるニーファイとリーハイは自分たちの民の邪悪に我慢できなくなり，改心させるために出て行ったことを説明する。ヒラマン5：13－19を読んで，以下の質問について話し合う。

- ニーファイとリーハイは，最初にだれに教えを伝えたでしょうか。
- ゼラヘムラで二人はだれに宣べ伝えたでしょうか。
- 主が彼らとともにおられたことがどのような証拠から分かるでしょうか。
- 二人は伝道でどのような成果を上げたでしょうか。

ヒラマン5：21－50に記されているニーファイとリーハイが牢に入れられた経験は神の言葉が持つ力を示す優れた例であることを説明する。この出来事は非常に読みやすく，また霊を鼓舞するため，生徒に各自で読むように勧める。以下の質問を黒板に書き写して，生徒に答えを探しながら聖句を読むように言う。

- ニーファイとリーハイを牢に入れたのはだれでしたか。
- ニーファイとリーハイは牢の中でどのような扱いを受けましたか。
- 主は御自分の僕たちをどのように守られましたか。
- 神の言葉はレーマン人にどのような影響を与えましたか。
- 牢の壁はどうなりましたか。
- レーマン人が神を叫び求めると，彼らの心の中に何が入りましたか。
- どれほど多くの人が改宗しましたか。
- 改宗した人々は何をしましたか。

ヒラマン5：51－52を読んで，以下の質問をする。

- ニーファイとリーハイの伝道はレーマン人にどのような影響を与えたでしょうか。
- レーマン人は占領したニーファイ人の地をどうしたでしょうか。

イエス・キリストの福音は個人と国民の心を変える力を持っているということについて証する。

ヒラマン6：21－32。邪悪な人々は「あらゆる罪の根源」であるサタンの影響を受けやすい。サタンは時の初めから，殺人と強盗によって利益を手に入れるよう教えてきた。（25－30分）

十二使徒定員会会員のラッセル・M・ネルソン長老の以下の話を読む。

「心臓は，驚くべきポンプで，血液の流れる方向を制御する4つの精巧な弁を備えています。これらの弁は，1日に10万回，1年で3,600万回以上，開閉をします。しかも，病気で変質しないかぎり，いつまでもこの負担に耐えられるのです。現代のいかなる人工素材を用いても，故障なしに，このような働きをすることはできません。

成人の心臓は毎日，2，000ガロン（訳注：7,071リットル）のタンクを満たすだけの血液を送り出します。」（「わたしたちは神の子である」『リアホナ』1999年1月号，94）

以下の質問をする。

- 心臓について何が最も印象的でしたか。
- 健康な心臓によってどのような生活を得ることができるでしょうか。病気の心臓はどうでしょうか。
- あなたは心臓の健康を維持するためにどのようなことをしたいと思いますか。

生徒に，箴言23：7を読むように言う。以下の質問をする。

- この聖句で「心」は何を指しているでしょうか。（霊的な心，わたしたちの望みや感情。）
- 肉体の心臓と同じように霊の心の健康を維持することはなぜ大切なのでしょうか。
- サタンはなぜ人々の心に関心を持っていると思いますか。
- 心がサタンの影響を受けていたり，支配されていたりする人はどうなるでしょうか。

以下の参照箇所を黒板に書き出して，心についてどのようなことを教えているかを話し合う。マタイ5：27－28；2ニーファイ28：19－20；教義と聖約121：34－36。以下の点に注目しながらヒラマン6：1－5，15を読む。

- レーマン人はほとんどの面でニーファイ人よりも義において勝っていた。レーマン人はニーファイ人の全地を巡って教えを説き，悔い改めを叫んだ。
- 多くのニーファイ人は悔い改めず，非常に邪悪になっていて，大さばきつかさを暗殺することさえした（19節も参照）。

生徒に，ヒラマン6：17－33に目を通して，「心」という語のすべてに印を付けるように言う。サタンはどのようにして「人の子らの心を支配」（30節）したかについて話し合う。以下の質問をする。

- サタンの影響力のためにニーファイ人の社会はどうなったでしょうか。
- わたしたちはサタンに心を支配されないようにするためにどのようなことができるでしょうか。

十二使徒定員会会員だったマービン・Ｊ・アシュトン長老の以下の話について話し合う。

「たとえそれが福音であろうと神であろうと，あるいは金銭であろうと，わたしたちは自分が時間をささげている対象を愛しているという真理を絶えず強調するようにしなければなりません。わたしたちはよく，イエスの教えや，それを含む聖典に対する愛が表明されるのを聞くことがあります。真理を学び，応用実践する人は，それをよく理解するだけでなく，生涯の指針としてそれらを生かしていくことにより強められます。什分の一を納める機会に最も感謝しているのは，犠牲を払い，その律法に従順であることによって得られる喜びや祝福を実際に味わった人々です。福音とその教えに対する感謝の念や愛情は，常に福音に対する奉仕と決意に比例しているのです。」（「人は自分が愛するものに仕える」『聖徒の道』1981年9月号，38）

ヒラマン7－12章

はじめに

十二使徒定員会会員のジェフリー・Ｒ・ホランド長老は，ニーファイ人の歴史のこの時期について次のように記している。「キリストの降臨が近づくと，戦争や殺人，政治的混乱の増加など，社会的な秩序が失われる事態が多発しました。ニーファイはこの傾向に歯止めをかけ希望を与えるために，人々がよく知っているいにしえの教えを引き合いに出して，これらの問題を厳かに証言し，メシヤの降臨によって問題が解決されることを証しました。」（*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，129）これらの章を読むときに，ニーファイがどのような問題を警告したかについて，また主の助けと祝福を得るために何をする必要があったかに注目する。

学び取るべき重要な福音の原則

- 世の富と称賛を求めると，悪魔の誘惑に陥りやすくなる（ヒラマン7：13－29参照。教義と聖約121：34－35も参照）。
- 秘密結社は権力と富と栄光を手に入れるために，自分たちに反対する人々や自分たちの闇の業を明るみに出そうとする人々に戦いを挑む（ヒラマン8：1－10；11：1－2，24－34参照。1ニーファイ16：1－3も参照）。
- 聖なる預言者は皆イエス・キリストについて証を述べ，来臨を待ち望む（ヒラマン8：13－25参照。モルモン書ヤコブ4：4－6；7：11も参照）。
- 預言者たちが宣言した預言と約束はすべて主によって成就する（ヒラマン8：26－9：5，16－41参照。教義と聖約1：37－38も参照）。
- 神権の結び固めの力は地と天の両方において承認される行為を実行する権能である（ヒラマン10：3－12；11：4－17参照。マタイ16：15－19も参照）。
- 人や国家は義と邪悪のサイクルを繰り返す。悔い改めて，神に従うことによってこれらのサイクルから抜け出すことができる（ヒラマン12：1－6，23－26参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』112－116。

教え方の提案

ヒラマン1－12章に関する『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション17「高慢は繰り返す」をこの聖句ブロックか前の聖句ブロックを教える際に利用できる（教え方について

は『「モルモン書」メディアガイド』を参照)。

ヒラマン7：13－29。世の富と称賛を求めると，悪魔の誘惑に陥りやすくなる。義人は悔い改めて，主の御心に従うことによって，主の最も大いなる祝福を受ける。（25－30分）

遠い昔の預言者，自分の先祖の一人，あるいはずっと昔に世を去ったそのほかの人が生きていた時代に生きることができるとしたら，だれの時代に生きたかったか生徒に尋ねる。なぜその人とその時代を選んだかを述べさせる。ヒラマン7：6－9を読んで，ニーファイが自分の時代について感じていた事柄を話し合う。

黒板に次のように書く。「それは最良の時であり，最悪の時でもあった。」（チャールズ・ディケンズ，*A Tale of Two Cities*〔1997年〕，1）どの時代に生きても，困難な生活を強いる試練やチャレンジがあることを説明する。以下の質問をする。

- どのようなことが現在を「最悪の時」にしているでしょうか。
- どのようなことが現在を「最良の時」にしているでしょうか。

十二使徒定員会会員のM・ラッセル・バラード長老の以下の話を読む。

> 「幸福の計画は神のすべての子供に与えられます。もし人々がそれを受け入れて守るなら，平安と喜び，豊かさが地にあふれるでしょう。現在知られている苦難の多くは，世界中の人々が福音を理解して実践するなら，姿を消すことでしょう。」（「人生の疑問に答える」『聖徒の道』1995年7月号，25－26）

どのような時代であっても福音によって「最良の時」になる理由について話し合う。

ニーファイが当時の人々の邪悪のためになぜ「悲しみに打ちひしがれ〔た〕」（ヒラマン7：9）かを生徒が理解できるように，クラスを二つのグループに分けて，ヒラマン7：13－29を調べるように言う。一つのグループにニーファイ人の罪悪を探し，別のグループにもし人々が悔い改めなければ起きるとニーファイが預言した事柄を見つけるように言う。それぞれのグループに見つけた事柄を報告させてから，主はなぜ民に警告を与えるために預言者を遣わされるかについて話し合う。

生徒に，ヒラマン7：21と教義と聖約121：35を比較して，人々が悪を行う二つの類似した理由を探すように言う。以下の表を参考にしてそれらの理由を黒板に書き出し，こうした動機がどのように邪悪へと結びつくかについて話し合う。

ヒラマン7：21	教義と聖約121：35
「利益を得」	「あまりにもこの世のものに執着し」
「人々から称賛され」	「人の誉れを得ることを望んでいる」

バラード長老の以下の話を読んで，話し合う。

> 「サタンの巧妙な戦術の一つは，現在だけに目を向けて，将来に目をつぶるよう誘惑することです。主はジョセフ・スミスにこう警告しておられます。『サタンが彼らの心を真理からそらそうとしているので，彼らは目をくらまされた者となり，彼らのために備えられている事柄を理解しないであろう。』（教義と聖約78：10）ここに言う『彼らのために備えられている事柄』とは従順の結果得られる報い，つまり永遠の命を指しています。悪魔はこれらの報いをわたしたちの目から隠してしまうのです。ヒーバー・J・グラント大管長は次のように述べました。『神の戒めを忠実に守るなら，天与の約束は一言半句も違わずに成就するであろう。……困ったことに，人類の敵は人の心を盲目にさせる。サタンは，いわばちりを人の目に置いて，この世のものしか見えなくしてしまうのである。』（*Gospel Standard*，G・ホーマー・ダラム編〔Salt Lake City: Improvement Era，1941年〕，44－45）永遠の幸福を生じる事柄に思いと努力を集中させないために，サタンはこの世の刹那的な快楽をもって人を誘惑します。この卑劣な敵の戦術には，十分な注意が必要です。」（「力に先駆ける清さ」『聖徒の道』1991年1月号，39）

サタンはわたしたちを迷わせる力を確かに持っているが，それにもかかわらず，主の祝福を受ける方法があることについて証する。ヒラマン7：17－19をもう一度読んで，主の祝福を受けるためにわたしたちがしなければならないことを見つける。

ヒラマン8：1－10；11：1－2，24－34。秘密結社は権力と富と栄光を手に入れるために，自分たちに反対する人々や自分たちの闇の業を明るみに出そうとする人々に戦いを挑む。（20－25分）

注意：ヒラマン1：1－22，27；2：1－14の教え方の提案の最初に記されている注意を参照する（000ページ）。

黒板に「自分の知らないことによって，傷つけられることはない」と書く。この文章は正しいかどうかを生徒に尋ねる。生徒の住んでいる地域に地震が起きたと考えるように言う。次のように質問する。「前もって地震について知っていた方が助けになるでしょうか。それとも突然やって来る方がよいでしょうか。それはなぜですか。」

ヒラマン7：4－5を読んで，以下の質問について話し合う。

- さばきつかさの職に就いたのはだれでしたか。
- ガデアントンの強盗団はどのようにして権力と権威を手中に収めたのでしょうか。（善良な市民のふりをして，互いを支え合い，自分たちが強盗団に属しているという事実を秘密にしていた。）
- これらの邪悪なさばきつかさは義人にどのようなことをしていたでしょうか。罪人に対してはどうしていたでしょうか。それはなぜですか。

黒板に書かれている文章を指して，次のように質問する。「善良なニーファイ人の市民は自分たちが知らないどのようなことによって影響を受けていたでしょうか。」

生徒にヒラマン8：1－7に目を通すように言う。そして以下の質問をする。

- ニーファイが非難したとき秘密結社に属する人々は何をしていたのでしょうか。
- 彼らはなぜニーファイに対して怒ったのでしょうか。
- ニーファイが彼らの隠れた業を「あからさまに語った」とき，なぜ彼らは恐れたのでしょうか（4節）。

ヒラマン11：1―2，25―33を読んで，秘密結社がはびこるのを放置しておくと社会はどのようなことになるかを見つけるように言う。一人の生徒にM・ラッセル・バラード長老の以下の話を読ませる。

「モルモン書が教えているように，犯罪にかかわる秘密結社は，個人や家族だけでなく，文明全体にまで深刻な影響を及ぼします。……

わたしたちが気をつけなければ，現代の秘密結社は，モルモン書の時代とまったく同じように，迅速かつ完璧（かんぺき）に，権力と影響力を手にすることができるでしょう。その過程を覚えていますか。秘密結社は，社会の『ひときわ悪い者たち』の間で始まりますが，ついには『義人の大半を惑わして』社会全体を汚すのです〔ヒラマン6：38〕。」（「真理と正義を守る」『聖徒の道』1998年1月号，43）

以下の質問をする。

- 秘密結社がわたしたちの地域社会や国で権力を持つことのないようにするために，わたしたちはどのようなことができるでしょうか。
- 福音の原則はこの影響力と戦うためにどのような助けとなるでしょうか。
- 社会に「ひときわ悪い者たち」がいなかったとしたら，秘密結社はどうなるでしょうか。

バラード長老はこのように続けている。

「わたしたち教会は，イエス・キリストの福音がその救いの真理と教えにより，犯罪行為の克服において予防や更正を促す最も効果的な手段を提供すると確信しています。子どもたちに福音に従った生活の原則と善良な市民であることについて教えるうえで，最も重要な第一の責任は両親が負っています。……

わたしたちはさらに，青少年の援助と犯罪予防のために個人や組織，地域社会，政府が行う活動を支援すべきです。また，基本的な権利や自由を保証する一方で，犯罪者からの必要な保護を与える法律を制定し，施行するために，国法と裁判制度の範囲内で活動すべきです。そして，家族や地域社会の保護と強化を目的とするプログラムを進める際に，政府の指導者を自発的に支援すべきです。……

時には，真理と正義を守るのが難しいことがあります。しかし，よりよい道を見いだせるようにほかの人々を助けるのであれば，模範を示す必要があります。ありがたいことに，先駆者たちの模範から力を得ることができます。彼らの歩んだ道はわたしたちが今歩む道とは違いますが，忠実であるために必要な勇気は同じであり，彼らの経験から多くのことを学べます。」（「真理と正義を守る」44）

以下の質問をする。

- 社会を改善するために役立つ方法としてバラード長老はどのような解決策を提案しているでしょうか。
- わたしたちは，子供たちを教える責任を果たす両親を助けるためにどのようなことができるでしょうか。
- 安らぎのときばかりではなく困難なときにも強さを得るために，わたしたちはだれに助けを求めたらよいでしょうか。
- その強さはどのようにして得ることができるでしょうか。

ヒラマン8：13－25。聖なる預言者は皆イエス・キリストの来臨について証（あかし）を述べ，来臨の日を待ち望む。（10－15分）

生徒が国の指導者の行う演説の原稿を執筆することになったと仮定するように言う。国民にとって最も大切なテーマを選んでメッセージを準備するよう要請されている。次のように質問する。「あなたは何について書くつもりでしょうか。それはどのような理由からですか。」ヒラマン8：13―25を読んで，すべての預言者が宣言してきたメッセージを見つけるように言う。なぜこれがすべての人にとって最も大切なメッセージなのかについて話し合う。一人の生徒に，十二使徒定員会会長時代にハワード・W・ハンター大管長が語った以下の話を読ませる。

「個人，家族，地域社会，国家の別を問わず，安全で平和な港を求めるなら，最終的に頼ることのできるかがり火はキリスト以外にありません。キリストは御自身の使命についてこう言われました。『わたしは道であり，真理であり，命である。』（ヨハネ14：6）

過去，現在，未来を問わず，この世の中に最も必要なのは，ナザレ人イエス，生ける神の御子の大切な教えに対する生き生きとした心からの信仰です。多くの人がこの教えを拒んでいますが，それだからこそイエス・キリストの福音を心から信ずる人は，それが真実であることを宣言し，義にかなった隠やかな生活がもたらす力と安らぎを模範によって示さなければならないのです。」（「平和な港の光」『聖徒の道』1993年1月号，21）

「主イエスよ，わが胸」（『賛美歌』80番）を歌うか，歌詞を読む。キリストを生活の中でかがり火以上のものとするために生徒は何ができるかを紙に書くように言う。イエス・キリストについての証を分かち合いたい生徒がいればその機会を与える。

ヒラマン8－9章。預言者たちが宣言した預言と約束はすべて主によって成就する。（20－25分）

ヒラマン8：1―9の概略を手短に話し，その出来事の残りの部分を生徒に発表させることを告げる。朗読が上手な一人の生徒にナレーターを務めさせ，以下の「脚本」を読ませる。

- 第1場：殺人（ヒラマン8：27―28）
- 第2場：確認（ヒラマン9：1―4）
- 第3場：証明された預言（5―9節）
- 第4場：潔白（10―15節）
- 第5場：告発（16―24節）
- 第6場：有罪（25―38節）

5人の者，人々，さばきつかさ，ニーファイ，セアンタムの役をほかの生徒に割り当てる。ナレーターの朗読に従ってそれぞれの登場人物の役を演じるように言う。

ヒラマン9：39－10：1を全員で読み，ニーファイが預言者の召しを受けていることについて驚くべきしるしを見せたにもかかわらず，一部の人々はなぜニーファイの言葉を信じなかったかについて話し合う。預言者の最近の話を選んで，生徒に紹介する。生ける預言者を常に信じて，従うよう生徒に奨励する。

ヒラマン10：3－12；11：4－17。神権の結び固めの力は地と天の両方において承認される行為を実行する権能である。（40－45分）

生徒に鎖を見せるか，黒板に鎖の絵を描いて，有史以来，鎖は何のために用いられてきたかを尋ねる。以下の質問について話し合う。

- ある人たちは神の戒めをどのように鎖にたとえているでしょうか。
- ある人たちはなぜ戒めによって束縛されていると感じるのでしょうか。
- 罪悪はどのようにしてわたしたちの選択の自由を奪うでしょうか。
- わたしたちは神の戒めを守ることによってどのように自由を得るでしょうか。（戒めは拘束するのでなく，わたしたちの幸福と自由を得させる方向を示すものであることを指摘する。教義と聖約59：23参照）

七十人会員のドナルド・L・ステーリー長老の以下の話を読む。

> 「何歳であろうと，また人生のどの時期にいようと，福音の原則に対する日々の従順が永遠の幸福に至る唯一の道なのです。エズラ・タフト・ベンソン大管長は，厳しく述べています。『従順が心をいらだたせるものでなく，自ら求めるものになるとき，神はそのときに力を授けてくださるであろう。』」（「従順――人生の大きなチャレンジ」『聖徒の道』1998年7月号，89）

以下の質問をする。

- 人々は戒めのどのようなところにいらだちを覚えるのでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 求めるものとは何でしょうか。（気高い目標に向かって熱心に捜し求めることまたは旅すること。）
- 戒めを祝福と考えることによって，戒めへの従い方に違いが出てくるでしょうか。
- 生活の中で神の力をしばしば得ることはどのように祝福となるでしょうか。

今日，生徒はこの力を得た人の模範を見ていくことを告げる。ヒラマン10：4を読んで，主がニーファイに「幸いである」と言われた理由を少なくとも二つ探すように言う。以下の質問をする。

- 「根気よく」とはどのような意味でしょうか。（熱心に，忠実に，不平を言わずに。）
- ニーファイはどのようにして神の御心（みこころ）を求めたでしょうか。

ヒラマン10：5を読んで，ヒラマンに約束された二つの約束を見つける。

- とこしえに祝福されるとはどのような意味でしょうか。
- 主はどのような方法でニーファイを力ある者とされたでしょうか。
- ニーファイの根気のほかに，主はどのような理由から偉大な力をニーファイに授けられたのでしょうか。（ニーファイは神の御心に反することを何も求めなかった。）

ヒラマン10：6－10を読んで，主がニーファイをどれほど「言葉にも行いにも，……力のある者」（5節）とされたかを説明する語句を探し，黒板に書き出す。以下の質問をする。

- 預言者が地を従わせる力を持っていることは，なぜ人々を謙遜（けんそん）にさせるうえで助けになるでしょうか。
- 結び固めの力とは何でしょうか。（地上でも天でも効力を持つ儀式やそのほかの行為を行う権能。）
- それは人々に祝福をもたらすためにどのように用いることができるでしょうか。
- それは人々を懲らしめるためにどのように用いることができるでしょうか。
- 結び固めの力はあなたの家族にどのような永遠の祝福をもたらしているでしょうか。

ブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を紹介して，話し合う。

> 「これが神権の教義です。……これこそ，信仰と義を通して得ることのできる力なのです。
>
> まさに，神権には力，すべてのことを行う力があるのです。
>
> この世界そのものが神権の力で創造されたとすれば，その力は山を動かすことも，元素をコントロールすることもできるはずです。
>
> 天群の3分の1が神権の力により地上に投げ落とされたとすれば，それと同じ力は国々の軍勢に挑み，原子爆弾の落下をもとどめることができるはずです。
>
> すべての人が神権の力により，死すべき状態から不死不滅の状態へと高められるとすれば，その力は病人や死にかけている人を癒（いや）し，死者を生き返らせることもできるはずです。
>
> そうです，神権には力があります。それは，わたしたちが用いるために求める力であり，わたしたちのうえに，またわたしたちの子孫のうえに永遠にとどまることを心を込めて願う力なのです。」（「神権の教義」『聖徒の道』1982年7月号，61）

ヒラマン10：11－12，15－16を読ませ，以下の質問をする。

- ニーファイは結び固めの力を受けた後に，何をするよう命じられたでしょうか。

- ニーファイはどのようにこたえたでしょうか。
- ニーファイの模範から何を学べるでしょうか。
- あなたやあなたが知っているほかの人にとって，すぐに従うことは祝福となってきたでしょうか。それはどのように祝福となりましたか。
- ニーファイ人はニーファイの証（あかし）にどのような反応を示したでしょうか。
- 主はニーファイを守るためにどのようなことをされたでしょうか。

主はニーファイを「言葉にも行いにも，……力のある者」にすると約束されたことを生徒に思い起こさせる（ヒラマン10：5）。クラスを二つのグループに分ける。一つのグループにヒラマン11：1－6を，別のグループにヒラマン11：11－17を読ませ，ニーファイが言葉にも行いにも，力のある者となった証拠を見つけるように言う。それぞれのグループで見つけた事柄を発表させる。

再び，鎖を見せて，以下の質問をする。

- 最初，戒めはどのようにニーファイを束縛しているように見えたでしょうか。
- 戒めはニーファイに対してどのような点で自由を与えたでしょうか。

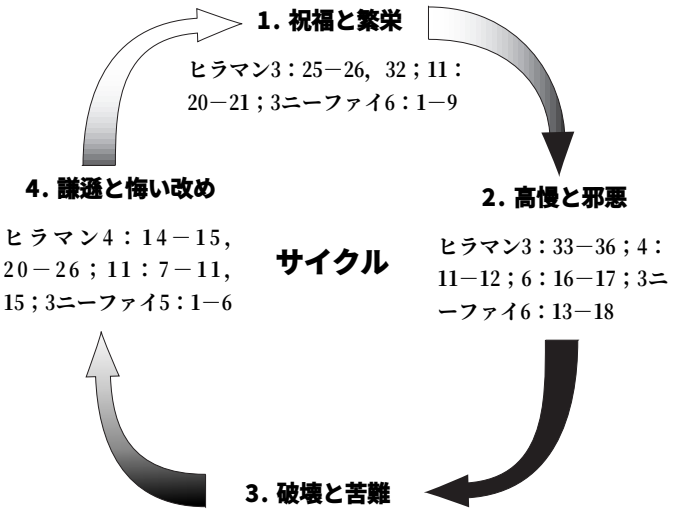
従順を求めるようにと語ったエズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉を黒板に書く（この教え方の提案の最初の部分に記されているドナルド・Ｌ・ステーリー長老の言葉を参照）。以下の質問について話し合う。

- あなたの人生で，従順をいっそう真剣に追求していくにはどうすればよいでしょうか。
- 従順はどのようにしてわたしたちに「力を授ける」でしょうか。学校，家庭，友人関係，それぞれの状況について，答えてください。

ヒラマン12：1－6，23－26。人や国家は義と邪悪のサイクルを繰り返す。悔い改めて，神に従うことによってこれらのサイクルから抜け出すことができる。（40－45分）

十二使徒定員会会員のＬ・トム・ペリー長老の以下の言葉を黒板に書く。ただし，「歴史」という言葉の部分を空白にしておく。「この世で最大のなぞの一つは，なぜ人類は歴史から学ぶことができないのかということだと思われます。」（「主は大きな驚嘆すべきことをわたしに教えたもうた」『聖徒の道』1993年1月号，19）空白にどのような語を入れたらよいかを考えるように言い，生徒の答えについて話し合う。空所に正しい語を記入して，質問する。「この言葉が正しいことを示す証拠を挙げることができるでしょうか。」

次の言葉を生徒に読んで聞かせる。「過去を記憶することができない人々は，同じことを繰り返すように運命づけられる。」（ジョージ・サンタヤナ，*The Life of Reason: or the Phases of Human Progress*，全5巻〔1905年〕，第1巻，284）ニーファイ人は自分たちの歴史から学ばなかったため，義と邪悪のサイクルを繰り返したことを説明する。最初に，主は従順であったために民を祝福される。すると，民は高慢になり，罪を犯し始める。次に，主は破壊と苦難によって懲らしめられる。最終的に，民がへりくだって悔い改めると，主は祝福される。そしてこのサイクルがまた始まる。



このサイクルを説明するために上記の表を黒板に書き写すか，オーバーヘッドトランスペアレンシーとして見せる。クラスを4つのグループに分けて，4つのサイクルの一つを割り当てる。各グループは参照聖句を読んで話し合う。話し合いが終わったら，見つけた事柄を発表させる。以下の質問をする。

- あなたの国は今，このサイクルのどこにいるでしょうか。それはどのような理由からでしょうか。
- 主が国民をその邪悪のために懲らしめられるとき，教会の忠実な会員も苦難を受けるでしょうか（2ニーファイ25：1－8についての「教え方の提案」からブルース・Ｒ・マッコンキー長老の最初の言葉〔69ページ〕を参照する）。
- ヒラマン11：34－36を読んでください。これらの節によると，サイクルの速度はどれほどまで速まるでしょうか。

生徒に，ヒラマン12：1－6を読んで，サイクルを表す語句に印を付けるように言う。同じ箇所をもう一度読んで，人々が歴史を繰り返す理由を見つけるように言う。（彼らは神を忘れて，神の勧告が意味のないものだと考える。）以下の質問をする。

- このサイクルを断ち切るためにわたしたちは何ができるでしょうか。
- ヒラマン12：23－26を読んでください。モルモンはこのサイクルを断ち切るためにどのようなことを勧告しているでしょうか。
- 祝福を受けるのはどのような人たちでしょうか。
- 神に聞き従うとはどのような意味でしょうか。
- どのような人が救われるのでしょうか。

以下の質問を活用するとよい。

- 人々はどうしてそれぞれの「個人の高慢のサイクル」を繰り返すのでしょうか。
- 何度も経験したいと思うのはサイクルのどの部分ですか。
- あなたが常にへりくだって悔い改めることができるように，どのようなことが助けになるでしょうか。

十二使徒定員会会員の時代にエズラ・タフト・ベンソン長老が語った以下の言葉を分かち合う。

「世界情勢の見通しは決して明るくありませんが，わたしたちは答えを知っています。答えは一つしかありません。それはイエス・キリストの福音です。心の中から平和があふれ出てこなければなりません。人々の心が変わらなければならず，義が世界の人々の生活を支配しなければ，平和がやって来ることはありません。神がその日を早められますように。回復された福音のメッセージが大いなる力をもって大勢の人々に宣べ伝えられ，神の子らが差し迫っている災いから逃れることができますように。」（Conference Report，1947年4月，157）

この勧告はサイクルを断ち切るためにどのように役立つかについて話し合う。

はじめに

ニーファイが悔い改めを叫び，警告を発したにもかかわらず，民はいっそう大きな罪悪に陥っていた。神はニーファイ人の滅亡に先立って警告を与えるために第2の証人を遣わされた。ジェフリー・R・ホランド長老はこのように記している。

「ニーファイ人の社会的・宗教的混乱がどれほど深刻なものであったかは，ニーファイ人に悔い改めを促すために……一人のレーマン人が出現したことからも明らかです。ゼラヘムラの地であからさまに拒絶されたサムエルは，主の声に従って，市の周囲に巡らされた城壁に登って『主が心に与えてくださることをすべて民に預言し』ました〔ヒラマン13：4〕。

主がサムエルの心に与えられたことの一つは，民が心を改めなければ彼らを待つ『ひどい滅亡』について警告することでした。『悔い改めて，主イエス・キリスト，すなわち，将来必ずこの世に来て，多くの苦しみを受け，御自分の民のために殺される主イエス・キリストを信じる以外に，何事もこの民を救うことはできない』とサムエルは城壁の上から叫びました〔ヒラマン13：6〕。

わずか5年後に迫っていた来臨に関して，サムエルはこの出来事に伴うしるしと不思議について預言しました。それは，信仰篤いニーファイ人が命がけで約束の成就を待ち望んでいた，まさに生死にかかわるしるしと不思議でした。」（*Christ and the New Covenant*，131）

学び取るべき重要な福音の原則

- もし罪深い状態を続けるならば，悔い改められなくなる時がやって来る（ヒラマン13：5－11，38－39参照。アルマ34：32－34；モルモン2：12－15も参照）。
- 主は義人がいるために，邪悪な者の命を助けられることがある。もし邪悪な者たちが彼らの中から義人を追い出すならば，滅亡の機は熟している（ヒラマン13：12－14参照。アルマ10：22－23も参照）。
- 世の富に執着すると，主を忘れ，誘惑に屈し，最終的に神の罰を受ける（ヒラマン13：17－23参照。教義と聖約121：34－38も参照）。
- イエス・キリストの死と復活は堕落の結果である肉体と霊の死に打ち勝つ。悔い改める人々はキリストの贖いによって，裁きの日に罪の結果である第二の霊の死から逃れることができる（ヒラマン14：15－19参照。2ニーファイ2：4－10；9：22も参照）。
- 神は御自身の子らを愛しておられる。わたしたちは悔い改め，神の戒めを守ることによって神の祝福にあずかることができるが，罪を犯すと祝福を受けることができない（ヒラマン15：1－10参照。詩篇5：4－5，11－12；2ニーファイ7：1；教義と聖約95：12も参照）。
- 神は僕たちが神から遣わされた使命を果たすまで僕たちを守られる（ヒラマン16：1－3，6－8参照）。
- 主は義人の信仰を強めるためにしるしと不思議を与えられる。邪悪な者たちは主のしるしと不思議を否定し，自分の知恵に頼る。そして，神にかかわる事柄を理解できない（ヒラマン16：4－5，13－23参照。1コリント2：10－14；モルモン書ヤコブ4：8－10も参照）。

補助資料

●『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』117－119。

教え方の提案

ヒラマン13－16章。教会の大管長は預言者，聖見者，啓示者である。（35－40分）

現在の大管長の写真を見せる。次のように質問する。「教会員でない友達から，大管長は何をするのかと尋ねられたら，あなたは何と答えるでしょうか。」十二使徒定員会会員時代にジョン・A・ウイッツォー長老が語った以下の言葉を一人の生徒に読ませる。

「大管長は『預言者，聖見者，啓示者』として民から支持を受けます。……

預言者は教師です。それこそこの言葉の基本的な意味を表しています。預言者は，一連の真理，すなわち主から啓示された福音を教え，人々が理解できるように霊感の導きの下に説明する人です。……

聖見者は霊の目によって見る人です。聖見者はほかの人々にとってあいまいであるように思われる事柄の意味を見通します。したがって，彼は永遠の真理を解釈し，明確にする人です。彼は過去と現在から未来を予見します。……

啓示者は主の助けによって，かつては知られていなかったことを明らかにします。それは新しい真理であったり，

> 忘れ去られた真理であったりすることもあるでしょう。あるいはすでに知られている真理に関しても，人類の必要に合わせて応用するための新しい方法や忘れ去られている方法を明らかにすることもあるでしょう。啓示者は常に真理，すなわち確かな真理（教義と聖約100：11）を扱い，そのような真理には神の承認の印が必ず伴います。」（*Evidences and Reconciliations*，G・ホーマー・ダラム編，全3巻，第1巻〔1960年〕，256－258）

以下の質問をする。

- 教会が今日，預言者，聖見者，啓示者によって導かれていることを知っているあなたはどのように感じているでしょうか。
- 大管長がこれらの役割を果たしていることを示す具体例にはどのようなものがありますか。大管長の果たす役割のいずれにも従わないと決めた人々はどうなるでしょうか。

生徒は今日，預言者，聖見者，啓示者の役割をよく理解するためにレーマン人サムエルの生涯について研究することを告げる。黒板に見出しとして「預言者」「聖見者」「啓示者」と書く。クラスを3つのグループに分けて，各グループに3つの役割から一つを割り当てる。ヒラマン13－15章に目を通して，サムエルがその役割を果たしている例を少なくとも二つ見つけるように言う。グループの代表者に見つけた事柄を発表させる。

預言者，聖見者，啓示者の役割と，それらが主の教会にとってなぜ大切かについて話し合う。以下の質問をする。

- これらの役割を果たす大管長をあなたはどのような方法によって支持することができるでしょうか。
- もしすべての教会員がその方法で大管長を支持したら，それは教会をどのように助けることになるでしょうか。

ヒラマン13章。もし罪深い状態を続けるならば，悔い改められなくなる時がやって来る。（25－30分）

生徒が森の中にいて，周囲を木に囲まれていると想像するように言う。以下の質問をする。

- あなたは昼と夜のどちらに森を抜けたいと思いますか。
- 暗くなってから森の中を抜けようとするとしたら，どのようなチャレンジがあるでしょうか。

現世の生活は森を抜ける旅にたとえられることを説明する。ヒラマン13：29を読ませて，以下の質問をする。

- サムエルの時代のニーファイ人はどちらを選んだでしょうか。
- 「邪悪」「よこしま」「かたくな」「強情」などの語は闇を選ぶこととどのような関係があるでしょうか。
- 今日の世の中で「盲目の導き手たち」の例として何を挙げることができるでしょうか。
- これらの導き手に従うことはどのような点で闇を選ぶことと同じでしょうか。
- 今日，闇にはどのようなものがあるでしょうか。

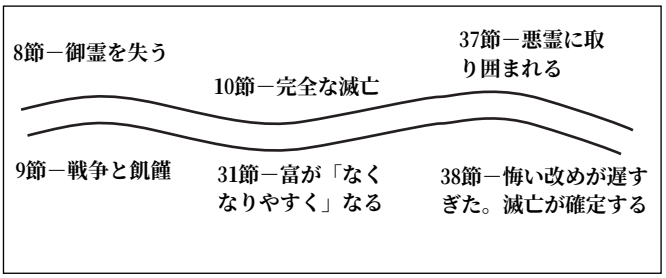
ヒラマン13：1－4，21－28を読んで，ニーファイ人がどのようにして光よりも闇を選んだかを示す例を少なくとも二つ見つける。以下の質問をする。

- 今日，人々はどのようにして，預言者の証を拒んでいるでしょうか。
- 富に執着することにはどのような危険があるでしょうか。

ヒラマン13：5－7を読んで，以下の質問をする。

- 闇の道はどこに通じているでしょうか。
- 人々が救われる唯一の道とは何でしょうか。
- わたしたちはなぜ，これらを「喜ばしいおとずれ」（7節）と考えるのでしょうか。

生徒に闇の道を理解させるために，以下の絵を黒板に描く。聖句の参照箇所だけを記入し，ほかの語句は記入しない。参照個所の順序を変えてもよいが，38節は道の終着点とする。生徒に，各節を読んで，サムエルはニーファイ人に対して，悔い改めなければどのようなことが起きると警告したかを見つけるように言う。生徒が警告を見つけたら，以下のような鍵の言葉を参照箇所の横に記入する。



十二使徒定員会会長時代にジョセフ・フィールディング・スミス大管長が語った以下の言葉を一人の生徒に読ませる。

> 「反抗し不義を働いて，暗黒の中に深入りし，もはや悔い改めの気持ちが介入できないほどになってしまうことは，十分あり得ることである。……
>
> 〔キリストの来臨後に教会を離れたニーファイ人とレーマン人〕は故意に罪を犯したため，救われることがない。救いの機会は与えられたが，受けようとせず，拒んだのであった。彼らは抵抗し，反抗の道を選んだ。」（『救いの教義』全3巻，第2巻，181）

以下の質問をする。

- この言葉はニーファイ人の状態をどのように表しているでしょうか。
- これはわたしたちにも当てはまるでしょうか。
- わたしたちはサムエルの警告から何を学べるでしょうか。

まとめとして，生徒にこの原則を教えているほかの聖句を分かち合うように言う。自分にとって最も意味があると思う聖句に印を付けるよう勧める。罪を悔い改めるために何ができるかを考えるよう奨励する。

ヒラマン13：12－14。主は義人がいるために，邪悪な者の命を助けられることがある。もし邪悪な者たちが彼らの中から義人を追い出すならば，滅亡の機は熟している。（10－15分）

現在の世の中に起きている邪悪を示す新聞の見出しを幾つか見せる。以下の質問をする。

- あなたのこれまでの生涯で世の中の状態はどのように変わったでしょうか。

- 世の多くの人々が向かっている方向について，あなたはどのようなことを心配しているでしょうか。
- そうした人々を救うためにあなたは何ができるでしょうか。

全員でアルマ10：22－23とヒラマン13：12－14を読んで，以下の質問について話し合う。

- 世界を滅亡から救うために義人は何ができるでしょうか。
- わたしたちは義人と見なされるために何をしなければならないでしょうか。
- 義人を追い出してしまったら，世の中はどうなるでしょうか。

3ニーファイ1：9を読んで，以下の質問をする。

- 信仰心のない者たちは何をしようとしていたでしょうか。
- ヒラマン13：12－14によれば，信者を殺してしまったら，信仰心のない者たちはどのようなことになるでしょうか。

人々が義人を殺し，追放したときにアモナイハ市はどうなったかを思い起こすように言う（アルマ16：2－3参照）。3ニーファイ9：3を読んで，ゼラヘムラの町は最終的にどうなったかを調べる。主は御自身の言葉に従って邪悪な者たちに罰を与えられることを証する。

地上にはまだ多くの善良な人々がいることを生徒が理解できるように，スペンサー・W・キンボール大管長が十二使徒定員会会長代理を務めていた時代に語った以下の言葉を紹介する。「言うまでもなくすべての戒めに従って生活し，その生活と祈りによってこの世を破壊から救っている高潔で忠実な人々も数多くいる。」（「過去，現在，未来からの声」『聖徒の道』1971年10月号，295）

ヒラマン14：2－6，14，20－25。レーマン人サムエルはキリストの降誕と死のしるしを宣言した。（25－30分）

一人の生徒に教義と聖約1：38を読ませ，この聖句について全員で話し合う。ヒラマン14章を勉強していく間に，この原則の一つの例が出てくることを生徒に告げる。以下の表のオーバーヘッドトランスペアレンシーを作るか，黒板に書いて，全員で取り組む。あるいは配付資料として配り，個人または小グループで完成させてもよい。生徒が感じたことを絵に描かせてもよい。

キリストの降誕のしるし			
ヒラマン14章	預　言	3ニーファイ1章	成　就
2節		13節	
3－4節		15節	
5節		21節	

キリストの死のしるし			
ヒラマン14章	預　言	3ニーファイ8章	成　就
20，27節		19－23節	
21－22節		5－7，17－18節	
23節		12節	
24節		8－10，13節	

ヒラマン14：25を読んで，イエス・キリストの死についてほかのしるしを見つける。それから3ニーファイ23：9－13を読んで，以下の質問をする。

- 復活された主はニーファイ人に何の預言について思い起こすように言われたでしょうか。
- 弟子たちはこの預言について何と言ったでしょうか。
- イエス・キリストは彼らに何をするよう命じられたでしょうか。
- 復活と預言の成就は今日のあなたにとってなぜ大切でしょうか。

ヒラマン14：15－19。イエス・キリストの死と復活は堕落の結果である肉体と霊の死に打ち勝つ。悔い改める人々はキリストの贖いによって，裁きの日に罪の結果である第二の霊の死から逃れることができる。（15－20分）

末日聖徒の教育者が語った以下の物語を紹介する。

> 「わたしは来世の生活を考えるときに，バルジの戦闘で2方向から銃弾を受けた末日聖徒の若者に慰めを与えた陸軍の従軍牧師のことを思い出します。この兵士は死期を間近に迎えていました。兵士の認識票を見た従軍牧師は末日聖徒の教会員であることを知りました。従軍牧師はこう話しかけました。『わたしはあなたの教会の会員ではありませんが，あなたのためにお祈りしましょうか。』若者は答えました。『はい，わたしのために祈ってください。』そこでこの従軍牧師はひざまずきました。そして，二人の神の人が祈りをささげました。〔後に〕この兵士は言いました。『わたしは従軍牧師の祈りをはっきりと覚えています。「おお神よ。やがて死ぬ時が来ても，恐れずに死を迎えられるような生き方ができるように，そして，死んだ後は再び生きることを恐れなくともいいような生き方ができるように助けてください。」』」（スタン・H・ワッツ，*The Blessings of This Day,* Brigham Young University Speeches of the Year〔1971年11月23日〕，2）

ヒラマン14：15－19を読んで，以下の質問について話し合う。

- この聖句によれば，人はどのような種類の死を受けるでしょうか。（人類は肉体の死以外に，アダムが堕落したときに第一の霊の死を受け，悔い改めない者は最後の裁きの後で第二の霊の死を受けることに特に言及する。）
- 霊の死とは何ですか。
- イエス・キリストの死はどのようにしてわたしたちを第一の霊の死から救うのでしょうか。
- キリストの贖いはどのようにしてわたしたちを第二の霊の死から救うのでしょうか。
- わたしたちは悔い改めることによってどのように「再び生きることを恐れなくともいいような」準備ができるのでしょうか。

サムエルの時代のニーファイ人はサムエルの警告に対して怒りを表したことを説明する。次のように質問する。「霊的に死んでいるにもかかわらず，まだ霊的に生きていると考えることができるでしょうか。どのようにそれは可能でしょうか。」十二使徒定員会会員の時代にスペンサー・W・キンボール長老が語った以下の話を一人の生徒に読ませる。

「今日，この教会には自分では生きていると思っていても，実は霊的に死んでいる人々が大勢います。活発であるかのように装っていますが，霊的に死んでいる人もまた大勢いるとわたしは考えています。彼らの働きは字義を追及するばかりで，霊をないがしろにしています。」（Conference Report，1951年4月，105）

次のように質問する。「生活の中で霊的に死んでいる状態をなくすにはどうすればよいでしょうか。」モーサヤ2：41を読んで，この世に生きている間に来世のために準備している人々に与えられる祝福を見つける。

ヒラマン15：1－10。神は御自身の子らを愛しておられる。わたしたちは悔い改め，神の戒めを守ることによって神の祝福にあずかることができるが，罪を犯すと祝福を受けることができない。（25－30分）

生徒が何よりもいちばん恐れていることについて尋ねる。生徒の答えを黒板に書き出して，話し合う。次のように質問する。「黒板に書かれていることよりももっと恐ろしいことがあるでしょうか。」生徒にヒラマン15：9を読んで，レーマン人が恐れたことを探すように言う。以下の質問をする。

- レーマン人は罪を犯すよりもどのような苦難を進んで受けようとしていたでしょうか。
- 彼らはなぜ罪をそれほど恐れたのでしょうか。

2ニーファイ4：31を読んで，ニーファイは何について祈ったかを見つける。

レーマン人が罪に対してこのような態度を持つに至った理由を知るために，ヒラマン15：4－8を読む。レーマン人はなぜイエス・キリストを信じる信仰を持つようになり，悔い改め，心が変化したのか生徒に挙げさせる。生徒の答えについて話し合う。以下の質問を活用して話し合いを展開するとよい。

- レーマン人が救いの道を歩み始めるためにニーファイ人はどのような役割を果たしたでしょうか。
- 「自分の義務の道」にあるとはどういう意味でしょうか（5節）。
- 改宗したレーマン人は何をするよう努めたでしょうか。
- 彼らの改宗に聖文はどのような役割を果たしたでしょうか。
- 彼らの経験からわたしたちは何を学ぶことができるでしょうか。

生徒に，ヒラマン15：1－3，17を読んで，生徒がレーマン人について知っている事柄と，これらの節で教えられているニーファイ人とを比較するように言う。話し合いの中で以下の質問を活用するとよい。

- サムエルはもしニーファイ人が悔い改めなければどのようなことになると警告したでしょうか。
- 主はなぜ御自分の民を懲らしめられるのでしょうか。主はどのような方法でそれを行われるでしょうか。
- 罰はどのような意味で愛情の表れでしょうか。
- ニーファイ人が罪を恐れていたとしたら，サムエルの警告をどのようにとらえていたでしょうか。

罪と罰に対する恐れは，ニーファイ人に下った裁きが自分に下らないような生活をする動機を与える場合もあることを証する。しかし，わたしたちが清く安全な状態を維持するための動機としてもっと気高いものがある。ゴードン・B・ヒンクレー大管長の以下の話を分かち合う。

「主を愛し，正しいことをしようと望み，大いなる徳を基とした人生を築きたいと考えているそれらの若い男女の目を見て，鼓舞されました。彼らは自分自身と，これから彼ら自身がその一部となるであろう社会の役に立てるよう，それぞれの技術を伸ばそうと頑張っています。かつてなく多くの若人が宣教師として奉仕しています。彼らは汚れがなく，賢く，有能で，幸福な若者たちです。主はその教会で学び，奉仕するこの選び抜かれた世代の若人を確かに愛していらっしゃいます。わたしは彼らを愛しています。そして，そのことを彼らに知ってほしいと望んでいます。」（「栄えあるイースターの朝に」『聖徒の道』1996年7月号，75）

ヒラマン15：11－13。レーマン人は約束の民である。（5－10分）

生徒に，ヒラマン15：11－13を読んで，サムエルが「末の時代における」レーマン人について預言した事柄を見つける。次のように質問する。「この預言はどのように成就していると思いますか。」十二使徒定員会会員の時代にスペンサー・W・キンボール長老が語った以下の話を分かち合う。

「主は彼ら，すなわちレーマン人を呼び出すことにされました。彼らは預言を成就しています。血管の中に豊かな血液を持つ選ばれた民です。彼らは迷信や恐れ，無知，偏見という足かせを外して，知識と善い業と義を身にまとっています。この変化を起こすに当たって教会は大切な役割を果たしたことを誇りとしています。……

昨日までの彼らは，略奪され，力を奪われ，消えうせそうになっていました。しかし，今日，何千というレーマン人が正規のセミナリーとインスティテュートに出席しています。……メキシコ，南アメリカ，ハワイ，海の島々で数え切れないほどの人々が宗教的な訓練のみならず俗世の訓練を受けています。大学に通っている人が大勢おり，専任宣教師として働いている人がたくさんいます。アメリカ大陸や太平洋地域において，教会の組織を通じて高度の訓練や奉仕を受けるにふさわしい人々が何万人もいます。レーマン人とニーファイ人の指導者たちは今や自分たちの民を導き，鼓舞するために働いています。***レーマン人の日が到来しました***。明日はもっと良くなることでしょう。」（Conference Report，1965年10月，70－71）

ヒラマン16：1－3，6－8。神は僕たちが神から遣わされた使命を果たすまで僕たちを守られる。（10－15分）

生徒に，危険な状態にあったときに，主に守られたと感じた経験を分かち合うように勧める。次のように質問する。「主はなぜ御自身の子らを守られると思いますか。」生徒の答えについて話し合う。主が御自身の子らが危害を受けるままにしておかれた例を思い出せるかどうかを尋ねる。（アビナダイ，ジョセフ・スミス，イエス・キリストの死などの答えが考えられる。）次のように質問する。「どうしてそのようなことが起きるのでしょうか。」

（注意：苦しみを受けたり，亡くなったりする人々を神は愛しておられないという印象を生徒が持つことのないように注意する。この話し合いでは，神が僕たちをその使命を果たすまで守られることに焦点を絞る。）

ヒラマン13－15各章の前書きを読んで，サムエルがゼラヘムラで果たした使命を復習する。生徒に，サムエルはどれくらいの間，市の城壁に立って宣べ伝えたかを推定するように言う。ヒラマン16：1－3，6－8を読んで，サムエルのメッセージをニーファイ人がどのように受け止めたかを見つける。以下の質問について話し合う。

- ニーファイ人はなぜ石と矢をサムエルに当てることができなかったのでしょうか。
- このことは一部のニーファイ人にどのような衝撃を与えたでしょうか。
- 「民の大半」はどのような反応を示したでしょうか。
- 主はなぜサムエルを守られたと思いますか。（まだサムエルの使命が終わっていなかった。7節参照）

生徒とともにヒラマン5：12を読んで，わたしたちはゼラヘムラの城壁に立ったサムエルのように，どうすればサタンに打ちたたかれても耐えることができるかについて話し合う。

ヒラマン16：4－5，13－23。主は義人の信仰を強めるためにしるしと不思議を与えられる。邪悪な者たちは主のしるしと不思議を否定し，自分の知恵に頼る。そして，神にかかわる事柄を理解できない。（20－25分）

レッスンの前に，紙を切り抜いて星を作り，教室のどこかにはっておく（分かりやすい場所であっても，生徒たちが普通は目を向けない所にはる）。教室に何か変わったことがなかったか生徒に尋ねる。生徒が星を見つけたら，すでに気づいていた生徒が何人いたかを尋ねる。以下の質問をする。

- 一部の生徒はなぜ最初，星に気づかなかったのでしょうか。
- 教室に入るときにそのことを言われていれば，何人の生徒が気づいたと思いますか。
- これは預言者が行うこととどのように似ているでしょうか。

ヒラマン16：4－5を読んで，以下の質問をする。

- 「しるしと不思議」に関連して，預言者はどのような役割を果たすでしょうか。
- 神はなぜしるしと不思議をお与えになるのでしょうか。
- しるしの成就はわたしたちの信仰にどのような影響を及ぼすでしょうか。
- それはわたしたちが福音に従って生活することにどのような影響を及ぼすでしょうか。

ヒラマン16：13－14を読んで，成就し始めた二つの事柄を見つける。次のように質問する。「再臨のしるしが成就するのを待っているわたしたちにとって，これはどのような希望を与えるでしょうか。」

神が与えられるしるしと不思議をすべての人が信じるわけではないことを説明する。疑い深い人はそれらを信じない適当な理由を考える。生徒に，ヒラマン16：15－23を黙読して，疑い深い人たちがしるしを否定するために使った4つの反論を見つけるように言う。生徒が見つけた反論を発表させ，黒板に書き出すとよい。以下の事項が含まれる。

- 自分の知恵に頼り，「彼らがうまく言い当てたことも幾らかある」と言った（16節。15節も参照）。
- 「キリストのような者が来ることは道理に合わない」と結論づけた（18節）。
- キリストの話を「悪い言い伝え」（20節）であるとして，遠くの地でキリストが生まれるとしても，それを知る方法がないと言った（19－20節参照）。
- 人々を無知の中にとどめ，教師に頼らせようとして「悪しき者の……不思議な術策」を使っていると言って，信者たちを非難した（21節）。

このような議論に欺かれないためにわたしたちは何ができるかについて話し合う。主の預言者に耳を傾け，従うことの大切さについて証する。ヘンリー・B・アイリング長老の以下の話を読んで締めくくる。

> 「わたしたちを安全に導こうとする救い主の願いには終わりがないようです。また，わたしたちに安全な道を示してくださるその方法には一貫性があります。救い主は複数の手段を用いて，進んで受け入れようとする人々を招いてくださっているのです。そして，その手段にいつも含まれるのが，神の預言者の口を通してメッセージを送ってくださることです。これは，民が神の預言者を頂くにふさわしいときにはいつも行われてきました。権能を受けた僕たちは例外なく，民に警告を与え，安全への道を示す責任を与えられています。」（「助言の中に安全を見いだす」『聖徒の道』1997年7月号，28）

第三ニーファイ

モルモン書は「ユダヤ人と異邦人に，イエスがキリストであり，永遠の神であり，すべての国民に御自身を現されることを確信させる」ために書かれた（モルモン書タイトルページ）。3ニーファイに記録された救い主のアメリカ大陸への訪れに関する記述はこの目的にかなうものである。N・エルドン・タナー副管長はこのように語った。

「この訪れを記した第三ニーファイの記録以上に，神と人との交わりを美しくかつ詳しく記した記録は，聖典のどこを探しても見いだせないと思います。……これらの警告の言葉と，美しい教え……に従って生活するならば，それは世の人々や，このような生き方を求めている人に，ほかの何ものにも増して平安と幸福をもたらすものとなるでしょう。また，聖書では答えることのできない数多くの疑問に対しても，適確な答えを得ることができます。

第三ニーファイは，新約聖書の4つの福音書よりも詳細な知識を提供してくれます。さらにそこには，主の教義と教え，そして主の慈悲がそのままに記されています。この理由から，多くの人々は第三ニーファイを『第五の福音書』と呼んでいます。」（「アメリカにおけるキリスト」『聖徒の道』1975年8月号，372－373）

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように語った。

「家族そろって第三ニーファイを読み，その神聖な内容について語り合い，自分たちのためと見立てて，どのようにその教えを生活の中に生かすかを決めるならば，どれほどすばらしい祝福が得られるでしょうか。

第三ニーファイはわたしたちが何度も繰り返し読むべき書です。そこには，アメリカにおける復活されたキリストへの証が，純粋なままに美しく語られています。」（「アメリカへのキリストの訪れ」『聖徒の道』1987年7月号，6）

はじめに

第三ニーファイの中の歴史に関する記述は「リーハイがエルサレムを去ったときから六百年」を始まりとしている（3ニーファイ1：1）。このころ，イエス・キリストの降誕に関する多くの預言としるしが成就し始めていた。エルサレムで救い主が降誕されたその夜，レーマン人サムエルが預言したようにアメリカ大陸では夜が暗くならなかった（ヒラマン14：2－6参照）。それからの33年間，すなわちイエスがこの世におられた期間は，ニーファイ人とレーマン人にとって騒然とした時代となった。多くの信者は，ニーファイが預言していたように，復活された主が彼らに教えを説かれるときのために準備をしていた（1ニーファイ12：1－6参照）。同じ時期に邪悪な者たちは義人を殺そうとし，罪悪と忌まわしい行いが増え，教会の中に高慢と階級差別が生じ，サタンがその影響力を強めていた。

ベンソン大管長はこのように述べている。「第三ニーファイには救い主が訪れられる直前の時代の，ニーファイ人の歴史が記されていますが，当時とわたしたちが再臨を待ち望んでいるこの時代の間には数多くの共通点が見られます。」（「アメリカへのキリストの訪れ」4）第三ニーファイを読むに当たって，これらの共通点を探すとともに，この試練の時代に忠実であった人々を主がどのように守り，慰めを与えられたかにも注目する。

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- 邪悪な者たちは預言の成就を否定するが，信仰篤い人々は預言を喜びとし，その成就を待ち望む（3ニーファイ1：5－8，22；2：1－3参照。ヒラマン16：4－6，13－23も参照）。
- 主から与えられる預言は必ず成就する（3ニーファイ1：15－21参照。教義と聖約1：37－38も参照）。
- 従順でない者たちは自分の問題を他人のせいにすることが多い（3ニーファイ3：9－11参照）。
- 祈り，悔い改め，義にかなった指導者に従い，主の言葉に頼ることによって，家庭や教会，国の中に入り込んでくる悪に打ち勝つことができる（3ニーファイ3：12－5：6参照）。
- モルモン書が書かれ，保存されたのは，レーマン人が自分たちの先祖について知るためであり，またあらゆる人が救い主を知るようになるためである（3ニーファイ5：12－26参照。エノス1：11－18；教義と聖約3：16－20も参照）。
- 高慢，肉の腕に頼ること，不和は国家の崩壊につながることがある（3ニーファイ6：10－18；7：2－8参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』120－122。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

3ニーファイ。3ニーファイの概要。（10－15分）

宣教師はよく，教会員でない人々にモルモン書を渡して，モルモン書を読み，この書物が真実かどうかを祈ってみるように言うことを説明する。一人の生徒を選んで，友達にモルモン書を読むよう勧める場面のロールプレーをさせる。全員に質問する。

- もし，あなたが宣教師だとしたら，モルモン書のどの箇所を友達に読んでもらいたいでしょうか。それはなぜですか。

- 教会員でない人に3ニーファイを読んでもらうことは価値があると思いますか。
- 3ニーファイはなぜモルモン書の中で重要な書となっているのでしょうか。

3ニーファイの導入の部分からN・エルドン・タナー副管長とエズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉を紹介する（203ページ）。次のように質問する。「これらの言葉の中で，どのようなことに感銘を受けたでしょうか。」以下の概要を黒板に書くか，配付資料として生徒に配る。

1. 3ニーファイ1－7章。キリストの降誕からの33年間，ニーファイ人の社会は，罪悪と殺人，戦争によって完全に崩壊する。
2. 3ニーファイ8－10章。キリストが亡くなられたとき，3日間，暗闇（くらやみ），惨事，破壊がアメリカ大陸を襲う。
3. 3ニーファイ11－26章。復活された主がニーファイ人の間で教えを説かれる。
4. 3ニーファイ27－28章。救い主はニーファイ人の12人の弟子たちに指示を与えられる。
5. 3ニーファイ29－30章。モルモンは末日に地上に来る人々に勧告を与える。

3ニーファイの始めの部分に書かれている前書きを読んで，ニーファイとはだれか，モルモン書のほかのニーファイとどのような関係にあるかについて話し合う。3ニーファイ1：1—3；2：9を読む。次のように質問する。「これらの節によれば，ニーファイ人の記録を保管し，ニーファイ人の歴史を書き続けるために，なぜニーファイが選ばれたのでしょうか。」3ニーファイを研究するときに，なぜこの書が霊的にも教義的にも重要視されているかに注目するよう生徒に勧める。

3ニーファイ1章。主から与えられる預言は必ず成就する。邪悪な者は預言の成就を否定するが，信仰篤い人々は預言を喜び，その成就を待ち望む。（40－45分）

生徒がお祝いをする祭日やそのほか大切な出来事を挙げるように言う。それらを黒板に書き出して，以下の質問をする。

- これらの大切な出来事をなぜ楽しみにして待つのでしょうか。
- そのためにどのような準備をしますか。
- これらの大切な出来事のために準備するのとしないのとでは，お祝いの仕方が変わってくるでしょうか。

書き出した出来事一つ一つについて，それを大して待ち望んでいないような人にはどんな人がいるかを考えて，なぜそう思うか尋ねる。（例えば，キリストを信じていない人はクリスマスや復活祭が大切だとは考えないかもしれない。）

3ニーファイ1：1，4—5を読んで，以下の質問をする。

- どのような預言が成就し始めたでしょうか（ヒラマン14：1—6参照）。
- あなたの生活においてキリストの降誕はどれほど大切な意味があるでしょうか。それはなぜですか。

黒板に挙げられている大切な出来事と同じように，救い主の降誕についても，待ち望んでいた人々と，そうでない人々がいたことを説明する。これらの人々を比較するために，黒板に見出しとして「信じた人々」と「信じなかった人々」と書く。全員で3ニーファイ1：5—14を読んで，信じた人々と信じなかった人々の特徴を探し，見出しの下に書き出す。これら2種類の人々がそれぞれ何を行ったか，互いをどのように扱ったか，そしてどのような動機からそうしたかについて話し合う。

再臨を前にした現在も，信じる人々と信じない人々がいることを説明する。3ニーファイ1—7章の「はじめに」からエズラ・タフト・ベンソン大管長の話を紹介する（203ページ）。次のように質問する。「3ニーファイ1章から学んだことの中で，どのようなことが再臨の備えをする助けとなるでしょうか。」

3ニーファイ1：29—30を読ませ，以下の質問をする。

- これらの節は青年層についてどのようなことを教えているでしょうか。
- 「独り立ちする」（29節）とはどのような意味だと思いますか。
- 青少年が強さと証（あかし）を持つことはなぜ大切でしょうか。

教会において青少年が果たす大切な役割について証する。デビッド・O・マッケイ大管長の以下の言葉を分かち合う。「ワードの霊性は，そのワードの若人の活気に比例する。」（ロバート・L・バックマン「アロン神権者に新たな活力を吹き込む」『聖徒の道』1983年1月号，70で引用）

3ニーファイ1：29—30に記されているレーマン人の青年層とヒラマンの2,000人の若い兵士（アルマ53：16—22；56：44—48参照）を比べるように言う。以下の質問をする。

- 青年兵士は信仰をいつも強く保つために何をしたでしょうか。
- わたしたちはいつまでも忠実であるために何ができるでしょうか。
- 忠実であることによって，どのように再臨に備えることができるでしょうか。

3ニーファイ2：11—19。邪悪な者たちは義人に敵対する。（15—20分）

スコアボードを作って，生徒に見せるか，黒板に書く。あなたが参加したか観戦したことのあるエキサイティングなスポーツについて簡単に話す。または一人の生徒に話させる。以下の質問から幾つかを選んで話し合う。

- スポーツでスコアボードはどのような役割を果たすでしょうか。
- スコアボードが大切になるのは試合の最後を迎えたときだけでしょうか。どのような理由からそう思いますか。
- 選手，コーチ，あるいはチームにとって，得点を意識することはどのような助けになるでしょうか。

生徒に，3ニーファイ2：11—12を読んで，二つの「チーム」またはグループを探すように言う。以下の質問をする。

- 罪悪と正義の間で戦いが繰り広げられるのはなぜでしょうか。
- 善と悪のスコアボードがあるとすれば，得点の数字は何を表すことになるでしょうか。（勝利を収めた人や敗北した人の数，それぞれが世の中に与えた影響の大きさ，などの答えが考えられる。）

3ニーファイ2：13—19を読んで，この時期にニーファイ人は何をしていたかを見つける。3ニーファイ3—7章は邪悪な人と義に

かなった人との間に繰り広げられた戦争や争いの記述が続くことを説明する。これらの章の前書きを読んで，内容に簡単に目を通すように言う。各章に記されている邪悪な人々と義にかなった人々の間で繰り広げられた霊的な戦いについて生徒に説明させる。

3ニーファイ9：13；10：12を読んで，どちらのグループが生き残って救い主の訪れを目撃したかを探す。教義と聖約97：21－25を読んで，再臨に先立って起きる苦難を耐えて生き残るのはどのような人々かを見つける。以下の質問から幾つかを選んで話し合う。

- 義人と悪人の戦いが現在も続いていることの証拠として，どのような出来事を挙げることができるでしょうか。
- 邪悪な人々はこの戦いに勝っていることを示そうとして，どのようなことを行っているでしょうか。
- 義がこの戦いに勝利を収めていることを示す具体例があるでしょうか。（会員，神殿，神権者の数が増えていることなどが答えとして考えられる。）
- あなたは末の日になぜ主の側に立っていたいと思いますか。

十二使徒定員会会員の時代にエズラ・タフト・ベンソン長老が語った以下の言葉を紹介する。

「現代は神の目的が達成される最後の偉大な神権時代であり，罪が勝利を収めることはないと主が約束された唯一の神権時代です。教会は再び地上から取り去られることはありません。教会はこの地上にとどまると主は約束されたのです。皆さんは教会と神の王国の一員です。……キリストが再臨されるとき，天の王国と地上における神の王国が一つになりますが，その時はもう近くまで来ています。わたしたちがこの業とその根底にある精神を悟り，その大いなる出来事が近いことを認識できたらどんなにかよいでしょう。わたしたちの前に迫っているものが何かを悟ることができたら，わたしたちはきっと今の自分を見詰め直すことでしょう。」（*The Teachings of Ezra Taft Beson*〔1988年〕，19）

十二使徒定員会会長時代にベンソン大管長が語った以下の話も分かち合う。

「わたしたちは今日（こんにち），邪悪な世界に生きています。悪の軍勢がこれほど強力な陣容を整えている例はわたしたちの記憶にもないほどです。悪魔は非常によく組織されており，多くの密使を送り込んでいます。悪の主権者であるサタンは，わたしたちの若人を滅ぼし，家庭と家族を弱め，主イエス・キリストの目的をあの大きな教会を通じてくじくつもりであると宣言しています。」（*God, Family, Country: Our Three Great Loyalties*〔1974年〕，90）

「どの時代の預言者も，わたしたちが生きているこの時代に熱い思いを寄せてきました。そして，すでにこの世を去った無数の人々，これから地上に生を受ける人々の目もわたしたちに注がれてきました。このことを間違ってはなりません。皆さんは偉大な世代なのです。これほど短い期間に，これほど多くの忠実な人々が求められている時代はかつてありませんでした。悪の軍勢と義の軍勢の両方がこれほど陣容を固めている時代はかつてありませんでした。今の時代は悪の力が猛威を振るっています。……しかし，この時代には地上にかつてなかったほど多くの神権者が存在しており，主の力も大いに発揮されているのです。」（"In His Steps," *1979 Devitional Speeches of the Year*〔1989年〕，59）

3ニーファイ3－4章。祈り，悔い改め，義にかなった指導者に従い，主の言葉に頼ることによって，家庭や教会，国の中に入り込んでくる悪に打ち勝つことができる。（35－40分）

個人的な手紙，伝道の召し，ダイレクトメール，お礼のカードなど，様々な種類の手紙を見せる。以下の質問について話し合う。

- これまでに受け取った手紙の中で最もうれしかったのはどのような手紙でしたか。それが一番である理由は何でしょうか。
- 手紙を読んで泣いたことがあるでしょうか。笑ったこと，お祝いしたいほどうれしかったこと，怒ったこと，態度を変えたことはあるでしょうか。

3ニーファイ3：2－10にはガデアントンの首領であるギデアンハイからニーファイ人の総督であるラコーニアスにあてた手紙が載せられていることを説明する。生徒に，3ニーファイ3：1－10を読んで，もし生徒がこの手紙を受けたとしたらどうするかを考えるように言う。生徒の意見について話し合う。（もし時間に余裕があれば，生徒に手紙の返事を書かせ，何人かの手紙を紹介してから全員で話し合うとよい。）

生徒に3ニーファイ3：11－12を読んで，ラコーニアスがギデアンハイの手紙にどのようにこたえたかを見つけるように言う。

- ラコーニアスのとった行動はあなたの考えと同じだったでしょうか。
- ラコーニアスのとった行動は適切だったと思いますか。それはなぜですか。

12節の「そこで」という語を丸で囲むように言う。この「そこで」という言葉によって，この次に書かれている事柄は，正しく勇敢なラコーニアスが当然とるはずの行動であることが分かると生徒に告げる。3ニーファイ3：12－21を読む。生徒たちに，あなたが読むのを聞きながら，ラコーニアスとギドギドーナイがガデアントンの強盗団から自分たちを守るために民に何を行うよう求めたか見つけるように言う。生徒の見つけた事柄を黒板に書き出す。

以下の質問から幾つかを選んで話し合うことによって，生徒がこの教訓を応用できるように助ける。

- ガデアントンの強盗団はニーファイ人に敵対しました。今日，悪魔はどのような方法でわたしたちに敵対しているでしょうか。
- わたしたちの社会の悪事はどのようにガデアントンの強盗団の悪事と似ているでしょうか。
- ラコーニアスとギドギドーナイがニーファイ人に与えた警告と勧告はわたしたちにとってどのように助けとなるでしょうか。
- ニーファイ人はゼラヘムラに集まるように言われました。今日わたしたちはどこに安全な地を見いだすことができるでしょうか（教義と聖約115：4－6参照）。

- あなたにとって教会はどのように守りとなり，助けとなっているでしょうか。（教会員は教会で，正しい教義を教わり，社会の悪事について預言者から警告を受け，高い価値基準を持つ人々と交わっている，など。）

3ニーファイ3：22，25－26を読んで，ニーファイ人はラコーニアスとギドギドーナイの勧告に従ったことを明らかにする。教義と聖約1：14を読んで，霊感を受けている指導者に従うことによって得られる祝福について証する。一人の生徒に3ニーファイ4章の前書きを読ませる。以下の質問をする。

- ニーファイ人は霊感に基づく勧告に従ったためにどのような祝福を受けたでしょうか。
- 3ニーファイ4：30－33を読んでください。ニーファイ人はだれによって勝利を収めたと考えたでしょうか。
- この模範に従うことはなぜ大切でしょうか。

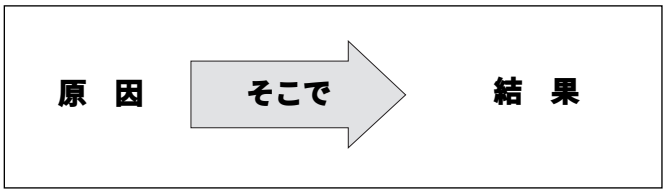
これらの節でニーファイ人が感じたような思いを経験したときの様子を生徒に分かち合うように言う。

3ニーファイ5章。モルモン書が書かれ，保存されたのは，レーマン人が自分たちの先祖について知るためであり，またあらゆる人が救い主を知るようになるためである。（20－30分）

黒板に「原因」と「結果」と書く（二つの語の間にもう一つの語を書き込めるくらいの間隔を空けておく）。以下の質問をする。

- これらの語はどのような意味でしょうか。
- 二つの語はなぜ一緒に用いられるのでしょうか。（時間の余裕があれば，これらの語を説明するために実物を使ったレッスンを行う。例えば，「原因」を説明するために，植木鉢に種を植え，水を与え，そして日光に当てる。「結果」を説明するために，生長した植物が植えられている別の植木鉢を見せる。）

黒板の二つの語の間に「そこで」と書いて，それを囲むようにして矢印を描く。



生徒に「そこで」という語の意味を尋ねる。（「そこで」とは前の語の結果として，後の語の状態になるという意味である。）

「原因」の下に3ニーファイ5：1－2と書き，「結果」の下に3ニーファイ5：3と書く。生徒に3ニーファイ5：3を読んで，「そこで」に続く文章に注目するように言う（ニーファイ人は罪を捨てた）。次に，3ニーファイ5：1－2を読んで，何がこの出来事を引き出したかを見つける。（彼らはキリストの降誕に関する預言が成就したことと，預言者たちが語ったあらゆることが成就するに違いないことを知っていた。）真理を知ると，誘惑を退けて，悪魔に打ち勝つ力を得られることを証する（ヒラマン5：12も参照）。

3ニーファイ5：10－26でモルモンはニーファイ人の記録について，また，ヤコブの子孫（イスラエルの家）の将来について語っていることを説明する。生徒に3ニーファイ5：21－26を読ませる。以下の質問をする。

- これらの節によれば，終わりの時に集められるヤコブの子孫はどのような祝福を受けるでしょうか。（様々な祝福の中でも特に，彼らは「自分たちの贖い主，神の御子イエス・キリストを知るようになる。」〔26節〕）
- 2ニーファイ3：12を読んでください。モルモン書はこの集合においてどのような役割を果たすでしょうか。

黒板の表を参照して，次のように質問する。「わたしたちは贖い主を知ることによって，何を行うように促されるでしょうか。」（ニーファイ人の場合のように，罪を捨てるように導き，誘惑を退ける力を与えてくれる。）

マリオン・G・ロムニー副管長の以下の言葉を分かち合う。

> 「家庭にあって両親が，夫婦で，また子供を交えて家族で，ともに祈りをもって定期的にモルモン書を読むようにするならば，家庭はこの偉大な書物からわき出る特別な力で包まれ，家族一人一人がその力強い影響を受けることをわたしは確信しています。家庭はこれまで以上に敬虔な雰囲気に包まれ，一人一人が互いに尊敬し合い，思いやりを示すようになります。そして，いがみ合うようなことがまったくなくなります。また両親はいっそう大きな愛と知恵の中で子供たちを諭すようになり，子供たちは以前にも増して両親の勧めに快く従うようになります。義は増し加えられ，信仰と希望，キリストの純粋な愛が家庭や日常生活に満ちて，平和と喜びと幸福がもたらされることでしょう。」（「モルモン書」『聖徒の道』1980年9月号，102）

3ニーファイ6章。高慢，肉の腕に頼ること，不和は国家の崩壊の大きな原因になることがある。（20－30分）

黒板に幾つかの病名を書く（例えば，関節炎，癌，水ぼうそう，心臓病，ハンセン病，マラリア，リウマチ熱など。）怖いと思う病気から順に番号を付けるように言う。次のように質問する。「人類にとって最も怖い病気は何でしょうか。」以下の言葉を紹介する。

> 「わたしたちはモルモン書から『ニーファイ人病』という病気があることを知っています。そしてこの病気はわたしたちの間にも蔓延しています。……たとえほかの人々の病状がどのようなものであろうとも，モルモン書の神は，わたしたちがこの病気から特別な益を得ることができるようにすでにこの病気を診断してくださり，この病気を治すための処方箋を与えてくださっていることに，わたしたちは心から感謝すべきです。」（ヒュー・ニブレー，*Since Cumorah*〔1967年〕，354）

生徒に「ニーファイ人病」とはどのようなものと思うか尋ね，生徒の答えについて話し合う。

3ニーファイ6：10，13，15を読んで，ニーファイ人病を見つける。十二使徒定員会会員のジョセフ・B・ワースリン長老の以下の言葉を読んで話し合う。

「謙遜さの反対である高慢や虚栄心は，病が身体をむしばむのと同じようにわたしたちの霊の健康をむしばんでいくのです。」（「狭くて細い道」『聖徒の道』1991年1月号，69）

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように教えた。

「高慢は，甚だしく誤った解釈をされている罪であり，多くの人が無意識のうちにこの罪を犯しています（モーサヤ3：11；3ニーファイ6：18参照）。聖典の中には，義にかなった高ぶりというようなことを教えている箇所は一つもありません。高慢は常に罪と見なされています。ですから，世の中でこの言葉がどのように使われているかは問題ではありません。わたしたちが理解しなければならないのは，神がこの言葉をどのように使われているかです。そうすれば聖典の言葉を理解して，その恩恵にあずかることができるのです（2ニーファイ4：15；モーサヤ1：3―7；アルマ5：61参照）。

ほとんどの人は，高慢というと『自己中心』『うぬぼれ』『自慢』『尊大』『傲慢』などの言葉を思い浮かべます。確かにこれらは皆，高慢の罪の中に数えることができますが，核心となるものが抜けています。

高慢の中心を成すのは敵対心，すなわち神と同胞に対する敵対心です。敵対心は『憎悪，敵意，反感』などを意味します。サタンは，この力によってわたしたちを支配しようとします。」（「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年7月号，4）

生徒に，わたしたちはどのようにして病気を診断する，すなわち病気を特定するか尋ねる。（症状を検討する，医師に診てもらうなどの答えが考えられる。）生徒を5つの「医療チーム」に分ける。各チームは3ニーファイ6章を開いて，以下の聖句から一つを選んで研究するように言う。1―9節，10―14節，15―18節，19―26節，27―30節。終わったら，以下の質問にグループで答えさせる。

- 割り当てられた節は何年のことを扱っていますか。
- どのような「診断」を下しましたか。（つまり，その時代にニーファイ人の霊性はどのような状態だったでしょうか。）
- 霊的な健康を維持するために彼らは何をしていましたか，またはしていませんでしたか。
- この時代のニーファイ人を理解するために最も助けになる節はどれですか。

各グループが見つけた事柄について話し合う。以下の質問について話し合う。

- 今日，高慢の罪はどれほど明白に見られるでしょうか。
- 高慢の原因は何でしょうか。
- どうすれば高慢を避けることができるでしょうか。

3ニーファイ6：5を読んで，ここで教えられている原則について証する。末日聖徒イエス・キリスト教会はニーファイ人の国と違って，輝く未来があることを生徒が理解できるように，預言者ジョセフ・スミスの以下の言葉を読むとよい。

「いかなる汚れた者の手も，この御業の発展を止めることはできない。迫害は威を振るい，暴徒は連合し，軍隊が集合し，中傷の風が吹き荒れるかもしれない。しかし神の真理は大胆かつ気高く，悠然と出で立ち，あらゆる大陸を貫き，あらゆる地方に至り，あらゆる国々に広まり，あらゆる者の耳に達し，神の目的は成し遂げられるであろう。かくして，大いなるエホバは，御業は成ったと告げられることであろう。」（*History of the Church*，第4巻，540）

3ニーファイ7章。わたしたちはたとえ邪悪に満ちた世界に住んでいても義のうちにとどまることができる。（20－30分）

泥の入ったバケツと清潔な白い布を見せる。泥は邪悪を表し，布は義を表していることを生徒に告げる。3ニーファイ7章はイエス・キリストの死と復活の前のニーファイ人の文明がどのようなものであったかについて述べていることを説明する。

泥の入ったバケツに「3ニーファイ7：1―14」，白い布に「3ニーファイ7：15―26」と書いた紙をはる。半数の生徒にバケツの聖句を，残る半数の生徒に布の聖句を研究する割り当てを与える。終わったら，それぞれのグループに以下の質問に答えるように言う。

- 割り当てられた節には邪悪と義についてどのようなことが教えられているでしょうか。
- 人々はどのようなことをしたために主に喜ばれたでしょうか。そして，どのようなことをしたために主を嘆かせたでしょうか。
- 今日の世の中ではこれらの邪悪な行いはどれだけ広まっているでしょうか。義にかなった行いについてはどうでしょうか。

あなたはこれから白い布を汚さずに泥のバケツの中に入れてみせることを告げる。そのようなことが可能かどうかを生徒に尋ねる。次のように質問する。「邪悪に満ちあふれた世の中で生活しながら，なお義にとどまることは可能でしょうか。それはどのように可能でしょうか。」

「3ニーファイ7：18，21，24」と書いた紙をはったビニールの袋に白い布を入れる。白い布はビニールの袋に守られていれば，泥の中に入れても汚れないことを実演する。生徒に，袋に書かれた聖句を読んで，ニーファイをはじめとする義にかなった人々はこのような清さを維持する力を何によって得たかを見つけるように言う。（証，信仰，悔い改め，バプテスマ，御霊の力。）これらの原則と儀式は今日のわたしたちを清く保つことができることを証する。生徒に，これらの原則と儀式によって，どのように自らを清く，ふさわしい状態に保つことができているかを話させる。

七十人会員だった当時にルロン・G・クレーブン長老が語った以下の証を分かち合う。

「この世の悪の力が増強している現実を知ると恐ろしい気がします。そこでわたしたちは次のように自問します。『わたしたちに何ができるだろう。悪の力から逃れる道はあるのだろうか。』あります。

教会員は次の方法によって誘惑を克服することができま

す。(1) イエス・キリストの福音の指導原則や教義に従順であり，(2) 預言者をはじめとする指導者たちの勧告に従い，(3) 聖霊の力を常に感じられるような生活を送ることです。

福音の原則と聖約を守れるように心を訓練してください。個人と家族の祈りという高速道路を走り，預言者の教えと聖文を学ぶという通りを歩き，教会での奉仕という道路を外れないようにしてください。誤った道を日々遠ざけるように努め，永遠の命に続く義にかなった道を行くようにしましょう。誘惑に対する最強の防御は，イエス・キリストに対する活気あるいきいきとした証です。わたしたちはその証によって天父と結ばれています。」(「誘惑」『聖徒の道』1996年7月号，89)

世の中にある邪悪から自身を守るよう生徒を励ます。

はじめに

預言者ゼノスはキリストが十字架につけられるときに暴風雨，火，地震，3日間の暗闇が伴うと預言した（1ニーファイ19：10－14参照）。この預言の成就は3ニーファイ8－10章に記録されている。これらの大変動の中で，地の全面が変化して，多くの人々と市が破壊されたが，「ひときわ義にかなった人々」は命を助けられた（3ニーファイ10：12）。主は御自分の民に語りかけて慰めを与えられた。

3ニーファイ8－10章からわたしたちが学ぶことのできる一つの真理は，苦難の中にあってもイエス・キリストの言葉に聞き従うことによって平安と希望を見いだせることである。これらの章を読むときに，主が教えておられることはわたしたちを希望と救いに導くということに注目する。

学び取るべき重要な福音の原則

- 神権の力を生活の中で行使するには，ふさわしくなければならない（3ニーファイ8：1参照。教義と聖約50：29；121：34－46も参照）。
- 預言者を殺したり，預言者の証を否定したりする人々は最終的に滅ぼされるが，義にかなった人々は祝福を受ける（3ニーファイ8：5－25；9：5－13；10：12－13，18－19参照。教義と聖約1：14；97：21－26も参照）。
- キリストは，福音の原則と儀式に従うことによってみもとに来る人々に慰めと喜びと永遠の命を授けようとしておられる（3ニーファイ9：14－10：10参照）。
- モーセの律法は救い主の贖いの犠牲によって成就し，もはや燔祭は要求されない。これに代わって，主は打ち砕かれた心と悔いる霊を犠牲としてささげるよう求めておられる（3ニーファイ9：16－20参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』122－124。

教え方の提案

3ニーファイ8：1－9：14。預言者を殺したり，預言者の証を否定したりする人々は最終的に滅ぼされるが，義にかなった人々は祝福を受ける。（20－25分）

教室をできるだけ暗くするか，生徒に目を閉じさせる。あなたが3ニーファイ8：1－23を読む間（録音を使ってもよい）耳を傾けて，これらの節で描写されている出来事を思い浮かべるように言う。読み終えたら，以下の質問をする。

- これらの節の中でどのようなことに最も感銘を受けたでしょうか。
- これらの節に耳を傾けている間，どのようなことを感じましたか。
- この破壊を経験した人々はどのような気持ちだったと思いますか。

生徒に，マタイ27：45－54を読んで，イエスが十字架につけられたときエルサレムで起きたことを探すように言う。以下の質問をする。

- アメリカ大陸で起きたこととどのような共通点があるでしょうか。
- なぜ暗闇と破壊がイエス・キリストの死に伴ったと思いますか。
- ヨハネ8：12を読んでください。この聖句は暗闇がイエス・キリストの死に伴った理由を理解するうえで，どのように助けとなるでしょうか。

3ニーファイ9：10－14を読んで，以下の質問をする。

- 暗闇と破壊は義人に対してどのような影響を与えたでしょうか。邪悪な人に対してはどうでしょうか。
- 主はどのような理由で邪悪な人々を滅ぼされたのでしょうか。

イエス・キリストの再臨の前にも破壊と惨事が起きることを生徒に告げる。そのようなときにわたしたちは祝福を受け，守られ得ることを証する。生徒に，教義と聖約1：14；109：22－26を読んで，わたしたちはこの守りをどのようにして，あるいはどこで見いだせるかを探すように言う。生徒に，3ニーファイ11：1を読んで，破壊の後にニーファイ人はどこに集まったかを見つけるように言う。七十人会員であるランス・B・ウィックマン長老の以下の話を紹介する。

「主はエルサレムの神殿に最後の別れを告げ，弟子たちを連れてオリブ山の頂に登られました。救い主はそこで，エルサレムの滅亡と主の再臨に先立って起こる数々の異変を預言されました。続いて，当時の弟子たちのみならず，現代の弟子たちに対して，次のようなきわめて重要な警告をお与えになりました。『***聖なる場所に立たなければならない***。読む者は理解しなさい。』（ジョセフ・スミス―マタイ1：12，強調付加。マタイ24：15も参照）この聖句の意味は，末日の啓示によって明らかにされました。争いや大災害，疫病が地を覆う末の日には，二つの王国，すなわちシオンとバビロンが，人々の魂を勝ち取ろうとしてすさまじい闘争を展開すると教えているのです。このような末日の嵐を避けるために，『聖なる場所に立たなければならない』という訓戒が繰り返し述べられています（教義と聖約45：32。教義と聖約87：8；101：16－23も参照）。そのような神聖な場所を代表するもの，ほかのすべてのものへの鍵（かぎ）となるのが主の神殿です。」（「聖なる場所に立たなければならない」『聖徒の道』1995年1月号，90）

3ニーファイ8－10章。キリストは，福音の原則と儀式に従うことによってみもとに来る人々に慰めと喜びと永遠の命を授けようとしておられる。（30－35分）

生徒がこれまでに経験した最も悲惨な自然災害について，またその災害からどのような影響を受けたかについて話すように言う。あるいはニュースで見た恐ろしい自然災害について詳しく話させてもよい。以下の質問をする。

- 被災した地域はどのような影響を受けたでしょうか。
- 破壊から復興するその社会や住民を支援するためにどのようなことが行われたでしょうか。

生徒に，3ニーファイ8：1－22を素早く読んで，イエス・キリストが亡くなられたときにアメリカ大陸で起きた破壊を詳しく調べるように言う。以下の質問をする。

- これらの出来事はあなたが目撃した，あるいは読んだ自然災害とどのような共通点があるでしょうか。
- 3ニーファイ8：23－25を読んでください。この破壊は生き残った人々にどのような影響を与えたでしょうか。

生徒に，参照聖句を読んで，以下の質問の答えを見つけるように言う。

- この破壊はだれが引き起こしたのでしょうか（3ニーファイ9：3－8参照）。
- なぜこの破壊が起きたのでしょうか（3ニーファイ9：9－12参照）。
- このときにどのような人々が命を助けられたでしょうか（3ニーファイ9：13；10：12－13参照）。
- サタンはこの破壊に対してどのような反応を示したでしょうか（3ニーファイ9：2参照）。

この暗闇（くらやみ）と悲嘆の時期に，主は人々に語りかけて平安と慰めを与えられたことを生徒に告げる。十二使徒定員会会員のロバート・D・ヘイルズ長老の以下の言葉を紹介する。

「イエス・キリストの完全な福音は，緊張の多いこの世で，大きな慰めを与えてくれます。暗闇の中に光を，混迷の中で静かな力を与えてくれます。この世で味わう絶望に永遠の希望の火をともします。それは単なる美しい教義ではなく，生活の中の現実です。つまり，従順になって，神の授けてくださる永遠の報いを得られるなら，また，もし神に近づき永遠の教えを受け入れるなら，わたしたちは確かに祝福された者となるのです。」（「永遠の家族」『聖徒の道』1997年1月号，75）

生徒に，3ニーファイ9：14－10：10を読ませる。救い主のメッセージの中から，希望と慰めと光を与えると思われる箇所を挙げるように言う。それらについて全員で話し合う。以下の質問をする。

- 救い主のメッセージはどのように人々の慰めとなったと思いますか。
- 救い主のメッセージはわたしたちに対して，どのように慰めと平安を与えているでしょうか。

はじめに

十二使徒定員会会員のジェフリー・R・ホランド長老は，復活された主がニーファイ人に現れてメシヤであると宣言されたことについて，次のように記している。「これはモルモン書全体の歴史の中で焦点となるところであり，至高の瞬間でした。それは，それまでの600年間，ニーファイ人のあらゆる預言者を活気づけ，鼓舞し続けてきた，神の定められた出来事でした。それ以前の数千年間，イスラエル人とヤレド人の先祖もこのことによって精神を高揚させてきたことは言うまでもありません。

あらゆる人がこの御方について語り，歌い，夢を描き，来臨を祈ってきました。そして今，ここにその御方がおいでになったのです。それは至高の日でした。すべての闇夜（やみよ）を朝の光へと変える神がおいでになりました。」（*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，250－251）

学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストは御自身の復活について自ら証（あかし）するために，かつて地上を訪れ，そして再び地上に姿を現される（3ニーファイ11：1－19参照。教義と聖約93：1；ジョセフ・スミス―歴史1：16－17も参照）。

- バプテスマは救いに不可欠な神権の儀式である。神に受け入れられるバプテスマは該当する神権の権能を受けた人によって正しい方法で執行されなければならない（3ニーファイ11：20－34参照。ヨハネ3：5；教義と聖約132：7も参照）。
- 主の教義には主イエス・キリストを信じる信仰，悔い改め，水に沈めるバプテスマ，聖霊の賜物が含まれる（3ニーファイ11：31－41参照。ジョセフ・スミス訳ヘブル6：1－3も参照）。
- 神は地上で御業を行うために僕たちを召し，権限をお与えになる。わたしたちは神の僕たちに従うときに祝福を受ける（3ニーファイ12：1－2参照。教義と聖約84：36－38；信仰箇条1：5も参照）。
- 主は御自身の教えについて模範を示す人々を祝福される（3ニーファイ12：3－16参照）。
- イエス・キリストは贖いの犠牲によってモーセの律法を成就し，完全な福音を再び明らかにされた（3ニーファイ12：17－47参照）。
- わたしたちは天父とイエス・キリストのように完全になるために努力するべきである（3ニーファイ12：48参照。マタイ5：48も参照）。
- わたしたちは神と隣人に仕えるときに，人に見せるためでなく，愛によって行うべきである（3ニーファイ13：1－8，16－20参照。モロナイ7：6も参照）。
- 天父はわたしたちの祈りを聞いて，こたえてくださる（3ニーファイ13：6；14：7－11参照。2ニーファイ32：9も参照）。
- 主は，わたしたちがどのように人々を裁き，赦すかに基づいて，わたしたちを裁き，赦してくださる（3ニーファイ13：14－15；14：1－5参照。教義と聖約64：9も参照）。
- わたしたちはその実によって義と邪悪とを見分けることができる。義にかなった人だけが天の王国に入ることができる（3ニーファイ14：12－27参照。ルカ6：46－49も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』125－128。

教え方の提案

3ニーファイ11：1－19。イエス・キリストは御自身の復活について自ら証するために，かつて地上を訪れ，そして再び地上に姿を現される。（20－25分）

生徒が教室に入って来るときに，録音された音楽か話を音量を絞って，かすかに流しておく。テープを止めてから，開会の祈りをする。それから，何人の生徒がテープの音に気づいたかを尋ねる。以下の質問について話し合う。

- 音楽（または話）に注意を向けましたか。なぜ注意を向けましたか。なぜ注意を向けませんでしたか。
- クラスが始まる前に，ほかにどのような音や雑音に注意を奪われていたでしょうか。
- 音楽（または話）に耳を傾けられるような状態だったしょうか。
- どのようなことがあれば，特別な注意を向けていたでしょうか。

3ニーファイ11：1－6を読んで，以下の質問をする。

- これらの節はクラスが始まるときに流されていた録音との間にどのような共通点があるでしょうか。
- 人々はなぜ最初の2回まで意味を理解できなかったのでしょうか。
- 「耳を開い〔た〕」（5節）とはどのような意味だと思いますか。
- 神の言葉を理解するために，わたしたちはどのように「耳を開く」ことができるでしょうか。

3ニーファイ11：7－11を読んで，これらの節で述べられている幾つかの大切な真理を挙げるように言う。（天父とイエス・キリストは二人の別個の御方であられる，イエスは天父の御子であられる，神は人に御姿を現すことが可能であられる，人は神の形にかたどって造られているなどの答えが含まれる。）以下の質問をする。

- これらの真理は神会について今日の世の中にある誤解をどのように一掃しているでしょうか。
- ニーファイ人への救い主の現れはジョセフ・スミスへの現れとどのように似ているでしょうか（ジョセフ・スミス－歴史1：16－17参照）。
- イエス・キリストの前にいるとはどのようなことだと思いますか。

十二使徒定員会会員だったメルビン・J・バラード長老の以下の出来事を紹介する。

> 「そのような状況の下で，ある日わたしは主に祈り求めていると，その晩，以後二度と忘れることのできないすばらしい示現と印象を受けたのです。わたしはこの場所〔ソルトレーク神殿〕，つまりこの部屋に連れて来られ，……さらにもう一つの特権が与えられると言われ，ある部屋へ通され，そこでだれかに会うことになっていると告げられました。部屋に入ると，一段高い所に座っている方がおられました。それはこれまでに出会ったことのない栄光に満ちた御方でした。わたしは前の方へ導かれ，その御方に紹介されました。近づくと，その御方はにっこりと笑ってわたしの名前を呼び，両手を差し伸べられました。たとえ百万歳になるまで生きたとしても，わたしは決してその笑顔を忘れないでしょう。その御方は両腕でわたし抱き締め，口づけをしてくださいました。わたしを祝福してくださり，わたしの全身は喜びに震えました。祝福が終わるとわたしはその御方の足もとに伏しました。そして釘跡のあるその御方の足に口づけをし，深い喜びに満たされ，まさしく天国にいるという気持ちを味わったのです。そのとき次のような強い思いがわき起こってきました。これから……ふさわしい生活を送り，……主の御前に行き，そのとき主にまみえて感じた気持ちを再び味わえるように，現在，そして将来にわたってわたし自身のすべてをささげようと。」（*Melvin J. Ballard. . . Crusader for Righteousness*〔1966年〕，66）

生徒に，3ニーファイ11：12－19から救い主がニーファイ人を訪れられた神聖な出来事を読むように言う。以下の質問について話し合う。

- 人々は救い主に対して愛と尊敬を表すために何をしたでしょうか。
- 救い主はその場にいた2,500人一人一人に愛を示すために何をされたでしょうか。
- この出来事であなたが最も感動したのはどのようなことでしょうか。
- 救い主はあなたたち一人一人に対してどのような関心を示しておられるでしょうか。
- あなたは主があなたを愛しておられることをどのようにして知っていますか。

3ニーファイ11：20－27，31－41。バプテスマは救いに不可欠な神権の儀式である。神に受け入れられるバプテスマは該当する神権の権能を受けた人によって正しい方法で執行されなければならない。（20－25分）

以下の正誤クイズを行う。

1. バプテスマは正しい神権の権能を持つ人によって執行されなければならない。（正。3ニーファイ11：21－22参照）
2. 現在，バプテスマを執行する人は志願者の名前を呼んで，「わたしはイエス・キリストより権能を受けたので，御父と御子と聖霊の御名によって，あなたにバプテスマを施します。アーメン」と言う。（正。25節；教義と聖約20：73参照）
3. バプテスマを受ける人は水中に完全に沈められなければならない。（正。3ニーファイ11：26参照）
4. 日の栄えの王国を受け継ぐにはバプテスマの儀式を受けなければならない（正。33節参照）
5. バプテスマの要件には，バプテスマを受けることを望み，罪を悔い改めることが含まれる。（正。37－38節参照）
6. バプテスマを受けるとき，わたしたちは特に，主の名を受け，主に仕え，いつも主を覚え，主の戒めを守ることを聖約する。主はこれに対して，わたしたちがふさわしいかぎり，常に聖霊を伴侶とすることのできる聖霊の賜物を与えてくださる。（正。モーサヤ18：8－13；教義と聖約20：37参照）

3ニーファイ11：20－27，31－41を読んで，クイズの正解を確認する。クイズの質問に関する節を見つける度に，そこで止めて，答えについて全員で話し合う。バプテスマについて預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を分かち合う。

「バプテスマは，わたしたちは神の御心を行うという，神と天使と天への一つのしるしです。人が神のもとに行って救いを得て，神の王国に入る方法として，神が人のために定められたものは，イエス・キリストを信じる信仰，悔い改め，罪の赦しのためのバプテスマ以外，天の下にいかなる方法もありません。そして，ほかの道はいかなるものも，むなしい道です。さらにその後に，聖霊の賜物という約束があります。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕，198）

正しいバプテスマを執行する権能は今日，末日聖徒イエス・キリスト教会以外に存在しないことを証する。

3ニーファイ11：29（マスター聖句）。わたしたちは教義についてほかの人々と口論しないように命じられている。（10－15分）

生徒に，最近の経験の中から，口論を目撃したときあるいは口論に加わったときのことを思い出させる。以下の質問をする。

- 口論している間あなたはどのような思いを抱いたでしょうか。
- 口論の後にどのような雰囲気が残ったでしょうか。
- 口論に参加した人たちは，どのように決着をつけたでしょうか。
- 宗教に関する討論や論争を目撃したことがあるでしょうか。
- その討論の間，御霊はどれほど強く働いていたでしょうか。
- いずれか一方の人たちは相手側の主張に納得したでしょうか。それはなぜでしょうか。
- 主は宗教に関する討論をどのように考えておられると思いますか。

3ニーファイ11：28－30を読んで，主が論争について教えておられることを見つける。ヨハネ17：20－23を読んで，以下の質問をする。

- これらの節によって，論争に関する救い主の教えについて，わたしたちの理解はどのように深まるでしょうか。
- 論争の根源はだれでしょうか（教義と聖約10：63参照）。
- 3ニーファイ11：27を読んでください。この節に記されている神会に関する教えを読むと，わたしたちが論争を避けなければならない理由について，さらにどのようなことが分かるでしょうか。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老の以下の話を分かち合う。

「教会の神聖な教義も，論争好きな霊を持つ人々にとって，またとない標的となります。……

議論を引き起こすような方法で教義を分析し，人の注意を集めようとするのは，主の喜ばれることではありません。……

争いは不一致を生みます。……

では，この争いという害毒を取り除くには何ができるでしょうか。争いの精神に代えてわたしたち一人一人が心の平安を取り戻すには，どのようなステップを踏めばよいでしょうか。

まず手始めに，人々に思いやりを示しましょう。舌を抑え，ペンやワードプロセッサーをコントロールしましょう。言い返したくなるときは，次の箴言の言葉を思い出してください。『隣り人を侮る者は知恵がない，さとき人は口をつぐむ。』（箴言11：12。17：28も参照）……

争いというひどい害毒から生じた痛みは，神への愛によって人々の心から消えていきます。……この決意が家族や友人の間に広がり，やがては近隣や国全体に平安が広がるのです。」（「『争い』という害毒」『聖徒の道』1989年7月号，72－73）

生徒に争いを避けるように奨励する。

3ニーファイ12：3－16。主は御自身の教えについて模範を示す人々を祝福される。（15－20分）

だれの言葉かを明かさずに，預言者ジョセフ・スミスの次の言葉を分かち合う。「幸福こそ，わたしたちの存在する目的であり計画であ〔る〕。」生徒に，この言葉が真実かどうかを尋ねる。次のように質問する。「皆さんの中で幸福になりたい人はどれくらいいるでしょうか。」

この言葉はジョセフ・スミスが語ったものであることを明らかにして，残る言葉を紹介する。「幸福こそ，わたしたちの存在する目的であり計画である。わたしたちがそこに通じる道に従って行けば，最後に到達できるものである。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，255）

以下の質問について話し合う。

- 幸福につながる道とは何でしょうか。
- ジョセフ・スミスが述べたような幸福を得るにはどうすればよいでしょうか。
- セミナリーの生徒の今後5年間の生活で起こり得る事柄の中で，どのような出来事が幸福につながるでしょうか。
- 幸福になると思っていたところ，後になって実際にはそうならなかったことを経験したことがあるでしょうか。もしあれば，それはどのようなことでしたか。
- それはなぜ幸福をもたらさなかったと思いますか。

生徒に青写真を見たことがあるか，あるいは使ったことがあるかを尋ねる。以下の質問をする。

- 青写真が役に立つのはなぜでしょうか。
- 建築家が青写真を使わなかったらどのようなことが起きるでしょうか。

完全な生活の「青写真」や設計図に関心があるかどうかを生徒に尋ねる。ハロルド・B・リー大管長はどこで青写真を見つけられるかについて述べていることを説明する。

> 「主は山上の垂訓の中で，御自分の持つ資質が完全であることを少し明らかにしておられます。それは，『行いによって一語一語を書き記した自叙伝』と言うこともできるものでした。主はこれによってわたしたちの生活の青写真を与えておられるのです。
>
> それぞれが『さいわいである』という語によって宣言されています。……『さいわいであるとは，魂そのものの内からわき出る喜びであって，外観には大きな影響を及ぼさない。』〔*A Commentary on the Holy Bible*，J・R・ダメロー編（1909年），639〕主のこれらの宣言はキリスト教世界の文学では至福の教えとして知られており，聖書学者は天の王国に入るために必要とされる準備であるとしています。……あなたやわたしにとってはそれだけでとどまるものではないと申し上げたいのです。これらは実際，*完全な生活の憲法*なのです。」（*Decisions for Successful Living*〔1973年〕，56－57）

一人の生徒にマタイ5：1－12を声を出して読ませる。ほかの生徒はその間，3ニーファイ12：1－12を黙読する。これら二つの出来事の違いを探すように言う。各節を読んだら，そこで止まって，以下の質問について話し合う。

- この教えをどう思いますか。（例えば，3節について「心の貧しい人」の意味を尋ねてもよい。）
- モルモン書の記述は至福の教えについての理解をどのように増し加えているでしょうか。
- この教えに従って生活することは喜びと幸福を見いだすためにどのような助けになるでしょうか。

至福の教えに関する以下の洞察を参考にするとよい。

> 「これらの簡潔で選び抜かれた教えは，まとまりのない平凡な言葉ではありません。それぞれが互いに関連しています。ニーファイ人への説教とジョセフ・スミス訳に示されているもっと完全な記述から眺めてみることにしましょう。至福の教えは最初に人が神に対してどのような関係にあるのかを明らかにしています。そこには，イエス・キリストを信じる信仰，悔い改め，バプテスマ，罪の赦し，聖霊を受けることなどが述べられています。（この部分は欽定訳聖書から省かれています。）次に，人の自分に対する感情，すなわち内から出る感情を採り上げています。例を挙げると，心の貧しい人々，悲しむ人々，柔和な人々，義に飢え渇いている人々は，幸いである。次に，他人に対する態度に強調点が移っています。平和を作り出す人々は，幸いである，がその例です。そして最後に，4番目の強調点です。他人の示す態度にどのように対応すべきかという点です。このように，義のために迫害される人々，偽りに基づいたののしりや迫害を受ける人々は幸いなのです。」（ロバート・J・マシューズ，*A Bible! A Bible!*〔1990年〕，240）

七十人会員であったロイデン・G・デリック長老の以下の言葉を分かち合う。

> 「救い主は山上の垂訓の結びに，天の父が完全であられるように，あなたがたも完全な者となりなさい，と励まされました。以上のステップは，順序よく並んでいますが，わたしたちはそれぞれの徳を完全に身に付けるよう，常に努力しなければなりません。」（「完成への道」『聖徒の道』1989年7月号，81）

至福の教えにある神聖な原則と一致した生活を送ることにより，完成を目指して努力するよう生徒を励ます。

3ニーファイ12：13－16。救い主は，人々に仕え人々の模範となるようわたしたちに教えておられる。（15－20分）

少量の塩を手に持って，見せる。塩はどのような点で役立つかを尋ねて，生徒の答えを黒板に書き出す。（味を引き立てる，食物を保存する，薬品として利用できる，基本栄養素であるなどが含まれる。）モーセの律法の下で，主へのささげ物は塩で風味をつけられていたことを説明する（レビ2：13参照）。古代イスラエルにおいて塩は聖約を交わす象徴として用いられていた（歴代下13：5参照）。

生徒に3ニーファイ12：13を読むように言う。次のように質問する。「だれが『地の塩』になるべきでしょうか。」黒板に書き出した塩の特質と，救い主がわたしたちに伸ばすよう望んでおられる特質の関連を理解できるように，以下のような質問をする。

- 教会員はどのようにして人々の生活に「塩味をつける」ことができるでしょうか。（人々に仕え，福音を分かち合うことによって。）
- わたしたちは福音の真理に関する知識によって，どのように人々の命を「保存する」ことができるでしょうか。（福音の儀式を受けるよう人々を導くことによって。または，死者のために神殿の儀式を行うことによって。）
- 教会員でない人々に対してわたしたちはどのような方法で「癒し」をもたらすことができるでしょうか。
- 福音はどのような意味で，わたしたちの生活の「基本栄養素」となるでしょうか。

生徒にもう一度3ニーファイ12：13を読んで，「しかし，もし塩がその塩気を失ったら，地は何によって塩味をつけられようか」に印を付けるように言う。以下の質問をする。

- この質問はどのような意味でしょうか。
- どのようなときに塩はその味を失うでしょうか。（不純物が入ることによって。）
- わたしたちはどのような行いによって塩気を失い，あるいは不純物が紛れ込んで，人々に祝福をもたらすことができなくなるでしょうか。

ロウソクを生徒に見せる（火をつけてはならない）。3ニーファイ12：14－16を読んで，光の持つ特性を挙げるように言う。（暖を与える，闇の中でも物を見えるようにする，など。）以下の質問をする。

- 光の持つこれらの特性は，どのような霊的な特質を象徴することができるでしょうか。
- あなたの「光」をもっと明るくするにはどうしたらよいでしょうか。
- 人々の模範となって，あなたの光を人々に見せることはなぜ大切なのでしょうか。
- 3ニーファイ18：24を読んでください。この聖句はわたしたちの光を輝かすことについての理解をどのように広げているでしょうか。
- わたしたちの模範を見る人々が，わたしたちよりもむしろ「天におられる〔わたしたちの〕父をあがめるように」（3ニーファイ12：16）することはなぜ大切なのでしょうか。

ほかの人から祝福を受けた経験について分かち合うよう勧める。生徒が生涯を通じて「地の塩」となり，「この民の光」となることができるように，天父と交わした聖約を守るよう奨励する。

3ニーファイ12：17－47。イエス・キリストは贖いの犠牲によってモーセの律法を成就し，完全な福音を再び明らかにされた。イエス・キリストの福音はモーセの律法よりも高度の律法である。（20－30分）

高さを3段階に変えた3つの踏み台を作って，高い方から順に教室の前に並べる。（生徒が乗っても安全であるように，大きく丈夫な箱などを使う。）「律法がない」「モーセの律法」「イエス・キリストの律法」と表示した紙を用意しておく。3人の生徒に紙を渡して，表示された言葉に最も適合していると思う踏み台に立つように言う。以下の質問をする。

- あなたはなぜその踏み台を選びましたか。
- モーセの律法は律法がない状態より，なぜ高いのでしょうか。
- キリストの律法はモーセの律法より，なぜ高いのでしょうか。

3ニーファイ12：17－18を読んで，イエス・キリストはモーセの律法を成就して，高度の律法を付け加えられたことを説明する。19－20，46－48節を読んで，キリストの律法は人々が何を成し遂げるために助けとなるかを見つける。21－45節を読んで，キリストの高度の律法の例を見つける。この高い律法の大切さについて，またわたしたちの生活に応用する方法について話し合う。生徒が「古い」律法と「新しい」律法の違いが分かるように，以下の表の内容を3枚の紙に書き移すとよい。

律法がない	モーセの律法	イエス・キリストの律法
• あなたは何でも望むことを他人に行える。他人もあなたに対して何でも望むことを行える。	• 殺してはならない（3ニーファイ12：21参照。出エジプト20：13も参照）。 • 姦淫してはならない（3ニーファイ12：27参照。出エジプト20：14も参照）。 • 主に対して交わした，あるいは主の名の下に交わした誓いを破ってはならない（3ニーファイ12：33参照。民数30：2も参照）。 • 公平――目には目を（3ニーファイ12：38参照。レビ24：20も参照）。 • 隣人を愛しなさい（3ニーファイ12：43参照。レビ19：18も参照）。	• 怒ってはならない（3ニーファイ12：22－26参照）。 • 情欲を抱いてはならない（3ニーファイ12：28－30参照）。 • 誓ってはならない。あなたの言葉だけで十分である（3ニーファイ12：34－37参照）。 • 憐れみ――ほかの頬を向けてやりなさい（3ニーファイ12：39－42参照）。 • あなたの敵を愛しなさい（3ニーファイ12：44－45参照）。

神の律法に従うことによって得られる祝福について証する。福音の律法と戒めに従って生活するよう生徒を励ます。

3ニーファイ12：48。イエス・キリストはわたしたちに完全になるよう命じられた。（15－20分）

調査を行うことを生徒に告げる。以下の質問を順に読み，その質問の答えが「はい」であれば手を挙げるように言う。

1. 天父は，わたしたちに完全になるよう本気で望んでおられるのでしょうか。
2. 日の栄えの王国に入るには，この世にいる間に完成した状態に到達する必要があるのでしょうか。

3. わたしたちは完全になれるでしょうか。
4. この世での完成と永遠の完成には違いがあるでしょうか。

調査の結果について簡単に話し合う。クラスを4つのグループに分ける。各グループに質問を一つ割り当てて，質問の次に記されている参照聖句と文章を読むように言う。代表者にグループで見つけたことを発表させる。

1. 天父は，わたしたちに完全になるよう本気で望んでおられるのでしょうか。

2ニーファイ25：23。わたしたちは完全になるよう命じられている。わたしたちはできるすべてを行った後に，イエス・キリストの贖いによって救われ，完成される。

「救い主は新旧両世界において，人々に『それだから，……あなたがたも完全な者となりなさい』〔マタイ5：48。3ニーファイ12：48も参照〕とお命じになりました。その欽定訳聖書の脚注には『完全』と訳された言葉に当たるギリシャ語には『完全な，完成した，完全に発達した』などの意味があると説明されています。天の御父はわたしたちに，この現世の試しの時間を用いて，自分自身を完全に成長させ，才能や能力を最大限に活用するようにと望んでいらっしゃいます。もしそうするならば，わたしたちは最後の裁きのときに，『完全な，完成した』息子，娘として，また従順な生活を通して磨き上げられ，御父が忠実な人々に約束された受け継ぎにふさわしい者として，喜びをもって天の御父の御前に立つことができるでしょう。」（「備えの時」『聖徒の道』1998年7月号，15－16）

2. 日の栄えの王国に入るには，この世にいる間に完成した状態に到達する必要があるのでしょうか。

教義と聖約14：7；67：13；93：11－14，19－20。日の栄えの王国に入るために，この世にいる間に完成した状態に到達する必要はない。

「教会員はまっすぐで狭い道に入り，善を行うために苦しみながら努力しているにもかかわらず，この世においては完成した状態から程遠いのです。まっすぐで狭い道を歩きながらこの世の生涯を終えた人は，御父の王国で永遠の報いを受けるために次の場所へ進みます。

わたしたちはコンプレックスを感じる必要もなければ，救われるために完全でなければならないと考える必要もありません。そのような必要はないのです。これまで，主イエスを除いて完全な人はいませんでした。けれども，神の王国で救われ，この世の試験に合格するためには，永遠の命に至るまっすぐで狭い道を，永遠の命へ導く進路を綿密に計画しながら歩んでいなければなりません。そして，この道を歩みながら教会員としての資格を完全に保ったままこの世を去るのです。戒めを守らなくてもよいと言っているのではありません。救いを得るために完全である必要はないと言っているのです。」（ブルース・R・マッコンキー，*The Probationary Test of Mortality*〔1982年1月10日，ユタ大学インスティテュートにおける講話〕，12）

「はしごを登るときは，いちばん下から始めて，1段1段上って行かなければなりません。そしてついには，いちばん上の段にたどり着くのです。福音の原則についても同じです。あなたがたは第1のものから始めなければなりません。そして学び続けて，ついに，昇栄に関するすべての原則を学ぶのです。しかし，あなたがたがそれらを学び終えるのに，幕のかなたへ行っても長い時間を要するでしょう。この世ですべてを理解できるわけではないのです。救いと昇栄について学ぶことは，幕のかなたでも続く大いなる業なのです。」（ジョセフ・スミス，*History of the Church*，第6巻，306－307）

3. わたしたちは完全になれるでしょうか。

モロナイ10：32－33。完全になる力はわたしたちが神と神聖な聖約を交わして守るときに，イエス・キリストの贖罪を通して与えられる。

「自分の行いに対して責任を負える人で，神殿の儀式を受けなくても日の栄えの王国で昇栄にあずかれる人は一人もいません。エンダウメントと結び固めの儀式は個人の完成のために存在し，わたしたちの忠実さを通して確かなものとされます。

この条件は，わたしたちの先祖ともかかわっています。……

……完成はこれからもたらされるのです。それは復活の後のみに，主を通してだけ完全にもたらされるのです。それは主を愛し，主の戒めを守る人すべてに用意されています。」（ラッセル・M・ネルソン「完成への道」『聖徒の道』1996年1月号，97－98）

4. この世での完成と永遠の完成には違いがあるでしょうか。

マタイ5：48；3ニーファイ12：48。イエス・キリストが御自身を完全であると言われたのは復活後であったことに注目する。完成には二つの種類がある。現世での完成，これは現世で一定の務めに熟達することであり，永遠の完成は復活の後にしか実現しない。

「この世では，ある種の行いにおいては完全になることが可能です。野球の投手はノーヒットノーランの投球をすることができます。外科医は一つの間違いもなく手術を行うことができます。音楽家は，1か所も間違わずに曲を奏でることができます。同様にわたしたちも時間を守ったり，什分の一を納めたり，知恵の言葉を守ったりすることにおいて完全になれます。……

聖文には，ノア，セツ，ヨブのことが**完全な人**として記述されています。……

このことは，彼らが何の誤ちも犯さず，間違いを正す必要が一度もなかったという意味ではありません。完成への道には，克服すべきチャレンジや，非常な苦痛を伴うかも

しれない悔い改めの段階が含まれます。……

現世での完成は，わたしたちがすべての務めを果たし，すべての戒めを守り，天父が御自分の属する世界において完全であられるように，わたしたちも自分の置かれた状況の中で完全になろうと努力するときに達成されます。もし最善を尽くすなら，主はわたしたちの行いと心の望みに応じて祝福してくださいます。

しかし，イエスは現世での完成以上のことを望んでおられます。主は『天におられるあなたがたの父が完全であるように』と言われたとき，同時に，現世という境界を超えたところまでわたしたちの視点を引き上げられたのです。永遠の御父は永遠の完成を遂げておられます。……

救い主がわたしたちのために心に描いておられる完成とは，『過ちのない行為』以上のものです。それは永遠の視野に立った期待であり，主が御父にささげられた次の偉大な執り成しの祈りにも表れています。『わたしたちが完全になれますように，そして永遠にともに住まうことができますように。』……

復活は永遠の完成を遂げるうえで不可欠です。イエス・キリストの贖いのおかげで，現世での朽ちる肉体は，朽ちない肉体になるのです。わたしたちの肉体は，今は病や死，衰えから逃れられない状態にありますが，不死不滅の栄光を受けられるようになるのです。現在わたしたちの命は血に支えられ，絶えず老化していますが，復活によりこの肉体は霊に支えられるようになり，老いることなく死の縄目を解かれたものとなれるのです。

永遠の完成は，万事を克服し，天の住まいで御父の完全を受け継いだ者に約束されています。完成は永遠の命，すなわち，神が有しておられる命と同じ命を得ることにより成し遂げられます。」（ネルソン「完成への道」95－97）

3ニーファイ13：1－24。わたしたちは神と隣人に仕えるときに，他人に見せるためでなく，愛によって行うべきである。（25－35分）

聖餐（せいさん）を祝福している絵（『福音の視覚資料セット』603）と聖餐のパスをしている絵（604）を見せる。次のように質問する。「聖餐を祝福し，聖餐を受けることはなぜ正しいことなのでしょうか。」十二使徒定員会会員のダリン・H・オークス長老の以下の話を読む。

「ある人が，正しいと思われる行いをしているとします。しかし，たとえば利己的な目的を遂げるためなど，間違った理由に基づいて行っているならば，その人の*手*は清いかもしれませんが，*心*は清くないのです。その行いは義にかなったものとして数えられません。……

正しいことを*行えば*，それでよいというわけにはいかないのです。正しい理由に基づいて行わなければなりません。現代用語でいうところの，***正しい動機***です。聖文ではこの適正な精神的姿勢はしばしば，***十分に固い決意をもって***，とか，***誠意をもって行動し***という言葉で表現されています。聖文は神がわたしたちの動機を理解しておられ，それによって行いを裁かれることを明確にしています。」（*Pure in Heart*〔1988年〕，13，15）

オークス長老の言葉は2枚の絵とどのような関係があるかを生徒に尋ねる。以下の質問をする。

- 聖餐（せいさん）を祝福し，聖餐を受ける正しい動機にはどのようなことがあるでしょうか。
- 聖餐を受けることによって得られる祝福は，聖餐を受ける動機によってどのように異なったものとなるでしょうか。

生徒に『聖句ガイド』から「施し」の定義を読むように言う（241－242）。3ニーファイ13：1－4を読んで，以下の質問について話し合う。

- これらの節は正しい動機を持つことについて，どのようなことを教えているでしょうか。
- 救い主はどのようなことについて警告を与えておられるでしょうか。
- これは什分（じゅうぶん）の一を納めることや，そのほか信仰と礼拝の行いに対してどのように当てはまるでしょうか。

生徒に「偽善者」の意味を尋ねる。（義にかなっているようなふりをしているが，実はそうではない人。ギリシャ語の偽善者の意味は，「演劇の役者」または「わざとらしく装う人または一部を誇張，つまり大げさに表現する人」と定義されている。）3ニーファイ13：5－15を読んで，以下の質問をする。

- 救い主はこれらの節でどのようなことについて警告しておられるでしょうか。
- これらの教えはあなたの祈りを改善するうえでどのように助けとなるでしょうか。
- 祈るときにどのようなことを避けるべきでしょうか。

3ニーファイ13：16－24を読んで，これらの節が今話し合ったことに対してどのように当てはまるかを見つける。管理監督を務めていた時代にロバート・D・ヘイルズ監督が語った以下の言葉を紹介する。

「自分の動機についてよく吟味しなければなりません。正しい決定を下しているかどうかを調べる良い方法は，決定を下す際の自分の動機をよく考えてみることです。こう自問してみてください。『自分の動機には利己的なところがないだろうか。自分が下そうとしている決定は愛の気持ちから出たものだろうか。この決定は，律法の精神からも字義からも戒めにかなったものだろうか。自分の決定は根本的に正しく，高潔で，黄金律に則したものだろうか。自分の決定が他人に与える影響を十分に考慮しただろうか。』

『いっさいの〔決定〕を，愛をもって行いなさい。』（1コリント16：14）

恐れや欲に注意してください。自分のほんとうの動機が何であるか，よく考えてください。」（「正しい選択」『聖徒の道』1989年2月号，12）

3ニーファイ13：25－34。イエスはニーファイ人の12人の弟子たちに主の務めに生活をささげるようお求めになった。（10－15分）

ほかの教会員には求められていない，専任宣教師だけに求められている規則や期待について考えるように言う。（例えば，宣教師は伝道に全時間をささげること，いつも同僚と一緒にいること，毎日同僚とともにまた個人で勉強することが期待されている。）生徒に2分間でできるだけ多くの規則を紙に書き出すように言う。それから書いたことを発表させる。以下の質問について話し合う。

- 宣教師にはなぜこれら特別な規則が設けられているのでしょうか。
- 宣教師がこれらの規則に従うことは伝道を成功させるためにどれほど助けになるでしょうか。

3ニーファイ13：25とマタイ6：25を比較して，どのような違いがあるかを質問する。（3ニーファイ13：25はこれらの指示が12人の弟子に与えられたことを明確にしている。）3ニーファイ13：26－34を読んで，以下の質問をする。

- 12人の弟子にとってこれらの指針は務めを果たすうえでどのような助けになったと思いますか。
- 現在の十二使徒はどのような責任を負っているでしょうか（教義と聖約107：23，33，35参照）。
- 3ニーファイに記されている救い主の指示はわたしたちが今日（こんにち）の十二使徒の召しを理解するためにどのように役立っているでしょうか。
- あなたは教会においてフルタイムで教え導く召しを受けているわけではありませんが，これらの教えをどのように自分の生活に応用できるでしょうか。

3ニーファイ13：33をもう一度読んで，宣教師や使徒だけでなく，神の国を第一に求めるすべての人々に祝福が与えられることを証（あかし）する。

3ニーファイ14章。主はわたしたちがどのように人々を裁き，赦（ゆる）すかに基づいて，わたしたちを裁き，赦してくださる。わたしたちは善悪を見分けるときに判断力を正しく用いるべきである。（45－50分）

一人の生徒に前に来て，生徒たちの方を向いて座らせる。この生徒が「今日の裁判官」を務めることを宣言する。その生徒に次のように質問する。「次のようなことについて気楽に判断できるでしょうか。」

- あなたはだれに自分の友達になってほしいですか。
- どの映画が適切な映画でしょうか。
- 例えばAさんとデートするべきでしょうか，それとも，その人とはデートするべきではないでしょうか。
- クラスのだれが義にかなっていて，だれが邪悪でしょうか。

以上のような事柄について判断する場合，一つ一つがどのように異なっているか話し合う。わたしたちが判断を下すべき事柄や問題と，そうすべきでない事柄や問題があることを説明する。次のように質問する。「その違いはどこにあるのでしょうか。」

ダリン・H・オークス長老の以下の言葉を読む。

> 「ある聖文は裁いてはならないと命じ，ほかの聖文は裁くべきであって，さらにどのように裁いたらよいかが指示されていることにわたしは不可解な気持ちを抱いていました。このように一見矛盾しているような指示は，永遠の見地からとらえるときに，両者の間に一貫性があることが分かります。要は，裁きには2種類あるということです。一つは最終的な裁き（判断）であり，これはわたしたちが禁じられていることです。もう一つは中間の裁き（判断）です。これはわたしたちが行うように指示されています。ただし義にかなった原則に基づいて裁かなければなりません。」（*Judge Not and Judging*〔ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤサイド，1998年3月1日〕，1）

生徒がこれら2種類の裁きを理解できるように付録（000ページ）の「最終的な裁きと中間の裁き」を配付資料として生徒に配るか，オーバーヘッドプロジェクターを使って提示する。この資料を全員で読み，話し合う。

3ニーファイ14：1－2とジョセフ・スミス訳マタイ7：1－2を読む。これらの聖句は裁きに関するオークス長老の説明とどのように一致しているかを質問する。3ニーファイ14：3－5を読んで，以下の質問をする。

- これらの節ではどのような裁きが求められているでしょうか。
- 梁（はり）は何を表しているでしょうか。（個人の罪や弱点）
- 自分の弱点や罪を正しく裁くことはなぜ大切でしょうか。
- 教義と聖約11：12を読んでください。この節によれば，御霊（みたま）に従うことによってわたしたちはどのように義にかなった裁きができるでしょうか。
- 3ニーファイ14：6を読んでください。これらの節の中ではどのような裁き（判断）が求められているでしょうか。
- 神聖な事柄を話す場合に，だれに話すかをよく考えることはなぜ大切でしょうか。

3ニーファイ14：7－11は祈りについて教えていることを生徒に告げる。次のように質問する。「わたしたちは何について祈るべきかを判断する必要があるでしょうか。それはなぜでしょうか。」生徒に，13－14節を読んで，これらの節は裁き（判断）とどのような関係があるかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- 人生でどの道を選ぶかをどのようにして判断したらよいでしょうか。
- この決断をするに当たって，オークス長老の言葉はどのように助けになるでしょうか。

生徒に15－23節を読むように言う。これらの節は判断について何を教えているかを尋ねる。24－27節をあなたが読む。義にかなった裁き（判断）を行い，主に従って決断を下す生活を送っている人々は堅固な土台の上に家を建てていることを証（あかし）する。

はじめに

イエス・キリストは「律法であり，光である。」（3ニーファイ15：9）永遠の命を受けるためにすべての人はイエスを仰ぎ見なければならないとイエスは言われた。15－18章ではイエスの思いやりを読み取ることができる。モーセの律法についての話を多くの人々が理解していないことに気づいたイエスは，時間を取って詳しく説明された。人々が涙を流しながら，もうしばらくとどまっていてほしいと願うかのように，イエスをじっと見詰めていると，イエスはとどまって，人々に導きと恵みを施された。病人を癒し，彼らのために祈り，聖餐を定められた。

学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストは古代イスラエルにモーセの律法を授けられた。神の律法は人々を救い主に導くために与えられる（3ニーファイ15：2－10参照）。
- キリストの「羊」とはキリストの声を聞いて従う人々である（3ニーファイ15：12－16：3参照。ヨハネ10：14－16，25－27も参照）。
- ユダヤ人は救い主を拒んだため，末日に，福音は最初に異邦人に伝えられる。悔い改めて福音を受け入れる異邦人はイスラエルの家に数えられて，同じ祝福を受ける（3ニーファイ16：6－13参照）。
- 深く考え，祈ることによって啓示と理解に導かれる（3ニーファイ17：1－3参照。ヒラマン10：1－3；教義と聖約138：1－2，11も参照）。
- 霊的な経験は，人の言葉で言い表せないこともあるが，現実に起きる（3ニーファイ17：15－18参照。3ニーファイ19：31－34も参照）。
- わたしたちは聖餐を受けることによってイエス・キリストの贖罪を思い起こす。ふさわしい状態で聖餐を受け，聖約を守るならば，神の御霊をいつも受けられると神はわたしたちに約束しておられる（3ニーファイ18：1－11参照。3ニーファイ20：3－9も参照）。
- イエス・キリストは世の光であられる。わたしたちは戒めを守るときにキリストの光を人々に輝かす（3ニーファイ18：24－25参照）。
- 主はわたしたちに，ふさわしくない状態で聖餐を受けることのないようにと命じておられる（3ニーファイ18：27－30参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』129－131。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション18「わたしの喜びは満ちている」を3ニーファイ17章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

3ニーファイ15：1－10。イエス・キリストは古代イスラエルにモーセの律法を授けられた。神の律法は人々を救い主に導くために与えられる。（20－25分）

手品や楽器の演奏技術などにたけている生徒を一人選ぶ。技術を披露して，ほかの生徒にその技術を教えるために，その生徒に2分間与える。以下の質問について話し合う。

- この技術を教えるのはどのようなことが難しいでしょうか。
- あなたが教えようとしている人々が実際に学んでいるかどうかを知るにはどうすればよいでしょうか。
- 教えていることを人々が理解していなかったら，あなたはどうするでしょうか。

生徒に，3ニーファイ15：1－10を読むように言う。以下の質問をする。

- 人々は救い主のどのような教えを理解しにくかったのでしょうか。
- 救い主はモーセの律法に関する教えを人々が理解していないのを知ったとき，どうされたでしょうか。

「見よ」とは「目を向けなさい」または「注意を向けなさい」という意味であることを説明する。以下の質問をする。

- これらの節で「見よ」は何回出てくるでしょうか。
- これはキリストが教えておられた事柄の大切さについて何を示しているでしょうか。

黒板に以下の4つの要点を書く。

1. モーセの律法はイエス・キリストによって与えられた。
2. イエス・キリストはモーセの律法を成就された。すなわち完成された。律法の一部はキリストによって「廃され」ており（3ニーファイ12：47），人々はもはやそれらに従う必要がなかった。
3. モーセの律法の成就によって，律法のほかの部分や旧約聖書のほかの教え，教義，預言も廃されたわけではない（例えば，十戒，什分の一の律法，イスラエルの集合など）。
4. モーセの律法はイエス・キリストを示し，証していた。

生徒に，3ニーファイ15：3－10を丹念に読んで，以上の要点を教えている語句を探すように言う。生徒が見つけた語句について話し合い，質問に答える。必要であれば，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（129ページ）から3ニーファイ15：1－10と3ニーファイ15：9の解説を参照する。

副管長であった当時にハロルド・B・リー大管長が語った以下の言葉を紹介する。

> 「イエス・キリストの福音の原則は神聖なものであることを忘れてはなりません。主が啓示によって行われるほかは，いかなる人も教会の原則と教義を変えることはできません。しかし，方法については，そのときの管理者に霊感による指示が与えられれば，変更されます。」（“God's Kingdom---A Kingdom of Order,” *Ensign*, 1971年1月号, 10）

生徒にもう一度，3ニーファイ15：9－10を読むように言う。そして，以下の質問をする。

- 今日，あなたはどの律法に従って生活するよう求められているでしょうか。
- キリストを仰ぎ見ることはどのように，最後まで堪え忍ぶための助けとなるでしょうか。
- 主の戒めを守る人々に主はどのような祝福を約束しておられるでしょうか。

3ニーファイ15：12－16：3。キリストの「羊」とはキリストの声を聞いて従う人々である。イエスはエルサレム，アメリカ大陸，イスラエルの家のそのほかの者たちの間に，従う者たちを持っておられた。（30－35分）

生徒を宝探しに送り出すつもりであることを告げる。生徒を二人一組にする。各組に以下の表から第1の手がかりを与える。質問の答えは聖典の中から探す。答えを見つけたら，あなたの審査を受けるために持って来るように言う。正しければ，次の手がかりを与える。こうしてすべての手がかりの答えを見つけるまで続ける。

宝探しの手がかり

1. **ヨハネ10：14に出てくる動物は何ですか。**
2. **ヨハネ10：27によれば，キリストの羊とはだれのことですか。**
3. **ヨハネ10：16では羊を入れておく場所を何と呼んでいますか。それはどこにありましたか。**
4. **3ニーファイ15：16－17，21，24によれば，救い主のほかの羊の群れはどこにいましたか。**
5. **主はアメリカ大陸にいた群れについてなぜユダヤ人に話されなかったのですか（3ニーファイ15：11－14, 18－19参照）。**
6. **3ニーファイ15：15，20－21；16：1－2はどの羊の群れを指していますか。**
7. **3ニーファイ16：3；17：4によれば，救い主はイスラエルの他の羊のために何をされましたか。**

調査が終わったら，生徒が学んだ事柄について話し合う。生徒が見つけた事柄はなぜ，宝物のような価値があると考えられるかを質問する。ヨハネ10：16と3ニーファイ15：21はモルモン書がイエス・キリストについてのもう一つの証（あかし）であることを求道者に理解させるために宣教師が使う聖句であることを説明する。

一組の生徒に前へ出て来させる。あなたを求道者に見立てて，二人に宣教師の役割を演じさせる。次のように質問する。「聖書の中に，モルモン書について述べている聖句があるでしょうか。」ほかの生徒にも答える機会を与える。モルモン書はまことに，神の他の羊に関する記録であることを証する。以下の質問について話し合う。

- わたしたちはどのような意味から救い主の羊と考えられるでしょうか。
- 主の群れすなわち主の教会の一員であるわたしたちにはどのような責任があるでしょうか。
- わたしたちは今日（こんにち），羊の群れの中にいることをどのようにして知ることができるでしょうか。

3ニーファイ16：4－20。ユダヤ人は救い主を拒んだため，末日に，福音は最初に異邦人に伝えられる。悔い改めて福音を受け入れる異邦人はイスラエルの家に数えられて，同じ祝福を受ける。（20－25分）

二人の宣教師の写真（『福音の視覚資料セット』612など）を見せる。以下の質問をする。

- 宣教師として人々に話しかけることは，どのようなことだと思いますか。
- 宣教師が話しかけるときに，相手の人々はどのように反応するでしょうか。
- 宣教師にとって，福音を受け入れる準備のできている人とできていない人を見分けるのは簡単だと思いますか，それとも難しいと思いますか。なぜそう思いますか。
- 人々がメッセージを受け入れなくても積極的な態度を執り続けることはなぜ大切でしょうか。

教義と聖約29：1－2，4，7を読んでから，以下の質問をする。

- これらの節は伝道活動とどのような関係があるでしょうか。
- 伝道活動と，何かを集めることはどのように似ているでしょうか。
- 宣教師のメッセージに耳を傾けて，受け入れるのはどのような人でしょうか。

3ニーファイ16：4－20が末日に異邦人とイスラエルの家から改宗者が集められることを教えていることを生徒に告げる。そこには，これらそれぞれのグループの人々が福音を受け入れるときのことと拒むときのことについて述べられている。黒板に以下の表を書く。参照箇所を読んでから，生徒全員で表を短時間で完成させる。

3ニーファイ16章	福音に対する異邦人の反応	福音に対するイスラエル人の反応
5－7節		
10－12節		
13－14節		

3ニーファイ16：7，10を読んでから，以下の質問をする。

- 異邦人とイスラエルの家がともに福音を拒むのはどのような理由からでしょうか。
- 8－9，15節を読んでください。福音を拒む人々にはどのような結果がもたらされるでしょうか。
- 11－13節を読んでください。主は，福音を拒む人々がどのような条件を満たすならば，快く赦（ゆる）してくださるでしょうか。

- 16節を読んでください。イスラエルの家が忠実であるならば，主はどのような約束を与えておられるでしょうか

末日の集合は始まっていることを証する。この集合を助けるために宣教師として働く準備をするよう奨励する。

3ニーファイ17：1－3。深く考え，祈ることによって啓示と理解に導かれる。（15－20分）

レッスンが始まる前に黒板に以下の語句を書いて，一語一語を紙で覆っておく。「夕食」「サッカーの試合」「数学のテスト」「友達とのデート」「学校」「伝道の召し」「神殿結婚」「聖餐を受ける」「啓示を受ける」。

レッスンが始まったら，「力をつけるには準備が必要です」と黒板に書く。次のように質問する。「この文はどのような意味でしょうか。」この文は正しいと思うかどうかを生徒に尋ねる。

黒板にはられている紙の下に何かの出来事が書かれていることを告げる。あなたが1枚ずつ紙をはがしていくので，その出来事の準備のために最も大切だと思うことを考えるように言う。1枚ずつ覆いを取る（最後の出来事である「啓示を受ける」の覆いは取らない）。生徒の意見を求めて，出来事の下に書き出していく。

「啓示を受ける」の覆いを取る。そして，以下の質問について話し合う。

- 啓示を受けることはなぜ大切でしょうか。
- 啓示を受けるためにどのような準備をしたらよいでしょうか。
- 準備をしていないとどうなるでしょうか。

生徒に，3ニーファイ17：1－2を読んで，救い主がニーファイ人に対して心配しておられたことを見つける。3節を読んでから，以下の質問をする。

- 救い主がニーファイ人に与えられた4つの指示はどのようなことでしょうか。
- じゃまが入らない「自分の家」で考えると，よく準備できるのはなぜでしょうか。
- 「深く考える」とはどういう意味でしょうか。それはどのように助けになるでしょうか。
- この過程で祈りが大切な役割を果たすのはなぜだと思いますか。
- 啓示と理解を受けるために，どのように心の準備をしたらよいでしょうか。

生徒に，ジョセフ・スミス―歴史1：8－14を読んで，救い主がニーファイ人に行うよう求められたことと，ジョセフ・スミスが最初の示現を受ける前に行ったことの共通点を探すように言う。生徒が見つけた事柄について話し合う。

生活の中でこの方法を実行するよう勧める。祈ること，毎日聖文を研究すること，常に主の導きを求めることを強く奨励する。中央初等協会会長会の一員であったアン・G・ワースリン姉妹の以下の話について考える。

> 「救い主はわたしたちが聖文を研究するときに従うべき手本を示されました。わたしたちは御言葉に耳を傾け，その意味を深く考え，理解できるように天の御父に助けを求め，そして，約束された祝福を受けられるように心と思いを備えます。深く考えるとは，文字に目を走らせる以上のことです。それは，生活の中で人と接したり，選択したりするときに助けとなるよう，御言葉の意味を調べることです。また，頭で理解した御言葉を，心で理解することなのです。わたしたちが天の御父についての事柄を知りたいと祈りをもって求めるときに，御霊はわたしたちの心に証をしてくださいます。わたしたちはその証と知識を得たときに，さらにキリストのように考え，生活し，人と接するようになるのです。」（「聖文を愛することを子どもたちに教える」『聖徒の道』1998年7月号，10－11）

3ニーファイ17章；18：36－39。救い主はニーファイ人に教え導くときに思いやりを示された。（40－50分）

人に対する接し方を見て尊敬するようになった人を思い浮かべるように言う。何人かの生徒に，だれのことを思い浮かべたかを発表させる。それらの生徒に質問する。

- その人は教会，学校，または地域社会でどのように積極的な影響を及ぼしているでしょうか。
- 思いやりをもって人に接することはなぜ大切だと思いますか。

だれかから親切や思いやりを示されたときのことを考えるよう生徒に言う。次のように質問する。「その経験はあなたの生活にどのような影響を与えたでしょうか。」次に，だれかから虐待されたり，無視されたりしたときのことを考えさせる。次のように質問する。「この二つの状況の中であなたの気持ちはどれほど違っていましたか。」

生徒に，大管長を迎えて開かれている大きな集会に出席していると考えてさせる。次のように質問する。「大管長があなたと話す時間を取って，握手をし，愛を示してくれたとしたら，あなたはどのように感じるでしょうか。」今日，クラスに救い主がおいでになったと考えさせる。次のように質問する。「救い主があなたと個人的に話す時間を取ってくださったら，どのように感じるでしょうか。」

3ニーファイ17章；18：36－39には救い主がニーファイ人の間で教え導かれたことが美しく描かれていることを説明する。全員でこれらの節を読んでから，救い主は教え導いておられた間，一人一人に対してどのように思いやりを示されたかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- このとき救い主にお会いすることは，どのようなことだったと思いますか。
- この記録から救い主の愛と思いやりについてどのようなことが分かりますか。
- どの節が最も印象に残ったでしょうか。それはなぜですか。
- この出来事が神聖であったことを表す証拠として，どのようなものがあるでしょうか。

以下の3つの質問に対する答えを，小論文形式で紙に書くように言う。

- 3ニーファイ17章；18：36－39を勉強して，あなたはどのような印象を受けましたか。
- もし家族の中でこれらの章を読んだことのない人がいるとしたら，あなたはどの部分を話してあげたいと思いますか。それはなぜでしょうか。

- 救い主の行いのうち，あなたはどれを最も生活に取り入れたいと思いますか。

自分の答えを発表することを希望する生徒がいれば，何人かに発表させる。

3ニーファイ18：1－12，26－32。わたしたちは聖餐を受けることによってイエス・キリストの贖罪を思い起こす。ふさわしい状態で聖餐を受け，聖約を守るならば，神の御霊をいつも受けられることを神はわたしたちに約束しておられる。（40－45分）

十二使徒定員会会員のデビッド・B・ヘイト長老の以下の言葉を黒板に書く。

「主の晩餐の聖餐を毎週頂くことは，末日聖徒イエス・キリスト教会の最も神聖な儀式の一つに参加することです。またこれはわたしたちすべてに対する主の愛のしるしでもあります。聖餐を頂くことには，わたしたちが神の王国の中で進歩して，昇栄を得，また自らの霊的な人格を形成するうえで基本となる原則と密接な関連があります。」（「聖餐」『聖徒の道』1983年7月号，23）

次のように質問する。「わたしたちがこの世で持てる最も貴い財産は何だと考えていますか。」生徒の答えについて話し合う。ダリン・H・オークス長老の次の言葉を読む。「常に聖霊の導きを受けるということは，わたしたちが現世で持てる財産の中で，最も貴いものです。」（「アロン神権と聖餐」『リアホナ』1999年1月号，42）

- 聖霊の賜物はなぜそれほど貴い財産なのでしょうか。
- この賜物はあなたの生活にどのような祝福となっているでしょうか。
- この賜物をさらに豊かに受けるにはどうすればよいでしょうか。

3ニーファイ18章には，聖餐にあずかることと聖霊を受けることの関係について，わたしたちがよく理解できるように救い主が指示を与えてくださったことが記されていると生徒に告げる。17章で救い主は，ニーファイ人のもとを去ろうとされたが，彼らに対する思いやりから思いとどまって滞在を延ばされたことを思い起こさせる。この事実を踏まえておくと，生徒は18章に記されている救い主の教えの持つ価値と，救い主がわたしたちの間におられない間にこれらの教えがわたしたちを強めてくれることを理解しやすくなる。

3ニーファイ18：1－3，8を読んで，救い主は何の儀式を行われたかを尋ねる。4，9節を読んでから，以下の質問について話し合う。

- 弟子たちはパンを食べ，ぶどう酒を飲んでどうなったでしょうか。（満たされた。）
- 3ニーファイ20：8－9を読んでください。これらの節によると人々は何によって満たされたでしょうか。
- わたしたちが御霊に満たされるために聖餐はどのような助けとなるでしょうか。

一人の生徒にダリン・H・オークス長老の以下の話を読ませる。

「聖餐を受けることと，聖霊の導きの密接な関係については，啓示を通して与えられた祈りの中に説明されています。わたしたちはパンを頂くときに，進んでイエス・キリストの御名を受け，いつも御子を覚え，御子が与えてくださった戒めを守ることを証明します。それをするときに，わたしたちはいつも御子の御霊を受けられるという約束を受けることができます（教義と聖約20：77参照）。……

若い男性にしても，その指導者たちにしても，バプテスマを受けた後，まったく罪のない生活をしてきたという人はだれもいません。だれであっても，バプテスマの後，さらに清めを受けなければ，霊的な事柄に無感覚になってしまいます。聖霊の導きを受けることができず，最後の裁きのときには，『とこしえに捨てられる』ことになるのです（1ニーファイ10：21）。主がバプテスマを受けた教会員のために，罪の汚れから定期的に自分を清めるための方法を備えてくださったことに，心から感謝しています。聖餐はその方法の中で，欠かすことのできない部分なのです。

わたしたちは罪を悔い改め，打ち砕かれた心と悔いる霊をもって主のみもとに来るように，また聖約に従って聖餐にあずかるよう命じられています。わたしたちがそのようにしてバプテスマの聖約を更新するなら，主はバプテスマの清めの効果を再新してくださいます。そのようにして，わたしたちは清められ，常に主の御霊の導きを受けることができるのです。このことの大切さは，毎週聖餐を受けるようにという主の戒めからも明白です（教義と聖約59：8－9参照）。」（「アロン神権と聖餐」『リアホナ』1999年1月号，41－42）

生徒に，3ニーファイ18：7，10－14；教義と聖約20：77，79を読んで，聖餐について分かる事柄を話すように言う。以下の質問から幾つかを選んで話し合う。

- わたしたちは聖餐を受けるときにどのような約束を交わすのでしょうか。
- パンと水は何を表しているでしょうか。
- 聖餐をもっと神聖で，霊的なものにするために，わたしたちには何ができるでしょうか。

3ニーファイ18：26－34を読んでから，以下の質問をする。

- これらの節で救い主は何について警告しておられるでしょうか。
- ふさわしくないまま聖餐を受けることのないようにすることはなぜ大切だと思いますか。

どうすればふさわしい状態で聖餐を受けられるかを生徒が理解できるように，オークス長老の以下の話を紹介する。

「これらの真理に基づいて，幼い子供から老人に至るまですべての教会員は毎週の安息日に聖餐会に出席し，『打ち砕かれた心と悔いる霊』（3ニーファイ9：20）という言葉で表された悔い改めの気持ちをもって聖餐を受けていただきたいと思います。『いつも御子を覚え』る（教義と聖約20：77）という厳粛な聖約を交わすにふさわしい，救い

主に対する敬虔の念と礼拝する気持ちをもって皆さんが聖餐を受けることを祈っています。救い主は，わたしたちが『わたしの栄光にひたすら目を向けて，あなたがたのために葬られたわたしの体と，あなたがたの罪の赦しのために流されたわたしの血を父に記念して』（教義と聖約27：2）聖餐を受けるべきであると言われました。

わたしたちが交わした，御子の御名を受け御子の業を行う，という厳粛な聖約に従うために，教会の召しを受け入れて奉仕するうえで助けとなる聖餐を，謙遜な態度で受けることができますように。また，わたしたちが主の戒めを守るという厳粛な聖約に従うことができるように祈っています。」（「いつも御子の御霊を受ける」『聖徒の道』1997年1月号，69）

3ニーファイ18：5－6を読んで，次のように質問する。「主は何を行う力を与えると約束されたでしょうか。」一人のアロン神権者に聖餐を執行するときの自分の責任について説明させる。その若い男性に質問する。「この神聖な義務を果たすときどのような気持ちを覚えるでしょうか。」全員に質問する。

- 救い主が喜ばれるような方法で儀式を執行していることをどうしたら確認できるでしょうか。
- これらの神権の義務を果たす若い男性たちに対してわたしたちはどのような気持ちを抱くべきでしょうか（教義と聖約84：35－38参照）。

オークス長老による以下の話から2段落目までをあなたが読んで，それから何人かの若い男性に1段落ずつ読ませる。各段落を読んだら，そこで止まって，読んだ若い男性がなぜその部分が大切だと思うかを話させる。またほかの生徒も自分の考えを述べるように言う。

「神権を行使する人は，主に代わって働〔き〕……ます（教義と聖約1：38；36：2参照）。……

準備，祝福，パスなど，聖餐の儀式に携わる人々を適切に指導するために，わたしが提案する原則は，教会員の心を礼拝や聖約の更新からそらすようなことを一切してはならないというものです。この原則は幾つかの付随する原則があることを思いつかせます。

執事，教師，祭司は，厳粛で神聖な責任を果たすときには，常に清潔な身なりをし，敬虔でなければなりません。聖餐の準備という教師の特別な責任は，ほとんど人の目につかないものですが，厳粛に，また静かに，そして敬虔な態度で行うべきものです。教師は，自分たちが準備しているものは，主の肉体と血を象徴しているのだということを常に心に留めておく必要があります。

教会員の神聖な儀式に対する気持ちをそらすことがないようにするために，祭司は聖餐の祈りの言葉を，はっきりと分かりやすく言う必要があります。早口でそそくさと唱えたり，はっきりしない祈りは適切ではありません。主が一つ一つの言葉を定められたほど大切なこの儀式と聖約の言葉を，すべての出席者が理解できるようにしなければなりません。聖餐を受けて聖約を更新するすべての人が，神聖な言葉に集中できるようにしなければなりません。……

兄弟の皆さん，聖餐の祈りの大切さを忘れないでください。皆さんはすべての出席者のために，主の僕として祈っているのです。はっきりと分かりやすく唱えてください。そして，心を込めて唱えてください。

執事は，人の注意を引くような不要な動作や表情がないようにして，敬虔で秩序立ったやり方で聖餐のパスをしなければなりません。すべての動きにおいて，教会員の心を礼拝や聖約の更新からそらすことがないようにしなければなりません。

聖餐の儀式の執行に携わる人は，それが準備であれ，祝福であれ，パスであれ，身なりを整え，つつましい服装をする必要があります。自分の外見が人々の目を引きつけるようなことのないようにしなければなりません。体の動きだけでなく外見においても，教会員の心を，この神聖な儀式の目的である礼拝や聖約の更新からそらすことがないようにしなければなりません。

人々の注意をそらしてはならないというこの原則は，目に見える事柄はもちろん，見えない事柄にも当てはまります。もしこの神聖な儀式に携わっている人がふさわしさに欠け，出席者の中にそれを知っている人がいた場合，その出席者は非常に集中心をそがれることになります。若い男性の皆さんの中に，ふさわしくない人がいたら，すぐ監督に話してください。そして，神権の義務をふさわしく適切に果たせるようになるために，どうすべきかについて監督の指示を受けてください。

最後の提案をしたいと思います。パンを裂く責任の祭司を除いて，アロン神権者は全員聖餐の賛美歌を歌うようにしてください。その賛美歌を通してわたしたちは礼拝し，聖餐にあずかる準備をするのです。儀式に携わる神権者以上に霊的な備えが必要な人はいません。若い兄弟たち，皆さんが聖餐の賛美歌を歌うのは大切なことです。ぜひ歌ってください。」（「アロン神権と聖餐」『リアホナ』1999年1月号，43）

3ニーファイ18：13－25。心からの祈りは誘惑を退ける助けになる。（20－25分）

一人の生徒に前へ出て来させて，コートを着て，傘をさし，盾を手に持たせる（盾は紙かダンボールで作る）。全員にコートと傘と盾が持つ共通点を尋ねる。（すべて，保護するために使用される。）3ニーファイ18：15－19を読んで，救い主が守りになると教えられたものを見つける。以下の質問をする。

- 祈りはなぜわたしたちを守ることができるでしょうか。
- 祈ったおかげであなたが主に守られた経験の中にはどのようなものがあるでしょうか。

4人の生徒に以下の文章を一つずつ読ませる。十二使徒補助を務めていた時代にバーナード・P・ブロックバンク長老はこのように述べた。

「悪魔の力と邪悪な影響力から守られるには，生ける救い主である仲保者を通して生ける天の御父に真心から祈ることが絶対に必要です。」（Conference Report, 1974年4月，166；*Ensign*，1974年5月号，115）

十二使徒定員会会員のＬ・トム・ペリー長老は自分が受けたしつけについてこのように語った。

「雨の日の朝，両親は帽子やレインコート，雨靴をあてがってくれました。しかしそれ以上に，来る日も来る日も，両親はわたしたちを神の武具で固めてくれたのです。家族の祈りで神権者である父がひざまずき，悪しき者の放つ火の矢から家族を守ってくださいと主に祈るとき，信仰の盾が厚くされるのでした。わたしたちの盾は強くされていきました。そして，事あるごとに両親の盾に身を寄せることができたのです。」（「あなたの信仰の盾を強くしなさい」『聖徒の道』，1974年10月号，471）

七十人会長会の一員であったジョー・Ｊ・クリステンセン長老はこのように述べた。

「祈りによる霊的な守りを与えずに子供を家庭から送り出すのは，吹雪の中へ防寒衣も着せずに彼らを表に出すようなものです。」（「汚れた世にあって子供を育てる」『聖徒の道』1994年1月号，14）

十二使徒定員会会員を務めていた時代にスペンサー・Ｗ・キンボール長老はこのように語った。

「わたしは，真心から実行される家庭の夕べ，家族の祈り，そのほかの家族の救いにかかわる教会の活動を，傘にたとえるのが好きです。傘は開いていなければ，杖とほとんど変わりなく，自然の嵐に対する守りを与えることはできません。同じように，神から与えられている計画は使われなければほとんど価値がないのです。」（Conference Report, 1969年10月，23）

3ニーファイ18：20－25を全員で読む。祈りをたとえることのできるほかのもの（コート，傘，盾以外のもの）を考えるように言う。何人かの生徒に考えたものを発表させ，それらがどのように祈りにたとえられるかを話し合う。毎日の個人の祈りを通して天父の守りを求めるよう生徒に奨励する。

3ニーファイ19－26章

はじめに

3ニーファイ19－26章には，救い主がニーファイ人の間で務めを果たされた2日目と3日目の出来事と教えが記されている。キリストが1日目に2,500名の人々に教えを説かれたことを聞いた大群衆は，キリストが戻って来られるのに備えて，その晩中，人々を集めた。2日目にイエスは人々とともに祈り，聖餐を執行し，大切な教義を解説された。イエスはその人々について，偉大な信仰を持っている人々であると語られた（3ニーファイ19：35－36参照）。

ジェフリー・Ｒ・ホランド長老はこのように記している。「〔主が導かれた2日目に〕キリストは，かつてエホバとして自らイザヤとマラキのそれぞれに授けられた3つの啓示を，わずかな言い回しの変更がありましたが，すべて引用されました。……キリストがこのようにされたからには，特にこれらの章を選んで引用されたからには，それらはよく調べてみる価値があります。」（*Christ and the New Covenant*，288－289）これらの章を読むときに，イザヤとマラキのそれぞれの言葉の価値について考える。

学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちはしばしば祈るように，また，常に心の中で祈るよう命じられている。わたしたちは御霊によって導かれるままに祈らなければならない（3ニーファイ19：6－20：1参照。マタイ6：5－13；2ニーファイ32：8－9；エテル2：14；教義と聖約46：30－32も参照）。
- 聖霊の賜物を得たいと望む人はバプテスマの後に受けることができる（3ニーファイ19：7－13参照。ヨハネ14：26；15：26；2ニーファイ31：17も参照）。
- ふさわしい状態で聖餐を受ける人は聖霊に満たされる（3ニーファイ20：1－9参照。モロナイ4－5章；教義と聖約20：75－79も参照）。
- 神は散らされたイスラエルに福音を知らせ，末日に約束の地に集めることを聖約された（3ニーファイ20：11－23，29－46；21：22－22：17参照）。
- モルモン書は異邦人に知らされ，異邦人からイスラエルの家にもたらされる。モルモン書と末日の啓示を拒む人は神の王国から絶たれる（3ニーファイ21：1－21参照。1ニーファイ13：39－40；教義と聖約1：14；84：54－58も参照）。
- 救い主はわたしたちにイザヤの言葉を調べるよう命じられた（3ニーファイ23：1－5参照。1ニーファイ19：23；モルモン8：23も参照）。

- イエス・キリストが再臨されるときに義人は祝福され，悪人は滅ぼされる（3ニーファイ24：2，5－6；25：1－3参照）。
- 救い主は，再臨の前に預言者エリヤが家族を結び固める権能を回復することを予告された（3ニーファイ25：5－6参照。教義と聖約110：13－16も参照）。
- 什分の一の律法は大いなる祝福につながる。什分の一の納入を拒む人は神から盗んでおり，これらの祝福を失う（3ニーファイ24：8－12参照。マラキ3：8－10；教義と聖約119章も参照）。
- 聖文は神の言葉である。聖文の中で明らかにされていることを信じて従うならば，さらに大いなる啓示が約束される（3ニーファイ26：1－12参照；アルマ12：9；教義と聖約98：11－12も参照）。
- 霊的な経験は神聖であり，御霊により促されたとき以外は分かち合ってはならない（3ニーファイ26：14－18参照。3ニーファイ28：12－14；教義と聖約10：34－37；64：63も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』132－136。

教え方の提案

3ニーファイ19：1－15。イエス・キリストの言葉を受け入れ従うことによって，再臨の備えをすることができる。（15－20分）

イエス・キリストが明日，生徒の家を訪問されると仮定するように言う。以下の質問をする。

- どのように感じるでしょうか。
- キリストが訪問されることについてほかの人たちに知らせたいと思いますか。それとも，そうしようとは思いませんか。それはなぜですか。
- もし可能であれば，だれをその場に招待したいですか。

3ニーファイ19：1－3を読んでから，以下の質問をする。

- 救い主の訪れについてだれに告げ知らされたでしょうか。
- 民はどのような反応を示したでしょうか。
- 民の反応の中であなたが最も強い印象を受けたのはどのようなことですか。

4－15節を全員で読み，翌日イエス・キリストが戻って来られるのに備えて人々がどのような準備をしたかを見つけて，黒板に書き出す。（民はイエスが選ばれた指導者に従った，祈った，イエスが以前に語られた言葉を教え，学んだ，バプテスマを受けた，聖霊を受けたいと願い，聖霊を受けた。）以下の質問について話し合う。

- これらの事柄はイエスが戻って来られるのに備えるために，これらの人々にどのように役立ったでしょうか。
- 人々はこれらの指示にどれほど積極的に従ったでしょうか。
- わたしたちはこの方法に従うことによって，どのように主の再臨に備えることができるでしょうか。
- わたしたちがこれらの方法で準備したいという強い望みを持っていると，どのようなことが起こるでしょうか。

救い主の証を人々と分かち合い，主の来臨のために準備するよう生徒を励ます。

3ニーファイ19：16－20：1。わたしたちはしばしば祈るように，また，常に心の中で祈るよう命じられている。わたしたちは御霊によって導かれるままに祈らなければならない。（30－35分）

以下の5つの文章を黒板に書き出す。何人かの生徒に，それぞれの項目が個人の祈りにとってなぜ大切だと思うかを述べさせる。生徒の答えについて話し合う。

- 祈りでは天父に対して敬虔さを表す言葉を使う。
- 祈りの基本パターンに従う（天におられる父なる神，……感謝します，……お願いします，イエス・キリストの御名によってお祈りします，アーメン）。
- 心から祈る。
- 定期的に祈る（毎朝，毎晩）。
- 聖霊によって導かれるままに祈る。

生徒に，3ニーファイ19：16－36に目を通して，「祈る」という語が頻繁に使われていることに注目するように言う。次のように質問する。「この章で『祈る』という語が頻繁に使われていることは，祈りの大切さについてどのようなことを教えているでしょうか。」

3ニーファイ19：16－20：1には4つの祈りが記されていることを告げる。クラスを4つのグループに分けて，各グループに以下の中から一つを読むように言う。

1. ニーファイ人の弟子たちはイエスに命じられて祈っている（3ニーファイ19：16－18，24－26，30；20：1参照）。
2. 救い主は弟子たちから少し離れた所で祈っておられる（3ニーファイ19：19－23参照）。
3. 救い主は2回目の祈りをささげておられる（3ニーファイ19：27－29参照）。
4. 救い主は3回目の祈りをささげておられる（3ニーファイ19：31－36参照）。

生徒に聖句を読みながら，以下の質問の答えを見つけるように言う。

- ここでは何について祈っているでしょうか。
- この例から祈りのパターンについてどのようなことを学べるでしょうか。
- この祈りが神聖なものであることをどのようなことが示しているでしょうか。
- この祈りの中で最も印象に残ったのはどのようなことでしょうか。
- この祈りから学べる最も大切な教義は何だと思いますか。

各グループに学んだ事柄を発表させ，全員で話し合う。以下の質問をする。

- これらの教えをわたしたちの生活に応用するにはどうすればよいでしょうか。

- 天父との交わりを改善するためにわたしたちは何ができるでしょうか。
- 祈りを改善することはどのように主とわたしたちの関係の改善につながるでしょうか。

十二使徒定員会会長の時代にエズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の話を分かち合う。

「これまで以上に清くなり，さらに神の愛を得ようと思うなら，祈りに勝る方法はありません。……日々の祈りであれ，ひそかな祈りであれ，生活の中で祈りを最優先してください。1日として祈らずに過ごす日がないようにしてください。全能者への祈りは，洋の東西を問わず，あらゆる時代において，個人や国家の運命を良い方向へと導いた男女にとって，力と霊感と新たな知識の源でした。」（*God, Familiy, Country: Our Three Great Loyalties*〔1974年〕，8）

生徒に，毎日祈ることを奨励する。

注意：3ニーファイ19：18を教えるときに，わたしたちはイエスに向かって祈るのではないことを生徒が理解するように助ける。十二使徒定員会会員であったブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を役立てるとよい。

「イエスは御父の象徴として人々の前におられました。人々がイエスを見るとき，それはあたかも御父を見ているようでした。イエスに向かって祈るとき，それはあたかも御父に向かって祈るようでした。主が御自分の子らと交わられた長い歴史を通じて，これは，わたしたちの知るかぎり，地上でただ1度だけ起きた特別な，独特の状況でした。」（*The Promised Messiah: The First Coming of Christ*〔1978年〕，561）

3ニーファイ20：3－9。ふさわしい状態で聖餐を受ける人は聖霊に満たされる。（10－15分）

様々な食物の絵か写真を見せる。以下の質問について話し合う。

- 1日何回の食事が必要ですか。
- 十分に食事を取っていないとどうなるでしょうか。
- 霊的な栄養はどれほどの頻度で取ればよいでしょうか。
- 霊的な栄養はどのようにあなたの助けとなるでしょうか。

3ニーファイ20：3―9を読ませて，以下の質問をする。

- 救い主はニーファイ人に霊的な栄養として何をお与えになったでしょうか。
- 彼らは何によって満たされたでしょうか（9節参照）。
- 彼らが，いちばん最近に聖餐を受けたのはいつのことだったでしょうか。（前日。3ニーファイ18：1―9参照）
- 聖餐をそれほど短い間に受けることに価値があると思いますか。

ダリン・H・オークス長老の以下の話を読む。

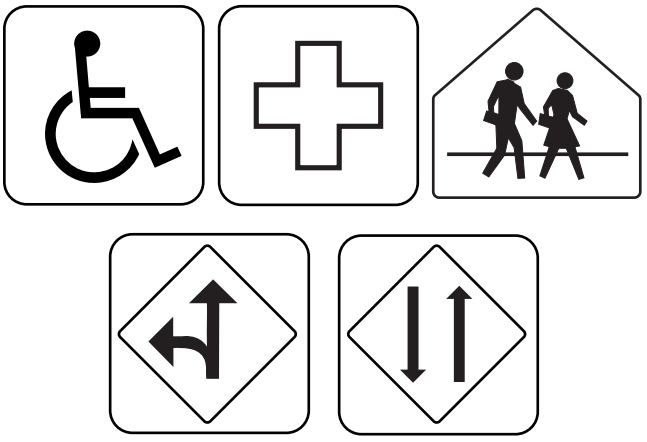
「わたしは，聖餐の聖約を新たにしていない兄弟姉妹に対して，大管長会の言葉を借りて申し上げます。『立ち返りなさい。そして主が備えられたテーブルに着き，聖徒の交わりという甘く，心を満たしてくれる木の実を再び味わってください。』（大管長会からの手紙，1985年12月23日）聖餐を受けることによってわたしたちが『満たされる』（3ニーファイ20：8。3ニーファイ18：9も参照），すなわち『御霊に満たされ〔る〕』（3ニーファイ20：9）という救い主の約束にふさわしい者になろうではありませんか。この御霊すなわち聖霊は，わたしたちの慰め主であり，方向を示し，御心を伝え，解釈を明らかにしてくださる御方であり，証人であり，清めてくださる御方であり，わたしたちが永遠の命に向かって歩むこの世の旅路を正しく導き，聖別してくださる御方です。

聖餐を受けることをさほど心に留めていなかった方々は，偉大な御業の基は小さなことの上に置かれており，『小さなことから大いなることが生じる』（教義と聖約64：33）と言われた主の御言葉を思い起こしてください。心から，敬虔な気持ちでバプテスマの聖約を新たにするという一見ささいな行いを通して，水と御霊によるバプテスマの祝福，すなわちいつも御子の御霊を受けることができるという祝福を新たにすることができるのです。わたしたちはこのようにして導かれ，このようにして清められるのです。」（「いつも御子の御霊を受ける」『聖徒の道』1997年1月号，69）

もし，聖餐を毎週受けることができなかったら，どのような生活になると思うかを生徒とともに話し合う。ふさわしい状態で聖餐を受けることから得られる祝福について証する。

3ニーファイ21章。モルモン書は異邦人に知らされ，異邦人からイスラエルの家にもたらされる。モルモン書と末日の啓示を拒む人は神の王国から絶たれる。（30－35分）

以下のしるしを黒板に描く（または地元でよく知られているほかのしるしを使う）。生徒に，それぞれのしるしの意味を答えさせる。



以下の質問について話し合う。

- これらのしるしは何のために使われるでしょうか。（わたしたちを準備させ，警告し，指導するため。）
- しるしが間違った場所に置かれていたらどのようなことになるでしょうか。
- しるしを正しく掲げ，しるしの伝えるメッセージが分かりやすいことはなぜ大切でしょうか。

聖文も「しるし」について述べていることを生徒に告げる。聖文の中に見られるしるしや霊的なしるしは天父の計画が成就することについてわたしたちを準備させ，警告し，指導することを目的としている。生徒に，3ニーファイ21：1－2，7に目を通して，「しるし」という語すべてに印を付けるように言う。1節を丹念に読むように言う。以下の質問をする。

- 主はなぜこのしるしが与えられると言われたのでしょうか。
- このしるしは何の出来事を指し示しているでしょうか。（イスラエルの集合）

生徒に，2－7節を読んで，「これらのこと」と「これらの業」すべてに印を付けるように言う。次のように質問する。「救い主は何の『しるし』について述べておられるでしょうか。」モルモン書をかざして，イエス・キリストが語っておられるしるしはモルモン書であることを証（あかし）する。十二使徒定員会会長の時代にエズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を分かち合う。

> 「モルモン書は教会員および教会員でない方々の両方のためのものです。主の御霊（みたま）とともに，モルモン書は世の人々を改宗させるために神から与えられた，比類のない最高の道具です。わたしたちが……収穫を得るには，神がその業のために作られた道具，すなわちモルモン書を用いなければなりません。」（「キリストに対する新しい証人」『聖徒の道』1985年1月号，7）

3ニーファイ21：22－22：17。イザヤは末日のイスラエルの集合について預言した。（20－25分）

レッスンが始まる前に教室の床に石をばらまいておく。一人の生徒に，すべての石を集めて，あなたが準備した容器に入れさせる（容器は小さすぎて，すべての石を納め切れないものを用意する）。容器がいっぱいになったら，以下の質問をする。

- 床に残っている石の処理についてどのような方法があるでしょうか。（床に置いたままにしておくか，大きな容器を準備する。）
- どちらの方法を取るか，あなたはどのようにして決めるでしょうか。
- 一つ一つの石が非常に高い金額で売れることを知っているとしたら，その選択に影響を与えるでしょうか。それはなぜですか。

石は人々を表し，集めることは伝道活動を表すと考えるように言う。以下の質問をする。

- 容器は何を表すでしょうか。（教会）
- 大勢の人々がバプテスマを受けたら教会はどうなるでしょうか。（礼拝堂や神殿を新しく建てなければならない，多くのワードとステークを組織しなければならない。）
- 教義と聖約18：10－16を読んでください。これらの節では人の価値について何と教えられているでしょうか。
- わたしたちには教会が成長するよう助ける責任があることについて，これらの節からどのように理解を深めることができるでしょうか。

生徒に，3ニーファイ21章の前書きから最初の文章を読み，3ニーファイ22：1から最初の文章を読むように言う。これはどの時代を指しているかを質問する。（モルモン書が出現し，福音が回復された後の時代。3ニーファイ21：26－29も参照）生徒に，3ニーファイ21：22－29を読んで，以下の質問に答えさせる。

- 教会に加入する人々はどうなるでしょうか。（イスラエルの家の聖約の民になる。22節参照）
- 彼らは何を築くでしょうか。（新エルサレム。23節参照）
- 彼らはどのような業を助けるでしょうか。（集合の促進。24節参照）
- 彼らの間にどなたがおられるでしょうか。（イエス。25節参照）
- ほかにだれが福音を聞いて，集められるでしょうか。（行方の知れない10部族。26節参照）
- 人々はどのような目的のために集められるのでしょうか。（キリストのもとに来て，御父の名を呼び求めるため。27節参照）

3ニーファイ22：1－3を読んでから，以下の質問をする。

- 終わりの時に教会に何が起きるとイザヤは預言したでしょうか。
- 天幕を広げることは，容器と石の活動とどのような関連があるでしょうか。

生徒とともに3ニーファイ22：7－17を読んでから，以下の質問をあなたが読んで，話し合いを展開する。

- この集合の時期にどのようなことが起きると主は約束しておられるでしょうか。
- 集められる人々に対して主はどのような気持ちを抱いておられるでしょうか。

今日，集合が行われていることについて証（あかし）する。教会員，専任宣教師，教会のワードとステークの数について最新の統計を紹介する（『リアホナ』7月号の最新版参照）。以下の質問について話し合う。

- イザヤの預言が確かであることをこれらの統計数字はどのように証明しているでしょうか。
- そのような活力にあふれ，成長する教会の一員であることについてあなたはどのように感じるでしょうか。
- 集合が継続されるよう助けるためにあなたは今，何ができるでしょうか。
- 将来，あなたには何ができるでしょうか。
- そのように行うことはなぜ大切でしょうか。

3ニーファイ23：1－5。救い主はわたしたちにイザヤの言葉を調べるよう命じられた。（10－15分）

二人の生徒に以下の質問に答えさせる。「クラスの近くを通る道の500メートル先では，今この瞬間に何が起きているでしょうか。」一人の生徒に有利な条件を与える。（例えば，双眼鏡を渡す，あるいは教室を出て，外まで行って確かめる，など。）全員に質問する。「どちらの答えの方が信頼できるでしょうか。それはな

ぜですか。」

ある人々は将来を「見る」ことができる賜物を受けていることを説明する（教義と聖約46：11－12，22参照）。次のように質問する。「その霊的な賜物を持っている人は何と呼ばれるでしょうか。」（預言者，聖見者，啓示者。）モーサヤ8：13，15－17を読んで，以下の質問について話し合う。

- 聖見者とはどのような人でしょうか。
- 聖見者の賜物はどれほど大きな価値があるでしょうか。
- 聖見者の言葉はあなたにとってどれほどの価値があるでしょうか。

生徒に，3ニーファイ23：2を読んで，イザヤが聖見者だった証拠を見つけるように言う。1－5節を読んで，以下の質問をする。

- 救い主はわたしたちにイザヤの言葉をどうするように命じておられるでしょうか。
- イザヤの言葉を調べることはなぜ大切だと思いますか。
- イザヤが聖見者であり，預言者であったことを知ることによって，イザヤの言葉を研究する意欲が増し加えられるでしょうか。

生徒に，2ニーファイ12－24章；27章を開いて，これらのイザヤの章のどこかにすでに印を付けていないか確かめるに言う。生徒にとって特別な意味がある節を分かち合うように勧める。

3ニーファイ23：6－14。イエス・キリストはニーファイ人に対して，彼らの時代の霊的な出来事の経緯を記録するように命じられた。（20－25分）

以下のようなものを幾つかクラスに持参する。日記，聖典，系図表，家族の記録（系図用），スクラップブック，家族の歴史。以下の質問について話し合う。

- これらのものに共通しているのはどのようなことでしょうか。
- 記録をつけることはなぜそれほど大切なのでしょうか。
- 昔に書かれたものがどうして現在のわたしたちに役立つのでしょうか。
- それはわたしたちの将来にとってどのように役立つでしょうか。

3ニーファイ23：6－11を読んで，以下の質問をする。

- 主はレーマン人サムエルに対して，何について人々に証するよう命じられたでしょうか。
- 将来の人々にとって，この預言が成就したことを知るのはなぜ大切だと思いますか。
- 救い主はここで，ニーファイに何をするよう求められたでしょうか。

12－14節を読んで，ニーファイが救い主の命令に従ったことを示す語句に印を付けるように言う。次のように質問してこの教えを今日に応用する。「教会は，現在の預言者の言葉をどのような記録に収めているでしょうか。」（大会報告，教会機関誌，聖典，集会の議事録，説教の筆記録。）

生徒に1枚ずつ紙を配る。5分間与えて，最近主の御霊を感じたときの様子を書くように言う。以下の内容を含めて書く。

- そのときどこにいたか。
- それはいつ起きたか。
- 何をしているときだったか。
- だれと一緒にいたか。

あるいは，御霊を生活の中に招くためにできると思うことを書いてもよい。

霊的な経験とそのときの気持ちを日記や記録に残すよう奨励する。次のように質問する。「この種の記録はあなた自身と子孫に対してどのように祝福となると思いますか。」今日，クラスで書いた事柄を日記に盛り込むよう奨励する。

3ニーファイ24－25章。イエス・キリストは再臨と什分の一の律法，エリヤが末日に地上に戻ることに関するマラキの預言を引用された。（40－45分）

レッスンの数日前に，預言者マラキに関して2分間で発表する割り当てを一人の生徒に与える。（『聖句ガイド』などを活用する）。ここで，その生徒に発表させる。

生徒たちがマラキについてさらに知るために以下の聖句を読むように言う。

- 3ニーファイ24：1。イエス・キリストはニーファイ人にマラキ3－4章を引用された。
- 3ニーファイ26：1－2。ニーファイ人はマラキ書を持っていなかったが，救い主はこれらの聖文が後の時代の人々にとって大切であることを教えられた。
- ジョセフ・スミス―歴史1：36－39。モロナイはマラキ3－4章から引用してジョセフ・スミスに話した。

次のように質問する。「これらの参照聖句はわたしたちにとってマラキ3－4章がどれほど大切かについて，どのようなことを示しているでしょうか。」

付録292ページのワークシート「モルモン書のマラキ（3ニーファイ24－25章）」をコピーして生徒に配るか，オーバーヘッドプロジェクターを使って提示する。生徒に，聖句を読み，答えを記入してワークシートを完成するように言う。（生徒を二人一組にするか，グループに分けてこの活動を行ってもよい。）正解を発表して，答えについて話し合う。

次のように質問する。「イエス・キリストの再臨に関する知識を得たことによって，あなたはこれまでどのような影響を受けてきたでしょうか。それはあなたの将来にどのような影響を与えると思いますか。」什分の一の律法についてもこれら二つの質問をしてから，エリヤによる結び固めの力の回復についても同様の質問をする。

3ニーファイ26：1－12。聖文は神の言葉である。聖文の中で明らかにされていることを信じて従うならば，さらに大いなる啓示が約束される。（25－30分）

黒板に次の聖句を書く。「神から出ているものは光である。光を受け，神のうちにいつもいる者は，さらに光を受ける。そして，その光はますます輝きを増してついには真昼となる。」（教義と聖約50：24）以下の質問をする。

- この聖句はどのような意味だと思いますか。
- 「さらに光を受ける」ことはなぜ大切なのでしょうか。

- 「神のうちにいつもいる」とはどのような意味だと思いますか。
- さらに光を受けるまでは，なぜ以前に受けた光に従わなければならないのでしょうか。

教義と聖約93：12－14，19－20，27－28を読んで，これらの節は教義と聖約50：24の理解をどのように深めているかについて話し合う。

クラスを二人一組のグループに分ける。各グループに，人は何かの基礎をマスターすると，さらに難しい段階に上れるということを示す例を考えるように言う。（例えば，算数を理解したら，代数を学ぶことができる。両親から信頼されるようになると，大きな特権が与えられる。）何人かの生徒に例を紹介させる。

3ニーファイ26：1－8を読んで，以下の質問について話し合う。

- 救い主はニーファイ人に何を教え，解説されたでしょうか（3－6節参照）。
- 救い主の教えのどの部分が3ニーファイに含まれているでしょうか（8節参照）。
- モルモンはなぜこれらの教えを含めたと思いますか。
- 3ニーファイに記されている救い主の教えはあなたにとってどのように助けとなっているでしょうか。

3ニーファイ26：9－12を読んで，以下の質問について話し合う。

- 救い主がニーファイ人に与えられた教えのどの部分がモルモン書に含められているでしょうか。
- 主はなぜ，ほかの教えが差し控えられていると言われたのでしょうか（9，11節参照）。
- 差し控えられた部分がこれまでに与えられたことがあるでしょうか。
- わたしたちはまず何をすべきでしょうか（9－10節参照）。

以下の解説を紹介する。

「主は『わたしは自分の民の信仰を試みよう』と言われました。神はこのようにして，人類と無慈悲なゲームを楽しんでおられるわけではありません。それはむしろわたしたちに対する愛と憐れみの表れです。救い主はわたしたち自身のため，すなわちわたしたちの霊的な発展と救いのために，標準聖典や現在の神権時代の預言者と使徒の言葉，つまりすでに明らかにしておられる御自身の言葉に信頼し，従うことによって，わたしたちの信仰と義を大いなるものとするうよう期待しておられるのです。主はわたしたちが手にしているこれらの教えを研究し，深く考え，祈り，聞き従うことにより，さらに望みを高めて，『もっと大いなること』がわたしたちに現されるように霊的な備えをすることを望んでおられます。」（ジョセフ・フィールディング・マッコンキーほか，*Doctrinal Commentary on the Book of Mormon: Volume IV —Third Nephi through Moroni*〔1992年〕，170）

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老の以下の言葉を紹介して，それが真実であることを証する。

「将来ますます教会員，家族，ワード，ステーク，そして神殿が増えるのとちょうど同じように，やがて人の霊を養い霊感を与える聖文が今よりはるかに多く出てくることでしょう。しかし，わたしたちは，まず今与えられている聖文を十分に味わうようにしなければなりません。」（「神はなおこれからも啓示したもう」『聖徒の道』1987年1月号，59）

3ニーファイ26：13－21。霊的な経験は神聖であり，御霊により促されたとき以外は分かち合ってはならない。（15－20分）

十二使徒定員会会員の時代にボイド・K・パッカー長老が語った以下の話を紹介する。

「過去1年の間にわたしはしばしば一つの質問を受けてきました。それはキリストの証人として立つための条件についての質問でしたが，多くの場合好奇心を満足させるためだけの，価値のないものでした。彼らが尋ねるのは『あなたはイエス・キリストを見たことがありますか』という質問です。

わたしはほかの人にこのような質問をしたことがありません。わたしはこのような質問を定員会の兄弟たちに尋ねたこともありませんでした。」

以下の質問をする。

- パッカー長老が受けた質問についてあなたはどのように感じるでしょうか。
- パッカー長老はなぜこの質問をほかの人にしたことがなかったと思いますか。

そのような質問がなぜ不適切かを生徒が理解できるように，パッカー長老の話の結論を紹介する。

「わたしはこのような質問は尋ねたこともありませんでした。……非常に神聖な，個人的なものであり，ある特別の霊感，もっとはっきり言えばある権能を授けられなければ，あえて尋ねるようなことはできないと考えているからです。

非常に神聖であるため，話すべきでない事柄が幾つかあります。神殿に関することもその一つです。神殿では神聖な儀式が行われ，人々はそこで神聖な体験をします。しかしわたしたちは，それらが神聖であるがゆえに，神殿の壁の外側では話さないのです。

秘密ではありませんが，神聖なものだからです。つまり語り合うものでなく，心に留め，守り，深い畏敬の念をもって扱うべきものなのです。

わたしは預言者アルマが次のように述べた意味が分かるようになりました。

『……神の奥義を知ることは多くの人に許されている。

しかしこれらの人々は，神が人の子らに授けておられるだけの御言葉しか伝えてはならないという，厳しい命令を受けている。神の御言葉は，人の子らが神に寄せる注意力と熱意の度合いに応じて与えられる。

したがって，心をかたくなにする者はわずかな御言葉しか受けないが，心をかたくなにしない者は，さらに多くの御言葉を与えられて，ついに神の奥義が十分に分かるようになるまで，奥義を知ることが許される。』（アルマ12：9－10）」（「御霊は証する」『聖徒の道』1972年1月号，10）

生徒に，3ニーファイ26：13－21を読んで，以下の点を教えている語句に印を付けるように言う。

- イエスがここでニーファイ人に教えられた教義は神聖なものだった。
- ここで起きた出来事は神聖なものだった。
- ニーファイ人はこれらの経験を他人に話さないよう指示されていた。

生徒が印を付け終えたら，印を付けた事柄について話し合う。生徒に，マタイ7：6；教義と聖約6：11－12；10：37を読んで，神聖な交わりを扱う方法について主がほかの人々に与えられた指示を見つけるように言う。必要であればこれらのことについて話し合う。そして3ニーファイ26：13－21と相互参照する。ボイド・K・パッカー長老の以下の話を紹介する。

「マリオン・G・ロムニー副管長がジュネーブで伝道部長とその夫人たちを前に，次のように話すのを聞いたことがあります。『わたしは自分が知っているすべてを話すようなことをしません。自分が知っているすべてを妻に話すようなことはしていません。それは，神聖な事柄を軽々しく口にするなら，主の信頼を失ってしまうということを知っているからです。』」（「主のともしび」『聖徒の道』1988年12月号，35）

はじめに

「キリストがニーファイ人に教えと導きを与えられた3日目の内容と状況については，わたしたちに与えられている章句からはあまりはっきりとしていませんが，モルモンはこのように記録しています。『……主は実際に3日間民を教えられた。その後，主はしばしば彼らに御自身を現し，しばしばパンを裂いて祝福し，彼らに与えられた。』〔3ニーファイ26：13〕……

そのときから弟子たちは，願い求めたすべての人々に教え，バプテスマを施し，聖霊を授け始めました。そして，多くの点で子供のようであった改宗者たちは，『語ってはならない様々なことを見たり聞いたりした。今，それを書き記すことは許されていない。』御霊（みたま）がこのように注ぎ，改心を促したため，自己中心的な考えや慢心はまったく影を潜めて，彼らは『互いに教え，互いに仕え合った。そして，彼らはすべてのものを共有し，皆，互いに公正に振る舞った。そして彼らは，イエスから命じられたとおりにすべてのことを行った。』〔3ニーファイ26：18－20〕」（ジェフリー・R・ホランド，*Christ and the New Covenant*，301－302）

3ニーファイの最後の数章には，ニーファイ人の間で3日間の教えを与えた後しばらくして，救い主が12人の弟子たちを訪れられた様子が記されている。救い主は福音の大切な教義について詳しく説明し，ニーファイ人の12人の弟子に約束と力をお与えになった。末日に住むわたしたちに対して悔い改めを力強く求める救い主の言葉でこの書は閉じられている。

学び取るべき重要な福音の原則

- イエス・キリストのまことの教会はキリストの名で呼ばれ，キリストの福音の上に築かれる（3ニーファイ27：5－12参照。教義と聖約115：3－4も参照）。
- イエス・キリストが天父の御心（みこころ）に従って，全人類の罪を贖（あがな）われたことが福音の基礎を成している。もしわたしたちが救い主を信じる信仰を行使し，悔い改め，バプテスマを受けて，聖霊の賜物（たまもの）を受け，最後まで堪え忍ぶならば，救い主の贖罪（しょくざい）によって，永遠の命を受けることができる（3ニーファイ27：9－22参照。教義と聖約76：40－42も参照）。
- イエス・キリストは全人類をその行いによって裁かれる（3ニーファイ27：14，23－27参照。ヨハネ5：22も参照）。
- 変貌とは神の栄光に堪えるために肉体が一時的に変化することである。身を変えられた人も同じような変化を経験するが，復活するまで同じ状態にとどまる。身を変えられた人は肉体の苦痛を受けることも，死を味わうこともない（3ニーファイ28：4－40参照。教義と聖約67：10－12；モーセ1：11も参照）。
- 主はわたしたちに罪を悔い改めて，主のもとへ来るよう命じておられる。主を拒む者はのろわれる（3ニーファイ29－30章）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』136－138。

教え方の提案

3ニーファイ27：1－12。イエス・キリストのまことの教会はキリストの名で呼ばれ，キリストの福音の上に築かれる。（20－25分）

クラスを4つのグループに分ける。各グループにこれから一つの組織を創設すると考えさせる（クラブやスポーツのチームなど）。数分間で，どのような種類の組織を発足させるかを決めて，紙に書くように言う。さらに，その組織の名称を決めて，紙の裏側に書くように言う。それから，紙を集める。

グループが選んだ組織の名称を一つずつ読み上げて，その名称からどのような種類の組織かをほかのグループの生徒に当てさせる。以下の質問について話し合う。

- 組織にとって名称を決めることはなぜ大切でしょうか。
- 名称は組織についてどのようなことを物語るでしょうか。
- それぞれの教会に付けられている名称はなぜ大切でしょうか。
- 一般的に，教会の名称は何を物語っているでしょうか。

3ニーファイ27：1－3を読んで，イエスの弟子たちがどのような疑問を持っていたかを見つける。以下の質問をする。

- 弟子たちはなぜこの疑問を抱いたのでしょうか。
- 4－8節を読んでください。イエス・キリストは教会の名称についてどのようなことを弟子たちに教えられたでしょうか。
- キリストの名を使うことの大切さについて教えるためにキリストは何と言われたでしょうか。
- 9－12節を読んでください。救い主は御自身の教会についてほかにどのようなことを教えられたでしょうか。
- 末日聖徒イエス・キリスト教会は，ただ単にその名称にキリストという名を冠しているだけでなく，キリストの福音の上に築かれた教会であることを知るのは，なぜ大切でしょうか。

ラッセル・M・ネルソン長老が末日聖徒イエス・キリスト教会の名称について説教を行っていることを生徒に告げる。ネルソン長老は教会の名称の中に含まれる一つ一つの語について大切な情報を明らかにしている。時間の許すかぎり，これらの一つ一つの点について検討する。可能であればこれらの要点を配付資料にして生徒に配る。

教　会

「主が地上における御自分の組織に命名された英語の名称の最初に来る語は，『教会（The Church）』という言葉です。（訳注――英語による教会の正式名称はThe Church of Jesus Christ of Latter-day Saints）

英語の名称にある定冠詞の『The』は大文字で始まっています。これも名称の重要な一部です。なぜなら，この教会は，バプテスマを受けてキリストの御名（みな）をその身に引き受けた信者の公認された組織だからです（教義と聖約10：67－69；18：21－25参照）。……

教会は，主がその業を行い，その栄光を授けられる手段なのです。教会の儀式とそれに伴う聖約の数々はきわめて尊い教会員の特権なのです。交流の場やすばらしい知識を授けてくれる組織は数多くありますが，主の教会だけが，バプテスマを施し，確認を行い，聖任し，聖餐（せいさん）の儀式を執行し，祝福師の祝福を授け，神殿の儀式を行うことができます。これらはすべて権威ある神権の権能によって授けられるものです。この力は，国籍を問わず天父の子らを一人残らず祝福するように定められています。」（「わたしの教会は……末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならない」『聖徒の道』1990年7月号，19）

イエス・キリスト

「神の命により，教会の名称にはイエス・キリストという神聖な名を頂いています。なぜならこの教会は主の教会だからです（教義と聖約115：3－4参照）。……

わたしたちは，聖霊の力により，御子の御名によって，永遠の父なる神を礼拝します。また，前世におけるイエスが旧約の神エホバであられることを知っています。イエスは教会の組織の土台となる『隅のかしら石』（エペソ2：20）です。また，イエスは御自身が権威をお授けになった僕（しもべ）たち（1コリント10：4；ヒラマン5：12参照）や，ふさわしい方法で主を求めるすべての人に（教義と聖約88：63参照）啓示をもたらされる『岩』なのです。」（「わたしの教会は……末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならない」19）

末　日

「確かに聖典の中には，星の栄えという仮の状態にあるこの地球の終わりの日のことが預言されています。その日地球は更新され，楽園となり，月の栄えの状態に変わります（信仰箇条1：10参照）。地球は，最終的には日の栄えの状態になります（黙示21：１；教義と聖約77：1；88：25－26参照）。しかし，終わりの日が来る前に，末日が来なければなりません。」（「わたしの教会は……末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならない」18）

聖　徒

「聖徒とはキリストを信じる人，その完全な愛を知る人のことです。そして，その真の愛を奉仕によって人に伝え，心からの感謝の念をもってそれを受ける人を指します。聖徒とは人に仕える人を言います。……

聖徒は怠惰を避け（アルマ38：12参照），研究と信仰とによって学問を求めます。……

聖徒は，正直で親切であり，経済的な負債があれば速やかに完全に返済し，自分がしてほしいと思うとおりに人々に対応します。……

聖徒は立派な市民であり，社会生活上の様々な機会と保護を与えてくれる政府を支持する必要があることを理解しています。また，遅滞なく税金を納め，合法的な政治活動に積極的に参加します（教義と聖約134：5参照）。

聖徒は，相互の名誉を傷つけず穏やかに争いを解決し，たとえ交通渋滞の中にいても，礼儀正しい態度を失いません。

聖徒は不潔な卑しいことにはかかわらず，たとえ良いものでも行き過ぎは避けます。

とりわけ，聖徒は敬虔（けいけん）です。主に対して，主の造られた地に対して，指導者に対して，人々の尊厳に対して，法律

に対して，命の尊さに対して，礼拝堂やそのほかの建物に対して敬虔さを示すことは皆，聖徒にふさわしい態度です。……

敬虔な聖徒は主を愛し，戒めを守ることを最優先します。日々の祈り，定期的な断食，什分の一や献金の納入は，忠実な聖徒の大切な特権なのです。

最後に，聖徒とは，神がすべての忠実な息子や娘たちに約束された御霊の賜物を受ける人です（ヨエル2：28－29；使徒2：17－18参照）。」（「わたしの教会は……末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならない」17）

3ニーファイ27：13－33。イエス・キリストが天父の御心に従って，全人類の罪を贖われたことが福音の基礎を成している。もしわたしたちが救い主を信じる信仰を行使し，悔い改め，バプテスマを受けて，聖霊の賜物を受け，最後まで堪え忍ぶならば，救い主の贖罪によって，永遠の命を受けることができる。（25－30分）

キリストと福音に関する絵を数多く見せる。『福音の視覚資料セット』から以下の絵を利用するとよい。

- 子どもたちに教えるアダムとエバ（119）
- イエスの生誕（200）
- イエスにバプテスマを施すバプテスマのヨハネ（208）
- 使徒たちを聖任されるキリスト（211）
- 盲人を癒すイエス（213）
- キリストと子供たち（216）
- 良きサマリヤ人（218）
- 放蕩息子（220）
- 最後の晩餐（225）
- 使徒たちの足を洗うイエス（226）
- ゲツセマネで祈るイエス（227）
- 十字架（230）
- マリヤと復活された主（233）
- イエス・キリスト（240）
- 最初の示現（403）
- ソルトレーク神殿（502）
- 末日の預言者（506）
- バプテスマ（601）
- 聖霊の賜物（602）
- 聖餐の祝福（603）
- 祈りをささげる少年（605）

生徒に，福音という語の意味を考えるように言う。生徒に，福音を最もよく表していると自分が考える絵を選ぶように言う。何人かの生徒にどの絵をなぜ選んだかを話させる。

生徒に，『聖句ガイド』から福音の定義を調べるように言う。（良い知らせ。「福音書」220参照）3ニーファイ27：13，21を読んで，「福音とは，次のとおりである」と「以上がわたしの福音である」に印を付けるように言う。これら二つの語句の間の節に，福音とは何かについて救い主御自身が語られた説明が含まれている。13－21節を読んで，以下の質問をする。

- 救い主の説明によれば，福音とは何でしょうか。
- それがなぜ「良い知らせ」なのでしょうか。
- これらの節を読んだ今，福音を表す絵を選ぶとしたら別の絵を選ぶでしょうか。もし，選び変えるなら，どの絵をなぜ選びますか。

『聖句ガイド』の「福音書」から2段落目を読んで，新たにどのようなことを理解したかを尋ねる。全員で3ニーファイ27：22－23を調べる。途中であなたが質問を読み上げるので，それを考えるように言う。

- 救い主の業を行う人々にはどのような祝福があるでしょうか（22節参照）。
- 福音はわたしたちがイエス・キリストのようになるために，どのような助けを提供するでしょうか（27節参照）。
- キリストのようになりなさいとの戒めをどう思いますか。
- 29節の約束はなぜ大切でしょうか。
- あなたはこの約束が成就するのをいつ経験したでしょうか。
- 30－31節は当時のニーファイ人についてどのようなことを明らかにしているでしょうか。
- 霊的に脱落する人が一人もいない時代に生きるとはどのようなことだと思いますか。
- 命に至る道はなぜ細いのでしょうか（33節参照）。
- わたしたちが「それを見いだす者」の中に加えられるために，どのようなことができるでしょうか。
- 福音に関する救い主の教えをわたしたちの個人の生活でどのように応用できるでしょうか。家庭で，教会の活動で，学校ではどうでしょうか。

3ニーファイ27：27（マスター聖句）。わたしたちはイエス・キリストのようになるために努力すべきである。（15－20分）

有名な人の写真が掲載されている雑誌，書籍，あるいは新聞を持参する。雑誌を生徒の間に回して，尊敬する人の写真が載っているかどうかを尋ねる。生徒にだれを選んだかを発表させる。以下の質問について話し合う。

- もし1日，これらの人々のだれかと立場を代わることができるとすれば，だれを選ぶでしょうか。それはなぜですか。
- あなたが尊敬するこれらの人々はどのような特質を持っているでしょうか。

3ニーファイ27：27を読んで，以下の質問をする。

- わたしたちはだれのようになるよう命じられているでしょうか（3ニーファイ12：48も参照）。
- イエス・キリストの持っておられるどのような特質をわたしたちは伸ばす必要があるでしょうか。
- 有名な人や著名人よりも，なぜキリストにもっと注目すべきでしょうか。

生徒に，救い主を第一の模範とするよう奨励する。わたしたちはイエス・キリストのようになるためにどのようなことができるかについて話し合う。以下の事項が含まれる。

- 寝室や家庭に救い主の絵を飾る。

- 救い主の言葉や教えを暗記する。
- 救い主に関する歌詞を持つ音楽を聴く。
- 聖文から救い主について研究する。
- 定期的に祈る。

生徒が尊敬するイエス・キリストの特質について述べている箇所を聖典から見つけるように言う。この活動に数分間を充てる。生徒が選んだ特質とその理由を発表する機会を与える。話し合った事柄を生活で応用し，救い主が望んでおられる状態にまでそれを高めるために努力するよう奨励する。

3ニーファイ28章。変貌とは神の栄光に堪えるために肉体が一時的に変化することである。身を変えられた人も同じような変化を経験するが，復活するまで同じ状態にとどまる。身を変えられた人は肉体の苦痛を受けることも，死を味わうこともない。（40－45分）

一人の生徒に前へ来させる。その生徒に言う。「一つの願い事をかなえられると仮定してください。多くの願い事をかなえてもらうこと以外のどのような願い事でもかなえられます。あなたは何を願うでしょうか。それはなぜでしょうか。」

3ニーファイ28：1を読んで，以下の質問をする。

- 救い主はニーファイ人の弟子たちに教え，戒めを与えてから，どのようなことをお尋ねになったでしょうか。
- 2，4－6節を読んでください。9人の弟子たちは何を願ったでしょうか。
- 彼らの願いについてあなたはどう思いますか。
- ほかの3人は何を願ったでしょうか。
- 救い主は彼らの願いに対して何と言われたでしょうか。
- もしこれら二つの願いのいずれかを選べるとしたら，あなたはどちらを選ぶでしょうか。それはなぜですか。

生徒に，包装紙で包んだ贈り物の箱を見せる。以下の質問について話し合う。

- あなたが最後に贈り物をもらったのはいつでしたか。
- 包みを開けるときにわくわくしましたか。それはなぜですか。

3ニーファイ28：3，7－12を読んで，救い主は弟子たち一人一人の願いをかなえられたかどうかを尋ねる。

3ニーファイ28章は贈り物の包みを開くことにたとえられることを説明する。イエス・キリストは3人のニーファイ人の弟子たちに，彼らが身を変えられることを告げられた。そして13－40節には彼らがその贈り物を与えられたことが記されている。

生徒を二人一組のグループに分ける。それぞれの組で3ニーファイ28：13－40を読んで，以下の質問の答えを紙に書くように言う。

- これらの節では身を変えられることについて，どのようなことが教えられているでしょうか（その節と詳しい内容を書き出す）。
- これらの節の中で，分からないことがあるでしょうか。

一組の生徒にリストを読み上げさせる。同じことを書いた組がどれくらいいるかを尋ねる。ほかの事柄を見つけた組にそれを発表させる。身を変えられた人に関して質問がある生徒は，それを言って，全員で話し合う。（生徒の質問に答えるに当たって，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』〔137ページ〕から3ニーファイ28章の解説を活用するとよい。）

3ニーファイ29－30章。主はわたしたちに罪を悔い改めて，主のもとへ来るよう命じておられる。主を拒む者はのろわれる。（15－20分）

5分間で，新約聖書から，救い主が残酷な仕打ちを受けられた箇所を幾つか探すように言う。（生徒に助けが必要であれば，『聖句ガイド』の「福音書対観表」〔221－227ページ〕を活用するように勧める。）見つけた聖句を発表させ，それから以下の質問について話し合う。

- 人々はなぜ救い主をこのような方法で扱ったと思いますか。
- 彼らが救い主に対して行った仕打ちをあなたはどう思いますか。
- もしあなたがこれらの人々に話すことができたとしたら，どのようなことを言うでしょうか。

3ニーファイ29：1－4では，モルモン書の出現は主がイスラエルの集合と聖約の成就を始められたことのしるしであると教えられている。生徒に，4節を読んで，「はねつける」という語に印を付けるように言う。次のように質問する。「この言葉はどのような意味でしょうか。」生徒に，5－9節を読んで，この聖句で使われている意味を探すように言う。以下の質問について話し合う。

- 救い主は末日に主をはねつける人々に対してどのように警告しておられるでしょうか。
- 聖文で使われる「災いである」とはどのような意味でしょうか。（悔い改めない人々に悲惨な状態や悲しみが襲うことを厳しく警告する言葉である。）
- 救い主の警告についてあなたはどのように感じるでしょうか。
- 現在，人々はどのように救い主をはねつけているでしょうか。
- あなたは救い主に対していっそうの愛を表すために何ができるでしょうか。

3ニーファイ30：1を読んで，モルモンはだれから2節の言葉を書くように命じられたかを探すように言う。2節を読んで，生徒に，救い主の言葉を要約するように言う。次のように質問する。「この警告についてあなたはどのように感じるでしょうか。」

3ニーファイのレッスンを終えるに当たって，以下の質問について話し合うとよい。

- 3ニーファイで最も心に残っているのはどのようなことでしょうか。
- 救い主の教えの中で最も感動したのはどの教えでしょうか。
- ニーファイ人の間で救い主が教えられたことを記録しているこの部分はなぜモルモン書で最も大切な箇所となっているのでしょうか。
- 3ニーファイを研究したことによってあなたの生活は変わったでしょうか。

3ニーファイで学んだ真理について生徒に証（あかし）を分かち合うように勧める。

第四ニーファイ

4ニーファイの著者は4人いる。すなわち，ニーファイ（イエス・キリストの弟子の一人であったニーファイの息子）；ニーファイの息子アモス；アモスの息子アモス；アモスの兄弟アマロンである。（モルモン書の著者に関する詳細は『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』171参照。）モルモンはこれら4人の書き物をかなり短くまとめたことが明らかである。なぜならば，4ニーファイは300年近くをわずか49節に収めているからである（4ニーファイ1：48参照）。救い主がアメリカ大陸で教え導かれた後，あらゆる人は義人となった。4ニーファイは4世代を経て人々が堕落して，きわめて罪深い状態に陥ったことを記録している。

はじめに

救い主がアメリカ大陸に来られる直前に邪悪な人々は滅ぼされ，民の中でより義にかなっていた者たちが命を助けられた（3ニーファイ9：13参照）。主は人々に福音を教え，御自身の教会を確立し，この上なく安定した社会の基礎を築かれた。そして数世代にわたって義にかなった人々はこの社会で生活し，世を去っていった。十二使徒定員会会員であるジェフリー・R・ホランド長老はこのように記している。

「わたしたちの知るかぎり，この時代以前もその後も，このように歴史的な出来事が続いたことはありませんでした。……

驚くべきことにわずか2年の間で，全地のあらゆる人々が改心しました。……それは天国のような時代でした。……『また，彼らはすべてのものを共有したので，物持ちも貧しい者も……』ありませんでした〔4ニーファイ1：3〕。

……いかなる人々の間にも争いがなく，必要なときに常に力ある奇跡が行われました。……

……そのような義にかなった生活は祝福に満ちた平和な状態をもたらし，次の言葉で表される最もすばらしい特徴がありました。『神の手によって造られたすべての人の中で，彼ら以上に幸せな民は確かにあり得なかった。』〔4ニーファイ1：16〕」（*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，313－314）

紀元194年ごろ「少数の者たち」が教会に背いて，自らレーマン人と名乗った（4ニーファイ1：20）。紀元244年になると，邪悪な人々の数が義人よりも多くなった（40節参照）。人々は非常に罪深い状態に陥り，「イエスの弟子たちのほかには，義人は一人もいなかった。」（46節）主は最終的に弟子たちを人々の間から取り去ってしまわれ，「奇跡と癒しの業はやんだ。」（モルモン1：13）

学び取るべき重要な福音の原則

- 義にかなった人々はイエス・キリストを信じる信仰に応じて奇跡を経験することができる（4ニーファイ1：5，11－13参照。モルモン9：19－21；エテル12：6も参照）。
- 使徒が亡くなると，その地位にあって働くためにほかの人が召され，聖任される（4ニーファイ1：14参照。使徒1：15－26も参照）。
- 義は繁栄と幸福を招く。邪悪は不幸と悲しみを招く（4ニーファイ1：7－49参照。モーサヤ2：41；アルマ41：10；教義と聖約130：20－21も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』139－140。

教え方の提案

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション19「おお，麗しい者たちよ」を4ニーファイ－モルモン6章を教える際に利用できる（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

4ニーファイ1：7－49。義は繁栄と幸福を招く。邪悪は不幸と悲しみを招く。（45－50分）

難しい判断や大切な決断を迫られることがどれほどあるかを考えるように言う。以下の質問について話し合う。

- 最近，大切な決断をしたのはいつのことでしたか。
- あなたはどのようにして決心しましたか。
- 決断する前に結果について考えたでしょうか。なぜ考えましたか。あるいはなぜ考えませんでしたか。
- 決断を下すときに，それによって生じる結果について深く考えることはなぜ大切でしょうか。

良い決断と悪い決断を書いたカードを何枚か容器の中に入れておく（例えば，たばこを吸ってみる，毎日聖典を勉強する，純潔の律法を破る，什分の一を完全に納める，など）。容器からカードを1枚ずつ取り出して，読み上げる。1枚取り出すごとに，以下の質問をする。

- ある人たちはなぜこのカードに書かれているようにすることを選ぶのでしょうか。
- この選択をするとどのような結果になるでしょうか。

悪い結果につながることが記されているカードであれば，次のように質問する。「ある人たちはなぜ，それでもこれを選ぶのでしょうか。」良い結果につながることが記されているカードであれば，次のように質問する。「なぜすべての人がこれを選ばないのでしょうか。」

十二使徒定員会会員のリチャード・G・スコット長老による以下の話を分かち合う。

「わたしたちの天父は創世の前から善と悪を確立し，真理を定められました。主はまた真理に対して従順な場合と不従順な場合の結果も定められました。成長し，幸福を得られるように，わたしたちには人生の様々な場面で選択権が与えられています。しかし，わたしたちには，自分の行いに対する結果まで選ぶ権利はありません。主の戒めにいつも故意に従わない者たちは，その報いを間違いなく受けることになるのです。霊感を受けたジョセフ・スミスはこう記しています。『神から祝福を受けるときは，それが基づく律法に従うことによるのである。』（教義と聖約130：21）」（「罪深い生活を改める」『聖徒の道』1993年1月号，67）

今日は，4ニーファイで人々が行った選択とその結果について学んでいくと生徒に伝える。黒板に見出しとして，「義にかなった選択」と「結果」と書く。クラスを二つのグループに分ける。最初のグループに4ニーファイ1：1－3，12，14－17を読んで，人々が行った良い選択を見つけるように言う。第2グループに2－11，14－17節を読んで，正しい選択をした結果として得た祝福を見つけるように言う。見つけた事柄をそれぞれ黒板の見出しの下に書き出すように言う。以下の事項が含まれる。

義にかなった選択	結　果
● 12人の弟子は全地に教会を設立した（1節参照）。	● すべての人はまことの教会の中で一致していた（2節参照）。
● 人々は悔い改めてバプテスマを受け，聖霊を受けた（1節参照）。	● まったく争いがなかった（2節参照）。
● 争わなかった（2節参照）。	● 物持ちも貧しい者もいなかった（3節参照）。
● 互いを公正に扱った（2節参照）。	● すべての人は自由で，束縛された者はいなかった（3節参照）。
● 奉献の律法に従って生活した（3節参照）。	● 地に平和があった（4節参照）。
● 戒めを守った（12節参照）。	● 弟子たちは病人，足の不自由な者，目の見えない者，耳の聞こえない者を癒し，死者をよみがえらせるなどの奇跡を行った（5節参照）。
● 断食して，祈った（12参照）。	● 主から繁栄を受けた（7節参照）。
● しばしば集まって祈り，主の言葉を研究した（12節参照）。	● 人数が増えて，力をつけた（10節参照）。
● 亡くなった弟子たちに代わって新しい弟子たちが聖任された（14節参照）。	● 「非常に麗しくて喜ばしい民」になった。（10節参照）。
● 神の愛を心に持っていた（15節参照）。	● 弟子たちはこの世を去ると，行って神とともに住んだ（14節参照）。
● ねたまず，争わず，純潔の律法を破らず，偽りを言わず，殺人を犯さなかった（16節参照）。	
● 盗みをしなかった（17節参照）。	
● 国家や部族によって分割しなかった（17節参照）。	● 彼ら以上に幸せな民はあり得なかった（16節参照）。
	● 一つとなり，神の王国を受け継ぐ者となった（17節参照）。

以下の質問をする。

- この民はそのように義にかなった決断を下す力をどこから得たと思いますか。
- 彼らがこの世にいる間に得た祝福は何でしょう。来世で得た祝福は何でしょう。
- この出来事から義にかなった生活を送ることについてどのようなことが学べるでしょうか。

以下の質問を心の中で考えるように言う。「あなたは，この時期のニーファイ人とレーマン人の暮らし方にどれほど近い生活をしているでしょうか。家族の生活，学校の生徒たち，国の人々はどうでしょうか。」次のように質問する。「4ニーファイで説明されている生活の方法はイエス・キリストの再臨後に経験する生活とどれほど似ているでしょうか。」

生徒に，18，21－22節を読んで，救い主がおいでになってから何年が過ぎたかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- 救い主の訪れを目撃した人でまだ生きている人は何人いたでしょうか。
- 2代目，3代目の人々はキリストの教えをどのようにして学んだと思いますか。

黒板にさらに二つの見出し「邪悪な選択」と「結果」を書き加える。全員で20－42節に目を通して，人々の邪悪な選択とその結果を見つける。見つけた事柄をそれぞれ黒板の見出しの下に書き出すように言う。以下の事項が含まれる。

邪悪な選択	結　果
● 一部の人は教会を離れた（20節参照）。	● 偽善売教が再び民の間で定着した（26節参照）。
● 社会階級に分かれ始めた（20，26節参照）。	● 人々はもはや一つではなかった。多くの偽りの教会があり（27，34節参照），民は部族に分かれた（36－38節参照）。
● 高慢になり，高価な衣服を身に着けた（24，43節参照）。	● サタンは民の心を捕らえた（28節参照）。
● 利益を得るために自分の教会を築いた（26節参照）。	● 義人は迫害に苦しめられた（29－30，34節参照）。
● 罪悪を普通のこととして受け入れた（27節参照）。	● 秘密結社が戻ってきた（42節参照）。
● キリストを否定した（29節参照）。	
● 義人を迫害した（29－30，34節参照）。	
● 弟子たちを受け入れず，殺そうとした（30－33節参照）。	
● 心をかたくなにした（34節参照）。	
● 故意に福音に背いた（38節参照）。	

- **子供たちに真理を信じてはならないこと，信者を憎むことを教えた（38－39節参照）。**

以下の質問について話し合う。

- 義人と悪人の暮らし方にはどのような違いがあったでしょうか。
- このことによって邪悪な生活はどのような結果につながると分かるでしょうか。
- 義にかなった生活や邪悪な生活の結果が必ずしもすぐに表れないのはなぜでしょうか。

ニーファイ人とレーマン人の罪悪が生じた結果の多くはモルモン1－6章に記されていることを説明する。モルモン書のこれらの章で罪悪の結果を研究するときに，4ニーファイに記されている義にかなった生活の結果と比較するように言う。義と邪悪の最終的な結果はともに，最後の裁きまで持ち越されることを指摘する。義は幸福を招き，邪悪は不幸を招くことについてあなたの証（あかし）を述べる。

モルモン書

モルモン書は二人の著者，すなわちモルモンと息子のモロナイによって記録された。モルモンは1－7章を記した。モルモンが殺された後，モロナイは8－9章で父の記録を完成させ，エテル書を短くまとめ，モロナイ書を書いた。モルモンは邪悪と背教の時代に生きた偉大な預言者であり，指導者だった。ほかの預言者たちの書き物をほとんどモルモンが短くまとめたので，それらを合わせた書物であるモルモン書には彼の名が付されている。

モルモン1－6章には民に対するモルモンの愛，民の罪悪に対する悲しみ，そして悔い改めようとしなかったニーファイ人国家の最終的な滅亡が記されている。モルモン7－9章にはレーマン人の子孫と末日のそのほかの人々に対するモルモンとモロナイの勧告と教えが記されている。

はじめに

1－6章でモルモンは，4ニーファイで詳しく述べた罪悪の結果について述べている。「一度は日の栄えに近い生活を知った後にまったく神を否定した人々の希望のない，地獄のような状態を証言する物語です。……

……モルモンは驚くべき人でした。版の責任を託され，年若くしてニーファイ人の軍隊を指揮する任務を受けただけでなく，モルモンは信じられないほど堕落したニーファイ人を心から愛し，心配していました。人々が悔い改めを拒んだため，彼は軍の指揮官を辞任せざるを得ないと決断しました。それでも彼の民を思いやる気持ちが勝り，民の滅亡は免れないと知りつつ，また自分自身もともに死ぬことになると承知のうえで，指揮官を再度引き受けました。モルモンは生涯を通じて大きな罪悪と悲しみに囲まれていましたが，それでも……力強く，勇敢でした。……

……モルモンは自らの記録を結ぶに当たって，自分と家族を恐らく殺すであろうことが分かっていた人々の子孫に対して証を述べています。……彼は辛辣な言葉を残すのでなく，キリストを信じ，悔い改めて，救いを得るよう呼びかけました。」（ジョセフ・フィールディング・マッコンキーほか，*Doctrinal Commentary on the Book of Mormon: Volume IV—Third Nephi through Moroni*〔1992年〕，207－208）

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- 義は繁栄と幸福を招き，邪悪は不幸と悲しみを招く（モルモン1－6章参照。ヨハネ13：17；2ニーファイ2：13；モーサヤ2：41；アルマ41：10；4ニーファイ1：7－18；教義と聖約130：20－21も参照）。
- 悔い改めを引き延ばしていると，悔い改めはますます難しくなる（モルモン2：8，11－15参照。アルマ34：33；ヒラマン13：38も参照）。
- わたしたちは祝福が神から与えられていることを認め，神に感謝すべきである（モルモン3：3，7－10，14－15参照。教義と聖約59：7，21も参照）。
- イエス・キリストが救い主であり，贖い主であられること，キリストは天父のすべての子らを裁かれることについて，モルモン書は聖書に次ぐ第2の証である（モルモン3：17－22；5：10－24参照。ヨハネ5：22も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』141－144。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

『「モルモン書」ビデオ』プレゼンテーション19「おお，麗しい者たちよ」を4ニーファイ－モルモン6章を教える際に利用できる。（教え方については『「モルモン書」メディアガイド』を参照）。

モルモン1：1－5，13－16；2：1－8，16－17，29；4：19－20；5：6－7；8：3。モルモンはモルモン書のほとんどの記録を短くまとめた。（15－20分）

以下の情報を紹介して，だれについて述べているかを考えるように言う。

1. 一人の預言者がまだ幼かった彼のもとを訪れて，この預言者が丘に隠したという，記録が刻まれた金属の版について話しました。この預言者はこの少年に何年か後に丘へ行って版を手に入れなければならないと言いました（モルモン1：1－3；ジョセフ・スミス－歴史1：33－35，42参照）。
2. 10代の半ばに，主の訪れを受けました（モルモン1：15；ジョセフ・スミス－歴史1：17参照）。
3. 自分が知ったことの一部を分かち合おうとしましたが，人々は心をかたくなにしました（モルモン1：16；ジョセフ・スミス－歴史1：21－22参照）。
4. 20代前半のときに，版を受け取りました（モルモン1：3；2：16－17；ジョセフ・スミス－歴史1：59参照）。
5. 大柄な体つきをしていました（モルモン2：1；『時満ちる時代の教会歴史』〔宗教コース341－343，生徒用資料〕，49参照）。
6. 父と同じ名前でした（モルモン1：5；ジョセフ・スミス－歴史1：4参照）。

7. 当時の人々は背教の時代に生きていました（モルモン1：13；ジョセフ・スミス―歴史1：18―19参照）。
8. 軍事指導者，預言者，記録者として人々を導きました（モルモン2：1；教義と聖約43：1―5；『時満ちる時代の教会歴史』223参照）。
9. 敵に家を追われ，仲間とともに町から町へと移動しました（モルモン2：4―6；4：19―20；5：6―7；教義と聖約124章前書き；ジョセフ・スミス―歴史1：61参照）。
10. 最終的に敵は彼を殺すことに成功しました（モルモン8：3；教義と聖約135：4参照）。

これらの説明は預言者ジョセフ・スミスだけでなく，モルモンについても述べていることを生徒に説明する。モルモンはモルモン書の記録のほとんどを短くまとめ，ジョセフ・スミスはモルモン書を翻訳した。黒板に以下の参照箇所を書き出す。モルモン1：1―5，13―16；2：1―8，16―17，29；4：19―20；5：6―7；8：3。生徒にこれらの参照聖句を読んで，預言者モルモンの特徴に関する上記の説明を確認するように言う。

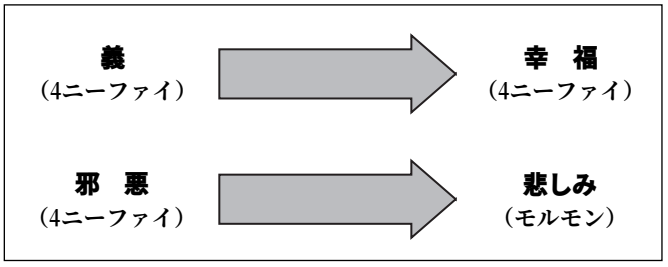
モルモン1－6章。義は繁栄と幸福を招き，邪悪は不幸と悲しみを招く。（35－40分）

注意：この「教え方の提案」では4ニーファイ1：7―49で採り上げた内容に基づいて，邪悪の結果を詳しく説明している。

以下の正誤問題を行う。

1. 4ニーファイには熱心に戒めを守った民に関する話が書かれている。（正）
2. ニーファイで述べられている義人は大いなる幸せを経験した。（正）
3. 彼らの幸せは自分たちの義にかなった行いが生んだ直接的な結果である。（正）
4. 4ニーファイには人々がどのように邪悪に陥ったかが記されてあり，また人々が犯した罪悪が詳しく説明されている。（正）
5. 4ニーファイには邪悪な人々が罪を犯したために受けた不幸，苦しみ，悲しみについて詳しく説明されている。（誤。この情報はおもに，モルモン書に記されている。）

正解を発表する。モルモン書が4ニーファイを基にして書かれていることを生徒が理解できるように，以下の図を黒板に書き写す。



以下の表を右の欄を空白にして，黒板に書く。モルモン書から聖句を読んで，人々が罪悪のためにどのような苦しみを受けたかを見つけるように生徒に言う。

モルモン	罪悪の結果
1：8―11	ニーファイ人とレーマン人の間で戦争が始まった。
1：13，16	主は弟子たちを連れ去られた。
1：13	奇跡と癒しの業はやんだ。
1：14；5：16	主の御霊は引き下がられた。
1：16―17	指導者は邪悪な人々に教えることを禁じられた。
1：17―18	地はのろわれた。
1：18	強盗たちが地を荒らし回った。
1：19	魔術，魔法，呪術，悪魔の力があふれた。
2：8	流血と虐殺が広がった。
2：11	人々は嘆き悲しんだ。
2：20	人々は家を追われた。
4：11	人々は殺人を喜びとした。
4：14，21	レーマン人は女性と子供をいけにえとしてささげた。

モルモン4：12を読んで，ニーファイ人がどれほど罪深い状態に陥ったかを見つける。エテル2：9を読んで，いつ「神の限りない怒り」が罪深い人に下されるかについて話し合う。それから，表の残りを完成させるように言う。

4：18	邪悪なニーファイ人は滅亡し始めた。
5：7―9	人々が殺された。
6：7	人々は「ひどく死を恐れ」た。
6：9―15	ニーファイ人は完全に滅亡した。

以下の質問をする。

- 義よりも罪悪を選ぶと最終的にどのような結果を招くでしょうか。
- モルモン2：13を読んでください。なぜニーファイ人の悲しみは，役に立たなかったのでしょうか。
- なぜ主は悪人に対して必ずしもすぐに罰をお与えにならないのだと思いますか。
- モルモン6：17―18を読んでください。ニーファイ人は滅亡を免れるために何をしなければならなかったのでしょうか。
- 邪悪な者はその罪悪のために苦しむということを知っていると，わたしたちの生活はどのように変わるでしょうか。

モルモン2：8，11－15。悔い改めを引き延ばしていると，悔い改めはますます難しくなる。（10－15分）

クラスに磁石を二つ持参する。何人かの生徒に，順番に，二つ

の磁石が互いに引き合うよう持つように言う。二つの磁石をくっつけないようにしながらどこまで近づけることができるか試させる。次のように質問する。「磁石が互いに引き寄せるのを妨げようとすることはどれほど難しかったでしょうか。それはなぜでしょうか。」

モルモン2：8，11－15；3：2－3；5：1－2を読んで，以下の質問をする。

- 罪を犯した人が悔い改めを拒み続けているとどのようなことになるでしょうか。
- それは二つの磁石がくっつかないようにすることとどのように似ているでしょうか。
- ヒラマン13：32－33，38を読んでください。これらの節はこの原則とどのような関係があるでしょうか。

ジョージ・アルバート・スミス副管長が語った以下の話を紹介する。

「主の領域と悪魔の領域との間には，はっきりと定められた境界線があります。あなたがこのまま主の側にとどまっているならば，敵はそれを越えてあなたを誘惑したり，困らせたり，悩ませたりすることはできません。もしあなたが境界線を1インチでも越えて悪魔の側に入るならば，あなたは悪魔に支配される身となります。そこで悪魔はあなたを近くに引き寄せて，その境界線からできるかぎり遠ざけようとするでしょう。悪魔は，あなたを自分の領域にとどめることができれば，自分の思いのままになることを知っているのです。」（ジョージ・アルバート・スミス，Conference Report，1932年10月，27）

以下の質問をする。

- この言葉は磁石とどのような関係があるでしょうか。
- あなたの生活においてこの言葉はどのように応用できるでしょうか。
- 「境界線」を越えてサタンの領域に入ったまま，主の側に戻って来ない人はどうなるでしょうか。

以下の言葉を分かち合う。十二使徒定員会会員を務めたジェームズ・E・タルメージ長老はこのように書いている。

「悔い改めの時を引き延ばすにしたがって，悔い改めの能力は弱くなり，また悔い改めをする好機を無視していると，悔い改める能力を失ってしまう。」（*The Articles of Faith*，第12版〔1924年〕，114）

十二使徒定員会会員時代にスペンサー・W・キンボール長老はこのように記している。

「大いなる悔い改めの原則はいつでも運用できることは事実であるが，邪悪で不従順な人に対しては，重大な適用の制限がある。例えば，罪はひどい習慣性を持つため，時には人を取り返しのつかない地点まで追いやってしまうことがある。……罪びとは罪の深みにはまり込むにつれて，ますます過ちに浸り，立ち直ろうとする意思は弱くなり，ついにはほとんど望みのない有様となってずるずると横滑りを続け，結局向上しようとする気持ちを失ってしまうか，あるいはそうする力をなくしてしまう。」（『赦しの奇跡』125）

アルマ34：32－34を読んで，以下の質問について話し合う。

- 悔い改めるときにあなたの生活にはどのような影響が及ぼされるでしょうか。
- 悔い改める時期はなぜ大切なのでしょうか。

モルモン3：3，7－10，14－15。わたしたちは祝福が神から与えられていることを認め，神に感謝すべきである。（10－15分）

何人かの生徒に感謝している事柄について尋ねる。以下の質問をする。

- あらゆる祝福はどこから授けられるのでしょうか。
- わたしたちは祝福を受けていることについて神にどのように感謝を表したらよいでしょうか。
- 主は恩知らずな人をどのように思っておられるでしょうか。

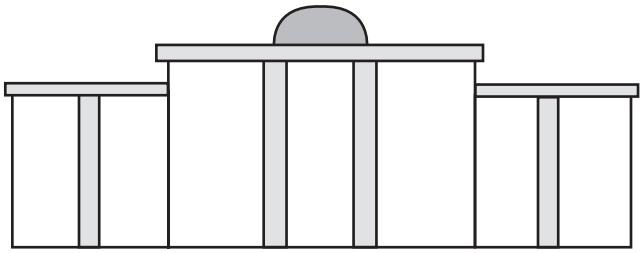
モルモン3：3，7－10，14－15；4：8を読んで，人々が犯した罪を見つける。次のように質問する。「これらの人々は自分たちの成功をだれの力によると考えたでしょうか。」一人の生徒に教義と聖約59：7，21を読ませる。以下の質問をする。

- 主はこれらの節で御自身の子らにどのような戒めを与えておられるでしょうか。
- この戒めを破る人々に対して主はどのような思いを抱かれるでしょうか。
- 祝福を受けていることを主に感謝するために，祈りの中で主に感謝するほかにどのようなことができるでしょうか。

「主の恵み，人にも分かたん」（『賛美歌』138番）を歌うか，歌詞を読む。

モルモン3：17－22；5：10－24。イエス・キリストが救い主であり，贖い主であられること，キリストは天父のすべての子らを裁かれることについて，モルモン書は聖書に次ぐ第2の証である。（10－15分）

黒板に神の裁きの法廷を表す絵を描く。



神の裁きの法廷

生徒に，最後の裁きの日が来たと想像するように言う。以下の質問をする。

- あなたはその日に何を考え，何を感じると思いますか。
- あなたを裁くためにそこにはどなたがおられると思いますか。

生徒に，モルモン3：17－19を読んで，モルモンが話しかけているグループの人々に傍線を引くように言う。どのグループに加わりたいと思うかを心の中で考えるように言う。

以下の質問を黒板に書く（答えや参照聖句を書いてはならない）。一人の生徒にモルモン3：18－22を声を出して読ませる。生徒が答えを見つけたら，記入していく。

- イスラエルの十二部族の裁きを行われるイエス・キリストを助けるのはだれでしょうか（18節参照）。
- リーハイの子孫の裁きを助けるのはだれでしょうか（19節参照）。
- キリストの裁きの座の前に立つのはだれでしょうか（20節参照）。
- わたしたちは何によって裁かれるのでしょうか。（わたしたちの行い；20節参照。アルマ12：14も参照）
- わたしたちはよく準備して最後の裁きに臨むために何ができるでしょうか（22節参照）。
- 裁きが「楽し〔く〕」なるのはどのような人でしょうか（モルモン書ヤコブ6：13）。

十二使徒定員会会員を務めていたブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を分かち合う。

> 「実際には，すべての判士はキリストを頂点とする完全な階級に指定されて，義人を裁くことでしょう。邪悪な者たちに対して罰を宣言するのはキリストだけです。」（*The Millennial Messiah: The Second Coming of the Son of Man*〔1982年〕，520）

はじめに

モルモンの最後の章はモルモン書を読む未来の人々に向けられたものである。ニーファイ人国家の没落を記録した後にモルモンとモロナイは，わたしたちが同じような堕落を避ける唯一の方法はイエス・キリストを信じる信仰を持つことであると証（あかし）している。

学び取るべき重要な福音の原則

- 霊的な崩壊を回避して，救いを得るためにはイエス・キリストを信じて従うことが必要である（モルモン7章参照。ヨハネ14：6；モルモン6：17－18も参照）。
- 救い主の模範に従い，善を選ぶならば，たとえほかの人々からの敵対を受けても，救い主はわたしたちとともにおられる（モルモン8：1－11参照。列王上19：10－14；ヨハネ16：32も参照）。
- モルモン書は人々が教えに背を向ける末日にイエス・キリストについてのもう一つの証として世に出されることが預言された（モルモン7：8－9；8：12－41参照）。
- 忠実な者には奇跡としるしと啓示が豊かに与えられるが，信仰が失われるとそれらはやむ（モルモン9：7－27参照）。
- アダムの堕落は全人類に肉体と霊の死をもたらした。イエス・キリストの贖（あがな）いによって全人類は復活して，裁きを受けるために主の前に連れ出される（モルモン9：11－14参照）。

補助資料

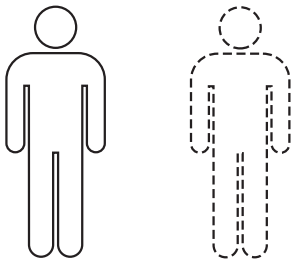
- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』144－147。

教え方の提案

モルモン7章。霊的な崩壊を回避して，救いを得るためにはイエス・キリストを信じて従うことが必要である。（25－30分）

黒板に230,000と書く。生徒に，モルモン6：11－15を読んで，この数字はモルモン書とどのような関係があるかを見つけるように言う。どれほど多くの人々が殺されたかを生徒が実感できるように，あなたが住んでいる町か市の人口を黒板に書く。

以下の図を黒板に描く。



肉体　　霊体

モルモン6：17－18を読んで，以下の質問をする。

- ニーファイ人の国家が崩壊した原因は何でしょうか。
- どうすれば崩壊を免れることができたでしょうか。
- ニーファイ人は最初に肉体的に死んだでしょうか，それとも霊的に死んだでしょうか。
- あなたはどちらの死の方が悲惨だと思いますか。それはなぜですか。

生徒に，モルモン7：4－10を読んで，霊的な死を避けるためにわたしたちにできる事柄に関してモルモンが述べたことに傍線を引くように言う。生徒が見つけた事柄を黒板に書き出す。以下の事項が含まれるであろう。

- 血を流すことを喜びとしてはならない（4節参照）。（注意：平和な時代に血を流すことを喜びとしないために，どのようなことができるかを生徒に尋ねる。暴力を扱った映画，ビデオゲーム，テレビ番組を避けることが含まれる。）
- 悔い改めなさい（5節参照）。
- イエス・キリストが神の御子であり，十字架につけられ，復活し，全人類のために復活を用意し，あらゆる人を裁かれることを信じなさい（5－7節参照）。
- バプテスマを受けなさい（8節参照）。
- キリストの福音を受け入れて，従いなさい（8－9節参照）。
- 聖文を調べなさい（8－9節参照）。
- 聖霊を受けなさい（10節参照）。
- 救い主の模範に従いなさい（10節参照）。

次のように質問する。「モルモンが最も多くの時間を割いて説明したのはどのテーマだったでしょうか。」（キリストを信じること。5－7節参照）

管理監督会のリチャード・Ｃ・エッジリー監督による以下の言葉を分かち合う。

「わたしたちの神学と個人の生活にキリストとのかかわりがあるかどうかを疑問視している人々がいれば，わたしたちはキリストが世の贖い主であられることを彼らに証します。キリストはわたしたちの主であり，光であり，救い主です。キリストは高い所から聖任されて，万物の下に身を落とし，いかなる人よりも大きな苦しみを受けられました。わたしたちはキリストを中心に据えて，あらゆることを教え，あらゆることを行います。この教会は，救い主の弟子であることを証するために努め励んでいる一人一人のキリスト教徒の集まりです。それは組織としてではなく，個人として追求することなのです。」（「弟子となり友となる」『聖徒の道』1998年7月号，14）

黒板に以下の質問を書く。

- イエス・キリストが自分の生活の中心となっているかどうかどうすれば分かるでしょうか。
- 生活の中でキリストがもっと大きな部分を占めるようにするために，あなたは何ができるでしょうか。

これらの質問を全員で話し合った後に，5分間で自分自身の答えを紙に書くように言う。

モルモン8：1－11。救い主の模範に従い，善を選ぶならば，たとえほかの人々からの敵対を受けても，救い主はわたしたちとともにおられる。（10－15分）

リチャード・Ｃ・エッジリー監督が語った以下の言葉を分かち合う。

「真の勇気を持つ人は，悪に立ち向かいます。たった一人であっても，また軽蔑され，ばかにされてもそうします。これが勇気であり，強さです。これが男らしさですが，簡単ではありません。」（「見よ，この人だ」『リアホナ』2000年1月号，50）

善を選んだために孤独感を味わったり，友達や家族の存在を遠く感じたりしたことがあるかどうかを尋ねる。そのような経験を自発的に話してくれる生徒数人から体験を聞く（内容が適切なものであることを確認する）。一人の生徒にモルモン8：1－11を読ませる。以下の質問をする。

- この状況でモロナイはどのように感じていたと思いますか。
- あなたがこの状況に置かれたとしたらどのように感じると思いますか。
- 善を選んだために孤独感を味わったあなたの経験とどのように似ているでしょうか。

生徒にモルモン8章の時代とモロナイ10章の時代を比較するように言う（モルモン8：6とモロナイ10：1を参照）。以下の質問をする。

- モロナイは約何年間一人でいたでしょうか。（少なくとも21年間。）
- 聖典中に登場する人物で孤独な生活を送らなければならなかった人はほかにだれがいるでしょうか（列王上19：10－14；ヨハネ16：32参照）。
- 正しいことを行ったために孤独を感じているときに，ほかにも同じような経験をした人たちがいることを知ると，あなたにとってどのように助けとなるでしょうか。
- モルモン8：34を読んでください。モロナイはだれと一緒だったでしょうか。
- わたしたちは善を選んだために孤独を感じているときに，これをどのように自分に当てはめることができるでしょうか。

「日は暮れ」（『賛美歌』92番）を歌うか，歌詞を読む。わたしたちが善を選ぶときに，たとえほかの人たちが同じように善を選ばなくても，主がわたしたちとともにいてくださることを証する。

モルモン7：8－9；8：12－41。モルモン書は人々が教えに背を向ける末日にイエス・キリストについてのもう一つの証として世に出されることが預言された。（30－35分）

以下の質問をする。

- 証人を必要とする出来事にはどのようなことがあるでしょうか。（バプテスマ，結婚，裁判所の審理。）
- これらの出来事ではなぜ証人の同席が大切なのでしょうか。

同じ出来事について二つの報道を見たり，読んだりしたことがあるかどうかを尋ねる。以下の質問をする。

- 二つの報道はまったく同じだったでしょうか。あるいは異なっていたでしょうか。それはなぜでしょうか。
- ある出来事について二人以上の証人がいることにはどのような価値があるでしょうか。

生徒に，モルモン7：8－9を読んで，モルモンが指摘した二つの記録を見つけるように言う。（聖書とモルモン書。）以下の質問をする。

- モルモン書と聖書がともに証している真理にはどのようなことがあるでしょうか。
- これら2冊の書物を持っていることにはどのような価値があるでしょうか。（モルモン書には聖書になかったり，明確に教えられていなかったりする多くの真理が含まれていることを指摘する。）
- これらの書物の一つを信じていることはもう一つの書物を信じることについてどのような影響を与えるでしょうか。

生徒に，モルモン8：12－41を読んで，これらの節に記されているモルモン書に関する情報をすべて紙に書き出すように言う。生徒が見つけた事柄について話し合う。以下の事項が含まれる。

- モルモン書を信じる人々は「大いなること」を与えられる（12節）。
- 利益を得るために金版を使うことはできない（14節参照）。
- モルモン書には霊的に大きな価値がある（14節参照）。
- モルモン書を世に出す者（ジョセフ・スミス）は祝福を受ける（14－16節参照）。
- モルモン書は昔の主の聖約の民（イスラエル）にとって幸いとなるために出版される（15節参照）。
- モルモン書は神の力によって人々に知らされる（16節参照）。
- モルモン書を非難する者は主から非難される（17－19節参照）。
- 人々はモルモン書が世に出るのを妨害しようとする（18－21節参照）。
- イザヤはモルモン書が世に出ることを預言した（23節参照）。
- モルモン書の預言者たちは「地から」（23節）わたしたちに語りかける（23－26節参照）。
- モルモン書は背教と邪悪の時代に出てくる――
  - 人々は奇跡と神の力を否定する（26，28節参照）。
  - 人々は義人を殺し，秘密結社を築く（27節参照）。
  - 偽りの教会は心を高慢にして高ぶり，偽りの教義を教え，金銭を愛し，貧しい人を顧みない（28，32－33，36－39節参照）。
  - 火と暴風雨，地震，戦争と戦争のうわさがある（29－30節参照）。
  - 人々は人を殺し，盗みをし，偽りを言い，純潔の律法を破る（31節参照）。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の話を紹介する。

> 「今日わたしは，現代のわたしたちに与えられている中で最も大切な賜物についてお話ししたいと思います。わたしが考えている賜物とは，産業および技術革命がもたらしたいかなる発明品よりもずっと重要なものです。これは人類にとって，現在医学に見られる多くのすばらしい進歩よりもずっと偉大な価値があり，飛行技術の発達や宇宙旅行よりも，人類にとってずっと意義のある賜物です。わたしがお話ししている賜物とは，……モルモン書のことです。
>
> この賜物は，わたしたちのためにそのままの形で残るように，主の御手により 1,000年以上にわたってつづられ〔ました。〕……
>
> モルモン書について主がどのように考えておられるのかが分かれば，それをどのように受け入れるかについて主が厳重な警告を与えておられることを知っても，何ら不思議なことはありません。信仰をもってモルモン書を受け入れ，正しい行いをする者は，永遠の命の冠（教義と聖約20：14参照）を受けると言われた後で，主は，『しかし，不信仰によって心をかたくなにし，これを拒む者は，そのことによって自分の罪の宣告を招くであろう』（教義と聖約20：15）と警告されました。」（「モルモン書――わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号，4）

ベンソン大管長が語った，末日聖徒がモルモン書を研究すべき3つの大切な理由を生徒にとって分かりやすい表現に直す（2ニーファイ30：1－8についての「教え方の提案」74ページ参照）。それから，ベンソン大管長の話を続ける。

> 「モルモン書には力があって，真剣に読み始めるやいなやその力は読む者の人生に流れ込み，誘惑に打ち勝つ力となります。またそれは欺きを避ける力となり，細くて狭い道にとどまる力となります。……
>
> 兄弟姉妹の皆さん，皆さんが個人的に，また教会全体で，このモルモン書の重要性についてぜひとも真剣にお考えいただきたいと思います。」（「モルモン書――わたしたちの宗教のかなめ石」6－7）

モルモン9：1－6。神は邪悪な者にも憐れみをかけられ，邪悪な者でさえも来るべき世である程度の栄光を持つことができるようにしてくださる。（10－15分）

黒板に「安らか」と「落ち着かない」と書く。6人の生徒に以下の例を一つずつ読み上げさせる。例を読み上げたらその都度，そのような状況に置かれたら，心が安らかでいられるか，それとも落ち着かないかを生徒に尋ねる。

- ジョシュアは15歳です。同じ年の多くの友達は次の学校の行事に交際相手を連れて来ます。ジョシュアもだれかを連れて来るように友達から言われています。
- ホセは地域大会に参加しています。この大会では預言者が話すことになっています。大会が終わったら，壇上へ来て，預言者と握手するように言われています。

- フィオナは友達とパーティーに参加しています。一人の友達が，神を冒瀆する下品な冗談がたくさん出てくるビデオを皆で見ようと誘っています。
- イーブスはスポーツが好きです。けれども，試合でだれかが失敗すると必ずその人をののしる選手がチームに一人います。
- ナディーは若い女性クラスの会長に召されています。
- 良雄は高校の弁論部の部長です。遠征した弁論大会で優勝した後の打ち上げ会では，何人かの友達がアルコールを持って来ており，良雄にも出席するよう勧めています。

以下の質問をする。

- 状況が同じであっても人によって感じ方が違うのは，何が影響しているからでしょうか。
- 人は置かれている状況に対する考えを変えることが可能でしょうか。

イザヤ6：1，5－7を読んで，以下の質問をする。

- イザヤは神の前に連れて行かれたとき，どのように感じたでしょうか。
- アルマ36：12－14を読んでください。アルマの経験はイザヤが述べたこととどのように似ているでしょうか。
- イザヤのような預言者が神の前でふさわしくないと感じたとしたら，罪深い人はどのように感じると思いますか。
- イザヤ6：6－7によれば，なぜイザヤは，自分が主の前にあってふさわしいと感じるようになったのでしょうか。
- アルマ36：18－20を読んでください。これらの節によれば，アルマはなぜ喜びを感じるようになったのでしょうか。

生徒にモルモン9：1－6を読むように言う。以下の質問をする。

- モロナイはこれらの節でだれに向かって話しているのでしょうか（1－2節参照）。
- イエス・キリストの再臨の時にはどのようなことが起きるでしょうか（2節参照）。
- 邪悪な人々は主とともに住むことについてどのように感じるでしょうか（3－4節参照）。
- 教義と聖約88：32を読んでください。この節によれば，ある人々はなぜ主の前に出ることを喜べないのでしょうか。（「受けることのできたはずのものを進んで享受しない」ため。）
- 人々の義の程度に応じて栄光が準備されていることは，どのように主の憐れみを表しているでしょうか。
- 主の前に行くときにさらにふさわしいと感じるために，わたしたちは何をしたらよいでしょうか（モルモン9：6参照）。

十二使徒定員会会員の時代にロレンゾ・スノー長老が語った以下の言葉を紹介する。

> 「神は御自身の子ら，すなわち人類家族を愛しておられます。……神はあらゆる人を愛しておられます。神の計画は全人類を救うためのものです。神はすべての人に，その人が享受したいと望んでいるのと同じほどの幸福感と平安を得ることのできる場所をお与えになることでしょう。」（*The Teachings of Lorenzo Snow*，クライド・ウィリアムス編〔1984年〕，91）

モルモン9：7－27。忠実な者には奇跡としるしと啓示が豊かに与えられるが，信仰が失われるとそれらはやむ。（35－40分）

イエスが行われた奇跡を挙げるように言う。（黒板に書き出すとよい。）以下の質問をする。

- これらの奇跡のうちで最も感動的なものはどれでしょうか。
- これらの奇跡を目にするとしたら，あなたはどのように感じるでしょうか。
- 今日，同じような奇跡が起きているでしょうか。それはどのようなことでしょうか。

生徒に，マルコ5：35－42を読むように言う。以下の質問をする。

- イエスはだれを一緒に連れて行かれたでしょうか。
- イエスはだれを部屋から「出された」でしょうか。
- イエスは少女を死人の中から生き返らせる前に，なぜ彼らを部屋の外に出されたのでしょうか。

以下の組み合わせ問題を黒板に書くか，配付資料として生徒に配る。左の欄の番号が付されている文と右の欄の記号が付された文とを正しく組み合わせるように言う。

モルモン9：7－24	
1. モロナイは_____に語った。	A. 彼らは悪霊を追い出し，新しい言葉を語り，毒を飲んでも害を受けず，病人を癒す。
2. これらの人々は何を知らなかったのでしょうか。	B. 変化も変化の兆しもない。
3. 彼らは何を読んでいなかったのでしょうか。	C. 不信仰であり，正しい道から離れ，神を知らない。
4. 神には_____。	D. 神の啓示を否定する人々。
5. 救いの計画には3つの大切な原則または出来事が含まれる。	E. キリストの福音。
6. モロナイは神の奇跡を_____と述べた。	F. 天と地と人の創造。
7. モロナイは神の奇跡についてこれらの例を挙げた。	G. 聖文。
8. モロナイはだれが奇跡を行ったと述べたでしょうか。	H. イエスと使徒たち。
9. モロナイが挙げた，奇跡がやんだ3つの理由とは何でしょうか。	I. 驚くべきこと。
10. 信じる者にはどのようなしるしや奇跡が伴うとモロナイは述べたでしょうか。	J. 創造，アダムの堕落，贖罪。

（正解：1－D，2－E，3－G，4－B，5－J，6－I，7－F，8－H，9－C，10－A）

以下の質問をする。

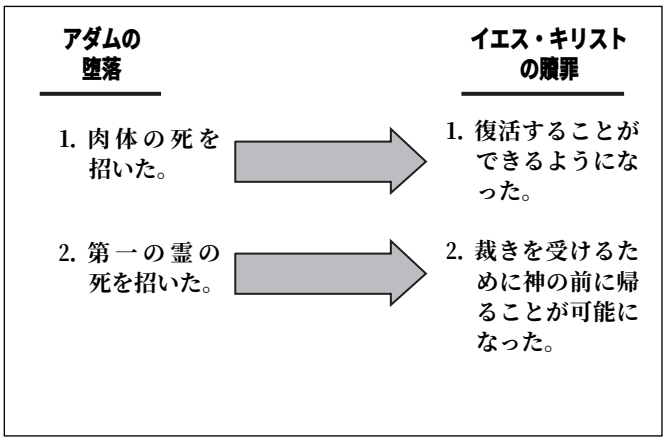
- 奇跡が起きるには福音のどの原則が伴っていなければならないでしょうか。（信仰。祈りと神権の力が必要な場合も多い。）
- 聖霊はどのような方法であなたを慰め，警告し，教えておられるでしょうか。
- わたしたちの周囲にはどのような神の奇跡が見られるでしょうか。（幼児の誕生，地球の創造，福音の回復，祝福師の祝福。）

- モロナイ9：21，27－28を読んでください。これらの節によれば，イエス・キリストを信じる信仰を持つこと，疑わないこと，義にかなった生活をすることは，奇跡を経験するうえでどのように助けとなるでしょうか。

モルモン9：11－14。アダムの堕落は全人類に肉体と霊の死をもたらした。イエス・キリストの贖いによって全人類は復活して，裁きを受けるために主の前に連れ出される。（20－25分）

生徒に以下のクイズに答えるように言う（聖典の使用を許可する）。

1. モーセ4：25によれば，アダムの堕落が招いた一つの結果は何でしょうか。（肉体の死）
2. 教義と聖約29：41によれば，アダムの堕落が招いた一つの結果は何でしょうか。（霊の死）
3. アルマ42：9によれば，霊の死とは何でしょうか。
4. 1コリント15：22によれば，キリストの贖罪がもたらした一つの結果は何でしょうか。



以上の図を黒板に書き写す。ただし，右の欄の解答は記入しないで空白にしておく。以下の質問をして，生徒の答えに従って右の欄を記入する。

- 主は全人類が肉体の死に打ち勝つために何をされたでしょうか。
- 主はわたしたちそれぞれが霊の死に打ち勝つように，どのような助けを与えておられるでしょうか。

全員でモルモン9：11－14を読んで，以下の質問について話し合う。

- 神は何を創造されましたか（11－12節参照）。
- アダムとエバは何をもたらしたでしょうか（12節参照）。
- わたしたちがアダムの堕落を克服するよう助けるために何が起きたでしょうか（12節参照）。
- イエス・キリストの贖罪によって何が与えられているでしょうか。（贖い。12節参照）
- 贖いの計画によって人はどうなるのでしょうか。（わたしたちは復活して，主の前に連れ戻される。13節参照）
- キリストの贖いによってどれだけ多くの人が肉体の死から救われるのでしょうか。
- キリストの贖いによってどれだけの数の人が第一の霊の死から救われるのでしょうか。
- この贖いの後に何が行われるでしょうか（14節参照）。
- ヒラマン14：15－19を読んでください。これらの節によれば，神の前に連れ戻されて，「汚れているまま」であると認められた人はどうなるでしょうか。
- 救い主の贖罪について知ってから，あなたは救い主についてどのような思いを抱くようになったでしょうか。

まとめとして，救い主はどのようにしてアダムの堕落の結果を克服されたかについて，一人の生徒に話させるとよい。

エテル書

モルモンはエテル書の発見と翻訳についての経緯を短くまとめて，このように記した。「そして，この話の中に書き記されていることを知るのは，見よ，すべての人にとって望ましいので，この話は後に書き記すことにする。」（モーサヤ28：19）モロナイは父の望みに従って，エテル書を短くまとめてモルモンの版に収めた。

モロナイはヤレド人の記録の100分の1も含めていないと記している（エテル15：33）。これは驚くことではない。なぜならば彼らの歴史はバベルの塔の時代（紀元前約2500－2200年）からミュレクの民がアメリカ大陸に来た後（紀元前587年以降）までにわたっていたからである。エテル書は，約束の地に住む者はイエス・キリストに仕えなければ滅ぼされることについて（エテル2：8参照），ニーファイ人の記録に次ぐ第2の力強い証である。

はじめに

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は次のように記している。「モルモン書に登場する最も偉大な預言者の一人は，注目すべき生涯が記録されているにもかかわらず，その名が明らかにされていません。単に『ヤレドの兄弟』と呼ばれているだけです。しかし彼の目の前に明らかにされた啓示は驚くべきものであるため，彼の生涯と彼が残した遺産は，大胆な申し分のない，また完全な信仰，と呼ばれているのです。」（*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，14）

家族のために主に願い求めたヤレドの兄弟は，利己心のない奉仕，謙遜，信仰の模範を示している。彼の生涯は，このような特質を持っていれば神聖な啓示を受けることができるようになるということを証している。聖文には記されていないが，預言者ジョセフ・スミスはこの預言者の名がマホンライ・モリアンカマーであることを明らかにした（『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』148ページのエテル1：34の解説参照）。

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- 信仰篤い者の祈りは大いなる祝福をもたらし，天から奇跡を招くことさえできる。祈りを忘れると主の懲らしめを受ける（エテル1：34－43；2：14－16；3：1－16参照。ヤコブの手紙5：16；アルマ10：22－23も参照）。
- アメリカ大陸はえり抜きの地である。ここに住む国民は神に仕えなければならない。さもないと罪悪が熟したときに地から一掃される（エテル2：7－12参照。モルモン8：1－8；エテル9：20，26－29；15も参照）。
- 主はわたしたちに主の導きに頼るよう求めておられる。しかし，問題を解決するために自分にできるすべてを行うことを期待しておられる（エテル2：18－3：6参照）。
- アダムの堕落のためにわたしたちは星の栄えの世界に生まれる。そこで人々はしばしば悪を選ぶ。主はわたしたちが悔い改めて，祈り，主の贖いに対する信仰を行使するときに，生まれながらの人を克服できるよう助けてくださる（エテル3：2参照。モーサヤ3：19；5：2－4も参照）。
- わたしたちが義にかない，従順であって，神に関することを求めるならば，イエス・キリストを信じる信仰が強められて，あらゆることが明らかにされるにふさわしい状態に到達することができる（エテル3：1－20参照。ヤコブの手紙2：14－20；エテル12：6；教義と聖約88：67－68；93：1，27－28も参照）。
- わたしたちの準備ができたときに，主はさらに神聖な記録を明らかにしてくださる（エテル3：21－4：18参照。2ニーファイ27：7－11も参照）。
- 主は御自身の業を証するために証人の律法を用いられる（エテル5章参照。申命17：6；2コリント13：1も参照）。
- 義人は主によって安全な地に導かれることがしばしばある（エテル6：1－12参照。モーサヤ24：17も参照）。

補助資料

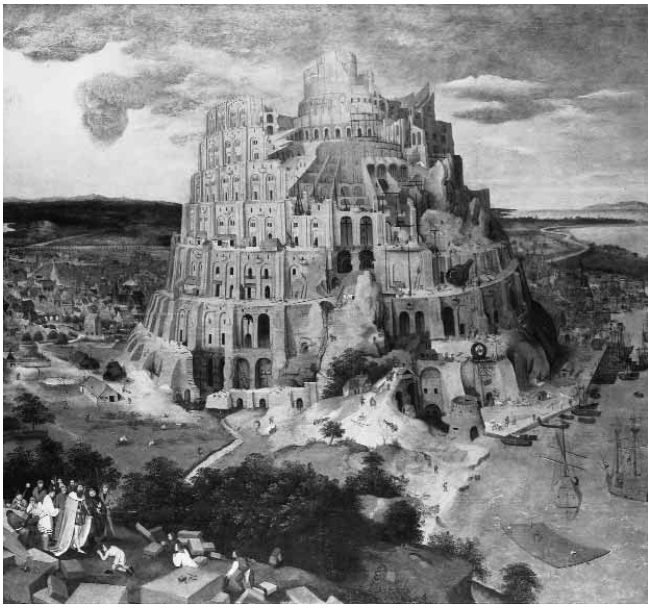
- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』148－152。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

エテル1：33。ヤレドの民はバベルの塔の時代に生きていた。（10－15分）

バベルの塔の絵を見せる（付録，293ページにこの絵のフルサイズ版が挿入されている）。塔について書かれている箇所を旧約聖書から見つけるように言う。



生徒とともに創世11：1―9を復習する。しおりに印刷されているモルモン書の年表（カタログ番号32336 300）を使って，これがいつの出来事かを見つけるように言う（紀元前約2500―2200年）。エテル1：33を読んで，次のように質問する。「ヤレドとヤレドの兄弟はリーハイがエルサレムを去る約何年前に旅を始めたでしょうか。」

レッスンの前に，モロナイがどのようにしてエテル書を受けたかについて報告する割り当てを一人の生徒に与えておく（モーサヤ8：7―12；アルマ37：21―26；エテル1：2参照）。エテル1：1―4を読んで，エテル書の始めの部分にどのようなことが載っていたかを見つける。次のように質問する。「モロナイはなぜ，書かれたものの一部を抄録に含めないことにしたのでしょうか。」

生徒にエテル1：5；8：22―23を読むように言う。それから次のように質問する。「モロナイは何を基にして，抄録に含める資料を決めたのでしょうか。」ヤレド人の記録は，約束の地に住む者はイエス・キリストに仕えなければ滅ぼされることについて，ニーファイ人の記録に次ぐ第2の力強い証であることを証する。

エテル1：33―43；2：14―16。信仰篤い者の祈りは大いなる祝福をもたらし，天から奇跡を招くことさえできる。祈りを忘れると主の懲らしめを受ける。（30―35分）

全員で「部屋を出る前に」（『賛美歌』78番）を歌う。祈りは「光もたらす」とはどのような意味かを説明するように生徒に言う。祈りによって霊が高められた経験を分かち合うように言う。

エテル1：33を読んで，以下の質問をする。

- この節に述べられているようなことがもし今日起きたとしたら，あなたの生活はどのような影響を受けるでしょうか。
- 物事に対するあなたの態度はどのような影響を受けるでしょうか。
- あなたはどうすると思いますか。

34節を読んで，世界が混乱した状態に陥るのを見てヤレドと兄弟のマホンライ・モリアンカマーはどのようなことを行ったかを見つける。生徒に35―43節に目を通すように言って，以下の質問をする。

- ヤレドの兄弟は言語を乱されるのを避けるために何をしたでしょうか。
- 主はヤレドの民に何をするようにと言われたでしょうか。
- ヤレドの兄弟は自分の民について主からどのような約束を受けたでしょうか。
- 43節によれば，主はなぜこの約束をヤレドの兄弟に与えられたのでしょうか。

スペンサー・W・キンボール大管長が語った以下の言葉を読む。

「祈りは天父に話しかける機会であるだけでなく，天父から愛と霊感を受ける機会でもあります。祈りの最後には，たとえ数分間であっても，耳を澄ませて聴く時間を取る必要があります。わたしたちは勧告と助けを求めて祈ります。その後，『静まって，〔その御方こそ〕神であることを知』らなければなりません（詩篇46：10）。……

祈りの言葉を学ぶことは，一生をかけて行う喜びにあふれた経験です。祈りの後に耳を澄ませていると，あるときには，心にある考えがわき上がってきたり，強い気持ちを感じたりすることがあります。またあるときには，平安に包まれて，すべてはうまく行くと確信することもあります，しかし，いつのときにも，わたしたちが正直で熱心であるならば，よい気持ちを感じることでしょう。それは天父に対する温かい気持ちと，天父がわたしたちに対して持っておられる愛を感じるからです。わたしたちの中に，この穏やかで霊的な温かさの意味を知らない人がいるのは，わたしにとって悲しいことです。なぜなら，これはわたしたちの祈りを天父が聞いてくださっていることを証するものだからです。」（「常に祈りなさい」『聖徒の道』1982年3月号，5―6）

エテル2：13―14を読んで，ヤレドの兄弟はどれほど長い間主にまみえていたかを指摘する。（少なくとも3時間。）以下の質問をする。

- ヤレドの兄弟への啓示にはどのようなことが含まれていたでしょうか。（懲らしめ）
- 主はなぜヤレドの兄弟を懲らしめられたのでしょうか。
- ヨブ5：17と黙示3：19を読んでください。これらの節によると，主はどのような人を懲らしめられるのでしょうか。
- 主や神権指導者から受ける懲らしめはなぜわたしたちにとって祝福となるでしょうか。

生徒に次のように言う。あなたは主から個人面接を受けようとしていると考えてください。主の前に案内されました。主はあなたの名前を呼んで，話し始められます。……

生徒の生活について主が褒めてくださることを一つ考えるように言う。主が生徒に改善を望まれるであろうと思われる面についても考えるように言う。次のように質問する。「主はあなたを正されるときに，愛情深く，あなたを気遣いながらなさると思いますか。」

生徒に，エテル1：43とエテル2：14を比較するように言う。次のように質問する。「非常に義にかなった人がどうして『主の名を呼ぶ』というとても大切なことを怠るようなことができるので

しょうか。」十二使徒定員会会員のニール・A・マックスウェル長老の以下の言葉を読む。

「わたしたちはどれほど主に大きくまた絶えず依存していることでしょうか。これはわたしたちが生きていくうえでの，最も基本的な事実です。たとえ真に進歩の道を歩んでいるときであっても決してこのことを忘れてはなりません。

当然のことながらイエスは絶えず天父に祈られました。ほんとうに，イエスは一体どれくらい祈られたことでしょう。イエスは御父を呼び求めることを決してお忘れになりませんでした。このことについてもイエスは比類のない御方でした。まさに義にかなったヤレドの兄弟，この真に驚くべき人物でさえも『主の名を呼ぶことを思い起こさなかった』ので，かつて主の訪れを受けたときに懲らしめを受けました〔エテル2：14〕。このようにわたしたち全員にとって祈りは非常に大切なのです。主の業を『忙しく』行っているときであっても，御父に祈る余裕がなくなるほど忙殺されてはならないのです。」（*Even As I Am*〔1982年〕，67）

エテル2：15を読んで，ヤレドの兄弟が主の懲らしめにどのように反応したかを確かめる。ヤレドの兄弟の反応と，1ニーファイ16：1－2に記されているレーマンとレムエルの反応とを比較する。以下の質問をする。

- ヤレドの兄弟はニーファイの兄たちよりもはるかに多くの真理を学んだのはなぜだと思いますか。
- あなたは懲らしめを受けるときに，どのような態度を示すでしょうか。
- あなたが懲らしめを受けるときに，どのような態度を示すかを決めるのはだれでしょうか。
- どうすれば懲らしめに対する態度を改善することができるでしょうか。

以下の言葉を読む。預言者ジョセフ・スミスはこのように述べた。

「主は，子供を持つ優しい父親のように，この民に接しておられます。そして，この民が堪えることのできる方法で，光と英知と知識を授けられます。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，ジョセフ・フィールディング・スミス編〔1976年〕，305）

十二使徒定員会会員のヘンリー・B・アイリング長老は次のように記している。

「もしわたしが，最も大切な事柄は幼子にとっても明らかであるだろうという期待をもって，へりくだって耳を傾けるならば，わたしは，静かな心を持つのに十分なほど柔和になることができるでしょう。そして，それによって，静かな細い声を聞くことができるようになるでしょう。そして，懲らしめを素直に受け入れられるくらい謙遜になることができるでしょう。」（*To Draw Closer to God*〔1997年〕，33）

エテル2：7－12。アメリカ大陸はえり抜きの地である。ここに住む国民は神に仕えなければならない。さもないと罪悪が熟したときに地から一掃される。（15－20分）

生徒に，これから歴史上最も恐ろしい武器を見せると言う。ほうきを持ち上げ，聖典に登場する最も厳しい警告の一つはこの「武器」と関係があることを説明する。生徒に，エテル2章からほうきに関係のある語句を見つけるように言う。それから，エテル2：7－12を読むように言う。

これらの約束と警告は南北アメリカ大陸に現在住んでいる人々にも当てはまることを説明する。次のように質問する。「罪悪のためにこれらの地を所有して『一掃された』国民にはどのような民がいるでしょうか。」（ニーファイ人とヤレド人）『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』148ページのエテル2：7－10の解説から，マリオン・G・ロムニー副管長の言葉を紹介するとよい。

エテル2：7－12は人が特定のことを行うならば神が祝福してくださるという典型的な聖約の形式を取っていることを指摘する。生徒にこれらの節を素早く読んで，神の約束と神が民に期待しておられることを見つけて，黒板に書き出すように言う。以下の事項が含まれる。

民に対する神の約束	民に対して神が期待しておられること
● 神はこの地を約束の地として与えてくださる（エテル2：7，9参照。2ニーファイ1：5－7も参照）。 ● この民は他国から奴隷の状態や囚われの身にされることがない（エテル2：12参照）。	● 民は自分たちの罪悪を悔い改めなければならない（エテル2：11参照）。 ● 民は「この地の神」であるイエス・キリストに仕えなければならない（エテル2：12。8－12節参照）。

生徒が住んでいる国は黒板に書かれている神の期待についてどのような状態にあるかを尋ねる。次のように質問する。「主の祝福を引き続き受けるためにわたしたちは何ができるでしょうか。」この原則はあらゆる国にとって大切であることを証する。

エテル2：16－3：6。主はわたしたちに主の導きに頼るよう求めておられる。しかし，問題を解決するために自分にできるすべてを行うことを期待しておられる。（30－35分）

あなたがエテル2：16－25を読む。あなたが読んでいる間，生徒に，ヤレド人が造ったと考えられる船の絵を描くように言う。生徒たちが描いた船のデザインについて話し合う。『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（149ページ）のエテル2：16－25の解説から，船の説明を読むとよい。

エテル2：18－19を読んで，以下の質問をする。

- ヤレドの兄弟はどのようにして船を造ったでしょうか。
- このことはヤレドの兄弟が主の命令に忠実だったことをどのように示しているでしょうか。
- ヤレドの兄弟が主の前に提示した3つの問題は何でしょうか。

以下の表の左の欄に倣って，3番目の質問に対する生徒の答えを黒板に書き出す。生徒に，エテル2：20－25を読んで，主が示された問題の解決方法を見つけたら，その概要を右の欄に記入するように言う。

問題（エテル2：18－19）	解決方法（エテル2：20－25）
光がない	主はヤレドの兄弟に，主に何をしてもらいたいのかを尋ねられた（23，25節参照）。
舵がない	主は船を導くと言われた（24節参照）。
空気がない	主は船の屋根と船底に穴を空けて，栓を作るように指示された（20節参照）。

以下の質問をする。

- 主は二つの問題について解決方法を明らかにされたのに，なぜ光がない問題についてはヤレドの兄弟に自分で解決するように言われたと思いますか。
- 聖典の中で，問題を解決するために自分で努力するよう主が求められた例にはほかにどのようなものがあるでしょうか。（真鍮の版を手に入れたときのニーファイ〔1ニーファイ3－4章参照〕，翻訳に関してのオリバー・カウドリ〔教義と聖約8－9章参照〕などの答えが考えられる。）
- 主の導きを得ながら，自分自身の問題の解決方法を自分で見つけるよう主から求められることがあります。このことは，どのような点でわたしたちの助けになるでしょうか。

ジェフリー・R・ホランド長老の以下の言葉を読む。

> 「明らかにヤレドの兄弟は試されていました。神は御自分のなすべきことをすでに行っておられました。大海を渡る航海に適した独特な造りの船がすでに与えられていました。すばらしい技術が駆使されていました。建造に関して難しい部分はすでに解決されていました。主はここで，ヤレドの兄弟が残る部分についてどうするかを知りたいと思われたのでした。」（*Christ and the New Covenant*，16）

以下の質問をする。

- ヤレドの兄弟は主がこのようにして問題を解決するのを助けてくださったことから，どのようなことを学んだと思いますか。
- このことは後の彼にとってどのような助けになったでしょうか。
- 主はどのような方法であなたを試してこられたと思いますか。
- それらの試しから得た知識はあなたにとってどのように助けとなっているでしょうか。

エテル3：4－6を読んで，以下の質問をする。

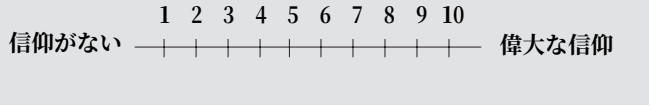
- ヤレドの兄弟は光がないという問題をどのようにして解決することにしたでしょうか。
- 主はヤレドの兄弟の求めに対してどのようにこたえられたでしょうか。
- 主がお与えになった答えの中であなたはどのようなことに感動を覚えたでしょうか。

『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（149ページ）のエテル2：23の解説を読む。

主はわたしたちを愛しておられ，わたしたちが進歩するよう望んでおられることについて証する。主はわたしたちが主の導きに頼ることを望んでおられると同時に，問題を解決するために全力を尽くすことを期待しておられる。

エテル3章。わたしたちが義にかない，従順であって，神に関することを求めるならば，イエス・キリストを信じる信仰が強められて，あらゆることが明らかにされるにふさわしい状態に到達することができる。（50－55分）

以下の目盛りを黒板に書いて，次のように質問する。「偉大な信仰を持っている人にはどのような特質があるでしょうか。」生徒が挙げる特質について話し合い，目盛りの「偉大な信仰」の下に書き出す。



4人の生徒に以下の例を割り当てる。生徒は割り当てられた例を読んで，その人がどれほどの信仰を持っていると思うかを判断する。（注意：主は個人の心の思いを僕たちに明らかにされることがあるが，一般的にわたしたちは他人の信仰を判断する力を持っていない。この活動の要点は信仰の特質を調べることによって，それらを理解し，自分を評価する力を養うことにある。）4人の生徒に例に登場する人の名前を，信仰の目盛りの該当するところに書き入れるように言う。なぜそこに書き入れたかを説明させる。ほかの生徒に，その判定に賛成か反対かとその理由を言うように求める。

- 一郎は聖典を読むのが好きではありません。退屈だと言います。お祈りもあまりしていません。勉強したり，祈ったりするよりも，自然の中を散歩して瞑想することの方が主を近くに感じると彼は言います。
- 二郎は定期的に聖文と教義を勉強しています。ほかのことをするよりも本を読んだり，調べたりすることの方が好きなのです。彼は集会に出席したり，ホームティーングをしたりするよりも聖文を読み，研究したりすることの方が有意義だと感じています。彼は何か月もホームティーチングをしていません。けれども，福音を熱心に勉強していれば，それは大したことではないと考えています。
- 三郎は聖文や教会の資料を勉強して，それを応用するために努力しています。完全な状態からは程遠いのですが，福音にいつも従って生活するように努力することが大切だとも信じています。彼はもっと従順になり，霊的に強くなれるよう神の助けを求めて定期的に祈っています。
- 花子はもうあきらめています。自分に期待されているいろいろなことに疲れたのです。完璧な女性になろうと何年も一生懸命に努力してきたのですが，とても自分には無理なことが分かったのです。彼女は今ではとても皮肉っぽくなっています。

ヤコブの手紙2：14－20を読むように言う。そして，以下の質問をする。

- これらの節には信仰の篤い人の特徴としてどのようなことが挙げられているでしょうか。
- 例の中で出てきた人たちはこれらのうち，どの特徴に最も近いでしょうか。

- 聖典の中でだれがこのような信仰を持っていたでしょうか。
- あなたはこのような信仰を持っている人をだれか知っていますか。

生徒に，エテル1：34－43；2：16－21に目を通して，ヤレドの兄弟が主に対して信仰を持っていたことを示す証拠を探すように言う。見つけたことを発表させ，黒板に書き出す。以下のような事項が挙げられることであろう。

- ヤレドの兄弟は主から大いに恵みを受けていた（エテル1：34参照）。
- 主に「叫び求めた」（34，43節参照）。
- 主の命じられたとおりに仕事に取りかかった（エテル2：16参照）。
- 主の指示されたとおりの船を造った（18節参照）。
- 「主から命じられたとおりにした」（21節参照）。

ヤレドの兄弟はヤコブの手紙2：14－20に記されている信仰の条件をどれほど満たしているかについて生徒に尋ねる。ほんとうに信仰の篤い人は実行する人であることを説明する。

エテル3：1－6を読んで，ヤレドの兄弟が示した信仰のそのほかの特質を探す。見つけた特質を生徒に発表させる。それらを黒板に書き加える。以下の答えが考えられる。

- 石を用意しに行って，主の前に持って行った（1節参照）。
- 自分の弱点や堕落した性質に対して心から謙遜になっていた（2－3節参照）。
- 神があらゆる力を持っておられることを証した（4－5節参照）。

ジェフリー・R・ホランド長老の以下の言葉を読む。

「ヤレドの兄弟が見せたあらゆる謙遜な言動から，彼の信仰は一目瞭然です。事実，石を何の目的に使うかを考えれば，明快そのものであると言った方がよいかもしれません。この男性の子供のように無垢であり熱意にあふれる信仰に，何か際立ったものをエホバは見つけておられたことは明らかです。『まことに，おお，主よ，あなたにはこれがおできになります。』ある意味で，これ以上に力強い信仰の表現を聖典の中に見ることができないかもしれません。それはまるでヤレドの兄弟が神を励まし，神を勇気づけ，元気づけているかのようです。『まことに，おお，主よ，あなたがこれをおできになることをわたしは確かに知っています』とは言いませんでした。『まことに，おお，主よ，あなたはこれよりも偉大なことを数多くなさってきました』とも言いませんでした。この預言者は，自分の能力にはどれほどの不安を抱いていても，神の力にはまったく不安を抱いていませんでした。それは，何のためらいもない，単純で，はっきりとした宣言以外の何ものでもありませんでした。励ましなど必要のない御方への励ましでしたが，神はこの言葉に心を打たれたに違いありません。『まことに，おお，主よ，あなたにはこれがおできになります。』」（*Christ and the New Covenant*，17）

黒板に「＿＿＿＿＿＿＿＿からでなければ，証は得られない」と書く。生徒に，エテル12：6を読んで空所を埋めるように言う。エテル3：6－8を読んで，以下の質問をする。

- 人を赦すときに，なぜわたしたちの信仰が試されることになるのでしょうか。
- ここで約束されている証とはどのようなものでしょうか。
- ヤレドの兄弟の証はどのように試されたでしょうか。
- 「ヤレドの兄弟の目から幕が取り除かれ」るとはどのような意味でしょうか（6節）。
- ヤレドの兄弟は主の指を見た後，なぜ地に倒れたのだと思いますか。
- もしあなたがこのような経験をしたら，どのように感じると思いますか。

一人の生徒にエテル3：9－12を声を出して読ませる。そして次のように質問する。「ヤレドの兄弟が主の指を見た理由について，主は何と言われたでしょうか。」主はあらゆることを御存じであるにもかかわらず，7，9，11節の質問をヤレドの兄弟にされたことを指摘する。次のように質問する。「ヤレドの兄弟にとってこれらの質問に答えることはどのような助けとなったでしょうか。」質問に答えることよって，ヤレドの兄弟の信仰，自信，知識が深められたことを生徒が理解するように助ける。ホランド長老の以下の言葉を紹介するとよい。

「末日聖徒の神学では神が『すべてのことを御存じであり，神の御存じでないことはない』ことが基本的な前提となっています〔2ニーファイ9：20。教義と聖約38：1－2も参照〕。古代と現代の聖典はともにそこかしこで，神の全知を確認しています。しかしながら，人々の信仰を試し，正直さを測り，知識を増し加える手段として，神はしばしば質問されます。」（*Christ and the New Covenant*，19－20）

エテル3：13－17を読んで，以下の質問をする。

- ヤレドの兄弟はこのとき，自分についてどのようなことを知ったでしょうか（13，15節参照）。
- これらの節ではヤレドの兄弟が何を見たと書かれているでしょうか。
- ヤレドの兄弟はイエス・キリストについてどのようなことを知ったでしょうか。
- わたしたちはこれらの節から，主についてどのようなことを知ることができるでしょうか。

主が言われた「これまでにあなたのような深い信仰をもって，わたしの前に来た者は一人もいない」（9節）という言葉と「これまでわたしの造った者に一度もわたし自身を現したことはない」（15節）という言葉に，生徒が混乱しているようであれば，ホランド長老の以下の言葉を紹介してもよい。

「わたしたちはヤレドの兄弟以前の主要な預言者の多く（恐らく全員）が神を見ていたと認識しているため，この部分は混乱の生じる可能性があります。……

この問題は末日聖徒の著述家たちによって何度も論議されてきましたし，受け入れることのできる説明も幾つかあります。それらの説明うちのいずれかが，あるいはすべてが，この聖句の持つ幅広い真理に光を投げかけているかもしれません。しかし，この問題についてさらなる啓示や解説が与えられないかぎり，いかなる説も推測でしかなく，それは適切さを欠き，不完全であると言わざるを得ません。

一つの可能性は，この言葉は単一の神権時代に限定したものであって，ヤレドの民とヤレド人の預言者たちだけに対して言われたものであるとする説です。つまり，エホバはそれまでその神権時代の聖見者と啓示者のだれにも御自身を現されなかったということです。しかし，この説には明らかに重大な限界があります。……

もう一つの説はこの聖句の鍵（かぎ）が『人』にあるとするものです。主は，聖（きよ）められていない人，信じていない人，この世的で，俗世的な人，生まれながらの人に御自身を現されたことはないと示唆（しさ）しています。……

一部の人たちは，主はそれほどまでに，そのような程度まで，人に御自身を現されたことがないという意味であると考えています。……

さらに，これはエホバが神の御子イエス・キリストとして現れ，御自身を明らかにされた初めての機会であるとする説があります。これは，『これまでわたしの造った者に一度も〔イエス・キリストとしての〕わたし自身を現したことはない』という解釈に基づくものです。記録の編集者モロナイが後に記した『彼は神についてのこの完全な知識を得たので，幕の内側を見るのを禁じられなかった。それゆえ彼は，イエスにまみえ……たのであった』という言葉の解釈の仕方によっては，この説の正当性は増します〔エテル3：15，20〕。

別の解釈は，ヤレドの兄弟は非常に強い信仰を持っていたため，肉体を受ける前のイエスの霊の指と体を見た（ほかの多くの預言者も見たと推定できます）だけでなく，キリストの肉と血と骨の体をひときわ明確に示されたとするものです。……ヤレドの兄弟は単にイエスが後に受ける体にそっくりな霊体を見たのだという説明はもっと説得力があるでしょう。このときにエホバがお示しになったのは霊体であって，骨肉の体に類似した，前段階の特別な体ではないということを強調するために，エホバはこう言われました。『あなたが今見ているこの体は，わたしの霊の体である。……わたしは今，霊の状態であなたに現れているように，将来肉にあってわたしの民に現れる。』〔エテル3：16〕……

最後の説明は，ヤレドの兄弟の信仰から考えると最も説得力のあるものです。それは，キリストがヤレドの兄弟に言われた言葉を次のように解釈するものです。『わたしは，これまでわたしの造った者に一度も***このような方法で，わたしの意思とはかかわりなく，人の信仰のみによって***わたし自身を現したことはない。』一般に，預言者たちが主の御前（みまえ）に***招かれる***，つまり御前に来るように命じられるのは，主を通してだけ，つまり主の承認があるときだけです。これに対してヤレドの兄弟は，恐らく厳密な意味からすれば歓迎されていなかったわけではないにしろ，招かれていなかったにもかかわらず，幕を押し分けて入って行ったように思えます。エホバは言われました。『これまでにあなたのような深い信仰をもって，わたしの前に来た者は一人もいない。もしそうでなければ，あなたはわたしの指を見ることができなかったであろう。……あなたほど深くわたしを信じた者がいなかったからである。』明らかに主は，この前例のない示現とこの前例のない信仰を結びつけておられました。もしこの示現自体が独特なものではないとすれば，独特なのは信仰の方であり，示現が与えられたいきさつの方であるはずです。驚くべき信仰であったからこそ，この預言者は，招かれていなかったにもかかわらず，ほかの預言者たちが神の命令がなければ行くことができないところへ行くことができたのでした。

モロナイはそのように理解していたからこそ，後に次のように記したと思われます。『この人は知識があったので，***幕の内側を見るのを禁じられなかった***。……したがって，彼は〔信仰により〕神についてのこの完全な知識を得たので，***幕の内側を見るのを禁じられなかった***。それゆえ彼は，イエスにまみえ〔た〕。』〔エテル3：19－20〕」（*Christ and the New Covenant*，20－23）

エテル3：18－21を読んで，次に何が起きたかを見つける。以下の質問をする。

- ヤレドの兄弟を教え導いたのはだれだったでしょうか。
- ヤレドの兄弟はなぜ「幕の内側を見るのを禁じられなかった」（19節）のでしょうか。
- ヤレドの兄弟が得ているものは「もはや信仰ではなかった」（19節）とはどのような意味だと思いますか。
- ヤレドの兄弟はなぜ見聞きしたことをだれにも知らせてはならないと言われたと思いますか。
- あなたの生活の中で神聖な経験をしたとき，それがほかの人に知らせてはならないほど神聖なものかどうかを知るには，どうしたらよいでしょうか（アルマ12：9；教義と聖約63：64参照）。

エテル3：22－28を読んで，以下の質問をする。

- これらの節で言われている二つの石とは何でしょうか。（ウリムとトンミム；脚注23①参照）
- 主はなぜ，ウリムとトンミムを記録とともに保管するようヤレドの兄弟に言われたと思いますか。
- 主はほかにどのようなことをヤレドの兄弟に見せられたでしょうか（25－26節参照）。

再びエテル12：6を参照して，以下の質問をする。

- ヤレドの兄弟は信仰が試された後にどのような証を受けたでしょうか。
- どのような人であれば，そのような証を受けることができるのでしょうか。（主イエス・キリストを信じる信仰を行使するすべての人。）

教義と聖約67：10；93：1を読む。主イエス・キリストを信じる信仰の行使に応じて，すべての人に大いなる祝福があることを証する。

エテル3：21－4：18。わたしたちの準備ができたときに，主はさらに神聖な記録を明らかにしてくださる。（25－30分）

クラスの中で自動車の運転免許証を持っている人がいるかどうかを尋ねる（あなた自身のものを使ってもよい）。持っている生徒に前へ来て，免許証を見せるように言う。免許証を持っていない生徒がいれば，その理由を尋ねる。免許証の交付を受けるための条件について質問し，それらを黒板に書き出す。以下の事項が含まれる。

- 該当する年齢に達している。
- 視力試験に合格する。
- 自動車教習所に通う。
- 筆記試験に合格する。
- 実技試験に合格する。
- 所定の料金を納める。
- 親か保護者の許可を得る。

生徒の中でモルモン書の封じられた部分について聞いたことのある人がいるかどうかを尋ねる。もしいれば，どのようなことを知っているかを尋ねる。

生徒にエテル3：21－28；4：1－8，14－16に目を通して，以下の質問の答えを探すように言う。

- これらの記録はどのように封じられたでしょうか（エテル3：21－24参照）。
- なぜ封じられたのでしょうか（エテル3：21；4：1－3参照）。
- いつ明らかにされるのでしょうか（エテル4：6－7，14－16参照）。
- これらの節によれば，これらの記録にはどのようなことが書かれているでしょうか。

もし助けになるようであれば，十二使徒定員会会員であったブルース・R・マッコンキー長老の以下の言葉を読む。

「わたしたちはこの件について以下のところまでは十分に承知しています。福千年の間に，モルモン書の隠された部分が翻訳されるとき，前世における生活，万物の創造，堕落と贖いと再臨，完全な神殿の儀式，身を変えられた人の務めと使命，霊界におけるパラダイスと獄の生活，復活した人々が住む栄光の王国，そのほか多くのこと（例えば，エテル1：3－5参照）が明らかになります。」（*Doctrines of the Restoration: Sermons and Writings of Bruce R. McConkie*〔1989年〕，277）

自動車の運転免許証を手に入れるために一定の条件を満たさなければならないのと同じように，モルモン書の封じられた部分が明らかにされるには，満たさなければならない条件があることを説明する。生徒に，エテル4：1－8，15－16から，それらの条件を挙げるように言う。以下の答えが含まれる。

- 罪悪を悔い改めて，主の前に清くなる（エテル4：6参照）。
- ヤレドの兄弟のようにキリストを信じる信仰を行使して，聖い者となる（7節参照）。
- 主の言葉に逆らわず，「これらのことを否定」しない（8節参照）。
- 不信仰の幕を裂く（15節参照）。

3ニーファイ26：3，8－10を読んで，さらなる聖文が明らかにされるときはいつかを見つける。以下の質問をする。

- 救い主はニーファイ人に何を教えられたでしょうか（3節参照）。
- モルモン書の目的の一つは何でしょうか。（わたしたちの信仰を試すこと。9節参照）
- 「大いなること」を受けるためにわたしたちは何をしなければならないでしょうか（9節参照）。

生徒に，わたしたちはモルモン書の封じられた部分を受ける準備ができているかどうかを尋ねる。十二使徒定員会会長時代にジョセフ・フィールディング・スミス大管長が語った以下の言葉を読む。

「わたしたちが受ける準備のできたときに，現在モルモン書に見られるよりも大いなる知識と理解を与えると主は約束しておられます。……

さて，主は教会の会員であるわたしたちを試しの状態に置かれました。すなわち，一部分の記録をモルモン書として授け，わたしたち教会員がその中の勧告に従って信仰を確立できるようにされました。そして，わたしたちが一時期のニーファイ人のように，与えられるままに戒めを進んで守って信仰を表すならば，主はほかの記録を世に現して，授けてくださるのです。しかし，それを受ける備えがわたしたちにできていません。なぜでしょうか。それは，すでに与えられた記録を読んでその勧告に従うという点で，わたしたちが試しの状態の条件を満たした生活をしていないからです。」（Conference Report，1961年9－10月，19－20）

エテル5章。主は御自身の業を証するために証人の律法を用いられる。（10－15分）

次のように想像するように言う。生徒たちは預言者ジョセフ・スミスの筆記者を務めており，預言者は今，エテル5章を翻訳している。あなたが5章をゆっくり読んで，その間に各節の主概念を紙に書き出すように生徒に言う。以下の質問をする。

- 筆記者として2節に耳を傾けている間何を考えたでしょうか。
- 3－4節を聞いて，どのような希望がわいてきたでしょうか。

『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（151ページ）のエテル5：2－4の解説を読む。

エテル6：1－12。義人は主によって安全な地に導かれることがしばしばある。（15－20分）

最近起きた大規模な暴風雨について報道している新聞または雑誌の記事を紹介する。以下の質問をする。

- 恐ろしい暴風雨に生き残るための最もよい方法は何でしょうか。
- 嵐を避けるための安全な場所としてあなたはどこへ行くこと

ができるでしょうか。

- 嵐の中を進む自動車，飛行機，船にとって，光はなぜ大切なのでしょうか。
- 人生のある場面をどのように大きな嵐にたとえることができるでしょうか。
- 人生にはなぜ「嵐」や試練の時があるのでしょうか。
- わたしたちは人生の嵐のためにどのような準備ができるでしょうか。
- 預言者や使徒はわたしたちが嵐の中で安全な場所を見つけられるように，どのような助けを与えているでしょうか。
- 人生の嵐の中を導いてくれるのはどのような光でしょうか。

エテル6：1－4を読んで，以下の質問をする。

- ヤレドとヤレドの民は航海のためにどのような準備をしたでしょうか。
- 主はどのようにしてヤレドの家族が大海を渡る準備をするのを助けてくださったでしょうか。
- 4節によれば，民はだれに安全を託したでしょうか。（彼らは準備のために熱心に働いたが，「主なる神に身を託し」た。）

エテル6：5－11を読んで，ヤレドの民の航海がどのようなものだったかを調べる。以下の質問をする。

- 激しい風はだれが起こしたのでしょうか。それはなぜでしょうか（5節参照）。
- 主はなぜ海を静めてくださらなかったと思いますか。
- あなたは船酔いを経験したことがあるでしょうか。あなただったら，このような船旅をどのようにして乗り切ることができると思いますか。
- 主は旅の間ヤレドの民をどのように祝福されたでしょうか（7，10節参照）。
- 彼らは何日間海上にいたでしょうか（11節参照）。
- ヤレド人は嵐が続く旅の間，何をしていたでしょうか（9節参照）。
- 12節を読んでください。ヤレドの民は約束の地に到着したとき，どのような方法で感謝を表したでしょうか。

ヤレド人の航海をどのように生徒自身の人生にたとえられるかを尋ねる。苦難を受けているときに主に助けを求めることができると証する。わたしたちが進んで主に従うならば，主は安全なところまで導いてくださる。「主よ，嵐すさび」（『賛美歌』59番）を歌うか，歌詞を読む。

エテル7－11章

はじめに

ヤレドとヤレドの兄弟，友人たちの家族は約束の地で繁栄した。エテル7－11章にはこの民に起きた出来事が凝縮して記録されている。ヤレド人はニーファイ人やレーマン人と同じように数多くの成功と失敗を経験した。従順なときに祝福を受け，従順でないときに罰を受けた。民は義にかなった王の下で繁栄し，邪悪な王の下で苦しみを受けた。預言者たちは人々が悔い改めを拒むならば完全に滅ぼされると予告した。預言者たちは何度も民から拒絶され，そして殺された。人々はいにしえからの誓いに従って秘密結社を築いた。それが滅亡への引き金となった。最終的に，人々は内戦によって滅亡した。

モロナイが短くまとめたエテル書は，ヤレド人の長い歴史を通じて王として民を治めたヤレドの子孫の歴史を追って展開している。ヤレド人国家の悲劇的な終焉（しゅうえん）を語ったエテルはこれらの王の血統を受けた人である。

学び取るべき重要な福音の原則

- 金銭や権力を不正に求める人々は社会と国家を分裂させ，自分と周囲の人々に暴力，不幸，死をもたらすことがある（エテル7：4－7，15－21；8：1－10；9：4－12；10：5－8；11：4－22参照）。
- 預言者の言葉に聞き従うならば祝福を受けるが，預言者を拒むならば，主の祝福を失う（エテル7：23－27；9：20－29；11：5－8，12－13，20－22参照。エテル13：20；15：1－3；教義と聖約1：10－16も参照）。
- 秘密結社は権力と利益を手に入れるために手段を選ばない人々のグループであり，互いの罪悪を支援する。秘密結社はサタンによって始められ，アベルを殺したカインの時代から存在してきた。もしも秘密結社が人々の支援を受けたなら，国家全体が崩壊しかねない（エテル8：9－26；9：4－6，11－12，26；10：33－34；11：7，15，22参照。エテル13：15；14：8－10も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』152－155。

教え方の提案

エテル7－15章。金銭や権力を不正に求める人々は社会と国家を分裂させ，自分と周囲の人々に暴力，不幸，死をもたらすことがある。（90－100分）

注意：必要であればこの概要を教えるのに2日以上をかけてもよい。時間的に余裕がなければ，生徒をグループに分けて，グループごとに質問を与え，調べた結果を全体に報告させる方法を取ってもよい。あるいは，エテル書の残る部分を教える準備のために，この概要をあなたの個人学習資料として活用してもよい。

黒板に王冠を描く。次のように質問する。「もしあなたが1日，王または女王になることができるとしたら，権力をどのように使いますか。」答えを黒板に書き出す。しばらく話し合ってから，黒板に書き出されたそれぞれの方法でだれが利益を受けるかを尋ねる。次のように質問する。「このようなすべての権力をもってしても，良い王または女王になることが困難なのはなぜでしょうか。」

エテル6：19－23を読んで，以下の質問について話し合う。

- ヤレドとヤレドの兄弟はなぜ人々を集めたのでしょうか。
- 人々は二人に何を求めたでしょうか。
- ヤレドの兄弟は預言者としてどのようなことを心配していると言ったでしょうか。
- このような例はモルモン書の中ですでに見ていますが，それは何でしょうか。

黒板に以下の指示を書き写す。

1. 聖句ブロックに登場する王の名前を挙げてください。義にかなった王か邪悪な王かを区別してください。
2. 各王は支配したときに戦争をしていたか，平和だったか書いてください。王は囚われの生活を送ったかどうかについても書いてください。

オーバーヘッドプロジェクターを使って以下の表を見せるか，配付資料として生徒に配る。上記の二つの指示を実行するために，表に記されている質問と提案に取り組ませる。

エテル7章	● **23－27節を読んでください。シュールの治世に預言者たちに何が起きたでしょうか。** ● **シュールはなぜ「義をもって裁きを行った」のでしょうか（27節）。**
エテル8章	● **7－22節を読んでください。秘密結社を説明している語句に印を付けてください。** ● **23－26節を読んでください。モロナイはなぜ終わりの時に住む異邦人に秘密結社について話したのでしょうか。**
エテル9章	● **12－25節を読んでください。義にかなったヤレド人に授けられた祝福を挙げてください。** ● **26－35節を読んでください。地にどのようなのろいが降りかかったでしょうか。** ● **なぜのろわれたのでしょうか。** ● **一部の人々が主に助けられたのはなぜでしょうか。**
エテル10章	● **9－13節を読んでください。モリアントンは良い王だったでしょうか，悪い王だったでしょうか。それはなぜですか。** ● **18－28節を読んでください。リブが統治した時代に人々はなぜ「主の手によって繁栄を得た」のでしょうか。**
エテル11章	● **11章を読んで，預言者が語った預言を挙げてください。** ● **人々は預言者と彼らの預言をどのように受け入れたでしょうか。** ● **人々はなぜそのような方法で預言者を扱ったのでしょうか。** ● **この章から今日のわたしたちにとって役立つことについて何が学べるでしょうか。**
エテル12章	● **1－6節を読んでください。エテルは人々を滅亡への道から離れさせるためにどのようなことをしたでしょうか。**
エテル13章	● **20－22節を読んでください。エテルがコリアンタマーに述べた預言と，モルモン6：16－19でモルモンがニーファイ人について語った預言とを比較してください。**
エテル14章	● **8－10，24－25節を読んでください。ヤレド人はエテル8：22に記されているモロナイの預言をどのように成就したかを説明してください。**
エテル15章	● **29－34節を読んでください。あなたがエテル書から学んだ最も大切な教訓は何だと思いますか。**

黒板に書かれた二つの指示に従って紙に書いた事柄を生徒に発表させる。

エテル7－11。預言者の言葉に聞き従うならば祝福を受けるが，預言者を拒むならば，主の祝福を失う。（45－50分）

処方を記したラベルが付いた，空の薬の容器を見せる。生徒にあなたが何を持っているかを確認するように言う。処方薬を必要としたことがあるかどうかを尋ねる。容器に付いている処方を読んで，以下の質問をする。

- 医師はなぜ薬の使い方について指示を与えるのでしょうか。
- 指示されたとおりに薬を使うことはなぜ大切でしょうか。
- 指示に従わずに薬を服用するとどうなるでしょうか。
- 与えられた主の指示の中で，従わないと悪い結果につながる指示にはどのようなものがあるでしょうか。

エテル書が記録されている24枚の金版をモーサヤ王がどのようにして手に入れたかを復習する（モーサヤ8章；21：25－28；28：10－16参照）。生徒にモーサヤ28：17－19を読むように言う。以下の質問について話し合う。

- モーサヤ王は金版をどうしたでしょうか。
- 金版には何が記されていたでしょうか。
- この物語を知ったモーサヤの民はどのような反応を示したでしょうか。

- モルモンによれば，なぜこの物語を後に記すことにしたのでしょうか（9節参照）。
- モルモンの言葉は処方薬について医師が与える指示とどのように似ているでしょうか。

生徒に，今日は，エテル書「の中に書き記されていることを知るのは，……すべての人にとって望ましい」のはなぜか，その理由を幾つか見つけることを説明する。以下の表を黒板に書く（「警告表示」の欄に記されている答えは記入しない）。クラスを3つのグループに分けて，各グループに「参照聖句」の欄に記されている参照箇所を割り当てる。

参照聖句	警告表示
エテル6：22－23；7：4－7，15－21；8：1－10；9：4－12；10：5－8	**不義によって権力を求める指導者は民に束縛，死，悲しみをもたらす。**
エテル7：23－27；9：20－29；11：5－8，12－13，20－22；13：20；15：1－3；教義と聖約1：10－16	**わたしたちは預言者の警告に耳を傾けなければならない。さもなければ滅亡を招く。**
エテル8：9－26；9：4－6，11－12，26；10：33－34；11：7，15，22；13：15；14：8－10；15：1－2	**秘密結社は国家全体を滅ぼすことがあり得るので，壊滅させなければならない。**

各グループに，割り当てられた聖句の名から警告を見つけて，紙に書き出すように言う。各グループの代表者にグループの「警告表示」を発表して，表の聖句の横に記入させる。一人の生徒に十二使徒定員会会員のロバート・D・ヘイルズ長老が語った以下の言葉を読ませる。

「わたしたちの住むこの混乱した世の中では，至る所に悲しみと破壊的行為が見受けられます。その多くは神の真の預言者の言葉に耳を傾けなかったためにもたらされています。これまでの様々な神権時代に生を受けたすべての人々が預言者モーセの言葉に耳を傾け，十戒に従っていたとしたら，彼らの生活はどれほど違っていたことでしょうか。

生ける神の預言者の安心を与える確固とした声は，いつの世にも何ものにも増して必要とされてきました。預言者は神の御心（みこころ）を語り，霊的な安全と個人的な平安や幸福に続く道を示してくれるからです。」（「預言者の声に聞き従う」『聖徒の道』1995年7月号，15）

この言葉はヤレド人の経験とどのような関連があるかについて話し合う。「来たれ，預言者より」（『賛美歌』13番）を歌うか，歌詞を読む。

エテル8：20－26。秘密結社は権力と利益を手に入れるために手段を選ばない人々のグループであり，互いの罪悪を支援する。秘密結社はサタンによって始められ，アベルを殺したカインの時代から存在してきた。もしも秘密結社が人々の支援を受けたなら，国家全体が崩壊しかねない。（30－35分）

注意：この部分を教える準備をする際に，ヒラマン1：1－22，27；2：1－14（189－190ページ）とヒラマン8：1－10；11：1－2，24－34（194－195ページ）の「教え方の提案」，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』のエテル8：23－26の解説（153ページ）を参照する。

黒板に「核爆弾」「軍隊」「秘密」と書く。次のように質問する。「これらの中で国家を滅ぼす最大の力を持っているのはどれでしょう。それはなぜですか。」生徒に，エテル8：18を読んで，この聖句が黒板に書かれた事柄とどのような関係を持っているかを尋ねる。

エテル8：20－22を読んで，秘密結社の持つ滅亡を招く力に対してモロナイが述べた警告の言葉を見つけるように言う。以下の質問をする。

- 秘密結社によって滅びた国にはどのような国があるでしょうか。将来どのような国が秘密結社によって滅ぼされるでしょうか（22節参照）。
- これらの結社はなぜ存続し，大きくなるのでしょうか。
- 秘密結社を支援する国民はなぜ滅亡するのでしょうか。
- 今日の世界にはどのような秘密結社が存在しているでしょうか。

一人の生徒に，十二使徒定員会会員のM・ラッセル・バラード長老が語った以下の言葉を読ませる。

「モルモン書が教えているように，犯罪にかかわる秘密結社は，個人や家族だけでなく，文明全体にまで深刻な影響を及ぼします。今日の秘密結社には，暴力団や麻薬組織，マフィアなどがあります。現代の組織には，モルモン書の時代の『ガデアントンの強盗たち』と似通った機能があります。彼らは秘密の合図と言葉を持ち，秘密の儀式や入会式に参加します。そして彼らの目的は，『国の法律にも神の律法にも背いて人を殺し，略奪し，盗み，みだらな行いをし，あらゆる悪事を行うこと』なのです（ヒラマン6：23）。」（「真理と正義を守る」『聖徒の道』1998年1月号，43）

以下の質問について話し合う。

- 今日の秘密結社はモルモン書のガデアントンの強盗団とどのようなところが似通っているでしょうか。
- なぜ秘密結社はわたしたちの生活にとって危険な存在なのでしょうか。
- 秘密というものは，これらの結社にどのように力を与えているでしょうか。
- もしも秘密結社がその目的を公開するとしたら，秘密結社はどのような支援を受けるでしょうか。

モロナイが現代の人々に警告を与えていることを説明する。エテル8：23－25を読んで，以下の質問について話し合う。

- 秘密結社に「支配される」（23節）ままにしておく国々にはどのようなことが起きるでしょうか。
- 秘密結社が存在する国はなぜ「ひどい状態」（24節）にあると思いますか。
- 人々はどのような意図をもってこれらの結社を作るのでしょうか。
- 秘密結社の根源となっているのはだれでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長が語った以下の言葉を読む。

「邪悪な行いが社会のあらゆる面で，急速に広がっています（1：14－16；教義と聖約84：49－53参照）。悪の力はこれまで以上に強力に組織され，より狡猾に装い，かつてない猛威を振るっています。権力，富，名誉への欲に取りつかれた秘密結社が隆盛を極めています。」（「証」『聖徒の道』1989年2月号，91）

以下の質問について話し合う。

- モロナイとベンソン大管長の言葉について深く考えるときに，あなたはどのようなことが心配になるでしょうか。
- 今日の世界にある組織や力に対してもっと意識を向ける必要があるのはなぜでしょうか。
- 秘密結社に打ち勝つためにわたしたちはどのようなことができると思いますか。

エテル8：26を読んで，モロナイはなぜ秘密結社に対する警告をわたしたちに与えているかについて話し合う。以下の質問を活用して話し合いを展開するとよい。

- 秘密結社に関する事実を知ることは，人々が邪悪を捨てるうえでどのように役立つでしょうか。
- サタンが秘密結社の根源であることを暴くことによって，サタンの持つ「人の子らの心を支配する力」はどのように弱められるでしょうか。
- 「あらゆる義の源に来る」よう勧めることは，人々が秘密結社の影響から逃れるうえでどのような助けとなるでしょうか。

はじめに

預言者エテルが語った民の歴史は悲劇の物語である。エテルは対立と戦争，反抗に絶えず囲まれていた。しかし，主はエテルを祝福して，イエス・キリストの地上における務め，エルサレムの再建，アメリカ大陸における新エルサレムの建設，そのほかモロナイが記すことを禁じられた「大いなる驚くべき」ことをお見せになった（エテル13：4－6，13参照）。ニール・A・マックスウェル長老は七十人会長会に所属していたときに次のように記している。

「エテルは救い主の大義のために全生活をささげた預言者の典型でした。エテルは『コリアンタマーの時代に』，霊的な成長という点で，一つの頂点に達しました。一人の預言者として，『彼の内に主の御霊があったために，そうせずにはおれなかった』（エテル12：2）のです。わたしたち一人一人に覆い被さり，義によってしか取り除くことのできない幾つかの制限を，エテルは自らの義によって取り払い，未来の劇的な瞬間を，それが実現する何世紀も前に目にしたのでした。……

エテルは王家の血筋に生まれましたが，彼の一家はある時点で囚われの身となっていました。エテルの父は『囚われの身で生涯を過ごし』ました（エテル11：23。1：6－33；6：22－27も参照）。……

後にエテルは主から命じられて，勇敢にもコリアンタマー王に面と向かって預言しました。……

『さて，コリアンタマーも，彼の家の者たちも，民も悔い改めず，戦争はやまなかった。そして，民はエテルを殺そうとした。しかし，彼は民の前から逃げて，再び岩の洞穴に隠れた。』（エテル13：20－22）……

エテルは愛する民が一歩一歩確実に無政府状態に落ちていくのを見てたいそう心を痛めたに違いありません。それは物理的にも政治的にも無政府の状態でした。状況は最終的に，『男は皆それぞれ自分の仲間とともに，自分の望みを遂げようとして戦〔う〕』ところまで落ちていきます（エテル13：25）。」（“Three Jaredites: Contrasting Contemporaries,” *Ensign*，1978年8月号，6－8）

聖典によれば，ヤレド人国家の恐ろしい崩壊を生き延びたのはわずか二人だけであった。つまり，この結末を迎えると警告を受けた王コリアンタマー，そして，主の警告を宣言した預言者エテルの二人であった。エテルは記録を封じた。そしてわたしたちにはモロナイの手によって短くまとめられたものが伝えられている。この記録はわたしたちが「まことの唯一の神に仕えなければならず，さもなければ神の限りない怒りが〔わたしたち〕に下る」（エテル2：8）ことを証するためにわたしたちの時代に世に出た。

学び取るべき重要な福音の原則

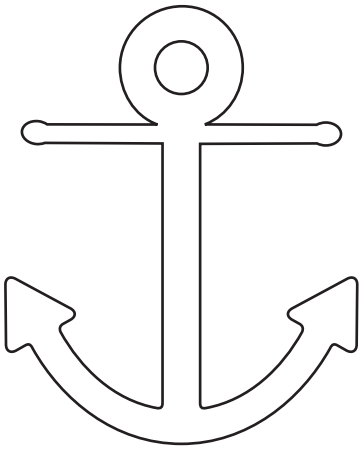
- イエス・キリストを信じる信仰は霊的な力をもたらす（エテル12：2－22参照。ヘブル11章も参照）。
- 主の戒めに従順であることによって信仰を行使すると，主は霊的な確認を与えてくださる（エテル12：6参照。ヤコブの手紙1：12；教義と聖約103：12－13も参照）。
- 神はわたしたちを謙遜にするために弱さを与えておられる。へりくだるならば，イエス・キリストを通して弱さは強さに変えられ得る（エテル12：27，37参照。モルモン書ヤコブ4：7；モロナイ10：32も参照）。
- 日の栄えの王国に一つの場所を得るには信仰と希望と慈愛を持っていなければならない（エテル12：28－34参照。アルマ7：24－25；モロナイ10：18－23も参照）。
- 終わりの時にエルサレムは再建され，新エルサレムはアメリカ大陸に建設される。福千年においては両都市とも聖なる都となって，「小羊の血によって」洗われたイスラエルの家に属する者たちがそこに住む（エテル13：1－11参照。3ニーファイ20：22，46；教義と聖約45：66－67；信仰箇条1：10も参照）。
- 神と神の預言者を拒んでいると，神の御霊が退いて，最終的に滅亡が訪れる（エテル13：15－25；14；15：6，14－33参照。モルモン4：5も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』155－157。

教え方の提案

エテル12：1－22。イエス・キリストを信じる信仰は霊的な力をもたらす。（25－30分）



黒板に錨の絵を描く。錨は船にとってどのような役割を果たすかを生徒に質問する。エテル12：1－6を読んで，以下の質問をする。

- 預言者エテルは信仰を何にたとえたでしょうか。
- 神を信じる信仰は霊的な嵐の中で錨となるとはどのような意味でしょうか。
- モルモン5：18を読んでください。ニーファイ人はこの錨を持っていなかったために，だれの支配を受けたでしょうか。
- エテル12：5はヤレド人の霊的な錨についてどのようなことを教えているでしょうか。
- 6節によれば，なぜ霊的な証を得る前に信仰を持たなければならないのでしょうか。

モロナイは神にしっかりと自分をつなぎ止めていた個人の例を挙げ，彼らが信仰を持っていたのでどのように祝福を受けたかについて述べていることを説明する。生徒に，エテル12：7－22を読んで，その例をできるだけ多く見つけるように言う。それらを黒板に書き出して，共通する事柄を見つけ出す。次のように質問する。「わたしたちの錨をしっかりとしたものとするには，わたしたちは何に対して信頼を置かなければならないでしょうか。」一人の生徒に十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の以下の言葉を読ませる。

> 「贖い主，イエス・キリストを基とした生活を送ってください。天父とその愛子を生活の中で最優先しましょう。天父と御子の存在は命より大切であり，愛する伴侶や子供たち，そのほか地上のだれよりも大切なのです。神の御心を皆さん自身の最も大きな望みとしてください。そのような生活を送れば，皆さんが幸福になるために必要なものはすべておのずと満たされるでしょう。」（「正しい原則の力」『聖徒の道』1993年7月号，37）

自分の生活をイエス・キリストにつなぎ止めるためにはどのようなことができるか生徒と話し合う。各自の生活（またはだれか知っている人の生活）の中から，困難なときにどのように信仰が人をつなぎ止めることができたか，簡単な例を見つけて紙に書くように言う。紙を集めて，名前を出さずにその幾つかを紹介する。

エテル12：6（マスター聖句）。主の戒めに従順であることによって信仰を行使すると，主は霊的な確認を与えてくださる。（10－15分）

黒板に「信仰は奇跡に先立つ」と書く。生徒にこの語句の意味を尋ねる。信仰を行使した後に奇跡が起きた例を聖典からまたは生徒自身の生活から見つけて発表させる。（非常に神聖な事柄や内密にしておくべき事柄については話さないように注意する。）エテル12：6を読んで，話し合う。アルマ32：21と相互参照して，これら二つの聖句がどのように関連し合っているかについて話し合う。

十二使徒定員会会長を務めていた時代に語ったスペンサー・W・キンボール大管長の以下の言葉を読む。

> 「若い人々が財政的に不安定な状態に置かれているときに，家族の責任を直ちに果たしていくには信仰，まだ見ていないものに対する信仰が必要です。若い女性が仕事をするよりも自分の家族を持つためには信仰が必要です。夫の卒業がまだ先である場合には特にそうです。時間外手当がもらえる場合や利益が見込まれている場合，あるいはもっと商品が売れると思われるときに，安息日を守るには信仰が必要です。所持金がわずかで，支払いがたくさんあるときに什分の一を納めるには大きな信仰が必要です。断食し，家族の祈りをささげ，知恵の言葉を守るには信仰が求められます。ホームティーチングを行い，ステーク宣教師として働き，そのほかの奉仕を行うために犠牲が求められる場合に，これらを行うには信仰が必要です。専任宣教師として奉仕するにも信仰が必要です。しかし，このことを理解してください。このような行為はすべて種をまくことに等しく，その報いとして，信仰篤く献身的な家族，霊的な安心感，平安，そして永遠の命を刈り取るのです。」（*Faith Precedes the Miracle*〔1972年〕，11）

エテル12：7を読んで，ニーファイ人が信仰のゆえに受けた祝福を見つける。主は同じ祝福を今日のわたしたちのために用意しておられることを証する。キリストのアメリカへの訪れは再臨にたとえられることを指摘する。信仰が試された後に，もしも忠実であると認められたなら，わたしたちはこの世において，あるいは次の世において，キリストにまみえるであろう。

エテル12：27（マスター聖句）。神はわたしたちを謙遜にするために弱さを与えておられる。へりくだるならば，イエス・キリストを通して弱さは強さに変えられ得る。（10－15分）

生徒に，克服したいと思っている弱点を一つ考えるように言う（発表させてはならない）。弱点と罪は同じものでないことに注意させる。次のように質問する。「その弱点を克服するためにあなたはどのようなことを進んで差し出したり，行ったりする気持ちがあるでしょうか。」エテル12：27を読んで，以下の質問をする。

- 死すべき体を持っているために，わたしたちは自分のどのような弱点に苦しんでいるでしょうか。

- 主はなぜわたしたちに弱点を与えておられると思いますか。
- わたしたちは最終的にそれらの弱点をどのように克服して，強くなることができるのでしょうか。
- アルマ26：11－12を読んでください。これらの節はエテル12：27に記された原則とどのような関連があるでしょうか。
- エテル12：37を読んでください。この節によれば，モロナイは自分の弱さを認めたので，どのような祝福が与えられたでしょうか。

エテル12：41を読んで，モロナイはどのようにして神の恵みを得られると述べているかを探すように言う。「預言者たちと使徒たちが書き記してきたイエスを求める」方法について話し合う。今週，主を求めるための方法を選び，特定の弱点を一つ克服し始めるよう奨励する。

エテル12：38－41。わたしたちは「預言者たちと使徒たちが書き記してきたイエスを求める」べきである。（10－15分）

黒板に「ニーファイ」「ヤコブ」「イザヤ」「ヤレドの兄弟」「モロナイ」と書いて，彼らの共通点を尋ねる。2ニーファイ11：2－3；エテル3：7－8，13；12：38－39から答えを探すように言う。救い主の絵を見せる。以下の質問をする。

- 救い主の証人が存在することはなぜ大切でしょうか。
- 主を見た人はほかにだれがいるでしょうか。（破壊の時期を生き抜いたニーファイ人〔3ニーファイ11：8－10参照〕と預言者ジョセフ・スミス〔教義と聖約76：22－24参照〕などが答えに含まれる。）

エテル12：41を読んで，モロナイがわたしたちに勧めていることを見つける。以下の質問をする。

- 「求める」とはどのような意味でしょうか。
- イエスを求めるとはどのような意味だと思いますか。
- あなたは主を求めたときにどのような方法で主の影響力を感じたでしょうか。

黒板に以下の参照箇所を書く（括弧内の答えは書かない）。生徒に，参照聖句を読んで，わたしたちはどうすれば生活の中でイエスを求めることができるかを探すように言う。黒板の参照箇所の横に答えを書き出す。

- 申命4：29。（心をつくし，精神をつくして，主を求める。）
- 箴言8：17。（主を愛し，主を切に求める。）
- 教義と聖約88：63。（主を熱心に求める。）

エテル13：1－11。終わりの時にエルサレムは再建され，新エルサレムはアメリカ大陸に建設される。福千年においては両都市とも聖なる都となって，「小羊の血によって」洗われたイスラエルの家に属する者たちがそこに住む。（25－30分）

生徒にいちばん住みたい都市はどこかを尋ねる。その都市のどのようなところが好きかを尋ねて，生徒が挙げた特質を黒板に書き出す。生徒に，モーセ7：18－21を読んで，エノクの町のどのようなところが好きかを尋ねる。以下の質問をする。

- このような所に住みたかったでしょうか。それはなぜですか。
- エノクの町はどうなったでしょうか。

エテルは3つの聖なる都について預言したことを説明する。エテル13：2－11を読んで，以下の質問の答えを見つける。

- それらの都市は何という名前でしょうか。（天から降って来る新エルサレム，アメリカに築かれる新エルサレム，再建される古代イスラエルのエルサレム。）
- それらはどこに築かれるでしょうか。

アメリカに築かれる都市とエノクの町はともに「新エルサレム」と呼ばれていることに注目する。モーセ7：62－64によれば，エノクの町はアメリカの新エルサレムと合併して，一つの都となる。これら3つの都市がすべてエテル13：2－11に記されていることを生徒が理解するのを助けるために，『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』（156ページ）のエテル13：1－12の解説から，ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の言葉を概説する。

わたしたちはどこに住むかよりも，どのような生活を送るかの方がはるかに大切であるという概念について話し合う。聖なる都に住むには聖くなければならない。エテル13：10－11をもう一度読んで，以下の質問をする。

- これら二つの都市の人々に共通していることは何でしょうか。
- このことは「新しい天と新しい地がある」（9節）福千年の生活について，どのようなことを教えているでしょうか。
- 生活の中で救い主の贖いの力を受けるにはどうすればよいでしょうか（3ニーファイ27：19－22参照）。

生徒とともにエペソ2：19－22；4：11－15を読んで，教会はわたしたちが「聖徒たちと同じ国籍の者」になるためにどのように助けているかについて話し合う。

エテル13：15－15：33。神と神の預言者を拒んでいると，神の御霊が退いて，最終的に滅亡が訪れる。（25－30分）

大管長会と十二使徒定員会による以下の声明を読む。

> 「わたしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々，伴侶や子供を虐待する人々，家族の責任を果たさない人々は，いつの日か，神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は，個人や地域社会，国家に，古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょう。」（「家族―世界への宣言」『聖徒の道』1996年6月号，11）

以下の質問について話し合う。

- 預言者たちはこの時代についてどのような警告を与えているでしょうか。
- これらの警告に耳を傾けなければならないのはだれでしょうか。
- 「古近の預言者たちが預言した災い」にはどのようなものがあるでしょうか（教義と聖約45：26－27，31－33，41－42，68－69；88：87－91参照）。
- これらの災いが起こることはなぜ確かなことなのでしょうか。
- エテル2：8を読んでください。ヤレド人はアメリカ大陸に到着して間もなく，どのような警告を受けたでしょうか。
- エテル13：20－21を読んでください。エテルはコリアンタマーに対してどのような警告を与えたでしょうか。

エテル14－15章から，預言者たちの預言がどのように成就したかを示している節を全員で読む。読んでいる途中で，以下の概念

を指摘するとよい。

- エテル14：21―23。ヤレド人は「流血から流血へと進んで行〔った〕。」
- エテル15：1―6。コリアンタマーは最終的にエテルの警告が実現することを悟ったが，自分たちが窮地に陥っていることをだれにも納得させることができなかった。
- エテル15：19。御霊は人々から退き，「サタンが民の心を完全に支配していた。」預言されていたように，人々の罪悪が満ちており，彼らは完全な滅亡へと進んでいった（エテル2：10参照）。

わたしたちの生活においてなぜ預言者が祝福となるのかについて話し合う。エテル書から学んだことの中から自分にとって最も大切だと思う原則，それから，神の預言者にもっとよく従うために自分にできることを紙に書くように言う。預言者に従うことの大切さについて証（あかし）を述べる。「感謝を神に捧げん」（『賛美歌』11番）を歌うか，歌詞を読む。

モロナイ書

ニーファイ人の最後の預言者であったモロナイは父モルモンから神聖な記録の管理を任された。モロナイ書には記録を封じる前に記したモロナイの最後の言葉が収められている。民の絶滅を目撃したモロナイはレーマン人から身を隠した。レーマン人はキリストを否定しないすべてのニーファイ人を殺害しようとしており，モロナイはキリストを否定するつもりがなかったからである（モロナイ1：1－2参照）。十二使徒定員会会員のジョセフ・Ｂ・ワースリン長老はこのように教えた。「中でもモロナイの生涯は，堅忍を学ぶうえで，特にためになります。彼の直面した苦難は信じ難いほどのものでした。モロナイは，民の邪悪のためにニーファイ人の国家が恐ろしい戦いの剣で打ち砕かれるのを目の当たりにしました。父も親族も，友人も殺されたのです。命を取ろうと彼を探している残忍なレーマン人の手を逃れて身を隠しながら，モロナイは約20年もの間一人で過ごしました（モルモン8：2－7参照）。そのような状態にもかかわらず，彼は父の命じた記録を書き続けたのです。」（「決して屈してはならない」『聖徒の道』1988年1月号，9）

はじめに

十二使徒定員会のジェフリー・Ｒ・ホランド長老はこのように記している。「モロナイが自分の名を冠した書に最初に記したのは，いわば挿し絵のようなものでした。言い換えれば，自分が死んで，モルモン書という長編年代記を閉じる前に記録する必要があると感じていた事柄を手短に紹介するものでした。この中には，キリストが12人の弟子たちに，按手によって聖霊を授ける権能を与えられたときに話された言葉，祭司と教師が聖任されたときの祈り，聖餐の祈り，バプテスマを受ける人々が『キリストの教会』に受け入れられ，『キリストの民』の中に数えられる方法についての指示が含まれています。」（*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，332）

モロナイ1－6章に記されている儀式と慣例はイエス・キリストの福音がいかなる時代にあっても同じであることを示している。

学び取るべき重要な福音の原則

注意：レッスンの準備に取りかかる前に，本項に割り当てられている聖句ブロックを祈りの気持ちで研究し，また採り上げられている原則について深く考える。

- わたしたちはいかなる危険，犠牲，誘惑に遭遇しても証を固く守る聖約上の義務がある（モロナイ1：1－3；4：3；5：2；6：1－3参照）。
- 神権の儀式は，わたしたちが神と聖約を交わす神聖な儀式である。これらの儀式は神からの権能を持つ人々により正しい方法で執行されなければならない（モロナイ2－3章；4：1；5：1参照。3ニーファイ11：21－28も参照）。
- わたしたちはバプテスマの聖約を更新し，イエス・キリストの贖いを思い起こすために聖餐を受ける（モロナイ4－5章；6：5－6参照。モーサヤ18：8－13；教義と聖約20：75－79も参照）。
- 教会員は聖餐を受け，お互いを霊的に強め合うためにしばしば集まらなければならない。教会の集会は聖霊によって導かれるままに進めるべきである（モロナイ6：4－9参照。教義と聖約20：53－55も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』158－159。

教え方の提案

注意：割り当てられた聖句ブロックについて教える準備をするときに，以下の提案の中から適したものを選ぶか，自分自身が考えたアイデアを用いる。

モロナイ1章。わたしたちはいかなる危険，犠牲，誘惑に遭遇しても証を固く守る聖約上の義務がある。（20－25分）

十二使徒定員会会員のジョセフ・Ｂ・ワースリン長老が語った以下の言葉を読む。

「何年も前のことですが，ロシアのウクライナの人里離れた地域には，おおかみが幾つもの大きな群れを成してうろついていて，その地方を行く旅人にとってそこはきわめて危険な場所となっていました。このおおかみの群れは恐れを知らず，たとえ相手が人であっても，あるいは当時入手し得るどんな武器であったとしても，ひるむことなく向かってきました。たった一つだけ恐れていたものがあったとすれば，それは火でした。そのため，町から離れた場所で野宿する旅人にとって，大きなかがり火をたいて，一晩中火を絶やさずにおくことは，ごく普通の習慣になっていました。火が赤々と燃えているかぎり，おおかみたちは決して近づこうとはしませんでした。しかし，ひとたび火が消えかかったり，また消えたりすると，直ちに襲いかかってきました。旅人たちは，火をおこし，赤々とした火を絶やさずにおくことが，ただ単に便利だし暖かいといったたぐいのものではなく，命を守るために不可欠であることをよく理解していました。（メアリー・プラット・パリッシュ「契約を守る者」『聖徒の道』1973年3月号，128－131参照）

今日のわたしたちは，人生という道を旅するとき，おおかみの群れから身を守る必要はありませんが，霊的な意味で，わたしたちの前には，サタンという悪質なおおかみの群れが，誘惑や悪事，罪という姿を借りて，待ち構えてい

ます。現代は危険な時代です。そうした貪欲なおおかみたちが，信仰の弱い者や確信を持てずにいる者を求めて，霊的に人里離れた所でうろついているからです〔1ペテロ5：8；教義と聖約122：6参照〕。わたしたちは皆，襲われる危険性があります。しかしながら，わたしたちは，熱く燃える証によって自分の身を守ることができます。その証は，適切に点火され，注意深く絶やさぬように燃やし続けてきたあのかがり火と同じです。

残念なことですが，教会員の中には，自分の証が実際には風前のともしびのような状態であるにもかかわらず，それに気づかず，赤々と燃えているかがり火のようだと単純に思い込んでいる人々がいます。そうした人々が忠実でいるのは，神に対する献身のためというよりも，むしろ習慣のためです。ですからほとんどいつも，個人の義を追求するよりも，個人の興味や楽しみの方を優先させます。自分を守る証の火がそれほど弱ければ，人生という道路を進む旅人たちは，簡単に悪魔というおおかみのえじきになってしまうでしょう。」（「証という霊のかがり火」『聖徒の道』1993年1月号，40）

モロナイ1：1－3を読んで，以下の質問について話し合う。

- モロナイはどのような敵に出遭ったでしょうか。
- モロナイが直面した肉体の死の脅威と，ワースリン長老が警告した霊的な死の脅威とを比較すると，どのようなことが言えると思いますか。
- モロナイの証は，どのようにモロナイを守ったでしょうか。
- モロナイは自分の証に忠実であるためにどのような犠牲を払わなければならなかったでしょうか。
- モロナイの模範から証と決意についてどのようなことを学べるでしょうか。
- モロナイ1：4を読んでください。この節はモロナイの証が持つ力についてあなたの理解していることに，どのようなことを付け加えているでしょうか。

ヒーバー・C・キンボール副管長は1867年，次のように預言した。

「あなたがたに次のことを話しておきたいと思います。あなたがたの多くは，自らが耐え得るあらゆる困難，試練，迫害を経験し，神とその業への誠実さを示す多くの機会にあずかることでしょう。この教会の前途には数多くの困難が待ち受けています。しかし神の業が勝利の冠を得るためには，それらを避けて通ることはできないのです。……

……借りものの光ではだれも耐えられない時がやがて来ます。すべての人が内なる光によって導きを得なければならなくなります。その内なる光がなくて，どうして耐えることができるでしょうか。」（オーソン・F・ホイットニー，Life of Heber C. Kimball〔1945年〕，449－450）

以下の質問について話し合う。

- 「借りものの光で耐える」とはどのような意味だと思いますか。
- なぜ借りものの光では耐えられないのでしょうか。
- 堅固な証を持っていた人々の例を聖典から幾つか挙げてください。

生徒に証をしっかりと持ち続けるよう励ます。ワースリン長老の以下の話を分かち合う。

「これから，個人の証をさらに赤々と燃え立たせておくための方法を，3つ提案したいと思います。霊性を脅かそうと辺りをうろつく邪悪なおおかみから身を守るための提案です。

まず最初は，主イエス・キリストを信じる信仰という確固たる基盤の上に，自分の証を確実に築き上げることです。……

そのような信仰を基にできると，わたしの2番目の提案に進むことができます。証というかがり火を燃え立たせるもう一つの薪は，へりくだって真心から悔い改めることです。人の心の中から聖なる御霊の影響力を最も速やかに取り除いてしまうものの代表が，罪でしょう。……

わたしの3番目の提案は，キリストの模範に従うことです。キリストはその模範を具体的に行動で示してくださいました。

何を行うにしろ，またどのような状況にあろうとも，わたしたちはイエスならどうされるだろうか，と自問して，それに従って自分の取るべき道を決定することが可能です。」（「証という霊のかがり火」41－42）

堅固で，生き生きとした証を築くために必要なことを行うよう奨励する。

モロナイ2－3章。神権の儀式は，わたしたちが神と聖約を交わす神聖な儀式である。これらの儀式は神からの権能を持つ人々により正しい方法で執行されなければならない。（20－25分）

クラスの何人かのアロン神権者にパネルディスカッションに参加させる。彼らに以下の質問をする。ほかの生徒は神権について彼らに質問することができるようにする。

- あなたはアロン神権を受けたときどのように感じましたか。
- あなたは今，神権のどの職を持っていますか。
- その職に聖任したのはだれでしたか。
- あなたは神権によってどのような義務や責任を受けていますか。
- 神権の召しを尊んで大いなるものとすることはなぜ大切だと思いますか。
- あなたの生活において神権はどれほど大切ですか。それはなぜですか。

全員に次のように質問する。「若い女性は神権者に約束されている祝福をどのようにして受けることができるでしょうか。」

生徒に，モロナイ2－3章を読むように言う。以下の質問をする。（時間的に余裕があれば，参照聖句も研究するとよい。）

- モロナイ2－3章の中で，神権は按手によって授けられなければならないと教えているのはどの節でしょうか（信仰箇条1：5も参照）。

- 神権の授与とともにささげられる祈りが霊感によるものであることを示す証拠としてどのようなことが挙げられるでしょうか（教義と聖約20：60も参照）。
- これらの章では，神権者はどのような義務を与えられているでしょうか。
- これらの責任は今日の祭司と教師の義務と比較した場合に，どのような共通点があるでしょうか（教義と聖約20：46－59も参照）。
- 今日も同じ手順に従うことはなぜ大切でしょうか（信仰箇条1：6も参照）。

モロナイ4－6章。わたしたちはバプテスマの聖約を更新し，イエス・キリストの贖いを思い起こすために聖餐を受ける。（20－25分）

次のように言う。「皆さんは聖餐会に出席している祭司だと考えてください。今，パンを割き終えたところです。ひざまずいて聖餐の祈りを言おうとしたところ，いつもあるはずのカードがないことに気づきました。」

- あなたはどうするでしょうか。
- 聖典は助けになるでしょうか。
- 聖典のどこに聖餐の祈りを見つけることができるでしょうか。（モロナイ4－5章；教義と聖約20：77，79）
- 水の祈りをささげるときに聖典のどの語を変える必要があるでしょうか。

次のように言う。「あなたは聖餐会で会衆の席に座っている会員だと考えてください。聖餐の賛美歌が終わって，全員が聖餐の祝福に耳を傾ける準備ができました。」

- あなたは何について考えるでしょうか。
- 気をそらさないようにするために，どのようなことを控えますか。
- 救い主に思いを集中するためにはどのようなことをすると助けになるでしょうか。

聖餐の間に主の御霊を感じることがどれほどあるか，またどれほど強く感じるかを考えるように言う。

次のように言う。「あなたの座っている場所に執事が聖餐を持って来て，あなたがそれを取ろうとしている場面を思い浮かべてください。」

- あなたはどのような約束をしようとしているでしょうか。
- この行為によってあなたはどのような祝福を受けられるでしょうか。
- この儀式はなぜあなたにとって大切でしょうか。
- 聖餐を受ける経験をもっと意義のあるものにするにはどうすればよいでしょうか。

生徒に，モロナイ4－5章を読んで，わたしたちが聖餐を受けるときに交わす約束と，主がそれに対して与えてくださる約束を見つけるように言う。聖餐の大切さについて深く考えるように言う。次のように質問する。「人々が聖餐をもっと意義のあるものとするよう助けるためにアロン神権者はどのようなことができるでしょうか。」

何人かの生徒にひもを2本ずつ渡す。30秒間で，自分の好きな結び方で2本のひもをつながせる。そして，結び目を見せるように言う。このひもを使って助け出されるとしたら，どの結び目に最も信頼を置けるかを全員に尋ねる。ひもの結び目のように，わたしたちは聖約によって主と結ばれることを説明する。次のように質問する。

- 主と結ばれていることはなぜ大切でしょうか。
- わたしたちは皆，自分の罪から救い出されるために贖いを必要としています。あなたと主との間の結び目，つまり聖約はどれほど強いものであってほしいと思いますか。
- ふさわしく聖餐を受けることによって，救い主との聖約の関係はどのように強められるでしょうか。
- 聖餐の意義を理解することによって，イエス・キリストとのつながりはどのように強められるでしょうか。

聖餐の賛美歌を歌うか，歌詞を読む。聖餐を受ける時間をもっと神聖なものにするために努力するよう奨励する。

モロナイ6：4－9。教会員は聖餐を受け，お互いを霊的に強め合うためにしばしば集まらなければならない。教会の集会は聖霊によって導かれるままに進めるべきである。（20－25分）

一人の生徒にゴードン・B・ヒンクレー大管長が語った以下の話を読ませる。

「ジョセフ・スミスはこのように宣言しています。『あらゆることを述べてきたが結局，最も偉大にして最も重要な義務は福音を宣べ伝えることである。』」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，ジョセフ・フィールディング・スミス選〔1976年〕，113）……

歴代の大管長はこの大切な業について語っています。

わたしたちが携わっている業は大いなる業です。わたしたちは福音に耳を傾ける人々を見つけるというすばらしい責任を受けています。主は，すべての造られた者に福音を教えることを戒めとしてわたしたちに与えておられます。……

新しい改宗者を見いだし，その人がバプテスマを受けると，わたしたちはその人をフェローシップし，この業が真実であるという彼らの証を強めるというチャレンジを受けます。わたしたちは彼らが教会に入り，やがて去って行くままにしてはなりません。教会に加入するのはとても重要なことです。改宗者は皆，キリストの御名を受け，戒めを守るという聖約をします。しかし，教会に来ることは，一つの冒険です。改宗者を迎える温かく力強い会員の助けと，愛と関心に満ちた態度がなければ，彼らは自分が踏み込んだ道に不安を感じ始めることでしょう。改宗者を歓迎し，行くべき道に沿って導こうとする親しみのこもった手と歓迎の心がなければ，彼らは道をそれて行くかもしれないのです。

わたしたちが伝道の業の実を大切に保たなかったなら，伝道活動を行っても何の意味もありません。伝道と定着，この二つの働きは不可分のものであり，改宗者は貴い存在です。すべての改宗者は神の息子と娘だからです。会員となった人々が定着するように見守るのは，わたしたちの急務なのです。」（「子羊を見いだし，羊を養う」『リアホナ』1999年7月号，124－125）

クラスを4つのグループに分ける。第1グループに新しい改宗者の立場に立たせる。第2グループは宣教師，第3グループは新しい改宗者の近所に住んでいる同じワードの会員，第4グループは神権指導者または扶助協会の指導者の立場に立たせる。生徒に，モロナイ6：1－6を読んで，グループに割り当てられた人の立場から，どのようなことが教えられているかを考えるように言う。以下の質問について全員で話し合う。

- これらの節から，新しい改宗者，宣教師，隣人，ワードの指導者としてどのような責任があることを学んだでしょうか。
- バプテスマを受ける人はなぜ「打ち砕かれた心と悔いる霊」を持ち，心から悔い改めていることが大切だと思いますか（2節）。
- 宣教師はバプテスマを受ける人が心から「最後までキリストに仕える決心をしてキリストの名を受け」るようにするために，どのような助けができるでしょうか（3節）。
- ホームティーチャーや訪問教師，隣人，友達は，新しい改宗者が「覚えられ」，「神の善い言葉で養われ」，「正しい道にとどめ」られ，そして「絶えず祈りを心に留めさせ」，「キリストの功徳にだけ頼らせる」ために，どのようなことができるでしょうか（4節）。
- 主は教会の指導者に対してなぜ，新しい改宗者を数え，その名を記録するよう命じられたのでしょうか（4節参照）。
- 教会の集会を定期的に開き，会員一人一人の幸いについて語り合うことがなぜ新しい改宗者の助けになるのでしょうか（5節参照）。
- モロナイ6：7－9にはすべての教会員がキリストのもとに来るよう助けることについて，ほかにどのような責任が指摘されているでしょうか。
- モロナイはこれらの教えをなぜ金版に含めたと思いますか。

はじめに

モロナイは自分の証によってモルモン書を閉じる前に，父からの2通の手紙と，信仰，希望，慈愛に関する父の力強い説教を含めた。この説教は「教会に属して」いて，「キリストに穏やかに従」う人々に向けられたものである。モルモンは彼らが「人の子らと穏やかに交わって暮らしているので」そのように判断した（モロナイ7：3－4）。モルモンの感動的な言葉は福音の最も基本的な教義の幾つかに光を投げかけている。それらは神の王国の祝福を余すところなく受けるためにあらゆる人が従わなければならないものである。

学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちの奉仕は真心から行うときに神によって受け入れられる（モロナイ7：5－14参照。教義と聖約64：33－35も参照）。
- この世に生まれるすべての人は善悪をわきまえることができるようにキリストの光を与えられる（モロナイ7：12－19参照）。
- 信仰，希望，慈愛はへりくだってキリストのもとに来る人々に与えられる御霊の賜物である（モロナイ7：20－48参照。マタイ22：36－40；1コリント13章も参照）。
- 責任を負う年齢に達する前に死んだ子供たちはキリストの贖いによって救われる。幼い子供たちが犯す過ちは贖罪によって代価が支払われている。したがって，これらの子供たちはバプテスマを受ける必要がない（モロナイ8：4－23参照。教義と聖約29：46－47；68：25－27も参照）。
- 主に従わない者たちは短期間のうちに非常に罪深い状態に陥ることがある。人々がどれほどかたくなであっても，わたしたちは彼らが福音を受け入れ，福音に従って生活するよう助けるべきである（モロナイ9章参照。モルモン3：11－12；4：11－12；5：1－2も参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』159－163。

教え方の提案

モロナイ7：5－14。わたしたちの奉仕は真心から行うときに神によって受け入れられる。（20－25分）

互いに奉仕している絵（『福音の視覚資料セット』615）または奉仕を行っている情景を描いたその他の絵を見せる。以下の質問をする。

- 奉仕することはなぜ大切だと思いますか。
- あなたがこれまでに参加した奉仕活動の中で大きな意義を感じたのはどのようなものでしたか。
- あなたに奉仕をしてくれた人々に対してどのように感じたでしょうか。あなたが奉仕を行った人々に対してはどうでしょうか。

再び絵を見せて，生徒が奉仕を行っていると考えさせる。奉仕を受けている人の耳に次のような言葉が入ってきたとしたら，その人はどのように感じると思うかを尋ねる。

- 「この奉仕活動には両親に無理やり来させられたのさ。」
- 「これだけ奉仕するのだから，きっと何かの見返りがあるよね。」
- 「わたしがどれほど熱心に働いているかを友達に知ってもらいたいわ。友達に好かれたいからこうしているのよ。」
- 「なぜぼくがこんなことをしなければならないのか理解できないね。この人たちは自分で問題を解決できると思うけど。」

以下の質問について話し合う。

- わたしたちが奉仕を行うときに，その意図によってどのような違いが生じるでしょうか。

- 主はわたしたちの行いと同様に意図にも関心を持っておられるのはなぜだと思いますか。

モロナイ7：1—4を読んで，だれがだれに語っているかを質問する。モロナイ7：5—10を読んで，以下の質問について話し合う。

- モルモンは「惜しみながら」ささげ物をするのではなく，「真心から」ささげ物をすることについてどのようなことを教えているでしょうか（6—7節参照）。
- 神は惜しみながら行う奉仕をどのように思われるでしょうか。神はなぜそのように思われると思いますか。
- 奉仕することが福音において大切な位置を占めているのはなぜだと思いますか。

モロナイ7：11—14を読んで，真心を込めずに奉仕し祈る人々を説明するために，モルモンはどのようなたとえを使っているかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- 惜しみながら奉仕をする人はなぜ苦い泉にたとえられるのでしょうか。
- これらの節からあなたはほかにどのようなことを学んだでしょうか。
- モルモンは14節でどのような警告をわたしたちに与えているでしょうか。
- わたしたちはこれらの教えをどのように個人の生活で応用できるでしょうか。家族の間ではどのように応用できるでしょうか。

十二使徒定員会員のダリン・H・オークス長老が語った以下の言葉を黒板に書く。「イエス・キリストの教会の会員はすべて，聖約を通して，奉仕を行うという義務を負っているのです。」（「何のために奉仕するのか」『聖徒の道』1985年1月号，12）黒板に以下の奉仕の動機を書き出して，それぞれが動機として次元が高いか低いかを生徒に尋ねる。

- 富または名誉
- 良い友達との交わり
- 罰を受けることへの恐れ
- 義務または忠誠心
- 永遠の報いへの望み
- 慈愛，キリストの純粋な愛

以下のダリン・H・オークス長老の話からの抜粋を読む。必要に応じてオークス長老の考えについて話し合う。

「人が奉仕を行う動機は様々です。また，動機のよしあしの程度もいろいろです。どのような責任についても，常に一つの動機だけで奉仕するというような人はまずいないと思います。わたしたちは不完全な人間ですから，奉仕の働きといっても，複数の動機が組み合わさっていたり，組み合わせそのものも，霊的な成長に伴って時折変化したりするのではないでしょうか。しかし，わたしたちは最高にして最善の動機によって奉仕しなければなりません。……

この世的な報いを期待して奉仕する人がいます。……この世的な名誉や地位，あるいは権力のために奉仕する人もいます。……

良い友達を得たいという望みが動機になっている場合があります。これは第1の理由よりは優れてはいますが，やはりこの世的な報いを求めて行う奉仕の種類に入ります。……

以上述べてきた二つの理由は自己中心の利己的なものであり，聖徒にふさわしいものではありません。……この世的な報いを目的とした動機は報いの点でも質的な面でも，これから話すほかの動機に比べて確かに劣るものです。

人によっては罰を受けるのが怖くて働く人もいます。……罰を恐れて行う奉仕は，どうしても次元の低い動機と言わざるを得ません。

義務感のため，また友人や家族，伝統に対する忠義心で奉仕する人もいます。……このように，様々な健全な目的に対する義務感や忠誠心から奉仕する人々は善良で高貴な人々です。

今わたしが述べたような奉仕は，称賛に値するものであり，確かに祝福を受けるにふさわしいものです。自発的に，喜びをもってなされるのであればなおさらです。……

……それ以上に尊い動機がまだほかにあります。

その一つは永遠の報いへの希望です。この望み，すなわち，自分の働きから生じた実りを楽しむという望みこそ，最も力強い動機の源となります。また，神とその預言が成就することに対する信仰は，奉仕の動機として必ず必要になってくるものです。……

最後に挙げるのは，わたしの考えでは，最高の動機だと思います。それは，奉仕に関連して，聖典の中で『最もすぐれた道』と呼ばれているものです（1コリント12：31）。

慈愛とは『キリストの純粋な愛』と書かれています（モロナイ7：47）。また，モルモン書はこの徳こそ『最も大いなるものである慈愛』であると教えています（モロナイ7：46）。……

最も効果的な奉仕をするためには，神への愛，また神の子供たちへの愛を動機としなければなりません。……

この原則，すなわち，奉仕は，自分の利益，あるいはそのほかの次元の低い動機によってではなく，むしろ神と同胞への愛に発するものでなければならないという原則は確かに高度な標準です。……

心と思いを尽くして奉仕することは，だれにとっても大変なチャレンジです。そのような奉仕は，利己的な野心と無縁のものでなければなりません。そのような奉仕の真の動機となり得るのは，キリストの純粋な愛以外にありません。」（「何のために奉仕するのか」『聖徒の道』1985年1月号，13—15）

次元の高い動機に基づいて奉仕するための方法について生徒から意見を求める。モロナイ7：48を読んでから，マリオン・G・ロムニー副管長が語った以下の話を読む。

「そこで次のように尋ねる人がいるかもしれません。『どうしたら真心から施すことができるのですか。』『どうしたら惜しみながら施すことを克服できるでしょう。』『どうすれば「キリストの純粋な愛」を自分のものにできますか。』わたしの答えはこうです。すべての戒めを忠実に守って生活し，自分自身をささげ，家族を大切にし，教会の召しを果たし，伝道活動を行い，什分の一と献金を納め，聖文を勉強し，……わたしの答えはまだまだ続きます。皆さんが自分を忘れて奉仕するならば，主は皆さんの心に触れてそれを和らげ，ベニヤミン王の時代の祝福された民と同じ思いを，次第に授けてくださるでしょう。彼らは御霊に動かされてこのように言いました。『そのとおり，わたしたちは，王がわたしたちに語ってくださった言葉をすべて信じています。また，全能の主の御霊のおかげで，わたしたちは王の言葉が確かで真実であることを知っています。御霊は，わたしたちが悪を行う性癖をもう二度と持つことなく，絶えず善を行う望みを持つように，わたしたちの中に，すなわちわたしたちの心の中に大きな変化を生じさせてくださいました。』（モーサヤ5：2）」（「福祉の原則に添った生活をする」『聖徒の道』1982年4月号，157－159）

神と人々に対する愛に基づいて奉仕するよう生徒に奨励する。

モロナイ7：12－19（マスター聖句，モロナイ7：16－17）。この世に生まれるすべての人は善悪をわきまえることができるようにキリストの光を与えられる。（30－35分）

以下の質問について全員で話し合う。

- 神はどうしてあなたに善を行うよう強制なさらないと思いますか。
- サタンはなぜあなたに悪を行うよう強制できないと思いますか。

生徒に，モロナイ7：12－13を読んで，神とサタンはどのようにして自身に従わせようとしているかを示している言葉を見つけるように言う。以下の質問をする。

- 「促す」と「そそのか〔す〕」という語はそれぞれ神とサタンについてどのようなことを教えているでしょうか。
- 主はなぜ善を行うようにあなたを誘い，促すことを望んでおられると思いますか。
- 2ニーファイ2：27，29を読んでください。これらの節によれば，サタンはどのようなことを求めているでしょうか。
- どうすれば，神の誘いとサタンの誘いの違いを見分けることができるでしょうか。

次の誘いのうち，どちらが神の誘いでどちらがサタンの誘いかを生徒に尋ねる。

- 『リアホナ』を読む。
- ポルノ雑誌を読む。

この判断は容易かどうか，なぜそう思うのかを尋ねる。善悪の判断がつきにくい例を挙げるように言って，それらの例について全員で話し合う。（年間最優秀作品であると言われている映画に性的な描写や神を冒瀆する場面が登場するなどの例が考えられる。）

主はわたしたち一人一人に善悪を判断する助けとなる賜物を与えておられることを証する。モロナイ7：14－15と16節の前半を読む。「キリストの御霊が与えられているからである」で止める。キリストの御霊がその賜物であることを証する。

生徒に，モロナイ7：16－19を読んで，これらの節は選択について何を教えているかを見つけるように言う。以下の質問をする。

- この聖句のどの部分があなたの心に強い印象を与えたでしょうか。
- わたしたちは何かを選択するときにどのような助けを利用すべきでしょうか。
- この勧告はあなたにとってどのような助けとなるでしょうか。
- この勧告から，神があなたの決断に関心を寄せ，あなたを愛しておられることについて，どのようなことが分かるでしょうか。

生徒がキリストの御霊についてよく理解できるように，教義と聖約84：44－47；93：12，16－20，26－28を読んで，話し合う。これらの節とモロナイ7：16とを相互参照するように言う。

人々がよく知っている映画，テレビ番組，歌，雑誌名を生徒たちに挙げさせる。以下の質問について話し合う。

- これらの中でどれが「善を行うように誘い，またキリストを信じるように勧める」と思いますか。
- これらの娯楽について主の標準と世の中の標準はどのように異なっているでしょうか。
- モロナイ7：16－19で教えられている原則は何を読み，何を見，何を聴いたらよいかを判断する際に，どのように助けとなるでしょうか。

『若人のために』（〔1996年〕11－12）から「メディア」の項を読み，次のように質問する。「モルモンの教えとこのパンフレットに記されている標準との間にはどのような共通点があるでしょうか。」

エズラ・タフト・ベンソン大管長の以下の言葉を分かち合う。

「〔モルモンのこの言葉〕を基準にして，読んでいるもの，聴いている音楽，見ている娯楽，また自分が考えていることの善悪を判断してください〔モロナイ7：13，17参照〕。さらにキリストに近い人間になろうではありませんか。」（「神聖な務め」『聖徒の道』1986年7月号，78）

「選べ，正義を」（『賛美歌』152番）を歌うか，歌詞を読む。あなたが読む以下のハワード・W・ハンター大管長の話を，選択のパターンに注意を払いながら聞くように言う。

「すべての点で，またどのような境遇にあっても，神の御子に従いましょう。主をわたしたちの模範とし，導き手としましょう。どのような場面でも，『イエスならどうなさるだろう』と自問し，その答えに勇敢に従う必要があります。わたしたちは，言葉の最も純粋な意味において，主に従わなくてはなりません。主が天父の業をなさったように，わたしたちも主の業に携わるのです。……かつてこの世が目にした唯一の完全で罪のない模範者キリストのようになるために，力の限りを尽くし，あらゆる努力を払わなければなりません。」（「あなたがたはどのような人物であるべきか」『聖徒の道』1994年7月号，67）

このパターンに従うよう生徒に奨励する。

モロナイ7：20－48。信仰，希望，慈愛はへりくだってキリストのもとに来る人々に与えられる御霊の賜物である。（40－45分）

以下の語と参照箇所と言葉を別々の紙に書いて3つの箱に入れ，贈り物用の包装を施す。

箱1	**信仰** **モロナイ7：20－39** **アルマ32：21－22**
箱2	**希望** **モロナイ7：40－43** **エテル12：4** **ヘブル6：11－19** **「モルモンが教えたように信仰は希望，すなわち神学上の特別な意味での希望へと導きます。希望という言葉は，熱望を意味する最も一般的な言葉である『望み』という語の代わりにしばしば用いられます。けれどもモルモン書ではこの言葉は非常に限定的な意味で用いられていて，キリストを信じる信仰から自然に生まれるものを指しています。……** **この希望はどのような性質を持っているのでしょうか。漠然とした望み以上のものであることは間違いありません。それは『キリストの贖罪とキリストの復活の力によって永遠の命によみがえることを望〔む〕』ことであり，『あなたがたがキリストを信じることで，約束のとおりこれが果たされる』のです〔モロナイ7：41〕。これがいわゆる『信仰，希望，慈愛』における『希望』に関する神学上の意味です。この定義を踏まえてモロナイ7：42を読むと，その意味がはっきりとしてきます。『もし人に〔キリストとキリストの贖いに対する〕信仰があれば，〔その結果として〕必ず〔信仰と復活は切り離すことができないので，復活の約束への〕希望もあるに違いない。〔キリストの贖いに対する〕信仰のない〔復活に対する〕希望はあり得ないからである。』」（ジェフリー・R・ホランド，*Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，334－335）**
箱3	**慈愛** **モロナイ7：44－48** **1コリント13章**

箱を見せる（まだ開けてはならない）。生徒に，教義と聖約46：7－9，11－12，26を読んで，以下の質問に対する答えを見つけるように言う。

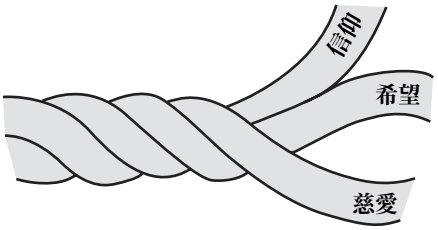
- 御霊の賜物はどこから来るのでしょうか。
- 一人一人にどれだけ多くの賜物が与えられるのでしょうか。
- わたしたちは御霊の賜物を求めるべきでしょうか。
- 御霊の賜物はどのような目的のために与えられるのでしょうか。

御霊の賜物はわたしたちがサタンに欺かれるのを防ぎ，主の促しをよく理解できるよう助けてくれることを説明する。モロナイ7：5－19でモルモンは善悪を判断する方法について助言を与えていることを説明する。20－48節でモルモンは「善いものをことごとく手にできる」（20節）ようわたしたちを助ける3つの御霊の賜物について教えている。何かを「手にできる」とはどのような意味かを生徒に尋ねる。生徒に1節を読むように言ってから，モルモンが語っている3つの御霊の賜物とは何かを尋ねる。

クラスを3つのグループに分ける。各グループに包装した3つの箱を渡す。グループで箱を開けて，御霊の賜物を見つけ，その賜物に関する聖句（と言葉）を研究するように言う。黒板に以下の質問を書いて，答えを見つけるように言う。この活動が終わったら，全員で質問について話し合う。

- この賜物について学んだ真理を少なくとも二つ挙げてください。
- これらの真理を理解することはあなたにとってどのように祝福となるでしょうか。
- なぜこの賜物は大切でしょうか。
- この賜物をわたしたちの生活の中で力あるものとするにはどうすればよいでしょうか。

1本ロープを見せるか，以下のような絵を黒板に描く。



ロープはより合わせた「子なわ」でできていることを告げる。子なわは互いに強め合っている。信仰，希望，慈愛も同様であることを証する。互いに依存し，強め合っている。これらの賜物を求める，あるいは強める努力をするよう奨励する。

モロナイ7：45－48（マスター聖句，モロナイ7：45）。慈愛はキリストの純粋な愛である。（15－20分）

レッスンの1日か2日前に，周囲を注意深く観察して奉仕が行われるところを見つけてくるよう全員に伝える。このレッスンの始めに，どのような奉仕を目にしたかを生徒に発表させる。以下の質問について話し合う。

- どのような奉仕に感動を覚えたでしょうか。それはなぜですか。
- 奉仕を受けた人はそれによってどのような恩恵を受けていましたか。
- 奉仕を行った人もそれによって恩恵を受けていると思いますか。

モロナイ7：45－48を読んで，生徒が目にした奉仕の行いはモルモンが説明している慈愛をどのように表しているかを尋ねる。

慈愛は奉仕の行い以上のものであることを生徒に告げる。一人の生徒にジェフリー・R・ホランド長老の以下の話を読ませる。

「〔慈愛すなわち『キリストの純粋な愛』が持つ意味の〕一つは，キリストの弟子たちが互いに対して抱くべき，憐れみと赦しが込められた愛です。……

しかしながら，『キリストの純粋な愛』をさらに高度に定義すると，それはわたしたちがクリスチャンとして努力してもほとんどなし得ないたぐいのものを指すのではな

く，キリストがわたしたちのために完全になし終えてくださったものを指すのです。**まことの**慈愛がこれまでに示されたのはただ一度だけです。それはキリストがわたしたちに示された無限の，究極的な，贖いの愛の中に完全かつ純粋に表されています。……慈愛すなわちわたしたちに対する主の純粋な愛がなければ，わたしたちは無であり，希望がなく，あらゆる男女の中で最も惨めな存在となります。確かに，終わりの時に主の愛がもたらす祝福，つまり贖罪と復活と永遠の命と永遠の祝福を受けている人々は，幸いを得るでしょう。

だからといって，互いに対して『キリストの純粋な愛』を抱くように努めなさいという戒めが軽んじられるということはいささかもありません。わたしたちは『この愛で満たされるように，熱意を込めて御父に祈〔る〕』べきです〔モロナイ7：48。1コリント13：4－5，7－8も参照〕。……キリストが生活されたようにわたしたちも生活するべきであり，キリストが愛されたようにわたしたちも愛するべきです。しかしモルモンが語った『キリストの純粋な愛』は厳密にそのキリストの愛を指します。贖いをもたらすその神聖な賜物を持つことによって，わたしたちはすべてを手にするのです。この賜物がなければ，わたしたちは無であり，永遠に無であって，最終的に『悪魔の使いである悪霊』〔2ニーファイ9：9〕となるしかありません。」（*Christ and the New Covenant*，336－337）

以下の質問をする。

- ホランド長老の言葉を読んで，慈愛に関するあなたの理解はどのように増し加えられたでしょうか。
- 慈愛はなぜ必要不可欠であって，あらゆる賜物のうち最も大いなる賜物なのでしょうか。

一人の生徒にモロナイ7：45－48を，すべての「慈愛」という語を「贖い」という語に代えて読ませる。次のように質問する。「この方法で読むと，これらの節は贖いについてどのようなことを教えてくれるでしょうか。」

人々に奉仕するときにイエス・キリストの模範に従うよう奨励する。さらに，贖いを生活の中で応用することによって，ホランド長老が述べているような意味でのキリストの純粋な愛を追求するよう勧める。

モロナイ8：4－23。責任を負う年齢に達する前に死んだ子供たちはキリストの贖いによって救われる。幼い子供たちが犯す過ちは贖罪によって代価が支払われている。したがって，これらの子供たちはバプテスマを受ける必要がない。（30－35分）

キリストと子供たちの絵（『福音の視覚資料セット』216）または同様の絵を含む，小さな子供たちの絵か写真を何枚かクラスに持参する。以下の質問をする。

- 幼い子供たちがすることの中で，どのようなことがこっけいに思えたり興味深く思えたりしますか。
- 救い主はわたしたちになぜ幼子のようになるよう言われたと思いますか（3ニーファイ11：38参照）。
- イエス・キリストは幼子に対してどのような気持ちを抱いておられると思いますか。
- 救い主はなぜ幼子をそれほどまでに愛しておられると思いますか。

モルモン書は子供について幾つかの大切な教義を説明していることを生徒に告げる。これらの教義を理解することは生徒が将来自分の子供を持つときや人々に福音を教えるときに役立つ。

以下の例に対して生徒を一人ずつ割り当てる（必要であれば，一つの例に複数の生徒を割り当ててもよい）。生徒に，モロナイ8：1－24を読んで，割り当てられた例に関連する教えを見つけるように言う。さらに，教義と聖約29：46－50；68：25－27を読むように言う。読み終わったら，ほかの生徒のために例を読み上げる。一つの例を読んだら，先ほどその例を割り当てた生徒に，この状況にモロナイ8章に記されている真理を使ってどのように対応するかを話させる。

1. 4歳の息子を交通事故で失った若い夫婦と会いました。二人はたくさんの疑問を持っていますが，特に，息子は今どうしているのかを知りたいと思っています。
2. 最近改宗したある教会員は8歳になったらバプテスマを受けるのはよいことだと思うのですが，この教義が強調されている理由が分かりません。彼女はこのように質問しています。「わたしは生後8か月でも，8歳でも，80歳でもバプテスマを受けたらそれでいいと思うのですが。」
3. 宣教師であるあなたは熱心に真理を探し求めている男性と出会いました。彼はそれまで，アダムの背きのために幼子は汚れを持ったまま生まれてくると教えられてきたと説明しています。したがって，バプテスマを受けないで死ぬと，幼子は「汚れたまま」死んで，地獄へ行くと固く信じています。
4. セミナリーの教師がこのように質問しています。「幼児にバプテスマを施すという教えは，どのような点でイエス・キリストの贖罪に対する理解を欠いているでしょうか。」
5. あなたは初等協会の子供たちに「イエス・キリストは幼子に対して完全な愛を持っておられる」というテーマで2分間の話をするよう頼まれています。
6. 扶助協会の集会で，一人の姉妹が幼子に罪がないことについて質問しています。彼女の6歳の息子はとても悪いことをしました。なぜそれが悪いかを説明した後でさえそれをしたのです。その息子はもう善悪をわきまえているはずだし，なぜ息子がしたことが罪にならないのか不思議に思っています。
7. ダウン症候群の兄弟がいるあなたの友達は，一定の知的障害を持って生まれた人は「責任を問われることはない」と聞いてきました。彼女はそのような人々が，8歳未満で死んだ子供と同じように，日の栄えの王国に入ることを保証されていると考えています。彼女はこの教義を教えている聖句を知りたいと思っています。

神は幼子を愛しておられることを証する。モーサヤ3：19；3ニーファイ11：38を読んで，わたしたちは幼子のようになるよう命じられていることを告げる。聖文に記されている幼子のような資質を伸ばし，悔い改めによって再び罪のない状態になるよう生徒に奨励する。

モロナイ9章。主に従わない者たちは短期間のうちに非常に罪深い状態に陥ることがある。人々がどれほどかたくなであっても，わたしたちは彼らが福音を受け入れ，福音に従って生活するよう助けるべきである。（20－25分）

レッスンの1日か2日前に，バナナ（またはほかの果物）の皮をむいて，腐らせておく。レッスンで腐ったバナナと皮の中に入ったままの新鮮なバナナを見せる。以下の質問をする。

- この二つのバナナの違いは何でしょうか。
- このバナナはなぜ腐ってしまったのでしょうか。
- バナナが腐るまでにどれくらいの時間がかかると思いますか。

この果物と人間を比べるように言う。モロナイ9：11－14を読んで，ここでは，モルモンがニーファイ人の霊的な堕落を心配している様子が描かれていることを説明する。以下の質問をする。

- 人は何が原因で霊的に堕落するのでしょうか。
- 人々はどれほど短い期間で，霊的に堕落するでしょうか。

果物の実が腐るのを防いでよい状態を保っていたのはその皮であることを指摘する。次のように質問する。「わたしたちを霊的な堕落から守ってくれるものは何でしょうか。」

生徒にモロナイ9：3－5，7－10，18－20を読ませ，この民がどれほど罪深い状態に陥っていたか，そしてなぜそうなったかを示す語句に傍線を引くように言う。生徒が線を引いた事柄について話し合う。以下の質問をする。

- あなたがそのような罪深い状態を目撃したとしたら，どのように感じると思いますか。
- これらの人々に話す機会があるとしたら，あなたはどのようなことを話すでしょうか。
- 主に背を向けている人々に対するわたしたちの義務は何でしょうか。

一人の生徒にモロナイ9：6を読ませる。以下の質問をする。

- これらの人々に対して何をすべきかについてモルモンはモロナイにどのようなことを教えたでしょうか。
- モルモンの模範からあなたは何を学ぶことができるでしょうか。
- モルモン書ヤコブ1：19を読んでください。この節はモルモンの教えとどのような関係があるでしょうか。
- 主に背を向けている人々に対して「力を尽くす」ために，わたしたちはどのようなことができるでしょうか。

モロナイ9：22，25－26を読む。モルモンが息子のモロナイのためにささげた祈りは，このような状況に置かれたモロナイにとって，なぜ助けになったと思うかを生徒に尋ねる。霊的に堕落した時代において，義人の祈りは人々の助けと守りとなり得ることについて証する。霊的な堕落から自分を守り，人々の幸福を祈るよう生徒に勧める。

モロナイ10章

はじめに

十二使徒定員会会長時代にエズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように教えた。

「モルモン書は二つの方法をもって人々をキリストのもとに導いています。その一つは，キリストとその福音について率直に告げる方法です。……

第2は，キリストの敵を明らかにする方法です。」（「モルモン書は神の御言葉である」『聖徒の道』1975年8月号，366）

モルモン書全体を通じて，預言者たちはあらゆる人にキリストのもとに来て神の王国で救いを得るよう勧めている。この嘆願をした最後の預言者はモロナイである。モロナイは最終章で，「地の果てに至るすべての人に」この記録が真実であることを知る方法を教え，人々にキリストのもとに来て，キリストにあって完全になるよう勧めている（モロナイ10：4，24，32参照）。

学び取るべき重要な福音の原則

- わたしたちは聖霊の力によってすべてのことの真理を知ることができる（モロナイ10：3－7参照）。
- 御霊（みたま）の賜物（たまもの）は主の民に祝福をもたらすために神から与えられるものであり，まことの教会に常に存在する（モロナイ10：8－25，30参照。教義と聖約46：8－33も参照）。
- イエス・キリストのもとに来るならば，わたしたちは罪から清められ，キリストの贖（あがな）いによって完全になり，聖められる（モロナイ10：30－33参照）。

補助資料

- 『モルモン書生徒用資料：宗教コース121－122』163－166。

教え方の提案

モロナイ10：4－5（マスター聖句）。わたしたちは聖霊の力によってすべてのことの真理を知ることができる。（30－35分）

一人の生徒に「約束」という語を定義させる。約束を守ることについて生徒は以下の人々にどれほどの信頼を置くかを質問する。

- 刑務所で服役している人
- 電話器の販売員
- 知り合い
- 良い友達

- あなたに対して過去にうそをついたことのある人
- 親
- 預言者
- 主

モロナイ10：3－5には「モルモン書の約束」と呼ばれることのある事柄が記されていることを生徒に告げる。黒板に見出しとして「神の約束」と「わたしたちの義務」と書く。生徒に，モロナイ10：3－4を読んで，神の約束と，その約束を得るためにわたしたちがしなければならないことを見つけるように言う。生徒の答えを該当する見出しの下に書き出す。これらの節を話し合う際に，以下の質問から幾つかを活用する。

- 普通，モルモン書が真実であることの証を得る前に，モルモン書を読まなければならないのはなぜだと思いますか。
- 聖霊を通して答えを受ける心の準備をするために，主の憐れみを思い起こすことはどのように役立つでしょうか。
- ニーファイは，自分がその記録を書き記した理由の一つは，主の深い憐れみを示すためであると説明しました（1ニーファイ1：20参照）。モルモン書の中で，主の憐れみを思い起こさせてくれる物語にはどのようなものがあるでしょうか。
- 深く考えるとはどのような意味だと思いますか。（「『深く考える』には心の中でよく思い計り，慎重に考え，熟慮し，瞑想するという意味があります。」〔マービン・Ｊ・アシュトン「多くの賜物」『聖徒の道』1988年1月号，20〕）
- 神はモルモン書が真実であることをどのようにしてあなたに伝えると約束しておられるでしょうか。
- この祈りをささげるときに「キリストを信じながら，誠心誠意」でささげることはなぜ大切だと思いますか（モロナイ10：4）。
- わたしたちはどのようにして聖霊の力を悟ることができるでしょうか。わたしたちが抱く感情が神からのものかどうかを知るにはどうすればよいでしょうか（アルマ32：28；教義と聖約6：22－23；9：7－9参照）。
- ほかの真理を学ぶ際にこの方法はどのように応用できるでしょうか（5節参照）。
- あなたはどのような真理を聖霊の力によって理解しましたか。

あなたがモルモン書に対して持っている証を分かち合う。この約束は生徒一人一人に与えられていること，そして，彼らがいつかモルモン書を紹介するすべての人にも同様に与えられていることを理解できるように助ける。何人かの親または教師をクラスに招いて，この約束をどのように実行して，モルモン書が真実であることを知ったかについて話してもらう。

モロナイ10：8－25。御霊の賜物は人々に祝福をもたらすために神から与えられるものであり，まことの教会に常に存在する。（25－30分）

生徒たちはセミナリーのクラスで数か月間一緒に勉強してきたので，お互いのことがよく分かってきていると思われることを告げる。クラスの生徒一人一人のことを考えるように言う。一人一人が持っている才能，性格，能力について考える。以下の質問について話し合う。

- クラス全員の長所を知ることはなぜ大切でしょうか。
- 全員の才能を結集することによって今年のセミナリークラスでの経験がどれほど有益なものとなったでしょうか。
- 全員が同じ才能と能力を持っているとしたら，クラスはどのようなものになっていたでしょうか。

モロナイ10：8を読んで，次のように質問する。「モロナイはこの節で何について教えようとしているでしょうか。」（神の賜物）モロナイ10：17－18；教義と聖約46：11－12を読んで，以下の質問をする。

- 御霊の賜物が少なくとも一つ与えられている人はどれくらいいるでしょうか。
- これらの賜物はだれから与えられるのでしょうか。
- これらの賜物はなぜ与えられるのでしょうか（モロナイ10：8；教義と聖約46：9，12，26参照）。

生徒に，モロナイ10：9－16，20－23を読んで，御霊の賜物のリストを作るように言う。以下の質問をする。

- これらの賜物が今日の教会に存在する証拠として，どのようなことを目にしてきたでしょうか。（生徒の答えについて話し合う。）
- クラスとして祝福を受けるために，個人の賜物とほかの生徒の賜物をどのように活用できるでしょうか。家族，教会，世界に祝福をもたらすにはどのように活用できるでしょうか。
- 全員の持っている御霊の賜物がまったく同じだとしたら，教会はどのような状態になるでしょうか。
- あなたはほかの人の賜物によってどのような祝福を受けてきたでしょうか。

モロナイ10：24－25と教義と聖約46：8を読む。御霊の賜物は熱心に求める人に与えられるが，信仰のない人からは取り上げられることを証する。御霊の賜物を求めて，ほかの人々のために使うよう奨励する。

モロナイ10：30－34。イエス・キリストのもとに来るならば，わたしたちは罪から清められ，キリストの贖いによって完全になり，聖められる。（20－25分）

モロナイがクモラの丘に版を隠している絵を見せる（『福音の視覚資料セット』320）。以下の質問をする。

- このときモロナイは何を考えていたと思いますか。
- モロナイは金版についてどのような思いを抱いていたと思いますか。それはなぜでしょうか。
- これは今日の人々にとってなぜ大切な出来事だったのでしょうか。

金版の絵を見せる（『福音の視覚資料セット』325）。モロナイが版を埋める直前の時期を想像するように言う。以下の質問について話し合う。

- モロナイはこの記録を終えるに当たってどのようなことを言いたかったと思いますか。
- 人の最後の言葉や証はなぜ大切なのでしょうか。
- モロナイはどのような気持ちでモロナイ10章を書いたと思いますか。

モロナイ10：28－34をあなたが読む。モロナイの最後の証として大切だと思う語句に差しかかったら，手を挙げるように生徒に

言う。そこで中断して，なぜその語句が大切で，わたしたちの生活にどのように応用できるかについて話し合ってから続きを読む。

モロナイは生徒一人一人に「キリストのもとに来て，キリストによって完全にな」ってほしいとどれほど強く望んでいたかについて強調する（32節）。一人の生徒にジェフリー・R・ホランド長老の以下の言葉を読ませる。

「イエス・キリストについてのもう一つの証であるこの書物に記したすべての預言者を代表してモロナイが最後に述べた訴えは，現代の血と罪から清められるようにとわたしたちに向けて語られたものでした〔教義と聖約88：75，85参照〕。モロナイはこう述べています。『キリストのもとに来て，キリストによって完全になりなさい。』〔モロナイ10：32〕

……清さ。神聖さ。汚れのない人格と良心。神の恵みによって与えられるこれらの特質はすべて，わたしたちの衣を清め，心を聖なるものとし，死から救い，そしてわたしたちの起源である神聖な状態に回復してくれます。

モロナイは記録に残す最後の言葉として，そのように神聖な贖いに対する自分自身の固い信仰について証しています。堕落したニーファイ人，戦争に明け暮れるレーマン人，悲劇の最期を遂げたヤレド人，そしてわたしたちに向かって，モロナイは次のように記しました。

『さて，わたしはすべての者に別れを告げる。わたしは間もなく行って，神のパラダイスで安息を得る。その後，わたしの霊と体は再び結合する。そしてわたしは勝利を得て空中に上げられ，生者と死者双方の永遠の裁き主である大いなるエホバの楽しい法廷であなたがたに会うことになる。アーメン。』〔モロナイ10：34〕

このように，モロナイ書は聖なる復活とモロナイが中空（なかぞら）を飛んで来てモルモン書を世にもたらすというモロナイ自身の約束で幕を閉じています〔黙示14：6参照〕。それはこの神聖な約束の書に似つかわしいものです。なぜならこの書物は，預言者たちによって記され，天使によって届けられ，神によって守られ，『地の中から語る』ものとして語り，すべての人に，日の栄えの完成に到達するための過程である，キリストのもとに来てキリストによって完全になることを勧めるものだからです。神はその勝利の時を迎えるに先立ち，ユダヤ人，異邦人，レーマン人，そしてイスラエルのすべての家を集める最後の業に着手されました。

モルモン書は末日の偉大な業を記念する新しい聖約です。モルモン書を受け入れて，モルモン書が宣言する原則と儀式に従う人は皆いつの日か，現在あるがままの救い主を見，彼らも救い主のようになることでしょう。主の汚れない血がもたらす恵みによって，聖められ贖われることでしょう。清められてキリストの清さにさえ劣らないほどになることでしょう。聖なる者となり，汚れのない者となるのです。そしてキリストの子と呼ばれるでしょう。」（*Christ and the New Covenant*，338－339）

1ニーファイーモロナイ。モルモン書とセミナリーの1年間の復習。（30－35分）

モルモン書の絵をできるだけたくさん集めて展示する。この1年間にレッスンで使ったそのほかの絵や配付資料，その他も展示する。モルモン書を学んで経験した事柄を思い出すように言う。

預言者ジョセフ・スミスが語った以下の言葉を分かち合う。

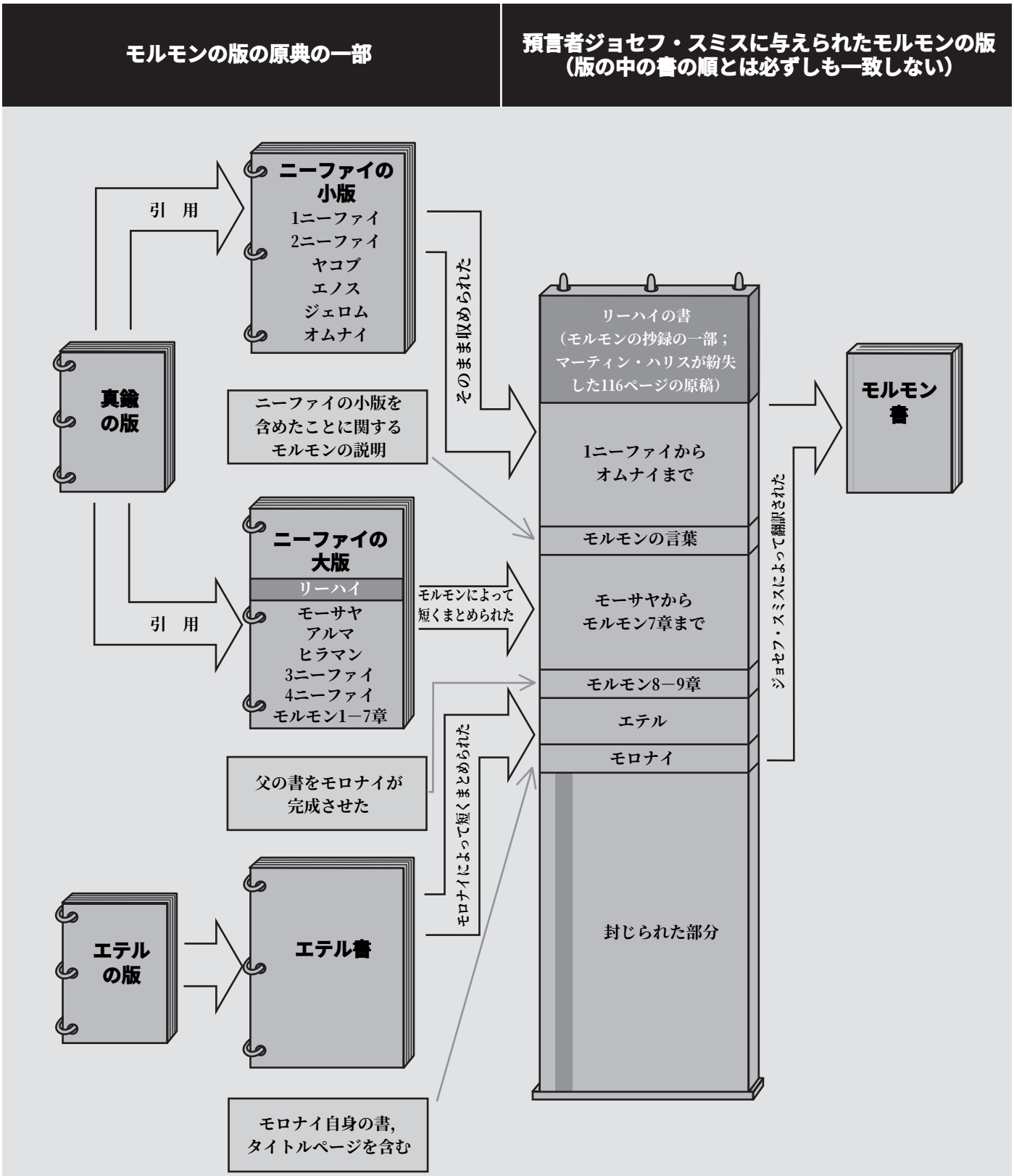
「わたしはその日，ヤング会長の家で十二使徒とともに会議を開き，様々なテーマについて話し合った。……わたしは兄弟たちに言った。モルモン書はこの世で最も正確な書物であり，わたしたちの宗教のかなめ石である。そして，人はその教えを守ることにより，ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」（*History of the Church*，第4巻，461）

「モルモン書と啓示が取り去られたならば，わたしたちの宗教はどうなるだろうか。何も残らない。」（*History of the Church*，第2巻，52）

今年モルモン書を研究し，その教えに従って生活することによって，あなたがどれほど救い主に近づくことができたかについて話す。あなたの好きなレッスンや生徒とともに経験した意義深い事柄について話す。天父とイエス・キリストが生徒を愛しておられることについて証を述べ，生徒が努力してきたことに感謝を表す。

モルモン書について証を述べることを希望する生徒がいればその時間を与える。モルモン書を研究したことによって生活がどのように変わったかを述べるように言う。生徒が学んだ大切な教えを分かち合い，それらの教えがイエス・キリストに近づくためにどのように助けとなったかを話させる。

モルモン書のおもな原典



聖文の教え方

何を教えるかを決めたら，どのように教えるかを決めるために主の助けを願い求める。聖文を教える方法のアイデアを見つけるために，本章と『福音を教える：教会教育部教師ならびに指導者用手引き』（34829 300）を活用する。

読　む

- まず，あなた自身が生徒に読んでから，続いて生徒たちに順番に声を出して読ませる。（注意：この手引きでは「アルマ13：23を読んで，質問する」という指示がしばしば登場するが，あなたと生徒たちの間で読む割り当てを分けるとよい。）読んでいる間，ほかの生徒には自分の聖典を黙読させる。朗読が得意でない生徒に割り当てる場合は，その生徒を当惑させることのないように注意する。
- 聖文を読むときには，語句の意味や福音の原則，その他の事柄について説明が必要と感じた箇所で中断し，説明を加える。
- 聖句ブロックに簡単に読める部分が含まれている場合，その部分は黙読させてもよい。
- 聖句ブロックでだれが，だれに対して話しているかを明確にする。

まとめる

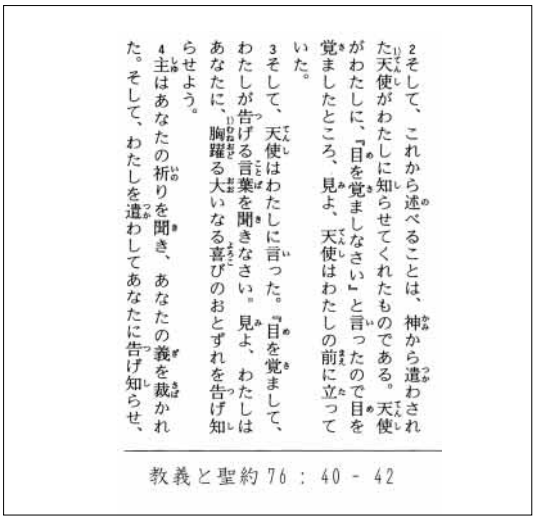
- クラスでは読まない節や章について，あなたが何を話すかを準備する。これは飛ばした節の前後の関連を生徒に理解させるのに役立つ。
- 読まない章について紹介するには章の前書きを活用する。
- 読まない節で採り上げられている物語や原則を表している絵を活用する。例えば，2ニーファイ16－19章について話す場合は，キリストの降誕について筆記しているイザヤの絵（『福音の視覚資料セット』113）を見せる。

応用する

- 「キリストの言葉をよく味わう」ならば，「見よ，キリストの言葉はあなたがたがなすべきことをすべて告げる」（2ニーファイ32：3）ので，疑問や問題の答えを見いだせることを生徒に教える。
- 聖文から助けを見いだした経験を分かち合うことを奨励する。あなた自身の経験も話す。
- 聖文を自分に当てはめて考えるよう生徒を助ける（1ニーファイ19：23参照）。「聖句の中のこの人はわたしたちとどのような点で似ているでしょうか」「この物語はわたしたちが経験していることとどのように似ているでしょうか」などの質問をする。
- 聖文中の人々がどのようにして問題の解決方法を見いだしたかを質問する。
- 聖文中で投げかけられている質問に答えることを奨励する。例えば，アルマ5：14やモロナイ7：20で尋ねられている質問に答えさせる。
- 聖文中の人名や代名詞を生徒の名前に置き換えて読む。例えば，アルマ36：3でヒラマンの名に代えて生徒の名前を入れる。またモロナイ10：4では「あなた」に置き換えて生徒の名を入れる。（注意：特定の個人に向けられたもので，一般的には当てはまらない節に注意する。罪に関連する節や生徒を当惑させるような節を使ってはならない。）

相互参照

- 相互参照とは調べている節を説明したり，意味を増し加えたりしている聖句を参照することである。例えば，モーサヤ3：3を教えているときに，そのページの余白に「教義と聖約76：40－42」と書き込ませることで，モーサヤ3：3と教義と聖約76：40－42とを相互参照することができる。

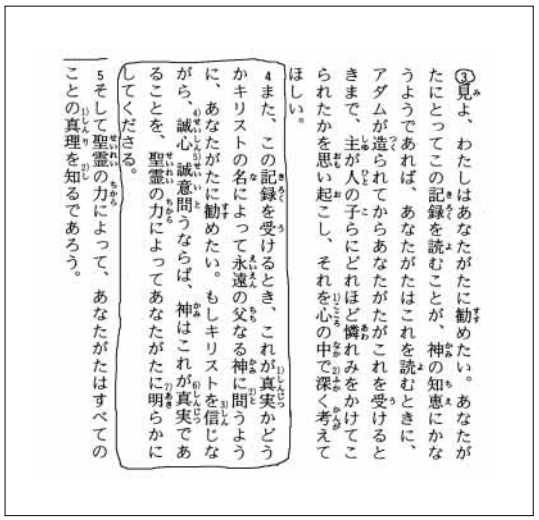

2 そして、これから述べることは、神から遣わされた天使がわたしに知らせてくれたものである。天使がわたしに、『目を覚ましなさい』と言ったので目を覚ましたところ、見よ、天使はわたしの前に立っていた。
3 そして、天使はわたしに言った。『目を覚まして、わたしが告げる言葉を聞きなさい。見よ、わたしはあなたに、胸躍る大いなる喜びのおとずれを告げ知らせよう。
4 主はあなたの祈りを聞き、あなたの義を裁かれた。そして、わたしを遣わしてあなたに告げ知らせ、
教義と聖約 76 : 40 - 42

- 脚注やその他の聖文研究資料から相互参照を見つけて，利用する方法を教える。
- 今調べている節が，相互参照聖句によってどのように説明されているか，あるいはどのような意味が増し加えられているかを生徒に発表させる。
- 聖句のチェーンを生徒に作らせる。リストの最初の聖句のページの余白に2番目の参照箇所，2番目の聖句のページの余白に3番目の参照箇所という順で最後の聖句まで相互参照箇所を書き込み，最後の聖句のページの余白には最初の聖句の箇所を書き込む。

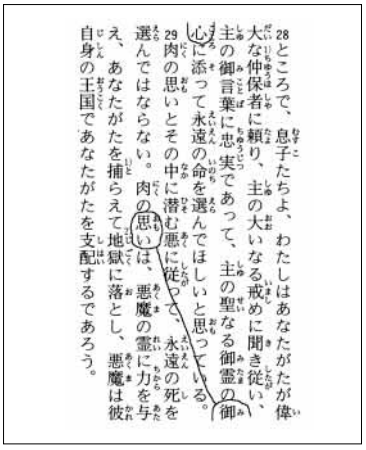
印を付ける

- 聖典中の大切な事項に印を付けて，探しやすくし，覚えやすくすることを教える。
- 語句を丸で囲む方法，傍線を引く方法，薄く塗りつぶす方法などを教える。

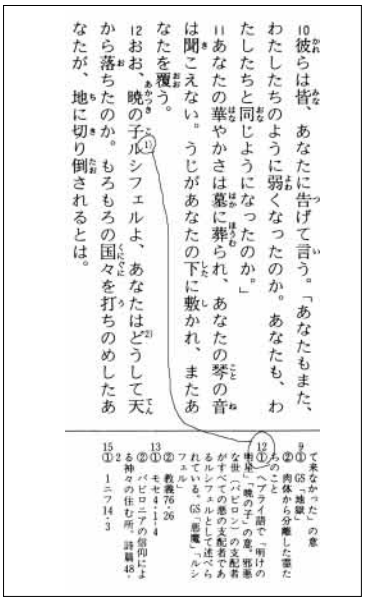
- 節の番号を丸で囲んだり，節を四角で囲んだり，余白に線を引く方法を教える。



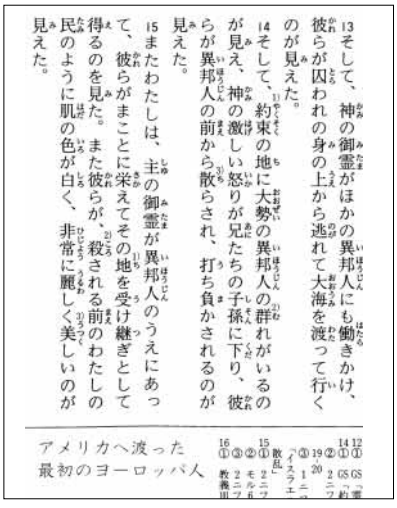
- 丸で囲んだ語句とほかの語句を線で結ぶ。



- 聖句の語句の右肩にある脚注番号と脚注の番号を丸で囲む。参照箇所と脚注を線で結んでもよい。



- 余白部分にメモを記入する。



使徒と預言者の言葉を活用する

- レッスンを準備するときに，中央幹部，特に預言者，聖見者，啓示者として支持されている人々の言葉と教えを研究する。彼らが総大会で語ったことを定期的に研究する。生徒が聖文を理解し，応用するのを助けるためにこれらの教えを活用する。
- 中央幹部の言葉と教えを生徒に読んで聞かせる。「この言葉はわたしたちが勉強している節を理解するためにどのように助けとなるでしょうか」「この聖句が伝えているメッセージを生活の中で応用する方法を理解するために，これらの言葉はどのように役立つでしょうか」などと質問する。
- あなたが生徒に読み聞かせたものや生徒が自分で見つけたものなど，中央幹部の言葉からの短い引用を聖典の余白に記入させる。

話し合う

- 生徒が聖文について何を学び，どのように感じているかを話すよう奨励する。主は次のように言われた。「全員が同時に語ることなく，一時に一人を語らせて，すべての者が彼の言うことに耳を傾けるようにしなさい。それは，すべての者が語って，すべての者が互いに教化し合うように，またすべての人が等しい特権を持てるようにするためである。」（教義と聖約88：122）
- 以下の「質問する」「比較する」「列挙する」その他の方法を読んで，話し合いを始めるためのアイデアを見つける。
- クラスをグループに分けて，各グループで研究し，話し合うことのできる事柄を聖典から与える。
- 通常話し合いで発言しない生徒に，どのように感じているか，どのように思うかなどの質問をして，話し合いに参加させる。
- 常に話し合いが前向きで，生徒を高めるものとなるよう努力する。教師と生徒が聖霊を求めるときに，「説く者と受ける者が互いに理解し合い，両者ともに教化されて，ともに喜ぶのである。」(教義と聖約50：22)

質問する

- 生徒が答えを探すために聖典を開くような質問をする。聖文から答えを見つけさせる。例えば，1ニーファイ1：18－20を教える前に，ユダヤ人はなぜリーハイを殺そうとしたかについて聖文から答えを見つけるように言う。
- 生徒にとって関心があり，答えを知りたいと思うような質問をする。例えば，モーサヤ4：1－3を教える前に，わたしたちは主から赦(ゆる)しを受けたことをどのように知ることができるかを質問する。
- 聖文や福音の原則について考え，応用するように促す質問をする。答えが易しすぎたり，難しすぎたりする質問は生徒の興味を失わせることになる。「はい」「いいえ」で答えられる質問は通常話し合いを発展させることができない。
- いつ，だれが，どこで，何を，なぜ，どのように，で始まる質問をする。
- 生徒がなぜそのように答えたかを質問する。
- ほかの生徒の答えについて意見を言わせる。

比較する

- 聖文で説明されている幾つかの事柄がどのように類似しているか，あるいは異なっているかを確認するために比較させる。例えば，荒野での経験についてニーファイが抱いた気持ちとレーマンやレムエルが抱いた気持ちを比較する（1ニーファイ17：1－3，20－21参照）。
- リストを比較させる（「列挙する」の項を参照）。例えば，生徒にアルマ30章でコリホルが述べた事柄とアルマが述べた事柄を列挙させ，次に二つのリストを比較させる。
- 「のように」などの語を探させる。一つの事柄が別の事柄と類似していることを示すために，聖典ではしばしばこの語が用いられる。例えば，モーサヤ20：11で，モルモンはリムハイの民が戦った様子を龍にたとえている。「彼らは……力を尽くし，龍のように戦った。」1ニーファイ17：48でニーファイは自分に触る者は，植物が枯れるのと同じようになると言っている。

列挙する

- 研究している出来事や概念のリストを作成すると役立つ場合がある。生徒に見せるためにあなたがリストを作ってもよいし，生徒にリストを紙に書き出させたり，心の中でリストを思い浮かべさせたりすることもできる。あなたがリストを作成する場合は，リストからあなたが何を学んだかについて話し合うべきである。
- 生徒に聖文の物語に出てくる出来事を見つけさせ，書き出させる。それから書いた事柄について話し合う。例えば，生徒にニーファイと兄たちが真鍮(しんちゅう)の版を手に入れる物語で起きた事柄を復習させることができる（1ニーファイ3－4章参照）。それから，1ニーファイ3：7が真実であることを示す事柄を列挙する。
- 聖文に登場する人の行動の理由を挙げて，話し合いを展開させる。例えば，イエスが人々に捕らえられ，十字架につけられるままにしておかれた理由を挙げて，話し合う（1ニーファイ19：9－10参照）。
- 福音の原則の様々な側面をとらえて話し合う。例えば，2ニーファイ31章から生徒にバプテスマについて学んだ事柄を列挙させて，話し合う。
- リストに挙げることのできる聖文中の事項に印か番号を付ける。例えば，アルマ17：2－3で，モーサヤの息子たちは神の言葉を教えることができるように行った事柄に印や番号を付けることができる。

暗記する

- 聖句を何回か声に出して言わせる。
- 聖句を何回か紙に書かせる。
- 聖句を黒板に書いて，生徒に何回か読ませる。少しずつ語に覆いをかぶせるか，消していきながら，聖句を最初から繰り返し言って，すべてが言えるようになるまで続ける。

賛美歌を使う

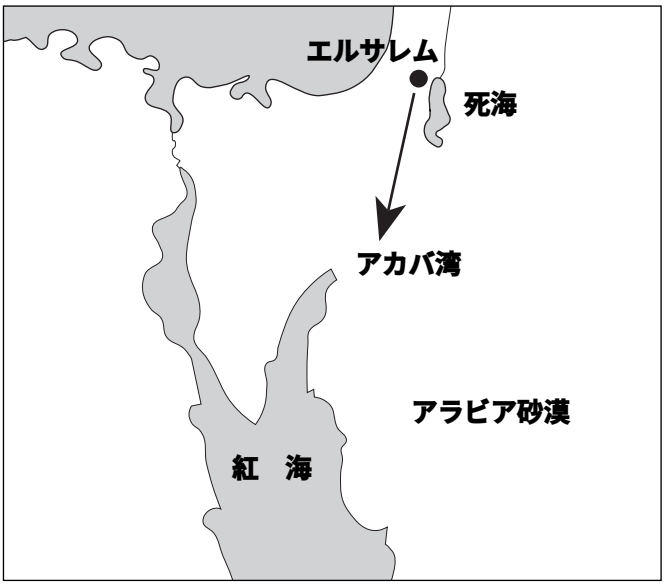
- 聖句ブロックの教えに関連のある賛美歌を歌ってクラスを始めるか，終える。
- 生徒の中から個人またはグループに賛美歌を歌わせるか演奏させる。
- レッスン中に聖句ブロックの教えに関連のある賛美歌を歌うか，歌詞を読む。例えば，モーサヤ16：6－9を教える際に「高きに満ちたる」（『賛美歌』112番）を歌うか，歌詞を読むことができる。

実物を見せる

- 聖文で述べられていて，生徒が見たことのないと思われる実物を見せる。例えば，生徒に1ニーファイ16：23を理解させるために石投げ器を見せることができる。
- 生徒が過去に見たことがあっても，聖句ブロックへの関心と理解を高めるものを見せる。例えば，アルマ32：28を話し合うときに，種を見せることができる。
- 聖文に述べられているものを絵に描かせる（「絵を描く」参照）。例えば，アルマ31：12－21を読んでから，ラミアンプトムを描かせる。

絵を描く

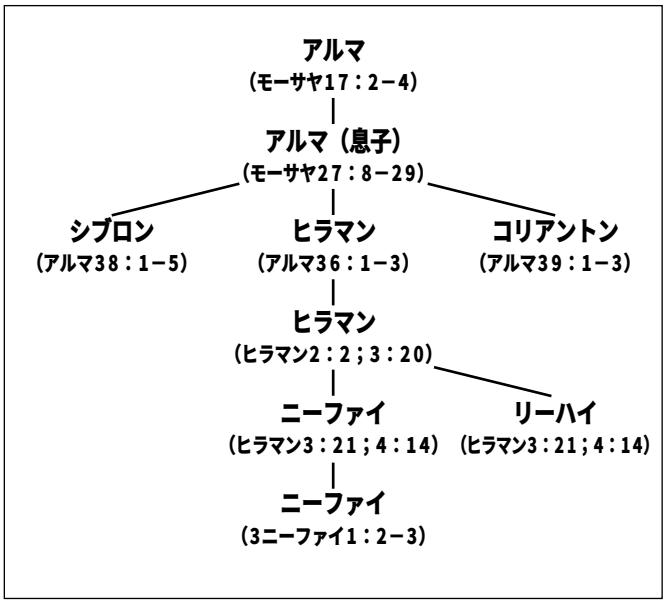
- 生徒が聖句ブロックを理解する助けとなるように絵を描かせる。
- 聖文に登場する人々，物，出来事がどのようなものかを想像して生徒に絵を描かせる。絵を描くことによって生徒は読んだり話し合ったりしたことを記憶しやすくなる。絵を描くように求めるときに，生徒を当惑させることのないように注意する。
- 聖文に登場する人々が住んでいた場所，移って行った場所，出来事があった場所を示す地図を生徒に描かせる。例えば，あなたが1ニーファイ2：2－8を読んで，生徒にリーハイの家族がどこを旅したかを示す地図を描かせることができる。



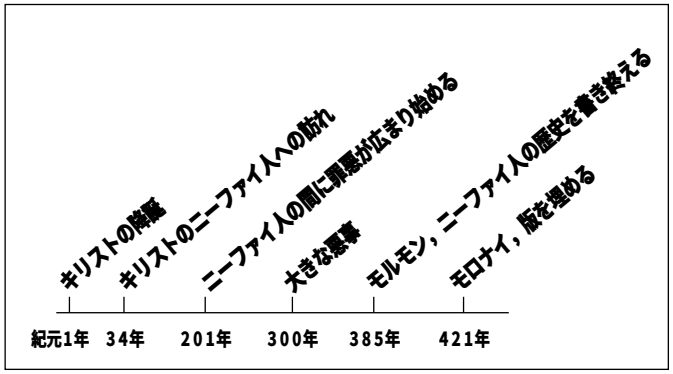
- 物語で起きたことを説明したり，だれかの教えを明確にしたりするための図表を生徒に作成させる。例えば，ニーファイ人の王を示す表を作る。

ゼラヘムラの地	ニーファイの地
モーサヤ （オムナイ1：12，19）	
	ゼニフ （モーサヤ7：9，21）
ベニヤミン （オムナイ1：23）	
	ノア （モーサヤ11：1）
モーサヤ （モーサヤ1：9－10）	リムハイ （モーサヤ19：26）

- 家族構成を示す表を生徒に作成させる。例えば，アルマの子孫の表を作成する。



- 1本の線を引き，起きた順に線に沿って年と出来事を記入して，生徒に年表を作成させる。例えば，紀元1年から421年までのニーファイ人の歴史を示す年表を作る。



演じる

- 聖文の物語を生徒に演じさせる。聖文にあるとおりの言葉や行動を用いて演じる。
- 聖文中の人々がどのように感じたと思うかを生徒に述べさせる。ほかの生徒が演じる物語を見て，感じたことや学んだことを話し合う。

探す

生徒に聖句を読ませるときに，読んでいる間に見つける事柄をあらかじめ知らせておく。読み始める前に，注意すべき原則や詳細を心に留めることによって，生徒はいっそう注意を払い，読んだ事柄を長く記憶にとどめることができる。以下のような事柄を見つけるように言うことができる。

- 人々の生活に見られる福音の原則
- 聖句の中で投げかけられている質問
- 慈愛の特質などのように，聖文に列挙されている事柄（1コリント13章参照）
- 「シオン」などのような語句や概念の定義（教義と聖約97：21参照）
- 生徒が理解しにくいと思われる難しい語句
- 比喩，予型，象徴
- 預言の解説（例えば，モルモン書の聖句に見られる「このようにして……分かるのである」）
- 「もし……ならば，そのとき」の関係（イザヤ58：13−14参照）
- 神に喜ばれる特質または神に忌み嫌われる特質
- パターン（例えば，聖餐（せいさん）の祈りにおける聖約の形式；モロナイ4：3参照）

注意：本書で，「探す」「見つける」の語句が出てきたら，ここで説明されている「探す」方法を活用する。

マスター聖句の習得

「マスター聖句の習得」とはマスター聖句を探し出し，その意味を理解し，生活の中で応用することを意味している。マスター聖句は全部で100ある（セミナリーの各聖典コースに25のマスター聖句がある）。教師であるあなたは，生徒がマスター聖句を習得し復習するように助ける責任がある（『福音を教える：教会教育部教師ならびに指導者用手引き』〔1994年〕，32－33）。

ハワード・W・ハンター大管長は十二使徒定員会会長時代に，このように述べている。「わたしたちは，聖句の場所を見つけて示せるほどには聖文をよく理解していないために，自分は必要な助けを見いだすことができないと恥じ入ったり，恐れや気後れを抱いたりしたまま，クラスを出ていく生徒が一人もいないようにと望んでいます。」（*Eternal Investments*〔宗教教育者への説教，1989年2月10日〕，2）

生徒がマスター聖句を習得できるよう助けるために以下のアイデアを活用する。

- 生徒とともに聖句を読み，難しい語や節を理解できるように助ける（「読む」270ページ参照）。
- マスター聖句が意味していることを書き出させる。生徒が抱いている疑問や問題に対してその聖句はどのような答えを与えているかについて話し合う（「応用する」270ページ参照）。
- 脚注や『聖句ガイド』などの聖文学習用資料を使って，マスター聖句で教えているのと同じ教義や原則を説明しているほかの聖句を探す。または，脚注に載っていない関連聖句を教え，生徒に自分の聖典の余白に相互参照聖句として書き込ませる（「相互参照」270ページ参照）。
- 聖句に関する質問をする。例えば，聖句の中でだれが話しているか，その人はだれに語りかけているかを尋ねる（「質問する」272ページ参照）。
- 聖句の歴史的背景（人々，場所，時）について話し合う。
- マスター聖句の前後の聖句ではどのようなことが起きていたか，前後の節によってマスター聖句のどのような点が明確になるかについて話し合う。
- マスター聖句を使って，人々にどのように福音を教えることができるかについて生徒から意見を求める。
- 聖句を自分の言葉で書かせたり，聖句に関する質問を書き出させたり，聖句に登場する何かを絵に描かせたりする（「絵を描く」273ページ参照）。
- 教会の集会や総大会の説教の中でマスター聖句がどのように使われているかについて発表する機会を与える。
- マスター聖句を使って家庭やクラスにはるポスターを作らせる。
- 一つのグループの生徒にマスター聖句を使って答えを導き出せる問題や質問のリストを書き出させる。もう一つのグループに提起された質問や問題の答えとなるマスター聖句を探させる。

マスター聖句一覧表

モルモン書	旧約聖書	新約聖書	教義と聖約
1ニーファイ3：7	モーセ1：39	マタイ5：14－16	ジョセフ・スミス－歴史1：15－20
1ニーファイ19：23	モーセ7：18	マタイ6：24	教義と聖約1：37－38
2ニーファイ2：25	アブラハム3：22－23	マタイ16：15－19	教義と聖約8：2－3
2ニーファイ2：27	創世1：26－27	マタイ25：40	教義と聖約10：5
2ニーファイ9：28－29	創世39：9	ルカ24：36－39	教義と聖約14：7
2ニーファイ28：7－9	出エジプト20：3－17	ヨハネ3：5	教義と聖約18：10，15－16
2ニーファイ32：3	出エジプト33：11	ヨハネ7：17	教義と聖約19：16－19
2ニーファイ32：8－9	レビ19：18	ヨハネ10：16	教義と聖約25：12
ヤコブ2：18－19	申命7：3－4	ヨハネ14：15	教義と聖約58：26－27
モーサヤ2：17	ヨシュア1：8	ヨハネ17：3	教義と聖約58：42－43
モーサヤ3：19	ヨシュア24：15	使徒7：55－56	教義と聖約59：9－10
モーサヤ4：30	サムエル上16：7	ローマ1：16	教義と聖約64：9－11
アルマ32：21	ヨブ19：25－26	1コリント10：13	教義と聖約64：23
アルマ34：32－34	詩篇24：3－4	1コリント15：20－22	教義と聖約76：22－24
アルマ37：6－7	箴言3：5－6	1コリント15：29	教義と聖約82：3
アルマ37：35	イザヤ1：18	1コリント15：40－42	教義と聖約82：10
アルマ41：10	イザヤ29：13－24	エペソ4：11－14	教義と聖約84：33－39
ヒラマン5：12	イザヤ53：3－5	2テサロニケ2：1－3	教義と聖約88：123－124
3ニーファイ11：29	イザヤ55：8－9	2テモテ3：1－5	教義と聖約89：18－21
3ニーファイ27：27	エレミヤ16：16	2テモテ3：16－17	教義と聖約121：34－36
エテル12：6	エゼキエル37：15－17	ヘブル5：4	教義と聖約130：18－19
エテル12：27	ダニエル2：44－45	ヤコブの手紙1：5－6	教義と聖約130：20－21
モロナイ7：16－17	アモス3：7	ヤコブの手紙2：17－18	教義と聖約130：22－23
モロナイ7：45	マラキ3：8－10	黙示14：6－7	教義と聖約131：1－4
モロナイ10：4－5	マラキ4：5－6	黙示20：12－13	教義と聖約137：7－10

偉大な幸福の計画

はじめに

十二使徒定員会会員のボイド・K・パッカー長老は，1993年に，教会教育システムの教師たちに向けて，各年度の初めには，コースで学ぶ内容の概要に加えて，救いの計画の全体像を教えるべきであると話している。

「『幸福の計画』（それは，計画ということについて話す際に，わたしのとっておきの大好きなテーマなのですが）の全体像を簡潔にまとめたものが最初に示され，また度々確認できるなら，それは生徒たちにとって非常に価値あるものとなるでしょう。

皆さんに一つの課題を差し上げたいと思います。……皆さんへの課題は，幸福の計画，すなわち救いの計画の概要あるいは全体像をまとめたものを準備することです。一つの基本構造としてそれを計画してください。生徒たちはその上に，皆さんから学ぶ真理を系統立てていくことができます。

皆さんは最初にそれを，簡単な仕事だと考えるかもしれません。しかし，わたしは断言します。それは，それほど簡単なものではありません。簡潔に分かりやすくするのは，かなり難しいことなのです。最初は，あまりに多くのものを盛り込もうという誘惑を感じることでしょう。この計画の全容を見れば，福音の真理のすべてが含まれているのです。……

これは，教師としての皆さんの仕事の中で，最も難しいものとなるかもしれません。そして最も報いある仕事になるのは確かなことです。

皆さんが作る幸福の計画の概要は，聖典の真理の全容が簡単に把握できるものでなければなりません。そうすれば，生徒たちが，その計画について自分で確認することができます。……

その手始めとして，幸福の計画の骨組みを示したいと思います。しかし，皆さんは自分で肉付けをする必要があります。

偉大な幸福の計画，すなわち贖(あがな)いの計画，救いの計画の基本的な構成要素は以下のとおりです。

前世

　霊の創造　　選択の自由

　天での戦い

物質的な創造

堕落と死すべき状態

　イエス・キリストの福音の原則と儀式

（第一の原則：主イエス・キリストを信じる信仰，悔い改め，

　バプテスマ……）

贖罪(しょくざい)

　墓を超えた生活

　霊界

　復活」

（*The Great Plan of Happiness* 〔教義と聖約／教会歴史に関するシンポジウムにおける宗教教育者への講話, ブリガム・ヤング大学, 1993年8月10日〕，2－3；または，*Charge to Religious Educators*, 第3版〔1994年〕，113－114）

以下の情報は，教師が偉大な幸福の計画への理解を深め，自分自身の概要を作るのを援助するためのものである。教師は救いの計画について，パッカー長老が薦めている簡単な概要以上のものを教えたいという誘惑を受けるかもしれない。しかし，救いの計画の詳細については，モルモン書を研究するコースの中で論じていくということを念頭に置いて，その誘惑に負けないようにする必要がある。今年度のコースを教えていく中で，自分が作った救いの計画の概要を，何度も活用するとよい。

救いの計画は3幕物の演劇にたとえられる

1995年のファイヤサイドにおけるヤングアダルトへの講話の中で，十二使徒定員会会長代理のボイド・K・パッカー長老は次のように述べている。

「誕生から死に至る現世の生涯の歩みは，永遠の律法に従ったものであり，啓示の中で偉大な幸福の計画と述べられている一つの計画に添って進むものです。わたしが皆さんの心に植え付けたい一つの概念，一つの真理は，こうです。この計画には3つの部分があります。皆さんはその中の，2番目すなわち真ん中の部分にいます。皆さんはその中で，誘惑，試練によって試されるでしょう。ことによると，悲劇によって試される場合もあります。そのことを理解してください。そうすれば人生の意味をさらによくわきまえ，疑い，失望，落胆などの病に立ち向かうことができるようになります。

3つに区分される贖(あがな)いの計画は，3幕物の壮大な演劇にたとえることができます。第1幕のタイトルは『前世』です。聖典はそれを第一の位と呼んでいます（ユダ1：6；アブラハム3：26,28参照）。第2幕は，誕生から復活の時までを扱う『第二の位』です。そして第3幕は『死後の生活』あるいは『永遠の命』と呼ばれています。

現世におけるわたしたちは，第2幕のカーテンが開くのとともに，舞台に上がった役者のような存在です。第１幕のことは忘れています。この作品は，数多くの筋がからみ合って，登場人物のだれとだれがどういう関係にあり，何と何がどう絡み合い，だれがヒーローで，だれが悪役であるか，ということを判断するのが決して簡単ではありません。また，わたしたち自身が単なる観客ではないために，なおいっそう複雑になっています。」（*The Play and the Plan* 〔ヤングアダルトへの講話，1995年5月7日〕, 1－2）

前世

この世に生を受ける前のわたしたちは，天の御父と一緒に住んでいた（ヨブ38：4－7；エレミヤ1：5；アブラハム3：21－23参照）。天の御父は栄光化された，完全無欠の，日の栄えの状態にある御方である（教義と聖約130：22参照）。預言者ジョセフ・スミスは次のように教えている。「神御自身は，かつては今のわたしたちのようであり，今は昇栄された人となり，かなたの天の王座に座っておられる。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith,* 345）

天の御父はわたしたちの霊の体の父親である（民数16：22；使徒17：29；ヘブル12：9；モーセ3：5参照）。御父はすべての神聖な特質と喜びに満ちた御方であり，御自分のすべての子供たちが，御自身に似た者となることを望んでおられる（マタイ5：48；2ニーファイ9：18；モーセ1：39参照）。

霊の創造

アブラハムは，天の御父のすべての子供たちが，「英知」すなわち世界が存在する前に組織された霊として存在していた様子を見た（アブラハム3：18－23参照）。パッカー長老はこう教えている。「男も女も，人の霊は永遠です（教義と聖約93：29－31参照；ジョセフ・スミス，*Teachings of the Prophet Joseph Smith* ……，158，208も参照）。わたしたちは皆，神の息子，娘であり，前世においては神の霊の子供として生きていました（民数16：22；ヘブル12：9；教義と聖約76：24参照）。各人の霊は，男も女も，現世の人間としての存在に似た存在でした（教義と聖約77：2；132：63；モーセ6：9－10；アブラハム4：27参照）。すべての人は，天の両親の形に創造されているのです。」（*The Play and the Plan*, 3）

『家族――世界への宣言』の中で，大管長会は次のように述べている。「すべての人は，男性も女性も，神の形に創造されています。人は皆，天の両親から愛されている霊の息子，娘です。したがって，人は皆，神の属性と神聖な行く末とを受け継いでいます。そして性別は，人の前世，現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。」（『聖徒の道』1996年6月号，10；教義と聖約29：31－32；モーセ3：5；『旧約聖書： 創世－サムエル下』〔宗教コース301，生徒用資料，1981年〕17－18参照）

選択の自由

「1. 人は皆，神聖な律法の支配下にあります。その律法に従順であれば，祝福を授けられます。しかし，不従順であれば，苦しみと罰を受けることになります。

2. 人は皆，善悪を自由に選択できるという神聖な賜物（たまもの）を持っています。人は何を，どこで，どのように礼拝するかを，自分で判断することができます。しかし，日の栄えの律法を学び，それに従わなければ，昇栄することはできません。

3. 人は善悪の知識を得，第三者からの感化を受けて初めて，自分自身で行動するという選択ができるのです。」（“ Basic Doctrine,” *Charge to Religious Educators,* 第3版〔1994年〕， 85）

神に似た者となるためには，自由意志を適切に用いることが不可欠である（2ニーファイ2：14－16参照）。しかし，選択する自由を与えれば，それに伴って幾つかの結果が生じてくる。選択の自由は，わたしたちの成長にとって必要不可欠なものではあるが，当然のことながら，わたしたちは，いつも正しい選択をするとは限らない。使徒パウロが書いているように，「すべての人は罪を犯したため，神の栄光を受けられなくなって」いる（ローマ3：23）。このような結果になるのは，前世の会議において御父が御自身の子供たちに示された計画の中でも想定されたことであり，それに対する備えもなされた。

天上での会議と戦い

わたしたちは前世において御父から霊の体を頂いたことにより，さらに御父に似た者となったが，それでもなお，多くの必須の特質に欠けていた。御父は栄光化された肉体を持つ，昇栄された完全な御方だが，わたしたちはそうではなかった。御父は天上で会議を開き，御自身の子供たちをそこに召集し，わたしたちが神に似た者となれるように助けるための計画を示された（モーセ4：1－4；アブラハム3：22－27参照）。

パッカー長老は次のように話している。

「この神々の会議において，天の御父の計画が支持されました（アルマ34：9参照。*Teachings〔of the Prophet Joseph Smith〕*，349－350も参照）。この計画には，神の子供たちが肉体を受け，戒めに従うかどうかを試される場所として，地球が創造されることも含まれていました（モーセ6：3－10，22，59；アブラハム3：24－25；4：26－27参照）。すべての霊たちは，前世において学び，従順であることを示す機会を与えられていました。そして，一人一人に選択の自由が与えられていたのです（アルマ13：3－5参照）。

天上において大きな会議が召集されました（*Teachings*，349－350，357参照）。神の計画では，御父の御心（みこころ）が果たされるために，救い主そして贖（あがな）い主として，一人の人が遣わされる必要がありました。永遠の御父の長子であったエホバが，自ら申し出られ，選ばれました（モーセ4：1－2；アブラハム3：19，22－27参照）。

多くの霊はこの選びを支持しました。しかし，これに背く者があり，天で戦いが起こりました。御父の計画に対して反抗したサタンと彼に従う者たちは，追放され，肉体を受ける権利を拒まれました（黙示12：7－13；教義と聖約29：36；76：28；モーセ4：3参照）。

第一の位を守った人々（皆さんもその中に入ります）は肉体を与えられ，第二の位として備えられた地球に住むことを許されました（アブラハム3：26参照）。そして一人一人が，いつ，どの地に生まれるかを定められたのです（申命32：8；使徒17：26参照）。預言者となるように予任された人々もいました（アルマ13：7－9；アブラハム3：23参照。*Teachings*，365も参照）。」（*The Play and the Plan,* 3。『聖句ガイド』「天での戦い」の項，179も参照）

物質的なものの創造

地球とその上にある万物の物質的な創造は，わたしたちが神に似た者となれるようにするために，欠かすことのできないもう一つのステップである（モーセ1：33－39；アブラハム3：24－26参照）。神が地球を創造されたとき，それは「非常に良かった」（モーセ2：31）。そして，美しく豊かな場所だった（創世1－2章；モーセ2章；3：7－25；アブラハム4－5章参照。教義と聖約59：16－20；『旧約聖書： 創世－サムエル下』11－23 も参照）。

パッカー長老は次のように教えている。「こうして地球が創造されました（アブラハム5：4参照）。アダムとエバは，このパラダイスの状態の中に置かれた最初の男と女でした（モーセ1：34；3：7；4：26；6：3－10，22，59参照）。二人は永遠の結婚のきずなで結ばれ，戒めを授けられました（モーセ3：23－25参照）。彼らはまったく汚れのない状態で，罪を知りませんでした（2ニーファイ2：23参照）。」（*The Play and the Plan,* 3）

堕落と死すべき状態

アダムとエバの堕落は，偉大な幸福の計画の次のステップである。堕落は霊の死と肉体の死を含めて，死すべき状態をもたらした（2ニーファイ2：19－25；アルマ42：1－10参照）。死すべき状態の，地上における生活は，神に似た者となるうえで必要不可欠のものであった。それはわたしたちに，肉体を得，また，神の勧告に従うかサタンの誘惑に従うかの選択の自由を持つことにより，成長と学習を続ける機会をもたらしている（アルマ42：1－12；教義と聖約29：36－43；モーセ5：9－12参照）。わたしたちは自らの選択を通して，自分自身が忠実な者であることを立証するのである（アブラハム3：25参照。『旧約聖書：創世－サムエル下』26－30も参照）。

パッカー長老は，人間の永遠の存在を3幕の劇にたとえた話（277ページ参照）の中で，わたしたちの死すべき状態について，次のような勧告を与えている。

「この永遠の計画の中で，わたしたちの前世すなわち第1幕の記憶は，幕で覆われています。第2幕の開始とともに現世に来たわたしたちには，第1幕の記憶がないのですから，今行われていることがなかなか理解できないとしても，少しも不思議ではありません。

記憶がないことによって，わたしたちはまったく白紙の状態からスタートすることができます。それは，試しとして，理想的な状況です。わたしたち一人一人の自由意志を保障し，選択の自由を与えているのです。多くのことを，信仰だけで選択していかなければなりません。それでも，わたしたちには，自分たちの前世における生活と，不死不滅の両親の子供であることを知らせる，静かにささやく声があります。

皆さんは生まれたときには汚れのない存在でした。なぜなら『人の霊は皆，初めに罪がなかった』からです（教義と聖約93：38）。また，皆さんには生まれながらにして善悪の観念があります。そのことの理由について，モルモン書の聖文は，『人は善悪をわきまえることを十分に教えられている』（2ニーファイ2：5）と述べています。……

もし皆さんが第2幕において，平安無事と無上の喜びだけを見いだそうとするなら，必ず挫折を味わうことでしょう。また，今起きていることの意味も，世の中が今のような状態であることを許されている理由も，ほとんど理解できないでしょう。

このことを覚えておいてください。『それからは，みんな，いつまでも幸せに暮らしました』という言葉が，第2幕に書かれることは決してありません。この言葉は，すべての謎が解き明かされ，すべてのことが望ましい状態になる第3幕に来るものです。……

この壮大なドラマの全容を把握するようになるまでは，人々の中にある様々な不公平な状況を理解することは，あまりできないでしょう。ほんとうに何もないような状況で生まれている人がいる一方で，非常に多くのものに恵まれた状況で生まれてくる人もいます。貧困や心身の障害，苦しみや悲しみの中に生まれてくる人たちがいます。あまりにも早い死を経験する人もいます。あどけない子供が命を落とすことさえあります。情け容赦のない自然の猛威や，人間同士の残忍な行いもあります。最近わたしたちは，そのようなことをよく目にしています。

神はこれらを勝手気ままに行っておられると考えてはなりません。神御自身の目的において許しておられるのです。そのすべての計画と目的を知るときに，あなたはこれらのことも愛に満ちた天父を明らかに示すものであることが分かるでしょう。

この偉大な劇，長い時の流れを描くドラマの脚本と言えるものがあります。……

皆さんすでに御存じだと思いますが，その脚本とは聖典，神の啓示です。これを読んでください。研究してください。……

聖典は真理を伝えるものです。皆さんは聖典を通して，3幕のすべてについて十分に学び，人生の中で忍耐と導きを得ることができます。聖典は次のことを明らかにしています。『あなたがたも初めに父とともにおり，御霊すなわち真理の御霊であった。

真理とは，現在あるとおりの，過去にあったとおりの，また未来にあるとおりの，物事についての知識である。』（教義と聖約93：23－24）

それが，第1幕，第2幕，第3幕です。」（*The Play and the Plan*，2）

教会の使命と，福音の原則と儀式

アダムとエバの堕落は失敗でもなければ，思いがけない出来事でもない。もし二人が死すべき状態になることを選択しなかったら，彼ら自身だけでなく，天の御父のほかの子供たちも，成長して神に似た者となることができなかった（2ニーファイ2：22－25参照）。堕落はこの計画に欠かせない要素だったが，幾つか望ましくない結果ももたらした。そしてわたしたちはその影響から救い出される必要がある（『旧約聖書：創世－サムエル下』の創世3：19に関する注解，29参照）。

イエス・キリストの福音は全人類に，彼らが自らの意志に応じて，神の前に救われ，神に似た者となるための道を示している（2ニーファイ31：10－21；モーサヤ3：19；アルマ7：14－16；3ニーファイ27：13－22；モーセ5：9；信仰箇条1：4参照。『旧約聖書：創世－サムエル下』の創世4：1に関する注解，39－40も参照）。この計画に従うことを拒み，キリストの贖罪を受け入れないなら，わたしたちは罪を贖われて完全になることはできない（モーサヤ2：36－39；4：1－12；アルマ11：40－41；教義と聖約29：43－44参照）。

どの神権時代においても，地上の神の子供たちに福音を教えるために，預言者が遣わされてきた。世の人々に福音を宣言し，聖徒たちを完全な者とし，死者を贖うことによって，すべての人々をキリストのもとへ導くために，この終わりの時にイエス・キリストの教会が設立された（アモス3：7；エペソ4：11－15；教義と聖約1：4－23；138章；信仰箇条1：5－6参照）。

贖　罪

アダムの堕落があったために，わたしたちは皆死（肉体の死）を受け，神の前から絶たれて，自分自身の力では神のもとへ戻れなくなり（霊の死），苦しみ，罪，悲しみの世界に住んでいる。しかし，キリストの贖罪によってすべての人が復活し，不死不滅の肉体を受け，肉体の死を克服できるようになった。また，贖罪により，全人類が堕落から贖われて，裁きに備えて復活した状態で，神の前に戻れるようになった。これによって，最初の霊の死が克服された（2ニーファイ9：15，21－22；ヒラマン14：16－18；『聖句ガイド』「贖い；贖う」8，「死（第二の）」「死（肉体の）」「死（霊の）」の項，113－114参照）。わたしたちは贖罪を通して，悔い改めを条件に，自分自身の罪を清められ，堕落した状態からさらに神に近い状態へと変わっていくことができる（2ニーファイ2：5－10；9：4－14，19－27；アルマ7：11－13；12：32－34；34：8－16；42：11－28；教義と聖約19：16－19；信仰箇条1：3参照。「天上での会議と戦い」268も参照）。

通常の人間には，復活をもたらしたり，全人類の罪を贖うなどということはできるものではない。それができるのは，死に打ち勝つ力を持ち，罪のない生き方がもたらす力を持っている人だけだった。それには，神の犠牲が必要であった（ヨハネ10：17－18；アルマ34：9－14；教義と聖約45：4参照）。

墓を超える命

霊　界

肉体の死とは，肉体と霊が分離することである。天の御父の子

供たちが死ぬと，例外なく，その霊は霊界へ行って復活の時を待つ。霊界では，福音を受け入れて戒めに従った人々と，そうしなかった人々は分けられている。パッカー長老は次のように説明している。「そこは，義人にとっては幸福な場所であり，パラダイスです。しかし，邪悪な人々にとっては，惨めな場所です（2ニーファイ9：10－16；アルマ40：7－14参照）。どちらの状態の人々も学び続け，また，自分の行いに対しては責任を求められます（教義と聖約138：10－22参照）。」（*The Play and the Plan,* 3）霊界に関するさらに詳細な情報については，教義と聖約138章を参照する。そこには，今も霊界で続いている業について，ジョセフ・F・スミス大管長に授けられた驚くべき示現が記録されている。

裁　き

御父がその計画を示し，地球の創造を提案されたのには，御自身の子供たちを「試し」，彼らが戒めを守るかどうかを見る，という目的があった（アブラハム3：25参照）。わたしたちは預言者ジョセフ・スミスを通して，人は行いだけではなく，心の中で思うことによっても裁かれる，ということを示されている（アルマ41：3－6；教義と聖約137：9参照）。

裁きと復活には密接な関係があり，最終的な裁きのある部分は，わたしたちが復活するときに起こる。滅びの子を除いて，すべての人は完全な体をもって復活する。ただし，その栄光は人によって様々である。すべての人が，自分が受け継ぐ王国，すなわち，日の栄え，月の栄え，星の栄えの王国のいずれかにふさわしい体で復活するのである。滅びの子も復活はするが，彼らはどの段階の栄光も授けられない。彼らは外の暗闇（くらやみ）に追放される（１コリント15：35, 39－42；教義と聖約88：28－32参照）。

パッカー長老は次のように話している。

「すべてのことが平等に取り扱われた後に，裁きが下されます（モーサヤ3：18参照。*Teachings*, 218－219も参照）。一人一人が，それぞれの順番に従って復活します（１コリント15：21－23参照）。しかし，どのような栄光を受けるかは，御父の計画に定められた律法と儀式に対する従順の度合いによって決まります（１コリント15：40－42参照）。

悔い改めを通して清くなった人々は，永遠の命を授けられ神の前へ戻ることができます。彼らは『神の相続人……キリストと共同の相続人』として昇栄するのです（ローマ8：17。教義と聖約76：94－95；84：35；132：19－20；*Teachings*, 374も参照）。

この計画を知らずに現世の生涯を送る人々のための用意もなされています。『律法がないところには罰がない。また罰のないところには罪の宣告もない。……それは贖罪（しょくざい）のゆえである。彼らはイスラエルの聖者の力によって救われているからである。』（2ニーファイ9：25）

この神聖な死者の贖（あがな）いの業がなければ，御父の計画は不完全なものであり，まったく不公平なものとなってしまいます。神殿の儀式を受けるには，それにふさわしい備えをしなければなりませんが，エンダウメントや永遠の結婚の結び固めなどの，それらの儀式はすべて，備えをするにふさわしい価値のあるものです。神殿の儀式を受けるふさわしさを失うようなことは一切しないでください。さもないと，この永遠のドラマの第3幕では，今あなたが受けているよりも，自由がなくなることでしょう。」（*The Play and the Plan,* 3－4）

復　活

義人であるかないかを問わず，この地上に生を受けた人はだれでも，不死不滅の肉体をもって，いつか復活することになる。これはキリストの贖罪によってもたらされる賜物（たまもの）である（１コリント15：19－22；2ニーファイ9：6－15, 19－22参照）。すべての人が同時に復活するのではない。「各自はそれぞれの順序に従わなければならない。」（１コリント15：23。モーサヤ15：20－26；アルマ40：1－2；教義と聖約76：15－17も参照）。

推定：モルモン書の地理（各地域の相対的な位置関係）

これはモルモン書に出てくる様々な場所の相対的な位置関係を，モルモン書自体の本文に基づいて示した地図である。これを現実の地理上の位置に合致させようとするべきではない。原作者ダニエル・H・ラドローの許可を得て掲載。

ニーファイの示現（1ニーファイ10－14章）

時の中間における ユダヤとガリラヤ	ニーファイ人と レーマン人の文明	末日の異邦人の国民
おとめからの誕生（11：13－20）	リーハイの子孫に対するキリストの教導の業（12：4－10）	一つの大きな教会の設立（13：4－9）
バプテスマのヨハネ（10：7－10）	ニーファイ人とレーマン人の間で繰り広げられる戦い（12：13－15，19）	コロンブスのアメリカ大陸発見（13：12）
キリストの教導の業（11：24）	ニーファイ人の滅亡（12：19－20）	アメリカに自由を求める移民団（13：13）
十二使徒（11：29）	不信仰の中で衰退するレーマン人（12：21－23）	末日におけるレーマン人の散乱（13：14）
奇跡を行われるキリスト（11：31）		独立のための戦争（13：16－19）
試練と十字架上の死（11：32－33）		聖書から分かりやすくて貴い真理が取り去られるときに異邦人はつまずく（13：20－34）
迫害を受ける使徒たち（11：34－36）		福音の回復（14：7）
		聖書とモルモン書がレーマン人にもたらされる（13：35－41）
		異邦人に与えられた主の約束（13：34，42）
		戦争と戦争のうわさ（14：15－16）
		小羊の教会の聖徒たちは神の力によって武装する（14：14）
		忌まわしい教会に神の怒りが注がれる（14：13）
		再臨と世の終わり*

*ニーファイはこれらの出来事を見たが，それらを書き記すことは黙示者ヨハネの務めであるため，書き記してはならないと言われた。少なくともこれらの出来事の一部は黙示録に含まれている。

2ニーファイ26－27章の預言

1．イエス・キリストのアメリカ大陸訪問に関する預言

預言	宣言	成就
キリストはニーファイ人に御自身を現される。	2ニーファイ26：1	
ニーファイ人とレーマン人の間で大きな戦争がある。	2ニーファイ26：2	
キリストの降誕と死と復活のしるしがニーファイ人に与えられる。	2ニーファイ26：3	
キリストが亡くなるときに，恐ろしい破壊が起きて邪悪な人々は滅ぼされる。	2ニーファイ26：4－6	
キリストを待ち望んだ義人は，キリストが亡くなるときの破壊に巻き込まれて滅びることはない。	2ニーファイ26：8	

2．キリストが来られた後のモルモン書の民に関する預言

預言	宣言	成就
キリストが来られた後のアメリカには長期にわたる平和の時代が訪れる。	2ニーファイ26：9	
ニーファイ人はキリストがアメリカを訪れられた後の4代目の時代を迎えると間もなく滅亡する。	2ニーファイ26：10，18	
モルモン書の民の子孫はニーファイ人の国家が崩壊した後，不信仰に陥る。	2ニーファイ26：15	

3．終わりの時に関する預言

預言	宣言	成就
異邦人は高慢のために苦しみを受け，霊的につまずく。多くの教会が設けられて，ねたみと争いと悪意を引き起こす。	2ニーファイ26：20－21	
秘密結社が現れる。	2ニーファイ26：22	

4．モルモン書の出現に関する預言

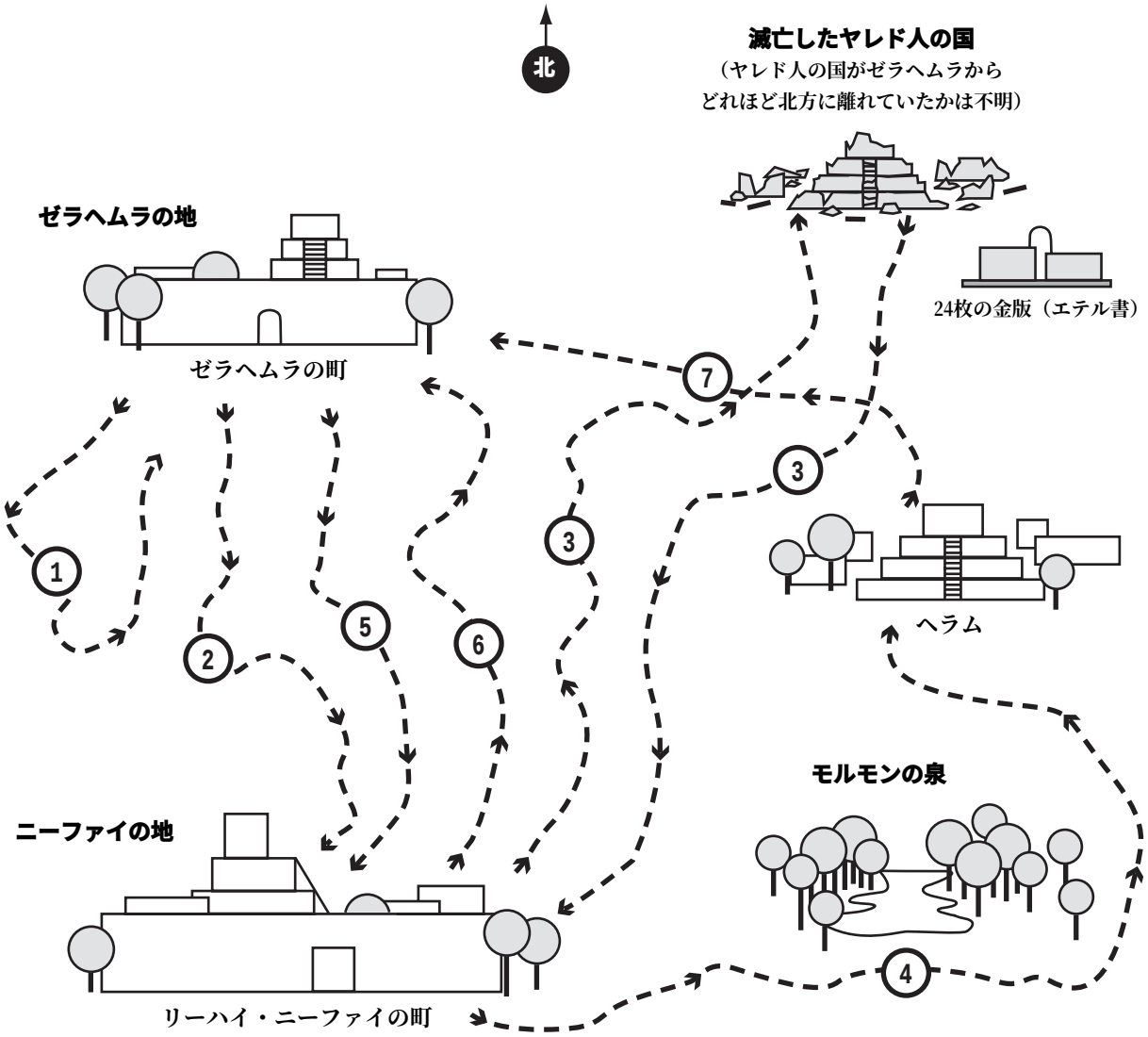
預言	宣言	成就
モルモン書は学識のない者（預言者ジョセフ・スミス）に授けられる。	2ニーファイ27：9	
三人の証人とほかの幾人かはニーファイ人の記録が収められている版を見る。	2ニーファイ27：12－14	
神はモルモン書の封じられていない部分の一部を学者に見せるようお命じになる。	2ニーファイ27：15	
学者は版を持って来れば翻訳すると言う。	2ニーファイ27：15	
学者は封じられている書物を読むことはできないと言う。	2ニーファイ27：17	

キリストに関するベニヤミン王の教え

モーサヤ3：5	「永遠から永遠にわたって」支配なさる主が，「天から人の子らの中に降って来て，土の幕屋に宿」られる。
モーサヤ3：5―6	キリストは死者を生き返らせ，あらゆる種類の体の障害や病を癒し，「人の子らの心の中にとどまる」悪霊を追い出して，「大きな奇跡」を行われる。
モーサヤ3：7	キリストは誘惑，飢え，渇き，疲労，「肉体の苦痛」に耐えられる。それは，人にとっては「死ぬ以外に」耐えようのないものである。
モーサヤ3：7	人の悪事のためにあらゆる毛穴から血が流れ出るほどの苦しみを受けられる。
モーサヤ3：8	この御方は，「イエス・キリスト，神の御子，天地の父，時の初めからの万物の創造主」と呼ばれる。
モーサヤ3：8	母はマリヤと呼ばれる。
モーサヤ3：9	主の御自身の民は主をただの「人」であると考えて，拒む。彼らは悪魔につかれていると言って主を非難し，主を鞭打って，十字架につける。
モーサヤ3：10	主は3日目に死者の中からよみがえられる。
モーサヤ3：10	主は「義にかなった裁き」を世に下される。
モーサヤ3：11	主の血は気づかないで罪を犯す人々を贖う。
モーサヤ3：12	承知したうえで罪を犯す者は皆，悔い改めを要求される。
モーサヤ3：15	イスラエルの家に多くの「しるしと不思議，予型と影」など，キリストの来臨を示すものが与えられる。それにはモーセの律法も含まれる。それでも人々は心をかたくなにし，「〔キリストの〕血の贖罪によらなければモーセの律法は決して役に立たないということを」理解しない。
モーサヤ3：17	「全能の主であるキリストの御名」により，御名を通じる以外に，「どのような名も道も方法も」救いをもたらすことはできない。

（ジェフリー・R・ホランド，*Christ and the New Covenant： The Messianic Message of the Book of Mormon*〔1997年〕，99―100より翻案）

モーサヤ書の7回の旅



1. 不運な調査隊（オムナイ1：27－28；モーサヤ9：1－2参照）
2. ゼニフの調査隊（オムナイ1：29－30；モーサヤ9：3－9参照）
3. ゼラヘムラを発見した調査隊（モーサヤ8：7－9；21：25－27参照）
4. モルモンの泉へ，そして後にヘラムへ脱出したアルマとその一行（モーサヤ18：4－5，32－35；23：1－5，19－20参照）
5. ニーファイの地を発見したアンモンの調査隊（モーサヤ7：2－7参照）
6. ゼラヘムラへ脱出したリムハイの一行（モーサヤ22：3－13参照）
7. ゼラヘムラへ脱出したアルマの一行（モーサヤ24：16－25参照）

アルマとニーホル

アルマは重大な問題に直面していた。その問題は，もしも正しく処理できなければ国家と教会の破滅をもたらすことにもなりかねない重大なものであった。アルマの立場に立って考えてみる。

状況1（アルマ1：3－12）

ニーホルと名乗る反キリストは偽善売教を教えていた。宗教の指導者は人望を得るはずであって，人々によって生活を支えられるはずであること，また全人類は救われると彼は宣言した。教会員であるギデオンとの口論の末に，ニーホルは剣を抜いて，ギデオンを殺した。あなたは新任の大さばきつかさである。ニーホルが裁判を受けるためにあなたの前に引き出された。あなたはどうするだろうか。

1. 彼を赦（ゆる）して，自由にさせる。
2. 彼の弁護を聞いて，裁きを行い，正当な罰を執行する。
3. 自分の信条を捨てるならば，赦す。
4. 彼の教えが間違っていることを証明するために議論する。

アルマは実際にこの状況をどのように処理したかを確かめるために，アルマ1：14－16を読む。

状況2（アルマ1：16－23）

反対論者は教会員を迫害することから始める。ある会員は辛抱強く耐えるが，ほかの会員は言葉のうえでも行動のうえでも張り合おうとする。あなたは教会の大祭司である。あなたはどうするだろうか。

1. 言い争う人々を赦す。しかし，彼らを止めようとはしない。
2. 会員たちにほかの都市へ移り住むように言う。
3. 軍隊の出動を要請して，反対論者を別の都市に移住させる。
4. 人々に悔い改めるよう求め，悔い改めない教会員を破門する。

アルマは実際にこの状況をどのように処理したかを確かめるために，アルマ1：24を読む。

状況3（アルマ1：25－32）

あらゆる人が平和に暮らせるように，教会員は持ち物を貧しい人々と分かち合い，働いている。神は彼らを祝福されるので，彼らは繁栄している。教会員でない人々は怠惰で，高価な衣服を身に着け，偶像礼拝にふけり，みだらな行いをし，高慢になっている。あなたはどうするだろうか。

1. 法律を施行して，罪悪を犯した人々を逮捕する。
2. 彼らを無視して，罪を犯すままに放置する。
3. 彼らが従いやすくなるように法律を変える。
4. 罪深い人々のはびこる土地を捨て，新たな居住地を探す。

アルマは実際にこの状況をどのように処理したかを確かめるために，アルマ1：33を読む。

（デニス・N・ライト，*The Scripture Connection： The Book of Mormon Edition*〔1997年〕，130。許可を得て掲載）

罪を捨てる

「進んですべての罪を捨て，救い主を知り，救い主に従うなら，わたしたちも永遠の命という喜びで満たされるのです。」（ハワード・W・ハンター「主イエスよ，わが胸」『聖徒の道』1993年7月号，67）

「すべての罪を捨てること，これ以外に神を知る道はないのです。

それとは対照的に，自分の罪を隠そうとする人は進歩することができません。主が召された人に心から謙遜にまた誠実に従おうとしない人も同様です。指導者に対して自分の罪の一部だけを告白する人は，結局はすべての責任を自分で取らなくてはなりません。」（ニール・A・マックスウェル「悔い改め」『聖徒の道』1992年1月号，35）

「祈り，断食，懇願，願い求めること，……これらすべてが含まれます。毎日の思いと行いに救い主を映し出すような生活を送るように努力することが必要です。……

……『心を神に従わせ』（ヒラマン3：35），神を知るために自分の罪をすべて捨てる（アルマ22：18参照）。そのような人々は自分の捨てたものが少しも犠牲ではなかったことに間もなく気づきます。喪失感などまったくなく，心からの喜びを味わうのです。」（アレクサンダー・B・モリソン，*Feed My Sheep： Leadership Ideas for Latter-day Shepherds*〔1992年〕，45，50）

「兄弟の皆さん，キリストをほんとうに知ろうと思うなら，自分の罪を捨てなければなりません。キリストのようになるまでは，キリストを知ることはできないからです。中にはこの王〔ラモーナイの父〕のように，喜びを得るために『悪い霊を〔その〕胸からことごとく取り除いて』もらえるまで祈らなければならない人々がいます。」（エズラ・タフト・ベンソン「あなたがたはどのような人物であるべきか」『聖徒の道』1984年1月号，79）

ほんとうの改宗をした人々

アルマ23：1－7，16－18

「親しい交わり，倫理的な面，文化的な面，教育的な面に引かれて教会に改宗した人も，モルモン書に記されている完全な福音にまでその根を下ろさなければ，真昼の光に耐えることはできないでしょう。」（エズラ・タフト・ベンソン「モルモン書は神の御言葉である」『聖徒の道』1975年8月号，368）

「〔モルモン書〕には，神，人間の創造，堕落，贖い，キリストの昇天，預言者，信仰，悔い改め，バプテスマ，聖霊，忍耐，祈り，および恵みによる義認と清め，神を愛し神に仕えることなどについて書かれています。

わたしたちはこれらの基本的な真理を知る必要があります。モルモン書のアロン，アンモン，およびその兄弟たちは『暗闇の中』（アルマ26：3）にあったレーマン人たち（アルマ18：22－39参照）に，これと同じ真理を教えました。モルモン書は，このとき改宗したレーマン人たちが永遠の真理を受け入れてから後いつまでも神の道から外れなかったと述べています（アルマ23：6参照）。」（エズラ・タフト・ベンソン「キリストに対する新しい証人」『聖徒の道』1985年1月号，7）

アルマ24：6，16－26

「いにしえの時代，主の弟子たちは，『確固とした者になり，罪を犯すよりは死に至るまでも苦しみに耐えようとし』ました〔アルマ24：19〕。末日の献身的な主の弟子たちも確固としています。」（ラッセル・M・ネルソン「赦しと愛とを持たしめたまえ」『聖徒の道』1994年7月号，75）

「次第に完成に近づき，視界が明確になり，喜びが大きくなっていきます。そして，生活の中で出会う悪魔に打ち勝ち，罪に対する望みがことごとく取り除かれる状態に到達するのです。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*，ジョセフ・フィールディング・スミス選，51）

アルマ26：11－17，35－37

「わたしは主の祝福に対して心に深い感謝の念を抱いています。主は息子娘であるわたしたちにとって，何と公正で，愛にあふれ，寛大で，すばらしい御方でいてくださっていることでしょうか。わたしたちが毎日の生活を感謝の気持ちで過ごすことはどれほど大切なことでしょうか。」（ゴードン・B・ヒンクレー，“Messages of Inspiration from President Hinckley,” *Church News*，1998年12月5日付，2）

「福音の喜びは……アンモンの場合がそうであったように，主の業に携わっていることを楽しむことにあります。」（ニール・A・マックスウェル，*Meek and Lowly*〔1987年〕，39）

アルマ29：1－3，9－14

「福音の光を人に伝えることに匹敵する喜びはほかにありません。」（エズラ・タフト・ベンソン「福音を全世界に宣べ伝える使命」『聖徒の道』1984年7月号，82）

教義と聖約18：15－16も参照。

御言葉はキリストの内にあることを証するアミュレク

1. アルマ34：1−3。アミュレクはキリストに対する証をはぐくむことについてアルマが述べた説教を再確認しています。わたしたちは主を待ち望むときに_____と_____を持たなければならないとアミュレクは述べました。

2. アルマ34：4−5。「御言葉を心に植える」とは，疑問に思っていることについて深く考え，祈り，試してみることです。ここでの「大きな疑問」とは何でしたか。

3. アルマ34：6−8。ここではイエスが神の御子であり，人類を贖うために地上に来られることについて証した5人のことが述べられています。その5人とはだれでしょうか。

4. アルマ34：9。もし贖罪が行われなかったとしたら，どのようなことになっていたでしょうか。

5. アルマ34：10−12。アミュレクは救い主の贖罪を_____の犠牲，_____の犠牲であると言いました。死すべき人はだれであっても他人の罪を贖うことができません。神の御子であるイエス・キリストは無限にして永遠の御方です（教義と聖約20：17，28参照）。主の贖罪の力は過去，現在，未来に及ぼされます（教義と聖約20：25−27参照）。「その効果は全人類に，地球そのものに，そして地のあらゆる生き物に及ぼされ，永遠の無限の空間にも届いてます。」（ブルース・R・マッコンキー，*Mormon Doctrine*，第2版〔1966年〕，64）

6. アルマ34：13−14。モーセの律法は贖罪によってどのような影響を受けたでしょうか。

   大いなる最後の犠牲とは何でしょうか。

7. アルマ34：15。救い主の犠牲によって，わたしたちにとって何が可能になったのでしょうか。

   主の犠牲は，人々があるものを持てるようにするその道を設けました。そのあるものとは何でしょうか。

8. アルマ34：16。「これらの人々を腕に包み込んで保護する」という表現は，悔い改めを生じる信仰を働かせる人々に与えられる祝福を説明しています。あなたのすべての罪が赦されたことを知ったとしたら，どのように感じると思いますか。

ヒラマンと3ニーファイ：キリストの再臨との共通点

「救い主が訪れられる直前の時代のニーファイ人の歴史は，当時とわたしたちが再臨を待ち望んでいるこの時代の間にある数多くの共通点を明らかにしています。」（エズラ・タフト・ベンソン「アメリカへのキリストの訪れ」『聖徒の道』1987年7月号，4）

	出来事またはしるし	ニーファイ人への訪れ	再臨
1．社会と政治の混乱	秘密結社	ヒラマン1；11－12；2：3－13；6：15－30；7：1－9	エテル8：22－25；教義と聖約42：64
	戦争と戦争のうわさ	ヒラマン1：14－30；11：24－25；3ニーファイ2：13，17	教義と聖約45：26；87：3；ジョセフ・スミス－マタイ1：28－29
	高慢，富を求める，不平等	3ニーファイ6：12－14	モルモン8：35－38
	最後の恐ろしい戦い	3ニーファイ4：7－27	ゼカリヤ12：1－3，8－11；黙示9章
2．激変の出来事	天に現れるしるしと不思議	ヒラマン14：5－6，20；3ニーファイ1：21；8：19，22	ヨエル2：30－31；教義と聖約45：40
	各地で起きる地震	ヒラマン14：21－23	ジョセフ・スミス－マタイ1：29
	干ばつと飢饉	ヒラマン11：4－6	黙示11：6；18：8
	暴風雨，大暴風，雷，稲妻	ヒラマン14：21，23，26；3ニーファイ8：5－7，12	黙示16：18，21；教義と聖約88：90
3．邪悪な人々	人々の間に見られる大きな罪悪：高慢，争い，不道徳，この世的な行い，背教	ヒラマン3：1－3，17－19，33－36；4：11－13；6：2，31－35；7：4－6；11：36－37；16：12；3ニーファイ2：3；6：15－18	2テモテ3：1－6；黙示17：4；18：10－14；2ニーファイ27：1；28：4，8－11；教義と聖約10：63
	年少者の罪悪	3ニーファイ1：29－30	イザヤ3：5，12；2テモテ3：2
	邪悪な人々はまことの預言者を拒み，偽預言者を受け入れる。	ヒラマン8：3－6；10：13；13：24－28；14：10；16：2，6；3ニーファイ7：14	2ニーファイ27：1，5
	邪悪な人々はキリストの降臨前に示されるしるしと不思議を否定する。	ヒラマン16：13－23；3ニーファイ1：5，22；2：1－2	2ペテロ3：3－4；教義と聖約45：26

	出来事またはしるし	ニーファイ人への訪れ	再臨
4．義にかなった人々	強く，義にかなった少数の人々は邪悪な人々の中から抜け出て集まる。	3ニーファイ2：11－12；3：13－16，22	1ニーファイ14：12；モルモン書 ヤコブ5：70；教義と聖約45：64－71；115：6
	教会は成長と繁栄を遂げて，霊的な現れと奇跡を経験する。	ヒラマン3：24－26；6：9－13；16：13－14；3ニーファイ1：4，22－23；7：17－20	ダニエル2：44；ヨエル2：28－30；教義と聖約45：40
	預言者は大いなる力を行使し，悔い改めのメッセージを絶えず宣言する。	ヒラマン5：18－23，42；11：3－6；13：2；14：11；16：2；3ニーファイ6：20	黙示11：3，5－6；教義と聖約77：15。エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように述べた。「わたしは主の導きを求める度に，心の中で『この時代の人々には，悔い改めのほかに何も語ってはならない』（教義と聖約6：9；11：9）という主の宣言を再確認してきました。これはすべての末日の預言者が，……繰り返してきた主題です。」（「器の内側を清める」『聖徒の道』1986年7月号，4）
	義人はしるしを見守り，キリストの再臨を早めてくださるよう祈る。	3ニーファイ1：8，10－14	教義と聖約45：39，44；68：11；133：37－40；モーセ7：62
5．主の来臨	邪悪な人々の完全な破滅。	ヒラマン10：12；11：6；14：24；15：1；3ニーファイ8：14－16；9：2－12	イザヤ26：21；マラキ4：1；教義と聖約1：9；133：41
	義人はキリストの来臨時の破壊を生き残る。	3ニーファイ9：13；10：12－13	1ニーファイ22：16－22，24－26；教義と聖約97：21－25
	イエスは天から降られる。	3ニーファイ11：8	教義と聖約65：5；ジョセフ・スミス－マタイ1：26
	死者の墓が開かれる。	マタイ27：52；ヒラマン14：25	教義と聖約88：96－98；133：56

最後の裁きと中間の裁き

十二使徒定員会ダリン・H・オークス長老。「裁くなということ，裁くということ」（*Judge Not and Judging*）よりの抜粋（教会教育システム，ヤングアダルトのためのファイヤサイド，1998年3月1日，1—5）。

最後の裁き

「最初に，最後の裁きについてお話しします。これは将来行われることであって，わたしたち全員が自分の行いについて裁かれるためにキリストの裁きの座の前に立ちます。……聖典に記されている『裁いてはならない』という命令は，間違いなくこの最後の裁きを指しているとわたしは考えています。モルモン書に『「人は……裁いてもならない。裁きはわたしのすることである。……」と，主が言われる』（モルモン8：20）と宣言されているとおりです。

……わたしたちはある人に関して，ある特定の時点においてある特定の行為を基に，その人は地獄へ（あるいは天国へ）行くだろうと言って，最終的な裁きを推定するようなことがあるためにこの戒めが与えられたとわたしは考えています。わたしたちはこのような裁きを下そうとする大きな誘惑を受けています。そして，そうするときに，わたしたちは自分と，裁いた相手を傷つけています。

この世に生きている人がほかの人に最終的な裁きを下そうとすることがもたらす影響は，運動競技が行われている最中にその競技の結果をはっきりと断言するときに競技者や観客に与える影響に似ています。同じ理由から，人生という長い競技に参加している人の結果について断定的な判断を下すことは禁じられているのです。……

……わたしたちには人に対して最終的な裁きを行う知識も知恵もないのでそうしてはならないのです。間違った基準を当てはめてしまうかもしれません。競争によって勝者か敗者かの判断を下すのが世の方法です。主がある人に最後の裁きを下されるときには，その人が受け入れていた律法に関する御自身の完全な知識を用い，その人が人生全体にわたって置かれていた状況や動機，行動を基にして行われることでしょう。……

中間的な裁き

この世の人は最後の裁きを下すことを禁じられています。しかし聖文は，わたしが名付けているところの『中間的な裁き』を下すよう求めています。これらの判断は個人の選択の自由を行使するためになくてはならないものです。……

もちろん，わたしたちは日常的に個人の選択の自由を行使するうえで判断を下さなければなりませんが，他人を判断するに当たっては最終的な裁きではなく中間的な裁きをするよう注意しなければなりません。このように，他人に対して中間的な裁きを行わなければ守ることのできない戒めがたくさん救い主の教えの中に含まれています。例えば，『聖なるものを犬にやるな。また真珠を豚に投げてやるな』（マタイ7：6）；『にせ預言者を警戒せよ。……あなたがたは，その実によって彼らを見わけるであろう』（マタイ7：15—16）；『あなたがたは悪人の中から出なさい』（教義と聖約38：42）。

わたしたちは皆，友達を選ぶとき，自分の時間やお金を使うとき，そしてもちろん永遠の伴侶を選ぶときに判断を下します。『律法の中でもっと重要な』事柄の中には裁きも含まれると教えられたときに，救い主はこれらの中間的な裁きをも指しておられたに違いありません（マタイ23：23）。……

義にかなって中間的な裁きを行う

……『義にかなった裁き』につながる原則または要素を幾つか考えてみましょう。

最初に，義にかなった裁きとは，自明の理として，中間的な裁きでなければなりません。ある人が必ず昇栄するとか，必ず地獄の火に投げ込まれるとか断言することは避けます。ある人が昇栄を得るためのあらゆる機会を没収されているとか，主の業において活躍する機会をすべて差し止められているなどと言明することも避けます。福音は希望の福音であって，個人の罪からの清め，赦し，適切な条件の下での生活の変革を及ぼす贖罪の力を否定する権能を持っている人は一人としていません。

第2に，義にかなった裁きは主の御霊によって導かれるのであって，怒りや復讐，ねたみ，利己心に基づいて行うものではありません。……

第3に，義にかなった中間的な裁きであるためには，自分の管理の職の範囲内で行われなければなりません。個人の責任範囲を超えて裁きを行ったり，その裁きに基づいて行動したりしてはなりません。……

義にかなった中間的な裁きの第4の原則は，できれば，事実について適切な知識を得るまで，裁きを保留することです。……

……時々，判断を下すために必要とするすべての事実を入手する前に，予備的な判断を下す必要に迫られる緊急な事態が発生することがあります。……

……このような場合，結局わたしたちは最善を尽くして，近代の聖典に記されているように，『善を行うように導く，すなわち，公正に行動し，へりくだって歩み，義にかなって裁くように導く御霊を信頼』すべきであるという教え（教義と聖約11：12）に従います。

義にかなった中間的な裁きの第5の原則は，可能なかぎり，人を裁くのでなく，状況を裁くようにするということです。……

義にかなった裁きの最後の要素あるいは原則は，義にかなった標準に当てはめることです。義にかなっていない標準に当てはめれば，不義の裁きを行うことになります。義にかなった標準に当てはめて裁かないと，自分自身が正しくないあるいは不義の標準によって裁かれるという危険な立場に置かれることになります。裁いてはならないというテーマ全体に関する根本的な聖句にはこのような警告が含まれているのです。『あなたがたがさばくそのさばきで，自分もさばかれ，あなたがたの量るそのはかりで，自分にも量り与えられるであろう。』（マタイ7：2。3ニーファイ14：2も参照）」

モルモン書のマラキ（3ニーファイ24－25章）

1. 3ニーファイ24：2を読んでください。この節でイエス・キリストは何にたとえられているでしょうか。

2. 3ニーファイ24：3と教義と聖約128：24を読んでください。レビの子らがささげたものによく似たささげ物として，わたしたちは何をささげることができるでしょうか。

3. 主はどのような種類の人々に速やかに裁きを下されるでしょうか。5種類挙げなさい（3ニーファイ24：5参照）。

4. 3ニーファイ24：7を読んでください。この節にはどのようなことが約束されているでしょうか。

5. 什分（じゅうぶん）の一と献金を納めないことは，なぜ「神から盗んでいる」ことになると思いますか（3ニーファイ24：8参照）。

6.『聖句ガイド』を使って，什分の一の大切さを教えている聖句をほかに3つ探し，3ニーファイ24：8と相互参照してから，ここに書き出してください。

7. 什分の一の律法を守る人々に与えられている主の約束を挙げてください（3ニーファイ24：10－12参照）。あなたは自身の生活の中で，これらのうちどの祝福に気づいているでしょうか。

8. 3ニーファイ24：16－17を読んでください。これらの節で主はどのような人を宝石にたとえておられるでしょうか。このたとえはなぜ当を得ているでしょうか。

9. 天父の子らの価値について教えているほかの節を一つ探して，その参照箇所をここに書いてください。

10. 3ニーファイ25：1を読んでください。この節では何の日について述べられているでしょうか。

11. 2節を読んでください。この節で，救い主は「翼に癒（いや）しを携えて現れる」と約束しておられます。この約束はどのような点で慰めを与えてくれるでしょうか。

12. 5節を読んでください。この節にはどのような約束が与えられているでしょうか。

13. 教義と聖約110：13－16を読んでください。3ニーファイ25：5に記されている預言はいつ成就したでしょうか。それはどこで成就したでしょうか。

14. エリヤは末日の預言者のうち，だれに現れたでしょうか。

15. 3ニーファイ25：6を読んで，マラキ4：6およびジョセフ・スミス－歴史1：39と比較してください。これらの3つの節にはどのような違いがあるでしょうか。

16. 預言者ジョセフ・スミスはこのように述べています。「この世において神がわたしたちに与えられた最大の責任は，わたしたちの死者を探し求めることです。」（*History of the Church*, 第6巻，313）教義と聖約128：15－18を読んでください。「先祖の心を子孫に，子孫の心をその先祖に向けさせる」とはどのような意味だと思いますか。

17. 3ニーファイ24－25章であなたの好きな聖句はどれですか。それはなぜですか。

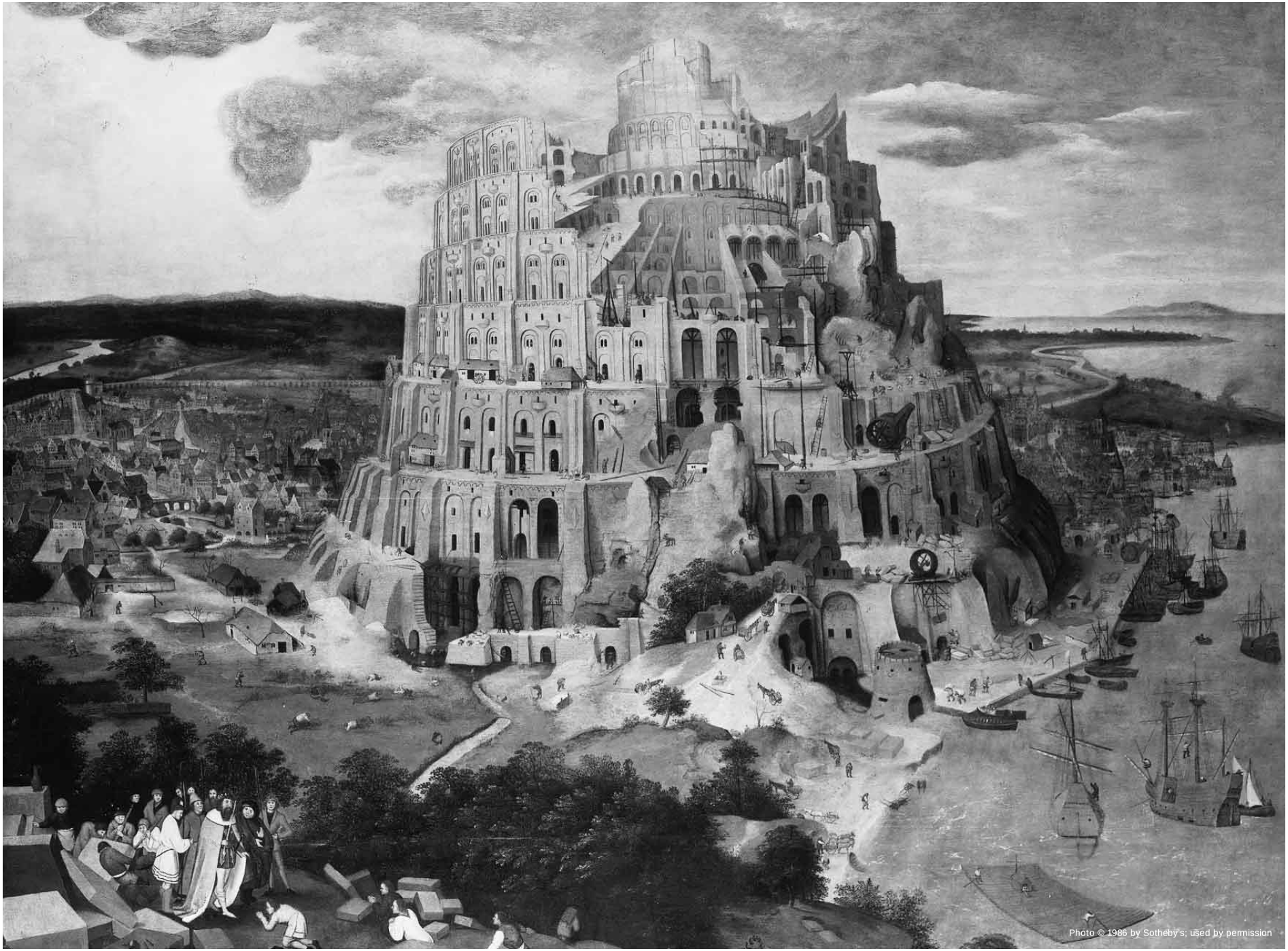


Photo © 1986 by Sotheby's; used by permission

末日聖徒
イエス・キリスト
教　会

2 902345 883004
34588 300